

英語1 (11)

11649

担当者名 / Instructor HOVEY ANDREW G.

単位数 / Credit 2

授業の概要 / Course Outline

この科目は、英語の4つの技能を総合的に習得することを目指しますが、特にオーラル・コミュニケーション能力の改善をはかるため、リスニングとスピーキングを重視します。教員は、現代社会、グローバル化、異文化間コミュニケーションなどのテーマについてコンテンツ・ベース・アプローチを用い、英語講義科目の聴解力、グループ・ディスカッションやプレゼンテーションのスキルに重点を置いた授業を行います。学生は、関心あるトピックを選び、多様な媒体(プリント、視聴覚資料、コンピュータなど)を通して、自分の意見を表現することを学びます。また、この科目で学んだプレゼンテーションのスキルの実践の場として、前期に実施される「産業社会学部英語弁論大会」への応募などが考えられます。

到達目標 / Attainment Objectives

この科目では、次のような技能の習得を目指します。

- 英語の短い講義やプレゼンテーションを聴解できる(要旨を聴き取る; 事実に関する情報をつかむ; 文脈から意味を推測する; ノートを取るなど)。
- グループ・ディスカッションができる(英語で意見を述べ、それを理解・納得させるための論拠を示すことができる; 他の人の意見に賛成や反対の意見を述べることができる; ディスカッションをリードできる; ディスカッションの内容を要約し、報告できるなど)。
- 口頭で短いプレゼンテーションができる(明確な導入と結論のあるプレゼンテーションを構成できる; 例を示しながら要点を説明できる; 論理的構成のための話題展開語句を適切に使用できるなど)。

履修しておくことが望まれる科目 / Required Preparatory Study

授業スケジュール / Course Schedule

授業日(第N回)	テーマ / Theme	キーワード / Key Word
第1回	Orientation	Self-Introduction, Explanation of Attainment Objectives, Procedures, and Grading Methods
第2回	以下の詳細は、担当教員から授業開始第一週に配布されるシラバスを参照	
第3回		
第4回		
第5回		
第6回		
第7回		
第8回		
第9回		
第10回		
第11回		
第12回		
第13回		
第14回		
第15回		

(学部科目 / Undergraduate Courses) 授業外学習の指示 / Recommendations for Private Study
(大学院科目 / Graduate Courses) 授業の方法 / Study Methods

成績評価方法 / Grading Criteria and Method of Evaluation

種別 / Kind	割合 / Percentage	評価基準等 / Grading Criteria etc.
平常点評価	100 %	課題、発表、出席、小テスト、授業参加を含む。詳細は授業で配布されるシラバスを確認すること。2/3 以上の授業に出席した者のみ成績評価の対象となる。出席点のみで単位を認定することはない。
* 日常点評価		
3分の2以上の出席。その他は初回の講義で指示します。		

受講および研究に関するアドバイス / Advice to Students on Study and Research Methods

教科書 / Textbooks

自分のクラスを確認し、指定されているテキストを生協で購入すること。

参考書 / Reference Books

産業社会学部 2008年度「外国語ハンドブック」を参照

参考になる WWW ページ / Web Pages Useful for Reference

英語1 (12)

11650

担当者名 / Instructor SINGER JANE

単位数 / Credit 2

授業の概要 / Course Outline

この科目は、英語の4つの技能を総合的に習得することを目指しますが、特にオーラル・コミュニケーション能力の改善をはかるため、リスニングとスピーキングを重視します。教員は、現代社会、グローバル化、異文化間コミュニケーションなどのテーマについてコンテンツ・ベース・アプローチを用い、英語講義科目の聴解力、グループ・ディスカッションやプレゼンテーションのスキルに重点を置いた授業を行います。学生は、関心あるトピックを選び、多様な媒体(プリント、視聴覚資料、コンピュータなど)を通して、自分の意見を表現することを学びます。また、この科目で学んだプレゼンテーションのスキルの実践の場として、前期に実施される「産業社会学部英語弁論大会」への応募などが考えられます。

到達目標 / Attainment Objectives

この科目では、次のような技能の習得を目指します。

- 英語の短い講義やプレゼンテーションを聴解できる(要旨を聴き取る; 事実に関する情報をつかむ; 文脈から意味を推測する; ノートを取るなど)。
- グループ・ディスカッションができる(英語で意見を述べ、それを理解・納得させるための論拠を示すことができる; 他の人の意見に賛成や反対の意見を述べることができる; ディスカッションをリードできる; ディスカッションの内容を要約し、報告できるなど)。
- 口頭で短いプレゼンテーションができる(明確な導入と結論のあるプレゼンテーションを構成できる; 例を示しながら要点を説明できる; 論理的構成のための話題展開語句を適切に使用できるなど)。

履修しておくことが望まれる科目 / Required Preparatory Study

授業スケジュール / Course Schedule

授業日(第N回)	テーマ / Theme	キーワード / Key Word
第1回	Orientation	Self-Introduction, Explanation of Attainment Objectives, Procedures, and Grading Methods
第2回	以下の詳細は、担当教員から授業開始第一週に配布されるシラバスを参照	
第3回		
第4回		
第5回		
第6回		
第7回		
第8回		
第9回		
第10回		
第11回		
第12回		
第13回		
第14回		
第15回		

(学部科目 / Undergraduate Courses) 授業外学習の指示 / Recommendations for Private Study
 (大学院科目 / Graduate Courses) 授業の方法 / Study Methods

成績評価方法 / Grading Criteria and Method of Evaluation

種別 / Kind	割合 / Percentage	評価基準等 / Grading Criteria etc.
平常点評価	100 %	課題、発表、出席、小テスト、授業参加を含む。詳細は授業で配布されるシラバスを確認すること。2/3 以上の授業に出席した者のみ成績評価の対象となる。出席点のみで単位を認定することはない。
* 日常点評価		
3分の2以上の出席。その他は初回の講義で指示します。		

受講および研究に関するアドバイス / Advice to Students on Study and Research Methods

教科書 / Textbooks

自分のクラスを確認し、指定されているテキストを生協で購入すること。

参考書 / Reference Books

産業社会学部 2008年度「外国語ハンドブック」を参照

参考になる WWW ページ / Web Pages Useful for Reference

その他 / Others

英語1 (13)

11659

担当者名 / Instructor GAROFALO RUSSELL

単位数 / Credit 2

授業の概要 / Course Outline

この科目は、英語の4つの技能を総合的に習得することを目指しますが、特にオーラル・コミュニケーション能力の改善をはかるため、リスニングとスピーキングを重視します。教員は、現代社会、グローバル化、異文化間コミュニケーションなどのテーマについてコンテンツ・ベース・アプローチを用い、英語講義科目の聴解力、グループ・ディスカッションやプレゼンテーションのスキルに重点を置いた授業を行います。学生は、関心あるトピックを選び、多様な媒体(プリント、視聴覚資料、コンピュータなど)を通して、自分の意見を表現することを学びます。また、この科目で学んだプレゼンテーションのスキルの実践の場として、前期に実施される「産業社会学部英語弁論大会」への応募などが考えられます。

到達目標 / Attainment Objectives

この科目では、次のような技能の習得を目指します。

- 英語の短い講義やプレゼンテーションを聴解できる(要旨を聴き取る; 事実に関する情報をつかむ; 文脈から意味を推測する; ノートを取るなど)。
- グループ・ディスカッションができる(英語で意見を述べ、それを理解・納得させるための論拠を示すことができる; 他の人の意見に賛成や反対の意見を述べるができる; ディスカッションをリードできる; ディスカッションの内容を要約し、報告できるなど)。
- 口頭で短いプレゼンテーションができる(明確な導入と結論のあるプレゼンテーションを構成できる; 例を示しながら要点を説明できる; 論理的構成のための話題展開語句を適切に使用できるなど)。

履修しておくことが望まれる科目 / Required Preparatory Study

授業スケジュール / Course Schedule

授業日(第N回)	テーマ / Theme	キーワード / Key Word
第1回	Orientation	Self-Introduction, Explanation of Attainment Objectives, Procedures, and Grading Methods
第2回	以下の詳細は、担当教員から授業開始第一週に配布されるシラバスを参照	
第3回		
第4回		
第5回		
第6回		
第7回		
第8回		
第9回		
第10回		
第11回		
第12回		
第13回		
第14回		
第15回		

(学部科目 / Undergraduate Courses) 授業外学習の指示 / Recommendations for Private Study
 (大学院科目 / Graduate Courses) 授業の方法 / Study Methods

成績評価方法 / Grading Criteria and Method of Evaluation

種別 / Kind	割合 / Percentage	評価基準等 / Grading Criteria etc.
平常点評価	100 %	課題、発表、出席、小テスト、授業参加を含む。詳細は授業で配布されるシラバスを確認すること。2/3 以上の授業に出席した者のみ成績評価の対象となる。出席点のみで単位を認定することはない。
* 日常点評価		
3分の2以上の出席。その他は初回の講義で指示します。		

受講および研究に関するアドバイス / Advice to Students on Study and Research Methods

教科書 / Textbooks

自分のクラスを確認し、指定されているテキストを生協で購入すること。

参考書 / Reference Books

産業社会学部 2008年度「外国語ハンドブック」を参照

参考になる WWW ページ / Web Pages Useful for Reference

英語1 (14)

11660

担当者名 / Instructor McCLUNG ROBERT JOHN

単位数 / Credit 2

授業の概要 / Course Outline

この科目は、英語の4つの技能を総合的に習得することを目指しますが、特にオーラル・コミュニケーション能力の改善をはかるため、リスニングとスピーキングを重視します。教員は、現代社会、グローバル化、異文化間コミュニケーションなどのテーマについてコンテンツ・ベース・アプローチを用い、英語講義科目の聴解力、グループ・ディスカッションやプレゼンテーションのスキルに重点を置いた授業を行います。学生は、関心あるトピックを選び、多様な媒体(プリント、視聴覚資料、コンピュータなど)を通して、自分の意見を表現することを学びます。また、この科目で学んだプレゼンテーションのスキルの実践の場として、前期に実施される「産業社会学部英語弁論大会」への応募などが考えられます。

到達目標 / Attainment Objectives

この科目では、次のような技能の習得を目指します。

- 英語の短い講義やプレゼンテーションを聴解できる(要旨を聴き取る; 事実に関する情報をつかむ; 文脈から意味を推測する; ノートを取るなど)。
- グループ・ディスカッションができる(英語で意見を述べ、それを理解・納得させるための論拠を示すことができる; 他の人の意見に賛成や反対の意見を述べるができる; ディスカッションをリードできる; ディスカッションの内容を要約し、報告できるなど)。
- 口頭で短いプレゼンテーションができる(明確な導入と結論のあるプレゼンテーションを構成できる; 例を示しながら要点を説明できる; 論理的構成のための話題展開語句を適切に使用できるなど)。

履修しておくことが望まれる科目 / Required Preparatory Study

授業スケジュール / Course Schedule

授業日(第N回)	テーマ / Theme	キーワード / Key Word
第1回	Orientation	Self-Introduction, Explanation of Attainment Objectives, Procedures, and Grading Methods
第2回	以下の詳細は、担当教員から授業開始第一週に配布されるシラバスを参照	
第3回		
第4回		
第5回		
第6回		
第7回		
第8回		
第9回		
第10回		
第11回		
第12回		
第13回		
第14回		
第15回		

(学部科目 / Undergraduate Courses) 授業外学習の指示 / Recommendations for Private Study
 (大学院科目 / Graduate Courses) 授業の方法 / Study Methods

成績評価方法 / Grading Criteria and Method of Evaluation

種別 / Kind	割合 / Percentage	評価基準等 / Grading Criteria etc.
平常点評価	100 %	課題、発表、出席、小テスト、授業参加を含む。詳細は授業で配布されるシラバスを確認すること。2/3 以上の授業に出席した者のみ成績評価の対象となる。出席点のみで単位を認定することはない。
* 日常点評価		
3分の2以上の出席。その他は初回の講義で指示します。		

受講および研究に関するアドバイス / Advice to Students on Study and Research Methods

教科書 / Textbooks

自分のクラスを確認し、指定されているテキストを生協で購入すること。

参考書 / Reference Books

産業社会学部 2008年度「外国語ハンドブック」を参照

参考になる WWW ページ / Web Pages Useful for Reference

英語1 (15)

11657

担当者名 / Instructor BARCHUS GALE LESLIE

単位数 / Credit 2

授業の概要 / Course Outline

この科目は、英語の4つの技能を総合的に習得することを目指しますが、特にオーラル・コミュニケーション能力の改善をはかるため、リスニングとスピーキングを重視します。教員は、現代社会、グローバル化、異文化間コミュニケーションなどのテーマについてコンテンツ・ベース・アプローチを用い、英語講義科目の聴解力、グループ・ディスカッションやプレゼンテーションのスキルに重点を置いた授業を行います。学生は、関心あるトピックを選び、多様な媒体(プリント、視聴覚資料、コンピュータなど)を通して、自分の意見を表現することを学びます。また、この科目で学んだプレゼンテーションのスキルの実践の場として、前期に実施される「産業社会学部英語弁論大会」への応募などが考えられます。

到達目標 / Attainment Objectives

この科目では、次のような技能の習得を目指します。

- 英語の短い講義やプレゼンテーションを聴解できる(要旨を聴き取る; 事実に関する情報をつかむ; 文脈から意味を推測する; ノートを取るなど)。
- グループ・ディスカッションができる(英語で意見を述べ、それを理解・納得させるための論拠を示すことができる; 他の人の意見に賛成や反対の意見を述べることができる; ディスカッションをリードできる; ディスカッションの内容を要約し、報告できるなど)。
- 口頭で短いプレゼンテーションができる(明確な導入と結論のあるプレゼンテーションを構成できる; 例を示しながら要点を説明できる; 論理的構成のための話題展開語句を適切に使用できるなど)。

履修しておくことが望まれる科目 / Required Preparatory Study

授業スケジュール / Course Schedule

授業日(第N回)	テーマ / Theme	キーワード / Key Word
第1回	Orientation	Self-Introduction, Explanation of Attainment Objectives, Procedures, and Grading Methods
第2回	以下の詳細は、担当教員から授業開始第一週に配布されるシラバスを参照	
第3回		
第4回		
第5回		
第6回		
第7回		
第8回		
第9回		
第10回		
第11回		
第12回		
第13回		
第14回		
第15回		

(学部科目 / Undergraduate Courses) 授業外学習の指示 / Recommendations for Private Study
 (大学院科目 / Graduate Courses) 授業の方法 / Study Methods

成績評価方法 / Grading Criteria and Method of Evaluation

種別 / Kind	割合 / Percentage	評価基準等 / Grading Criteria etc.
平常点評価	100 %	課題、発表、出席、小テスト、授業参加を含む。詳細は授業で配布されるシラバスを確認すること。2/3 以上の授業に出席した者のみ成績評価の対象となる。出席点のみで単位を認定することはない。
* 日常点評価		
3分の2以上の出席。その他は初回の講義で指示します。		

受講および研究に関するアドバイス / Advice to Students on Study and Research Methods

教科書 / Textbooks

自分のクラスを確認し、指定されているテキストを生協で購入すること。

参考書 / Reference Books

産業社会学部 2008年度「外国語ハンドブック」を参照

参考になる WWW ページ / Web Pages Useful for Reference

英語1 (16)

11651

担当者名 / Instructor RAMIREZ REYMIE

単位数 / Credit 2

授業の概要 / Course Outline

この科目は、英語の4つの技能を総合的に習得することを目指しますが、特にオーラル・コミュニケーション能力の改善をはかるため、リスニングとスピーキングを重視します。教員は、現代社会、グローバル化、異文化間コミュニケーションなどのテーマについてコンテンツ・ベース・アプローチを用い、英語講義科目の聴解力、グループ・ディスカッションやプレゼンテーションのスキルに重点を置いた授業を行います。学生は、関心あるトピックを選び、多様な媒体(プリント、視聴覚資料、コンピュータなど)を通して、自分の意見を表現することを学びます。また、この科目で学んだプレゼンテーションのスキルの実践の場として、前期に実施される「産業社会学部英語弁論大会」への応募などが考えられます。

到達目標 / Attainment Objectives

この科目では、次のような技能の習得を目指します。

- 英語の短い講義やプレゼンテーションを聴解できる(要旨を聴き取る; 事実に関する情報をつかむ; 文脈から意味を推測する; ノートを取るなど)。
- グループ・ディスカッションができる(英語で意見を述べ、それを理解・納得させるための論拠を示すことができる; 他の人の意見に賛成や反対の意見を述べるができる; ディスカッションをリードできる; ディスカッションの内容を要約し、報告できるなど)。
- 口頭で短いプレゼンテーションができる(明確な導入と結論のあるプレゼンテーションを構成できる; 例を示しながら要点を説明できる; 論理的構成のための話題展開語句を適切に使用できるなど)。

履修しておくことが望まれる科目 / Required Preparatory Study

授業スケジュール / Course Schedule

授業日(第N回)	テーマ / Theme	キーワード / Key Word
第1回	Orientation	Self-Introduction, Explanation of Attainment Objectives, Procedures, and Grading Methods
第2回	以下の詳細は、担当教員から授業開始第一週に配布されるシラバスを参照	
第3回		
第4回		
第5回		
第6回		
第7回		
第8回		
第9回		
第10回		
第11回		
第12回		
第13回		
第14回		
第15回		

(学部科目 / Undergraduate Courses) 授業外学習の指示 / Recommendations for Private Study
(大学院科目 / Graduate Courses) 授業の方法 / Study Methods

成績評価方法 / Grading Criteria and Method of Evaluation

種別 / Kind	割合 / Percentage	評価基準等 / Grading Criteria etc.
平常点評価	100 %	課題、発表、出席、小テスト、授業参加を含む。詳細は授業で配布されるシラバスを確認すること。2/3 以上の授業に出席した者のみ成績評価の対象となる。出席点のみで単位を認定することはない。
* 日常点評価 3分の2以上の出席。その他は初回の講義で指示します。		

受講および研究に関するアドバイス / Advice to Students on Study and Research Methods

教科書 / Textbooks

自分のクラスを確認し、指定されているテキストを生協で購入すること。

参考書 / Reference Books

産業社会学部 2008年度「外国語ハンドブック」を参照

参考になる WWW ページ / Web Pages Useful for Reference

英語1 (17)

11661

担当者名 / Instructor PARRISH MICHAEL M.

単位数 / Credit 2

授業の概要 / Course Outline

この科目は、英語の4つの技能を総合的に習得することを目指しますが、特にオーラル・コミュニケーション能力の改善をはかるため、リスニングとスピーキングを重視します。教員は、現代社会、グローバル化、異文化間コミュニケーションなどのテーマについてコンテンツ・ベース・アプローチを用い、英語講義科目の聴解力、グループ・ディスカッションやプレゼンテーションのスキルに重点を置いた授業を行います。学生は、関心あるトピックを選び、多様な媒体(プリント、視聴覚資料、コンピュータなど)を通して、自分の意見を表現することを学びます。また、この科目で学んだプレゼンテーションのスキルの実践の場として、前期に実施される「産業社会学部英語弁論大会」への応募などが考えられます。

到達目標 / Attainment Objectives

この科目では、次のような技能の習得を目指します。

- 英語の短い講義やプレゼンテーションを聴解できる(要旨を聴き取る; 事実に関する情報をつかむ; 文脈から意味を推測する; ノートを取るなど)。
- グループ・ディスカッションができる(英語で意見を述べ、それを理解・納得させるための論拠を示すことができる; 他の人の意見に賛成や反対の意見を述べることができる; ディスカッションをリードできる; ディスカッションの内容を要約し、報告できるなど)。
- 口頭で短いプレゼンテーションができる(明確な導入と結論のあるプレゼンテーションを構成できる; 例を示しながら要点を説明できる; 論理的構成のための話題展開語句を適切に使用できるなど)。

履修しておくことが望まれる科目 / Required Preparatory Study

授業スケジュール / Course Schedule

授業日(第N回)	テーマ / Theme	キーワード / Key Word
第1回	Orientation	Self-Introduction, Explanation of Attainment Objectives, Procedures, and Grading Methods
第2回	以下の詳細は、担当教員から授業開始第一週に配布されるシラバスを参照	
第3回		
第4回		
第5回		
第6回		
第7回		
第8回		
第9回		
第10回		
第11回		
第12回		
第13回		
第14回		
第15回		

(学部科目 / Undergraduate Courses) 授業外学習の指示 / Recommendations for Private Study
(大学院科目 / Graduate Courses) 授業の方法 / Study Methods

成績評価方法 / Grading Criteria and Method of Evaluation

種別 / Kind	割合 / Percentage	評価基準等 / Grading Criteria etc.
平常点評価	100 %	課題、発表、出席、小テスト、授業参加を含む。詳細は授業で配布されるシラバスを確認すること。2/3 以上の授業に出席した者のみ成績評価の対象となる。出席点のみで単位を認定することはない。
* 日常点評価 3分の2以上の出席。その他は初回の講義で指示します。		

受講および研究に関するアドバイス / Advice to Students on Study and Research Methods

教科書 / Textbooks

自分のクラスを確認し、指定されているテキストを生協で購入すること。

参考書 / Reference Books

産業社会学部 2008年度「外国語ハンドブック」を参照

参考になる WWW ページ / Web Pages Useful for Reference

英語1 (18)

11662

担当者名 / Instructor DUQUETTE JEAN-PAUL

単位数 / Credit 2

授業の概要 / Course Outline

この科目は、英語の4つの技能を総合的に習得することを目指しますが、特にオーラル・コミュニケーション能力の改善をはかるため、リスニングとスピーキングを重視します。教員は、現代社会、グローバル化、異文化間コミュニケーションなどのテーマについてコンテンツ・ベース・アプローチを用い、英語講義科目の聴解力、グループ・ディスカッションやプレゼンテーションのスキルに重点を置いた授業を行います。学生は、関心あるトピックを選び、多様な媒体(プリント、視聴覚資料、コンピュータなど)を通して、自分の意見を表現することを学びます。また、この科目で学んだプレゼンテーションのスキルの実践の場として、前期に実施される「産業社会学部英語弁論大会」への応募などが考えられます。

到達目標 / Attainment Objectives

この科目では、次のような技能の習得を目指します。

- 英語の短い講義やプレゼンテーションを聴解できる(要旨を聴き取る; 事実に関する情報をつかむ; 文脈から意味を推測する; ノートを取るなど)。
- グループ・ディスカッションができる(英語で意見を述べ、それを理解・納得させるための論拠を示すことができる; 他の人の意見に賛成や反対の意見を述べるができる; ディスカッションをリードできる; ディスカッションの内容を要約し、報告できるなど)。
- 口頭で短いプレゼンテーションができる(明確な導入と結論のあるプレゼンテーションを構成できる; 例を示しながら要点を説明できる; 論理的構成のための話題展開語句を適切に使用できるなど)。

履修しておくことが望まれる科目 / Required Preparatory Study

授業スケジュール / Course Schedule

授業日(第N回)	テーマ / Theme	キーワード / Key Word
第1回	Orientation	Self-Introduction, Explanation of Attainment Objectives, Procedures, and Grading Methods
第2回	以下の詳細は、担当教員から授業開始第一週に配布されるシラバスを参照	
第3回		
第4回		
第5回		
第6回		
第7回		
第8回		
第9回		
第10回		
第11回		
第12回		
第13回		
第14回		
第15回		

(学部科目 / Undergraduate Courses) 授業外学習の指示 / Recommendations for Private Study
(大学院科目 / Graduate Courses) 授業の方法 / Study Methods

成績評価方法 / Grading Criteria and Method of Evaluation

種別 / Kind	割合 / Percentage	評価基準等 / Grading Criteria etc.
平常点評価	100 %	課題、発表、出席、小テスト、授業参加を含む。詳細は授業で配布されるシラバスを確認すること。2/3 以上の授業に出席した者のみ成績評価の対象となる。出席点のみで単位を認定することはない。
* 日常点評価		3分の2以上の出席。その他は初回の講義で指示します。

受講および研究に関するアドバイス / Advice to Students on Study and Research Methods

教科書 / Textbooks

自分のクラスを確認し、指定されているテキストを生協で購入すること。

参考書 / Reference Books

産業社会学部 2008年度「外国語ハンドブック」を参照

参考になる WWW ページ / Web Pages Useful for Reference

英語1 (19)

11654

担当者名 / Instructor AMUNDRUD THOMAS

単位数 / Credit 2

授業の概要 / Course Outline

この科目は、英語の4つの技能を総合的に習得することを目指しますが、特にオーラル・コミュニケーション能力の改善をはかるため、リスニングとスピーキングを重視します。教員は、現代社会、グローバル化、異文化間コミュニケーションなどのテーマについてコンテンツ・ベース・アプローチを用い、英語講義科目の聴解力、グループ・ディスカッションやプレゼンテーションのスキルに重点を置いた授業を行います。学生は、関心あるトピックを選び、多様な媒体(プリント、視聴覚資料、コンピュータなど)を通して、自分の意見を表現することを学びます。また、この科目で学んだプレゼンテーションのスキルの実践の場として、前期に実施される「産業社会学部英語弁論大会」への応募などが考えられます。

到達目標 / Attainment Objectives

この科目では、次のような技能の習得を目指します。

- 英語の短い講義やプレゼンテーションを聴解できる(要旨を聴き取る; 事実に関する情報をつかむ; 文脈から意味を推測する; ノートを取るなど)。
- グループ・ディスカッションができる(英語で意見を述べ、それを理解・納得させるための論拠を示すことができる; 他の人の意見に賛成や反対の意見を述べることができる; ディスカッションをリードできる; ディスカッションの内容を要約し、報告できるなど)。
- 口頭で短いプレゼンテーションができる(明確な導入と結論のあるプレゼンテーションを構成できる; 例を示しながら要点を説明できる; 論理的構成のための話題展開語句を適切に使用できるなど)。

履修しておくことが望まれる科目 / Required Preparatory Study

授業スケジュール / Course Schedule

授業日(第N回)	テーマ / Theme	キーワード / Key Word
第1回	Orientation	Self-Introduction, Explanation of Attainment Objectives, Procedures, and Grading Methods
第2回	以下の詳細は、担当教員から授業開始第一週に配布されるシラバスを参照	
第3回		
第4回		
第5回		
第6回		
第7回		
第8回		
第9回		
第10回		
第11回		
第12回		
第13回		
第14回		
第15回		

(学部科目 / Undergraduate Courses) 授業外学習の指示 / Recommendations for Private Study
 (大学院科目 / Graduate Courses) 授業の方法 / Study Methods

成績評価方法 / Grading Criteria and Method of Evaluation

種別 / Kind	割合 / Percentage	評価基準等 / Grading Criteria etc.
平常点評価	100 %	課題、発表、出席、小テスト、授業参加を含む。詳細は授業で配布されるシラバスを確認すること。2/3 以上の授業に出席した者のみ成績評価の対象となる。出席点のみで単位を認定することはない。
* 日常点評価		
3分の2以上の出席。その他は初回の講義で指示します。		

受講および研究に関するアドバイス / Advice to Students on Study and Research Methods

教科書 / Textbooks

自分のクラスを確認し、指定されているテキストを生協で購入すること。

参考書 / Reference Books

産業社会学部 2008年度「外国語ハンドブック」を参照

参考になる WWW ページ / Web Pages Useful for Reference

その他 / Others

英語1 (20)

11655

担当者名 / Instructor DOWLING ANDREW G

単位数 / Credit 2

授業の概要 / Course Outline

この科目は、英語の4つの技能を総合的に習得することを目指しますが、特にオーラル・コミュニケーション能力の改善をはかるため、リスニングとスピーキングを重視します。教員は、現代社会、グローバル化、異文化間コミュニケーションなどのテーマについてコンテンツ・ベース・アプローチを用い、英語講義科目の聴解力、グループ・ディスカッションやプレゼンテーションのスキルに重点を置いた授業を行います。学生は、関心あるトピックを選び、多様な媒体(プリント、視聴覚資料、コンピュータなど)を通して、自分の意見を表現することを学びます。また、この科目で学んだプレゼンテーションのスキルの実践の場として、前期に実施される「産業社会学部英語弁論大会」への応募などが考えられます。

到達目標 / Attainment Objectives

この科目では、次のような技能の習得を目指します。

- 英語の短い講義やプレゼンテーションを聴解できる(要旨を聴き取る; 事実に関する情報をつかむ; 文脈から意味を推測する; ノートを取るなど)。
- グループ・ディスカッションができる(英語で意見を述べ、それを理解・納得させるための論拠を示すことができる; 他の人の意見に賛成や反対の意見を述べることができる; ディスカッションをリードできる; ディスカッションの内容を要約し、報告できるなど)。
- 口頭で短いプレゼンテーションができる(明確な導入と結論のあるプレゼンテーションを構成できる; 例を示しながら要点を説明できる; 論理的構成のための話題展開語句を適切に使用できるなど)。

履修しておくことが望まれる科目 / Required Preparatory Study

授業スケジュール / Course Schedule

授業日(第N回)	テーマ / Theme	キーワード / Key Word
第1回	Orientation	Self-Introduction, Explanation of Attainment Objectives, Procedures, and Grading Methods
第2回	以下の詳細は、担当教員から授業開始第一週に配布されるシラバスを参照	
第3回		
第4回		
第5回		
第6回		
第7回		
第8回		
第9回		
第10回		
第11回		
第12回		
第13回		
第14回		
第15回		

(学部科目 / Undergraduate Courses) 授業外学習の指示 / Recommendations for Private Study
 (大学院科目 / Graduate Courses) 授業の方法 / Study Methods

成績評価方法 / Grading Criteria and Method of Evaluation

種別 / Kind	割合 / Percentage	評価基準等 / Grading Criteria etc.
平常点評価	100 %	課題、発表、出席、小テスト、授業参加を含む。詳細は授業で配布されるシラバスを確認すること。2/3 以上の授業に出席した者のみ成績評価の対象となる。出席点のみで単位を認定することはない。
* 日常点評価		
3分の2以上の出席。その他は初回の講義で指示します。		

受講および研究に関するアドバイス / Advice to Students on Study and Research Methods

教科書 / Textbooks

自分のクラスを確認し、指定されているテキストを生協で購入すること。

参考書 / Reference Books

産業社会学部 2008年度「外国語ハンドブック」を参照

参考になる WWW ページ / Web Pages Useful for Reference

その他 / Others

英語1 (21)

11652

担当者名 / Instructor VARELA WYNNPAUL

単位数 / Credit 2

授業の概要 / Course Outline

この科目は、英語の4つの技能を総合的に習得することを目指しますが、特にオーラル・コミュニケーション能力の改善をはかるため、リスニングとスピーキングを重視します。教員は、現代社会、グローバル化、異文化間コミュニケーションなどのテーマについてコンテンツ・ベース・アプローチを用い、英語講義科目の聴解力、グループ・ディスカッションやプレゼンテーションのスキルに重点を置いた授業を行います。学生は、関心あるトピックを選び、多様な媒体(プリント、視聴覚資料、コンピュータなど)を通して、自分の意見を表現することを学びます。また、この科目で学んだプレゼンテーションのスキルの実践の場として、前期に実施される「産業社会学部英語弁論大会」への応募などが考えられます。

到達目標 / Attainment Objectives

この科目では、次のような技能の習得を目指します。

- 英語の短い講義やプレゼンテーションを聴解できる(要旨を聴き取る; 事実に関する情報をつかむ; 文脈から意味を推測する; ノートを取るなど)。
- グループ・ディスカッションができる(英語で意見を述べ、それを理解・納得させるための論拠を示すことができる; 他の人の意見に賛成や反対の意見を述べることができる; ディスカッションをリードできる; ディスカッションの内容を要約し、報告できるなど)。
- 口頭で短いプレゼンテーションができる(明確な導入と結論のあるプレゼンテーションを構成できる; 例を示しながら要点を説明できる; 論理的構成のための話題展開語句を適切に使用できるなど)。

履修しておくことが望まれる科目 / Required Preparatory Study

授業スケジュール / Course Schedule

授業日(第N回)	テーマ / Theme	キーワード / Key Word
第1回	Orientation	Self-Introduction, Explanation of Attainment Objectives, Procedures, and Grading Methods
第2回	以下の詳細は、担当教員から授業開始第一週に配布されるシラバスを参照	
第3回		
第4回		
第5回		
第6回		
第7回		
第8回		
第9回		
第10回		
第11回		
第12回		
第13回		
第14回		
第15回		

(学部科目 / Undergraduate Courses) 授業外学習の指示 / Recommendations for Private Study
 (大学院科目 / Graduate Courses) 授業の方法 / Study Methods

成績評価方法 / Grading Criteria and Method of Evaluation

種別 / Kind	割合 / Percentage	評価基準等 / Grading Criteria etc.
平常点評価	100 %	課題、発表、出席、小テスト、授業参加を含む。詳細は授業で配布されるシラバスを確認すること。2/3 以上の授業に出席した者のみ成績評価の対象となる。出席点のみで単位を認定することはない。
* 日常点評価		
3分の2以上の出席。その他は初回の講義で指示します。		

受講および研究に関するアドバイス / Advice to Students on Study and Research Methods

教科書 / Textbooks

自分のクラスを確認し、指定されているテキストを生協で購入すること。

参考書 / Reference Books

産業社会学部 2008年度「外国語ハンドブック」を参照

参考になる WWW ページ / Web Pages Useful for Reference

その他 / Others

英語1 (22)

11656

担当者名 / Instructor WOOLLOCK ANDREW

単位数 / Credit 2

授業の概要 / Course Outline

この科目は、英語の4つの技能を総合的に習得することを目指しますが、特にオーラル・コミュニケーション能力の改善をはかるため、リスニングとスピーキングを重視します。教員は、現代社会、グローバル化、異文化間コミュニケーションなどのテーマについてコンテンツ・ベース・アプローチを用い、英語講義科目の聴解力、グループ・ディスカッションやプレゼンテーションのスキルに重点を置いた授業を行います。学生は、関心あるトピックを選び、多様な媒体(プリント、視聴覚資料、コンピュータなど)を通して、自分の意見を表現することを学びます。また、この科目で学んだプレゼンテーションのスキルの実践の場として、前期に実施される「産業社会学部英語弁論大会」への応募などが考えられます。

到達目標 / Attainment Objectives

この科目では、次のような技能の習得を目指します。

- 英語の短い講義やプレゼンテーションを聴解できる(要旨を聴き取る; 事実に関する情報をつかむ; 文脈から意味を推測する; ノートを取るなど)。
- グループ・ディスカッションができる(英語で意見を述べ、それを理解・納得させるための論拠を示すことができる; 他の人の意見に賛成や反対の意見を述べるができる; ディスカッションをリードできる; ディスカッションの内容を要約し、報告できるなど)。
- 口頭で短いプレゼンテーションができる(明確な導入と結論のあるプレゼンテーションを構成できる; 例を示しながら要点を説明できる; 論理的構成のための話題展開語句を適切に使用できるなど)。

履修しておくことが望まれる科目 / Required Preparatory Study

授業スケジュール / Course Schedule

授業日(第N回)	テーマ / Theme	キーワード / Key Word
第1回	Orientation	Self-Introduction, Explanation of Attainment Objectives, Procedures, and Grading Methods
第2回	以下の詳細は、担当教員から授業開始第一週に配布されるシラバスを参照	
第3回		
第4回		
第5回		
第6回		
第7回		
第8回		
第9回		
第10回		
第11回		
第12回		
第13回		
第14回		
第15回		

(学部科目 / Undergraduate Courses) 授業外学習の指示 / Recommendations for Private Study
 (大学院科目 / Graduate Courses) 授業の方法 / Study Methods

成績評価方法 / Grading Criteria and Method of Evaluation

種別 / Kind	割合 / Percentage	評価基準等 / Grading Criteria etc.
平常点評価	100 %	課題、発表、出席、小テスト、授業参加を含む。詳細は授業で配布されるシラバスを確認すること。2/3 以上の授業に出席した者のみ成績評価の対象となる。出席点のみで単位を認定することはない。
* 日常点評価		
3分の2以上の出席。その他は初回の講義で指示します。		

受講および研究に関するアドバイス / Advice to Students on Study and Research Methods

教科書 / Textbooks

自分のクラスを確認し、指定されているテキストを生協で購入すること。

参考書 / Reference Books

産業社会学部 2008年度「外国語ハンドブック」を参照

参考になる WWW ページ / Web Pages Useful for Reference

その他 / Others

英語1 (23)

11653

担当者名 / Instructor BONANG RICHARD F.

単位数 / Credit 2

授業の概要 / Course Outline

この科目は、英語の4つの技能を総合的に習得することを目指しますが、特にオーラル・コミュニケーション能力の改善をはかるため、リスニングとスピーキングを重視します。教員は、現代社会、グローバル化、異文化間コミュニケーションなどのテーマについてコンテンツ・ベース・アプローチを用い、英語講義科目の聴解力、グループ・ディスカッションやプレゼンテーションのスキルに重点を置いた授業を行います。学生は、関心あるトピックを選び、多様な媒体(プリント、視聴覚資料、コンピュータなど)を通して、自分の意見を表現することを学びます。また、この科目で学んだプレゼンテーションのスキルの実践の場として、前期に実施される「産業社会学部英語弁論大会」への応募などが考えられます。

到達目標 / Attainment Objectives

この科目では、次のような技能の習得を目指します。

- 英語の短い講義やプレゼンテーションを聴解できる(要旨を聴き取る; 事実に関する情報をつかむ; 文脈から意味を推測する; ノートを取るなど)。
- グループ・ディスカッションができる(英語で意見を述べ、それを理解・納得させるための論拠を示すことができる; 他の人の意見に賛成や反対の意見を述べることができる; ディスカッションをリードできる; ディスカッションの内容を要約し、報告できるなど)。
- 口頭で短いプレゼンテーションができる(明確な導入と結論のあるプレゼンテーションを構成できる; 例を示しながら要点を説明できる; 論理的構成のための話題展開語句を適切に使用できるなど)。

履修しておくことが望まれる科目 / Required Preparatory Study

授業スケジュール / Course Schedule

授業日(第N回)	テーマ / Theme	キーワード / Key Word
第1回	Orientation	Self-Introduction, Explanation of Attainment Objectives, Procedures, and Grading Methods
第2回	以下の詳細は、担当教員から授業開始第一週に配布されるシラバスを参照	
第3回		
第4回		
第5回		
第6回		
第7回		
第8回		
第9回		
第10回		
第11回		
第12回		
第13回		
第14回		
第15回		

(学部科目 / Undergraduate Courses) 授業外学習の指示 / Recommendations for Private Study
 (大学院科目 / Graduate Courses) 授業の方法 / Study Methods

成績評価方法 / Grading Criteria and Method of Evaluation

種別 / Kind	割合 / Percentage	評価基準等 / Grading Criteria etc.
平常点評価	100 %	課題、発表、出席、小テスト、授業参加を含む。詳細は授業で配布されるシラバスを確認すること。2/3 以上の授業に出席した者のみ成績評価の対象となる。出席点のみで単位を認定することはない。
* 日常点評価		
3分の2以上の出席。その他は初回の講義で指示します。		

受講および研究に関するアドバイス / Advice to Students on Study and Research Methods

教科書 / Textbooks

自分のクラスを確認し、指定されているテキストを生協で購入すること。

参考書 / Reference Books

産業社会学部 2008年度「外国語ハンドブック」を参照

参考になる WWW ページ / Web Pages Useful for Reference

その他 / Others

英語1 (24)

11658

担当者名 / Instructor PARKER MALCOLM E.

単位数 / Credit 2

授業の概要 / Course Outline

この科目は、英語の4つの技能を総合的に習得することを目指しますが、特にオーラル・コミュニケーション能力の改善をはかるため、リスニングとスピーキングを重視します。教員は、現代社会、グローバル化、異文化間コミュニケーションなどのテーマについてコンテンツ・ベース・アプローチを用い、英語講義科目の聴解力、グループ・ディスカッションやプレゼンテーションのスキルに重点を置いた授業を行います。学生は、関心あるトピックを選び、多様な媒体(プリント、視聴覚資料、コンピュータなど)を通して、自分の意見を表現することを学びます。また、この科目で学んだプレゼンテーションのスキルの実践の場として、前期に実施される「産業社会学部英語弁論大会」への応募などが考えられます。

到達目標 / Attainment Objectives

この科目では、次のような技能の習得を目指します。

- 英語の短い講義やプレゼンテーションを聴解できる(要旨を聴き取る; 事実に関する情報をつかむ; 文脈から意味を推測する; ノートを取るなど)。
- グループ・ディスカッションができる(英語で意見を述べ、それを理解・納得させるための論拠を示すことができる; 他の人の意見に賛成や反対の意見を述べることができる; ディスカッションをリードできる; ディスカッションの内容を要約し、報告できるなど)。
- 口頭で短いプレゼンテーションができる(明確な導入と結論のあるプレゼンテーションを構成できる; 例を示しながら要点を説明できる; 論理的構成のための話題展開語句を適切に使用できるなど)。

履修しておくことが望まれる科目 / Required Preparatory Study

授業スケジュール / Course Schedule

授業日(第N回)	テーマ / Theme	キーワード / Key Word
第1回	Orientation	Self-Introduction, Explanation of Attainment Objectives, Procedures, and Grading Methods
第2回	以下の詳細は、担当教員から授業開始第一週に配布されるシラバスを参照	
第3回		
第4回		
第5回		
第6回		
第7回		
第8回		
第9回		
第10回		
第11回		
第12回		
第13回		
第14回		
第15回		

(学部科目 / Undergraduate Courses) 授業外学習の指示 / Recommendations for Private Study
 (大学院科目 / Graduate Courses) 授業の方法 / Study Methods

成績評価方法 / Grading Criteria and Method of Evaluation

種別 / Kind	割合 / Percentage	評価基準等 / Grading Criteria etc.
平常点評価	100 %	課題、発表、出席、小テスト、授業参加を含む。詳細は授業で配布されるシラバスを確認すること。2/3 以上の授業に出席した者のみ成績評価の対象となる。出席点のみで単位を認定することはない。
* 日常点評価		
3分の2以上の出席。その他は初回の講義で指示します。		

受講および研究に関するアドバイス / Advice to Students on Study and Research Methods

教科書 / Textbooks

自分のクラスを確認し、指定されているテキストを生協で購入すること。

参考書 / Reference Books

産業社会学部 2008年度「外国語ハンドブック」を参照

参考になる WWW ページ / Web Pages Useful for Reference

英語1 (25)

11804

担当者名 / Instructor HOSACK IAN

単位数 / Credit 2

授業の概要 / Course Outline

この科目は、英語の4つの技能を総合的に習得することを目指しますが、特にオーラル・コミュニケーション能力の改善をはかるため、リスニングとスピーキングを重視します。教員は、現代社会、グローバル化、異文化間コミュニケーションなどのテーマについてコンテンツ・ベース・アプローチを用い、英語講義科目の聴解力、グループ・ディスカッションやプレゼンテーションのスキルに重点を置いた授業を行います。学生は、関心あるトピックを選び、多様な媒体(プリント、視聴覚資料、コンピュータなど)を通して、自分の意見を表現することを学びます。また、この科目で学んだプレゼンテーションのスキルの実践の場として、前期に実施される「産業社会学部英語弁論大会」への応募などが考えられます。

到達目標 / Attainment Objectives

この科目では、次のような技能の習得を目指します。

- 英語の短い講義やプレゼンテーションを聴解できる(要旨を聴き取る; 事実に関する情報をつかむ; 文脈から意味を推測する; ノートを取るなど)。
- グループ・ディスカッションができる(英語で意見を述べ、それを理解・納得させるための論拠を示すことができる; 他の人の意見に賛成や反対の意見を述べることができる; ディスカッションをリードできる; ディスカッションの内容を要約し、報告できるなど)。
- 口頭で短いプレゼンテーションができる(明確な導入と結論のあるプレゼンテーションを構成できる; 例を示しながら要点を説明できる; 論理的構成のための話題展開語句を適切に使用できるなど)。

履修しておくことが望まれる科目 / Required Preparatory Study

授業スケジュール / Course Schedule

授業日(第N回)	テーマ / Theme	キーワード / Key Word
第1回	Orientation	Self-Introduction, Explanation of Attainment Objectives, Procedures, and Grading Methods
第2回	以下の詳細は、担当教員から授業開始第一週に配布されるシラバスを参照	
第3回		
第4回		
第5回		
第6回		
第7回		
第8回		
第9回		
第10回		
第11回		
第12回		
第13回		
第14回		
第15回		

(学部科目 / Undergraduate Courses) 授業外学習の指示 / Recommendations for Private Study
(大学院科目 / Graduate Courses) 授業の方法 / Study Methods

成績評価方法 / Grading Criteria and Method of Evaluation

種別 / Kind	割合 / Percentage	評価基準等 / Grading Criteria etc.
平常点評価	100 %	課題、発表、出席、小テスト、授業参加を含む。詳細は授業で配布されるシラバスを確認すること。2/3 以上の授業に出席した者のみ成績評価の対象となる。出席点のみで単位を認定することはない。
* 日常点評価 3分の2以上の出席。その他は初回の講義で指示します。		

受講および研究に関するアドバイス / Advice to Students on Study and Research Methods

教科書 / Textbooks

自分のクラスを確認し、指定されているテキストを生協で購入すること。

参考書 / Reference Books

産業社会学部 2008年度「外国語ハンドブック」を参照

参考になる WWW ページ / Web Pages Useful for Reference

その他 / Others

英語1 (26)

11802

担当者名 / Instructor HOVEY ANDREW G.

単位数 / Credit 2

授業の概要 / Course Outline

この科目は、英語の4つの技能を総合的に習得することを目指しますが、特にオーラル・コミュニケーション能力の改善をはかるため、リスニングとスピーキングを重視します。教員は、現代社会、グローバル化、異文化間コミュニケーションなどのテーマについてコンテンツ・ベース・アプローチを用い、英語講義科目の聴解力、グループ・ディスカッションやプレゼンテーションのスキルに重点を置いた授業を行います。学生は、関心あるトピックを選び、多様な媒体(プリント、視聴覚資料、コンピュータなど)を通して、自分の意見を表現することを学びます。また、この科目で学んだプレゼンテーションのスキルの実践の場として、前期に実施される「産業社会学部英語弁論大会」への応募などが考えられます。

到達目標 / Attainment Objectives

この科目では、次のような技能の習得を目指します。

- 英語の短い講義やプレゼンテーションを聴解できる(要旨を聴き取る; 事実に関する情報をつかむ; 文脈から意味を推測する; ノートを取るなど)。
- グループ・ディスカッションができる(英語で意見を述べ、それを理解・納得させるための論拠を示すことができる; 他の人の意見に賛成や反対の意見を述べることができる; ディスカッションをリードできる; ディスカッションの内容を要約し、報告できるなど)。
- 口頭で短いプレゼンテーションができる(明確な導入と結論のあるプレゼンテーションを構成できる; 例を示しながら要点を説明できる; 論理的構成のための話題展開語句を適切に使用できるなど)。

履修しておくことが望まれる科目 / Required Preparatory Study

授業スケジュール / Course Schedule

授業日(第N回)	テーマ / Theme	キーワード / Key Word
第1回	Orientation	Self-Introduction, Explanation of Attainment Objectives, Procedures, and Grading Methods
第2回	以下の詳細は、担当教員から授業開始第一週に配布されるシラバスを参照	
第3回		
第4回		
第5回		
第6回		
第7回		
第8回		
第9回		
第10回		
第11回		
第12回		
第13回		
第14回		
第15回		

(学部科目 / Undergraduate Courses) 授業外学習の指示 / Recommendations for Private Study
(大学院科目 / Graduate Courses) 授業の方法 / Study Methods

成績評価方法 / Grading Criteria and Method of Evaluation

種別 / Kind	割合 / Percentage	評価基準等 / Grading Criteria etc.
平常点評価	100 %	課題、発表、出席、小テスト、授業参加を含む。詳細は授業で配布されるシラバスを確認すること。2/3 以上の授業に出席した者のみ成績評価の対象となる。出席点のみで単位を認定することはない。
* 日常点評価 3分の2以上の出席。その他は初回の講義で指示します。		

受講および研究に関するアドバイス / Advice to Students on Study and Research Methods

教科書 / Textbooks

自分のクラスを確認し、指定されているテキストを生協で購入すること。

参考書 / Reference Books

産業社会学部 2008年度「外国語ハンドブック」を参照

参考になる WWW ページ / Web Pages Useful for Reference

英語1 (27)

11803

担当者名 / Instructor BONANG RICHARD F.

単位数 / Credit 2

授業の概要 / Course Outline

この科目は、英語の4つの技能を総合的に習得することを目指しますが、特にオーラル・コミュニケーション能力の改善をはかるため、リスニングとスピーキングを重視します。教員は、現代社会、グローバル化、異文化間コミュニケーションなどのテーマについてコンテンツ・ベース・アプローチを用い、英語講義科目の聴解力、グループ・ディスカッションやプレゼンテーションのスキルに重点を置いた授業を行います。学生は、関心あるトピックを選び、多様な媒体(プリント、視聴覚資料、コンピュータなど)を通して、自分の意見を表現することを学びます。また、この科目で学んだプレゼンテーションのスキルの実践の場として、前期に実施される「産業社会学部英語弁論大会」への応募などが考えられます。

到達目標 / Attainment Objectives

この科目では、次のような技能の習得を目指します。

- 英語の短い講義やプレゼンテーションを聴解できる(要旨を聴き取る; 事実に関する情報をつかむ; 文脈から意味を推測する; ノートを取るなど)。
- グループ・ディスカッションができる(英語で意見を述べ、それを理解・納得させるための論拠を示すことができる; 他の人の意見に賛成や反対の意見を述べるができる; ディスカッションをリードできる; ディスカッションの内容を要約し、報告できるなど)。
- 口頭で短いプレゼンテーションができる(明確な導入と結論のあるプレゼンテーションを構成できる; 例を示しながら要点を説明できる; 論理的構成のための話題展開語句を適切に使用できるなど)。

履修しておくことが望まれる科目 / Required Preparatory Study

授業スケジュール / Course Schedule

授業日(第N回)	テーマ / Theme	キーワード / Key Word
第1回	Orientation	Self-Introduction, Explanation of Attainment Objectives, Procedures, and Grading Methods
第2回	以下の詳細は、担当教員から授業開始第一週に配布されるシラバスを参照	
第3回		
第4回		
第5回		
第6回		
第7回		
第8回		
第9回		
第10回		
第11回		
第12回		
第13回		
第14回		
第15回		

(学部科目 / Undergraduate Courses) 授業外学習の指示 / Recommendations for Private Study
 (大学院科目 / Graduate Courses) 授業の方法 / Study Methods

成績評価方法 / Grading Criteria and Method of Evaluation

種別 / Kind	割合 / Percentage	評価基準等 / Grading Criteria etc.
平常点評価	100 %	課題、発表、出席、小テスト、授業参加を含む。詳細は授業で配布されるシラバスを確認すること。2/3 以上の授業に出席した者のみ成績評価の対象となる。出席点のみで単位を認定することはない。
* 日常点評価		
3分の2以上の出席。その他は初回の講義で指示します。		

受講および研究に関するアドバイス / Advice to Students on Study and Research Methods

教科書 / Textbooks

自分のクラスを確認し、指定されているテキストを生協で購入すること。

参考書 / Reference Books

産業社会学部 2008年度「外国語ハンドブック」を参照

参考になる WWW ページ / Web Pages Useful for Reference

その他 / Others

英語1 (28)

11806

担当者名 / Instructor GAROFALO RUSSELL

単位数 / Credit 2

授業の概要 / Course Outline

この科目は、英語の4つの技能を総合的に習得することを目指しますが、特にオーラル・コミュニケーション能力の改善をはかるため、リスニングとスピーキングを重視します。教員は、現代社会、グローバル化、異文化間コミュニケーションなどのテーマについてコンテンツ・ベース・アプローチを用い、英語講義科目の聴解力、グループ・ディスカッションやプレゼンテーションのスキルに重点を置いた授業を行います。学生は、関心あるトピックを選び、多様な媒体(プリント、視聴覚資料、コンピュータなど)を通して、自分の意見を表現することを学びます。また、この科目で学んだプレゼンテーションのスキルの実践の場として、前期に実施される「産業社会学部英語弁論大会」への応募などが考えられます。

到達目標 / Attainment Objectives

この科目では、次のような技能の習得を目指します。

- 英語の短い講義やプレゼンテーションを聴解できる(要旨を聴き取る; 事実に関する情報をつかむ; 文脈から意味を推測する; ノートを取るなど)。
- グループ・ディスカッションができる(英語で意見を述べ、それを理解・納得させるための論拠を示すことができる; 他の人の意見に賛成や反対の意見を述べることができる; ディスカッションをリードできる; ディスカッションの内容を要約し、報告できるなど)。
- 口頭で短いプレゼンテーションができる(明確な導入と結論のあるプレゼンテーションを構成できる; 例を示しながら要点を説明できる; 論理的構成のための話題展開語句を適切に使用できるなど)。

履修しておくことが望まれる科目 / Required Preparatory Study

授業スケジュール / Course Schedule

授業日(第N回)	テーマ / Theme	キーワード / Key Word
第1回	Orientation	Self-Introduction, Explanation of Attainment Objectives, Procedures, and Grading Methods
第2回	以下の詳細は、担当教員から授業開始第一週に配布されるシラバスを参照	
第3回		
第4回		
第5回		
第6回		
第7回		
第8回		
第9回		
第10回		
第11回		
第12回		
第13回		
第14回		
第15回		

(学部科目 / Undergraduate Courses) 授業外学習の指示 / Recommendations for Private Study
 (大学院科目 / Graduate Courses) 授業の方法 / Study Methods

成績評価方法 / Grading Criteria and Method of Evaluation

種別 / Kind	割合 / Percentage	評価基準等 / Grading Criteria etc.
平常点評価	100 %	課題、発表、出席、小テスト、授業参加を含む。詳細は授業で配布されるシラバスを確認すること。2/3 以上の授業に出席した者のみ成績評価の対象となる。出席点のみで単位を認定することはない。
* 日常点評価		
3分の2以上の出席。その他は初回の講義で指示します。		

受講および研究に関するアドバイス / Advice to Students on Study and Research Methods

教科書 / Textbooks

自分のクラスを確認し、指定されているテキストを生協で購入すること。

参考書 / Reference Books

産業社会学部 2008年度「外国語ハンドブック」を参照

参考になる WWW ページ / Web Pages Useful for Reference

その他 / Others

英語1 (29)

11807

担当者名 / Instructor McCLUNG ROBERT JOHN

単位数 / Credit 2

授業の概要 / Course Outline

この科目は、英語の4つの技能を総合的に習得することを目指しますが、特にオーラル・コミュニケーション能力の改善をはかるため、リスニングとスピーキングを重視します。教員は、現代社会、グローバル化、異文化間コミュニケーションなどのテーマについてコンテンツ・ベース・アプローチを用い、英語講義科目の聴解力、グループ・ディスカッションやプレゼンテーションのスキルに重点を置いた授業を行います。学生は、関心あるトピックを選び、多様な媒体(プリント、視聴覚資料、コンピュータなど)を通して、自分の意見を表現することを学びます。また、この科目で学んだプレゼンテーションのスキルの実践の場として、前期に実施される「産業社会学部英語弁論大会」への応募などが考えられます。

到達目標 / Attainment Objectives

この科目では、次のような技能の習得を目指します。

- 英語の短い講義やプレゼンテーションを聴解できる(要旨を聴き取る; 事実に関する情報をつかむ; 文脈から意味を推測する; ノートを取るなど)。
- グループ・ディスカッションができる(英語で意見を述べ、それを理解・納得させるための論拠を示すことができる; 他の人の意見に賛成や反対の意見を述べることができる; ディスカッションをリードできる; ディスカッションの内容を要約し、報告できるなど)。
- 口頭で短いプレゼンテーションができる(明確な導入と結論のあるプレゼンテーションを構成できる; 例を示しながら要点を説明できる; 論理的構成のための話題展開語句を適切に使用できるなど)。

履修しておくことが望まれる科目 / Required Preparatory Study

授業スケジュール / Course Schedule

授業日(第N回)	テーマ / Theme	キーワード / Key Word
第1回	Orientation	Self-Introduction, Explanation of Attainment Objectives, Procedures, and Grading Methods
第2回	以下の詳細は、担当教員から授業開始第一週に配布されるシラバスを参照	
第3回		
第4回		
第5回		
第6回		
第7回		
第8回		
第9回		
第10回		
第11回		
第12回		
第13回		
第14回		
第15回		

(学部科目 / Undergraduate Courses) 授業外学習の指示 / Recommendations for Private Study
(大学院科目 / Graduate Courses) 授業の方法 / Study Methods

成績評価方法 / Grading Criteria and Method of Evaluation

種別 / Kind	割合 / Percentage	評価基準等 / Grading Criteria etc.
平常点評価	100 %	課題、発表、出席、小テスト、授業参加を含む。詳細は授業で配布されるシラバスを確認すること。2/3 以上の授業に出席した者のみ成績評価の対象となる。出席点のみで単位を認定することはない。
* 日常点評価		
3分の2以上の出席。その他は初回の講義で指示します。		

受講および研究に関するアドバイス / Advice to Students on Study and Research Methods

教科書 / Textbooks

自分のクラスを確認し、指定されているテキストを生協で購入すること。

参考書 / Reference Books

産業社会学部 2008年度「外国語ハンドブック」を参照

参考になる WWW ページ / Web Pages Useful for Reference

その他 / Others

英語1 (30)

11808

担当者名 / Instructor VIGERS PIER NIGEL

単位数 / Credit 2

授業の概要 / Course Outline

この科目は、英語の4つの技能を総合的に習得することを目指しますが、特にオーラル・コミュニケーション能力の改善をはかるため、リスニングとスピーキングを重視します。教員は、現代社会、グローバル化、異文化間コミュニケーションなどのテーマについてコンテンツ・ベース・アプローチを用い、英語講義科目の聴解力、グループ・ディスカッションやプレゼンテーションのスキルに重点を置いた授業を行います。学生は、関心あるトピックを選び、多様な媒体(プリント、視聴覚資料、コンピュータなど)を通して、自分の意見を表現することを学びます。また、この科目で学んだプレゼンテーションのスキルの実践の場として、前期に実施される「産業社会学部英語弁論大会」への応募などが考えられます。

到達目標 / Attainment Objectives

この科目では、次のような技能の習得を目指します。

- 英語の短い講義やプレゼンテーションを聴解できる(要旨を聴き取る; 事実に関する情報をつかむ; 文脈から意味を推測する; ノートを取るなど)。
- グループ・ディスカッションができる(英語で意見を述べ、それを理解・納得させるための論拠を示すことができる; 他の人の意見に賛成や反対の意見を述べるができる; ディスカッションをリードできる; ディスカッションの内容を要約し、報告できるなど)。
- 口頭で短いプレゼンテーションができる(明確な導入と結論のあるプレゼンテーションを構成できる; 例を示しながら要点を説明できる; 論理的構成のための話題展開語句を適切に使用できるなど)。

履修しておくことが望まれる科目 / Required Preparatory Study

授業スケジュール / Course Schedule

授業日(第N回)	テーマ / Theme	キーワード / Key Word
第1回	Orientation	Self-Introduction, Explanation of Attainment Objectives, Procedures, and Grading Methods
第2回	以下の詳細は、担当教員から授業開始第一週に配布されるシラバスを参照	
第3回		
第4回		
第5回		
第6回		
第7回		
第8回		
第9回		
第10回		
第11回		
第12回		
第13回		
第14回		
第15回		

(学部科目 / Undergraduate Courses) 授業外学習の指示 / Recommendations for Private Study
(大学院科目 / Graduate Courses) 授業の方法 / Study Methods

成績評価方法 / Grading Criteria and Method of Evaluation

種別 / Kind	割合 / Percentage	評価基準等 / Grading Criteria etc.
平常点評価	100 %	課題、発表、出席、小テスト、授業参加を含む。詳細は授業で配布されるシラバスを確認すること。2/3 以上の授業に出席した者のみ成績評価の対象となる。出席点のみで単位を認定することはない。
* 日常点評価		3分の2以上の出席。その他は初回の講義で指示します。

受講および研究に関するアドバイス / Advice to Students on Study and Research Methods

教科書 / Textbooks

自分のクラスを確認し、指定されているテキストを生協で購入すること。

参考書 / Reference Books

産業社会学部 2008年度「外国語ハンドブック」を参照

参考になる WWW ページ / Web Pages Useful for Reference

英語1 (31)

11809

担当者名 / Instructor RAMIREZ REYMIE

単位数 / Credit 2

授業の概要 / Course Outline

この科目は、英語の4つの技能を総合的に習得することを目指しますが、特にオーラル・コミュニケーション能力の改善をはかるため、リスニングとスピーキングを重視します。教員は、現代社会、グローバル化、異文化間コミュニケーションなどのテーマについてコンテンツ・ベース・アプローチを用い、英語講義科目の聴解力、グループ・ディスカッションやプレゼンテーションのスキルに重点を置いた授業を行います。学生は、関心あるトピックを選び、多様な媒体(プリント、視聴覚資料、コンピュータなど)を通して、自分の意見を表現することを学びます。また、この科目で学んだプレゼンテーションのスキルの実践の場として、前期に実施される「産業社会学部英語弁論大会」への応募などが考えられます。

到達目標 / Attainment Objectives

この科目では、次のような技能の習得を目指します。

- 英語の短い講義やプレゼンテーションを聴解できる(要旨を聴き取る; 事実に関する情報をつかむ; 文脈から意味を推測する; ノートを取るなど)。
- グループ・ディスカッションができる(英語で意見を述べ、それを理解・納得させるための論拠を示すことができる; 他の人の意見に賛成や反対の意見を述べるができる; ディスカッションをリードできる; ディスカッションの内容を要約し、報告できるなど)。
- 口頭で短いプレゼンテーションができる(明確な導入と結論のあるプレゼンテーションを構成できる; 例を示しながら要点を説明できる; 論理的構成のための話題展開語句を適切に使用できるなど)。

履修しておくことが望まれる科目 / Required Preparatory Study

授業スケジュール / Course Schedule

授業日(第N回)	テーマ / Theme	キーワード / Key Word
第1回	Orientation	Self-Introduction, Explanation of Attainment Objectives, Procedures, and Grading Methods
第2回	以下の詳細は、担当教員から授業開始第一週に配布されるシラバスを参照	
第3回		
第4回		
第5回		
第6回		
第7回		
第8回		
第9回		
第10回		
第11回		
第12回		
第13回		
第14回		
第15回		

(学部科目 / Undergraduate Courses) 授業外学習の指示 / Recommendations for Private Study
(大学院科目 / Graduate Courses) 授業の方法 / Study Methods

成績評価方法 / Grading Criteria and Method of Evaluation

種別 / Kind	割合 / Percentage	評価基準等 / Grading Criteria etc.
平常点評価	100 %	課題、発表、出席、小テスト、授業参加を含む。詳細は授業で配布されるシラバスを確認すること。2/3 以上の授業に出席した者のみ成績評価の対象となる。出席点のみで単位を認定することはない。
* 日常点評価 3分の2以上の出席。その他は初回の講義で指示します。		

受講および研究に関するアドバイス / Advice to Students on Study and Research Methods

教科書 / Textbooks

自分のクラスを確認し、指定されているテキストを生協で購入すること。

参考書 / Reference Books

産業社会学部 2008年度「外国語ハンドブック」を参照

参考になる WWW ページ / Web Pages Useful for Reference

英語1 (32)

11663

担当者名 / Instructor MAIERL URSULA

単位数 / Credit 2

授業の概要 / Course Outline

この科目は、英語の4つの技能を総合的に習得することを目指しますが、特にオーラル・コミュニケーション能力の改善をはかるため、リスニングとスピーキングを重視します。教員は、現代社会、グローバル化、異文化間コミュニケーションなどのテーマについてコンテンツ・ベース・アプローチを用い、英語講義科目の聴解力、グループ・ディスカッションやプレゼンテーションのスキルに重点を置いた授業を行います。学生は、関心あるトピックを選び、多様な媒体(プリント、視聴覚資料、コンピュータなど)を通して、自分の意見を表現することを学びます。また、この科目で学んだプレゼンテーションのスキルの実践の場として、前期に実施される「産業社会学部英語弁論大会」への応募などが考えられます。

到達目標 / Attainment Objectives

この科目では、次のような技能の習得を目指します。

- 英語の短い講義やプレゼンテーションを聴解できる(要旨を聴き取る; 事実に関する情報をつかむ; 文脈から意味を推測する; ノートを取るなど)。
- グループ・ディスカッションができる(英語で意見を述べ、それを理解・納得させるための論拠を示すことができる; 他の人の意見に賛成や反対の意見を述べることができる; ディスカッションをリードできる; ディスカッションの内容を要約し、報告できるなど)。
- 口頭で短いプレゼンテーションができる(明確な導入と結論のあるプレゼンテーションを構成できる; 例を示しながら要点を説明できる; 論理的構成のための話題展開語句を適切に使用できるなど)。

履修しておくことが望まれる科目 / Required Preparatory Study

授業スケジュール / Course Schedule

授業日(第N回)	テーマ / Theme	キーワード / Key Word
第1回	Orientation	Self-Introduction, Explanation of Attainment Objectives, Procedures, and Grading Methods
第2回	以下の詳細は、担当教員から授業開始第一週に配布されるシラバスを参照	
第3回		
第4回		
第5回		
第6回		
第7回		
第8回		
第9回		
第10回		
第11回		
第12回		
第13回		
第14回		
第15回		

(学部科目 / Undergraduate Courses) 授業外学習の指示 / Recommendations for Private Study
 (大学院科目 / Graduate Courses) 授業の方法 / Study Methods

成績評価方法 / Grading Criteria and Method of Evaluation

種別 / Kind	割合 / Percentage	評価基準等 / Grading Criteria etc.
平常点評価	100 %	課題、発表、出席、小テスト、授業参加を含む。詳細は授業で配布されるシラバスを確認すること。2/3 以上の授業に出席した者のみ成績評価の対象となる。出席点のみで単位を認定することはない。
* 日常点評価		
3分の2以上の出席。その他は初回の講義で指示します。		

受講および研究に関するアドバイス / Advice to Students on Study and Research Methods

教科書 / Textbooks

自分のクラスを確認し、指定されているテキストを生協で購入すること。

参考書 / Reference Books

産業社会学部 2008年度「外国語ハンドブック」を参照

参考になる WWW ページ / Web Pages Useful for Reference

その他 / Others

英語1 (33)

11811

担当者名 / Instructor DUQUETTE JEAN-PAUL

単位数 / Credit 2

授業の概要 / Course Outline

この科目は、英語の4つの技能を総合的に習得することを目指しますが、特にオーラル・コミュニケーション能力の改善をはかるため、リスニングとスピーキングを重視します。教員は、現代社会、グローバル化、異文化間コミュニケーションなどのテーマについてコンテンツ・ベース・アプローチを用い、英語講義科目の聴解力、グループ・ディスカッションやプレゼンテーションのスキルに重点を置いた授業を行います。学生は、関心あるトピックを選び、多様な媒体(プリント、視聴覚資料、コンピュータなど)を通して、自分の意見を表現することを学びます。また、この科目で学んだプレゼンテーションのスキルの実践の場として、前期に実施される「産業社会学部英語弁論大会」への応募などが考えられます。

到達目標 / Attainment Objectives

この科目では、次のような技能の習得を目指します。

- 英語の短い講義やプレゼンテーションを聴解できる(要旨を聴き取る; 事実に関する情報をつかむ; 文脈から意味を推測する; ノートを取るなど)。
- グループ・ディスカッションができる(英語で意見を述べ、それを理解・納得させるための論拠を示すことができる; 他の人の意見に賛成や反対の意見を述べることができる; ディスカッションをリードできる; ディスカッションの内容を要約し、報告できるなど)。
- 口頭で短いプレゼンテーションができる(明確な導入と結論のあるプレゼンテーションを構成できる; 例を示しながら要点を説明できる; 論理的構成のための話題展開語句を適切に使用できるなど)。

履修しておくことが望まれる科目 / Required Preparatory Study

授業スケジュール / Course Schedule

授業日(第N回)	テーマ / Theme	キーワード / Key Word
第1回	Orientation	Self-Introduction, Explanation of Attainment Objectives, Procedures, and Grading Methods
第2回	以下の詳細は、担当教員から授業開始第一週に配布されるシラバスを参照	
第3回		
第4回		
第5回		
第6回		
第7回		
第8回		
第9回		
第10回		
第11回		
第12回		
第13回		
第14回		
第15回		

(学部科目 / Undergraduate Courses) 授業外学習の指示 / Recommendations for Private Study
(大学院科目 / Graduate Courses) 授業の方法 / Study Methods

成績評価方法 / Grading Criteria and Method of Evaluation

種別 / Kind	割合 / Percentage	評価基準等 / Grading Criteria etc.
平常点評価	100 %	課題、発表、出席、小テスト、授業参加を含む。詳細は授業で配布されるシラバスを確認すること。2/3 以上の授業に出席した者のみ成績評価の対象となる。出席点のみで単位を認定することはない。
* 日常点評価		
3分の2以上の出席。その他は初回の講義で指示します。		

受講および研究に関するアドバイス / Advice to Students on Study and Research Methods

教科書 / Textbooks

自分のクラスを確認し、指定されているテキストを生協で購入すること。

参考書 / Reference Books

産業社会学部 2008年度「外国語ハンドブック」を参照

参考になる WWW ページ / Web Pages Useful for Reference

その他 / Others

英語1 (34)

11815

担当者名 / Instructor VIGERS PIERIS NIGEL

単位数 / Credit 2

授業の概要 / Course Outline

この科目は、英語の4つの技能を総合的に習得することを目指しますが、特にオーラル・コミュニケーション能力の改善をはかるため、リスニングとスピーキングを重視します。教員は、現代社会、グローバル化、異文化間コミュニケーションなどのテーマについてコンテンツ・ベース・アプローチを用い、英語講義科目の聴解力、グループ・ディスカッションやプレゼンテーションのスキルに重点を置いた授業を行います。学生は、関心あるトピックを選び、多様な媒体(プリント、視聴覚資料、コンピュータなど)を通して、自分の意見を表現することを学びます。また、この科目で学んだプレゼンテーションのスキルの実践の場として、前期に実施される「産業社会学部英語弁論大会」への応募などが考えられます。

到達目標 / Attainment Objectives

この科目では、次のような技能の習得を目指します。

- 英語の短い講義やプレゼンテーションを聴解できる(要旨を聴き取る; 事実に関する情報をつかむ; 文脈から意味を推測する; ノートを取るなど)。
- グループ・ディスカッションができる(英語で意見を述べ、それを理解・納得させるための論拠を示すことができる; 他の人の意見に賛成や反対の意見を述べることができる; ディスカッションをリードできる; ディスカッションの内容を要約し、報告できるなど)。
- 口頭で短いプレゼンテーションができる(明確な導入と結論のあるプレゼンテーションを構成できる; 例を示しながら要点を説明できる; 論理的構成のための話題展開語句を適切に使用できるなど)。

履修しておくことが望まれる科目 / Required Preparatory Study

授業スケジュール / Course Schedule

授業日(第N回)	テーマ / Theme	キーワード / Key Word
第1回	Orientation	Self-Introduction, Explanation of Attainment Objectives, Procedures, and Grading Methods
第2回	以下の詳細は、担当教員から授業開始第一週に配布されるシラバスを参照	
第3回		
第4回		
第5回		
第6回		
第7回		
第8回		
第9回		
第10回		
第11回		
第12回		
第13回		
第14回		
第15回		

(学部科目 / Undergraduate Courses) 授業外学習の指示 / Recommendations for Private Study
(大学院科目 / Graduate Courses) 授業の方法 / Study Methods

成績評価方法 / Grading Criteria and Method of Evaluation

種別 / Kind	割合 / Percentage	評価基準等 / Grading Criteria etc.
平常点評価	100 %	課題、発表、出席、小テスト、授業参加を含む。詳細は授業で配布されるシラバスを確認すること。2/3 以上の授業に出席した者のみ成績評価の対象となる。出席点のみで単位を認定することはない。
* 日常点評価 3分の2以上の出席。その他は初回の講義で指示します。		

受講および研究に関するアドバイス / Advice to Students on Study and Research Methods

教科書 / Textbooks

自分のクラスを確認し、指定されているテキストを生協で購入すること。

参考書 / Reference Books

産業社会学部 2008年度「外国語ハンドブック」を参照

参考になる WWW ページ / Web Pages Useful for Reference

英語1 (35)

11805

担当者名 / Instructor DOWLING ANDREW G

単位数 / Credit 2

授業の概要 / Course Outline

この科目は、英語の4つの技能を総合的に習得することを目指しますが、特にオーラル・コミュニケーション能力の改善をはかるため、リスニングとスピーキングを重視します。教員は、現代社会、グローバル化、異文化間コミュニケーションなどのテーマについてコンテンツ・ベース・アプローチを用い、英語講義科目の聴解力、グループ・ディスカッションやプレゼンテーションのスキルに重点を置いた授業を行います。学生は、関心あるトピックを選び、多様な媒体(プリント、視聴覚資料、コンピュータなど)を通して、自分の意見を表現することを学びます。また、この科目で学んだプレゼンテーションのスキルの実践の場として、前期に実施される「産業社会学部英語弁論大会」への応募などが考えられます。

到達目標 / Attainment Objectives

この科目では、次のような技能の習得を目指します。

- 英語の短い講義やプレゼンテーションを聴解できる(要旨を聴き取る; 事実に関する情報をつかむ; 文脈から意味を推測する; ノートを取るなど)。
- グループ・ディスカッションができる(英語で意見を述べ、それを理解・納得させるための論拠を示すことができる; 他の人の意見に賛成や反対の意見を述べるができる; ディスカッションをリードできる; ディスカッションの内容を要約し、報告できるなど)。
- 口頭で短いプレゼンテーションができる(明確な導入と結論のあるプレゼンテーションを構成できる; 例を示しながら要点を説明できる; 論理的構成のための話題展開語句を適切に使用できるなど)。

履修しておくことが望まれる科目 / Required Preparatory Study

授業スケジュール / Course Schedule

授業日(第N回)	テーマ / Theme	キーワード / Key Word
第1回	Orientation	Self-Introduction, Explanation of Attainment Objectives, Procedures, and Grading Methods
第2回	以下の詳細は、担当教員から授業開始第一週に配布されるシラバスを参照	
第3回		
第4回		
第5回		
第6回		
第7回		
第8回		
第9回		
第10回		
第11回		
第12回		
第13回		
第14回		
第15回		

(学部科目 / Undergraduate Courses) 授業外学習の指示 / Recommendations for Private Study
(大学院科目 / Graduate Courses) 授業の方法 / Study Methods

成績評価方法 / Grading Criteria and Method of Evaluation

種別 / Kind	割合 / Percentage	評価基準等 / Grading Criteria etc.
平常点評価	100 %	課題、発表、出席、小テスト、授業参加を含む。詳細は授業で配布されるシラバスを確認すること。2/3 以上の授業に出席した者のみ成績評価の対象となる。出席点のみで単位を認定することはない。
* 日常点評価		
3分の2以上の出席。その他は初回の講義で指示します。		

受講および研究に関するアドバイス / Advice to Students on Study and Research Methods

教科書 / Textbooks

自分のクラスを確認し、指定されているテキストを生協で購入すること。

参考書 / Reference Books

産業社会学部 2008年度「外国語ハンドブック」を参照

参考になる WWW ページ / Web Pages Useful for Reference

英語1 (36)

11812

担当者名 / Instructor VARELA WYNNPAUL

単位数 / Credit 2

授業の概要 / Course Outline

この科目は、英語の4つの技能を総合的に習得することを目指しますが、特にオーラル・コミュニケーション能力の改善をはかるため、リスニングとスピーキングを重視します。教員は、現代社会、グローバル化、異文化間コミュニケーションなどのテーマについてコンテンツ・ベース・アプローチを用い、英語講義科目の聴解力、グループ・ディスカッションやプレゼンテーションのスキルに重点を置いた授業を行います。学生は、関心あるトピックを選び、多様な媒体(プリント、視聴覚資料、コンピュータなど)を通して、自分の意見を表現することを学びます。また、この科目で学んだプレゼンテーションのスキルの実践の場として、前期に実施される「産業社会学部英語弁論大会」への応募などが考えられます。

到達目標 / Attainment Objectives

この科目では、次のような技能の習得を目指します。

- 英語の短い講義やプレゼンテーションを聴解できる(要旨を聴き取る; 事実に関する情報をつかむ; 文脈から意味を推測する; ノートを取るなど)。
- グループ・ディスカッションができる(英語で意見を述べ、それを理解・納得させるための論拠を示すことができる; 他の人の意見に賛成や反対の意見を述べることができる; ディスカッションをリードできる; ディスカッションの内容を要約し、報告できるなど)。
- 口頭で短いプレゼンテーションができる(明確な導入と結論のあるプレゼンテーションを構成できる; 例を示しながら要点を説明できる; 論理的構成のための話題展開語句を適切に使用できるなど)。

履修しておくことが望まれる科目 / Required Preparatory Study

授業スケジュール / Course Schedule

授業日(第N回)	テーマ / Theme	キーワード / Key Word
第1回	Orientation	Self-Introduction, Explanation of Attainment Objectives, Procedures, and Grading Methods
第2回	以下の詳細は、担当教員から授業開始第一週に配布されるシラバスを参照	
第3回		
第4回		
第5回		
第6回		
第7回		
第8回		
第9回		
第10回		
第11回		
第12回		
第13回		
第14回		
第15回		

(学部科目 / Undergraduate Courses) 授業外学習の指示 / Recommendations for Private Study
 (大学院科目 / Graduate Courses) 授業の方法 / Study Methods

成績評価方法 / Grading Criteria and Method of Evaluation

種別 / Kind	割合 / Percentage	評価基準等 / Grading Criteria etc.
平常点評価	100 %	課題、発表、出席、小テスト、授業参加を含む。詳細は授業で配布されるシラバスを確認すること。2/3 以上の授業に出席した者のみ成績評価の対象となる。出席点のみで単位を認定することはない。
* 日常点評価 3分の2以上の出席。その他は初回の講義で指示します。		

受講および研究に関するアドバイス / Advice to Students on Study and Research Methods

教科書 / Textbooks

自分のクラスを確認し、指定されているテキストを生協で購入すること。

参考書 / Reference Books

産業社会学部 2008年度「外国語ハンドブック」を参照

参考になる WWW ページ / Web Pages Useful for Reference

英語1 (37)

11810

担当者名 / Instructor WOOLLOCK ANDREW

単位数 / Credit 2

授業の概要 / Course Outline

この科目は、英語の4つの技能を総合的に習得することを目指しますが、特にオーラル・コミュニケーション能力の改善をはかるため、リスニングとスピーキングを重視します。教員は、現代社会、グローバル化、異文化間コミュニケーションなどのテーマについてコンテンツ・ベース・アプローチを用い、英語講義科目の聴解力、グループ・ディスカッションやプレゼンテーションのスキルに重点を置いた授業を行います。学生は、関心あるトピックを選び、多様な媒体(プリント、視聴覚資料、コンピュータなど)を通して、自分の意見を表現することを学びます。また、この科目で学んだプレゼンテーションのスキルの実践の場として、前期に実施される「産業社会学部英語弁論大会」への応募などが考えられます。

到達目標 / Attainment Objectives

この科目では、次のような技能の習得を目指します。

- 英語の短い講義やプレゼンテーションを聴解できる(要旨を聴き取る; 事実に関する情報をつかむ; 文脈から意味を推測する; ノートを取るなど)。
- グループ・ディスカッションができる(英語で意見を述べ、それを理解・納得させるための論拠を示すことができる; 他の人の意見に賛成や反対の意見を述べるができる; ディスカッションをリードできる; ディスカッションの内容を要約し、報告できるなど)。
- 口頭で短いプレゼンテーションができる(明確な導入と結論のあるプレゼンテーションを構成できる; 例を示しながら要点を説明できる; 論理的構成のための話題展開語句を適切に使用できるなど)。

履修しておくことが望まれる科目 / Required Preparatory Study

授業スケジュール / Course Schedule

授業日(第N回)	テーマ / Theme	キーワード / Key Word
第1回	Orientation	Self-Introduction, Explanation of Attainment Objectives, Procedures, and Grading Methods
第2回	以下の詳細は、担当教員から授業開始第一週に配布されるシラバスを参照	
第3回		
第4回		
第5回		
第6回		
第7回		
第8回		
第9回		
第10回		
第11回		
第12回		
第13回		
第14回		
第15回		

(学部科目 / Undergraduate Courses) 授業外学習の指示 / Recommendations for Private Study
(大学院科目 / Graduate Courses) 授業の方法 / Study Methods

成績評価方法 / Grading Criteria and Method of Evaluation

種別 / Kind	割合 / Percentage	評価基準等 / Grading Criteria etc.
平常点評価	100 %	課題、発表、出席、小テスト、授業参加を含む。詳細は授業で配布されるシラバスを確認すること。2/3 以上の授業に出席した者のみ成績評価の対象となる。出席点のみで単位を認定することはない。
* 日常点評価		
3分の2以上の出席。その他は初回の講義で指示します。		

受講および研究に関するアドバイス / Advice to Students on Study and Research Methods

教科書 / Textbooks

自分のクラスを確認し、指定されているテキストを生協で購入すること。

参考書 / Reference Books

産業社会学部 2008年度「外国語ハンドブック」を参照

参考になる WWW ページ / Web Pages Useful for Reference

英語1 (38)

11813

担当者名 / Instructor MAIERL URSULA

単位数 / Credit 2

授業の概要 / Course Outline

この科目は、英語の4つの技能を総合的に習得することを目指しますが、特にオーラル・コミュニケーション能力の改善をはかるため、リスニングとスピーキングを重視します。教員は、現代社会、グローバル化、異文化間コミュニケーションなどのテーマについてコンテンツ・ベース・アプローチを用い、英語講義科目の聴解力、グループ・ディスカッションやプレゼンテーションのスキルに重点を置いた授業を行います。学生は、関心あるトピックを選び、多様な媒体(プリント、視聴覚資料、コンピュータなど)を通して、自分の意見を表現することを学びます。また、この科目で学んだプレゼンテーションのスキルの実践の場として、前期に実施される「産業社会学部英語弁論大会」への応募などが考えられます。

到達目標 / Attainment Objectives

この科目では、次のような技能の習得を目指します。

- 英語の短い講義やプレゼンテーションを聴解できる(要旨を聴き取る; 事実に関する情報をつかむ; 文脈から意味を推測する; ノートを取るなど)。
- グループ・ディスカッションができる(英語で意見を述べ、それを理解・納得させるための論拠を示すことができる; 他の人の意見に賛成や反対の意見を述べるなど); ディスカッションをリードできる; ディスカッションの内容を要約し、報告できるなど)。
- 口頭で短いプレゼンテーションができる(明確な導入と結論のあるプレゼンテーションを構成できる; 例を示しながら要点を説明できる; 論理的構成のための話題展開語句を適切に使用できるなど)。

履修しておくことが望まれる科目 / Required Preparatory Study

授業スケジュール / Course Schedule

授業日(第N回)	テーマ / Theme	キーワード / Key Word
第1回	Orientation	Self-Introduction, Explanation of Attainment Objectives, Procedures, and Grading Methods
第2回	以下の詳細は、担当教員から授業開始第一週に配布されるシラバスを参照	
第3回		
第4回		
第5回		
第6回		
第7回		
第8回		
第9回		
第10回		
第11回		
第12回		
第13回		
第14回		
第15回		

(学部科目 / Undergraduate Courses) 授業外学習の指示 / Recommendations for Private Study
 (大学院科目 / Graduate Courses) 授業の方法 / Study Methods

成績評価方法 / Grading Criteria and Method of Evaluation

種別 / Kind	割合 / Percentage	評価基準等 / Grading Criteria etc.
平常点評価	100 %	課題、発表、出席、小テスト、授業参加を含む。詳細は授業で配布されるシラバスを確認すること。2/3 以上の授業に出席した者のみ成績評価の対象となる。出席点のみで単位を認定することはない。
* 日常点評価		
3分の2以上の出席。その他は初回の講義で指示します。		

受講および研究に関するアドバイス / Advice to Students on Study and Research Methods

教科書 / Textbooks

自分のクラスを確認し、指定されているテキストを生協で購入すること。

参考書 / Reference Books

産業社会学部 2008年度「外国語ハンドブック」を参照

参考になる WWW ページ / Web Pages Useful for Reference

英語1 (39)

11814

担当者名 / Instructor PARKER MALCOLM E.

単位数 / Credit 2

授業の概要 / Course Outline

この科目は、英語の4つの技能を総合的に習得することを目指しますが、特にオーラル・コミュニケーション能力の改善をはかるため、リスニングとスピーキングを重視します。教員は、現代社会、グローバル化、異文化間コミュニケーションなどのテーマについてコンテンツ・ベース・アプローチを用い、英語講義科目の聴解力、グループ・ディスカッションやプレゼンテーションのスキルに重点を置いた授業を行います。学生は、関心あるトピックを選び、多様な媒体(プリント、視聴覚資料、コンピュータなど)を通して、自分の意見を表現することを学びます。また、この科目で学んだプレゼンテーションのスキルの実践の場として、前期に実施される「産業社会学部英語弁論大会」への応募などが考えられます。

到達目標 / Attainment Objectives

この科目では、次のような技能の習得を目指します。

- 英語の短い講義やプレゼンテーションを聴解できる(要旨を聴き取る; 事実に関する情報をつかむ; 文脈から意味を推測する; ノートを取るなど)。
- グループ・ディスカッションができる(英語で意見を述べ、それを理解・納得させるための論拠を示すことができる; 他の人の意見に賛成や反対の意見を述べることができる; ディスカッションをリードできる; ディスカッションの内容を要約し、報告できるなど)。
- 口頭で短いプレゼンテーションができる(明確な導入と結論のあるプレゼンテーションを構成できる; 例を示しながら要点を説明できる; 論理的構成のための話題展開語句を適切に使用できるなど)。

履修しておくことが望まれる科目 / Required Preparatory Study

授業スケジュール / Course Schedule

授業日(第N回)	テーマ / Theme	キーワード / Key Word
第1回	Orientation	Self-Introduction, Explanation of Attainment Objectives, Procedures, and Grading Methods
第2回	以下の詳細は、担当教員から授業開始第一週に配布されるシラバスを参照	
第3回		
第4回		
第5回		
第6回		
第7回		
第8回		
第9回		
第10回		
第11回		
第12回		
第13回		
第14回		
第15回		

(学部科目 / Undergraduate Courses) 授業外学習の指示 / Recommendations for Private Study
 (大学院科目 / Graduate Courses) 授業の方法 / Study Methods

成績評価方法 / Grading Criteria and Method of Evaluation

種別 / Kind	割合 / Percentage	評価基準等 / Grading Criteria etc.
平常点評価	100 %	課題、発表、出席、小テスト、授業参加を含む。詳細は授業で配布されるシラバスを確認すること。2/3 以上の授業に出席した者のみ成績評価の対象となる。出席点のみで単位を認定することはない。
* 日常点評価		
3分の2以上の出席。その他は初回の講義で指示します。		

受講および研究に関するアドバイス / Advice to Students on Study and Research Methods

教科書 / Textbooks

自分のクラスを確認し、指定されているテキストを生協で購入すること。

参考書 / Reference Books

産業社会学部 2008年度「外国語ハンドブック」を参照

参考になる WWW ページ / Web Pages Useful for Reference

英語2 (11)

11724

担当者名 / Instructor DUQUETTE JEAN-PAUL

単位数 / Credit 2

授業の概要 / Course Outline

この科目は、英語の4つの技能を総合的に修得することを目指しますが、特にライティングに重点を置きます。
ライティングでは、自分が扱うテーマを紹介するパラグラフ(序論)、テーマを展開し、支持するパラグラフ(本論)、論述を要約するパラグラフ(結論)などをつないで、一つのエッセイを書くことを目標とします。英文のレトリック、パラグラフの展開方法(比較と対照、原因・結果、列挙と描例示、意見と理由など)とともに、ライティングの過程で必要なブレーストリーミング、アウトライン(要点の下書き)、校正、編集などの技能も学びます。
学期の終わりに、この科目で学んだ技能を使ってエッセイを作成し、クラスごとの文集を作成・出版する予定です。

到達目標 / Attainment Objectives

この科目では、次のような技能の習得を目指します。

- 与えられたWritingの課題について、その目的、対象の読者を理解し、それらに適した文体と書式を使うことができる。
- ブレーストリーミングのテクニックを使ってアイデアを生み出すことができる。
- アイデアを構成するためのアウトラインを書くことができる。
- 主要なアイデアを解説や例を使って展開できる。
- 明確な主題文のある一貫性のあるパラグラフを構成できる。
- 論理的に整合性・一貫性のあるエッセイを書くことができる。
- 他の人の書いたエッセイを読んで、評価、編集ができる。
- 他の文献からの情報をエッセイに引用し、参考文献リストを作成できる。

履修しておくことが望まれる科目 / Required Preparatory Study

授業スケジュール / Course Schedule

授業日(第N回)	テーマ / Theme	キーワード / Key Word
第1回	Orientation	Self-Introduction, Explanation of Attainment Objectives, Procedures, and Grading Methods
第2回	以下の詳細は、担当教員から授業開始第一週に配布されるシラバスを参照	
第3回		
第4回		
第5回		
第6回		
第7回		
第8回		
第9回		
第10回		
第11回		
第12回		
第13回		
第14回		
第15回		

(学部科目 / Undergraduate Courses) 授業外学習の指示 / Recommendations for Private Study
(大学院科目 / Graduate Courses) 授業の方法 / Study Method

成績評価方法 / Grading Criteria and Method of Evaluation

種別 / Kind	割合 / Percentage	評価基準等 / Grading Criteria etc.
平常点評価	100 %	課題、発表、出席、小テスト、授業参加。詳細は授業開始時に配布されるシラバスを確認すること。2/3 以上の授業に出席した者のみ成績評価の対象となる。出席点のみで単位を認定することはない。

受講および研究に関するアドバイス / Advice to Students on Study and Research Methods

教科書 / Textbooks

クラスごとに指定されているテキストを生協で購入すること。

参考書 / Reference Books

産業社会学部 2008年度「外国語ハンドブック」を参照

参考になる WWW ページ / Web Pages Useful for Reference

英語2 (12)

11732

担当者名 / Instructor GAROFALO RUSSELL

単位数 / Credit 2

授業の概要 / Course Outline

この科目は、英語の4つの技能を総合的に修得することを目指しますが、特にライティングに重点を置きます。ライティングでは、自分が扱うテーマを紹介するパラグラフ(序論)、テーマを展開し、支持するパラグラフ(本論)、論述を要約するパラグラフ(結論)などをつないで、一つのエッセイを書くことを目標とします。英文のレトリック、パラグラフの展開方法(比較と対照、原因・結果、列挙と描例示、意見と理由など)とともに、ライティングの過程で必要なブレーストローミング、アウトライン(要点の下書き)、校正、編集などの技能も学びます。学期の終わりに、この科目で学んだ技能を使ってエッセイを作成し、クラスごとの文集を作成・出版する予定です。

到達目標 / Attainment Objectives

この科目では、次のような技能の習得を目指します。

- 与えられたWritingの課題について、その目的、対象の読者を理解し、それらに適した文体と書式を使うことができる。
- ブレーストローミングのテクニックを使ってアイデアを生み出すことができる。
- アイデアを構成するためのアウトラインを書くことができる。
- 主要なアイデアを解説や例を使って展開できる。
- 明確な主題文のある一貫性のあるパラグラフを構成できる。
- 論理的に整合性・一貫性のあるエッセイを書くことができる。
- 他の人の書いたエッセイを読んで、評価、編集ができる。
- 他の文献からの情報をエッセイに引用し、参考文献リストを作成できる。

履修しておくことが望まれる科目 / Required Preparatory Study

授業スケジュール / Course Schedule

授業日(第N回)	テーマ / Theme	キーワード / Key Word
第1回	Orientation	Self-Introduction, Explanation of Attainment Objectives, Procedures, and Grading Methods
第2回	以下の詳細は、担当教員から授業開始第一週に配布されるシラバスを参照	
第3回		
第4回		
第5回		
第6回		
第7回		
第8回		
第9回		
第10回		
第11回		
第12回		
第13回		
第14回		
第15回		

(学部科目 / Undergraduate Courses) 授業外学習の指示 / Recommendations for Private Study
 (大学院科目 / Graduate Courses) 授業の方法 / Study Method

成績評価方法 / Grading Criteria and Method of Evaluation

種別 / Kind	割合 / Percentage	評価基準等 / Grading Criteria etc.
平常点評価	100 %	課題、発表、出席、小テスト、授業参加。詳細は授業開始時に配布されるシラバスを確認すること。2/3 以上の授業に出席した者のみ成績評価の対象となる。出席点のみで単位を認定することはない。

受講および研究に関するアドバイス / Advice to Students on Study and Research Methods

教科書 / Textbooks

クラスごとに指定されているテキストを生協で購入すること。

参考書 / Reference Books

産業社会学部 2008年度「外国語ハンドブック」を参照

参考になる WWW ページ / Web Pages Useful for Reference

その他 / Others

英語2 (13)

11730

担当者名 / Instructor TKATSCHOW DWIGHT A.

単位数 / Credit 2

授業の概要 / Course Outline

この科目は、英語の4つの技能を総合的に修得することを目指しますが、特にライティングに重点を置きます。ライティングでは、自分が扱うテーマを紹介するパラグラフ(序論)、テーマを展開し、支持するパラグラフ(本論)、論述を要約するパラグラフ(結論)などをつないで、一つのエッセイを書くことを目標とします。英文のレトリック、パラグラフの展開方法(比較と対照、原因・結果、列挙と描例示、意見と理由など)とともに、ライティングの過程で必要なブレーストローミング、アウトライン(要点の下書き)、校正、編集などの技能も学びます。学期の終わりに、この科目で学んだ技能を使ってエッセイを作成し、クラスごとの文集を作成・出版する予定です。

到達目標 / Attainment Objectives

この科目では、次のような技能の習得を目指します。

- 与えられたWritingの課題について、その目的、対象の読者を理解し、それらに適した文体と書式を使うことができる。
- ブレーストローミングのテクニックを使ってアイデアを生み出すことができる。
- アイデアを構成するためのアウトラインを書くことができる。
- 主要なアイデアを解説や例を使って展開できる。
- 明確な主題文のある一貫性のあるパラグラフを構成できる。
- 論理的に整合性・一貫性のあるエッセイを書くことができる。
- 他の人の書いたエッセイを読んで、評価、編集ができる。
- 他の文献からの情報をエッセイに引用し、参考文献リストを作成できる。

履修しておくことが望まれる科目 / Required Preparatory Study

授業スケジュール / Course Schedule

授業日(第N回)	テーマ / Theme	キーワード / Key Word
第1回	Orientation	Self-Introduction, Explanation of Attainment Objectives, Procedures, and Grading Methods
第2回	以下の詳細は、担当教員から授業開始第一週に配布されるシラバスを参照	
第3回		
第4回		
第5回		
第6回		
第7回		
第8回		
第9回		
第10回		
第11回		
第12回		
第13回		
第14回		
第15回		

(学部科目 / Undergraduate Courses) 授業外学習の指示 / Recommendations for Private Study
(大学院科目 / Graduate Courses) 授業の方法 / Study Method

成績評価方法 / Grading Criteria and Method of Evaluation

種別 / Kind	割合 / Percentage	評価基準等 / Grading Criteria etc.
平常点評価	100 %	課題、発表、出席、小テスト、授業参加。詳細は授業開始時に配布されるシラバスを確認すること。2/3 以上の授業に出席した者のみ成績評価の対象となる。出席点のみで単位を認定することはない。

受講および研究に関するアドバイス / Advice to Students on Study and Research Methods

教科書 / Textbooks

クラスごとに指定されているテキストを生協で購入すること。

参考書 / Reference Books

産業社会学部 2008年度「外国語ハンドブック」を参照

参考になる WWW ページ / Web Pages Useful for Reference

英語2 (14)

11723

担当者名 / Instructor SINGER JANE

単位数 / Credit 2

授業の概要 / Course Outline

この科目は、英語の4つの技能を総合的に修得することを目指しますが、特にライティングに重点を置きます。ライティングでは、自分が扱うテーマを紹介するパラグラフ(序論)、テーマを展開し、支持するパラグラフ(本論)、論述を要約するパラグラフ(結論)などをつないで、一つのエッセイを書くことを目標とします。英文のレトリック、パラグラフの展開方法(比較と対照、原因・結果、列挙と描例示、意見と理由など)とともに、ライティングの過程で必要なブレーンストーミング、アウトライン(要点の下書き)、校正、編集などの技能も学びます。学期の終わりに、この科目で学んだ技能を使ってエッセイを作成し、クラスごとの文集を作成・出版する予定です。

到達目標 / Attainment Objectives

この科目では、次のような技能の習得を目指します。

- 与えられたWritingの課題について、その目的、対象の読者を理解し、それらに適した文体と書式を使うことができる。
- ブレーンストーミングのテクニックを使ってアイデアを生み出すことができる。
- アイデアを構成するためのアウトラインを書くことができる。
- 主要なアイデアを解説や例を使って展開できる。
- 明確な主題文のある一貫性のあるパラグラフを構成できる。
- 論理的に整合性・一貫性のあるエッセイを書くことができる。
- 他の人の書いたエッセイを読んで、評価、編集ができる。
- 他の文献からの情報をエッセイに引用し、参考文献リストを作成できる。

履修しておくことが望まれる科目 / Required Preparatory Study

授業スケジュール / Course Schedule

授業日(第N回)	テーマ / Theme	キーワード / Key Word
第1回	Orientation	Self-Introduction, Explanation of Attainment Objectives, Procedures, and Grading Methods
第2回	以下の詳細は、担当教員から授業開始第一週に配布されるシラバスを参照	
第3回		
第4回		
第5回		
第6回		
第7回		
第8回		
第9回		
第10回		
第11回		
第12回		
第13回		
第14回		
第15回		

(学部科目 / Undergraduate Courses) 授業外学習の指示 / Recommendations for Private Study
 (大学院科目 / Graduate Courses) 授業の方法 / Study Method

成績評価方法 / Grading Criteria and Method of Evaluation

種別 / Kind	割合 / Percentage	評価基準等 / Grading Criteria etc.
平常点評価	100 %	課題、発表、出席、小テスト、授業参加。詳細は授業開始時に配布されるシラバスを確認すること。2/3 以上の授業に出席した者のみ成績評価の対象となる。出席点のみで単位を認定することはない。

受講および研究に関するアドバイス / Advice to Students on Study and Research Methods

教科書 / Textbooks

クラスごとに指定されているテキストを生協で購入すること。

参考書 / Reference Books

産業社会学部 2008年度「外国語ハンドブック」を参照

参考になる WWW ページ / Web Pages Useful for Reference

英語2 (15)

11727

担当者名 / Instructor McCLUNG ROBERT JOHN

単位数 / Credit 2

授業の概要 / Course Outline

この科目は、英語の4つの技能を総合的に修得することを目指しますが、特にライティングに重点を置きます。

ライティングでは、自分が扱うテーマを紹介するパラグラフ(序論)、テーマを展開し、支持するパラグラフ(本論)、論述を要約するパラグラフ(結論)などをつないで、一つのエッセイを書くことを目標とします。英文のレトリック、パラグラフの展開方法(比較と対照、原因・結果、列挙と描例示、意見と理由など)とともに、ライティングの過程で必要なブレーストローミング、アウトライン(要点の下書き)、校正、編集などの技能も学びます。学期の終わりに、この科目で学んだ技能を使ってエッセイを作成し、クラスごとの文集を作成・出版する予定です。

到達目標 / Attainment Objectives

この科目では、次のような技能の習得を目指します。

- 与えられたWritingの課題について、その目的、対象の読者を理解し、それらに適した文体と書式を使うことができる。
- ブレーストローミングのテクニックを使ってアイデアを生み出すことができる。
- アイデアを構成するためのアウトラインを書くことができる。
- 主要なアイデアを解説や例を使って展開できる。
- 明確な主題文のある一貫性のあるパラグラフを構成できる。
- 論理的に整合性・一貫性のあるエッセイを書くことができる。
- 他の人の書いたエッセイを読んで、評価、編集ができる。
- 他の文献からの情報をエッセイに引用し、参考文献リストを作成できる。

履修しておくことが望まれる科目 / Required Preparatory Study

授業スケジュール / Course Schedule

授業日(第N回)	テーマ / Theme	キーワード / Key Word
第1回	Orientation	Self-Introduction, Explanation of Attainment Objectives, Procedures, and Grading Methods
第2回	以下の詳細は、担当教員から授業開始第一週に配布されるシラバスを参照	
第3回		
第4回		
第5回		
第6回		
第7回		
第8回		
第9回		
第10回		
第11回		
第12回		
第13回		
第14回		
第15回		

(学部科目 / Undergraduate Courses) 授業外学習の指示 / Recommendations for Private Study
 (大学院科目 / Graduate Courses) 授業の方法 / Study Method

成績評価方法 / Grading Criteria and Method of Evaluation

種別 / Kind	割合 / Percentage	評価基準等 / Grading Criteria etc.
平常点評価	100 %	課題、発表、出席、小テスト、授業参加。詳細は授業開始時に配布されるシラバスを確認すること。2/3 以上の授業に出席した者のみ成績評価の対象となる。出席点のみで単位を認定することはない。

受講および研究に関するアドバイス / Advice to Students on Study and Research Methods

教科書 / Textbooks

クラスごとに指定されているテキストを生協で購入すること。

参考書 / Reference Books

産業社会学部 2008年度「外国語ハンドブック」を参照

参考になる WWW ページ / Web Pages Useful for Reference

英語2 (16)

11731

担当者名 / Instructor MAIERL URSULA

単位数 / Credit 2

授業の概要 / Course Outline

この科目は、英語の4つの技能を総合的に修得することを目指しますが、特にライティングに重点を置きます。ライティングでは、自分が扱うテーマを紹介するパラグラフ(序論)、テーマを展開し、支持するパラグラフ(本論)、論述を要約するパラグラフ(結論)などをつないで、一つのエッセイを書くことを目標とします。英文のレトリック、パラグラフの展開方法(比較と対照、原因・結果、列挙と描例示、意見と理由など)とともに、ライティングの過程で必要なブレーストリーミング、アウトライン(要点の下書き)、校正、編集などの技能も学びます。学期の終わりに、この科目で学んだ技能を使ってエッセイを作成し、クラスごとの文集を作成・出版する予定です。

到達目標 / Attainment Objectives

この科目では、次のような技能の習得を目指します。

- 与えられたWritingの課題について、その目的、対象の読者を理解し、それらに適した文体と書式を使うことができる。
- ブレーストリーミングのテクニックを使ってアイデアを生み出すことができる。
- アイデアを構成するためのアウトラインを書くことができる。
- 主要なアイデアを解説や例を使って展開できる。
- 明確な主題文のある一貫性のあるパラグラフを構成できる。
- 論理的に整合性・一貫性のあるエッセイを書くことができる。
- 他の人の書いたエッセイを読んで、評価、編集ができる。
- 他の文献からの情報をエッセイに引用し、参考文献リストを作成できる。

履修しておくことが望まれる科目 / Required Preparatory Study

授業スケジュール / Course Schedule

授業日(第N回)	テーマ / Theme	キーワード / Key Word
第1回	Orientation	Self-Introduction, Explanation of Attainment Objectives, Procedures, and Grading Methods
第2回	以下の詳細は、担当教員から授業開始第一週に配布されるシラバスを参照	
第3回		
第4回		
第5回		
第6回		
第7回		
第8回		
第9回		
第10回		
第11回		
第12回		
第13回		
第14回		
第15回		

(学部科目 / Undergraduate Courses) 授業外学習の指示 / Recommendations for Private Study
(大学院科目 / Graduate Courses) 授業の方法 / Study Method

成績評価方法 / Grading Criteria and Method of Evaluation

種別 / Kind	割合 / Percentage	評価基準等 / Grading Criteria etc.
平常点評価	100 %	課題、発表、出席、小テスト、授業参加。詳細は授業開始時に配布されるシラバスを確認すること。2/3 以上の授業に出席した者のみ成績評価の対象となる。出席点のみで単位を認定することはない。

受講および研究に関するアドバイス / Advice to Students on Study and Research Methods

教科書 / Textbooks

クラスごとに指定されているテキストを生協で購入すること。

参考書 / Reference Books

産業社会学部 2008年度「外国語ハンドブック」を参照

参考になる WWW ページ / Web Pages Useful for Reference

英語2 (17)

11726

担当者名 / Instructor AMUNDRUD THOMAS

単位数 / Credit 2

授業の概要 / Course Outline

この科目は、英語の4つの技能を総合的に修得することを目指しますが、特にライティングに重点を置きます。ライティングでは、自分が扱うテーマを紹介するパラグラフ(序論)、テーマを展開し、支持するパラグラフ(本論)、論述を要約するパラグラフ(結論)などをつないで、一つのエッセイを書くことを目標とします。英文のレトリック、パラグラフの展開方法(比較と対照、原因・結果、列挙と描例示、意見と理由など)とともに、ライティングの過程で必要なブレーストリーミング、アウトライン(要点の下書き)、校正、編集などの技能も学びます。学期の終わりに、この科目で学んだ技能を使ってエッセイを作成し、クラスごとの文集を作成・出版する予定です。

到達目標 / Attainment Objectives

この科目では、次のような技能の習得を目指します。

- 与えられたWritingの課題について、その目的、対象の読者を理解し、それらに適した文体と書式を使うことができる。
- ブレーストリーミングのテクニックを使ってアイデアを生み出すことができる。
- アイデアを構成するためのアウトラインを書くことができる。
- 主要なアイデアを解説や例を使って展開できる。
- 明確な主題文のある一貫性のあるパラグラフを構成できる。
- 論理的に整合性・一貫性のあるエッセイを書くことができる。
- 他の人の書いたエッセイを読んで、評価、編集ができる。
- 他の文献からの情報をエッセイに引用し、参考文献リストを作成できる。

履修しておくことが望まれる科目 / Required Preparatory Study

授業スケジュール / Course Schedule

授業日(第N回)	テーマ / Theme	キーワード / Key Word
第1回	Orientation	Self-Introduction, Explanation of Attainment Objectives, Procedures, and Grading Methods
第2回	以下の詳細は、担当教員から授業開始第一週に配布されるシラバスを参照	
第3回		
第4回		
第5回		
第6回		
第7回		
第8回		
第9回		
第10回		
第11回		
第12回		
第13回		
第14回		
第15回		

(学部科目 / Undergraduate Courses) 授業外学習の指示 / Recommendations for Private Study
(大学院科目 / Graduate Courses) 授業の方法 / Study Method

成績評価方法 / Grading Criteria and Method of Evaluation

種別 / Kind	割合 / Percentage	評価基準等 / Grading Criteria etc.
平常点評価	100 %	課題、発表、出席、小テスト、授業参加。詳細は授業開始時に配布されるシラバスを確認すること。2/3 以上の授業に出席した者のみ成績評価の対象となる。出席点のみで単位を認定することはない。

受講および研究に関するアドバイス / Advice to Students on Study and Research Methods

教科書 / Textbooks

クラスごとに指定されているテキストを生協で購入すること。

参考書 / Reference Books

産業社会学部 2008年度「外国語ハンドブック」を参照

参考になる WWW ページ / Web Pages Useful for Reference

英語2 (18)

11719

担当者名 / Instructor BARCHUS GALE LESLIE

単位数 / Credit 2

授業の概要 / Course Outline

この科目は、英語の4つの技能を総合的に修得することを目指しますが、特にライティングに重点を置きます。

ライティングでは、自分が扱うテーマを紹介するパラグラフ(序論)、テーマを展開し、支持するパラグラフ(本論)、論述を要約するパラグラフ(結論)などをつないで、一つのエッセイを書くことを目標とします。英文のレトリック、パラグラフの展開方法(比較と対照、原因・結果、列挙と描例示、意見と理由など)とともに、ライティングの過程で必要なブレーンストーミング、アウトライン(要点の下書き)、校正、編集などの技能も学びます。学期の終わりに、この科目で学んだ技能を使ってエッセイを作成し、クラスごとの文集を作成・出版する予定です。

到達目標 / Attainment Objectives

この科目では、次のような技能の習得を目指します。

- 与えられたWritingの課題について、その目的、対象の読者を理解し、それらに適した文体と書式を使うことができる。
- ブレーンストーミングのテクニックを使ってアイデアを生み出すことができる。
- アイデアを構成するためのアウトラインを書くことができる。
- 主要なアイデアを解説や例を使って展開できる。
- 明確な主題文のある一貫性のあるパラグラフを構成できる。
- 論理的に整合性・一貫性のあるエッセイを書くことができる。
- 他の人の書いたエッセイを読んで、評価、編集ができる。
- 他の文献からの情報をエッセイに引用し、参考文献リストを作成できる。

履修しておくことが望まれる科目 / Required Preparatory Study

授業スケジュール / Course Schedule

授業日(第N回)	テーマ / Theme	キーワード / Key Word
第1回	Orientation	Self-Introduction, Explanation of Attainment Objectives, Procedures, and Grading Methods
第2回	以下の詳細は、担当教員から授業開始第一週に配布されるシラバスを参照	
第3回		
第4回		
第5回		
第6回		
第7回		
第8回		
第9回		
第10回		
第11回		
第12回		
第13回		
第14回		
第15回		

(学部科目 / Undergraduate Courses) 授業外学習の指示 / Recommendations for Private Study
(大学院科目 / Graduate Courses) 授業の方法 / Study Method

成績評価方法 / Grading Criteria and Method of Evaluation

種別 / Kind	割合 / Percentage	評価基準等 / Grading Criteria etc.
平常点評価	100 %	課題、発表、出席、小テスト、授業参加。詳細は授業開始時に配布されるシラバスを確認すること。2/3 以上の授業に出席した者のみ成績評価の対象となる。出席点のみで単位を認定することはない。

受講および研究に関するアドバイス / Advice to Students on Study and Research Methods

教科書 / Textbooks

クラスごとに指定されているテキストを生協で購入すること。

参考書 / Reference Books

産業社会学部 2008年度「外国語ハンドブック」を参照

参考になる WWW ページ / Web Pages Useful for Reference

英語2 (19)

11720

担当者名 / Instructor MULLIGAN CHRISTOPHER

単位数 / Credit 2

授業の概要 / Course Outline

この科目は、英語の4つの技能を総合的に修得することを目指しますが、特にライティングに重点を置きます。

ライティングでは、自分が扱うテーマを紹介するパラグラフ(序論)、テーマを展開し、支持するパラグラフ(本論)、論述を要約するパラグラフ(結論)などをつないで、一つのエッセイを書くことを目標とします。英文のレトリック、パラグラフの展開方法(比較と対照、原因・結果、列挙と描例示、意見と理由など)とともに、ライティングの過程で必要なブレーンストーミング、アウトライン(要点の下書き)、校正、編集などの技能も学びます。学期の終わりに、この科目で学んだ技能を使ってエッセイを作成し、クラスごとの文集を作成・出版する予定です。

到達目標 / Attainment Objectives

この科目では、次のような技能の習得を目指します。

- 与えられたWritingの課題について、その目的、対象の読者を理解し、それらに適した文体と書式を使うことができる。
- ブレーンストーミングのテクニックを使ってアイデアを生み出すことができる。
- アイデアを構成するためのアウトラインを書くことができる。
- 主要なアイデアを解説や例を使って展開できる。
- 明確な主題文のある一貫性のあるパラグラフを構成できる。
- 論理的に整合性・一貫性のあるエッセイを書くことができる。
- 他の人の書いたエッセイを読んで、評価、編集ができる。
- 他の文献からの情報をエッセイに引用し、参考文献リストを作成できる。

履修しておくことが望まれる科目 / Required Preparatory Study

授業スケジュール / Course Schedule

授業日(第N回)	テーマ / Theme	キーワード / Key Word
第1回	Orientation	Self-Introduction, Explanation of Attainment Objectives, Procedures, and Grading Methods
第2回	以下の詳細は、担当教員から授業開始第一週に配布されるシラバスを参照	
第3回		
第4回		
第5回		
第6回		
第7回		
第8回		
第9回		
第10回		
第11回		
第12回		
第13回		
第14回		
第15回		

(学部科目 / Undergraduate Courses) 授業外学習の指示 / Recommendations for Private Study
(大学院科目 / Graduate Courses) 授業の方法 / Study Method

成績評価方法 / Grading Criteria and Method of Evaluation

種別 / Kind	割合 / Percentage	評価基準等 / Grading Criteria etc.
平常点評価	100 %	課題、発表、出席、小テスト、授業参加。詳細は授業開始時に配布されるシラバスを確認すること。2/3 以上の授業に出席した者のみ成績評価の対象となる。出席点のみで単位を認定することはない。

受講および研究に関するアドバイス / Advice to Students on Study and Research Methods

教科書 / Textbooks

クラスごとに指定されているテキストを生協で購入すること。

参考書 / Reference Books

産業社会学部 2008年度「外国語ハンドブック」を参照

参考になる WWW ページ / Web Pages Useful for Reference

その他 / Others

英語2 (20)

11722

担当者名 / Instructor PARRISH MICHAEL M.

単位数 / Credit 2

授業の概要 / Course Outline

この科目は、英語の4つの技能を総合的に修得することを目指しますが、特にライティングに重点を置きます。

ライティングでは、自分が扱うテーマを紹介するパラグラフ(序論)、テーマを展開し、支持するパラグラフ(本論)、論述を要約するパラグラフ(結論)などをつないで、一つのエッセイを書くことを目標とします。英文のレトリック、パラグラフの展開方法(比較と対照、原因・結果、列挙と描例示、意見と理由など)とともに、ライティングの過程で必要なブレーンストーミング、アウトライン(要点の下書き)、校正、編集などの技能も学びます。学期の終わりに、この科目で学んだ技能を使ってエッセイを作成し、クラスごとの文集を作成・出版する予定です。

到達目標 / Attainment Objectives

この科目では、次のような技能の習得を目指します。

- 与えられたWritingの課題について、その目的、対象の読者を理解し、それらに適した文体と書式を使うことができる。
- ブレーンストーミングのテクニックを使ってアイデアを生み出すことができる。
- アイデアを構成するためのアウトラインを書くことができる。
- 主要なアイデアを解説や例を使って展開できる。
- 明確な主題文のある一貫性のあるパラグラフを構成できる。
- 論理的に整合性・一貫性のあるエッセイを書くことができる。
- 他の人の書いたエッセイを読んで、評価、編集ができる。
- 他の文献からの情報をエッセイに引用し、参考文献リストを作成できる。

履修しておくことが望まれる科目 / Required Preparatory Study

授業スケジュール / Course Schedule

授業日(第N回)	テーマ / Theme	キーワード / Key Word
第1回	Orientation	Self-Introduction, Explanation of Attainment Objectives, Procedures, and Grading Methods
第2回	以下の詳細は、担当教員から授業開始第一週に配布されるシラバスを参照	
第3回		
第4回		
第5回		
第6回		
第7回		
第8回		
第9回		
第10回		
第11回		
第12回		
第13回		
第14回		
第15回		

(学部科目 / Undergraduate Courses) 授業外学習の指示 / Recommendations for Private Study
 (大学院科目 / Graduate Courses) 授業の方法 / Study Method

成績評価方法 / Grading Criteria and Method of Evaluation

種別 / Kind	割合 / Percentage	評価基準等 / Grading Criteria etc.
平常点評価	100 %	課題、発表、出席、小テスト、授業参加。詳細は授業開始時に配布されるシラバスを確認すること。2/3 以上の授業に出席した者のみ成績評価の対象となる。出席点のみで単位を認定することはない。

受講および研究に関するアドバイス / Advice to Students on Study and Research Methods

教科書 / Textbooks

クラスごとに指定されているテキストを生協で購入すること。

参考書 / Reference Books

産業社会学部 2008年度「外国語ハンドブック」を参照

参考になる WWW ページ / Web Pages Useful for Reference

その他 / Others

英語2 (21)

11725

担当者名 / Instructor DOWLING ANDREW G

単位数 / Credit 2

授業の概要 / Course Outline

この科目は、英語の4つの技能を総合的に修得することを目指しますが、特にライティングに重点を置きます。

ライティングでは、自分が扱うテーマを紹介するパラグラフ(序論)、テーマを展開し、支持するパラグラフ(本論)、論述を要約するパラグラフ(結論)などをつないで、一つのエッセイを書くことを目標とします。英文のレトリック、パラグラフの展開方法(比較と対照、原因・結果、列挙と描例示、意見と理由など)とともに、ライティングの過程で必要なブレーンストーミング、アウトライン(要点の下書き)、校正、編集などの技能も学びます。学期の終わりに、この科目で学んだ技能を使ってエッセイを作成し、クラスごとの文集を作成・出版する予定です。

到達目標 / Attainment Objectives

この科目では、次のような技能の習得を目指します。

- 与えられたWritingの課題について、その目的、対象の読者を理解し、それらに適した文体と書式を使うことができる。
- ブレーンストーミングのテクニックを使ってアイデアを生み出すことができる。
- アイデアを構成するためのアウトラインを書くことができる。
- 主要なアイデアを解説や例を使って展開できる。
- 明確な主題文のある一貫性のあるパラグラフを構成できる。
- 論理的に整合性・一貫性のあるエッセイを書くことができる。
- 他の人の書いたエッセイを読んで、評価、編集ができる。
- 他の文献からの情報をエッセイに引用し、参考文献リストを作成できる。

履修しておくことが望まれる科目 / Required Preparatory Study

授業スケジュール / Course Schedule

授業日(第N回)	テーマ / Theme	キーワード / Key Word
第1回	Orientation	Self-Introduction, Explanation of Attainment Objectives, Procedures, and Grading Methods
第2回	以下の詳細は、担当教員から授業開始第一週に配布されるシラバスを参照	
第3回		
第4回		
第5回		
第6回		
第7回		
第8回		
第9回		
第10回		
第11回		
第12回		
第13回		
第14回		
第15回		

(学部科目 / Undergraduate Courses) 授業外学習の指示 / Recommendations for Private Study
(大学院科目 / Graduate Courses) 授業の方法 / Study Method

成績評価方法 / Grading Criteria and Method of Evaluation

種別 / Kind	割合 / Percentage	評価基準等 / Grading Criteria etc.
平常点評価	100 %	課題、発表、出席、小テスト、授業参加。詳細は授業開始時に配布されるシラバスを確認すること。2/3 以上の授業に出席した者のみ成績評価の対象となる。出席点のみで単位を認定することはない。

受講および研究に関するアドバイス / Advice to Students on Study and Research Methods

教科書 / Textbooks

クラスごとに指定されているテキストを生協で購入すること。

参考書 / Reference Books

産業社会学部 2008年度「外国語ハンドブック」を参照

参考になる WWW ページ / Web Pages Useful for Reference

英語2 (22)

11721

担当者名 / Instructor RAMIREZ REYMIE

単位数 / Credit 2

授業の概要 / Course Outline

この科目は、英語の4つの技能を総合的に修得することを目指しますが、特にライティングに重点を置きます。

ライティングでは、自分が扱うテーマを紹介するパラグラフ(序論)、テーマを展開し、支持するパラグラフ(本論)、論述を要約するパラグラフ(結論)などをつないで、一つのエッセイを書くことを目標とします。英文のレトリック、パラグラフの展開方法(比較と対照、原因・結果、列挙と描例示、意見と理由など)とともに、ライティングの過程で必要なブレーンストーミング、アウトライン(要点の下書き)、校正、編集などの技能も学びます。学期の終わりに、この科目で学んだ技能を使ってエッセイを作成し、クラスごとの文集を作成・出版する予定です。

到達目標 / Attainment Objectives

この科目では、次のような技能の習得を目指します。

- 与えられたWritingの課題について、その目的、対象の読者を理解し、それらに適した文体と書式を使うことができる。
- ブレーンストーミングのテクニックを使ってアイデアを生み出すことができる。
- アイデアを構成するためのアウトラインを書くことができる。
- 主要なアイデアを解説や例を使って展開できる。
- 明確な主題文のある一貫性のあるパラグラフを構成できる。
- 論理的に整合性・一貫性のあるエッセイを書くことができる。
- 他の人の書いたエッセイを読んで、評価、編集ができる。
- 他の文献からの情報をエッセイに引用し、参考文献リストを作成できる。

履修しておくことが望まれる科目 / Required Preparatory Study

授業スケジュール / Course Schedule

授業日(第N回)	テーマ / Theme	キーワード / Key Word
第1回	Orientation	Self-Introduction, Explanation of Attainment Objectives, Procedures, and Grading Methods
第2回	以下の詳細は、担当教員から授業開始第一週に配布されるシラバスを参照	
第3回		
第4回		
第5回		
第6回		
第7回		
第8回		
第9回		
第10回		
第11回		
第12回		
第13回		
第14回		
第15回		

(学部科目 / Undergraduate Courses) 授業外学習の指示 / Recommendations for Private Study
(大学院科目 / Graduate Courses) 授業の方法 / Study Methods

成績評価方法 / Grading Criteria and Method of Evaluation

種別 / Kind	割合 / Percentage	評価基準等 / Grading Criteria etc.
平常点評価	100 %	課題、発表、出席、小テスト、授業参加。詳細は授業開始時に配布されるシラバスを確認すること。2/3 以上の授業に出席した者のみ成績評価の対象となる。出席点のみで単位を認定することはない。

受講および研究に関するアドバイス / Advice to Students on Study and Research Methods

教科書 / Textbooks

クラスごとに指定されているテキストを生協で購入すること。

参考書 / Reference Books

産業社会学部 2008年度「外国語ハンドブック」を参照

参考になる WWW ページ / Web Pages Useful for Reference

英語2 (23)

11729

担当者名 / Instructor PARKER MALCOLM E.

単位数 / Credit 2

授業の概要 / Course Outline

この科目は、英語の4つの技能を総合的に修得することを目指しますが、特にライティングに重点を置きます。

ライティングでは、自分が扱うテーマを紹介するパラグラフ(序論)、テーマを展開し、支持するパラグラフ(本論)、論述を要約するパラグラフ(結論)などをつないで、一つのエッセイを書くことを目標とします。英文のレトリック、パラグラフの展開方法(比較と対照、原因・結果、列挙と描例示、意見と理由など)とともに、ライティングの過程で必要なブレーンストーミング、アウトライン(要点の下書き)、校正、編集などの技能も学びます。学期の終わりに、この科目で学んだ技能を使ってエッセイを作成し、クラスごとの文集を作成・出版する予定です。

到達目標 / Attainment Objectives

この科目では、次のような技能の習得を目指します。

- 与えられたWritingの課題について、その目的、対象の読者を理解し、それらに適した文体と書式を使うことができる。
- ブレーンストーミングのテクニックを使ってアイデアを生み出すことができる。
- アイデアを構成するためのアウトラインを書くことができる。
- 主要なアイデアを解説や例を使って展開できる。
- 明確な主題文のある一貫性のあるパラグラフを構成できる。
- 論理的に整合性・一貫性のあるエッセイを書くことができる。
- 他の人の書いたエッセイを読んで、評価、編集ができる。
- 他の文献からの情報をエッセイに引用し、参考文献リストを作成できる。

履修しておくことが望まれる科目 / Required Preparatory Study

授業スケジュール / Course Schedule

授業日(第N回)	テーマ / Theme	キーワード / Key Word
第1回	Orientation	Self-Introduction, Explanation of Attainment Objectives, Procedures, and Grading Methods
第2回	以下の詳細は、担当教員から授業開始第一週に配布されるシラバスを参照	
第3回		
第4回		
第5回		
第6回		
第7回		
第8回		
第9回		
第10回		
第11回		
第12回		
第13回		
第14回		
第15回		

(学部科目 / Undergraduate Courses) 授業外学習の指示 / Recommendations for Private Study
 (大学院科目 / Graduate Courses) 授業の方法 / Study Method

成績評価方法 / Grading Criteria and Method of Evaluation

種別 / Kind	割合 / Percentage	評価基準等 / Grading Criteria etc.
平常点評価	100 %	課題、発表、出席、小テスト、授業参加。詳細は授業開始時に配布されるシラバスを確認すること。2/3 以上の授業に出席した者のみ成績評価の対象となる。出席点のみで単位を認定することはない。

受講および研究に関するアドバイス / Advice to Students on Study and Research Methods

教科書 / Textbooks

クラスごとに指定されているテキストを生協で購入すること。

参考書 / Reference Books

産業社会学部 2008年度「外国語ハンドブック」を参照

参考になる WWW ページ / Web Pages Useful for Reference

英語2 (24)

11728

担当者名 / Instructor WOOLLOCK ANDREW

単位数 / Credit 2

授業の概要 / Course Outline

この科目は、英語の4つの技能を総合的に修得することを目指しますが、特にライティングに重点を置きます。

ライティングでは、自分が扱うテーマを紹介するパラグラフ(序論)、テーマを展開し、支持するパラグラフ(本論)、論述を要約するパラグラフ(結論)などをつないで、一つのエッセイを書くことを目標とします。英文のレトリック、パラグラフの展開方法(比較と対照、原因・結果、列挙と描例示、意見と理由など)とともに、ライティングの過程で必要なブレーンストーミング、アウトライン(要点の下書き)、校正、編集などの技能も学びます。学期の終わりに、この科目で学んだ技能を使ってエッセイを作成し、クラスごとの文集を作成・出版する予定です。

到達目標 / Attainment Objectives

この科目では、次のような技能の習得を目指します。

- 与えられたWritingの課題について、その目的、対象の読者を理解し、それらに適した文体と書式を使うことができる。
- ブレーンストーミングのテクニックを使ってアイデアを生み出すことができる。
- アイデアを構成するためのアウトラインを書くことができる。
- 主要なアイデアを解説や例を使って展開できる。
- 明確な主題文のある一貫性のあるパラグラフを構成できる。
- 論理的に整合性・一貫性のあるエッセイを書くことができる。
- 他の人の書いたエッセイを読んで、評価、編集ができる。
- 他の文献からの情報をエッセイに引用し、参考文献リストを作成できる。

履修しておくことが望まれる科目 / Required Preparatory Study

授業スケジュール / Course Schedule

授業日(第N回)	テーマ / Theme	キーワード / Key Word
第1回	Orientation	Self-Introduction, Explanation of Attainment Objectives, Procedures, and Grading Methods
第2回	以下の詳細は、担当教員から授業開始第一週に配布されるシラバスを参照	
第3回		
第4回		
第5回		
第6回		
第7回		
第8回		
第9回		
第10回		
第11回		
第12回		
第13回		
第14回		
第15回		

(学部科目 / Undergraduate Courses) 授業外学習の指示 / Recommendations for Private Study

(大学院科目 / Graduate Courses) 授業の方法 / Study Method

成績評価方法 / Grading Criteria and Method of Evaluation

種別 / Kind	割合 / Percentage	評価基準等 / Grading Criteria etc.
平常点評価	100 %	課題、発表、出席、小テスト、授業参加。詳細は授業開始時に配布されるシラバスを確認すること。2/3 以上の授業に出席した者のみ成績評価の対象となる。出席点のみで単位を認定することはない。

受講および研究に関するアドバイス / Advice to Students on Study and Research Methods

教科書 / Textbooks

クラスごとに指定されているテキストを生協で購入すること。

参考書 / Reference Books

産業社会学部 2008年度「外国語ハンドブック」を参照

参考になる WWW ページ / Web Pages Useful for Reference

英語2 (25)

11733

担当者名 / Instructor 坂本 利子

単位数 / Credit 2

授業の概要 / Course Outline

この科目は、英語の4つの技能を総合的に修得することを目指しますが、特にライティングに重点を置きます。

ライティングでは、自分が扱うテーマを紹介するパラグラフ(序論)、テーマを展開し、支持するパラグラフ(本論)、論述を要約するパラグラフ(結論)などをつないで、一つのエッセイを書くことを目標とします。英文のレトリック、パラグラフの展開方法(比較と対照、原因・結果、列挙と描例示、意見と理由など)とともに、ライティングの過程で必要なブレーンストーミング、アウトライン(要点の下書き)、校正、編集などの技能も学びます。学期の終わりに、この科目で学んだ技能を使ってエッセイを作成し、クラスごとの文集を作成・出版する予定です。

到達目標 / Attainment Objectives

この科目では、次のような技能の習得を目指します。

- 与えられたWritingの課題について、その目的、対象の読者を理解し、それらに適した文体と書式を使うことができる。
- ブレーンストーミングのテクニックを使ってアイデアを生み出すことができる。
- アイデアを構成するためのアウトラインを書くことができる。
- 主要なアイデアを解説や例を使って展開できる。
- 明確な主題文のある一貫性のあるパラグラフを構成できる。
- 論理的に整合性・一貫性のあるエッセイを書くことができる。
- 他の人の書いたエッセイを読んで、評価、編集ができる。
- 他の文献からの情報をエッセイに引用し、参考文献リストを作成できる。

履修しておくことが望まれる科目 / Required Preparatory Study

授業スケジュール / Course Schedule

授業日(第N回)	テーマ / Theme	キーワード / Key Word
第1回	Orientation	Self-Introduction, Explanation of Attainment Objectives, Procedures, and Grading Methods
第2回	以下の詳細は、担当教員から授業開始第一週に配布されるシラバスを参照	
第3回		
第4回		
第5回		
第6回		
第7回		
第8回		
第9回		
第10回		
第11回		
第12回		
第13回		
第14回		
第15回		

(学部科目 / Undergraduate Courses) 授業外学習の指示 / Recommendations for Private Study

(大学院科目 / Graduate Courses) 授業の方法 / Study Method

成績評価方法 / Grading Criteria and Method of Evaluation

種別 / Kind	割合 / Percentage	評価基準等 / Grading Criteria etc.
平常点評価	100 %	課題、発表、出席、小テスト、授業参加。詳細は授業開始時に配布されるシラバスを確認すること。2/3 以上の授業に出席した者のみ成績評価の対象となる。出席点のみで単位を認定することはない。

受講および研究に関するアドバイス / Advice to Students on Study and Research Methods

教科書 / Textbooks

クラスごとに指定されているテキストを生協で購入すること。

参考書 / Reference Books

産業社会学部 2008年度「外国語ハンドブック」を参照

参考になる WWW ページ / Web Pages Useful for Reference

その他 / Others

英語2 (26)

11967

担当者名 / Instructor DUQUETTE JEAN-PAUL

単位数 / Credit 2

授業の概要 / Course Outline

この科目は、英語の4つの技能を総合的に修得することを目指しますが、特にライティングに重点を置きます。

ライティングでは、自分が扱うテーマを紹介するパラグラフ(序論)、テーマを展開し、支持するパラグラフ(本論)、論述を要約するパラグラフ(結論)などをつないで、一つのエッセイを書くことを目標とします。英文のレトリック、パラグラフの展開方法(比較と対照、原因・結果、列挙と描例示、意見と理由など)とともに、ライティングの過程で必要なブレンストーミング、アウトライン(要点の下書き)、校正、編集などの技能も学びます。学期の終わりに、この科目で学んだ技能を使ってエッセイを作成し、クラスごとの文集を作成・出版する予定です。

到達目標 / Attainment Objectives

この科目では、次のような技能の習得を目指します。

- 与えられたWritingの課題について、その目的、対象の読者を理解し、それらに適した文体と書式を使うことができる。
- ブレンストーミングのテクニックを使ってアイデアを生み出すことができる。
- アイデアを構成するためのアウトラインを書くことができる。
- 主要なアイデアを解説や例を使って展開できる。
- 明確な主題文のある一貫性のあるパラグラフを構成できる。
- 論理的に整合性・一貫性のあるエッセイを書くことができる。
- 他の人の書いたエッセイを読んで、評価、編集ができる。
- 他の文献からの情報をエッセイに引用し、参考文献リストを作成できる。

履修しておくことが望まれる科目 / Required Preparatory Study

授業スケジュール / Course Schedule

授業日(第N回)	テーマ / Theme	キーワード / Key Word
第1回	Orientation	Self-Introduction, Explanation of Attainment Objectives, Procedures, and Grading Methods
第2回	以下の詳細は、担当教員から授業開始第一週に配布されるシラバスを参照	
第3回		
第4回		
第5回		
第6回		
第7回		
第8回		
第9回		
第10回		
第11回		
第12回		
第13回		
第14回		
第15回		

(学部科目 / Undergraduate Courses) 授業外学習の指示 / Recommendations for Private Study
(大学院科目 / Graduate Courses) 授業の方法 / Study Methods

成績評価方法 / Grading Criteria and Method of Evaluation

種別 / Kind	割合 / Percentage	評価基準等 / Grading Criteria etc.
平常点評価	100 %	課題、発表、出席、小テスト、授業参加。詳細は授業開始時に配布されるシラバスを確認すること。2/3 以上の授業に出席した者のみ成績評価の対象となる。出席点のみで単位を認定することはない。

受講および研究に関するアドバイス / Advice to Students on Study and Research Methods

教科書 / Textbooks

クラスごとに指定されているテキストを生協で購入すること。

参考書 / Reference Books

産業社会学部 2008年度「外国語ハンドブック」を参照

参考になる WWW ページ / Web Pages Useful for Reference

英語2 (27)

11968

担当者名 / Instructor WOOLLOCK ANDREW

単位数 / Credit 2

授業の概要 / Course Outline

この科目は、英語の4つの技能を総合的に修得することを目指しますが、特にライティングに重点を置きます。

ライティングでは、自分が扱うテーマを紹介するパラグラフ(序論)、テーマを展開し、支持するパラグラフ(本論)、論述を要約するパラグラフ(結論)などをつないで、一つのエッセイを書くことを目標とします。英文のレトリック、パラグラフの展開方法(比較と対照、原因・結果、列挙と描例示、意見と理由など)とともに、ライティングの過程で必要なブレンストーミング、アウトライン(要点の下書き)、校正、編集などの技能も学びます。学期の終わりに、この科目で学んだ技能を使ってエッセイを作成し、クラスごとの文集を作成・出版する予定です。

到達目標 / Attainment Objectives

この科目では、次のような技能の習得を目指します。

- 与えられたWritingの課題について、その目的、対象の読者を理解し、それらに適した文体と書式を使うことができる。
- ブレンストーミングのテクニックを使ってアイデアを生み出すことができる。
- アイデアを構成するためのアウトラインを書くことができる。
- 主要なアイデアを解説や例を使って展開できる。
- 明確な主題文のある一貫性のあるパラグラフを構成できる。
- 論理的に整合性・一貫性のあるエッセイを書くことができる。
- 他の人の書いたエッセイを読んで、評価、編集ができる。
- 他の文献からの情報をエッセイに引用し、参考文献リストを作成できる。

履修しておくことが望まれる科目 / Required Preparatory Study

授業スケジュール / Course Schedule

授業日(第N回)	テーマ / Theme	キーワード / Key Word
第1回	Orientation	Self-Introduction, Explanation of Attainment Objectives, Procedures, and Grading Methods
第2回	以下の詳細は、担当教員から授業開始第一週に配布されるシラバスを参照	
第3回		
第4回		
第5回		
第6回		
第7回		
第8回		
第9回		
第10回		
第11回		
第12回		
第13回		
第14回		
第15回		

(学部科目 / Undergraduate Courses) 授業外学習の指示 / Recommendations for Private Study
(大学院科目 / Graduate Courses) 授業の方法 / Study Method

成績評価方法 / Grading Criteria and Method of Evaluation

種別 / Kind	割合 / Percentage	評価基準等 / Grading Criteria etc.
平常点評価	100 %	課題、発表、出席、小テスト、授業参加。詳細は授業開始時に配布されるシラバスを確認すること。2/3 以上の授業に出席した者のみ成績評価の対象となる。出席点のみで単位を認定することはない。

受講および研究に関するアドバイス / Advice to Students on Study and Research Methods

教科書 / Textbooks

クラスごとに指定されているテキストを生協で購入すること。

参考書 / Reference Books

産業社会学部 2008年度「外国語ハンドブック」を参照

参考になる WWW ページ / Web Pages Useful for Reference

英語2 (28)

11969

担当者名 / Instructor 伊東 寿泰

単位数 / Credit 2

授業の概要 / Course Outline

この科目は、英語の4つの技能を総合的に修得することを目指しますが、特にライティングに重点を置きます。

ライティングでは、自分が扱うテーマを紹介するパラグラフ(序論)、テーマを展開し、支持するパラグラフ(本論)、論述を要約するパラグラフ(結論)などをつないで、一つのエッセイを書くことを目標とします。英文のレトリック、パラグラフの展開方法(比較と対照、原因・結果、列挙と描例示、意見と理由など)とともに、ライティングの過程で必要なブレーンストーミング、アウトライン(要点の下書き)、校正、編集などの技能も学びます。学期の終わりに、この科目で学んだ技能を使ってエッセイを作成し、クラスごとの文集を作成・出版する予定です。

到達目標 / Attainment Objectives

この科目では、次のような技能の習得を目指します。

- 与えられたWritingの課題について、その目的、対象の読者を理解し、それらに適した文体と書式を使うことができる。
- ブレーンストーミングのテクニックを使ってアイデアを生み出すことができる。
- アイデアを構成するためのアウトラインを書くことができる。
- 主要なアイデアを解説や例を使って展開できる。
- 明確な主題文のある一貫性のあるパラグラフを構成できる。
- 論理的に整合性・一貫性のあるエッセイを書くことができる。
- 他の人の書いたエッセイを読んで、評価、編集ができる。
- 他の文献からの情報をエッセイに引用し、参考文献リストを作成できる。

履修しておくことが望まれる科目 / Required Preparatory Study

授業スケジュール / Course Schedule

授業日(第N回)	テーマ / Theme	キーワード / Key Word
第1回	Orientation	Self-Introduction, Explanation of Attainment Objectives, Procedures, and Grading Methods
第2回	以下の詳細は、担当教員から授業開始第一週に配布されるシラバスを参照	
第3回		
第4回		
第5回		
第6回		
第7回		
第8回		
第9回		
第10回		
第11回		
第12回		
第13回		
第14回		
第15回		

(学部科目 / Undergraduate Courses) 授業外学習の指示 / Recommendations for Private Study
 (大学院科目 / Graduate Courses) 授業の方法 / Study Method

成績評価方法 / Grading Criteria and Method of Evaluation

種別 / Kind	割合 / Percentage	評価基準等 / Grading Criteria etc.
平常点評価	100 %	課題、発表、出席、小テスト、授業参加。詳細は授業開始時に配布されるシラバスを確認すること。2/3 以上の授業に出席した者のみ成績評価の対象となる。出席点のみで単位を認定することはない。

受講および研究に関するアドバイス / Advice to Students on Study and Research Methods

教科書 / Textbooks

クラスごとに指定されているテキストを生協で購入すること。

参考書 / Reference Books

産業社会学部 2008年度「外国語ハンドブック」を参照

参考になる WWW ページ / Web Pages Useful for Reference

その他 / Others

英語2 (29)

11979

担当者名 / Instructor GAROFALO RUSSELL

単位数 / Credit 2

授業の概要 / Course Outline

この科目は、英語の4つの技能を総合的に修得することを目指しますが、特にライティングに重点を置きます。
ライティングでは、自分が扱うテーマを紹介するパラグラフ(序論)、テーマを展開し、支持するパラグラフ(本論)、論述を要約するパラグラフ(結論)などをつないで、一つのエッセイを書くことを目標とします。英文のレトリック、パラグラフの展開方法(比較と対照、原因・結果、列挙と描例示、意見と理由など)とともに、ライティングの過程で必要なブレーンストーミング、アウトライン(要点の下書き)、校正、編集などの技能も学びます。
学期の終わりに、この科目で学んだ技能を使ってエッセイを作成し、クラスごとの文集を作成・出版する予定です。

到達目標 / Attainment Objectives

この科目では、次のような技能の習得を目指します。

- 与えられたWritingの課題について、その目的、対象の読者を理解し、それらに適した文体と書式を使うことができる。
- ブレーンストーミングのテクニックを使ってアイデアを生み出すことができる。
- アイデアを構成するためのアウトラインを書くことができる。
- 主要なアイデアを解説や例を使って展開できる。
- 明確な主題文のある一貫性のあるパラグラフを構成できる。
- 論理的に整合性・一貫性のあるエッセイを書くことができる。
- 他の人の書いたエッセイを読んで、評価、編集ができる。
- 他の文献からの情報をエッセイに引用し、参考文献リストを作成できる。

履修しておくことが望まれる科目 / Required Preparatory Study

授業スケジュール / Course Schedule

授業日(第N回)	テーマ / Theme	キーワード / Key Word
第1回	Orientation	Self-Introduction, Explanation of Attainment Objectives, Procedures, and Grading Methods
第2回	以下の詳細は、担当教員から授業開始第一週に配布されるシラバスを参照	
第3回		
第4回		
第5回		
第6回		
第7回		
第8回		
第9回		
第10回		
第11回		
第12回		
第13回		
第14回		
第15回		

(学部科目 / Undergraduate Courses) 授業外学習の指示 / Recommendations for Private Study
(大学院科目 / Graduate Courses) 授業の方法 / Study Method

成績評価方法 / Grading Criteria and Method of Evaluation

種別 / Kind	割合 / Percentage	評価基準等 / Grading Criteria etc.
平常点評価	100 %	課題、発表、出席、小テスト、授業参加。詳細は授業開始時に配布されるシラバスを確認すること。2/3 以上の授業に出席した者のみ成績評価の対象となる。出席点のみで単位を認定することはない。

受講および研究に関するアドバイス / Advice to Students on Study and Research Methods

教科書 / Textbooks

クラスごとに指定されているテキストを生協で購入すること。

参考書 / Reference Books

産業社会学部 2008年度「外国語ハンドブック」を参照

参考になる WWW ページ / Web Pages Useful for Reference

その他 / Others

英語2 (30)

11978

担当者名 / Instructor McCLUNG ROBERT JOHN

単位数 / Credit 2

授業の概要 / Course Outline

この科目は、英語の4つの技能を総合的に修得することを目指しますが、特にライティングに重点を置きます。

ライティングでは、自分が扱うテーマを紹介するパラグラフ(序論)、テーマを展開し、支持するパラグラフ(本論)、論述を要約するパラグラフ(結論)などをつないで、一つのエッセイを書くことを目標とします。英文のレトリック、パラグラフの展開方法(比較と対照、原因・結果、列挙と描例示、意見と理由など)とともに、ライティングの過程で必要なブレーストリーミング、アウトライン(要点の下書き)、校正、編集などの技能も学びます。学期の終わりに、この科目で学んだ技能を使ってエッセイを作成し、クラスごとの文集を作成・出版する予定です。

到達目標 / Attainment Objectives

この科目では、次のような技能の習得を目指します。

- 与えられたWritingの課題について、その目的、対象の読者を理解し、それらに適した文体と書式を使うことができる。
- ブレーストリーミングのテクニックを使ってアイデアを生み出すことができる。
- アイデアを構成するためのアウトラインを書くことができる。
- 主要なアイデアを解説や例を使って展開できる。
- 明確な主題文のある一貫性のあるパラグラフを構成できる。
- 論理的に整合性・一貫性のあるエッセイを書くことができる。
- 他の人の書いたエッセイを読んで、評価、編集ができる。
- 他の文献からの情報をエッセイに引用し、参考文献リストを作成できる。

履修しておくことが望まれる科目 / Required Preparatory Study

授業スケジュール / Course Schedule

授業日(第N回)	テーマ / Theme	キーワード / Key Word
第1回	Orientation	Self-Introduction, Explanation of Attainment Objectives, Procedures, and Grading Methods
第2回	以下の詳細は、担当教員から授業開始第一週に配布されるシラバスを参照	
第3回		
第4回		
第5回		
第6回		
第7回		
第8回		
第9回		
第10回		
第11回		
第12回		
第13回		
第14回		
第15回		

(学部科目 / Undergraduate Courses) 授業外学習の指示 / Recommendations for Private Study
(大学院科目 / Graduate Courses) 授業の方法 / Study Method

成績評価方法 / Grading Criteria and Method of Evaluation

種別 / Kind	割合 / Percentage	評価基準等 / Grading Criteria etc.
平常点評価	100 %	課題、発表、出席、小テスト、授業参加。詳細は授業開始時に配布されるシラバスを確認すること。2/3 以上の授業に出席した者のみ成績評価の対象となる。出席点のみで単位を認定することはない。

受講および研究に関するアドバイス / Advice to Students on Study and Research Methods

教科書 / Textbooks

クラスごとに指定されているテキストを生協で購入すること。

参考書 / Reference Books

産業社会学部 2008年度「外国語ハンドブック」を参照

参考になる WWW ページ / Web Pages Useful for Reference

英語2 (31)

11977

担当者名 / Instructor MAIERL URSULA

単位数 / Credit 2

授業の概要 / Course Outline

この科目は、英語の4つの技能を総合的に修得することを目指しますが、特にライティングに重点を置きます。ライティングでは、自分が扱うテーマを紹介するパラグラフ(序論)、テーマを展開し、支持するパラグラフ(本論)、論述を要約するパラグラフ(結論)などをつないで、一つのエッセイを書くことを目標とします。英文のレトリック、パラグラフの展開方法(比較と対照、原因・結果、列挙と描例示、意見と理由など)とともに、ライティングの過程で必要なブレーストローミング、アウトライン(要点の下書き)、校正、編集などの技能も学びます。学期の終わりに、この科目で学んだ技能を使ってエッセイを作成し、クラスごとの文集を作成・出版する予定です。

到達目標 / Attainment Objectives

この科目では、次のような技能の習得を目指します。

- 与えられたWritingの課題について、その目的、対象の読者を理解し、それらに適した文体と書式を使うことができる。
- ブレーストローミングのテクニックを使ってアイデアを生み出すことができる。
- アイデアを構成するためのアウトラインを書くことができる。
- 主要なアイデアを解説や例を使って展開できる。
- 明確な主題文のある一貫性のあるパラグラフを構成できる。
- 論理的に整合性・一貫性のあるエッセイを書くことができる。
- 他の人の書いたエッセイを読んで、評価、編集ができる。
- 他の文献からの情報をエッセイに引用し、参考文献リストを作成できる。

履修しておくことが望まれる科目 / Required Preparatory Study

授業スケジュール / Course Schedule

授業日(第N回)	テーマ / Theme	キーワード / Key Word
第1回	Orientation	Self-Introduction, Explanation of Attainment Objectives, Procedures, and Grading Methods
第2回	以下の詳細は、担当教員から授業開始第一週に配布されるシラバスを参照	
第3回		
第4回		
第5回		
第6回		
第7回		
第8回		
第9回		
第10回		
第11回		
第12回		
第13回		
第14回		
第15回		

(学部科目 / Undergraduate Courses) 授業外学習の指示 / Recommendations for Private Study
(大学院科目 / Graduate Courses) 授業の方法 / Study Method

成績評価方法 / Grading Criteria and Method of Evaluation

種別 / Kind	割合 / Percentage	評価基準等 / Grading Criteria etc.
平常点評価	100 %	課題、発表、出席、小テスト、授業参加。詳細は授業開始時に配布されるシラバスを確認すること。2/3 以上の授業に出席した者のみ成績評価の対象となる。出席点のみで単位を認定することはない。

受講および研究に関するアドバイス / Advice to Students on Study and Research Methods

教科書 / Textbooks

クラスごとに指定されているテキストを生協で購入すること。

参考書 / Reference Books

産業社会学部 2008年度「外国語ハンドブック」を参照

参考になる WWW ページ / Web Pages Useful for Reference

英語2 (32)

11970

担当者名 / Instructor BONANG RICHARD F.

単位数 / Credit 2

授業の概要 / Course Outline

この科目は、英語の4つの技能を総合的に修得することを目指しますが、特にライティングに重点を置きます。

ライティングでは、自分が扱うテーマを紹介するパラグラフ(序論)、テーマを展開し、支持するパラグラフ(本論)、論述を要約するパラグラフ(結論)などをつないで、一つのエッセイを書くことを目標とします。英文のレトリック、パラグラフの展開方法(比較と対照、原因・結果、列挙と描例示、意見と理由など)とともに、ライティングの過程で必要なブレーストリーミング、アウトライン(要点の下書き)、校正、編集などの技能も学びます。学期の終わりに、この科目で学んだ技能を使ってエッセイを作成し、クラスごとの文集を作成・出版する予定です。

到達目標 / Attainment Objectives

この科目では、次のような技能の習得を目指します。

- 与えられたWritingの課題について、その目的、対象の読者を理解し、それらに適した文体と書式を使うことができる。
- ブレーストリーミングのテクニックを使ってアイデアを生み出すことができる。
- アイデアを構成するためのアウトラインを書くことができる。
- 主要なアイデアを解説や例を使って展開できる。
- 明確な主題文のある一貫性のあるパラグラフを構成できる。
- 論理的に整合性・一貫性のあるエッセイを書くことができる。
- 他の人の書いたエッセイを読んで、評価、編集ができる。
- 他の文献からの情報をエッセイに引用し、参考文献リストを作成できる。

履修しておくことが望まれる科目 / Required Preparatory Study

授業スケジュール / Course Schedule

授業日(第N回)	テーマ / Theme	キーワード / Key Word
第1回	Orientation	Self-Introduction, Explanation of Attainment Objectives, Procedures, and Grading Methods
第2回	以下の詳細は、担当教員から授業開始第一週に配布されるシラバスを参照	
第3回		
第4回		
第5回		
第6回		
第7回		
第8回		
第9回		
第10回		
第11回		
第12回		
第13回		
第14回		
第15回		

(学部科目 / Undergraduate Courses) 授業外学習の指示 / Recommendations for Private Study

(大学院科目 / Graduate Courses) 授業の方法 / Study Method

成績評価方法 / Grading Criteria and Method of Evaluation

種別 / Kind	割合 / Percentage	評価基準等 / Grading Criteria etc.
平常点評価	100 %	課題、発表、出席、小テスト、授業参加。詳細は授業開始時に配布されるシラバスを確認すること。2/3 以上の授業に出席した者のみ成績評価の対象となる。出席点のみで単位を認定することはない。

受講および研究に関するアドバイス / Advice to Students on Study and Research Methods

教科書 / Textbooks

クラスごとに指定されているテキストを生協で購入すること。

参考書 / Reference Books

産業社会学部 2008年度「外国語ハンドブック」を参照

参考になる WWW ページ / Web Pages Useful for Reference

英語2 (33)

11973

担当者名 / Instructor VIGERS PIERIS NIGEL

単位数 / Credit 2

授業の概要 / Course Outline

この科目は、英語の4つの技能を総合的に修得することを目指しますが、特にライティングに重点を置きます。

ライティングでは、自分が扱うテーマを紹介するパラグラフ(序論)、テーマを展開し、支持するパラグラフ(本論)、論述を要約するパラグラフ(結論)などをつないで、一つのエッセイを書くことを目標とします。英文のレトリック、パラグラフの展開方法(比較と対照、原因・結果、列挙と描例示、意見と理由など)とともに、ライティングの過程で必要なブレンストーミング、アウトライン(要点の下書き)、校正、編集などの技能も学びます。学期の終わりに、この科目で学んだ技能を使ってエッセイを作成し、クラスごとの文集を作成・出版する予定です。

到達目標 / Attainment Objectives

この科目では、次のような技能の習得を目指します。

- 与えられたWritingの課題について、その目的、対象の読者を理解し、それらに適した文体と書式を使うことができる。
- ブレンストーミングのテクニックを使ってアイデアを生み出すことができる。
- アイデアを構成するためのアウトラインを書くことができる。
- 主要なアイデアを解説や例を使って展開できる。
- 明確な主題文のある一貫性のあるパラグラフを構成できる。
- 論理的に整合性・一貫性のあるエッセイを書くことができる。
- 他の人の書いたエッセイを読んで、評価、編集ができる。
- 他の文献からの情報をエッセイに引用し、参考文献リストを作成できる。

履修しておくことが望まれる科目 / Required Preparatory Study

授業スケジュール / Course Schedule

授業日(第N回)	テーマ / Theme	キーワード / Key Word
第1回	Orientation	Self-Introduction, Explanation of Attainment Objectives, Procedures, and Grading Methods
第2回	以下の詳細は、担当教員から授業開始第一週に配布されるシラバスを参照	
第3回		
第4回		
第5回		
第6回		
第7回		
第8回		
第9回		
第10回		
第11回		
第12回		
第13回		
第14回		
第15回		

(学部科目 / Undergraduate Courses) 授業外学習の指示 / Recommendations for Private Study
 (大学院科目 / Graduate Courses) 授業の方法 / Study Method

成績評価方法 / Grading Criteria and Method of Evaluation

種別 / Kind	割合 / Percentage	評価基準等 / Grading Criteria etc.
平常点評価	100 %	課題、発表、出席、小テスト、授業参加。詳細は授業開始時に配布されるシラバスを確認すること。2/3 以上の授業に出席した者のみ成績評価の対象となる。出席点のみで単位を認定することはない。

受講および研究に関するアドバイス / Advice to Students on Study and Research Methods

教科書 / Textbooks

クラスごとに指定されているテキストを生協で購入すること。

参考書 / Reference Books

産業社会学部 2008年度「外国語ハンドブック」を参照

参考になる WWW ページ / Web Pages Useful for Reference

英語2 (34)

11972

担当者名 / Instructor HOVEY ANDREW G.

単位数 / Credit 2

授業の概要 / Course Outline

この科目は、英語の4つの技能を総合的に修得することを目指しますが、特にライティングに重点を置きます。

ライティングでは、自分が扱うテーマを紹介するパラグラフ(序論)、テーマを展開し、支持するパラグラフ(本論)、論述を要約するパラグラフ(結論)などをつないで、一つのエッセイを書くことを目標とします。英文のレトリック、パラグラフの展開方法(比較と対照、原因・結果、列挙と描例示、意見と理由など)とともに、ライティングの過程で必要なブレーンストーミング、アウトライン(要点の下書き)、校正、編集などの技能も学びます。学期の終わりに、この科目で学んだ技能を使ってエッセイを作成し、クラスごとの文集を作成・出版する予定です。

到達目標 / Attainment Objectives

この科目では、次のような技能の習得を目指します。

- 与えられたWritingの課題について、その目的、対象の読者を理解し、それらに適した文体と書式を使うことができる。
- ブレーンストーミングのテクニックを使ってアイデアを生み出すことができる。
- アイデアを構成するためのアウトラインを書くことができる。
- 主要なアイデアを解説や例を使って展開できる。
- 明確な主題文のある一貫性のあるパラグラフを構成できる。
- 論理的に整合性・一貫性のあるエッセイを書くことができる。
- 他の人の書いたエッセイを読んで、評価、編集ができる。
- 他の文献からの情報をエッセイに引用し、参考文献リストを作成できる。

履修しておくことが望まれる科目 / Required Preparatory Study

授業スケジュール / Course Schedule

授業日(第N回)	テーマ / Theme	キーワード / Key Word
第1回	Orientation	Self-Introduction, Explanation of Attainment Objectives, Procedures, and Grading Methods
第2回	以下の詳細は、担当教員から授業開始第一週に配布されるシラバスを参照	
第3回		
第4回		
第5回		
第6回		
第7回		
第8回		
第9回		
第10回		
第11回		
第12回		
第13回		
第14回		
第15回		

(学部科目 / Undergraduate Courses) 授業外学習の指示 / Recommendations for Private Study
(大学院科目 / Graduate Courses) 授業の方法 / Study Methods

成績評価方法 / Grading Criteria and Method of Evaluation

種別 / Kind	割合 / Percentage	評価基準等 / Grading Criteria etc.
平常点評価	100 %	課題、発表、出席、小テスト、授業参加。詳細は授業開始時に配布されるシラバスを確認すること。2/3 以上の授業に出席した者のみ成績評価の対象となる。出席点のみで単位を認定することはない。

受講および研究に関するアドバイス / Advice to Students on Study and Research Methods

教科書 / Textbooks

クラスごとに指定されているテキストを生協で購入すること。

参考書 / Reference Books

産業社会学部 2008年度「外国語ハンドブック」を参照

参考になる WWW ページ / Web Pages Useful for Reference

英語2 (35)

11971

担当者名 / Instructor GODINEZ NIEVES F.

単位数 / Credit 2

授業の概要 / Course Outline

この科目は、英語の4つの技能を総合的に修得することを目指しますが、特にライティングに重点を置きます。

ライティングでは、自分が扱うテーマを紹介するパラグラフ(序論)、テーマを展開し、支持するパラグラフ(本論)、論述を要約するパラグラフ(結論)などをつないで、一つのエッセイを書くことを目標とします。英文のレトリック、パラグラフの展開方法(比較と対照、原因・結果、列挙と描例示、意見と理由など)とともに、ライティングの過程で必要なブレーストリーミング、アウトライン(要点の下書き)、校正、編集などの技能も学びます。学期の終わりに、この科目で学んだ技能を使ってエッセイを作成し、クラスごとの文集を作成・出版する予定です。

到達目標 / Attainment Objectives

この科目では、次のような技能の習得を目指します。

- 与えられたWritingの課題について、その目的、対象の読者を理解し、それらに適した文体と書式を使うことができる。
- ブレーストリーミングのテクニックを使ってアイデアを生み出すことができる。
- アイデアを構成するためのアウトラインを書くことができる。
- 主要なアイデアを解説や例を使って展開できる。
- 明確な主題文のある一貫性のあるパラグラフを構成できる。
- 論理的に整合性・一貫性のあるエッセイを書くことができる。
- 他の人の書いたエッセイを読んで、評価、編集ができる。
- 他の文献からの情報をエッセイに引用し、参考文献リストを作成できる。

履修しておくことが望まれる科目 / Required Preparatory Study

授業スケジュール / Course Schedule

授業日(第N回)	テーマ / Theme	キーワード / Key Word
第1回	Orientation	Self-Introduction, Explanation of Attainment Objectives, Procedures, and Grading Methods
第2回	以下の詳細は、担当教員から授業開始第一週に配布されるシラバスを参照	
第3回		
第4回		
第5回		
第6回		
第7回		
第8回		
第9回		
第10回		
第11回		
第12回		
第13回		
第14回		
第15回		

(学部科目 / Undergraduate Courses) 授業外学習の指示 / Recommendations for Private Study
(大学院科目 / Graduate Courses) 授業の方法 / Study Method

成績評価方法 / Grading Criteria and Method of Evaluation

種別 / Kind	割合 / Percentage	評価基準等 / Grading Criteria etc.
平常点評価	100 %	課題、発表、出席、小テスト、授業参加。詳細は授業開始時に配布されるシラバスを確認すること。2/3 以上の授業に出席した者のみ成績評価の対象となる。出席点のみで単位を認定することはない。

受講および研究に関するアドバイス / Advice to Students on Study and Research Methods

教科書 / Textbooks

クラスごとに指定されているテキストを生協で購入すること。

参考書 / Reference Books

産業社会学部 2008年度「外国語ハンドブック」を参照

参考になる WWW ページ / Web Pages Useful for Reference

その他 / Others

英語2 (36)

11974

担当者名 / Instructor DOWLING ANDREW G

単位数 / Credit 2

授業の概要 / Course Outline

この科目は、英語の4つの技能を総合的に修得することを目指しますが、特にライティングに重点を置きます。ライティングでは、自分が扱うテーマを紹介するパラグラフ(序論)、テーマを展開し、支持するパラグラフ(本論)、論述を要約するパラグラフ(結論)などをつないで、一つのエッセイを書くことを目標とします。英文のレトリック、パラグラフの展開方法(比較と対照、原因・結果、列挙と描例示、意見と理由など)とともに、ライティングの過程で必要なブレーストリーミング、アウトライン(要点の下書き)、校正、編集などの技能も学びます。学期の終わりに、この科目で学んだ技能を使ってエッセイを作成し、クラスごとの文集を作成・出版する予定です。

到達目標 / Attainment Objectives

この科目では、次のような技能の習得を目指します。

- 与えられたWritingの課題について、その目的、対象の読者を理解し、それらに適した文体と書式を使うことができる。
- ブレーストリーミングのテクニックを使ってアイデアを生み出すことができる。
- アイデアを構成するためのアウトラインを書くことができる。
- 主要なアイデアを解説や例を使って展開できる。
- 明確な主題文のある一貫性のあるパラグラフを構成できる。
- 論理的に整合性・一貫性のあるエッセイを書くことができる。
- 他の人の書いたエッセイを読んで、評価、編集ができる。
- 他の文献からの情報をエッセイに引用し、参考文献リストを作成できる。

履修しておくことが望まれる科目 / Required Preparatory Study

授業スケジュール / Course Schedule

授業日(第N回)	テーマ / Theme	キーワード / Key Word
第1回	Orientation	Self-Introduction, Explanation of Attainment Objectives, Procedures, and Grading Methods
第2回	以下の詳細は、担当教員から授業開始第一週に配布されるシラバスを参照	
第3回		
第4回		
第5回		
第6回		
第7回		
第8回		
第9回		
第10回		
第11回		
第12回		
第13回		
第14回		
第15回		

(学部科目 / Undergraduate Courses) 授業外学習の指示 / Recommendations for Private Study
 (大学院科目 / Graduate Courses) 授業の方法 / Study Method

成績評価方法 / Grading Criteria and Method of Evaluation

種別 / Kind	割合 / Percentage	評価基準等 / Grading Criteria etc.
平常点評価	100 %	課題、発表、出席、小テスト、授業参加。詳細は授業開始時に配布されるシラバスを確認すること。2/3 以上の授業に出席した者のみ成績評価の対象となる。出席点のみで単位を認定することはない。

受講および研究に関するアドバイス / Advice to Students on Study and Research Methods

教科書 / Textbooks

クラスごとに指定されているテキストを生協で購入すること。

参考書 / Reference Books

産業社会学部 2008年度「外国語ハンドブック」を参照

参考になる WWW ページ / Web Pages Useful for Reference

英語2 (37)

11976

担当者名 / Instructor RAMIREZ REYMIE

単位数 / Credit 2

授業の概要 / Course Outline

この科目は、英語の4つの技能を総合的に修得することを目指しますが、特にライティングに重点を置きます。

ライティングでは、自分が扱うテーマを紹介するパラグラフ(序論)、テーマを展開し、支持するパラグラフ(本論)、論述を要約するパラグラフ(結論)などをつないで、一つのエッセイを書くことを目標とします。英文のレトリック、パラグラフの展開方法(比較と対照、原因・結果、列挙と描例示、意見と理由など)とともに、ライティングの過程で必要なブレーンストーミング、アウトライン(要点の下書き)、校正、編集などの技能も学びます。学期の終わりに、この科目で学んだ技能を使ってエッセイを作成し、クラスごとの文集を作成・出版する予定です。

到達目標 / Attainment Objectives

この科目では、次のような技能の習得を目指します。

- 与えられたWritingの課題について、その目的、対象の読者を理解し、それらに適した文体と書式を使うことができる。
- ブレーンストーミングのテクニックを使ってアイデアを生み出すことができる。
- アイデアを構成するためのアウトラインを書くことができる。
- 主要なアイデアを解説や例を使って展開できる。
- 明確な主題文のある一貫性のあるパラグラフを構成できる。
- 論理的に整合性・一貫性のあるエッセイを書くことができる。
- 他の人の書いたエッセイを読んで、評価、編集ができる。
- 他の文献からの情報をエッセイに引用し、参考文献リストを作成できる。

履修しておくことが望まれる科目 / Required Preparatory Study

授業スケジュール / Course Schedule

授業日(第N回)	テーマ / Theme	キーワード / Key Word
第1回	Orientation	Self-Introduction, Explanation of Attainment Objectives, Procedures, and Grading Methods
第2回	以下の詳細は、担当教員から授業開始第一週に配布されるシラバスを参照	
第3回		
第4回		
第5回		
第6回		
第7回		
第8回		
第9回		
第10回		
第11回		
第12回		
第13回		
第14回		
第15回		

(学部科目 / Undergraduate Courses) 授業外学習の指示 / Recommendations for Private Study
(大学院科目 / Graduate Courses) 授業の方法 / Study Method

成績評価方法 / Grading Criteria and Method of Evaluation

種別 / Kind	割合 / Percentage	評価基準等 / Grading Criteria etc.
平常点評価	100 %	課題、発表、出席、小テスト、授業参加。詳細は授業開始時に配布されるシラバスを確認すること。2/3 以上の授業に出席した者のみ成績評価の対象となる。出席点のみで単位を認定することはない。

受講および研究に関するアドバイス / Advice to Students on Study and Research Methods

教科書 / Textbooks

クラスごとに指定されているテキストを生協で購入すること。

参考書 / Reference Books

産業社会学部 2008年度「外国語ハンドブック」を参照

参考になる WWW ページ / Web Pages Useful for Reference

英語2 (38)

11975

担当者名 / Instructor PARKER MALCOLM E.

単位数 / Credit 2

授業の概要 / Course Outline

この科目は、英語の4つの技能を総合的に修得することを目指しますが、特にライティングに重点を置きます。

ライティングでは、自分が扱うテーマを紹介するパラグラフ(序論)、テーマを展開し、支持するパラグラフ(本論)、論述を要約するパラグラフ(結論)などをつないで、一つのエッセイを書くことを目標とします。英文のレトリック、パラグラフの展開方法(比較と対照、原因・結果、列挙と描例示、意見と理由など)とともに、ライティングの過程で必要なブレーストリーミング、アウトライン(要点の下書き)、校正、編集などの技能も学びます。学期の終わりに、この科目で学んだ技能を使ってエッセイを作成し、クラスごとの文集を作成・出版する予定です。

到達目標 / Attainment Objectives

この科目では、次のような技能の習得を目指します。

- 与えられたWritingの課題について、その目的、対象の読者を理解し、それらに適した文体と書式を使うことができる。
- ブレーストリーミングのテクニックを使ってアイデアを生み出すことができる。
- アイデアを構成するためのアウトラインを書くことができる。
- 主要なアイデアを解説や例を使って展開できる。
- 明確な主題文のある一貫性のあるパラグラフを構成できる。
- 論理的に整合性・一貫性のあるエッセイを書くことができる。
- 他の人の書いたエッセイを読んで、評価、編集ができる。
- 他の文献からの情報をエッセイに引用し、参考文献リストを作成できる。

履修しておくことが望まれる科目 / Required Preparatory Study

授業スケジュール / Course Schedule

授業日(第N回)	テーマ / Theme	キーワード / Key Word
第1回	Orientation	Self-Introduction, Explanation of Attainment Objectives, Procedures, and Grading Methods
第2回	以下の詳細は、担当教員から授業開始第一週に配布されるシラバスを参照	
第3回		
第4回		
第5回		
第6回		
第7回		
第8回		
第9回		
第10回		
第11回		
第12回		
第13回		
第14回		
第15回		

(学部科目 / Undergraduate Courses) 授業外学習の指示 / Recommendations for Private Study
(大学院科目 / Graduate Courses) 授業の方法 / Study Method

成績評価方法 / Grading Criteria and Method of Evaluation

種別 / Kind	割合 / Percentage	評価基準等 / Grading Criteria etc.
平常点評価	100 %	課題、発表、出席、小テスト、授業参加。詳細は授業開始時に配布されるシラバスを確認すること。2/3 以上の授業に出席した者のみ成績評価の対象となる。出席点のみで単位を認定することはない。

受講および研究に関するアドバイス / Advice to Students on Study and Research Methods

教科書 / Textbooks

クラスごとに指定されているテキストを生協で購入すること。

参考書 / Reference Books

産業社会学部 2008年度「外国語ハンドブック」を参照

参考になる WWW ページ / Web Pages Useful for Reference

その他 / Others

英語2 (39)

11734

担当者名 / Instructor HOVEY ANDREW G.

単位数 / Credit 2

授業の概要 / Course Outline

この科目は、英語の4つの技能を総合的に修得することを目指しますが、特にライティングに重点を置きます。

ライティングでは、自分が扱うテーマを紹介するパラグラフ(序論)、テーマを展開し、支持するパラグラフ(本論)、論述を要約するパラグラフ(結論)などをつないで、一つのエッセイを書くことを目標とします。英文のレトリック、パラグラフの展開方法(比較と対照、原因・結果、列挙と描例示、意見と理由など)とともに、ライティングの過程で必要なブレーンストーミング、アウトライン(要点の下書き)、校正、編集などの技能も学びます。学期の終わりに、この科目で学んだ技能を使ってエッセイを作成し、クラスごとの文集を作成・出版する予定です。

到達目標 / Attainment Objectives

この科目では、次のような技能の習得を目指します。

- 与えられたWritingの課題について、その目的、対象の読者を理解し、それらに適した文体と書式を使うことができる。
- ブレーンストーミングのテクニックを使ってアイデアを生み出すことができる。
- アイデアを構成するためのアウトラインを書くことができる。
- 主要なアイデアを解説や例を使って展開できる。
- 明確な主題文のある一貫性のあるパラグラフを構成できる。
- 論理的に整合性・一貫性のあるエッセイを書くことができる。
- 他の人の書いたエッセイを読んで、評価、編集ができる。
- 他の文献からの情報をエッセイに引用し、参考文献リストを作成できる。

履修しておくことが望まれる科目 / Required Preparatory Study

授業スケジュール / Course Schedule

授業日(第N回)	テーマ / Theme	キーワード / Key Word
第1回	Orientation	Self-Introduction, Explanation of Attainment Objectives, Procedures, and Grading Methods
第2回	以下の詳細は、担当教員から授業開始第一週に配布されるシラバスを参照	
第3回		
第4回		
第5回		
第6回		
第7回		
第8回		
第9回		
第10回		
第11回		
第12回		
第13回		
第14回		
第15回		

(学部科目 / Undergraduate Courses) 授業外学習の指示 / Recommendations for Private Study
(大学院科目 / Graduate Courses) 授業の方法 / Study Methods

成績評価方法 / Grading Criteria and Method of Evaluation

種別 / Kind	割合 / Percentage	評価基準等 / Grading Criteria etc.
平常点評価	100 %	課題、発表、出席、小テスト、授業参加。詳細は授業開始時に配布されるシラバスを確認すること。2/3 以上の授業に出席した者のみ成績評価の対象となる。出席点のみで単位を認定することはない。

受講および研究に関するアドバイス / Advice to Students on Study and Research Methods

教科書 / Textbooks

クラスごとに指定されているテキストを生協で購入すること。

参考書 / Reference Books

産業社会学部 2008年度「外国語ハンドブック」を参照

参考になる WWW ページ / Web Pages Useful for Reference

その他 / Others

英語3 (1A)

10767

担当者名 / Instructor 伊東 寿泰

単位数 / Credit 1

授業の概要 / Course Outline

Essential Reading Skills (英語重視コース)

この科目は、英語の基礎的読解力(Reading)に重点をおき、英語力を改善することをねらいとしています。語彙を増やし、テキストについて文脈をふまえ、主要なアイデアとそれを補強するアイデアを把握し、スキミング(skimming)、スキヤニング(scanning)などの読む技能を習得します。

到達目標 / Attainment Objectives

この科目では、次のような技能の習得を目指します。

- スキミング(skimming): 英文をざっと読んで、主要なアイデアや要旨を読み取ることができる。
- スキヤニング(scanning): 英文をざっと読んで、必要な情報を見つけることができる。
- テキストの妥当性を判断できる。
- 知らない語句の意味を、文脈から推測できる。
- 英文の事実と意見を区別できる。
- 主要なアイデアと、それを補強する具体的な情報や例などを区別できる。
- 言語で明確に表わされた情報と、暗示された情報を区別できる。
- 推論や結論を導くことができる。
- グラフ、図、表などが読み取れる。
- 英文の構成が理解できる(話題展開を示す語句を認識できる)。

履修しておくことが望まれる科目 / Required Preparatory Study

授業スケジュール / Course Schedule

授業日(第N回)	テーマ / Theme	キーワード / Key Word
第1回	Orientation	Self-Introduction, Explanation of Attainment Objectives, Procedures, and Grading Methods
第2回	以下の詳細は、担当教員から授業開始第一週に配布されるシラバスを参照	
第3回		
第4回		
第5回		
第6回		
第7回		
第8回		
第9回		
第10回		
第11回		
第12回		
第13回		
第14回		
第15回		

(学部科目 / Undergraduate Courses) 授業外学習の指示 / Recommendations for Private Study

(大学院科目 / Graduate Courses) 授業の方法 / Study Method

各担当者より指示します。

成績評価方法 / Grading Criteria and Method of Evaluation

種別 / Kind	割合 / Percentage	評価基準等 / Grading Criteria etc.
平常点評価	100 %	課題、発表、出席、小テスト、授業参加を含む。詳細は授業で配布されるシラバスを確認すること。2/3 以上の授業に出席した者のみ成績評価の対象となる。出席点のみで単位を認定することはない。

受講および研究に関するアドバイス / Advice to Students on Study and Research Methods

教科書 / Textbooks

クラスごとに指定されているテキストを生協で購入すること。

参考書 / Reference Books

産業社会学部 2008年度「外国語ハンドブック」を参照

参考になる WWW ページ / Web Pages Useful for Reference

産業社会学部 2008年度「外国語ハンドブック」を参照

その他 / Others

英語3 (1B)

10768

担当者名 / Instructor 東 自由里

単位数 / Credit 1

授業の概要 / Course Outline

Essential Reading Skills (英語重視コース)

この科目は、英語の基礎的読解力(Reading)に重点をおき、英語力を改善することをねらいとしています。語彙を増やし、テキストについて文脈をふまえ、主要なアイデアとそれを補強するアイデアを把握し、スキミング(skimming)、スキヤニング(scanning)などの読む技能を習得します。

到達目標 / Attainment Objectives

この科目では、次のような技能の習得を目指します。

- スキミング(skimming): 英文をざっと読んで、主要なアイデアや要旨を読み取ることができる。
- スキヤニング(scanning): 英文をざっと読んで、必要な情報を見つけることができる。
- テキストの妥当性を判断できる。
- 知らない語句の意味を、文脈から推測できる。
- 英文の事実と意見を区別できる。
- 主要なアイデアと、それを補強する具体的な情報や例などを区別できる。
- 言語で明確に表わされた情報と、暗示された情報を区別できる。
- 推論や結論を導くことができる。
- グラフ、図、表などが読み取れる。
- 英文の構成が理解できる(話題展開を示す語句を認識できる)。

履修しておくことが望まれる科目 / Required Preparatory Study

授業スケジュール / Course Schedule

授業日(第N回)	テーマ / Theme	キーワード / Key Word
第1回	Orientation	Self-Introduction, Explanation of Attainment Objectives, Procedures, and Grading Methods
第2回	以下の詳細は、担当教員から授業開始第一週に配布されるシラバスを参照	
第3回		
第4回		
第5回		
第6回		
第7回		
第8回		
第9回		
第10回		
第11回		
第12回		
第13回		
第14回		
第15回		

(学部科目 / Undergraduate Courses) 授業外学習の指示 / Recommendations for Private Study

(大学院科目 / Graduate Courses) 授業の方法 / Study Method

各担当者より指示します。

成績評価方法 / Grading Criteria and Method of Evaluation

種別 / Kind	割合 / Percentage	評価基準等 / Grading Criteria etc.
平常点評価	100 %	課題、発表、出席、小テスト、授業参加を含む。詳細は授業で配布されるシラバスを確認すること。2/3 以上の授業に出席した者のみ成績評価の対象となる。出席点のみで単位を認定することはない。

受講および研究に関するアドバイス / Advice to Students on Study and Research Methods

教科書 / Textbooks

クラスごとに指定されているテキストを生協で購入すること。

参考書 / Reference Books

産業社会学部 2008年度「外国語ハンドブック」を参照

参考になる WWW ページ / Web Pages Useful for Reference

産業社会学部 2008年度「外国語ハンドブック」を参照

その他 / Others

英語3 (1C)

10769

担当者名 / Instructor 坂本 利子

単位数 / Credit 1

授業の概要 / Course Outline

Essential Reading Skills (英語重視コース)

この科目は、英語の基礎的読解力(Reading)に重点をおき、英語力を改善することをねらいとしています。語彙を増やし、テキストについて文脈をふまえ、主要なアイデアとそれを補強するアイデアを把握し、スキミング(skimming)、スキヤニング(scanning)などの読む技能を習得します。

到達目標 / Attainment Objectives

この科目では、次のような技能の習得を目指します。

- スキミング(skimming): 英文をざっと読んで、主要なアイデアや要旨を読み取ることができる。
- スキヤニング(scanning): 英文をざっと読んで、必要な情報を見つけることができる。
- テキストの妥当性を判断できる。
- 知らない語句の意味を、文脈から推測できる。
- 英文の事実と意見を区別できる。
- 主要なアイデアと、それを補強する具体的な情報や例などを区別できる。
- 言語で明確に表わされた情報と、暗示された情報を区別できる。
- 推論や結論を導くことができる。
- グラフ、図、表などが読み取れる。
- 英文の構成が理解できる(話題展開を示す語句を認識できる)。

履修しておくことが望まれる科目 / Required Preparatory Study

授業スケジュール / Course Schedule

授業日(第N回)	テーマ / Theme	キーワード / Key Word
第1回	Orientation	Self-Introduction, Explanation of Attainment Objectives, Procedures, and Grading Methods
第2回	以下の詳細は、担当教員から授業開始第一週に配布されるシラバスを参照	
第3回		
第4回		
第5回		
第6回		
第7回		
第8回		
第9回		
第10回		
第11回		
第12回		
第13回		
第14回		
第15回		

(学部科目 / Undergraduate Courses) 授業外学習の指示 / Recommendations for Private Study

(大学院科目 / Graduate Courses) 授業の方法 / Study Method

各担当者より指示します。

成績評価方法 / Grading Criteria and Method of Evaluation

種別 / Kind	割合 / Percentage	評価基準等 / Grading Criteria etc.
平常点評価	100 %	課題、発表、出席、小テスト、授業参加を含む。詳細は授業で配布されるシラバスを確認すること。2/3 以上の授業に出席した者のみ成績評価の対象となる。出席点のみで単位を認定することはない。

受講および研究に関するアドバイス / Advice to Students on Study and Research Methods

教科書 / Textbooks

クラスごとに指定されているテキストを生協で購入すること。

参考書 / Reference Books

産業社会学部 2008年度「外国語ハンドブック」を参照

参考になる WWW ページ / Web Pages Useful for Reference

産業社会学部 2008年度「外国語ハンドブック」を参照

その他 / Others

英語3 (1D)

10770

担当者名 / Instructor 馬場 智姫

単位数 / Credit 1

授業の概要 / Course Outline

Essential Reading Skills (英語重視コース)

この科目は、英語の基礎的読解力(Reading)に重点をおき、英語力を改善することをねらいとしています。語彙を増やし、テキストについて文脈をふまえ、主要なアイデアとそれを補強するアイデアを把握し、スキミング(skimming)、スキヤニング(scanning)などの読む技能を習得します。

到達目標 / Attainment Objectives

この科目では、次のような技能の習得を目指します。

- スキミング(skimming): 英文をざっと読んで、主要なアイデアや要旨を読み取ることができる。
- スキヤニング(scanning): 英文をざっと読んで、必要な情報を見つけることができる。
- テキストの妥当性を判断できる。
- 知らない語句の意味を、文脈から推測できる。
- 英文の事実と意見を区別できる。
- 主要なアイデアと、それを補強する具体的な情報や例などを区別できる。
- 言語で明確に表わされた情報と、暗示された情報を区別できる。
- 推論や結論を導くことができる。
- グラフ、図、表などが読み取れる。
- 英文の構成が理解できる(話題展開を示す語句を認識できる)。

履修しておくことが望まれる科目 / Required Preparatory Study

授業スケジュール / Course Schedule

授業日(第N回)	テーマ / Theme	キーワード / Key Word
第1回	Orientation	Self-Introduction, Explanation of Attainment Objectives, Procedures, and Grading Methods
第2回	以下の詳細は、担当教員から授業開始第一週に配布されるシラバスを参照	
第3回		
第4回		
第5回		
第6回		
第7回		
第8回		
第9回		
第10回		
第11回		
第12回		
第13回		
第14回		
第15回		

(学部科目 / Undergraduate Courses) 授業外学習の指示 / Recommendations for Private Study

(大学院科目 / Graduate Courses) 授業の方法 / Study Method

各担当者より指示します。

成績評価方法 / Grading Criteria and Method of Evaluation

種別 / Kind	割合 / Percentage	評価基準等 / Grading Criteria etc.
平常点評価	100 %	課題、発表、出席、小テスト、授業参加を含む。詳細は授業で配布されるシラバスを確認すること。2/3 以上の授業に出席した者のみ成績評価の対象となる。出席点のみで単位を認定することはない。

受講および研究に関するアドバイス / Advice to Students on Study and Research Methods

教科書 / Textbooks

クラスごとに指定されているテキストを生協で購入すること。

参考書 / Reference Books

産業社会学部 2008年度「外国語ハンドブック」を参照

参考になる WWW ページ / Web Pages Useful for Reference

産業社会学部 2008年度「外国語ハンドブック」を参照

その他 / Others

英語3 (1E)

10771

担当者名 / Instructor ランザ ー美

単位数 / Credit 1

授業の概要 / Course Outline

Essential Reading Skills (英語重視コース)

この科目は、英語の基礎的読解力(Reading)に重点をおき、英語力を改善することをねらいとしています。語彙を増やし、テキストについて文脈をふまえ、主要なアイデアとそれを補強するアイデアを把握し、スキミング(skimming)、スキヤニング(scanning)などの読む技能を習得します。

到達目標 / Attainment Objectives

この科目では、次のような技能の習得を目指します。

- スキミング(skimming): 英文をざっと読んで、主要なアイデアや要旨を読み取ることができる。
- スキヤニング(scanning): 英文をざっと読んで、必要な情報を見つけることができる。
- テキストの妥当性を判断できる。
- 知らない語句の意味を、文脈から推測できる。
- 英文の事実と意見を区別できる。
- 主要なアイデアと、それを補強する具体的な情報や例などを区別できる。
- 言語で明確に表わされた情報と、暗示された情報を区別できる。
- 推論や結論を導くことができる。
- グラフ、図、表などが読み取れる。
- 英文の構成が理解できる(話題展開を示す語句を認識できる)。

履修しておくことが望まれる科目 / Required Preparatory Study

授業スケジュール / Course Schedule

授業日(第N回)	テーマ / Theme	キーワード / Key Word
第1回	Orientation	Self-Introduction, Explanation of Attainment Objectives, Procedures, and Grading Methods
第2回	以下の詳細は、担当教員から授業開始第一週に配布されるシラバスを参照	
第3回		
第4回		
第5回		
第6回		
第7回		
第8回		
第9回		
第10回		
第11回		
第12回		
第13回		
第14回		
第15回		

(学部科目 / Undergraduate Courses) 授業外学習の指示 / Recommendations for Private Study

(大学院科目 / Graduate Courses) 授業の方法 / Study Method

各担当者より指示します。

成績評価方法 / Grading Criteria and Method of Evaluation

種別 / Kind	割合 / Percentage	評価基準等 / Grading Criteria etc.
平常点評価	100 %	課題、発表、出席、小テスト、授業参加を含む。詳細は授業で配布されるシラバスを確認すること。2/3 以上の授業に出席した者のみ成績評価の対象となる。出席点のみで単位を認定することはない。

受講および研究に関するアドバイス / Advice to Students on Study and Research Methods

教科書 / Textbooks

クラスごとに指定されているテキストを生協で購入すること。

参考書 / Reference Books

産業社会学部 2008年度「外国語ハンドブック」を参照

参考になる WWW ページ / Web Pages Useful for Reference

産業社会学部 2008年度「外国語ハンドブック」を参照

その他 / Others

英語3 (1F)

10772

担当者名 / Instructor 五十川 敬子

単位数 / Credit 1

授業の概要 / Course Outline

Essential Reading Skills (英語重視コース)

この科目は、英語の基礎的読解力(Reading)に重点をおき、英語力を改善することをねらいとしています。語彙を増やし、テキストについて文脈をふまえ、主要なアイデアとそれを補強するアイデアを把握し、スキミング(skimming)、スキヤニング(scanning)などの読む技能を習得します。

到達目標 / Attainment Objectives

この科目では、次のような技能の習得を目指します。

- スキミング(skimming): 英文をざっと読んで、主要なアイデアや要旨を読み取ることができる。
- スキヤニング(scanning): 英文をざっと読んで、必要な情報を見つけることができる。
- テキストの妥当性を判断できる。
- 知らない語句の意味を、文脈から推測できる。
- 英文の事実と意見を区別できる。
- 主要なアイデアと、それを補強する具体的な情報や例などを区別できる。
- 言語で明確に表わされた情報と、暗示された情報を区別できる。
- 推論や結論を導くことができる。
- グラフ、図、表などが読み取れる。
- 英文の構成が理解できる(話題展開を示す語句を認識できる)。

履修しておくことが望まれる科目 / Required Preparatory Study

授業スケジュール / Course Schedule

授業日(第N回)	テーマ / Theme	キーワード / Key Word
第1回	Orientation	Self-Introduction, Explanation of Attainment Objectives, Procedures, and Grading Methods
第2回	以下の詳細は、担当教員から授業開始第一週に配布されるシラバスを参照	
第3回		
第4回		
第5回		
第6回		
第7回		
第8回		
第9回		
第10回		
第11回		
第12回		
第13回		
第14回		
第15回		

(学部科目 / Undergraduate Courses) 授業外学習の指示 / Recommendations for Private Study

(大学院科目 / Graduate Courses) 授業の方法 / Study Method

各担当者より指示します。

成績評価方法 / Grading Criteria and Method of Evaluation

種別 / Kind	割合 / Percentage	評価基準等 / Grading Criteria etc.
平常点評価	100 %	課題、発表、出席、小テスト、授業参加を含む。詳細は授業で配布されるシラバスを確認すること。2/3 以上の授業に出席した者のみ成績評価の対象となる。出席点のみで単位を認定することはない。

受講および研究に関するアドバイス / Advice to Students on Study and Research Methods

教科書 / Textbooks

クラスごとに指定されているテキストを生協で購入すること。

参考書 / Reference Books

産業社会学部 2008年度「外国語ハンドブック」を参照

参考になる WWW ページ / Web Pages Useful for Reference

産業社会学部 2008年度「外国語ハンドブック」を参照

その他 / Others

英語3 (1G)

10773

担当者名 / Instructor 酒井 玲子

単位数 / Credit 1

授業の概要 / Course Outline

Essential Reading Skills (英語重視コース)

この科目は、英語の基礎的読解力(Reading)に重点をおき、英語力を改善することをねらいとしています。語彙を増やし、テキストについて文脈をふまえ、主要なアイデアとそれを補強するアイデアを把握し、スキミング(skimming)、スキヤニング(scanning)などの読む技能を習得します。

到達目標 / Attainment Objectives

この科目では、次のような技能の習得を目指します。

- スキミング(skimming): 英文をざっと読んで、主要なアイデアや要旨を読み取ることができる。
- スキヤニング(scanning): 英文をざっと読んで、必要な情報を見つけることができる。
- テキストの妥当性を判断できる。
- 知らない語句の意味を、文脈から推測できる。
- 英文の事実と意見を区別できる。
- 主要なアイデアと、それを補強する具体的な情報や例などを区別できる。
- 言語で明確に表わされた情報と、暗示された情報を区別できる。
- 推論や結論を導くことができる。
- グラフ、図、表などが読み取れる。
- 英文の構成が理解できる(話題展開を示す語句を認識できる)。

履修しておくことが望まれる科目 / Required Preparatory Study

授業スケジュール / Course Schedule

授業日(第N回)	テーマ / Theme	キーワード / Key Word
第1回	Orientation	Self-Introduction, Explanation of Attainment Objectives, Procedures, and Grading Methods
第2回	以下の詳細は、担当教員から授業開始第一週に配布されるシラバスを参照	
第3回		
第4回		
第5回		
第6回		
第7回		
第8回		
第9回		
第10回		
第11回		
第12回		
第13回		
第14回		
第15回		

(学部科目 / Undergraduate Courses) 授業外学習の指示 / Recommendations for Private Study

(大学院科目 / Graduate Courses) 授業の方法 / Study Method

各担当者より指示します。

成績評価方法 / Grading Criteria and Method of Evaluation

種別 / Kind	割合 / Percentage	評価基準等 / Grading Criteria etc.
平常点評価	100 %	課題、発表、出席、小テスト、授業参加を含む。詳細は授業で配布されるシラバスを確認すること。2/3 以上の授業に出席した者のみ成績評価の対象となる。出席点のみで単位を認定することはない。

受講および研究に関するアドバイス / Advice to Students on Study and Research Methods

教科書 / Textbooks

クラスごとに指定されているテキストを生協で購入すること。

参考書 / Reference Books

産業社会学部 2008年度「外国語ハンドブック」を参照

参考になる WWW ページ / Web Pages Useful for Reference

産業社会学部 2008年度「外国語ハンドブック」を参照

その他 / Others

英語3 (1H)

10774

担当者名 / Instructor 芝原 直美

単位数 / Credit 1

授業の概要 / Course Outline

Essential Reading Skills (英語重視コース)

この科目は、英語の基礎的読解力(Reading)に重点をおき、英語力を改善することをねらいとしています。語彙を増やし、テキストについて文脈をふまえ、主要なアイデアとそれを補強するアイデアを把握し、スキミング(skimming)、スキヤニング(scanning)などの読む技能を習得します。

到達目標 / Attainment Objectives

この科目では、次のような技能の習得を目指します。

- スキミング(skimming): 英文をざっと読んで、主要なアイデアや要旨を読み取ることができる。
- スキヤニング(scanning): 英文をざっと読んで、必要な情報を見つけることができる。
- テキストの妥当性を判断できる。
- 知らない語句の意味を、文脈から推測できる。
- 英文の事実と意見を区別できる。
- 主要なアイデアと、それを補強する具体的な情報や例などを区別できる。
- 言語で明確に表わされた情報と、暗示された情報を区別できる。
- 推論や結論を導くことができる。
- グラフ、図、表などが読み取れる。
- 英文の構成が理解できる(話題展開を示す語句を認識できる)。

履修しておくことが望まれる科目 / Required Preparatory Study

授業スケジュール / Course Schedule

授業日(第N回)	テーマ / Theme	キーワード / Key Word
第1回	Orientation	Self-Introduction, Explanation of Attainment Objectives, Procedures, and Grading Methods
第2回	以下の詳細は、担当教員から授業開始第一週に配布されるシラバスを参照	
第3回		
第4回		
第5回		
第6回		
第7回		
第8回		
第9回		
第10回		
第11回		
第12回		
第13回		
第14回		
第15回		

(学部科目 / Undergraduate Courses) 授業外学習の指示 / Recommendations for Private Study

(大学院科目 / Graduate Courses) 授業の方法 / Study Method

各担当者より指示します。

成績評価方法 / Grading Criteria and Method of Evaluation

種別 / Kind	割合 / Percentage	評価基準等 / Grading Criteria etc.
平常点評価	100 %	課題、発表、出席、小テスト、授業参加を含む。詳細は授業で配布されるシラバスを確認すること。2/3 以上の授業に出席した者のみ成績評価の対象となる。出席点のみで単位を認定することはない。

受講および研究に関するアドバイス / Advice to Students on Study and Research Methods

教科書 / Textbooks

クラスごとに指定されているテキストを生協で購入すること。

参考書 / Reference Books

産業社会学部 2008年度「外国語ハンドブック」を参照

参考になる WWW ページ / Web Pages Useful for Reference

産業社会学部 2008年度「外国語ハンドブック」を参照

その他 / Others

英語3 (11)

10775

担当者名 / Instructor 徳本 恵

単位数 / Credit 1

授業の概要 / Course Outline

Essential Reading Skills (英語重視コース)

この科目は、英語の基礎的読解力(Reading)に重点をおき、英語力を改善することをねらいとしています。語彙を増やし、テキストについて文脈をふまえ、主要なアイデアとそれを補強するアイデアを把握し、スキミング(skimming)、スキヤニング(scanning)などの読む技能を習得します。

到達目標 / Attainment Objectives

この科目では、次のような技能の習得を目指します。

- スキミング(skimming): 英文をざっと読んで、主要なアイデアや要旨を読み取ることができる。
- スキヤニング(scanning): 英文をざっと読んで、必要な情報を見つけることができる。
- テキストの妥当性を判断できる。
- 知らない語句の意味を、文脈から推測できる。
- 英文の事実と意見を区別できる。
- 主要なアイデアと、それを補強する具体的な情報や例などを区別できる。
- 言語で明確に表わされた情報と、暗示された情報を区別できる。
- 推論や結論を導くことができる。
- グラフ、図、表などが読み取れる。
- 英文の構成が理解できる(話題展開を示す語句を認識できる)。

履修しておくことが望まれる科目 / Required Preparatory Study

授業スケジュール / Course Schedule

授業日(第N回)	テーマ / Theme	キーワード / Key Word
第1回	Orientation	Self-Introduction, Explanation of Attainment Objectives, Procedures, and Grading Methods
第2回	以下の詳細は、担当教員から授業開始第一週に配布されるシラバスを参照	
第3回		
第4回		
第5回		
第6回		
第7回		
第8回		
第9回		
第10回		
第11回		
第12回		
第13回		
第14回		
第15回		

(学部科目 / Undergraduate Courses) 授業外学習の指示 / Recommendations for Private Study

(大学院科目 / Graduate Courses) 授業の方法 / Study Method

各担当者より指示します。

成績評価方法 / Grading Criteria and Method of Evaluation

種別 / Kind	割合 / Percentage	評価基準等 / Grading Criteria etc.
平常点評価	100 %	課題、発表、出席、小テスト、授業参加を含む。詳細は授業で配布されるシラバスを確認すること。2/3 以上の授業に出席した者のみ成績評価の対象となる。出席点のみで単位を認定することはない。

受講および研究に関するアドバイス / Advice to Students on Study and Research Methods

教科書 / Textbooks

クラスごとに指定されているテキストを生協で購入すること。

参考書 / Reference Books

産業社会学部 2008年度「外国語ハンドブック」を参照

参考になる WWW ページ / Web Pages Useful for Reference

産業社会学部 2008年度「外国語ハンドブック」を参照

その他 / Others

英語3 (1J)

10776

担当者名 / Instructor 山崎 清水

単位数 / Credit 1

授業の概要 / Course Outline

Essential Reading Skills (英語重視コース)

この科目は、英語の基礎的読解力(Reading)に重点をおき、英語力を改善することをねらいとしています。語彙を増やし、テキストについて文脈をふまえ、主要なアイデアとそれを補強するアイデアを把握し、スキミング(skimming)、スキヤニング(scanning)などの読む技能を習得します。

到達目標 / Attainment Objectives

この科目では、次のような技能の習得を目指します。

- スキミング(skimming): 英文をざっと読んで、主要なアイデアや要旨を読み取ることができる。
- スキヤニング(scanning): 英文をざっと読んで、必要な情報を見つけることができる。
- テキストの妥当性を判断できる。
- 知らない語句の意味を、文脈から推測できる。
- 英文の事実と意見を区別できる。
- 主要なアイデアと、それを補強する具体的な情報や例などを区別できる。
- 言語で明確に表わされた情報と、暗示された情報を区別できる。
- 推論や結論を導くことができる。
- グラフ、図、表などが読み取れる。
- 英文の構成が理解できる(話題展開を示す語句を認識できる)。

履修しておくことが望まれる科目 / Required Preparatory Study

授業スケジュール / Course Schedule

授業日(第N回)	テーマ / Theme	キーワード / Key Word
第1回	Orientation	Self-Introduction, Explanation of Attainment Objectives, Procedures, and Grading Methods
第2回	以下の詳細は、担当教員から授業開始第一週に配布されるシラバスを参照	
第3回		
第4回		
第5回		
第6回		
第7回		
第8回		
第9回		
第10回		
第11回		
第12回		
第13回		
第14回		
第15回		

(学部科目 / Undergraduate Courses) 授業外学習の指示 / Recommendations for Private Study

(大学院科目 / Graduate Courses) 授業の方法 / Study Method

各担当者より指示します。

成績評価方法 / Grading Criteria and Method of Evaluation

種別 / Kind	割合 / Percentage	評価基準等 / Grading Criteria etc.
平常点評価	100 %	課題、発表、出席、小テスト、授業参加を含む。詳細は授業で配布されるシラバスを確認すること。2/3 以上の授業に出席した者のみ成績評価の対象となる。出席点のみで単位を認定することはない。

受講および研究に関するアドバイス / Advice to Students on Study and Research Methods

教科書 / Textbooks

クラスごとに指定されているテキストを生協で購入すること。

参考書 / Reference Books

産業社会学部 2008年度「外国語ハンドブック」を参照

参考になる WWW ページ / Web Pages Useful for Reference

産業社会学部 2008年度「外国語ハンドブック」を参照

その他 / Others

英語3 (1K)

10777

担当者名 / Instructor VIGERS PIER NIGEL

単位数 / Credit 1

授業の概要 / Course Outline

Essential Reading Skills (英語重視コース)

この科目は、英語の基礎的読解力(Reading)に重点をおき、英語力を改善することをねらいとしています。語彙を増やし、テキストについて文脈をふまえ、主要なアイデアとそれを補強するアイデアを把握し、スキミング(skimming)、スキヤニング(scanning)などの読む技能を習得します。

到達目標 / Attainment Objectives

この科目では、次のような技能の習得を目指します。

- スキミング(skimming): 英文をざっと読んで、主要なアイデアや要旨を読み取ることができる。
- スキヤニング(scanning): 英文をざっと読んで、必要な情報を見つけることができる。
- テキストの妥当性を判断できる。
- 知らない語句の意味を、文脈から推測できる。
- 英文の事実と意見を区別できる。
- 主要なアイデアと、それを補強する具体的な情報や例などを区別できる。
- 言語で明確に表わされた情報と、暗示された情報を区別できる。
- 推論や結論を導くことができる。
- グラフ、図、表などが読み取れる。
- 英文の構成が理解できる(話題展開を示す語句を認識できる)。

履修しておくことが望まれる科目 / Required Preparatory Study

授業スケジュール / Course Schedule

授業日(第N回)	テーマ / Theme	キーワード / Key Word
第1回	Orientation	Self-Introduction, Explanation of Attainment Objectives, Procedures, and Grading Methods
第2回	以下の詳細は、担当教員から授業開始第一週に配布されるシラバスを参照	
第3回		
第4回		
第5回		
第6回		
第7回		
第8回		
第9回		
第10回		
第11回		
第12回		
第13回		
第14回		
第15回		

(学部科目 / Undergraduate Courses) 授業外学習の指示 / Recommendations for Private Study

(大学院科目 / Graduate Courses) 授業の方法 / Study Method

各担当者より指示します。

成績評価方法 / Grading Criteria and Method of Evaluation

種別 / Kind	割合 / Percentage	評価基準等 / Grading Criteria etc.
平常点評価	100 %	課題、発表、出席、小テスト、授業参加を含む。詳細は授業で配布されるシラバスを確認すること。2/3 以上の授業に出席した者のみ成績評価の対象となる。出席点のみで単位を認定することはない。

受講および研究に関するアドバイス / Advice to Students on Study and Research Methods

教科書 / Textbooks

クラスごとに指定されているテキストを生協で購入すること。

参考書 / Reference Books

産業社会学部 2008年度「外国語ハンドブック」を参照

参考になる WWW ページ / Web Pages Useful for Reference

産業社会学部 2008年度「外国語ハンドブック」を参照

その他 / Others

英語3 (1L)

10908

担当者名 / Instructor 伊東 寿泰

単位数 / Credit 1

授業の概要 / Course Outline

Essential Reading Skills (英語重視コース)

この科目は、英語の基礎的読解力(Reading)に重点をおき、英語力を改善することをねらいとしています。語彙を増やし、テキストについて文脈をふまえ、主要なアイデアとそれを補強するアイデアを把握し、スキミング(skimming)、スキヤニング(scanning)などの読む技能を習得します。

到達目標 / Attainment Objectives

この科目では、次のような技能の習得を目指します。

- スキミング(skimming): 英文をざっと読んで、主要なアイデアや要旨を読み取ることができる。
- スキヤニング(scanning): 英文をざっと読んで、必要な情報を見つけることができる。
- テキストの妥当性を判断できる。
- 知らない語句の意味を、文脈から推測できる。
- 英文の事実と意見を区別できる。
- 主要なアイデアと、それを補強する具体的な情報や例などを区別できる。
- 言語で明確に表わされた情報と、暗示された情報を区別できる。
- 推論や結論を導くことができる。
- グラフ、図、表などが読み取れる。
- 英文の構成が理解できる(話題展開を示す語句を認識できる)。

履修しておくことが望まれる科目 / Required Preparatory Study

授業スケジュール / Course Schedule

授業日(第N回)	テーマ / Theme	キーワード / Key Word
第1回	Orientation	Self-Introduction, Explanation of Attainment Objectives, Procedures, and Grading Methods
第2回	以下の詳細は、担当教員から授業開始第一週に配布されるシラバスを参照	
第3回		
第4回		
第5回		
第6回		
第7回		
第8回		
第9回		
第10回		
第11回		
第12回		
第13回		
第14回		
第15回		

(学部科目 / Undergraduate Courses) 授業外学習の指示 / Recommendations for Private Study

(大学院科目 / Graduate Courses) 授業の方法 / Study Method

各担当者より指示します。

成績評価方法 / Grading Criteria and Method of Evaluation

種別 / Kind	割合 / Percentage	評価基準等 / Grading Criteria etc.
平常点評価	100 %	課題、発表、出席、小テスト、授業参加を含む。詳細は授業で配布されるシラバスを確認すること。2/3 以上の授業に出席した者のみ成績評価の対象となる。出席点のみで単位を認定することはない。

受講および研究に関するアドバイス / Advice to Students on Study and Research Methods

教科書 / Textbooks

クラスごとに指定されているテキストを生協で購入すること。

参考書 / Reference Books

産業社会学部 2008年度「外国語ハンドブック」を参照

参考になる WWW ページ / Web Pages Useful for Reference

産業社会学部 2008年度「外国語ハンドブック」を参照

その他 / Others

英語3 (1M)

10909

担当者名 / Instructor 東 自由里

単位数 / Credit 1

授業の概要 / Course Outline

Essential Reading Skills (英語重視コース)

この科目は、英語の基礎的読解力(Reading)に重点をおき、英語力を改善することをねらいとしています。語彙を増やし、テキストについて文脈をふまえ、主要なアイデアとそれを補強するアイデアを把握し、スキミング(skimming)、スキヤニング(scanning)などの読む技能を習得します。

到達目標 / Attainment Objectives

この科目では、次のような技能の習得を目指します。

- スキミング(skimming): 英文をざっと読んで、主要なアイデアや要旨を読み取ることができる。
- スキヤニング(scanning): 英文をざっと読んで、必要な情報を見つけることができる。
- テキストの妥当性を判断できる。
- 知らない語句の意味を、文脈から推測できる。
- 英文の事実と意見を区別できる。
- 主要なアイデアと、それを補強する具体的な情報や例などを区別できる。
- 言語で明確に表わされた情報と、暗示された情報を区別できる。
- 推論や結論を導くことができる。
- グラフ、図、表などが読み取れる。
- 英文の構成が理解できる(話題展開を示す語句を認識できる)。

履修しておくことが望まれる科目 / Required Preparatory Study

授業スケジュール / Course Schedule

授業日(第N回)	テーマ / Theme	キーワード / Key Word
第1回	Orientation	Self-Introduction, Explanation of Attainment Objectives, Procedures, and Grading Methods
第2回	以下の詳細は、担当教員から授業開始第一週に配布されるシラバスを参照	
第3回		
第4回		
第5回		
第6回		
第7回		
第8回		
第9回		
第10回		
第11回		
第12回		
第13回		
第14回		
第15回		

(学部科目 / Undergraduate Courses) 授業外学習の指示 / Recommendations for Private Study

(大学院科目 / Graduate Courses) 授業の方法 / Study Method

各担当者より指示します。

成績評価方法 / Grading Criteria and Method of Evaluation

種別 / Kind	割合 / Percentage	評価基準等 / Grading Criteria etc.
平常点評価	100 %	課題、発表、出席、小テスト、授業参加を含む。詳細は授業で配布されるシラバスを確認すること。2/3 以上の授業に出席した者のみ成績評価の対象となる。出席点のみで単位を認定することはない。

受講および研究に関するアドバイス / Advice to Students on Study and Research Methods

教科書 / Textbooks

クラスごとに指定されているテキストを生協で購入すること。

参考書 / Reference Books

産業社会学部 2008年度「外国語ハンドブック」を参照

参考になる WWW ページ / Web Pages Useful for Reference

産業社会学部 2008年度「外国語ハンドブック」を参照

その他 / Others

英語3 (1N)

10910

担当者名 / Instructor 坂本 利子

単位数 / Credit 1

授業の概要 / Course Outline

Essential Reading Skills (英語重視コース)

この科目は、英語の基礎的読解力(Reading)に重点をおき、英語力を改善することをねらいとしています。語彙を増やし、テキストについて文脈をふまえ、主要なアイデアとそれを補強するアイデアを把握し、スキミング(skimming)、スキヤニング(scanning)などの読む技能を習得します。

到達目標 / Attainment Objectives

この科目では、次のような技能の習得を目指します。

- スキミング(skimming): 英文をざっと読んで、主要なアイデアや要旨を読み取ることができる。
- スキヤニング(scanning): 英文をざっと読んで、必要な情報を見つけることができる。
- テキストの妥当性を判断できる。
- 知らない語句の意味を、文脈から推測できる。
- 英文の事実と意見を区別できる。
- 主要なアイデアと、それを補強する具体的な情報や例などを区別できる。
- 言語で明確に表わされた情報と、暗示された情報を区別できる。
- 推論や結論を導くことができる。
- グラフ、図、表などが読み取れる。
- 英文の構成が理解できる(話題展開を示す語句を認識できる)。

履修しておくことが望まれる科目 / Required Preparatory Study

授業スケジュール / Course Schedule

授業日(第N回)	テーマ / Theme	キーワード / Key Word
第1回	Orientation	Self-Introduction, Explanation of Attainment Objectives, Procedures, and Grading Methods
第2回	以下の詳細は、担当教員から授業開始第一週に配布されるシラバスを参照	
第3回		
第4回		
第5回		
第6回		
第7回		
第8回		
第9回		
第10回		
第11回		
第12回		
第13回		
第14回		
第15回		

(学部科目 / Undergraduate Courses) 授業外学習の指示 / Recommendations for Private Study

(大学院科目 / Graduate Courses) 授業の方法 / Study Method

各担当者より指示します。

成績評価方法 / Grading Criteria and Method of Evaluation

種別 / Kind	割合 / Percentage	評価基準等 / Grading Criteria etc.
平常点評価	100 %	課題、発表、出席、小テスト、授業参加を含む。詳細は授業で配布されるシラバスを確認すること。2/3 以上の授業に出席した者のみ成績評価の対象となる。出席点のみで単位を認定することはない。

受講および研究に関するアドバイス / Advice to Students on Study and Research Methods

教科書 / Textbooks

クラスごとに指定されているテキストを生協で購入すること。

参考書 / Reference Books

産業社会学部 2008年度「外国語ハンドブック」を参照

参考になる WWW ページ / Web Pages Useful for Reference

産業社会学部 2008年度「外国語ハンドブック」を参照

その他 / Others

英語3 (10)

10911

担当者名 / Instructor 馬場 智姫

単位数 / Credit 1

授業の概要 / Course Outline

Essential Reading Skills (英語重視コース)

この科目は、英語の基礎的読解力(Reading)に重点をおき、英語力を改善することをねらいとしています。語彙を増やし、テキストについて文脈をふまえ、主要なアイデアとそれを補強するアイデアを把握し、スキミング(skimming)、スキヤニング(scanning)などの読む技能を習得します。

到達目標 / Attainment Objectives

この科目では、次のような技能の習得を目指します。

- スキミング(skimming): 英文をざっと読んで、主要なアイデアや要旨を読み取ることができる。
- スキヤニング(scanning): 英文をざっと読んで、必要な情報を見つけることができる。
- テキストの妥当性を判断できる。
- 知らない語句の意味を、文脈から推測できる。
- 英文の事実と意見を区別できる。
- 主要なアイデアと、それを補強する具体的な情報や例などを区別できる。
- 言語で明確に表わされた情報と、暗示された情報を区別できる。
- 推論や結論を導くことができる。
- グラフ、図、表などが読み取れる。
- 英文の構成が理解できる(話題展開を示す語句を認識できる)。

履修しておくことが望まれる科目 / Required Preparatory Study

授業スケジュール / Course Schedule

授業日(第N回)	テーマ / Theme	キーワード / Key Word
第1回	Orientation	Self-Introduction, Explanation of Attainment Objectives, Procedures, and Grading Methods
第2回	以下の詳細は、担当教員から授業開始第一週に配布されるシラバスを参照	
第3回		
第4回		
第5回		
第6回		
第7回		
第8回		
第9回		
第10回		
第11回		
第12回		
第13回		
第14回		
第15回		

(学部科目 / Undergraduate Courses) 授業外学習の指示 / Recommendations for Private Study

(大学院科目 / Graduate Courses) 授業の方法 / Study Method

各担当者より指示します。

成績評価方法 / Grading Criteria and Method of Evaluation

種別 / Kind	割合 / Percentage	評価基準等 / Grading Criteria etc.
平常点評価	100 %	課題、発表、出席、小テスト、授業参加を含む。詳細は授業で配布されるシラバスを確認すること。2/3 以上の授業に出席した者のみ成績評価の対象となる。出席点のみで単位を認定することはない。

受講および研究に関するアドバイス / Advice to Students on Study and Research Methods

教科書 / Textbooks

クラスごとに指定されているテキストを生協で購入すること。

参考書 / Reference Books

産業社会学部 2008年度「外国語ハンドブック」を参照

参考になる WWW ページ / Web Pages Useful for Reference

産業社会学部 2008年度「外国語ハンドブック」を参照

その他 / Others

英語3 (1P)

10912

担当者名 / Instructor ランザ ー美

単位数 / Credit 1

授業の概要 / Course Outline

Essential Reading Skills (英語重視コース)

この科目は、英語の基礎的読解力(Reading)に重点をおき、英語力を改善することをねらいとしています。語彙を増やし、テキストについて文脈をふまえ、主要なアイデアとそれを補強するアイデアを把握し、スキミング(skimming)、スキヤニング(scanning)などの読む技能を習得します。

到達目標 / Attainment Objectives

この科目では、次のような技能の習得を目指します。

- スキミング(skimming): 英文をざっと読んで、主要なアイデアや要旨を読み取ることができる。
- スキヤニング(scanning): 英文をざっと読んで、必要な情報を見つけることができる。
- テキストの妥当性を判断できる。
- 知らない語句の意味を、文脈から推測できる。
- 英文の事実と意見を区別できる。
- 主要なアイデアと、それを補強する具体的な情報や例などを区別できる。
- 言語で明確に表わされた情報と、暗示された情報を区別できる。
- 推論や結論を導くことができる。
- グラフ、図、表などが読み取れる。
- 英文の構成が理解できる(話題展開を示す語句を認識できる)。

履修しておくことが望まれる科目 / Required Preparatory Study

授業スケジュール / Course Schedule

授業日(第N回)	テーマ / Theme	キーワード / Key Word
第1回	Orientation	Self-Introduction, Explanation of Attainment Objectives, Procedures, and Grading Methods
第2回	以下の詳細は、担当教員から授業開始第一週に配布されるシラバスを参照	
第3回		
第4回		
第5回		
第6回		
第7回		
第8回		
第9回		
第10回		
第11回		
第12回		
第13回		
第14回		
第15回		

(学部科目 / Undergraduate Courses) 授業外学習の指示 / Recommendations for Private Study

(大学院科目 / Graduate Courses) 授業の方法 / Study Method

各担当者より指示します。

成績評価方法 / Grading Criteria and Method of Evaluation

種別 / Kind	割合 / Percentage	評価基準等 / Grading Criteria etc.
平常点評価	100 %	課題、発表、出席、小テスト、授業参加を含む。詳細は授業で配布されるシラバスを確認すること。2/3 以上の授業に出席した者のみ成績評価の対象となる。出席点のみで単位を認定することはない。

受講および研究に関するアドバイス / Advice to Students on Study and Research Methods

教科書 / Textbooks

クラスごとに指定されているテキストを生協で購入すること。

参考書 / Reference Books

産業社会学部 2008年度「外国語ハンドブック」を参照

参考になる WWW ページ / Web Pages Useful for Reference

産業社会学部 2008年度「外国語ハンドブック」を参照

その他 / Others

英語3 (1Q)

10913

担当者名 / Instructor 五十川 敬子

単位数 / Credit 1

授業の概要 / Course Outline

Essential Reading Skills (英語重視コース)

この科目は、英語の基礎的読解力(Reading)に重点をおき、英語力を改善することをねらいとしています。語彙を増やし、テキストについて文脈をふまえ、主要なアイデアとそれを補強するアイデアを把握し、スキミング(skimming)、スキヤニング(scanning)などの読む技能を習得します。

到達目標 / Attainment Objectives

この科目では、次のような技能の習得を目指します。

- スキミング(skimming): 英文をざっと読んで、主要なアイデアや要旨を読み取ることができる。
- スキヤニング(scanning): 英文をざっと読んで、必要な情報を見つけることができる。
- テキストの妥当性を判断できる。
- 知らない語句の意味を、文脈から推測できる。
- 英文の事実と意見を区別できる。
- 主要なアイデアと、それを補強する具体的な情報や例などを区別できる。
- 言語で明確に表わされた情報と、暗示された情報を区別できる。
- 推論や結論を導くことができる。
- グラフ、図、表などが読み取れる。
- 英文の構成が理解できる(話題展開を示す語句を認識できる)。

履修しておくことが望まれる科目 / Required Preparatory Study

授業スケジュール / Course Schedule

授業日(第N回)	テーマ / Theme	キーワード / Key Word
第1回	Orientation	Self-Introduction, Explanation of Attainment Objectives, Procedures, and Grading Methods
第2回	以下の詳細は、担当教員から授業開始第一週に配布されるシラバスを参照	
第3回		
第4回		
第5回		
第6回		
第7回		
第8回		
第9回		
第10回		
第11回		
第12回		
第13回		
第14回		
第15回		

(学部科目 / Undergraduate Courses) 授業外学習の指示 / Recommendations for Private Study

(大学院科目 / Graduate Courses) 授業の方法 / Study Method

各担当者より指示します。

成績評価方法 / Grading Criteria and Method of Evaluation

種別 / Kind	割合 / Percentage	評価基準等 / Grading Criteria etc.
平常点評価	100 %	課題、発表、出席、小テスト、授業参加を含む。詳細は授業で配布されるシラバスを確認すること。2/3 以上の授業に出席した者のみ成績評価の対象となる。出席点のみで単位を認定することはない。

受講および研究に関するアドバイス / Advice to Students on Study and Research Methods

教科書 / Textbooks

クラスごとに指定されているテキストを生協で購入すること。

参考書 / Reference Books

産業社会学部 2008年度「外国語ハンドブック」を参照

参考になる WWW ページ / Web Pages Useful for Reference

産業社会学部 2008年度「外国語ハンドブック」を参照

その他 / Others

英語3 (1R)

10914

担当者名 / Instructor 酒井 玲子

単位数 / Credit 1

授業の概要 / Course Outline

Essential Reading Skills (英語重視コース)

この科目は、英語の基礎的読解力(Reading)に重点をおき、英語力を改善することをねらいとしています。語彙を増やし、テキストについて文脈をふまえ、主要なアイデアとそれを補強するアイデアを把握し、スキミング(skimming)、スキヤニング(scanning)などの読む技能を習得します。

到達目標 / Attainment Objectives

この科目では、次のような技能の習得を目指します。

- スキミング(skimming): 英文をざっと読んで、主要なアイデアや要旨を読み取ることができる。
- スキヤニング(scanning): 英文をざっと読んで、必要な情報を見つけることができる。
- テキストの妥当性を判断できる。
- 知らない語句の意味を、文脈から推測できる。
- 英文の事実と意見を区別できる。
- 主要なアイデアと、それを補強する具体的な情報や例などを区別できる。
- 言語で明確に表わされた情報と、暗示された情報を区別できる。
- 推論や結論を導くことができる。
- グラフ、図、表などが読み取れる。
- 英文の構成が理解できる(話題展開を示す語句を認識できる)。

履修しておくことが望まれる科目 / Required Preparatory Study

授業スケジュール / Course Schedule

授業日(第N回)	テーマ / Theme	キーワード / Key Word
第1回	Orientation	Self-Introduction, Explanation of Attainment Objectives, Procedures, and Grading Methods
第2回	以下の詳細は、担当教員から授業開始第一週に配布されるシラバスを参照	
第3回		
第4回		
第5回		
第6回		
第7回		
第8回		
第9回		
第10回		
第11回		
第12回		
第13回		
第14回		
第15回		

(学部科目 / Undergraduate Courses) 授業外学習の指示 / Recommendations for Private Study

(大学院科目 / Graduate Courses) 授業の方法 / Study Method

各担当者より指示します。

成績評価方法 / Grading Criteria and Method of Evaluation

種別 / Kind	割合 / Percentage	評価基準等 / Grading Criteria etc.
平常点評価	100 %	課題、発表、出席、小テスト、授業参加を含む。詳細は授業で配布されるシラバスを確認すること。2/3 以上の授業に出席した者のみ成績評価の対象となる。出席点のみで単位を認定することはない。

受講および研究に関するアドバイス / Advice to Students on Study and Research Methods

教科書 / Textbooks

クラスごとに指定されているテキストを生協で購入すること。

参考書 / Reference Books

産業社会学部 2008年度「外国語ハンドブック」を参照

参考になる WWW ページ / Web Pages Useful for Reference

産業社会学部 2008年度「外国語ハンドブック」を参照

その他 / Others

英語3 (1S)

10915

担当者名 / Instructor 芝原 直美

単位数 / Credit 1

授業の概要 / Course Outline

Essential Reading Skills (英語重視コース)

この科目は、英語の基礎的読解力(Reading)に重点をおき、英語力を改善することをねらいとしています。語彙を増やし、テキストについて文脈をふまえ、主要なアイデアとそれを補強するアイデアを把握し、スキミング(skimming)、スキヤニング(scanning)などの読む技能を習得します。

到達目標 / Attainment Objectives

この科目では、次のような技能の習得を目指します。

- スキミング(skimming): 英文をざっと読んで、主要なアイデアや要旨を読み取ることができる。
- スキヤニング(scanning): 英文をざっと読んで、必要な情報を見つけることができる。
- テキストの妥当性を判断できる。
- 知らない語句の意味を、文脈から推測できる。
- 英文の事実と意見を区別できる。
- 主要なアイデアと、それを補強する具体的な情報や例などを区別できる。
- 言語で明確に表わされた情報と、暗示された情報を区別できる。
- 推論や結論を導くことができる。
- グラフ、図、表などが読み取れる。
- 英文の構成が理解できる(話題展開を示す語句を認識できる)。

履修しておくことが望まれる科目 / Required Preparatory Study

授業スケジュール / Course Schedule

授業日(第N回)	テーマ / Theme	キーワード / Key Word
第1回	Orientation	Self-Introduction, Explanation of Attainment Objectives, Procedures, and Grading Methods
第2回	以下の詳細は、担当教員から授業開始第一週に配布されるシラバスを参照	
第3回		
第4回		
第5回		
第6回		
第7回		
第8回		
第9回		
第10回		
第11回		
第12回		
第13回		
第14回		
第15回		

(学部科目 / Undergraduate Courses) 授業外学習の指示 / Recommendations for Private Study

(大学院科目 / Graduate Courses) 授業の方法 / Study Method

各担当者より指示します。

成績評価方法 / Grading Criteria and Method of Evaluation

種別 / Kind	割合 / Percentage	評価基準等 / Grading Criteria etc.
平常点評価	100 %	課題、発表、出席、小テスト、授業参加を含む。詳細は授業で配布されるシラバスを確認すること。2/3 以上の授業に出席した者のみ成績評価の対象となる。出席点のみで単位を認定することはない。

受講および研究に関するアドバイス / Advice to Students on Study and Research Methods

教科書 / Textbooks

クラスごとに指定されているテキストを生協で購入すること。

参考書 / Reference Books

産業社会学部 2008年度「外国語ハンドブック」を参照

参考になる WWW ページ / Web Pages Useful for Reference

産業社会学部 2008年度「外国語ハンドブック」を参照

その他 / Others

英語3 (1T)

10916

担当者名 / Instructor 徳本 恵

単位数 / Credit 1

授業の概要 / Course Outline

Essential Reading Skills (英語重視コース)

この科目は、英語の基礎的読解力(Reading)に重点をおき、英語力を改善することをねらいとしています。語彙を増やし、テキストについて文脈をふまえ、主要なアイデアとそれを補強するアイデアを把握し、スキミング(skimming)、スキヤニング(scanning)などの読む技能を習得します。

到達目標 / Attainment Objectives

この科目では、次のような技能の習得を目指します。

- スキミング(skimming): 英文をざっと読んで、主要なアイデアや要旨を読み取ることができる。
- スキヤニング(scanning): 英文をざっと読んで、必要な情報を見つけることができる。
- テキストの妥当性を判断できる。
- 知らない語句の意味を、文脈から推測できる。
- 英文の事実と意見を区別できる。
- 主要なアイデアと、それを補強する具体的な情報や例などを区別できる。
- 言語で明確に表わされた情報と、暗示された情報を区別できる。
- 推論や結論を導くことができる。
- グラフ、図、表などが読み取れる。
- 英文の構成が理解できる(話題展開を示す語句を認識できる)。

履修しておくことが望まれる科目 / Required Preparatory Study

授業スケジュール / Course Schedule

授業日(第N回)	テーマ / Theme	キーワード / Key Word
第1回	Orientation	Self-Introduction, Explanation of Attainment Objectives, Procedures, and Grading Methods
第2回	以下の詳細は、担当教員から授業開始第一週に配布されるシラバスを参照	
第3回		
第4回		
第5回		
第6回		
第7回		
第8回		
第9回		
第10回		
第11回		
第12回		
第13回		
第14回		
第15回		

(学部科目 / Undergraduate Courses) 授業外学習の指示 / Recommendations for Private Study
 (大学院科目 / Graduate Courses) 授業の方法 / Study Method

各担当者より指示します。

成績評価方法 / Grading Criteria and Method of Evaluation

種別 / Kind	割合 / Percentage	評価基準等 / Grading Criteria etc.
平常点評価	100 %	課題、発表、出席、小テスト、授業参加を含む。詳細は授業で配布されるシラバスを確認すること。2/3 以上の授業に出席した者のみ成績評価の対象となる。出席点のみで単位を認定することはない。

受講および研究に関するアドバイス / Advice to Students on Study and Research Methods

教科書 / Textbooks

クラスごとに指定されているテキストを生協で購入すること。

参考書 / Reference Books

産業社会学部 2008年度「外国語ハンドブック」を参照

参考になる WWW ページ / Web Pages Useful for Reference

産業社会学部 2008年度「外国語ハンドブック」を参照

その他 / Others

英語3 (1U)

10917

担当者名 / Instructor 山崎 清水

単位数 / Credit 1

授業の概要 / Course Outline

Essential Reading Skills (英語重視コース)

この科目は、英語の基礎的読解力(Reading)に重点をおき、英語力を改善することをねらいとしています。語彙を増やし、テキストについて文脈をふまえ、主要なアイデアとそれを補強するアイデアを把握し、スキミング(skimming)、スキヤニング(scanning)などの読む技能を習得します。

到達目標 / Attainment Objectives

この科目では、次のような技能の習得を目指します。

- スキミング(skimming): 英文をざっと読んで、主要なアイデアや要旨を読み取ることができる。
- スキヤニング(scanning): 英文をざっと読んで、必要な情報を見つけることができる。
- テキストの妥当性を判断できる。
- 知らない語句の意味を、文脈から推測できる。
- 英文の事実と意見を区別できる。
- 主要なアイデアと、それを補強する具体的な情報や例などを区別できる。
- 言語で明確に表わされた情報と、暗示された情報を区別できる。
- 推論や結論を導くことができる。
- グラフ、図、表などが読み取れる。
- 英文の構成が理解できる(話題展開を示す語句を認識できる)。

履修しておくことが望まれる科目 / Required Preparatory Study

授業スケジュール / Course Schedule

授業日(第N回)	テーマ / Theme	キーワード / Key Word
第1回	Orientation	Self-Introduction, Explanation of Attainment Objectives, Procedures, and Grading Methods
第2回	以下の詳細は、担当教員から授業開始第一週に配布されるシラバスを参照	
第3回		
第4回		
第5回		
第6回		
第7回		
第8回		
第9回		
第10回		
第11回		
第12回		
第13回		
第14回		
第15回		

(学部科目 / Undergraduate Courses) 授業外学習の指示 / Recommendations for Private Study

(大学院科目 / Graduate Courses) 授業の方法 / Study Method

各担当者より指示します。

成績評価方法 / Grading Criteria and Method of Evaluation

種別 / Kind	割合 / Percentage	評価基準等 / Grading Criteria etc.
平常点評価	100 %	課題、発表、出席、小テスト、授業参加を含む。詳細は授業で配布されるシラバスを確認すること。2/3 以上の授業に出席した者のみ成績評価の対象となる。出席点のみで単位を認定することはない。

受講および研究に関するアドバイス / Advice to Students on Study and Research Methods

教科書 / Textbooks

クラスごとに指定されているテキストを生協で購入すること。

参考書 / Reference Books

産業社会学部 2008年度「外国語ハンドブック」を参照

参考になる WWW ページ / Web Pages Useful for Reference

産業社会学部 2008年度「外国語ハンドブック」を参照

その他 / Others

英語3 (1V)

10918

担当者名 / Instructor HOSACK IAN

単位数 / Credit 1

授業の概要 / Course Outline

Essential Reading Skills (英語重視コース)

この科目は、英語の基礎的読解力(Reading)に重点をおき、英語力を改善することをねらいとしています。語彙を増やし、テキストについて文脈をふまえ、主要なアイデアとそれを補強するアイデアを把握し、スキミング(skimming)、スキヤニング(scanning)などの読む技能を習得します。

到達目標 / Attainment Objectives

この科目では、次のような技能の習得を目指します。

- スキミング(skimming): 英文をざっと読んで、主要なアイデアや要旨を読み取ることができる。
- スキヤニング(scanning): 英文をざっと読んで、必要な情報を見つけることができる。
- テキストの妥当性を判断できる。
- 知らない語句の意味を、文脈から推測できる。
- 英文の事実と意見を区別できる。
- 主要なアイデアと、それを補強する具体的な情報や例などを区別できる。
- 言語で明確に表わされた情報と、暗示された情報を区別できる。
- 推論や結論を導くことができる。
- グラフ、図、表などが読み取れる。
- 英文の構成が理解できる(話題展開を示す語句を認識できる)。

履修しておくことが望まれる科目 / Required Preparatory Study

授業スケジュール / Course Schedule

授業日(第N回)	テーマ / Theme	キーワード / Key Word
第1回	Orientation	Self-Introduction, Explanation of Attainment Objectives, Procedures, and Grading Methods
第2回	以下の詳細は、担当教員から授業開始第一週に配布されるシラバスを参照	
第3回		
第4回		
第5回		
第6回		
第7回		
第8回		
第9回		
第10回		
第11回		
第12回		
第13回		
第14回		
第15回		

(学部科目 / Undergraduate Courses) 授業外学習の指示 / Recommendations for Private Study

(大学院科目 / Graduate Courses) 授業の方法 / Study Method

各担当者より指示します。

成績評価方法 / Grading Criteria and Method of Evaluation

種別 / Kind	割合 / Percentage	評価基準等 / Grading Criteria etc.
平常点評価	100 %	課題、発表、出席、小テスト、授業参加を含む。詳細は授業で配布されるシラバスを確認すること。2/3 以上の授業に出席した者のみ成績評価の対象となる。出席点のみで単位を認定することはない。

受講および研究に関するアドバイス / Advice to Students on Study and Research Methods

教科書 / Textbooks

クラスごとに指定されているテキストを生協で購入すること。

参考書 / Reference Books

産業社会学部 2008年度「外国語ハンドブック」を参照

参考になる WWW ページ / Web Pages Useful for Reference

産業社会学部 2008年度「外国語ハンドブック」を参照

その他 / Others

英語4 (1A)

10996

担当者名 / Instructor 坂本 利子

単位数 / Credit 1

授業の概要 / Course Outline

<対象: 英語重視コース> Critical Reading and Discussion

この科目は、産業社会学部の「専門性」と連携して、さまざまな専門領域(たとえば、家族、福祉、ジェンダー、メディアなど)に関連した、多様なタイプの英文テキストをクリティカル(批評的)に読み、議論する力を養います。

到達目標 / Attainment Objectives

この科目では、次のような技能の習得を目指します。

- テキストの主題とそれを支持するアイデアを見分けることができる。
- 支持文(あるいは展開文)の情報が妥当かどうかを判断できる。
- テキストの中の事実と意見を区別できる。
- 主題に関する著者の姿勢を理解できる。
- テキストの目的と著者の意図をつかむことができる。
- 同一の問題について書かれたさまざまな著者の意見を、比較・対照できる。

履修しておくことが望まれる科目 / Required Preparatory Study

授業スケジュール / Course Schedule

授業日(第N回)	テーマ / Theme	キーワード / Key Word
第1回	Orientation	Self-Introduction, Explanation of Attainment Objectives, Procedures, and Grading Methods
第2回	以下の詳細は、担当教員から授業開始第一週に配布されるシラバスを参照	
第3回		
第4回		
第5回		
第6回		
第7回		
第8回		
第9回		
第10回		
第11回		
第12回		
第13回		
第14回		
第15回		

(学部科目 / Undergraduate Courses) 授業外学習の指示 / Recommendations for Private Study
 (大学院科目 / Graduate Courses) 授業の方法 / Study Methods

各担当者より指示します。

成績評価方法 / Grading Criteria and Method of Evaluation

種別 / Kind	割合 / Percentage	評価基準等 / Grading Criteria etc.
平常点評価	100 %	課題、発表、出席、小テスト、授業参加を含む。詳細は授業で配布されるシラバスを確認すること。2/3 以上の授業に出席した者のみ成績評価の対象となる。出席点のみで単位を認定することはない。

受講および研究に関するアドバイス / Advice to Students on Study and Research Methods

産業社会学部 2008年度「外国語ハンドブック」を参照

教科書 / Textbooks

レベル別クラスごとに指定されているテキストを各自確認して生協で購入すること。

参考書 / Reference Books

産業社会学部 2008年度「外国語ハンドブック」を参照

参考になる WWW ページ / Web Pages Useful for Reference

産業社会学部 2008年度「外国語ハンドブック」を参照

英語4 (1B)

10997

担当者名 / Instructor HOSACK IAN

単位数 / Credit 1

授業の概要 / Course Outline

<対象: 英語重視コース> Critical Reading and Discussion

この科目は、産業社会学部の「専門性」と連携して、さまざまな専門領域(たとえば、家族、福祉、ジェンダー、メディアなど)に関連した、多様なタイプの英文テキストをクリティカル(批評的)に読み、議論する力を養います。

到達目標 / Attainment Objectives

この科目では、次のような技能の習得を目指します。

- テキストの主題とそれを支持するアイデアを見分けることができる。
- 支持文(あるいは展開文)の情報が妥当かどうかを判断できる。
- テキストの中の事実と意見を区別できる。
- 主題に関する著者の姿勢を理解できる。
- テキストの目的と著者の意図をつかむことができる。
- 同一の問題について書かれたさまざまな著者の意見を、比較・対照できる。

履修しておくことが望まれる科目 / Required Preparatory Study

授業スケジュール / Course Schedule

授業日(第N回)	テーマ / Theme	キーワード / Key Word
第1回	Orientation	Self-Introduction, Explanation of Attainment Objectives, Procedures, and Grading Methods
第2回	以下の詳細は、担当教員から授業開始第一週に配布されるシラバスを参照	
第3回		
第4回		
第5回		
第6回		
第7回		
第8回		
第9回		
第10回		
第11回		
第12回		
第13回		
第14回		
第15回		

(学部科目 / Undergraduate Courses) 授業外学習の指示 / Recommendations for Private Study
 (大学院科目 / Graduate Courses) 授業の方法 / Study Methods

各担当者より指示します。

成績評価方法 / Grading Criteria and Method of Evaluation

種別 / Kind	割合 / Percentage	評価基準等 / Grading Criteria etc.
平常点評価	100 %	課題、発表、出席、小テスト、授業参加を含む。詳細は授業で配布されるシラバスを確認すること。2/3 以上の授業に出席した者のみ成績評価の対象となる。出席点のみで単位を認定することはない。

受講および研究に関するアドバイス / Advice to Students on Study and Research Methods

産業社会学部 2008年度「外国語ハンドブック」を参照

教科書 / Textbooks

レベル別クラスごとに指定されているテキストを各自確認して生協で購入すること。

参考書 / Reference Books

産業社会学部 2008年度「外国語ハンドブック」を参照

参考になる WWW ページ / Web Pages Useful for Reference

産業社会学部 2008年度「外国語ハンドブック」を参照

英語4 (1C)

10998

担当者名 / Instructor 伊東 寿泰

単位数 / Credit 1

授業の概要 / Course Outline

<対象: 英語重視コース> Critical Reading and Discussion

この科目は、産業社会学部の「専門性」と連携して、さまざまな専門領域(たとえば、家族、福祉、ジェンダー、メディアなど)に関連した、多様なタイプの英文テキストをクリティカル(批評的)に読み、議論する力を養います。

到達目標 / Attainment Objectives

この科目では、次のような技能の習得を目指します。

- テキストの主題とそれを支持するアイデアを見分けることができる。
- 支持文(あるいは展開文)の情報が妥当かどうかを判断できる。
- テキストの中の事実と意見を区別できる。
- 主題に関する著者の姿勢を理解できる。
- テキストの目的と著者の意図をつかむことができる。
- 同一の問題について書かれたさまざまな著者の意見を、比較・対照できる。

履修しておくことが望まれる科目 / Required Preparatory Study

授業スケジュール / Course Schedule

授業日(第N回)	テーマ / Theme	キーワード / Key Word
第1回	Orientation	Self-Introduction, Explanation of Attainment Objectives, Procedures, and Grading Methods
第2回	以下の詳細は、担当教員から授業開始第一週に配布されるシラバスを参照	
第3回		
第4回		
第5回		
第6回		
第7回		
第8回		
第9回		
第10回		
第11回		
第12回		
第13回		
第14回		
第15回		

(学部科目 / Undergraduate Courses) 授業外学習の指示 / Recommendations for Private Study
 (大学院科目 / Graduate Courses) 授業の方法 / Study Method

各担当者より指示します。

成績評価方法 / Grading Criteria and Method of Evaluation

種別 / Kind	割合 / Percentage	評価基準等 / Grading Criteria etc.
平常点評価	100 %	課題、発表、出席、小テスト、授業参加を含む。詳細は授業で配布されるシラバスを確認すること。2/3 以上の授業に出席した者のみ成績評価の対象となる。出席点のみで単位を認定することはない。

受講および研究に関するアドバイス / Advice to Students on Study and Research Methods

産業社会学部 2008年度「外国語ハンドブック」を参照

教科書 / Textbooks

レベル別クラスごとに指定されているテキストを各自確認して生協で購入すること。

参考書 / Reference Books

産業社会学部 2008年度「外国語ハンドブック」を参照

参考になる WWW ページ / Web Pages Useful for Reference

産業社会学部 2008年度「外国語ハンドブック」を参照

英語4 (1D)

10999

担当者名 / Instructor 酒井 玲子

単位数 / Credit 1

授業の概要 / Course Outline

<対象: 英語重視コース> Critical Reading and Discussion

この科目は、産業社会学部の「専門性」と連携して、さまざまな専門領域(たとえば、家族、福祉、ジェンダー、メディアなど)に関連した、多様なタイプの英文テキストをクリティカル(批評的)に読み、議論する力を養います。

到達目標 / Attainment Objectives

この科目では、次のような技能の習得を目指します。

- テキストの主題とそれを支持するアイデアを見分けることができる。
- 支持文(あるいは展開文)の情報が妥当かどうかを判断できる。
- テキストの中の事実と意見を区別できる。
- 主題に関する著者の姿勢を理解できる。
- テキストの目的と著者の意図をつかむことができる。
- 同一の問題について書かれたさまざまな著者の意見を、比較・対照できる。

履修しておくことが望まれる科目 / Required Preparatory Study

授業スケジュール / Course Schedule

授業日(第N回)	テーマ / Theme	キーワード / Key Word
第1回	Orientation	Self-Introduction, Explanation of Attainment Objectives, Procedures, and Grading Methods
第2回	以下の詳細は、担当教員から授業開始第一週に配布されるシラバスを参照	
第3回		
第4回		
第5回		
第6回		
第7回		
第8回		
第9回		
第10回		
第11回		
第12回		
第13回		
第14回		
第15回		

(学部科目 / Undergraduate Courses) 授業外学習の指示 / Recommendations for Private Study
 (大学院科目 / Graduate Courses) 授業の方法 / Study Methods

各担当者より指示します。

成績評価方法 / Grading Criteria and Method of Evaluation

種別 / Kind	割合 / Percentage	評価基準等 / Grading Criteria etc.
平常点評価	100 %	課題、発表、出席、小テスト、授業参加を含む。詳細は授業で配布されるシラバスを確認すること。2/3 以上の授業に出席した者のみ成績評価の対象となる。出席点のみで単位を認定することはない。

受講および研究に関するアドバイス / Advice to Students on Study and Research Methods

産業社会学部 2008年度「外国語ハンドブック」を参照

教科書 / Textbooks

レベル別クラスごとに指定されているテキストを各自確認して生協で購入すること。

参考書 / Reference Books

産業社会学部 2008年度「外国語ハンドブック」を参照

参考になる WWW ページ / Web Pages Useful for Reference

産業社会学部 2008年度「外国語ハンドブック」を参照

英語4 (1E)

11000

担当者名 / Instructor 池内 靖子

単位数 / Credit 1

授業の概要 / Course Outline

<対象: 英語重視コース> Critical Reading and Discussion

この科目は、産業社会学部の「専門性」と連携して、さまざまな専門領域(たとえば、家族、福祉、ジェンダー、メディアなど)に関連した、多様なタイプの英文テキストをクリティカル(批評的)に読み、議論する力を養います。

到達目標 / Attainment Objectives

この科目では、次のような技能の習得を目指します。

- テキストの主題とそれを支持するアイデアを見分けることができる。
- 支持文(あるいは展開文)の情報が妥当かどうかを判断できる。
- テキストの中の事実と意見を区別できる。
- 主題に関する著者の姿勢を理解できる。
- テキストの目的と著者の意図をつかむことができる。
- 同一の問題について書かれたさまざまな著者の意見を、比較・対照できる。

履修しておくことが望まれる科目 / Required Preparatory Study

授業スケジュール / Course Schedule

授業日(第N回)	テーマ / Theme	キーワード / Key Word
第1回	Orientation	Self-Introduction, Explanation of Attainment Objectives, Procedures, and Grading Methods
第2回	以下の詳細は、担当教員から授業開始第一週に配布されるシラバスを参照	
第3回		
第4回		
第5回		
第6回		
第7回		
第8回		
第9回		
第10回		
第11回		
第12回		
第13回		
第14回		
第15回		

(学部科目 / Undergraduate Courses) 授業外学習の指示 / Recommendations for Private Study
 (大学院科目 / Graduate Courses) 授業の方法 / Study Methods

各担当者より指示します。

成績評価方法 / Grading Criteria and Method of Evaluation

種別 / Kind	割合 / Percentage	評価基準等 / Grading Criteria etc.
平常点評価	100 %	課題、発表、出席、小テスト、授業参加を含む。詳細は授業で配布されるシラバスを確認すること。2/3 以上の授業に出席した者のみ成績評価の対象となる。出席点のみで単位を認定することはない。

受講および研究に関するアドバイス / Advice to Students on Study and Research Methods

産業社会学部 2008年度「外国語ハンドブック」を参照

教科書 / Textbooks

レベル別クラスごとに指定されているテキストを各自確認して生協で購入すること。

参考書 / Reference Books

産業社会学部 2008年度「外国語ハンドブック」を参照

参考になる WWW ページ / Web Pages Useful for Reference

産業社会学部 2008年度「外国語ハンドブック」を参照

英語4 (1F)

11001

担当者名 / Instructor 徳本 恵

単位数 / Credit 1

授業の概要 / Course Outline

<対象: 英語重視コース> Critical Reading and Discussion

この科目は、産業社会学部の「専門性」と連携して、さまざまな専門領域(たとえば、家族、福祉、ジェンダー、メディアなど)に関連した、多様なタイプの英文テキストをクリティカル(批評的)に読み、議論する力を養います。

到達目標 / Attainment Objectives

この科目では、次のような技能の習得を目指します。

- テキストの主題とそれを支持するアイデアを見分けることができる。
- 支持文(あるいは展開文)の情報が妥当かどうかを判断できる。
- テキストの中の事実と意見を区別できる。
- 主題に関する著者の姿勢を理解できる。
- テキストの目的と著者の意図をつかむことができる。
- 同一の問題について書かれたさまざまな著者の意見を、比較・対照できる。

履修しておくことが望まれる科目 / Required Preparatory Study

授業スケジュール / Course Schedule

授業日(第N回)	テーマ / Theme	キーワード / Key Word
第1回	Orientation	Self-Introduction, Explanation of Attainment Objectives, Procedures, and Grading Methods
第2回	以下の詳細は、担当教員から授業開始第一週に配布されるシラバスを参照	
第3回		
第4回		
第5回		
第6回		
第7回		
第8回		
第9回		
第10回		
第11回		
第12回		
第13回		
第14回		
第15回		

(学部科目 / Undergraduate Courses) 授業外学習の指示 / Recommendations for Private Study
 (大学院科目 / Graduate Courses) 授業の方法 / Study Method

各担当者より指示します。

成績評価方法 / Grading Criteria and Method of Evaluation

種別 / Kind	割合 / Percentage	評価基準等 / Grading Criteria etc.
平常点評価	100 %	課題、発表、出席、小テスト、授業参加を含む。詳細は授業で配布されるシラバスを確認すること。2/3 以上の授業に出席した者のみ成績評価の対象となる。出席点のみで単位を認定することはない。

受講および研究に関するアドバイス / Advice to Students on Study and Research Methods

産業社会学部 2008年度「外国語ハンドブック」を参照

教科書 / Textbooks

レベル別クラスごとに指定されているテキストを各自確認して生協で購入すること。

参考書 / Reference Books

産業社会学部 2008年度「外国語ハンドブック」を参照

参考になる WWW ページ / Web Pages Useful for Reference

産業社会学部 2008年度「外国語ハンドブック」を参照

英語4 (1G)

11002

担当者名 / Instructor 小林 香保里

単位数 / Credit 1

授業の概要 / Course Outline

<対象: 英語重視コース> Critical Reading and Discussion

この科目は、産業社会学部の「専門性」と連携して、さまざまな専門領域(たとえば、家族、福祉、ジェンダー、メディアなど)に関連した、多様なタイプの英文テキストをクリティカル(批評的)に読み、議論する力を養います。

到達目標 / Attainment Objectives

この科目では、次のような技能の習得を目指します。

- テキストの主題とそれを支持するアイデアを見分けることができる。
- 支持文(あるいは展開文)の情報が妥当かどうかを判断できる。
- テキストの中の事実と意見を区別できる。
- 主題に関する著者の姿勢を理解できる。
- テキストの目的と著者の意図をつかむことができる。
- 同一の問題について書かれたさまざまな著者の意見を、比較・対照できる。

履修しておくことが望まれる科目 / Required Preparatory Study

授業スケジュール / Course Schedule

授業日(第N回)	テーマ / Theme	キーワード / Key Word
第1回	Orientation	Self-Introduction, Explanation of Attainment Objectives, Procedures, and Grading Methods
第2回	以下の詳細は、担当教員から授業開始第一週に配布されるシラバスを参照	
第3回		
第4回		
第5回		
第6回		
第7回		
第8回		
第9回		
第10回		
第11回		
第12回		
第13回		
第14回		
第15回		

(学部科目 / Undergraduate Courses) 授業外学習の指示 / Recommendations for Private Study
 (大学院科目 / Graduate Courses) 授業の方法 / Study Method

各担当者より指示します。

成績評価方法 / Grading Criteria and Method of Evaluation

種別 / Kind	割合 / Percentage	評価基準等 / Grading Criteria etc.
平常点評価	100 %	課題、発表、出席、小テスト、授業参加を含む。詳細は授業で配布されるシラバスを確認すること。2/3 以上の授業に出席した者のみ成績評価の対象となる。出席点のみで単位を認定することはない。

受講および研究に関するアドバイス / Advice to Students on Study and Research Methods

産業社会学部 2008年度「外国語ハンドブック」を参照

教科書 / Textbooks

レベル別クラスごとに指定されているテキストを各自確認して生協で購入すること。

参考書 / Reference Books

産業社会学部 2008年度「外国語ハンドブック」を参照

参考になる WWW ページ / Web Pages Useful for Reference

産業社会学部 2008年度「外国語ハンドブック」を参照

英語4 (1H)

11003

担当者名 / Instructor 五十川 敬子

単位数 / Credit 1

授業の概要 / Course Outline

<対象: 英語重視コース> Critical Reading and Discussion

この科目は、産業社会学部の「専門性」と連携して、さまざまな専門領域(たとえば、家族、福祉、ジェンダー、メディアなど)に関連した、多様なタイプの英文テキストをクリティカル(批評的)に読み、議論する力を養います。

到達目標 / Attainment Objectives

この科目では、次のような技能の習得を目指します。

- テキストの主題とそれを支持するアイデアを見分けることができる。
- 支持文(あるいは展開文)の情報が妥当かどうかを判断できる。
- テキストの中の事実と意見を区別できる。
- 主題に関する著者の姿勢を理解できる。
- テキストの目的と著者の意図をつかむことができる。
- 同一の問題について書かれたさまざまな著者の意見を、比較・対照できる。

履修しておくことが望まれる科目 / Required Preparatory Study

授業スケジュール / Course Schedule

授業日(第N回)	テーマ / Theme	キーワード / Key Word
第1回	Orientation	Self-Introduction, Explanation of Attainment Objectives, Procedures, and Grading Methods
第2回	以下の詳細は、担当教員から授業開始第一週に配布されるシラバスを参照	
第3回		
第4回		
第5回		
第6回		
第7回		
第8回		
第9回		
第10回		
第11回		
第12回		
第13回		
第14回		
第15回		

 (学部科目 / Undergraduate Courses) 授業外学習の指示 / Recommendations for Private Study
 (大学院科目 / Graduate Courses) 授業の方法 / Study Method

各担当者より指示します。

成績評価方法 / Grading Criteria and Method of Evaluation

種別 / Kind	割合 / Percentage	評価基準等 / Grading Criteria etc.
平常点評価	100 %	課題、発表、出席、小テスト、授業参加を含む。詳細は授業で配布されるシラバスを確認すること。2/3 以上の授業に出席した者のみ成績評価の対象となる。出席点のみで単位を認定することはない。

受講および研究に関するアドバイス / Advice to Students on Study and Research Methods

産業社会学部 2008年度「外国語ハンドブック」を参照

教科書 / Textbooks

レベル別クラスごとに指定されているテキストを各自確認して生協で購入すること。

参考書 / Reference Books

産業社会学部 2008年度「外国語ハンドブック」を参照

参考になる WWW ページ / Web Pages Useful for Reference

産業社会学部 2008年度「外国語ハンドブック」を参照

英語4 (11)

11004

担当者名 / Instructor 馬場 智姫

単位数 / Credit 1

授業の概要 / Course Outline

<対象: 英語重視コース> Critical Reading and Discussion

この科目は、産業社会学部の「専門性」と連携して、さまざまな専門領域(たとえば、家族、福祉、ジェンダー、メディアなど)に関連した、多様なタイプの英文テキストをクリティカル(批評的)に読み、議論する力を養います。

到達目標 / Attainment Objectives

この科目では、次のような技能の習得を目指します。

- テキストの主題とそれを支持するアイデアを見分けることができる。
- 支持文(あるいは展開文)の情報が妥当かどうかを判断できる。
- テキストの中の事実と意見を区別できる。
- 主題に関する著者の姿勢を理解できる。
- テキストの目的と著者の意図をつかむことができる。
- 同一の問題について書かれたさまざまな著者の意見を、比較・対照できる。

履修しておくことが望まれる科目 / Required Preparatory Study

授業スケジュール / Course Schedule

授業日(第N回)	テーマ / Theme	キーワード / Key Word
第1回	Orientation	Self-Introduction, Explanation of Attainment Objectives, Procedures, and Grading Methods
第2回	以下の詳細は、担当教員から授業開始第一週に配布されるシラバスを参照	
第3回		
第4回		
第5回		
第6回		
第7回		
第8回		
第9回		
第10回		
第11回		
第12回		
第13回		
第14回		
第15回		

(学部科目 / Undergraduate Courses) 授業外学習の指示 / Recommendations for Private Study
 (大学院科目 / Graduate Courses) 授業の方法 / Study Method

各担当者より指示します。

成績評価方法 / Grading Criteria and Method of Evaluation

種別 / Kind	割合 / Percentage	評価基準等 / Grading Criteria etc.
平常点評価	100 %	課題、発表、出席、小テスト、授業参加を含む。詳細は授業で配布されるシラバスを確認すること。2/3 以上の授業に出席した者のみ成績評価の対象となる。出席点のみで単位を認定することはない。

受講および研究に関するアドバイス / Advice to Students on Study and Research Methods

産業社会学部 2008年度「外国語ハンドブック」を参照

教科書 / Textbooks

レベル別クラスごとに指定されているテキストを各自確認して生協で購入すること。

参考書 / Reference Books

産業社会学部 2008年度「外国語ハンドブック」を参照

参考になる WWW ページ / Web Pages Useful for Reference

産業社会学部 2008年度「外国語ハンドブック」を参照

英語4 (1J)

11005

担当者名 / Instructor 芝原 直美

単位数 / Credit 1

授業の概要 / Course Outline

<対象: 英語重視コース> Critical Reading and Discussion

この科目は、産業社会学部の「専門性」と連携して、さまざまな専門領域(たとえば、家族、福祉、ジェンダー、メディアなど)に関連した、多様なタイプの英文テキストをクリティカル(批評的)に読み、議論する力を養います。

到達目標 / Attainment Objectives

この科目では、次のような技能の習得を目指します。

- テキストの主題とそれを支持するアイデアを見分けることができる。
- 支持文(あるいは展開文)の情報が妥当かどうかを判断できる。
- テキストの中の事実と意見を区別できる。
- 主題に関する著者の姿勢を理解できる。
- テキストの目的と著者の意図をつかむことができる。
- 同一の問題について書かれたさまざまな著者の意見を、比較・対照できる。

履修しておくことが望まれる科目 / Required Preparatory Study

授業スケジュール / Course Schedule

授業日(第N回)	テーマ / Theme	キーワード / Key Word
第1回	Orientation	Self-Introduction, Explanation of Attainment Objectives, Procedures, and Grading Methods
第2回	以下の詳細は、担当教員から授業開始第一週に配布されるシラバスを参照	
第3回		
第4回		
第5回		
第6回		
第7回		
第8回		
第9回		
第10回		
第11回		
第12回		
第13回		
第14回		
第15回		

(学部科目 / Undergraduate Courses) 授業外学習の指示 / Recommendations for Private Study

(大学院科目 / Graduate Courses) 授業の方法 / Study Method

各担当者より指示します。

成績評価方法 / Grading Criteria and Method of Evaluation

種別 / Kind	割合 / Percentage	評価基準等 / Grading Criteria etc.
平常点評価	100 %	課題、発表、出席、小テスト、授業参加を含む。詳細は授業で配布されるシラバスを確認すること。2/3 以上の授業に出席した者のみ成績評価の対象となる。出席点のみで単位を認定することはない。

受講および研究に関するアドバイス / Advice to Students on Study and Research Methods

産業社会学部 2008年度「外国語ハンドブック」を参照

教科書 / Textbooks

レベル別クラスごとに指定されているテキストを各自確認して生協で購入すること。

参考書 / Reference Books

産業社会学部 2008年度「外国語ハンドブック」を参照

参考になる WWW ページ / Web Pages Useful for Reference

産業社会学部 2008年度「外国語ハンドブック」を参照

英語4 (1K)

11006

担当者名 / Instructor ランザ ー美

単位数 / Credit 1

授業の概要 / Course Outline

<対象: 英語重視コース> Critical Reading and Discussion

この科目は、産業社会学部の「専門性」と連携して、さまざまな専門領域(たとえば、家族、福祉、ジェンダー、メディアなど)に関連した、多様なタイプの英文テキストをクリティカル(批評的)に読み、議論する力を養います。

到達目標 / Attainment Objectives

この科目では、次のような技能の習得を目指します。

- テキストの主題とそれを支持するアイデアを見分けることができる。
- 支持文(あるいは展開文)の情報が妥当かどうかを判断できる。
- テキストの中の事実と意見を区別できる。
- 主題に関する著者の姿勢を理解できる。
- テキストの目的と著者の意図をつかむことができる。
- 同一の問題について書かれたさまざまな著者の意見を、比較・対照できる。

履修しておくことが望まれる科目 / Required Preparatory Study

授業スケジュール / Course Schedule

授業日(第N回)	テーマ / Theme	キーワード / Key Word
第1回	Orientation	Self-Introduction, Explanation of Attainment Objectives, Procedures, and Grading Methods
第2回	以下の詳細は、担当教員から授業開始第一週に配布されるシラバスを参照	
第3回		
第4回		
第5回		
第6回		
第7回		
第8回		
第9回		
第10回		
第11回		
第12回		
第13回		
第14回		
第15回		

(学部科目 / Undergraduate Courses) 授業外学習の指示 / Recommendations for Private Study
 (大学院科目 / Graduate Courses) 授業の方法 / Study Method

各担当者より指示します。

成績評価方法 / Grading Criteria and Method of Evaluation

種別 / Kind	割合 / Percentage	評価基準等 / Grading Criteria etc.
平常点評価	100 %	課題、発表、出席、小テスト、授業参加を含む。詳細は授業で配布されるシラバスを確認すること。2/3 以上の授業に出席した者のみ成績評価の対象となる。出席点のみで単位を認定することはない。

受講および研究に関するアドバイス / Advice to Students on Study and Research Methods

産業社会学部 2008年度「外国語ハンドブック」を参照

教科書 / Textbooks

レベル別クラスごとに指定されているテキストを各自確認して生協で購入すること。

参考書 / Reference Books

産業社会学部 2008年度「外国語ハンドブック」を参照

参考になる WWW ページ / Web Pages Useful for Reference

産業社会学部 2008年度「外国語ハンドブック」を参照

英語4 (1L)

10851

担当者名 / Instructor 池内 靖子

単位数 / Credit 1

授業の概要 / Course Outline

<対象: 英語重視コース> Critical Reading and Discussion

この科目は、産業社会学部の「専門性」と連携して、さまざまな専門領域(たとえば、家族、福祉、ジェンダー、メディアなど)に関連した、多様なタイプの英文テキストをクリティカル(批評的)に読み、議論する力を養います。

到達目標 / Attainment Objectives

この科目では、次のような技能の習得を目指します。

- テキストの主題とそれを支持するアイデアを見分けることができる。
- 支持文(あるいは展開文)の情報が妥当かどうかを判断できる。
- テキストの中の事実と意見を区別できる。
- 主題に関する著者の姿勢を理解できる。
- テキストの目的と著者の意図をつかむことができる。
- 同一の問題について書かれたさまざまな著者の意見を、比較・対照できる。

履修しておくことが望まれる科目 / Required Preparatory Study

授業スケジュール / Course Schedule

授業日(第N回)	テーマ / Theme	キーワード / Key Word
第1回	Orientation	Self-Introduction, Explanation of Attainment Objectives, Procedures, and Grading Methods
第2回	以下の詳細は、担当教員から授業開始第一週に配布されるシラバスを参照	
第3回		
第4回		
第5回		
第6回		
第7回		
第8回		
第9回		
第10回		
第11回		
第12回		
第13回		
第14回		
第15回		

(学部科目 / Undergraduate Courses) 授業外学習の指示 / Recommendations for Private Study
 (大学院科目 / Graduate Courses) 授業の方法 / Study Methods

各担当者より指示します。

成績評価方法 / Grading Criteria and Method of Evaluation

種別 / Kind	割合 / Percentage	評価基準等 / Grading Criteria etc.
平常点評価	100 %	課題、発表、出席、小テスト、授業参加を含む。詳細は授業で配布されるシラバスを確認すること。2/3 以上の授業に出席した者のみ成績評価の対象となる。出席点のみで単位を認定することはない。

受講および研究に関するアドバイス / Advice to Students on Study and Research Methods

産業社会学部 2008年度「外国語ハンドブック」を参照

教科書 / Textbooks

レベル別クラスごとに指定されているテキストを各自確認して生協で購入すること。

参考書 / Reference Books

産業社会学部 2008年度「外国語ハンドブック」を参照

参考になる WWW ページ / Web Pages Useful for Reference

産業社会学部 2008年度「外国語ハンドブック」を参照

英語4 (1M)

10852

担当者名 / Instructor VIGERS PIERIS NIGEL

単位数 / Credit 1

授業の概要 / Course Outline

<対象: 英語重視コース> Critical Reading and Discussion

この科目は、産業社会学部の「専門性」と連携して、さまざまな専門領域(たとえば、家族、福祉、ジェンダー、メディアなど)に関連した、多様なタイプの英文テキストをクリティカル(批評的)に読み、議論する力を養います。

到達目標 / Attainment Objectives

この科目では、次のような技能の習得を目指します。

- テキストの主題とそれを支持するアイデアを見分けることができる。
- 支持文(あるいは展開文)の情報が妥当かどうかを判断できる。
- テキストの中の事実と意見を区別できる。
- 主題に関する著者の姿勢を理解できる。
- テキストの目的と著者の意図をつかむことができる。
- 同一の問題について書かれたさまざまな著者の意見を、比較・対照できる。

履修しておくことが望まれる科目 / Required Preparatory Study

授業スケジュール / Course Schedule

授業日(第N回)	テーマ / Theme	キーワード / Key Word
第1回	Orientation	Self-Introduction, Explanation of Attainment Objectives, Procedures, and Grading Methods
第2回	以下の詳細は、担当教員から授業開始第一週に配布されるシラバスを参照	
第3回		
第4回		
第5回		
第6回		
第7回		
第8回		
第9回		
第10回		
第11回		
第12回		
第13回		
第14回		
第15回		

(学部科目 / Undergraduate Courses) 授業外学習の指示 / Recommendations for Private Study
 (大学院科目 / Graduate Courses) 授業の方法 / Study Method

各担当者より指示します。

成績評価方法 / Grading Criteria and Method of Evaluation

種別 / Kind	割合 / Percentage	評価基準等 / Grading Criteria etc.
平常点評価	100 %	課題、発表、出席、小テスト、授業参加を含む。詳細は授業で配布されるシラバスを確認すること。2/3 以上の授業に出席した者のみ成績評価の対象となる。出席点のみで単位を認定することはない。

受講および研究に関するアドバイス / Advice to Students on Study and Research Methods

産業社会学部 2008年度「外国語ハンドブック」を参照

教科書 / Textbooks

レベル別クラスごとに指定されているテキストを各自確認して生協で購入すること。

参考書 / Reference Books

産業社会学部 2008年度「外国語ハンドブック」を参照

参考になる WWW ページ / Web Pages Useful for Reference

産業社会学部 2008年度「外国語ハンドブック」を参照

英語4 (1N)

10853

担当者名 / Instructor 東 自由里

単位数 / Credit 1

授業の概要 / Course Outline

<対象: 英語重視コース> Critical Reading and Discussion

この科目は、産業社会学部の「専門性」と連携して、さまざまな専門領域(たとえば、家族、福祉、ジェンダー、メディアなど)に関連した、多様なタイプの英文テキストをクリティカル(批評的)に読み、議論する力を養います。

到達目標 / Attainment Objectives

この科目では、次のような技能の習得を目指します。

- テキストの主題とそれを支持するアイデアを見分けることができる。
- 支持文(あるいは展開文)の情報が妥当かどうかを判断できる。
- テキストの中の事実と意見を区別できる。
- 主題に関する著者の姿勢を理解できる。
- テキストの目的と著者の意図をつかむことができる。
- 同一の問題について書かれたさまざまな著者の意見を、比較・対照できる。

履修しておくことが望まれる科目 / Required Preparatory Study

授業スケジュール / Course Schedule

授業日(第N回)	テーマ / Theme	キーワード / Key Word
Sep. 30	Orientation: IGAKUKAN Room 37	Self-Introduction, Explanation of Attainment Objectives, Procedures, and Grading Methods
Oct. 7	Chapter 1: Blood Types	
Oct. 14	Chapter 2: Psychics	
Oct. 21	Chapter 3: Feng Shui	
Oct. 28	Chapter 4: Snake Oil	
Nov. 4	Chapter 6: Advertising: A Diamond is Forever	
Nov. 11	Chapter 7: Behind the Scenes	
Nov. 18	Mid-Term Exam	Classroom: 清心553 (20% of your total grade)
Nov. 25	Chapter 8: The Myth of the Noble Savage	
Dec. 2	Chapter 9: Illness and the Mind	
Dec. 9	Chapter 10: Risk	
Dec. 16	Chapter 11: Race and Intelligence	
Dec. 23	Group Presentation	(national holiday, but we have class)
Jan. 6	REVIEW of all chapters	Critical Thinking and Skepticism
Jan. 13	In-Class Verification Exam for Final Verification and post exam explanation lecture	***Classroom: 清心553*** (30% of your final grade)

(学部科目 / Undergraduate Courses) 授業外学習の指示 / Recommendations for Private Study
 (大学院科目 / Graduate Courses) 授業の方法 / Study Methods

Please refer to the syllabus distributed during the first week of class for details

成績評価方法 / Grading Criteria and Method of Evaluation

種別 / Kind	割合 / Percentage	評価基準等 / Grading Criteria etc.
平常点評価	100 %	課題、発表、出席、小テスト、授業参加を含む。詳細は授業で配布されるシラバスを確認すること。2/3 以上の授業に出席した者のみ成績評価の対象となる。出席点のみで単位を認定することはない。

Please refer to the syllabus you have received in class during the first week of class for details

受講および研究に関するアドバイス / Advice to Students on Study and Research Methods

産業社会学部 2008年度「外国語ハンドブック」を参照

教科書 / Textbooks

書名 / Title	出版社・ISBNコード・コメント / Author, Publisher, ISBN Code, Comment
Fact, Fable or Fiction	Paul Stapleton / MACMILLAN / 4-7773-6061-x /
レベル別クラスごとに指定されているテキストを各自確認して生協で購入すること。	

参考書 / Reference Books

書名 / Title	出版社・ISBNコード・コメント / Author, Publisher, ISBN Code, Comment
------------	--

英語の構文150

／／／

産業社会学部 2008年度「外国語ハンドブック」を参照

参考になる WWW ページ / Web Pages Useful for Reference

産業社会学部 2008年度「外国語ハンドブック」を参照

その他 / Others

英語4 (10)

10854

担当者名 / Instructor 小林 香保里

単位数 / Credit 1

授業の概要 / Course Outline

<対象: 英語重視コース> Critical Reading and Discussion

この科目は、産業社会学部の「専門性」と連携して、さまざまな専門領域(たとえば、家族、福祉、ジェンダー、メディアなど)に関連した、多様なタイプの英文テキストをクリティカル(批評的)に読み、議論する力を養います。

到達目標 / Attainment Objectives

この科目では、次のような技能の習得を目指します。

- テキストの主題とそれを支持するアイデアを見分けることができる。
- 支持文(あるいは展開文)の情報が妥当かどうかを判断できる。
- テキストの中の事実と意見を区別できる。
- 主題に関する著者の姿勢を理解できる。
- テキストの目的と著者の意図をつかむことができる。
- 同一の問題について書かれたさまざまな著者の意見を、比較・対照できる。

履修しておくことが望まれる科目 / Required Preparatory Study

授業スケジュール / Course Schedule

授業日(第N回)	テーマ / Theme	キーワード / Key Word
第1回	Orientation	Self-Introduction, Explanation of Attainment Objectives, Procedures, and Grading Methods
第2回	以下の詳細は、担当教員から授業開始第一週に配布されるシラバスを参照	
第3回		
第4回		
第5回		
第6回		
第7回		
第8回		
第9回		
第10回		
第11回		
第12回		
第13回		
第14回		
第15回		

(学部科目 / Undergraduate Courses) 授業外学習の指示 / Recommendations for Private Study
 (大学院科目 / Graduate Courses) 授業の方法 / Study Method

各担当者より指示します。

成績評価方法 / Grading Criteria and Method of Evaluation

種別 / Kind	割合 / Percentage	評価基準等 / Grading Criteria etc.
平常点評価	100 %	課題、発表、出席、小テスト、授業参加を含む。詳細は授業で配布されるシラバスを確認すること。2/3 以上の授業に出席した者のみ成績評価の対象となる。出席点のみで単位を認定することはない。

受講および研究に関するアドバイス / Advice to Students on Study and Research Methods

産業社会学部 2008年度「外国語ハンドブック」を参照

教科書 / Textbooks

レベル別クラスごとに指定されているテキストを各自確認して生協で購入すること。

参考書 / Reference Books

産業社会学部 2008年度「外国語ハンドブック」を参照

参考になる WWW ページ / Web Pages Useful for Reference

産業社会学部 2008年度「外国語ハンドブック」を参照

英語4 (1P)

10855

担当者名 / Instructor 五十川 敬子

単位数 / Credit 1

授業の概要 / Course Outline

<対象: 英語重視コース> Critical Reading and Discussion

この科目は、産業社会学部の「専門性」と連携して、さまざまな専門領域(たとえば、家族、福祉、ジェンダー、メディアなど)に関連した、多様なタイプの英文テキストをクリティカル(批評的)に読み、議論する力を養います。

到達目標 / Attainment Objectives

この科目では、次のような技能の習得を目指します。

- テキストの主題とそれを支持するアイデアを見分けることができる。
- 支持文(あるいは展開文)の情報が妥当かどうかを判断できる。
- テキストの中の事実と意見を区別できる。
- 主題に関する著者の姿勢を理解できる。
- テキストの目的と著者の意図をつかむことができる。
- 同一の問題について書かれたさまざまな著者の意見を、比較・対照できる。

履修しておくことが望まれる科目 / Required Preparatory Study

授業スケジュール / Course Schedule

授業日(第N回)	テーマ / Theme	キーワード / Key Word
第1回	Orientation	Self-Introduction, Explanation of Attainment Objectives, Procedures, and Grading Methods
第2回	以下の詳細は、担当教員から授業開始第一週に配布されるシラバスを参照	
第3回		
第4回		
第5回		
第6回		
第7回		
第8回		
第9回		
第10回		
第11回		
第12回		
第13回		
第14回		
第15回		

(学部科目 / Undergraduate Courses) 授業外学習の指示 / Recommendations for Private Study
 (大学院科目 / Graduate Courses) 授業の方法 / Study Method

各担当者より指示します。

成績評価方法 / Grading Criteria and Method of Evaluation

種別 / Kind	割合 / Percentage	評価基準等 / Grading Criteria etc.
平常点評価	100 %	課題、発表、出席、小テスト、授業参加を含む。詳細は授業で配布されるシラバスを確認すること。2/3 以上の授業に出席した者のみ成績評価の対象となる。出席点のみで単位を認定することはない。

受講および研究に関するアドバイス / Advice to Students on Study and Research Methods

産業社会学部 2008年度「外国語ハンドブック」を参照

教科書 / Textbooks

レベル別クラスごとに指定されているテキストを各自確認して生協で購入すること。

参考書 / Reference Books

産業社会学部 2008年度「外国語ハンドブック」を参照

参考になる WWW ページ / Web Pages Useful for Reference

産業社会学部 2008年度「外国語ハンドブック」を参照

英語4 (1Q)

10856

担当者名 / Instructor 徳本 恵

単位数 / Credit 1

授業の概要 / Course Outline

<対象: 英語重視コース> Critical Reading and Discussion

この科目は、産業社会学部の「専門性」と連携して、さまざまな専門領域(たとえば、家族、福祉、ジェンダー、メディアなど)に関連した、多様なタイプの英文テキストをクリティカル(批評的)に読み、議論する力を養います。

到達目標 / Attainment Objectives

この科目では、次のような技能の習得を目指します。

- テキストの主題とそれを支持するアイデアを見分けることができる。
- 支持文(あるいは展開文)の情報が妥当かどうかを判断できる。
- テキストの中の事実と意見を区別できる。
- 主題に関する著者の姿勢を理解できる。
- テキストの目的と著者の意図をつかむことができる。
- 同一の問題について書かれたさまざまな著者の意見を、比較・対照できる。

履修しておくことが望まれる科目 / Required Preparatory Study

授業スケジュール / Course Schedule

授業日(第N回)	テーマ / Theme	キーワード / Key Word
第1回	Orientation	Self-Introduction, Explanation of Attainment Objectives, Procedures, and Grading Methods
第2回	以下の詳細は、担当教員から授業開始第一週に配布されるシラバスを参照	
第3回		
第4回		
第5回		
第6回		
第7回		
第8回		
第9回		
第10回		
第11回		
第12回		
第13回		
第14回		
第15回		

(学部科目 / Undergraduate Courses) 授業外学習の指示 / Recommendations for Private Study
 (大学院科目 / Graduate Courses) 授業の方法 / Study Method

各担当者より指示します。

成績評価方法 / Grading Criteria and Method of Evaluation

種別 / Kind	割合 / Percentage	評価基準等 / Grading Criteria etc.
平常点評価	100 %	課題、発表、出席、小テスト、授業参加を含む。詳細は授業で配布されるシラバスを確認すること。2/3 以上の授業に出席した者のみ成績評価の対象となる。出席点のみで単位を認定することはない。

受講および研究に関するアドバイス / Advice to Students on Study and Research Methods

産業社会学部 2008年度「外国語ハンドブック」を参照

教科書 / Textbooks

レベル別クラスごとに指定されているテキストを各自確認して生協で購入すること。

参考書 / Reference Books

産業社会学部 2008年度「外国語ハンドブック」を参照

参考になる WWW ページ / Web Pages Useful for Reference

産業社会学部 2008年度「外国語ハンドブック」を参照

英語4 (1R)

10857

担当者名 / Instructor 芝原 直美

単位数 / Credit 1

授業の概要 / Course Outline

<対象: 英語重視コース> Critical Reading and Discussion

この科目は、産業社会学部の「専門性」と連携して、さまざまな専門領域(たとえば、家族、福祉、ジェンダー、メディアなど)に関連した、多様なタイプの英文テキストをクリティカル(批評的)に読み、議論する力を養います。

到達目標 / Attainment Objectives

この科目では、次のような技能の習得を目指します。

- テキストの主題とそれを支持するアイデアを見分けることができる。
- 支持文(あるいは展開文)の情報が妥当かどうかを判断できる。
- テキストの中の事実と意見を区別できる。
- 主題に関する著者の姿勢を理解できる。
- テキストの目的と著者の意図をつかむことができる。
- 同一の問題について書かれたさまざまな著者の意見を、比較・対照できる。

履修しておくことが望まれる科目 / Required Preparatory Study

授業スケジュール / Course Schedule

授業日(第N回)	テーマ / Theme	キーワード / Key Word
第1回	Orientation	Self-Introduction, Explanation of Attainment Objectives, Procedures, and Grading Methods
第2回	以下の詳細は、担当教員から授業開始第一週に配布されるシラバスを参照	
第3回		
第4回		
第5回		
第6回		
第7回		
第8回		
第9回		
第10回		
第11回		
第12回		
第13回		
第14回		
第15回		

(学部科目 / Undergraduate Courses) 授業外学習の指示 / Recommendations for Private Study
 (大学院科目 / Graduate Courses) 授業の方法 / Study Methods

各担当者より指示します。

成績評価方法 / Grading Criteria and Method of Evaluation

種別 / Kind	割合 / Percentage	評価基準等 / Grading Criteria etc.
平常点評価	100 %	課題、発表、出席、小テスト、授業参加を含む。詳細は授業で配布されるシラバスを確認すること。2/3 以上の授業に出席した者のみ成績評価の対象となる。出席点のみで単位を認定することはない。

受講および研究に関するアドバイス / Advice to Students on Study and Research Methods

産業社会学部 2008年度「外国語ハンドブック」を参照

教科書 / Textbooks

レベル別クラスごとに指定されているテキストを各自確認して生協で購入すること。

参考書 / Reference Books

産業社会学部 2008年度「外国語ハンドブック」を参照

参考になる WWW ページ / Web Pages Useful for Reference

産業社会学部 2008年度「外国語ハンドブック」を参照

英語4 (1S)

10858

担当者名 / Instructor ランザ ー美

単位数 / Credit 1

授業の概要 / Course Outline

<対象: 英語重視コース> Critical Reading and Discussion

この科目は、産業社会学部の「専門性」と連携して、さまざまな専門領域(たとえば、家族、福祉、ジェンダー、メディアなど)に関連した、多様なタイプの英文テキストをクリティカル(批評的)に読み、議論する力を養います。

到達目標 / Attainment Objectives

この科目では、次のような技能の習得を目指します。

- テキストの主題とそれを支持するアイデアを見分けることができる。
- 支持文(あるいは展開文)の情報が妥当かどうかを判断できる。
- テキストの中の事実と意見を区別できる。
- 主題に関する著者の姿勢を理解できる。
- テキストの目的と著者の意図をつかむことができる。
- 同一の問題について書かれたさまざまな著者の意見を、比較・対照できる。

履修しておくことが望まれる科目 / Required Preparatory Study

授業スケジュール / Course Schedule

授業日(第N回)	テーマ / Theme	キーワード / Key Word
第1回	Orientation	Self-Introduction, Explanation of Attainment Objectives, Procedures, and Grading Methods
第2回	以下の詳細は、担当教員から授業開始第一週に配布されるシラバスを参照	
第3回		
第4回		
第5回		
第6回		
第7回		
第8回		
第9回		
第10回		
第11回		
第12回		
第13回		
第14回		
第15回		

(学部科目 / Undergraduate Courses) 授業外学習の指示 / Recommendations for Private Study
 (大学院科目 / Graduate Courses) 授業の方法 / Study Method

各担当者より指示します。

成績評価方法 / Grading Criteria and Method of Evaluation

種別 / Kind	割合 / Percentage	評価基準等 / Grading Criteria etc.
平常点評価	100 %	課題、発表、出席、小テスト、授業参加を含む。詳細は授業で配布されるシラバスを確認すること。2/3 以上の授業に出席した者のみ成績評価の対象となる。出席点のみで単位を認定することはない。

受講および研究に関するアドバイス / Advice to Students on Study and Research Methods

産業社会学部 2008年度「外国語ハンドブック」を参照

教科書 / Textbooks

レベル別クラスごとに指定されているテキストを各自確認して生協で購入すること。

参考書 / Reference Books

産業社会学部 2008年度「外国語ハンドブック」を参照

参考になる WWW ページ / Web Pages Useful for Reference

産業社会学部 2008年度「外国語ハンドブック」を参照

英語4 (1T)

10859

担当者名 / Instructor 馬場 智姫

単位数 / Credit 1

授業の概要 / Course Outline

<対象: 英語重視コース> Critical Reading and Discussion

この科目は、産業社会学部の「専門性」と連携して、さまざまな専門領域(たとえば、家族、福祉、ジェンダー、メディアなど)に関連した、多様なタイプの英文テキストをクリティカル(批評的)に読み、議論する力を養います。

到達目標 / Attainment Objectives

この科目では、次のような技能の習得を目指します。

- テキストの主題とそれを支持するアイデアを見分けることができる。
- 支持文(あるいは展開文)の情報が妥当かどうかを判断できる。
- テキストの中の事実と意見を区別できる。
- 主題に関する著者の姿勢を理解できる。
- テキストの目的と著者の意図をつかむことができる。
- 同一の問題について書かれたさまざまな著者の意見を、比較・対照できる。

履修しておくことが望まれる科目 / Required Preparatory Study

授業スケジュール / Course Schedule

授業日(第N回)	テーマ / Theme	キーワード / Key Word
第1回	Orientation	Self-Introduction, Explanation of Attainment Objectives, Procedures, and Grading Methods
第2回	以下の詳細は、担当教員から授業開始第一週に配布されるシラバスを参照	
第3回		
第4回		
第5回		
第6回		
第7回		
第8回		
第9回		
第10回		
第11回		
第12回		
第13回		
第14回		
第15回		

(学部科目 / Undergraduate Courses) 授業外学習の指示 / Recommendations for Private Study
 (大学院科目 / Graduate Courses) 授業の方法 / Study Methods

各担当者より指示します。

成績評価方法 / Grading Criteria and Method of Evaluation

種別 / Kind	割合 / Percentage	評価基準等 / Grading Criteria etc.
平常点評価	100 %	課題、発表、出席、小テスト、授業参加を含む。詳細は授業で配布されるシラバスを確認すること。2/3 以上の授業に出席した者のみ成績評価の対象となる。出席点のみで単位を認定することはない。

受講および研究に関するアドバイス / Advice to Students on Study and Research Methods

産業社会学部 2008年度「外国語ハンドブック」を参照

教科書 / Textbooks

レベル別クラスごとに指定されているテキストを各自確認して生協で購入すること。

参考書 / Reference Books

産業社会学部 2008年度「外国語ハンドブック」を参照

参考になる WWW ページ / Web Pages Useful for Reference

産業社会学部 2008年度「外国語ハンドブック」を参照

英語4 (1U)

10860

担当者名 / Instructor 酒井 玲子

単位数 / Credit 1

授業の概要 / Course Outline

<対象: 英語重視コース> Critical Reading and Discussion

この科目は、産業社会学部の「専門性」と連携して、さまざまな専門領域(たとえば、家族、福祉、ジェンダー、メディアなど)に関連した、多様なタイプの英文テキストをクリティカル(批評的)に読み、議論する力を養います。

到達目標 / Attainment Objectives

この科目では、次のような技能の習得を目指します。

- テキストの主題とそれを支持するアイデアを見分けることができる。
- 支持文(あるいは展開文)の情報が妥当かどうかを判断できる。
- テキストの中の事実と意見を区別できる。
- 主題に関する著者の姿勢を理解できる。
- テキストの目的と著者の意図をつかむことができる。
- 同一の問題について書かれたさまざまな著者の意見を、比較・対照できる。

履修しておくことが望まれる科目 / Required Preparatory Study

授業スケジュール / Course Schedule

授業日(第N回)	テーマ / Theme	キーワード / Key Word
第1回	Orientation	Self-Introduction, Explanation of Attainment Objectives, Procedures, and Grading Methods
第2回	以下の詳細は、担当教員から授業開始第一週に配布されるシラバスを参照	
第3回		
第4回		
第5回		
第6回		
第7回		
第8回		
第9回		
第10回		
第11回		
第12回		
第13回		
第14回		
第15回		

(学部科目 / Undergraduate Courses) 授業外学習の指示 / Recommendations for Private Study
 (大学院科目 / Graduate Courses) 授業の方法 / Study Method

各担当者より指示します。

成績評価方法 / Grading Criteria and Method of Evaluation

種別 / Kind	割合 / Percentage	評価基準等 / Grading Criteria etc.
平常点評価	100 %	課題、発表、出席、小テスト、授業参加を含む。詳細は授業で配布されるシラバスを確認すること。2/3 以上の授業に出席した者のみ成績評価の対象となる。出席点のみで単位を認定することはない。

受講および研究に関するアドバイス / Advice to Students on Study and Research Methods

産業社会学部 2008年度「外国語ハンドブック」を参照

教科書 / Textbooks

レベル別クラスごとに指定されているテキストを各自確認して生協で購入すること。

参考書 / Reference Books

産業社会学部 2008年度「外国語ハンドブック」を参照

参考になる WWW ページ / Web Pages Useful for Reference

産業社会学部 2008年度「外国語ハンドブック」を参照

英語4 (1V)

11007

担当者名 / Instructor 東 自由里

単位数 / Credit 1

授業の概要 / Course Outline

<対象: 英語重視コース> Critical Reading and Discussion

この科目は、産業社会学部の「専門性」と連携して、さまざまな専門領域(たとえば、家族、福祉、ジェンダー、メディアなど)に関連した、多様なタイプの英文テキストをクリティカル(批評的)に読み、議論する力を養います。

到達目標 / Attainment Objectives

この科目では、次のような技能の習得を目指します。

- テキストの主題とそれを支持するアイデアを見分けることができる。
- 支持文(あるいは展開文)の情報が妥当かどうかを判断できる。
- テキストの中の事実と意見を区別できる。
- 主題に関する著者の姿勢を理解できる。
- テキストの目的と著者の意図をつかむことができる。
- 同一の問題について書かれたさまざまな著者の意見を、比較・対照できる。

履修しておくことが望まれる科目 / Required Preparatory Study

授業スケジュール / Course Schedule

授業日(第N回)	テーマ / Theme	キーワード / Key Word
Sep. 30	Orientation: IGAKUKAN Room 37	Self-Introduction, Explanation of Attainment Objectives, Procedures, and Grading Methods
Oct. 7	Chapter 1: Blood Types	
Oct. 14	Chapter 2: Psychics	
Oct. 21	Chapter 3: Feng Shui	
Oct. 28	Chapter 4: Snake Oil	
Nov. 4	Chapter 6: Advertising: A Diamond is Forever	
Nov. 11	Chapter 7: Behind the Scenes	
Nov. 18	Mid-Term Exam	Classroom: 清心553 (20% of your total grade)
Nov. 25	Chapter 8: The Myth of the Noble Savage	
Dec. 2	Chapter 9: Illness and the Mind	
Dec. 9	Chapter 10: Risk	
Dec. 16	Chapter 11: Race and Intelligence	
Dec. 23	Group Presentation	(national holiday, but we have class)
Jan. 6	REVIEW of all chapters	Critical Thinking and Skepticism
Jan. 13	In-Class Verification Exam for Final Verification and post exam explanation lecture	***Classroom: 清心553*** (30% of your final grade)

(学部科目 / Undergraduate Courses) 授業外学習の指示 / Recommendations for Private Study
 (大学院科目 / Graduate Courses) 授業の方法 / Study Methods

Please refer to the syllabus distributed during the first week of class for details

成績評価方法 / Grading Criteria and Method of Evaluation

種別 / Kind	割合 / Percentage	評価基準等 / Grading Criteria etc.
平常点評価	100 %	課題、発表、出席、小テスト、授業参加を含む。詳細は授業で配布されるシラバスを確認すること。2/3 以上の授業に出席した者のみ成績評価の対象となる。出席点のみで単位を認定することはない。

Please refer to the syllabus you have received in class during the first week of class for details

受講および研究に関するアドバイス / Advice to Students on Study and Research Methods

産業社会学部 2008年度「外国語ハンドブック」を参照

教科書 / Textbooks

書名 / Title	出版社・ISBNコード・コメント / Author, Publisher, ISBN Code, Comment
Fact, Fable or Fiction	Paul Stapleton / MACMILLAN / 4-7773-6061-x /
レベル別クラスごとに指定されているテキストを各自確認して生協で購入すること。	

参考書 / Reference Books

書名 / Title	出版社・ISBNコード・コメント / Author, Publisher, ISBN Code, Comment
------------	--

英語の構文150

／／／

産業社会学部 2008年度「外国語ハンドブック」を参照

参考になる WWW ページ / Web Pages Useful for Reference

産業社会学部 2008年度「外国語ハンドブック」を参照

その他 / Others

英語5 (1A)

11234

担当者名 / Instructor 東 自由里

単位数 / Credit 1

授業の概要 / Course Outline

メディアと時事英語

English 5 is a four-skills course with an emphasis on English in the media. At each level the course should combine discussion with reading skills work using print media with viewing/listening skills work using broadcast media. Not only news from abroad but also news in Japan will be used.

到達目標 / Attainment Objectives

国内外の時事問題に対する関心を英語学習によって高める。必要とする情報を迅速に的確に入手できる読み方、聞き取り方を身につける。時事的な背景知識にも言及しながら、時事英語の持つ文体的、構造的特徴、構文把握法、語彙の特徴を習得する。

履修しておくことが望まれる科目 / Required Preparatory Study

授業スケジュール / Course Schedule

授業日(第N回)	テーマ / Theme	キーワード / Key Word
第1回	Orientation	Self-Introduction, Explanation of Attainment Objectives, Procedures, and Grading Methods
第2回	以下の詳細は、担当教員から授業開始第一週に配布されるシラバスを参照	
第3回		
第4回		
第5回		
第6回		
第7回		
第8回		
第9回		
第10回		
第11回		
第12回		
第13回		
第14回		
第15回		

(学部科目 / Undergraduate Courses) 授業外学習の指示 / Recommendations for Private Study
 (大学院科目 / Graduate Courses) 授業の方法 / Study Methods

成績評価方法 / Grading Criteria and Method of Evaluation

種別 / Kind	割合 / Percentage	評価基準等 / Grading Criteria etc.
平常点評価	100 %	課題、発表、出席、小テスト、授業参加を含む。詳細は授業で配布されるシラバスを確認すること。2/3 以上の授業に出席した者のみ成績評価の対象となる。出席点のみで単位を認定することはない。

受講および研究に関するアドバイス / Advice to Students on Study and Research Methods

教科書 / Textbooks

産業社会学部 2007年度「外国語ハンドブック」を参照

参考書 / Reference Books

参考になる WWW ページ / Web Pages Useful for Reference

産業社会学部 2007年度「外国語ハンドブック」を参照

その他 / Others

英語5 (1B)

11235

担当者名 / Instructor 坂本 利子

単位数 / Credit 1

授業の概要 / Course Outline

メディアと時事英語

English 5 is a four-skills course with an emphasis on English in the media. At each level the course should combine discussion with reading skills work using print media with viewing/listening skills work using broadcast media. Not only news from abroad but also news in Japan will be used.

到達目標 / Attainment Objectives

国内外の時事問題に対する関心を英語学習によって高める。必要とする情報を迅速に的確に入手できる読み方、聞き取り方を身につける。時事的な背景知識にも言及しながら、時事英語の持つ文体的、構造的特徴、構文把握法、語彙の特徴を習得する。

履修しておくことが望まれる科目 / Required Preparatory Study

授業スケジュール / Course Schedule

授業日(第N回)	テーマ / Theme	キーワード / Key Word
第1回	Orientation	Self-Introduction, Explanation of Attainment Objectives, Procedures, and Grading Methods
第2回	以下の詳細は、担当教員から授業開始第一週に配布されるシラバスを参照	
第3回		
第4回		
第5回		
第6回		
第7回		
第8回		
第9回		
第10回		
第11回		
第12回		
第13回		
第14回		
第15回		

(学部科目 / Undergraduate Courses) 授業外学習の指示 / Recommendations for Private Study
 (大学院科目 / Graduate Courses) 授業の方法 / Study Methods

成績評価方法 / Grading Criteria and Method of Evaluation

種別 / Kind	割合 / Percentage	評価基準等 / Grading Criteria etc.
平常点評価	100 %	課題、発表、出席、小テスト、授業参加を含む。詳細は授業で配布されるシラバスを確認すること。2/3 以上の授業に出席した者のみ成績評価の対象となる。出席点のみで単位を認定することはない。

受講および研究に関するアドバイス / Advice to Students on Study and Research Methods

教科書 / Textbooks

産業社会学部 2007年度「外国語ハンドブック」を参照

参考書 / Reference Books

参考になる WWW ページ / Web Pages Useful for Reference

産業社会学部 2007年度「外国語ハンドブック」を参照

その他 / Others

英語5 (1C)

11236

担当者名 / Instructor 松本 加奈子

単位数 / Credit 1

授業の概要 / Course Outline

メディアと時事英語

English 5 is a four-skills course with an emphasis on English in the media. At each level the course should combine discussion with reading skills work using print media with viewing/listening skills work using broadcast media. Not only news from abroad but also news in Japan will be used.

到達目標 / Attainment Objectives

国内外の時事問題に対する関心を英語学習によって高める。必要とする情報を迅速に的確に入手できる読み方、聞き取り方を身につける。時事的な背景知識にも言及しながら、時事英語の持つ文体的、構造的特徴、構文把握法、語彙の特徴を習得する。

履修しておくことが望まれる科目 / Required Preparatory Study

授業スケジュール / Course Schedule

授業日(第N回)	テーマ / Theme	キーワード / Key Word
第1回	Orientation	Self-Introduction, Explanation of Attainment Objectives, Procedures, and Grading Methods
第2回	以下の詳細は、担当教員から授業開始第一週に配布されるシラバスを参照	
第3回		
第4回		
第5回		
第6回		
第7回		
第8回		
第9回		
第10回		
第11回		
第12回		
第13回		
第14回		
第15回		

(学部科目 / Undergraduate Courses) 授業外学習の指示 / Recommendations for Private Study
 (大学院科目 / Graduate Courses) 授業の方法 / Study Methods

成績評価方法 / Grading Criteria and Method of Evaluation

種別 / Kind	割合 / Percentage	評価基準等 / Grading Criteria etc.
平常点評価	100 %	課題、発表、出席、小テスト、授業参加を含む。詳細は授業で配布されるシラバスを確認すること。2/3 以上の授業に出席した者のみ成績評価の対象となる。出席点のみで単位を認定することはない。

受講および研究に関するアドバイス / Advice to Students on Study and Research Methods

教科書 / Textbooks

産業社会学部 2007年度「外国語ハンドブック」を参照

参考書 / Reference Books

参考になる WWW ページ / Web Pages Useful for Reference

産業社会学部 2007年度「外国語ハンドブック」を参照

その他 / Others

英語5 (1D)

11237

担当者名 / Instructor 小林 香保里

単位数 / Credit 1

授業の概要 / Course Outline

メディアと時事英語

English 5 is a four-skills course with an emphasis on English in the media. At each level the course should combine discussion with reading skills work using print media with viewing/listening skills work using broadcast media. Not only news from abroad but also news in Japan will be used.

到達目標 / Attainment Objectives

国内外の時事問題に対する関心を英語学習によって高める。必要とする情報を迅速に的確に入手できる読み方、聞き取り方を身につける。時事的な背景知識にも言及しながら、時事英語の持つ文体的、構造的特徴、構文把握法、語彙の特徴を習得する。

履修しておくことが望まれる科目 / Required Preparatory Study

授業スケジュール / Course Schedule

授業日(第N回)	テーマ / Theme	キーワード / Key Word
第1回	Orientation	Self-Introduction, Explanation of Attainment Objectives, Procedures, and Grading Methods
第2回	以下の詳細は、担当教員から授業開始第一週に配布されるシラバスを参照	
第3回		
第4回		
第5回		
第6回		
第7回		
第8回		
第9回		
第10回		
第11回		
第12回		
第13回		
第14回		
第15回		

(学部科目 / Undergraduate Courses) 授業外学習の指示 / Recommendations for Private Study
 (大学院科目 / Graduate Courses) 授業の方法 / Study Methods

成績評価方法 / Grading Criteria and Method of Evaluation

種別 / Kind	割合 / Percentage	評価基準等 / Grading Criteria etc.
平常点評価	100 %	課題、発表、出席、小テスト、授業参加を含む。詳細は授業で配布されるシラバスを確認すること。2/3 以上の授業に出席した者のみ成績評価の対象となる。出席点のみで単位を認定することはない。

受講および研究に関するアドバイス / Advice to Students on Study and Research Methods

教科書 / Textbooks

産業社会学部 2007年度「外国語ハンドブック」を参照

参考書 / Reference Books

参考になる WWW ページ / Web Pages Useful for Reference

産業社会学部 2007年度「外国語ハンドブック」を参照

その他 / Others

英語5 (1E)

11238

担当者名 / Instructor 五十川 敬子

単位数 / Credit 1

授業の概要 / Course Outline

メディアと時事英語

English 5 is a four-skills course with an emphasis on English in the media. At each level the course should combine discussion with reading skills work using print media with viewing/listening skills work using broadcast media. Not only news from abroad but also news in Japan will be used.

到達目標 / Attainment Objectives

国内外の時事問題に対する関心を英語学習によって高める。必要とする情報を迅速に的確に入手できる読み方、聞き取り方を身につける。時事的な背景知識にも言及しながら、時事英語の持つ文体的、構造的な特徴、構文把握法、語彙の特徴を習得する。

履修しておくことが望まれる科目 / Required Preparatory Study

授業スケジュール / Course Schedule

授業日(第N回)	テーマ / Theme	キーワード / Key Word
第1回	Orientation	Self-Introduction, Explanation of Attainment Objectives, Procedures, and Grading Methods
第2回	以下の詳細は、担当教員から授業開始第一週に配布されるシラバスを参照	
第3回		
第4回		
第5回		
第6回		
第7回		
第8回		
第9回		
第10回		
第11回		
第12回		
第13回		
第14回		
第15回		

(学部科目 / Undergraduate Courses) 授業外学習の指示 / Recommendations for Private Study
 (大学院科目 / Graduate Courses) 授業の方法 / Study Methods

成績評価方法 / Grading Criteria and Method of Evaluation

種別 / Kind	割合 / Percentage	評価基準等 / Grading Criteria etc.
平常点評価	100 %	課題、発表、出席、小テスト、授業参加を含む。詳細は授業で配布されるシラバスを確認すること。2/3 以上の授業に出席した者のみ成績評価の対象となる。出席点のみで単位を認定することはない。

受講および研究に関するアドバイス / Advice to Students on Study and Research Methods

教科書 / Textbooks

産業社会学部 2007年度「外国語ハンドブック」を参照

参考書 / Reference Books

参考になる WWW ページ / Web Pages Useful for Reference

産業社会学部 2007年度「外国語ハンドブック」を参照

その他 / Others

英語5 (1F)

11239

担当署名 / Instructor 徳本 恵

単位数 / Credit 1

授業の概要 / Course Outline

メディアと時事英語

English 5 is a four-skills course with an emphasis on English in the media. At each level the course should combine discussion with reading skills work using print media with viewing/listening skills work using broadcast media. Not only news from abroad but also news in Japan will be used.

到達目標 / Attainment Objectives

国内外の時事問題に対する関心を英語学習によって高める。必要とする情報を迅速に的確に入手できる読み方、聞き取り方を身につける。時事的な背景知識にも言及しながら、時事英語の持つ文体的、構造的特徴、構文把握法、語彙の特徴を習得する。

履修しておくことが望まれる科目 / Required Preparatory Study

授業スケジュール / Course Schedule

授業日(第N回)	テーマ / Theme	キーワード / Key Word
第1回	Orientation	Self-Introduction, Explanation of Attainment Objectives, Procedures, and Grading Methods
第2回	以下の詳細は、担当教員から授業開始第一週に配布されるシラバスを参照	
第3回		
第4回		
第5回		
第6回		
第7回		
第8回		
第9回		
第10回		
第11回		
第12回		
第13回		
第14回		
第15回		

(学部科目 / Undergraduate Courses) 授業外学習の指示 / Recommendations for Private Study
 (大学院科目 / Graduate Courses) 授業の方法 / Study Methods

成績評価方法 / Grading Criteria and Method of Evaluation

種別 / Kind	割合 / Percentage	評価基準等 / Grading Criteria etc.
平常点評価	100 %	課題、発表、出席、小テスト、授業参加を含む。詳細は授業で配布されるシラバスを確認すること。2/3 以上の授業に出席した者のみ成績評価の対象となる。出席点のみで単位を認定することはない。

受講および研究に関するアドバイス / Advice to Students on Study and Research Methods

教科書 / Textbooks

産業社会学部 2007年度「外国語ハンドブック」を参照

参考書 / Reference Books

参考になる WWW ページ / Web Pages Useful for Reference

産業社会学部 2007年度「外国語ハンドブック」を参照

その他 / Others

英語5 (1G)

11240

担当者名 / Instructor 蛇持 純子

単位数 / Credit 1

授業の概要 / Course Outline

メディアと時事英語

English 5 is a four-skills course with an emphasis on English in the media. At each level the course should combine discussion with reading skills work using print media with viewing/listening skills work using broadcast media. Not only news from abroad but also news in Japan will be used.

到達目標 / Attainment Objectives

国内外の時事問題に対する関心を英語学習によって高める。必要とする情報を迅速に的確に入手できる読み方、聞き取り方を身につける。時事的な背景知識にも言及しながら、時事英語の持つ文体的、構造的特徴、構文把握法、語彙の特徴を習得する。

履修しておくことが望まれる科目 / Required Preparatory Study

授業スケジュール / Course Schedule

授業日(第N回)	テーマ / Theme	キーワード / Key Word
第1回	Orientation	Self-Introduction, Explanation of Attainment Objectives, Procedures, and Grading Methods
第2回	以下の詳細は、担当教員から授業開始第一週に配布されるシラバスを参照	
第3回		
第4回		
第5回		
第6回		
第7回		
第8回		
第9回		
第10回		
第11回		
第12回		
第13回		
第14回		
第15回		

(学部科目 / Undergraduate Courses) 授業外学習の指示 / Recommendations for Private Study
 (大学院科目 / Graduate Courses) 授業の方法 / Study Methods

成績評価方法 / Grading Criteria and Method of Evaluation

種別 / Kind	割合 / Percentage	評価基準等 / Grading Criteria etc.
平常点評価	100 %	課題、発表、出席、小テスト、授業参加を含む。詳細は授業で配布されるシラバスを確認すること。2/3 以上の授業に出席した者のみ成績評価の対象となる。出席点のみで単位を認定することはない。

受講および研究に関するアドバイス / Advice to Students on Study and Research Methods

教科書 / Textbooks

産業社会学部 2007年度「外国語ハンドブック」を参照

参考書 / Reference Books

参考になる WWW ページ / Web Pages Useful for Reference

産業社会学部 2007年度「外国語ハンドブック」を参照

その他 / Others

英語5 (1H)

11241

担当者名 / Instructor 山口 和夫

単位数 / Credit 1

授業の概要 / Course Outline

メディアと時事英語

English 5 is a four-skills course with an emphasis on English in the media. At each level the course should combine discussion with reading skills work using print media with viewing/listening skills work using broadcast media. Not only news from abroad but also news in Japan will be used.

到達目標 / Attainment Objectives

国内外の時事問題に対する関心を英語学習によって高める。必要とする情報を迅速に的確に入手できる読み方、聞き取り方を身につける。時事的な背景知識にも言及しながら、時事英語の持つ文体的、構造的特徴、構文把握法、語彙の特徴を習得する。

履修しておくことが望まれる科目 / Required Preparatory Study

授業スケジュール / Course Schedule

授業日(第N回)	テーマ / Theme	キーワード / Key Word
第1回	Orientation	Self-Introduction, Explanation of Attainment Objectives, Procedures, and Grading Methods
第2回	以下の詳細は、担当教員から授業開始第一週に配布されるシラバスを参照	
第3回		
第4回		
第5回		
第6回		
第7回		
第8回		
第9回		
第10回		
第11回		
第12回		
第13回		
第14回		
第15回		

(学部科目 / Undergraduate Courses) 授業外学習の指示 / Recommendations for Private Study
 (大学院科目 / Graduate Courses) 授業の方法 / Study Methods

成績評価方法 / Grading Criteria and Method of Evaluation

種別 / Kind	割合 / Percentage	評価基準等 / Grading Criteria etc.
平常点評価	100 %	課題、発表、出席、小テスト、授業参加を含む。詳細は授業で配布されるシラバスを確認すること。2/3 以上の授業に出席した者のみ成績評価の対象となる。出席点のみで単位を認定することはない。

受講および研究に関するアドバイス / Advice to Students on Study and Research Methods

教科書 / Textbooks

産業社会学部 2007年度「外国語ハンドブック」を参照

参考書 / Reference Books

参考になる WWW ページ / Web Pages Useful for Reference

産業社会学部 2007年度「外国語ハンドブック」を参照

その他 / Others

英語5 (11)

11242

担当者名 / Instructor DUQUETTE JEAN-PAUL

単位数 / Credit 1

授業の概要 / Course Outline

メディアと時事英語

English 5 is a four-skills course with an emphasis on English in the media. At each level the course should combine discussion with reading skills work using print media with viewing/listening skills work using broadcast media. Not only news from abroad but also news in Japan will be used.

到達目標 / Attainment Objectives

国内外の時事問題に対する関心を英語学習によって高める。必要とする情報を迅速に的確に入手できる読み方、聞き取り方を身につける。時事的な背景知識にも言及しながら、時事英語の持つ文体的、構造的な特徴、構文把握法、語彙の特徴を習得する。

履修しておくことが望まれる科目 / Required Preparatory Study

授業スケジュール / Course Schedule

授業日(第N回)	テーマ / Theme	キーワード / Key Word
第1回	Orientation	Self-Introduction, Explanation of Attainment Objectives, Procedures, and Grading Methods
第2回	以下の詳細は、担当教員から授業開始第一週に配布されるシラバスを参照	
第3回		
第4回		
第5回		
第6回		
第7回		
第8回		
第9回		
第10回		
第11回		
第12回		
第13回		
第14回		
第15回		

(学部科目 / Undergraduate Courses) 授業外学習の指示 / Recommendations for Private Study
 (大学院科目 / Graduate Courses) 授業の方法 / Study Methods

成績評価方法 / Grading Criteria and Method of Evaluation

種別 / Kind	割合 / Percentage	評価基準等 / Grading Criteria etc.
平常点評価	100 %	課題、発表、出席、小テスト、授業参加を含む。詳細は授業で配布されるシラバスを確認すること。2/3 以上の授業に出席した者のみ成績評価の対象となる。出席点のみで単位を認定することはない。

受講および研究に関するアドバイス / Advice to Students on Study and Research Methods

教科書 / Textbooks

産業社会学部 2007年度「外国語ハンドブック」を参照

参考書 / Reference Books

参考になる WWW ページ / Web Pages Useful for Reference

産業社会学部 2007年度「外国語ハンドブック」を参照

その他 / Others

英語5 (1J)

11243

担当者名 / Instructor TEGLER GARY WEAVER

単位数 / Credit 1

授業の概要 / Course Outline

メディアと時事英語

English 5 is a four-skills course with an emphasis on English in the media. At each level the course should combine discussion with reading skills work using print media with viewing/listening skills work using broadcast media. Not only news from abroad but also news in Japan will be used.

到達目標 / Attainment Objectives

国内外の時事問題に対する関心を英語学習によって高める。必要とする情報を迅速に的確に入手できる読み方、聞き取り方を身につける。時事的な背景知識にも言及しながら、時事英語の持つ文体的、構造的な特徴、構文把握法、語彙の特徴を習得する。

履修しておくことが望まれる科目 / Required Preparatory Study

授業スケジュール / Course Schedule

授業日(第N回)	テーマ / Theme	キーワード / Key Word
第1回	Orientation	Self-Introduction, Explanation of Attainment Objectives, Procedures, and Grading Methods
第2回	以下の詳細は、担当教員から授業開始第一週に配布されるシラバスを参照	
第3回		
第4回		
第5回		
第6回		
第7回		
第8回		
第9回		
第10回		
第11回		
第12回		
第13回		
第14回		
第15回		

(学部科目 / Undergraduate Courses) 授業外学習の指示 / Recommendations for Private Study
 (大学院科目 / Graduate Courses) 授業の方法 / Study Methods

成績評価方法 / Grading Criteria and Method of Evaluation

種別 / Kind	割合 / Percentage	評価基準等 / Grading Criteria etc.
平常点評価	100 %	課題、発表、出席、小テスト、授業参加を含む。詳細は授業で配布されるシラバスを確認すること。2/3 以上の授業に出席した者のみ成績評価の対象となる。出席点のみで単位を認定することはない。

受講および研究に関するアドバイス / Advice to Students on Study and Research Methods

教科書 / Textbooks

産業社会学部 2007年度「外国語ハンドブック」を参照

参考書 / Reference Books

参考になる WWW ページ / Web Pages Useful for Reference

産業社会学部 2007年度「外国語ハンドブック」を参照

その他 / Others

英語5 (1K)

11244

担当者名 / Instructor VARELA WYNNPAUL

単位数 / Credit 1

授業の概要 / Course Outline

メディアと時事英語

English 5 is a four-skills course with an emphasis on English in the media. At each level the course should combine discussion with reading skills work using print media with viewing/listening skills work using broadcast media. Not only news from abroad but also news in Japan will be used.

到達目標 / Attainment Objectives

国内外の時事問題に対する関心を英語学習によって高める。必要とする情報を迅速に的確に入手できる読み方、聞き取り方を身につける。時事的な背景知識にも言及しながら、時事英語の持つ文体的、構造的な特徴、構文把握法、語彙の特徴を習得する。

履修しておくことが望まれる科目 / Required Preparatory Study

授業スケジュール / Course Schedule

授業日(第N回)	テーマ / Theme	キーワード / Key Word
第1回	Orientation	Self-Introduction, Explanation of Attainment Objectives, Procedures, and Grading Methods
第2回	以下の詳細は、担当教員から授業開始第一週に配布されるシラバスを参照	
第3回		
第4回		
第5回		
第6回		
第7回		
第8回		
第9回		
第10回		
第11回		
第12回		
第13回		
第14回		
第15回		

(学部科目 / Undergraduate Courses) 授業外学習の指示 / Recommendations for Private Study
 (大学院科目 / Graduate Courses) 授業の方法 / Study Methods

成績評価方法 / Grading Criteria and Method of Evaluation

種別 / Kind	割合 / Percentage	評価基準等 / Grading Criteria etc.
平常点評価	100 %	課題、発表、出席、小テスト、授業参加を含む。詳細は授業で配布されるシラバスを確認すること。2/3 以上の授業に出席した者のみ成績評価の対象となる。出席点のみで単位を認定することはない。

受講および研究に関するアドバイス / Advice to Students on Study and Research Methods

教科書 / Textbooks

産業社会学部 2007年度「外国語ハンドブック」を参照

参考書 / Reference Books

参考になる WWW ページ / Web Pages Useful for Reference

産業社会学部 2007年度「外国語ハンドブック」を参照

その他 / Others

英語5 (1L)

11411

担当者名 / Instructor 東 自由里

単位数 / Credit 1

授業の概要 / Course Outline

メディアと時事英語

English 5 is a four-skills course with an emphasis on English in the media. At each level the course should combine discussion with reading skills work using print media with viewing/listening skills work using broadcast media. Not only news from abroad but also news in Japan will be used.

到達目標 / Attainment Objectives

国内外の時事問題に対する関心を英語学習によって高める。必要とする情報を迅速に的確に入手できる読み方、聞き取り方を身につける。時事的な背景知識にも言及しながら、時事英語の持つ文体的、構造的特徴、構文把握法、語彙の特徴を習得する。

履修しておくことが望まれる科目 / Required Preparatory Study

授業スケジュール / Course Schedule

授業日(第N回)	テーマ / Theme	キーワード / Key Word
第1回	Orientation	Self-Introduction, Explanation of Attainment Objectives, Procedures, and Grading Methods
第2回	以下の詳細は、担当教員から授業開始第一週に配布されるシラバスを参照	
第3回		
第4回		
第5回		
第6回		
第7回		
第8回		
第9回		
第10回		
第11回		
第12回		
第13回		
第14回		
第15回		

(学部科目 / Undergraduate Courses) 授業外学習の指示 / Recommendations for Private Study
 (大学院科目 / Graduate Courses) 授業の方法 / Study Methods

成績評価方法 / Grading Criteria and Method of Evaluation

種別 / Kind	割合 / Percentage	評価基準等 / Grading Criteria etc.
平常点評価	100 %	課題、発表、出席、小テスト、授業参加を含む。詳細は授業で配布されるシラバスを確認すること。2/3 以上の授業に出席した者のみ成績評価の対象となる。出席点のみで単位を認定することはない。

受講および研究に関するアドバイス / Advice to Students on Study and Research Methods

教科書 / Textbooks

産業社会学部 2007年度「外国語ハンドブック」を参照

参考書 / Reference Books

参考になる WWW ページ / Web Pages Useful for Reference

産業社会学部 2007年度「外国語ハンドブック」を参照

その他 / Others

英語5 (1M)

11412

担当者名 / Instructor 伊東 寿泰

単位数 / Credit 1

授業の概要 / Course Outline

メディアと時事英語

English 5 is a four-skills course with an emphasis on English in the media. At each level the course should combine discussion with reading skills work using print media with viewing/listening skills work using broadcast media. Not only news from abroad but also news in Japan will be used.

到達目標 / Attainment Objectives

国内外の時事問題に対する関心を英語学習によって高める。必要とする情報を迅速に的確に入手できる読み方、聞き取り方を身につける。時事的な背景知識にも言及しながら、時事英語の持つ文体的、構造的特徴、構文把握法、語彙の特徴を習得する。

履修しておくことが望まれる科目 / Required Preparatory Study

授業スケジュール / Course Schedule

授業日(第N回)	テーマ / Theme	キーワード / Key Word
第1回	Orientation	Self-Introduction, Explanation of Attainment Objectives, Procedures, and Grading Methods
第2回	以下の詳細は、担当教員から授業開始第一週に配布されるシラバスを参照	
第3回		
第4回		
第5回		
第6回		
第7回		
第8回		
第9回		
第10回		
第11回		
第12回		
第13回		
第14回		
第15回		

(学部科目 / Undergraduate Courses) 授業外学習の指示 / Recommendations for Private Study
 (大学院科目 / Graduate Courses) 授業の方法 / Study Methods

成績評価方法 / Grading Criteria and Method of Evaluation

種別 / Kind	割合 / Percentage	評価基準等 / Grading Criteria etc.
平常点評価	100 %	課題、発表、出席、小テスト、授業参加を含む。詳細は授業で配布されるシラバスを確認すること。2/3 以上の授業に出席した者のみ成績評価の対象となる。出席点のみで単位を認定することはない。

受講および研究に関するアドバイス / Advice to Students on Study and Research Methods

教科書 / Textbooks

産業社会学部 2007年度「外国語ハンドブック」を参照

参考書 / Reference Books

参考になる WWW ページ / Web Pages Useful for Reference

産業社会学部 2007年度「外国語ハンドブック」を参照

その他 / Others

英語5 (1N)

11413

担当者名 / Instructor 松本 加奈子

単位数 / Credit 1

授業の概要 / Course Outline

メディアと時事英語

English 5 is a four-skills course with an emphasis on English in the media. At each level the course should combine discussion with reading skills work using print media with viewing/listening skills work using broadcast media. Not only news from abroad but also news in Japan will be used.

到達目標 / Attainment Objectives

国内外の時事問題に対する関心を英語学習によって高める。必要とする情報を迅速に的確に入手できる読み方、聞き取り方を身につける。時事的な背景知識にも言及しながら、時事英語の持つ文体的、構造的特徴、構文把握法、語彙の特徴を習得する。

履修しておくことが望まれる科目 / Required Preparatory Study

授業スケジュール / Course Schedule

授業日(第N回)	テーマ / Theme	キーワード / Key Word
第1回	Orientation	Self-Introduction, Explanation of Attainment Objectives, Procedures, and Grading Methods
第2回	以下の詳細は、担当教員から授業開始第一週に配布されるシラバスを参照	
第3回		
第4回		
第5回		
第6回		
第7回		
第8回		
第9回		
第10回		
第11回		
第12回		
第13回		
第14回		
第15回		

(学部科目 / Undergraduate Courses) 授業外学習の指示 / Recommendations for Private Study
 (大学院科目 / Graduate Courses) 授業の方法 / Study Methods

成績評価方法 / Grading Criteria and Method of Evaluation

種別 / Kind	割合 / Percentage	評価基準等 / Grading Criteria etc.
平常点評価	100 %	課題、発表、出席、小テスト、授業参加を含む。詳細は授業で配布されるシラバスを確認すること。2/3 以上の授業に出席した者のみ成績評価の対象となる。出席点のみで単位を認定することはない。

受講および研究に関するアドバイス / Advice to Students on Study and Research Methods

教科書 / Textbooks

産業社会学部 2007年度「外国語ハンドブック」を参照

参考書 / Reference Books

参考になる WWW ページ / Web Pages Useful for Reference

産業社会学部 2007年度「外国語ハンドブック」を参照

その他 / Others

英語5 (10)

11414

担当者名 / Instructor 小林 香保里

単位数 / Credit 1

授業の概要 / Course Outline

メディアと時事英語

English 5 is a four-skills course with an emphasis on English in the media. At each level the course should combine discussion with reading skills work using print media with viewing/listening skills work using broadcast media. Not only news from abroad but also news in Japan will be used.

到達目標 / Attainment Objectives

国内外の時事問題に対する関心を英語学習によって高める。必要とする情報を迅速に的確に入手できる読み方、聞き取り方を身につける。時事的な背景知識にも言及しながら、時事英語の持つ文体的、構造的特徴、構文把握法、語彙の特徴を習得する。

履修しておくことが望まれる科目 / Required Preparatory Study

授業スケジュール / Course Schedule

授業日(第N回)	テーマ / Theme	キーワード / Key Word
第1回	Orientation	Self-Introduction, Explanation of Attainment Objectives, Procedures, and Grading Methods
第2回	以下の詳細は、担当教員から授業開始第一週に配布されるシラバスを参照	
第3回		
第4回		
第5回		
第6回		
第7回		
第8回		
第9回		
第10回		
第11回		
第12回		
第13回		
第14回		
第15回		

(学部科目 / Undergraduate Courses) 授業外学習の指示 / Recommendations for Private Study
 (大学院科目 / Graduate Courses) 授業の方法 / Study Methods

成績評価方法 / Grading Criteria and Method of Evaluation

種別 / Kind	割合 / Percentage	評価基準等 / Grading Criteria etc.
平常点評価	100 %	課題、発表、出席、小テスト、授業参加を含む。詳細は授業で配布されるシラバスを確認すること。2/3 以上の授業に出席した者のみ成績評価の対象となる。出席点のみで単位を認定することはない。

受講および研究に関するアドバイス / Advice to Students on Study and Research Methods

教科書 / Textbooks

産業社会学部 2007年度「外国語ハンドブック」を参照

参考書 / Reference Books

参考になる WWW ページ / Web Pages Useful for Reference

産業社会学部 2007年度「外国語ハンドブック」を参照

その他 / Others

英語5 (1P)

11415

担当者名 / Instructor 五十川 敬子

単位数 / Credit 1

授業の概要 / Course Outline

メディアと時事英語

English 5 is a four-skills course with an emphasis on English in the media. At each level the course should combine discussion with reading skills work using print media with viewing/listening skills work using broadcast media. Not only news from abroad but also news in Japan will be used.

到達目標 / Attainment Objectives

国内外の時事問題に対する関心を英語学習によって高める。必要とする情報を迅速に的確に入手できる読み方、聞き取り方を身につける。時事的な背景知識にも言及しながら、時事英語の持つ文体的、構造的特徴、構文把握法、語彙の特徴を習得する。

履修しておくことが望まれる科目 / Required Preparatory Study

授業スケジュール / Course Schedule

授業日(第N回)	テーマ / Theme	キーワード / Key Word
第1回	Orientation	Self-Introduction, Explanation of Attainment Objectives, Procedures, and Grading Methods
第2回	以下の詳細は、担当教員から授業開始第一週に配布されるシラバスを参照	
第3回		
第4回		
第5回		
第6回		
第7回		
第8回		
第9回		
第10回		
第11回		
第12回		
第13回		
第14回		
第15回		

(学部科目 / Undergraduate Courses) 授業外学習の指示 / Recommendations for Private Study
 (大学院科目 / Graduate Courses) 授業の方法 / Study Methods

成績評価方法 / Grading Criteria and Method of Evaluation

種別 / Kind	割合 / Percentage	評価基準等 / Grading Criteria etc.
平常点評価	100 %	課題、発表、出席、小テスト、授業参加を含む。詳細は授業で配布されるシラバスを確認すること。2/3 以上の授業に出席した者のみ成績評価の対象となる。出席点のみで単位を認定することはない。

受講および研究に関するアドバイス / Advice to Students on Study and Research Methods

教科書 / Textbooks

産業社会学部 2007年度「外国語ハンドブック」を参照

参考書 / Reference Books

参考になる WWW ページ / Web Pages Useful for Reference

産業社会学部 2007年度「外国語ハンドブック」を参照

その他 / Others

英語5 (1Q)

11416

担当者名 / Instructor 徳本 恵

単位数 / Credit 1

授業の概要 / Course Outline

メディアと時事英語

English 5 is a four-skills course with an emphasis on English in the media. At each level the course should combine discussion with reading skills work using print media with viewing/listening skills work using broadcast media. Not only news from abroad but also news in Japan will be used.

到達目標 / Attainment Objectives

国内外の時事問題に対する関心を英語学習によって高める。必要とする情報を迅速に的確に入手できる読み方、聞き取り方を身につける。時事的な背景知識にも言及しながら、時事英語の持つ文体的、構造的特徴、構文把握法、語彙の特徴を習得する。

履修しておくことが望まれる科目 / Required Preparatory Study

授業スケジュール / Course Schedule

授業日(第N回)	テーマ / Theme	キーワード / Key Word
第1回	Orientation	Self-Introduction, Explanation of Attainment Objectives, Procedures, and Grading Methods
第2回	以下の詳細は、担当教員から授業開始第一週に配布されるシラバスを参照	
第3回		
第4回		
第5回		
第6回		
第7回		
第8回		
第9回		
第10回		
第11回		
第12回		
第13回		
第14回		
第15回		

(学部科目 / Undergraduate Courses) 授業外学習の指示 / Recommendations for Private Study
 (大学院科目 / Graduate Courses) 授業の方法 / Study Methods

成績評価方法 / Grading Criteria and Method of Evaluation

種別 / Kind	割合 / Percentage	評価基準等 / Grading Criteria etc.
平常点評価	100 %	課題、発表、出席、小テスト、授業参加を含む。詳細は授業で配布されるシラバスを確認すること。2/3 以上の授業に出席した者のみ成績評価の対象となる。出席点のみで単位を認定することはない。

受講および研究に関するアドバイス / Advice to Students on Study and Research Methods

教科書 / Textbooks

産業社会学部 2007年度「外国語ハンドブック」を参照

参考書 / Reference Books

参考になる WWW ページ / Web Pages Useful for Reference

産業社会学部 2007年度「外国語ハンドブック」を参照

その他 / Others

英語5 (1R)

11417

担当者名 / Instructor 蛇持 純子

単位数 / Credit 1

授業の概要 / Course Outline

メディアと時事英語

English 5 is a four-skills course with an emphasis on English in the media. At each level the course should combine discussion with reading skills work using print media with viewing/listening skills work using broadcast media. Not only news from abroad but also news in Japan will be used.

到達目標 / Attainment Objectives

国内外の時事問題に対する関心を英語学習によって高める。必要とする情報を迅速に的確に入手できる読み方、聞き取り方を身につける。時事的な背景知識にも言及しながら、時事英語の持つ文体的、構造的特徴、構文把握法、語彙の特徴を習得する。

履修しておくことが望まれる科目 / Required Preparatory Study

授業スケジュール / Course Schedule

授業日(第N回)	テーマ / Theme	キーワード / Key Word
第1回	Orientation	Self-Introduction, Explanation of Attainment Objectives, Procedures, and Grading Methods
第2回	以下の詳細は、担当教員から授業開始第一週に配布されるシラバスを参照	
第3回		
第4回		
第5回		
第6回		
第7回		
第8回		
第9回		
第10回		
第11回		
第12回		
第13回		
第14回		
第15回		

(学部科目 / Undergraduate Courses) 授業外学習の指示 / Recommendations for Private Study
 (大学院科目 / Graduate Courses) 授業の方法 / Study Methods

成績評価方法 / Grading Criteria and Method of Evaluation

種別 / Kind	割合 / Percentage	評価基準等 / Grading Criteria etc.
平常点評価	100 %	課題、発表、出席、小テスト、授業参加を含む。詳細は授業で配布されるシラバスを確認すること。2/3 以上の授業に出席した者のみ成績評価の対象となる。出席点のみで単位を認定することはない。

受講および研究に関するアドバイス / Advice to Students on Study and Research Methods

教科書 / Textbooks

産業社会学部 2007年度「外国語ハンドブック」を参照

参考書 / Reference Books

参考になる WWW ページ / Web Pages Useful for Reference

産業社会学部 2007年度「外国語ハンドブック」を参照

その他 / Others

英語5 (1S)

11418

担当者名 / Instructor 山口 和夫

単位数 / Credit 1

授業の概要 / Course Outline

メディアと時事英語

English 5 is a four-skills course with an emphasis on English in the media. At each level the course should combine discussion with reading skills work using print media with viewing/listening skills work using broadcast media. Not only news from abroad but also news in Japan will be used.

到達目標 / Attainment Objectives

国内外の時事問題に対する関心を英語学習によって高める。必要とする情報を迅速に的確に入手できる読み方、聞き取り方を身につける。時事的な背景知識にも言及しながら、時事英語の持つ文体的、構造的特徴、構文把握法、語彙の特徴を習得する。

履修しておくことが望まれる科目 / Required Preparatory Study

授業スケジュール / Course Schedule

授業日(第N回)	テーマ / Theme	キーワード / Key Word
第1回	Orientation	Self-Introduction, Explanation of Attainment Objectives, Procedures, and Grading Methods
第2回	以下の詳細は、担当教員から授業開始第一週に配布されるシラバスを参照	
第3回		
第4回		
第5回		
第6回		
第7回		
第8回		
第9回		
第10回		
第11回		
第12回		
第13回		
第14回		
第15回		

(学部科目 / Undergraduate Courses) 授業外学習の指示 / Recommendations for Private Study
 (大学院科目 / Graduate Courses) 授業の方法 / Study Methods

成績評価方法 / Grading Criteria and Method of Evaluation

種別 / Kind	割合 / Percentage	評価基準等 / Grading Criteria etc.
平常点評価	100 %	課題、発表、出席、小テスト、授業参加を含む。詳細は授業で配布されるシラバスを確認すること。2/3 以上の授業に出席した者のみ成績評価の対象となる。出席点のみで単位を認定することはない。

受講および研究に関するアドバイス / Advice to Students on Study and Research Methods

教科書 / Textbooks

産業社会学部 2007年度「外国語ハンドブック」を参照

参考書 / Reference Books

参考になる WWW ページ / Web Pages Useful for Reference

産業社会学部 2007年度「外国語ハンドブック」を参照

その他 / Others

英語5 (1T)

11419

担当者名 / Instructor DUQUETTE JEAN-PAUL

単位数 / Credit 1

授業の概要 / Course Outline

メディアと時事英語

English 5 is a four-skills course with an emphasis on English in the media. At each level the course should combine discussion with reading skills work using print media with viewing/listening skills work using broadcast media. Not only news from abroad but also news in Japan will be used.

到達目標 / Attainment Objectives

国内外の時事問題に対する関心を英語学習によって高める。必要とする情報を迅速に的確に入手できる読み方、聞き取り方を身につける。時事的な背景知識にも言及しながら、時事英語の持つ文体的、構造的特徴、構文把握法、語彙の特徴を習得する。

履修しておくことが望まれる科目 / Required Preparatory Study

授業スケジュール / Course Schedule

授業日(第N回)	テーマ / Theme	キーワード / Key Word
第1回	Orientation	Self-Introduction, Explanation of Attainment Objectives, Procedures, and Grading Methods
第2回	以下の詳細は、担当教員から授業開始第一週に配布されるシラバスを参照	
第3回		
第4回		
第5回		
第6回		
第7回		
第8回		
第9回		
第10回		
第11回		
第12回		
第13回		
第14回		
第15回		

(学部科目 / Undergraduate Courses) 授業外学習の指示 / Recommendations for Private Study
 (大学院科目 / Graduate Courses) 授業の方法 / Study Methods

成績評価方法 / Grading Criteria and Method of Evaluation

種別 / Kind	割合 / Percentage	評価基準等 / Grading Criteria etc.
平常点評価	100 %	課題、発表、出席、小テスト、授業参加を含む。詳細は授業で配布されるシラバスを確認すること。2/3 以上の授業に出席した者のみ成績評価の対象となる。出席点のみで単位を認定することはない。

受講および研究に関するアドバイス / Advice to Students on Study and Research Methods

教科書 / Textbooks

産業社会学部 2007年度「外国語ハンドブック」を参照

参考書 / Reference Books

参考になる WWW ページ / Web Pages Useful for Reference

産業社会学部 2007年度「外国語ハンドブック」を参照

その他 / Others

英語5 (1U)

11420

担当者名 / Instructor TEGLER GARY WEAVER

単位数 / Credit 1

授業の概要 / Course Outline

メディアと時事英語

English 5 is a four-skills course with an emphasis on English in the media. At each level the course should combine discussion with reading skills work using print media with viewing/listening skills work using broadcast media. Not only news from abroad but also news in Japan will be used.

到達目標 / Attainment Objectives

国内外の時事問題に対する関心を英語学習によって高める。必要とする情報を迅速に的確に入手できる読み方、聞き取り方を身につける。時事的な背景知識にも言及しながら、時事英語の持つ文体的、構造的特徴、構文把握法、語彙の特徴を習得する。

履修しておくことが望まれる科目 / Required Preparatory Study

授業スケジュール / Course Schedule

授業日(第N回)	テーマ / Theme	キーワード / Key Word
第1回	Orientation	Self-Introduction, Explanation of Attainment Objectives, Procedures, and Grading Methods
第2回	以下の詳細は、担当教員から授業開始第一週に配布されるシラバスを参照	
第3回		
第4回		
第5回		
第6回		
第7回		
第8回		
第9回		
第10回		
第11回		
第12回		
第13回		
第14回		
第15回		

(学部科目 / Undergraduate Courses) 授業外学習の指示 / Recommendations for Private Study
 (大学院科目 / Graduate Courses) 授業の方法 / Study Methods

成績評価方法 / Grading Criteria and Method of Evaluation

種別 / Kind	割合 / Percentage	評価基準等 / Grading Criteria etc.
平常点評価	100 %	課題、発表、出席、小テスト、授業参加を含む。詳細は授業で配布されるシラバスを確認すること。2/3 以上の授業に出席した者のみ成績評価の対象となる。出席点のみで単位を認定することはない。

受講および研究に関するアドバイス / Advice to Students on Study and Research Methods

教科書 / Textbooks

産業社会学部 2007年度「外国語ハンドブック」を参照

参考書 / Reference Books

参考になる WWW ページ / Web Pages Useful for Reference

産業社会学部 2007年度「外国語ハンドブック」を参照

その他 / Others

英語5 (1V)

11421

担当者名 / Instructor 坂本 利子

単位数 / Credit 1

授業の概要 / Course Outline

メディアと時事英語

English 5 is a four-skills course with an emphasis on English in the media. At each level the course should combine discussion with reading skills work using print media with viewing/listening skills work using broadcast media. Not only news from abroad but also news in Japan will be used.

到達目標 / Attainment Objectives

国内外の時事問題に対する関心を英語学習によって高める。必要とする情報を迅速に的確に入手できる読み方、聞き取り方を身につける。時事的な背景知識にも言及しながら、時事英語の持つ文体的、構造的な特徴、構文把握法、語彙の特徴を習得する。

履修しておくことが望まれる科目 / Required Preparatory Study

授業スケジュール / Course Schedule

授業日(第N回)	テーマ / Theme	キーワード / Key Word
第1回	Orientation	Self-Introduction, Explanation of Attainment Objectives, Procedures, and Grading Methods
第2回	以下の詳細は、担当教員から授業開始第一週に配布されるシラバスを参照	
第3回		
第4回		
第5回		
第6回		
第7回		
第8回		
第9回		
第10回		
第11回		
第12回		
第13回		
第14回		
第15回		

(学部科目 / Undergraduate Courses) 授業外学習の指示 / Recommendations for Private Study
 (大学院科目 / Graduate Courses) 授業の方法 / Study Methods

成績評価方法 / Grading Criteria and Method of Evaluation

種別 / Kind	割合 / Percentage	評価基準等 / Grading Criteria etc.
平常点評価	100 %	課題、発表、出席、小テスト、授業参加を含む。詳細は授業で配布されるシラバスを確認すること。2/3 以上の授業に出席した者のみ成績評価の対象となる。出席点のみで単位を認定することはない。

受講および研究に関するアドバイス / Advice to Students on Study and Research Methods

教科書 / Textbooks

産業社会学部 2007年度「外国語ハンドブック」を参照

参考書 / Reference Books

参考になる WWW ページ / Web Pages Useful for Reference

産業社会学部 2007年度「外国語ハンドブック」を参照

その他 / Others

英語5 (1W)

11429

担当者名 / Instructor VARELA WYNNPAUL

単位数 / Credit 1

授業の概要 / Course Outline

メディアと時事英語

English 5 is a four-skills course with an emphasis on English in the media. At each level the course should combine discussion with reading skills work using print media with viewing/listening skills work using broadcast media. Not only news from abroad but also news in Japan will be used.

到達目標 / Attainment Objectives

国内外の時事問題に対する関心を英語学習によって高める。必要とする情報を迅速に的確に入手できる読み方、聞き取り方を身につける。時事的な背景知識にも言及しながら、時事英語の持つ文体的、構造的特徴、構文把握法、語彙の特徴を習得する。

履修しておくことが望まれる科目 / Required Preparatory Study

授業スケジュール / Course Schedule

授業日(第N回)	テーマ / Theme	キーワード / Key Word
第1回	Orientation	Self-Introduction, Explanation of Attainment Objectives, Procedures, and Grading Methods
第2回	以下の詳細は、担当教員から授業開始第一週に配布されるシラバスを参照	
第3回		
第4回		
第5回		
第6回		
第7回		
第8回		
第9回		
第10回		
第11回		
第12回		
第13回		
第14回		
第15回		

(学部科目 / Undergraduate Courses) 授業外学習の指示 / Recommendations for Private Study
 (大学院科目 / Graduate Courses) 授業の方法 / Study Methods

成績評価方法 / Grading Criteria and Method of Evaluation

種別 / Kind	割合 / Percentage	評価基準等 / Grading Criteria etc.
平常点評価	100 %	課題、発表、出席、小テスト、授業参加を含む。詳細は授業で配布されるシラバスを確認すること。2/3 以上の授業に出席した者のみ成績評価の対象となる。出席点のみで単位を認定することはない。

受講および研究に関するアドバイス / Advice to Students on Study and Research Methods

教科書 / Textbooks

産業社会学部 2007年度「外国語ハンドブック」を参照

参考書 / Reference Books

参考になる WWW ページ / Web Pages Useful for Reference

産業社会学部 2007年度「外国語ハンドブック」を参照

その他 / Others

英語6 (1A)

11514

担当者名 / Instructor HOSACK IAN

単位数 / Credit 1

授業の概要 / Course Outline

Themed Study and Research: This is a content-based course which draws upon all students' language skills as they work with study materials and carry out research projects related to a particular topic in English. Students will present their research findings in the form of both written assignments and oral presentations. Course content and course requirements will need to be adjusted to class level and will vary according to the instructor.

到達目標 / Attainment Objectives

テーマ別のコンテンツ・ベースド教材を使用し4技能を統一しながら英語を習得する。また、関心のあるトピックを選び、英語で調べ情報収集したうえで、口頭と文章で発信する方法を習得する。

履修しておくことが望まれる科目 / Required Preparatory Study

授業スケジュール / Course Schedule

授業日(第N回)	テーマ / Theme	キーワード / Key Word
第1回	Orientation	Self-Introduction, Explanation of Attainment Objectives, Procedures, and Grading Methods

 以下の詳細は、担当教員から授業開始第一週に配布されるシラバスを参照

(学部科目 / Undergraduate Courses) 授業外学習の指示 / Recommendations for Private Study

(大学院科目 / Graduate Courses) 授業の方法 / Study Methods

成績評価方法 / Grading Criteria and Method of Evaluation

種別 / Kind	割合 / Percentage	評価基準等 / Grading Criteria etc.
平常点評価	100 %	課題、発表、出席、小テスト、授業参加を含む。詳細は授業で配布されるシラバスを確認すること。2/3 以上の授業に出席した者のみ成績評価の対象となる。出席点のみで単位を認定することはない。

受講および研究に関するアドバイス / Advice to Students on Study and Research Methods

教科書 / Textbooks

自分のクラスを確認し、指定されているテキストを生協で購入すること。

参考書 / Reference Books

産業社会学部 2007年度「外国語ハンドブック」を参照

参考になる WWW ページ / Web Pages Useful for Reference

産業社会学部 2007年度「外国語ハンドブック」を参照

その他 / Others

英語6 (1B)

11519

担当者名 / Instructor DUQUETTE JEAN-PAUL

単位数 / Credit 1

授業の概要 / Course Outline

Themed Study and Research: This is a content-based course which draws upon all students' language skills as they work with study materials and carry out research projects related to a particular topic in English. Students will present their research findings in the form of both written assignments and oral presentations. Course content and course requirements will need to be adjusted to class level and will vary according to the instructor.

到達目標 / Attainment Objectives

テーマ別のコンテンツ・ベースド教材を使用し4技能を統一しながら英語を習得する。また、関心のあるトピックを選び、英語で調べ情報収集したうえで、口頭と文章で発信する方法を習得する。

履修しておくことが望まれる科目 / Required Preparatory Study

授業スケジュール / Course Schedule

授業日(第N回)	テーマ / Theme	キーワード / Key Word
第1回	Orientation	Self-Introduction, Explanation of Attainment Objectives, Procedures, and Grading Methods

以下の詳細は、担当教員から授業開始第一週に配布されるシラバスを参照

(学部科目 / Undergraduate Courses) 授業外学習の指示 / Recommendations for Private Study

(大学院科目 / Graduate Courses) 授業の方法 / Study Methods

成績評価方法 / Grading Criteria and Method of Evaluation

種別 / Kind	割合 / Percentage	評価基準等 / Grading Criteria etc.
平常点評価	100 %	課題、発表、出席、小テスト、授業参加を含む。詳細は授業で配布されるシラバスを確認すること。2/3 以上の授業に出席した者のみ成績評価の対象となる。出席点のみで単位を認定することはない。

受講および研究に関するアドバイス / Advice to Students on Study and Research Methods

教科書 / Textbooks

自分のクラスを確認し、指定されているテキストを生協で購入すること。

参考書 / Reference Books

産業社会学部 2007年度「外国語ハンドブック」を参照

参考になる WWW ページ / Web Pages Useful for Reference

産業社会学部 2007年度「外国語ハンドブック」を参照

その他 / Others

英語6 (1C)

11518

担当者名 / Instructor 小林 香保里

単位数 / Credit 1

授業の概要 / Course Outline

Themed Study and Research: This is a content-based course which draws upon all students' language skills as they work with study materials and carry out research projects related to a particular topic in English. Students will present their research findings in the form of both written assignments and oral presentations. Course content and course requirements will need to be adjusted to class level and will vary according to the instructor.

到達目標 / Attainment Objectives

テーマ別のコンテンツ・ベース教材を使用し4技能を統一しながら英語を習得する。また、関心のあるトピックを選び、英語で調べ情報収集したうえで、口頭と文章で発信する方法を習得する。

履修しておくことが望まれる科目 / Required Preparatory Study

授業スケジュール / Course Schedule

授業日(第N回)	テーマ / Theme	キーワード / Key Word
第1回	Orientation	Self-Introduction, Explanation of Attainment Objectives, Procedures, and Grading Methods

以下の詳細は、担当教員から授業開始第一週に配布されるシラバスを参照

(学部科目 / Undergraduate Courses) 授業外学習の指示 / Recommendations for Private Study

(大学院科目 / Graduate Courses) 授業の方法 / Study Methods

成績評価方法 / Grading Criteria and Method of Evaluation

種別 / Kind	割合 / Percentage	評価基準等 / Grading Criteria etc.
平常点評価	100 %	課題、発表、出席、小テスト、授業参加を含む。詳細は授業で配布されるシラバスを確認すること。2/3 以上の授業に出席した者のみ成績評価の対象となる。出席点のみで単位を認定することはない。

受講および研究に関するアドバイス / Advice to Students on Study and Research Methods

教科書 / Textbooks

自分のクラスを確認し、指定されているテキストを生協で購入すること。

参考書 / Reference Books

産業社会学部 2007年度「外国語ハンドブック」を参照

参考になる WWW ページ / Web Pages Useful for Reference

産業社会学部 2007年度「外国語ハンドブック」を参照

その他 / Others

英語6 (1D)

11517

担当者名 / Instructor 五十川 敬子

単位数 / Credit 1

授業の概要 / Course Outline

Themed Study and Research: This is a content-based course which draws upon all students' language skills as they work with study materials and carry out research projects related to a particular topic in English. Students will present their research findings in the form of both written assignments and oral presentations. Course content and course requirements will need to be adjusted to class level and will vary according to the instructor.

到達目標 / Attainment Objectives

テーマ別のコンテンツ・ベースド教材を使用し4技能を統一しながら英語を習得する。また、関心のあるトピックを選び、英語で調べ情報収集したうえで、口頭と文章で発信する方法を習得する。

履修しておくことが望まれる科目 / Required Preparatory Study

授業スケジュール / Course Schedule

授業日(第N回)	テーマ / Theme	キーワード / Key Word
第1回	Orientation	Self-Introduction, Explanation of Attainment Objectives, Procedures, and Grading Methods

以下の詳細は、担当教員から授業開始第一週に配布されるシラバスを参照

(学部科目 / Undergraduate Courses) 授業外学習の指示 / Recommendations for Private Study

(大学院科目 / Graduate Courses) 授業の方法 / Study Methods

成績評価方法 / Grading Criteria and Method of Evaluation

種別 / Kind	割合 / Percentage	評価基準等 / Grading Criteria etc.
平常点評価	100 %	課題、発表、出席、小テスト、授業参加を含む。詳細は授業で配布されるシラバスを確認すること。2/3 以上の授業に出席した者のみ成績評価の対象となる。出席点のみで単位を認定することはない。

受講および研究に関するアドバイス / Advice to Students on Study and Research Methods

教科書 / Textbooks

自分のクラスを確認し、指定されているテキストを生協で購入すること。

参考書 / Reference Books

産業社会学部 2007年度「外国語ハンドブック」を参照

参考になる WWW ページ / Web Pages Useful for Reference

産業社会学部 2007年度「外国語ハンドブック」を参照

その他 / Others

英語6 (1E)

11516

担当者名 / Instructor 徳本 恵

単位数 / Credit 1

授業の概要 / Course Outline

Themed Study and Research: This is a content-based course which draws upon all students' language skills as they work with study materials and carry out research projects related to a particular topic in English. Students will present their research findings in the form of both written assignments and oral presentations. Course content and course requirements will need to be adjusted to class level and will vary according to the instructor.

到達目標 / Attainment Objectives

テーマ別のコンテンツ・ベースド教材を使用し4技能を統一しながら英語を習得する。また、関心のあるトピックを選び、英語で調べ情報収集したうえで、口頭と文章で発信する方法を習得する。

履修しておくことが望まれる科目 / Required Preparatory Study

授業スケジュール / Course Schedule

授業日(第N回)	テーマ / Theme	キーワード / Key Word
第1回	Orientation	Self-Introduction, Explanation of Attainment Objectives, Procedures, and Grading Methods

以下の詳細は、担当教員から授業開始第一週に配布されるシラバスを参照

(学部科目 / Undergraduate Courses) 授業外学習の指示 / Recommendations for Private Study

(大学院科目 / Graduate Courses) 授業の方法 / Study Methods

成績評価方法 / Grading Criteria and Method of Evaluation

種別 / Kind	割合 / Percentage	評価基準等 / Grading Criteria etc.
平常点評価	100 %	課題、発表、出席、小テスト、授業参加を含む。詳細は授業で配布されるシラバスを確認すること。2/3 以上の授業に出席した者のみ成績評価の対象となる。出席点のみで単位を認定することはない。

受講および研究に関するアドバイス / Advice to Students on Study and Research Methods

教科書 / Textbooks

自分のクラスを確認し、指定されているテキストを生協で購入すること。

参考書 / Reference Books

産業社会学部 2007年度「外国語ハンドブック」を参照

参考になる WWW ページ / Web Pages Useful for Reference

産業社会学部 2007年度「外国語ハンドブック」を参照

その他 / Others

英語6 (1F)

11521

担当者名 / Instructor 山口 和夫

単位数 / Credit 1

授業の概要 / Course Outline

Themed Study and Research: This is a content-based course which draws upon all students' language skills as they work with study materials and carry out research projects related to a particular topic in English. Students will present their research findings in the form of both written assignments and oral presentations. Course content and course requirements will need to be adjusted to class level and will vary according to the instructor.

到達目標 / Attainment Objectives

テーマ別のコンテンツ・ベースド教材を使用し4技能を統一しながら英語を習得する。また、関心のあるトピックを選び、英語で調べ情報収集したうえで、口頭と文章で発信する方法を習得する。

履修しておくことが望まれる科目 / Required Preparatory Study

授業スケジュール / Course Schedule

授業日(第N回)	テーマ / Theme	キーワード / Key Word
第1回	Orientation	Self-Introduction, Explanation of Attainment Objectives, Procedures, and Grading Methods

以下の詳細は、担当教員から授業開始第一週に配布されるシラバスを参照

(学部科目 / Undergraduate Courses) 授業外学習の指示 / Recommendations for Private Study

(大学院科目 / Graduate Courses) 授業の方法 / Study Methods

成績評価方法 / Grading Criteria and Method of Evaluation

種別 / Kind	割合 / Percentage	評価基準等 / Grading Criteria etc.
平常点評価	100 %	課題、発表、出席、小テスト、授業参加を含む。詳細は授業で配布されるシラバスを確認すること。2/3 以上の授業に出席した者のみ成績評価の対象となる。出席点のみで単位を認定することはない。

受講および研究に関するアドバイス / Advice to Students on Study and Research Methods

教科書 / Textbooks

自分のクラスを確認し、指定されているテキストを生協で購入すること。

参考書 / Reference Books

産業社会学部 2007年度「外国語ハンドブック」を参照

参考になる WWW ページ / Web Pages Useful for Reference

産業社会学部 2007年度「外国語ハンドブック」を参照

その他 / Others

英語6 (1G)

11520

担当者名 / Instructor 河島 美代子

単位数 / Credit 1

授業の概要 / Course Outline

Themed Study and Research: This is a content-based course which draws upon all students' language skills as they work with study materials and carry out research projects related to a particular topic in English. Students will present their research findings in the form of both written assignments and oral presentations. Course content and course requirements will need to be adjusted to class level and will vary according to the instructor.

到達目標 / Attainment Objectives

テーマ別のコンテンツ・ベースド教材を使用し4技能を統一しながら英語を習得する。また、関心のあるトピックを選び、英語で調べ情報収集したうえで、口頭と文章で発信する方法を習得する。

履修しておくことが望まれる科目 / Required Preparatory Study

授業スケジュール / Course Schedule

授業日(第N回)	テーマ / Theme	キーワード / Key Word
第1回	Orientation	Self-Introduction, Explanation of Attainment Objectives, Procedures, and Grading Methods

以下の詳細は、担当教員から授業開始第一週に配布されるシラバスを参照

(学部科目 / Undergraduate Courses) 授業外学習の指示 / Recommendations for Private Study

(大学院科目 / Graduate Courses) 授業の方法 / Study Methods

成績評価方法 / Grading Criteria and Method of Evaluation

種別 / Kind	割合 / Percentage	評価基準等 / Grading Criteria etc.
平常点評価	100 %	課題、発表、出席、小テスト、授業参加を含む。詳細は授業で配布されるシラバスを確認すること。2/3 以上の授業に出席した者のみ成績評価の対象となる。出席点のみで単位を認定することはない。

受講および研究に関するアドバイス / Advice to Students on Study and Research Methods

教科書 / Textbooks

自分のクラスを確認し、指定されているテキストを生協で購入すること。

参考書 / Reference Books

産業社会学部 2007年度「外国語ハンドブック」を参照

参考になる WWW ページ / Web Pages Useful for Reference

産業社会学部 2007年度「外国語ハンドブック」を参照

その他 / Others

英語6 (1H)

11522

担当者名 / Instructor 蛇持 純子

単位数 / Credit 1

授業の概要 / Course Outline

Themed Study and Research: This is a content-based course which draws upon all students' language skills as they work with study materials and carry out research projects related to a particular topic in English. Students will present their research findings in the form of both written assignments and oral presentations. Course content and course requirements will need to be adjusted to class level and will vary according to the instructor.

到達目標 / Attainment Objectives

テーマ別のコンテンツ・ベースド教材を使用し4技能を統一しながら英語を習得する。また、関心のあるトピックを選び、英語で調べ情報収集したうえで、口頭と文章で発信する方法を習得する。

履修しておくことが望まれる科目 / Required Preparatory Study

授業スケジュール / Course Schedule

授業日(第N回)	テーマ / Theme	キーワード / Key Word
第1回	Orientation	Self-Introduction, Explanation of Attainment Objectives, Procedures, and Grading Methods
第2回	以下の詳細は、担当教員から授業開始第一週に配布されるシラバスを参照	
第3回		
第4回		
第5回		
第6回		
第7回		
第8回		
第9回		
第10回		
第11回		
第12回		
第13回		
第14回		
第15回		

(学部科目 / Undergraduate Courses) 授業外学習の指示 / Recommendations for Private Study
 (大学院科目 / Graduate Courses) 授業の方法 / Study Methods

成績評価方法 / Grading Criteria and Method of Evaluation

種別 / Kind	割合 / Percentage	評価基準等 / Grading Criteria etc.
平常点評価	100 %	課題、発表、出席、小テスト、授業参加を含む。詳細は授業で配布されるシラバスを確認すること。2/3 以上の授業に出席した者のみ成績評価の対象となる。出席点のみで単位を認定することはない。

受講および研究に関するアドバイス / Advice to Students on Study and Research Methods

教科書 / Textbooks

自分のクラスを確認し、指定されているテキストを生協で購入すること。

参考書 / Reference Books

産業社会学部 2007年度「外国語ハンドブック」を参照

参考になる WWW ページ / Web Pages Useful for Reference

産業社会学部 2007年度「外国語ハンドブック」を参照

その他 / Others

英語6 (11)

11523

担当者名 / Instructor 伊東 寿泰

単位数 / Credit 1

授業の概要 / Course Outline

Themed Study and Research: This is a content-based course which draws upon all students' language skills as they work with study materials and carry out research projects related to a particular topic in English. Students will present their research findings in the form of both written assignments and oral presentations. Course content and course requirements will need to be adjusted to class level and will vary according to the instructor.

到達目標 / Attainment Objectives

テーマ別のコンテンツ・ベース教材を使用し4技能を統一しながら英語を習得する。また、関心のあるトピックを選び、英語で調べ情報収集したうえで、口頭と文章で発信する方法を習得する。

履修しておくことが望まれる科目 / Required Preparatory Study

授業スケジュール / Course Schedule

授業日(第N回)	テーマ / Theme	キーワード / Key Word
第1回	Orientation	Self-Introduction, Explanation of Attainment Objectives, Procedures, and Grading Methods

 以下の詳細は、担当教員から授業開始第一週に配布されるシラバスを参照

(学部科目 / Undergraduate Courses) 授業外学習の指示 / Recommendations for Private Study

(大学院科目 / Graduate Courses) 授業の方法 / Study Methods

成績評価方法 / Grading Criteria and Method of Evaluation

種別 / Kind	割合 / Percentage	評価基準等 / Grading Criteria etc.
平常点評価	100 %	課題、発表、出席、小テスト、授業参加を含む。詳細は授業で配布されるシラバスを確認すること。2/3 以上の授業に出席した者のみ成績評価の対象となる。出席点のみで単位を認定することはない。

受講および研究に関するアドバイス / Advice to Students on Study and Research Methods

教科書 / Textbooks

自分のクラスを確認し、指定されているテキストを生協で購入すること。

参考書 / Reference Books

産業社会学部 2007年度「外国語ハンドブック」を参照

参考になる WWW ページ / Web Pages Useful for Reference

産業社会学部 2007年度「外国語ハンドブック」を参照

その他 / Others

英語6 (1J)

11524

担当者名 / Instructor MILLER WARREN A.

単位数 / Credit 1

授業の概要 / Course Outline

Themed Study and Research: This is a content-based course which draws upon all students' language skills as they work with study materials and carry out research projects related to a particular topic in English. Students will present their research findings in the form of both written assignments and oral presentations. Course content and course requirements will need to be adjusted to class level and will vary according to the instructor.

到達目標 / Attainment Objectives

テーマ別のコンテンツ・ベース教材を使用し4技能を統一しながら英語を習得する。また、関心のあるトピックを選び、英語で調べ情報収集し、口頭と文章で発信する方法を習得する。

履修しておくことが望まれる科目 / Required Preparatory Study

授業スケジュール / Course Schedule

授業日(第N回)	テーマ / Theme	キーワード / Key Word
第1回	Orientation	Self-Introduction, Explanation of Attainment Objectives, Procedures, and Grading Methods

以下の詳細は、担当教員から授業開始第一週に配布されるシラバスを参照

(学部科目 / Undergraduate Courses) 授業外学習の指示 / Recommendations for Private Study
(大学院科目 / Graduate Courses) 授業の方法 / Study Methods

成績評価方法 / Grading Criteria and Method of Evaluation

種別 / Kind	割合 / Percentage	評価基準等 / Grading Criteria etc.
平常点評価	100 %	課題、発表、出席、小テスト、授業参加を含む。詳細は授業で配布されるシラバスを確認すること。2/3 以上の授業に出席した者のみ成績評価の対象となる。出席点のみで単位を認定することはない。

受講および研究に関するアドバイス / Advice to Students on Study and Research Methods

教科書 / Textbooks

自分のクラスを確認し、指定されているテキストを生協で購入すること。

参考書 / Reference Books

産業社会学部 2007年度「外国語ハンドブック」を参照

参考になる WWW ページ / Web Pages Useful for Reference

産業社会学部 2007年度「外国語ハンドブック」を参照

その他 / Others

英語6 (1K)

11515

担当者名 / Instructor 坂本 利子

単位数 / Credit 1

授業の概要 / Course Outline

Themed Study and Research: This is a content-based course which draws upon all students' language skills as they work with study materials and carry out research projects related to a particular topic in English. Students will present their research findings in the form of both written assignments and oral presentations. Course content and course requirements will need to be adjusted to class level and will vary according to the instructor.

到達目標 / Attainment Objectives

テーマ別のコンテンツ・ベースド教材を使用し4技能を統一しながら英語を習得する。また、関心のあるトピックを選び、英語で調べ情報収集したうえで、口頭と文章で発信する方法を習得する。

履修しておくことが望まれる科目 / Required Preparatory Study

授業スケジュール / Course Schedule

授業日(第N回)	テーマ / Theme	キーワード / Key Word
第1回	Orientation	Self-Introduction, Explanation of Attainment Objectives, Procedures, and Grading Methods

以下の詳細は、担当教員から授業開始第一週に配布されるシラバスを参照

(学部科目 / Undergraduate Courses) 授業外学習の指示 / Recommendations for Private Study

(大学院科目 / Graduate Courses) 授業の方法 / Study Methods

成績評価方法 / Grading Criteria and Method of Evaluation

種別 / Kind	割合 / Percentage	評価基準等 / Grading Criteria etc.
平常点評価	100 %	課題、発表、出席、小テスト、授業参加を含む。詳細は授業で配布されるシラバスを確認すること。2/3 以上の授業に出席した者のみ成績評価の対象となる。出席点のみで単位を認定することはない。

受講および研究に関するアドバイス / Advice to Students on Study and Research Methods

教科書 / Textbooks

自分のクラスを確認し、指定されているテキストを生協で購入すること。

参考書 / Reference Books

産業社会学部 2007年度「外国語ハンドブック」を参照

参考になる WWW ページ / Web Pages Useful for Reference

産業社会学部 2007年度「外国語ハンドブック」を参照

その他 / Others

英語6 (1L)

11333

担当者名 / Instructor KUZEL JOHN MICHAEL

単位数 / Credit 1

授業の概要 / Course Outline

Themed Study and Research: This is a content-based course which draws upon all students' language skills as they work with study materials and carry out research projects related to a particular topic in English. Students will present their research findings in the form of both written assignments and oral presentations. Course content and course requirements will need to be adjusted to class level and will vary according to the instructor.

到達目標 / Attainment Objectives

テーマ別のコンテンツ・ベース教材を使用し4技能を統一しながら英語を習得する。また、関心のあるトピックを選び、英語で調べ情報収集したうえで、口頭と文章で発信する方法を習得する。

履修しておくことが望まれる科目 / Required Preparatory Study

授業スケジュール / Course Schedule

授業日(第N回)	テーマ / Theme	キーワード / Key Word
第1回	Orientation	Self-Introduction, Explanation of Attainment Objectives, Procedures, and Grading Methods

 以下の詳細は、担当教員から授業開始第一週に配布されるシラバスを参照

(学部科目 / Undergraduate Courses) 授業外学習の指示 / Recommendations for Private Study

(大学院科目 / Graduate Courses) 授業の方法 / Study Methods

成績評価方法 / Grading Criteria and Method of Evaluation

種別 / Kind	割合 / Percentage	評価基準等 / Grading Criteria etc.
平常点評価	100 %	課題、発表、出席、小テスト、授業参加を含む。詳細は授業で配布されるシラバスを確認すること。2/3 以上の授業に出席した者のみ成績評価の対象となる。出席点のみで単位を認定することはない。

受講および研究に関するアドバイス / Advice to Students on Study and Research Methods

教科書 / Textbooks

自分のクラスを確認し、指定されているテキストを生協で購入すること。

参考書 / Reference Books

産業社会学部 2007年度「外国語ハンドブック」を参照

参考になる WWW ページ / Web Pages Useful for Reference

産業社会学部 2007年度「外国語ハンドブック」を参照

その他 / Others

英語6 (1M)

11332

担当者名 / Instructor MILLER WARREN A.

単位数 / Credit 1

授業の概要 / Course Outline

Themed Study and Research: This is a content-based course which draws upon all students' language skills as they work with study materials and carry out research projects related to a particular topic in English. Students will present their research findings in the form of both written assignments and oral presentations. Course content and course requirements will need to be adjusted to class level and will vary according to the instructor.

到達目標 / Attainment Objectives

テーマ別のコンテンツ・ベース教材を使用し4技能を統一しながら英語を習得する。また、関心のあるトピックを選び、英語で調べ情報収集したうえで、口頭と文章で発信する方法を習得する。

履修しておくことが望まれる科目 / Required Preparatory Study

授業スケジュール / Course Schedule

授業日(第N回)	テーマ / Theme	キーワード / Key Word
第1回	Orientation	Self-Introduction, Explanation of Attainment Objectives, Procedures, and Grading Methods

 以下の詳細は、担当教員から授業開始第一週に配布されるシラバスを参照

(学部科目 / Undergraduate Courses) 授業外学習の指示 / Recommendations for Private Study

(大学院科目 / Graduate Courses) 授業の方法 / Study Methods

成績評価方法 / Grading Criteria and Method of Evaluation

種別 / Kind	割合 / Percentage	評価基準等 / Grading Criteria etc.
平常点評価	100 %	課題、発表、出席、小テスト、授業参加を含む。詳細は授業で配布されるシラバスを確認すること。2/3 以上の授業に出席した者のみ成績評価の対象となる。出席点のみで単位を認定することはない。

受講および研究に関するアドバイス / Advice to Students on Study and Research Methods

教科書 / Textbooks

自分のクラスを確認し、指定されているテキストを生協で購入すること。

参考書 / Reference Books

産業社会学部 2007年度「外国語ハンドブック」を参照

参考になる WWW ページ / Web Pages Useful for Reference

産業社会学部 2007年度「外国語ハンドブック」を参照

その他 / Others

英語6 (1N)

11334

担当者名 / Instructor 小林 香保里

単位数 / Credit 1

授業の概要 / Course Outline

Themed Study and Research: This is a content-based course which draws upon all students' language skills as they work with study materials and carry out research projects related to a particular topic in English. Students will present their research findings in the form of both written assignments and oral presentations. Course content and course requirements will need to be adjusted to class level and will vary according to the instructor.

到達目標 / Attainment Objectives

テーマ別のコンテンツ・ベースド教材を使用し4技能を統一しながら英語を習得する。また、関心のあるトピックを選び、英語で調べ情報収集したうえで、口頭と文章で発信する方法を習得する。

履修しておくことが望まれる科目 / Required Preparatory Study

授業スケジュール / Course Schedule

授業日(第N回)	テーマ / Theme	キーワード / Key Word
第1回	Orientation	Self-Introduction, Explanation of Attainment Objectives, Procedures, and Grading Methods

以下の詳細は、担当教員から授業開始第一週に配布されるシラバスを参照

(学部科目 / Undergraduate Courses) 授業外学習の指示 / Recommendations for Private Study

(大学院科目 / Graduate Courses) 授業の方法 / Study Methods

成績評価方法 / Grading Criteria and Method of Evaluation

種別 / Kind	割合 / Percentage	評価基準等 / Grading Criteria etc.
平常点評価	100 %	課題、発表、出席、小テスト、授業参加を含む。詳細は授業で配布されるシラバスを確認すること。2/3 以上の授業に出席した者のみ成績評価の対象となる。出席点のみで単位を認定することはない。

受講および研究に関するアドバイス / Advice to Students on Study and Research Methods

教科書 / Textbooks

自分のクラスを確認し、指定されているテキストを生協で購入すること。

参考書 / Reference Books

産業社会学部 2007年度「外国語ハンドブック」を参照

参考になる WWW ページ / Web Pages Useful for Reference

産業社会学部 2007年度「外国語ハンドブック」を参照

その他 / Others

英語6 (10)

11330

担当者名 / Instructor 五十川 敬子

単位数 / Credit 1

授業の概要 / Course Outline

Themed Study and Research: This is a content-based course which draws upon all students' language skills as they work with study materials and carry out research projects related to a particular topic in English. Students will present their research findings in the form of both written assignments and oral presentations. Course content and course requirements will need to be adjusted to class level and will vary according to the instructor.

到達目標 / Attainment Objectives

テーマ別のコンテンツ・ベース教材を使用し4技能を統一しながら英語を習得する。また、関心のあるトピックを選び、英語で調べ情報収集したうえで、口頭と文章で発信する方法を習得する。

履修しておくことが望まれる科目 / Required Preparatory Study

授業スケジュール / Course Schedule

授業日(第N回)	テーマ / Theme	キーワード / Key Word
第1回	Orientation	Self-Introduction, Explanation of Attainment Objectives, Procedures, and Grading Methods

以下の詳細は、担当教員から授業開始第一週に配布されるシラバスを参照

(学部科目 / Undergraduate Courses) 授業外学習の指示 / Recommendations for Private Study

(大学院科目 / Graduate Courses) 授業の方法 / Study Methods

成績評価方法 / Grading Criteria and Method of Evaluation

種別 / Kind	割合 / Percentage	評価基準等 / Grading Criteria etc.
平常点評価	100 %	課題、発表、出席、小テスト、授業参加を含む。詳細は授業で配布されるシラバスを確認すること。2/3 以上の授業に出席した者のみ成績評価の対象となる。出席点のみで単位を認定することはない。

受講および研究に関するアドバイス / Advice to Students on Study and Research Methods

教科書 / Textbooks

自分のクラスを確認し、指定されているテキストを生協で購入すること。

参考書 / Reference Books

産業社会学部 2007年度「外国語ハンドブック」を参照

参考になる WWW ページ / Web Pages Useful for Reference

産業社会学部 2007年度「外国語ハンドブック」を参照

その他 / Others

英語6 (1P)

11331

担当者名 / Instructor 徳本 恵

単位数 / Credit 1

授業の概要 / Course Outline

Themed Study and Research: This is a content-based course which draws upon all students' language skills as they work with study materials and carry out research projects related to a particular topic in English. Students will present their research findings in the form of both written assignments and oral presentations. Course content and course requirements will need to be adjusted to class level and will vary according to the instructor.

到達目標 / Attainment Objectives

テーマ別のコンテンツ・ベース教材を使用し4技能を統一しながら英語を習得する。また、関心のあるトピックを選び、英語で調べ情報収集したうえで、口頭と文章で発信する方法を習得する。

履修しておくことが望まれる科目 / Required Preparatory Study

授業スケジュール / Course Schedule

授業日(第N回)	テーマ / Theme	キーワード / Key Word
第1回	Orientation	Self-Introduction, Explanation of Attainment Objectives, Procedures, and Grading Methods

 以下の詳細は、担当教員から授業開始第一週に配布されるシラバスを参照

(学部科目 / Undergraduate Courses) 授業外学習の指示 / Recommendations for Private Study

(大学院科目 / Graduate Courses) 授業の方法 / Study Methods

成績評価方法 / Grading Criteria and Method of Evaluation

種別 / Kind	割合 / Percentage	評価基準等 / Grading Criteria etc.
平常点評価	100 %	課題、発表、出席、小テスト、授業参加を含む。詳細は授業で配布されるシラバスを確認すること。2/3 以上の授業に出席した者のみ成績評価の対象となる。出席点のみで単位を認定することはない。

受講および研究に関するアドバイス / Advice to Students on Study and Research Methods

教科書 / Textbooks

自分のクラスを確認し、指定されているテキストを生協で購入すること。

参考書 / Reference Books

産業社会学部 2007年度「外国語ハンドブック」を参照

参考になる WWW ページ / Web Pages Useful for Reference

産業社会学部 2007年度「外国語ハンドブック」を参照

その他 / Others

英語6 (1Q)

11326

担当者名 / Instructor 山口 和夫

単位数 / Credit 1

授業の概要 / Course Outline

Themed Study and Research: This is a content-based course which draws upon all students' language skills as they work with study materials and carry out research projects related to a particular topic in English. Students will present their research findings in the form of both written assignments and oral presentations. Course content and course requirements will need to be adjusted to class level and will vary according to the instructor.

到達目標 / Attainment Objectives

テーマ別のコンテンツ・ベースド教材を使用し4技能を統一しながら英語を習得する。また、関心のあるトピックを選び、英語で調べ情報収集したうえで、口頭と文章で発信する方法を習得する。

履修しておくことが望まれる科目 / Required Preparatory Study

授業スケジュール / Course Schedule

授業日(第N回)	テーマ / Theme	キーワード / Key Word
第1回	Orientation	Self-Introduction, Explanation of Attainment Objectives, Procedures, and Grading Methods

以下の詳細は、担当教員から授業開始第一週に配布されるシラバスを参照

(学部科目 / Undergraduate Courses) 授業外学習の指示 / Recommendations for Private Study

(大学院科目 / Graduate Courses) 授業の方法 / Study Methods

成績評価方法 / Grading Criteria and Method of Evaluation

種別 / Kind	割合 / Percentage	評価基準等 / Grading Criteria etc.
平常点評価	100 %	課題、発表、出席、小テスト、授業参加を含む。詳細は授業で配布されるシラバスを確認すること。2/3 以上の授業に出席した者のみ成績評価の対象となる。出席点のみで単位を認定することはない。

受講および研究に関するアドバイス / Advice to Students on Study and Research Methods

教科書 / Textbooks

自分のクラスを確認し、指定されているテキストを生協で購入すること。

参考書 / Reference Books

産業社会学部 2007年度「外国語ハンドブック」を参照

参考になる WWW ページ / Web Pages Useful for Reference

産業社会学部 2007年度「外国語ハンドブック」を参照

その他 / Others

英語6 (1R)

11336

担当者名 / Instructor 河島 美代子

単位数 / Credit 1

授業の概要 / Course Outline

Themed Study and Research: This is a content-based course which draws upon all students' language skills as they work with study materials and carry out research projects related to a particular topic in English. Students will present their research findings in the form of both written assignments and oral presentations. Course content and course requirements will need to be adjusted to class level and will vary according to the instructor.

到達目標 / Attainment Objectives

テーマ別のコンテンツ・ベースド教材を使用し4技能を統一しながら英語を習得する。また、関心のあるトピックを選び、英語で調べ情報収集したうえで、口頭と文章で発信する方法を習得する。

履修しておくことが望まれる科目 / Required Preparatory Study

授業スケジュール / Course Schedule

授業日(第N回)	テーマ / Theme	キーワード / Key Word
第1回	Orientation	Self-Introduction, Explanation of Attainment Objectives, Procedures, and Grading Methods

以下の詳細は、担当教員から授業開始第一週に配布されるシラバスを参照

(学部科目 / Undergraduate Courses) 授業外学習の指示 / Recommendations for Private Study
(大学院科目 / Graduate Courses) 授業の方法 / Study Methods

成績評価方法 / Grading Criteria and Method of Evaluation

種別 / Kind	割合 / Percentage	評価基準等 / Grading Criteria etc.
平常点評価	100 %	課題、発表、出席、小テスト、授業参加を含む。詳細は授業で配布されるシラバスを確認すること。2/3 以上の授業に出席した者のみ成績評価の対象となる。出席点のみで単位を認定することはない。

受講および研究に関するアドバイス / Advice to Students on Study and Research Methods

教科書 / Textbooks

自分のクラスを確認し、指定されているテキストを生協で購入すること。

参考書 / Reference Books

産業社会学部 2007年度「外国語ハンドブック」を参照

参考になる WWW ページ / Web Pages Useful for Reference

産業社会学部 2007年度「外国語ハンドブック」を参照

その他 / Others

英語6 (1S)

11327

担当者名 / Instructor 蛇持 純子

単位数 / Credit 1

授業の概要 / Course Outline

Themed Study and Research: This is a content-based course which draws upon all students' language skills as they work with study materials and carry out research projects related to a particular topic in English. Students will present their research findings in the form of both written assignments and oral presentations. Course content and course requirements will need to be adjusted to class level and will vary according to the instructor.

到達目標 / Attainment Objectives

テーマ別のコンテンツ・ベースド教材を使用し4技能を統一しながら英語を習得する。また、関心のあるトピックを選び、英語で調べ情報収集したうえで、口頭と文章で発信する方法を習得する。

履修しておくことが望まれる科目 / Required Preparatory Study

授業スケジュール / Course Schedule

授業日(第N回)	テーマ / Theme	キーワード / Key Word
第1回	Orientation	Self-Introduction, Explanation of Attainment Objectives, Procedures, and Grading Methods

以下の詳細は、担当教員から授業開始第一週に配布されるシラバスを参照

(学部科目 / Undergraduate Courses) 授業外学習の指示 / Recommendations for Private Study

(大学院科目 / Graduate Courses) 授業の方法 / Study Methods

成績評価方法 / Grading Criteria and Method of Evaluation

種別 / Kind	割合 / Percentage	評価基準等 / Grading Criteria etc.
平常点評価	100 %	課題、発表、出席、小テスト、授業参加を含む。詳細は授業で配布されるシラバスを確認すること。2/3 以上の授業に出席した者のみ成績評価の対象となる。出席点のみで単位を認定することはない。

受講および研究に関するアドバイス / Advice to Students on Study and Research Methods

教科書 / Textbooks

自分のクラスを確認し、指定されているテキストを生協で購入すること。

参考書 / Reference Books

産業社会学部 2007年度「外国語ハンドブック」を参照

参考になる WWW ページ / Web Pages Useful for Reference

産業社会学部 2007年度「外国語ハンドブック」を参照

その他 / Others

英語6 (1T)

11328

担当者名 / Instructor 坂本 利子

単位数 / Credit 1

授業の概要 / Course Outline

Themed Study and Research: This is a content-based course which draws upon all students' language skills as they work with study materials and carry out research projects related to a particular topic in English. Students will present their research findings in the form of both written assignments and oral presentations. Course content and course requirements will need to be adjusted to class level and will vary according to the instructor.

到達目標 / Attainment Objectives

テーマ別のコンテンツ・ベース教材を使用し4技能を統一しながら英語を習得する。また、関心のあるトピックを選び、英語で調べ情報収集したうえで、口頭と文章で発信する方法を習得する。

履修しておくことが望まれる科目 / Required Preparatory Study

授業スケジュール / Course Schedule

授業日(第N回)	テーマ / Theme	キーワード / Key Word
第1回	Orientation	Self-Introduction, Explanation of Attainment Objectives, Procedures, and Grading Methods

 以下の詳細は、担当教員から授業開始第一週に配布されるシラバスを参照

(学部科目 / Undergraduate Courses) 授業外学習の指示 / Recommendations for Private Study

(大学院科目 / Graduate Courses) 授業の方法 / Study Methods

成績評価方法 / Grading Criteria and Method of Evaluation

種別 / Kind	割合 / Percentage	評価基準等 / Grading Criteria etc.
平常点評価	100 %	課題、発表、出席、小テスト、授業参加を含む。詳細は授業で配布されるシラバスを確認すること。2/3 以上の授業に出席した者のみ成績評価の対象となる。出席点のみで単位を認定することはない。

受講および研究に関するアドバイス / Advice to Students on Study and Research Methods

教科書 / Textbooks

自分のクラスを確認し、指定されているテキストを生協で購入すること。

参考書 / Reference Books

産業社会学部 2007年度「外国語ハンドブック」を参照

参考になる WWW ページ / Web Pages Useful for Reference

産業社会学部 2007年度「外国語ハンドブック」を参照

その他 / Others

英語6 (1U)

11329

担当者名 / Instructor DUQUETTE JEAN-PAUL

単位数 / Credit 1

授業の概要 / Course Outline

Themed Study and Research: This is a content-based course which draws upon all students' language skills as they work with study materials and carry out research projects related to a particular topic in English. Students will present their research findings in the form of both written assignments and oral presentations. Course content and course requirements will need to be adjusted to class level and will vary according to the instructor.

到達目標 / Attainment Objectives

テーマ別のコンテンツ・ベース教材を使用し4技能を統一しながら英語を習得する。また、関心のあるトピックを選び、英語で調べ情報収集したうえで、口頭と文章で発信する方法を習得する。

履修しておくことが望まれる科目 / Required Preparatory Study

授業スケジュール / Course Schedule

授業日(第N回)	テーマ / Theme	キーワード / Key Word
第1回	Orientation	Self-Introduction, Explanation of Attainment Objectives, Procedures, and Grading Methods

以下の詳細は、担当教員から授業開始第一週に配布されるシラバスを参照

(学部科目 / Undergraduate Courses) 授業外学習の指示 / Recommendations for Private Study

(大学院科目 / Graduate Courses) 授業の方法 / Study Methods

成績評価方法 / Grading Criteria and Method of Evaluation

種別 / Kind	割合 / Percentage	評価基準等 / Grading Criteria etc.
平常点評価	100 %	課題、発表、出席、小テスト、授業参加を含む。詳細は授業で配布されるシラバスを確認すること。2/3 以上の授業に出席した者のみ成績評価の対象となる。出席点のみで単位を認定することはない。

受講および研究に関するアドバイス / Advice to Students on Study and Research Methods

教科書 / Textbooks

自分のクラスを確認し、指定されているテキストを生協で購入すること。

参考書 / Reference Books

産業社会学部 2007年度「外国語ハンドブック」を参照

参考になる WWW ページ / Web Pages Useful for Reference

産業社会学部 2007年度「外国語ハンドブック」を参照

その他 / Others

英語6 (1V)

11335

担当者名 / Instructor BROOKS GAVIN JOHN

単位数 / Credit 1

授業の概要 / Course Outline

Themed Study and Research: This is a content-based course which draws upon all students' language skills as they work with study materials and carry out research projects related to a particular topic in English. Students will present their research findings in the form of both written assignments and oral presentations. Course content and course requirements will need to be adjusted to class level and will vary according to the instructor.

到達目標 / Attainment Objectives

テーマ別のコンテンツ・ベースド教材を使用し4技能を統一しながら英語を習得する。また、関心のあるトピックを選び、英語で調べ情報収集したうえで、口頭と文章で発信する方法を習得する。

履修しておくことが望まれる科目 / Required Preparatory Study

授業スケジュール / Course Schedule

授業日(第N回)	テーマ / Theme	キーワード / Key Word
第1回	Orientation	Self-Introduction, Explanation of Attainment Objectives, Procedures, and Grading Methods

 以下の詳細は、担当教員から授業開始第一週に配布されるシラバスを参照

(学部科目 / Undergraduate Courses) 授業外学習の指示 / Recommendations for Private Study

(大学院科目 / Graduate Courses) 授業の方法 / Study Methods

成績評価方法 / Grading Criteria and Method of Evaluation

種別 / Kind	割合 / Percentage	評価基準等 / Grading Criteria etc.
平常点評価	100 %	課題、発表、出席、小テスト、授業参加を含む。詳細は授業で配布されるシラバスを確認すること。2/3 以上の授業に出席した者のみ成績評価の対象となる。出席点のみで単位を認定することはない。

受講および研究に関するアドバイス / Advice to Students on Study and Research Methods

教科書 / Textbooks

自分のクラスを確認し、指定されているテキストを生協で購入すること。

参考書 / Reference Books

産業社会学部 2007年度「外国語ハンドブック」を参照

参考になる WWW ページ / Web Pages Useful for Reference

産業社会学部 2007年度「外国語ハンドブック」を参照

その他 / Others

英語6 (1W)

11526

担当者名 / Instructor KUZEL JOHN MICHAEL

単位数 / Credit 1

授業の概要 / Course Outline

Themed Study and Research: This is a content-based course which draws upon all students' language skills as they work with study materials and carry out research projects related to a particular topic in English. Students will present their research findings in the form of both written assignments and oral presentations. Course content and course requirements will need to be adjusted to class level and will vary according to the instructor.

到達目標 / Attainment Objectives

テーマ別のコンテンツ・ベース教材を使用し4技能を統一しながら英語を習得する。また、関心のあるトピックを選び、英語で調べ情報収集したうえで、口頭と文章で発信する方法を習得する。

履修しておくことが望まれる科目 / Required Preparatory Study

授業スケジュール / Course Schedule

授業日(第N回)	テーマ / Theme	キーワード / Key Word
第1回	Orientation	Self-Introduction, Explanation of Attainment Objectives, Procedures, and Grading Methods

以下の詳細は、担当教員から授業開始第一週に配布されるシラバスを参照

(学部科目 / Undergraduate Courses) 授業外学習の指示 / Recommendations for Private Study

(大学院科目 / Graduate Courses) 授業の方法 / Study Methods

成績評価方法 / Grading Criteria and Method of Evaluation

種別 / Kind	割合 / Percentage	評価基準等 / Grading Criteria etc.
平常点評価	100 %	課題、発表、出席、小テスト、授業参加を含む。詳細は授業で配布されるシラバスを確認すること。2/3 以上の授業に出席した者のみ成績評価の対象となる。出席点のみで単位を認定することはない。

受講および研究に関するアドバイス / Advice to Students on Study and Research Methods

教科書 / Textbooks

自分のクラスを確認し、指定されているテキストを生協で購入すること。

参考書 / Reference Books

産業社会学部 2007年度「外国語ハンドブック」を参照

参考になる WWW ページ / Web Pages Useful for Reference

産業社会学部 2007年度「外国語ハンドブック」を参照

その他 / Others

英語音声演習1(単位回復)(Z1)

10574

担当者名 / Instructor 平尾 日出夫

単位数 / Credit 1

授業の概要 / Course Outline

ビジネスシーンでの機能的会話遂行のための基礎的演習

この講座では、Quick Englishビジネス会話編1(前期)、2(後期)を使用しながら基本的なビジネスシーンでの機能的会話遂行能力の基礎を養うことを目指している。授業では、上述のソフトウェアを使用しながら、聞き取りと会話の基礎的演習を中心に行なっていく。

到達目標 / Attainment Objectives

ビジネスの様々なシーンで必要とされる機能的会話能力を最低限遂行することが出来るだけの言語能力の養成を目指している。

履修しておくことが望まれる科目 / Required Preparatory Study

各学部で履修が指定されている英語の科目を出来るだけ多く単位取得しておくこと。

授業スケジュール / Course Schedule

授業日(第N回)	テーマ / Theme	キーワード / Key Word
1	Unit 1	ビジネス英会話
2	Unit 2	ビジネス英会話
3	Unit 3	ビジネス英会話
4	Unit 4	ビジネス英会話
5	Unit 5	ビジネス英会話
6	前半総合演習+検証テスト1	ビジネス英会話
7	前半の各ユニットの総括練習	ビジネス英会話
8	Unit 6	ビジネス英会話
9	Unit 7	ビジネス英会話
10	Unit 8	ビジネス英会話
11	Unit 9	ビジネス英会話
12	Unit 10	ビジネス英会話
13	後半総合演習+検証テスト2	ビジネス英会話
14	後半の各ユニットの総括練習	ビジネス英会話
15	総合練習	ビジネス英会話、ビデオソフトを使つての聞き取り総合演習

(学部科目 / Undergraduate Courses) 授業外学習の指示 / Recommendations for Private Study

(大学院科目 / Graduate Courses) 授業の方法 / Study Methods

会話能力を高めるには、インターネット等で英語のニュースやインタビュー番組を見たり、洋画を鑑賞したりして、日頃から英語の音声媒体にできるだけ多く触れることを心がけてください。

成績評価方法 / Grading Criteria and Method of Evaluation

種別 / Kind	割合 / Percentage	評価基準等 / Grading Criteria etc.
平常点評価	100 %	クラス内での通常の学習態度に加え、小テスト、中間テスト、期末テスト、レポート、発表なども評価に加えられる。

このクラスの成績評価はC・Fのみである。

受講および研究に関するアドバイス / Advice to Students on Study and Research Methods

教科書 / Textbooks

ソフトを利用した授業を行う。ソフトは大学側で用意する。

参考書 / Reference Books

授業中に指示する。

参考になる WWW ページ / Web Pages Useful for Reference

ABC <http://abcnews.go.com/>
 VOA <http://www.voanews.com/>
 BBC World Service <http://www.bbc.co.uk/worldservice/>
 NHK <http://www.nhk.or.jp/rj/podcast/index.html>
 Randall's ESL Cyber Listening Lab <http://www.esl-lab.com/index.htm>

その他 / Others

ソフトウェアは大学の財産です。絶対に持ち帰らないようにしてください。

英語音声演習1(単位回復)(Z2)

13101

担当者名 / Instructor 平尾 日出夫

単位数 / Credit 1

授業の概要 / Course Outline

ビジネスシーンでの機能的会話遂行のための基礎的演習

この講座では、Quick Englishビジネス会話編1(前期)、2(後期)を使用しながら基本的なビジネスシーンでの機能的会話遂行能力の基礎を養うことを目指している。授業では、上述のソフトウェアを使用しながら、聞き取りと会話の基礎的演習を中心に行なっていく。

到達目標 / Attainment Objectives

ビジネスの様々なシーンで必要とされる機能的会話能力を最低限遂行することが出来るだけの言語能力の養成を目指している。

履修しておくことが望まれる科目 / Required Preparatory Study

各学部で履修が指定されている英語の科目を出来るだけ多く単位取得しておくこと。

授業スケジュール / Course Schedule

授業日(第N回)	テーマ / Theme	キーワード / Key Word
1	Unit 1	ビジネス英会話
2	Unit 2	ビジネス英会話
3	Unit 3	ビジネス英会話
4	Unit 4	ビジネス英会話
5	Unit 5	ビジネス英会話
6	前半総合演習+検証テスト1	ビジネス英会話
7	前半の各ユニットの総括練習	ビジネス英会話
8	Unit 6	ビジネス英会話
9	Unit 7	ビジネス英会話
10	Unit 8	ビジネス英会話
11	Unit 9	ビジネス英会話
12	Unit 10	ビジネス英会話
13	後半総合演習+検証テスト2	ビジネス英会話
14	後半の各ユニットの総括練習	ビジネス英会話
15	総合練習	ビジネス英会話、ビデオソフトを使つての聞き取り総合演習

(学部科目 / Undergraduate Courses) 授業外学習の指示 / Recommendations for Private Study

(大学院科目 / Graduate Courses) 授業の方法 / Study Method

会話能力を高めるには、インターネット等で英語のニュースやインタビュー番組を見たり、洋画を鑑賞したりして、日頃から英語の音声媒体にできるだけ多く触れることを心がけてください。

成績評価方法 / Grading Criteria and Method of Evaluation

種別 / Kind	割合 / Percentage	評価基準等 / Grading Criteria etc.
平常点評価	100 %	クラス内での通常の学習態度に加え、小テスト、中間テスト、期末テスト、レポート、発表なども評価に加えられる。

このクラスの成績評価はC・Fのみである。

受講および研究に関するアドバイス / Advice to Students on Study and Research Methods

教科書 / Textbooks

ソフトを利用した授業を行う。ソフトは大学側で用意する。

参考書 / Reference Books

授業中に指示する。

参考になる WWW ページ / Web Pages Useful for Reference

ABC <http://abcnews.go.com/>
 VOA <http://www.voanews.com/>
 BBC World Service <http://www.bbc.co.uk/worldservice/>
 NHK <http://www.nhk.or.jp/rj/podcast/index.html>
 Randall's ESL Cyber Listening Lab <http://www.esl-lab.com/index.htm>

その他 / Others

ソフトウェアは大学の財産です。絶対に持ち帰らないようにしてください。

英語音声演習2(単位回復)(Z1)

10690

担当者名 / Instructor 平尾 日出夫

単位数 / Credit 1

授業の概要 / Course Outline

ビジネスシーンでの機能的会話遂行のための基礎的演習

この講座では、Quick Englishビジネス会話編1(前期)、2(後期)を使用しながら基本的なビジネスシーンでの機能的会話遂行能力の基礎を養うことを目指している。授業では、上述のソフトウェアを使用しながら、聞き取りと会話の基礎的演習を中心に行なっていく。

到達目標 / Attainment Objectives

ビジネスの様々なシーンで必要とされる機能的会話能力を最低限遂行することが出来るだけの言語能力の養成を目指している。

履修しておくことが望まれる科目 / Required Preparatory Study

各学部で履修が指定されている英語の科目を出来るだけ多く単位取得しておくこと。

授業スケジュール / Course Schedule

授業日(第N回)	テーマ / Theme	キーワード / Key Word
1	Unit 1	ビジネス英会話
2	Unit 2	ビジネス英会話
3	Unit 3	ビジネス英会話
4	Unit 4	ビジネス英会話
5	Unit 5	ビジネス英会話
6	前半総合演習+検証テスト1	ビジネス英会話
7	前半の各ユニットの総括練習	ビジネス英会話
8	Unit 6	ビジネス英会話
9	Unit 7	ビジネス英会話
10	Unit 8	ビジネス英会話
11	Unit 9	ビジネス英会話
12	Unit 10	ビジネス英会話
13	後半総合演習+検証テスト2	ビジネス英会話
14	後半の各ユニットの総括練習	ビジネス英会話
15	総合練習	ビジネス英会話、ビデオソフトを使つての聞き取り総合演習

(学部科目 / Undergraduate Courses) 授業外学習の指示 / Recommendations for Private Study

(大学院科目 / Graduate Courses) 授業の方法 / Study Method

会話能力を高めるには、インターネット等で英語のニュースやインタビュー番組を見たり、洋画を鑑賞したりして、日頃から英語の音声媒体にできるだけ多く触れることを心がけてください。

成績評価方法 / Grading Criteria and Method of Evaluation

種別 / Kind	割合 / Percentage	評価基準等 / Grading Criteria etc.
平常点評価	100 %	クラス内での通常の学習態度に加え、小テスト、中間テスト、期末テスト、レポート、発表なども評価に加えられる。

このクラスの成績評価はC・Fのみである。

受講および研究に関するアドバイス / Advice to Students on Study and Research Methods

教科書 / Textbooks

ソフトを利用した授業を行う。ソフトは大学側で用意する。

参考書 / Reference Books

授業中に指示する。

参考になる WWW ページ / Web Pages Useful for Reference

ABC <http://abcnews.go.com/>
 VOA <http://www.voanews.com/>
 BBC World Service <http://www.bbc.co.uk/worldservice/>
 NHK <http://www.nhk.or.jp/rj/podcast/index.html>
 Randall's ESL Cyber Listening Lab <http://www.esl-lab.com/index.htm>

その他 / Others

ソフトウェアは大学の財産です。絶対に持ち帰らないようにしてください。

英語音声演習2(単位回復)(Z2)

13104

担当者名 / Instructor 平尾 日出夫

単位数 / Credit 1

授業の概要 / Course Outline

ビジネスシーンでの機能的会話遂行のための基礎的演習

この講座では、Quick Englishビジネス会話編1(前期)、2(後期)を使用しながら基本的なビジネスシーンでの機能的会話遂行能力の基礎を養うことを目指している。授業では、上述のソフトウェアを使用しながら、聞き取りと会話の基礎的演習を中心に行っていく。

到達目標 / Attainment Objectives

ビジネスの様々なシーンで必要とされる機能的会話能力を最低限遂行することが出来るだけの言語能力の養成を目指している。

履修しておくことが望まれる科目 / Required Preparatory Study

各学部で履修が指定されている英語の科目を出来るだけ多く単位取得しておくこと。

授業スケジュール / Course Schedule

授業日(第N回)	テーマ / Theme	キーワード / Key Word
1	Unit 1	ビジネス英会話
2	Unit 2	ビジネス英会話
3	Unit 3	ビジネス英会話
4	Unit 4	ビジネス英会話
5	Unit 5	ビジネス英会話
6	前半総合演習+検証テスト1	ビジネス英会話
7	前半の各ユニットの総括練習	ビジネス英会話
8	Unit 6	ビジネス英会話
9	Unit 7	ビジネス英会話
10	Unit 8	ビジネス英会話
11	Unit 9	ビジネス英会話
12	Unit 10	ビジネス英会話
13	後半総合演習+検証テスト2	ビジネス英会話
14	後半の各ユニットの総括練習	ビジネス英会話
15	総合練習	ビジネス英会話、ビデオソフトを使つての聞き取り総合演習

(学部科目 / Undergraduate Courses) 授業外学習の指示 / Recommendations for Private Study

(大学院科目 / Graduate Courses) 授業の方法 / Study Methods

会話能力を高めるには、インターネット等で英語のニュースやインタビュー番組を見たり、洋画を鑑賞したりして、日頃から英語の音声媒体にできるだけ多く触れることを心がけてください。

成績評価方法 / Grading Criteria and Method of Evaluation

種別 / Kind	割合 / Percentage	評価基準等 / Grading Criteria etc.
平常点評価	100 %	クラス内での通常の学習態度に加え、小テスト、中間テスト、期末テスト、レポート、発表なども評価に加えられる。

このクラスの成績評価はC・Fのみである。

受講および研究に関するアドバイス / Advice to Students on Study and Research Methods

教科書 / Textbooks

ソフトを利用した授業を行う。ソフトは大学側で用意する。

参考書 / Reference Books

授業中に指示する。

参考になる WWW ページ / Web Pages Useful for Reference

ABC <http://abcnews.go.com/>
 VOA <http://www.voanews.com/>
 BBC World Service <http://www.bbc.co.uk/worldservice/>
 NHK <http://www.nhk.or.jp/rj/podcast/index.html>
 Randall's ESL Cyber Listening Lab <http://www.esl-lab.com/index.htm>

その他 / Others

ソフトウェアは大学の財産です。絶対に持ち帰らないようにしてください。

英語総合講義(単位回復)(Z1)

11980

担当者名 / Instructor 小林 香保里

単位数 / Credit 2

授業の概要 / Course Outline

必修英語で2単位以上の未修得が発生した際にまず受講する、週1回の授業です。講義と実習をつうじて、英語という言葉、また英語圏文化についての理解を深め、英語学習上の弱点を克服することに資する科目です。

到達目標 / Attainment Objectives

大学生として必要な最低限度の英語運用能力をつける。
英語学習のコツをつかみ、自立した英語学習者となる。

履修しておくことが望まれる科目 / Required Preparatory Study

特になし。

授業スケジュール / Course Schedule

授業日(第N回)	テーマ / Theme	キーワード / Key Word
第1回目	前半: 授業の概要と導入 / 後半: SRA Starting Level Guide	
第2回目	前半: 第1章 英語の学習 / 後半: SRA Power Builder Starter	
第3回目	前半: 第2章 英語の音声 / 後半: SRAリーディング実習	
第4回目	前半: 第2章 英語の音声(続き) / 後半: SRAリーディング実習	
第5回目	前半: 第3章 リーディング / 後半: SRAリーディング実習	
第6回目	前半: 第3章 リーディング(続き) / 後半: SRAリーディング実習	
第7回目	前半: 第3章 リーディング(続き) / 後半: SRAリーディング実習	
第8回目	前半: 質疑応答(15分)と中間まとめテスト(30分) 後半: SRAリーディング実習(45分)	
第9回目	前半: 第4章 ライティング / 後半: SRAリーディング実習	
第10回目	前半: 第4章 ライティング(続き) / 後半: SRAリーディング実習	
第11回目	前半: 第4章 ライティング(続き) / 後半: SRAリーディング実習	
第12回目	前半: 第4章 ライティング(続き) / 後半: SRAリーディング実習	
第13回目	前半: 第5章 発展 後半: SRAリーディング実習	
第14回目	前半: 第5章 発展(続き) / 後半: SRAリーディング実習	
第15回目	前半: 質疑応答(15分)と期末まとめテスト(30分) 後半: SRAリーディング実習(到達度確認)(45分)	

(学部科目 / Undergraduate Courses) 授業外学習の指示 / Recommendations for Private Study
(大学院科目 / Graduate Courses) 授業の方法 / Study Methods

教科書(指定された箇所)は各自で予習をすることを基本とし、授業では補足説明を行います。授業で取り上げなかった項目も含めて、まとめテストの出題範囲とします。

成績評価方法 / Grading Criteria and Method of Evaluation

種別 / Kind	割合 / Percentage	評価基準等 / Grading Criteria etc.
平常点評価	100 %	中間まとめテスト(第7回目)25% 期末まとめテスト(第15回目)25% SRA(学習記録とテスト(第15回目)50%)

このクラスの成績評価はC・Fのみである。

受講および研究に関するアドバイス / Advice to Students on Study and Research Methods

第1回授業で実施する測定にもとづいて学習を進めますので、必ず出席して下さい。QRコードシールを毎回忘れないように。この科目の履修をつうじて英語学習の楽しさを知り、必修科目の学習にも自信を持って取り組めるよう、ともに頑張りましょう。

教科書 / Textbooks

書名 / Title	出版社・ISBNコード・コメント / Author, Publisher, ISBN Code, Comment
A PASSAGE to ENGLISH 大学生のための基礎	九州大学大学院言語文化研究院英語 I 共通教科書編集委員会編 / 九州大学出版会

参考書 / Reference Books

参考になる WWW ページ / Web Pages Useful for Reference

「A PASSAGE TO ENGLISH 大学生のための基礎的英語学習情報」資料
<http://www.flc.kyushu-u.ac.jp/~passage/passage.html>

その他 / Others

英語総合講義(単位回復)(Z2)

13044

担当者名 / Instructor 吉岡 公美子

単位数 / Credit 2

授業の概要 / Course Outline

必修英語で2単位以上の未修得が発生した際にまず受講する、週1回の授業です。講義と実習をつうじて、英語という言葉、また英語圏文化についての理解を深め、英語学習上の弱点を克服することに資する科目です。

到達目標 / Attainment Objectives

大学生として必要な最低限度の英語運用能力をつける。
英語学習のコツをつかみ、自立した英語学習者となる。

履修しておくことが望まれる科目 / Required Preparatory Study

特になし。

授業スケジュール / Course Schedule

授業日(第N回)	テーマ / Theme	キーワード / Key Word
第1回目	前半: 授業の概要と導入 / 後半: SRA Starting Level Guide	
第2回目	前半: 第1章 英語の学習 / 後半: SRA Power Builder Starter	
第3回目	前半: 第2章 英語の音声 / 後半: SRAリーディング実習	
第4回目	前半: 第2章 英語の音声(続き) / 後半: SRAリーディング実習	
第5回目	前半: 第3章 リーディング / 後半: SRAリーディング実習	
第6回目	前半: 第3章 リーディング(続き) / 後半: SRAリーディング実習	
第7回目	前半: 第3章 リーディング(続き) / 後半: SRAリーディング実習	
第8回目	前半: 質疑応答(15分)と中間まとめテスト(30分) 後半: SRAリーディング実習(45分)	
第9回目	前半: 第4章 ライティング / 後半: SRAリーディング実習	
第10回目	前半: 第4章 ライティング(続き) / 後半: SRAリーディング実習	
第11回目	前半: 第4章 ライティング(続き) / 後半: SRAリーディング実習	
第12回目	前半: 第4章 ライティング(続き) / 後半: SRAリーディング実習	
第13回目	前半: 第5章 発展 後半: SRAリーディング実習	
第14回目	前半: 第5章 発展(続き) / 後半: SRAリーディング実習	
第15回目	前半: 質疑応答(15分)と期末まとめテスト(30分) 後半: SRAリーディング実習(到達度確認)(45分)	

(学部科目 / Undergraduate Courses) 授業外学習の指示 / Recommendations for Private Study
(大学院科目 / Graduate Courses) 授業の方法 / Study Methods

教科書(指定された箇所)は各自で予習をすることを基本とし、授業では補足説明を行います。授業で取り上げなかった項目も含めて、まとめテストの出題範囲とします。

成績評価方法 / Grading Criteria and Method of Evaluation

種別 / Kind	割合 / Percentage	評価基準等 / Grading Criteria etc.
平常点評価	100 %	中間まとめテスト(第7回目)25% 期末まとめテスト(第15回目)25% SRA(学習記録とテスト(第15回目)50%)

このクラスの成績評価はC・Fのみである。

受講および研究に関するアドバイス / Advice to Students on Study and Research Methods

第1回授業で実施する測定にもとづいて学習を進めますので、必ず出席して下さい。QRコードシールを毎回忘れないように。この科目の履修をつうじて英語学習の楽しさを知り、必修科目の学習にも自信を持って取り組めるよう、ともに頑張りましょう。

教科書 / Textbooks

書名 / Title	出版社・ISBNコード・コメント / Author, Publisher, ISBN Code, Comment
A PASSAGE to ENGLISH 大学生のための基礎	九州大学大学院言語文化研究院英語 I 共通教科書編集委員会編 / 九州大学出版会

参考書 / Reference Books

参考になる WWW ページ / Web Pages Useful for Reference

「A PASSAGE TO ENGLISH 大学生のための基礎的英語学習情報」資料
<http://www.flc.kyushu-u.ac.jp/~passage/passage.html>

その他 / Others

英語総合講義(単位回復)(Z3)

11988

担当者名 / Instructor 小林 香保里

単位数 / Credit 2

授業の概要 / Course Outline

必修英語で2単位以上の未修得が発生した際にまず受講する、週1回の授業です。講義と実習をつうじて、英語という言葉、また英語圏文化についての理解を深め、英語学習上の弱点を克服することに資する科目です。

到達目標 / Attainment Objectives

大学生として必要な最低限度の英語運用能力をつける。
英語学習のコツをつかみ、自立した英語学習者となる。

履修しておくことが望まれる科目 / Required Preparatory Study

特になし。

授業スケジュール / Course Schedule

授業日(第N回)	テーマ / Theme	キーワード / Key Word
第1回目	前半:授業の概要と導入/後半:SRA Starting Level Guide	
第2回目	前半:第1章 英語の学習/後半:SRA Power Builder Starter	
第3回目	前半:第2章 英語の音声/後半:SRAリーディング実習	
第4回目	前半:第2章 英語の音声(続き)/後半:SRAリーディング実習	
第5回目	前半:第3章 リーディング/後半:SRAリーディング実習	
第6回目	前半:第3章 リーディング(続き)/後半:SRAリーディング実習	
第7回目	前半:第3章 リーディング(続き)/後半:SRAリーディング実習	
第8回目	前半:質疑応答(15分)と中間まとめテスト(30分) 後半:SRAリーディング実習(45分)	
第9回目	前半:第4章 ライティング/後半:SRAリーディング実習	
第10回目	前半:第4章 ライティング(続き)/後半:SRAリーディング実習	
第11回目	前半:第4章 ライティング(続き)/後半:SRAリーディング実習	
第12回目	前半:第4章 ライティング(続き)/後半:SRAリーディング実習	
第13回目	前半:第5章 発展 後半:SRAリーディング実習	
第14回目	前半:第5章 発展(続き)/後半:SRAリーディング実習	
第15回目	前半:質疑応答(15分)と期末まとめテスト(30分) 後半:SRAリーディング実習(到達度確認)(45分)	

(学部科目 / Undergraduate Courses) 授業外学習の指示 / Recommendations for Private Study

(大学院科目 / Graduate Courses) 授業の方法 / Study Methods

教科書(指定された箇所)は各自で予習をすることを基本とし、授業では補足説明を行います。授業で取り上げなかった項目も含めて、まとめテストの出題範囲とします。

成績評価方法 / Grading Criteria and Method of Evaluation

種別 / Kind	割合 / Percentage	評価基準等 / Grading Criteria etc.
平常点評価	100 %	中間まとめテスト(第7回目)25% 期末まとめテスト(第15回目)25% SRA(学習記録とテスト(第15回目)50%

このクラスの成績評価はC・Fのみである。

受講および研究に関するアドバイス / Advice to Students on Study and Research Methods

第1回授業で実施する測定にもとづいて学習を進めますので、必ず出席して下さい。QRコードシールを毎回忘れないように。この科目の履修をつうじて英語学習の楽しさを知り、必修科目の学習にも自信を持って取り組めるよう、ともに頑張りましょう。

教科書 / Textbooks

書名 / Title

A PASSAGE to ENGLISH 大学生のための基礎
的英語学習情報

出版社・ISBNコード・コメント / Author, Publisher, ISBN Code, Comment

九州大学大学院言語文化研究院英語 I 共通教科書編集委員会編／九州大学出版会
／978-4-87378-939-2／全員が購入し、第2回以降の授業に毎回持参して下さい。

参考書 / Reference Books

参考になる WWW ページ / Web Pages Useful for Reference

「A PASSAGE TO ENGLISH 大学生のための基礎的英語学習情報」資料
<http://www.flc.kyushu-u.ac.jp/~passage/passage.html>

その他 / Others

英語総合講義(単位回復)(Z4)

13080

担当者名 / Instructor ランザ 一美

単位数 / Credit 2

授業の概要 / Course Outline

必修英語で2単位以上の未修得が発生した際にまず受講する、週1回の授業です。講義と実習をつうじて、英語という言葉、また英語圏文化についての理解を深め、英語学習上の弱点を克服することに資する科目です。

到達目標 / Attainment Objectives

大学生として必要な最低限度の英語運用能力をつける。
英語学習のコツをつかみ、自立した英語学習者となる。

履修しておくことが望まれる科目 / Required Preparatory Study

特になし。

授業スケジュール / Course Schedule

授業日(第N回)	テーマ / Theme	キーワード / Key Word
第1回目	前半: 授業の概要と導入 / 後半: SRA Starting Level Guide	
第2回目	前半: 第1章 英語の学習 / 後半: SRA Power Builder Starter	
第3回目	前半: 第2章 英語の音声 / 後半: SRAリーディング実習	
第4回目	前半: 第2章 英語の音声(続き) / 後半: SRAリーディング実習	
第5回目	前半: 第3章 リーディング / 後半: SRAリーディング実習	
第6回目	前半: 第3章 リーディング(続き) / 後半: SRAリーディング実習	
第7回目	前半: 第3章 リーディング(続き) / 後半: SRAリーディング実習	
第8回目	前半: 質疑応答(15分)と中間まとめテスト(30分) 後半: SRAリーディング実習(45分)	
第9回目	前半: 第4章 ライティング / 後半: SRAリーディング実習	
第10回目	前半: 第4章 ライティング(続き) / 後半: SRAリーディング実習	
第11回目	前半: 第4章 ライティング(続き) / 後半: SRAリーディング実習	
第12回目	前半: 第4章 ライティング(続き) / 後半: SRAリーディング実習	
第13回目	前半: 第5章 発展 後半: SRAリーディング実習	
第14回目	前半: 第5章 発展(続き) / 後半: SRAリーディング実習	
第15回目	前半: 質疑応答(15分)と期末まとめテスト(30分) 後半: SRAリーディング実習(到達度確認)(45分)	

(学部科目 / Undergraduate Courses) 授業外学習の指示 / Recommendations for Private Study
(大学院科目 / Graduate Courses) 授業の方法 / Study Methods

教科書(指定された箇所)は各自で予習をすることを基本とし、授業では補足説明を行います。授業で取り上げなかった項目も含めて、まとめテストの出題範囲とします。

成績評価方法 / Grading Criteria and Method of Evaluation

種別 / Kind	割合 / Percentage	評価基準等 / Grading Criteria etc.
平常点評価	100 %	中間まとめテスト(第7回目)25% 期末まとめテスト(第15回目)25% SRA(学習記録とテスト(第15回目)50%)

このクラスの成績評価はC・Fのみである。

受講および研究に関するアドバイス / Advice to Students on Study and Research Methods

第1回授業で実施する測定にもとづいて学習を進めますので、必ず出席して下さい。QRコードシールを毎回忘れないように。この科目の履修をつうじて英語学習の楽しさを知り、必修科目の学習にも自信を持って取り組めるよう、ともに頑張りましょう。

教科書 / Textbooks

書名 / Title	出版社・ISBNコード・コメント / Author, Publisher, ISBN Code, Comment
A PASSAGE to ENGLISH 大学生のための基礎	九州大学大学院言語文化研究院英語 I 共通教科書編集委員会編 / 九州大学出版会

参考書 / Reference Books

参考になる WWW ページ / Web Pages Useful for Reference

「A PASSAGE TO ENGLISH 大学生のための基礎的英語学習情報」資料
<http://www.flc.kyushu-u.ac.jp/~passage/passage.html>

その他 / Others

英語特別講義(単位回復)(Z1)

10573

担当者名 / Instructor 西山 淳子

単位数 / Credit 2

授業の概要 / Course Outline

時事英語のリスニングとリーディングを通じて、基本的な英語力を身につけ、記事で論じられる諸問題についての理解を深めてもらいます。

到達目標 / Attainment Objectives

リーディング・リスニングに力点を置きつつ、大学卒業までに最低限度身につけておきたい実践的な英語運用能力の習得。

履修しておくことが望まれる科目 / Required Preparatory Study

特になし。

授業スケジュール / Course Schedule

授業日(第N回)	テーマ / Theme	キーワード / Key Word
1	UNIT1	授業の進め方、時事英語の読み方、ニュースのリスニング
2	UNIT2	時事英語のリスニングとリーディング
3	UNIT3	時事英語のリスニングとリーディング
4	UNIT4	時事英語のリスニングとリーディング
5	UNIT5	時事英語のリスニングとリーディング
6	UNIT6	時事英語のリスニングとリーディング
7	UNIT1～6の確認テスト(50分)と解説(40分)	時事英語のリスニングとリーディング
8	UNIT7	時事英語のリスニングとリーディング
9	UNIT8	時事英語のリスニングとリーディング
10	UNIT9	時事英語のリスニングとリーディング
11	UNIT10	時事英語のリスニングとリーディング
12	UNIT11	時事英語のリスニングとリーディング
13	UNIT12	時事英語のリスニングとリーディング
14	UNIT13	時事英語のリスニングとリーディング
15	UNIT7～13の確認テスト(50分)と解説(40分)	時事英語のリスニングとリーディング

(学部科目 / Undergraduate Courses) 授業外学習の指示 / Recommendations for Private Study
 (大学院科目 / Graduate Courses) 授業の方法 / Study Method

英語読解、リスニング能力を高めるには、平日頃からインターネット等で公開されている英語のニュース等の記事を聴いたり、読むよう心がけていく必要があります。

成績評価方法 / Grading Criteria and Method of Evaluation

種別 / Kind	割合 / Percentage	評価基準等 / Grading Criteria etc.
平常点評価	100 %	授業参加、小テスト、提出物、確認テスト
出席および授業への参加を重視します。 このクラスの成績評価はC・Fのみである。		

受講および研究に関するアドバイス / Advice to Students on Study and Research Methods

教科書 / Textbooks

書名 / Title	出版社・ISBNコード・コメント / Author, Publisher, ISBN Code, Comment
Understanding the News in English	Sakae Onoda, Lucy Cooker / Kinseido / 978-4-7647-3870-6 /

参考書 / Reference Books

参考になる WWW ページ / Web Pages Useful for Reference

Japantimes <http://www.japantimes.co.jp/>
 Asahi <http://www.asahi.com/english/weekly/>
 Daily Yomiuri <http://www.yomiuri.co.jp/dy/>
 Mainich Daily News <http://mdn.mainichi.jp/>
 CNN <http://www.cnn.com/>
 USA Today <http://www.usatoday.com/>
 VOA <http://www.voanews.com/>

その他 / Others

QRコードシールを毎回忘れないように持参してください。

英語特別講義(単位回復)(Z2)

12001

担当者名 / Instructor 芝原 直美

単位数 / Credit 2

授業の概要 / Course Outline

We will study basic English by reading, listening to and shadowing various kinds of speeches of Barack Obama, mainly before he got into the Office, as the first black President of the USA.

到達目標 / Attainment Objectives

- To get used to reading, listening, & shadowing
- To review some important English grammar
- To get some useful information on reading skills & phonetic symbols/terms
- To get richer vocabulary

履修しておくことが望まれる科目 / Required Preparatory Study

授業スケジュール / Course Schedule

授業日(第N回)	テーマ / Theme	キーワード / Key Word
1	Orientation	How to read
2	Who is Barack Obama? (1)	Content Words, Functional Words
3	Who is Barack Obama? (2)	The Part of Speech
4	The Audacity of Hope (1)	Sentence Patterns
5	The Audacity of Hope (2)	Stress
6	The Audacity of Hope (3)	Pitch
7	The Audacity of Hope (4)	Intonation
8	The Audacity of Hope (5)	Melody
9	Neck and Neck in the Primaries	Reading Strategies
10	The American Promise (1)	Tense
11	The American Promise (2)	Subjects
12	Change Has Come to America (1)	Verbs
13	Change Has Come to America (2)	Pronouns
14	Change Has Come to America (3)	Vocabulary
15	Review (30 minutes) Final Test (60 minutes)	Be critical.

(学部科目 / Undergraduate Courses) 授業外学習の指示 / Recommendations for Private Study
(大学院科目 / Graduate Courses) 授業の方法 / Study Method

成績評価方法 / Grading Criteria and Method of Evaluation

種別 / Kind	割合 / Percentage	評価基準等 / Grading Criteria etc.
平常点評価	100 %	40% Attendance, Hard working, Contribution to class activities, "Short Writing on the Topic" in class. 60% Paper Test in the 15th (last) lecture

このクラスの成績評価はC・Fのみである。

受講および研究に関するアドバイス / Advice to Students on Study and Research Methods

Bring your English-English / English-Japanese dictionary with you to study hard every class.

教科書 / Textbooks

書名 / Title	出版社・ISBNコード・コメント / Author, Publisher, ISBN Code, Comment
オバマ演説集	CNN EnglishExpress 編集部／朝日出版社／978-4-255-00451-8 / CD付

参考書 / Reference Books

Available good sites are shown in class.

参考になる WWW ページ / Web Pages Useful for Reference

<http://www.america.gov/st/usg-english/>

その他 / Others

英語特別講義(単位回復)(Z3)

10689

担当者名 / Instructor ランザ 一美

単位数 / Credit 2

授業の概要 / Course Outline

入植以来現在に至るまでのアメリカ文化、社会を様々な角度から紹介するビデオ教材を用いて、リスニング、リーディング作業を中心に英語力の総合的な向上を目指す。教材はVOA-TVの番組から収録された、人種問題、市民権運動、ボランティア活動、音楽、映画、スポーツなどのトピックを扱ったものである。基本的な英語力をつけるとともに、アメリカの文化、社会について学ぶ。

到達目標 / Attainment Objectives

- ・リーディング、リスニングに力点を置きつつ、4技能の伸長を図る。
- ・大学卒業までに最低限度身につけておきたい英語運用能力を総合的に補強する。

履修しておくことが望まれる科目 / Required Preparatory Study

授業スケジュール / Course Schedule

授業日(第N回)	テーマ / Theme	キーワード / Key Word
1	オリエンテーション(授業の到達目標、進め方、成績評価等について)	
2	Unit 1 The Melting Pot	
3	Unit 3 Native Americans	
4	Unit 3 Native Americans	
5	Unit 4 Road Trip USA	
6	Unit 5 Mississippi River	
7	Unit 6 The Civil Rights Movement	
8	Unit 1~6 Review(30分); 中間テスト(60分)	
9	Unit 7 Charity and Volunteers	
10	Unit 8 Hollywood and the Academy Awards	
11	Unit 9 Jazz	
12	Unit 10 Modern Baseball	
13	Unit 11 The World of Disney	
14	Unit 12 Country Music	
15	Unit 7~12 Review(30分); 期末テスト(60分)	

(学部科目 / Undergraduate Courses) 授業外学習の指示 / Recommendations for Private Study
 (大学院科目 / Graduate Courses) 授業の方法 / Study Method

成績評価方法 / Grading Criteria and Method of Evaluation

種別 / Kind	割合 / Percentage	評価基準等 / Grading Criteria etc.
平常点評価	100 %	中間・期末テスト 60% 授業参加(小テストの受験、授業中の作業状況を確認できるワークシートの提出) 40%
このクラスの成績評価はC・Fのみである。		

受講および研究に関するアドバイス / Advice to Students on Study and Research Methods

教科書 / Textbooks

書名 / Title	出版社・ISBNコード・コメント / Author, Publisher, ISBN Code, Comment
American Culture	John S. Lander / 朝日出版 / 4255154155 /

参考書 / Reference Books

参考になる WWW ページ / Web Pages Useful for Reference

その他 / Others

英語特別講義(単位回復)(Z4)

12008

担当者名 / Instructor 芝原 直美

単位数 / Credit 2

授業の概要 / Course Outline

We will study some basic English grammar, reading strategies, and some useful information about Australia or Australian English.

到達目標 / Attainment Objectives

- To get used to read easy Australian English.
- To review basic English grammar.

履修しておくことが望まれる科目 / Required Preparatory Study

授業スケジュール / Course Schedule

授業日(第N回)	テーマ / Theme	キーワード / Key Word
1	Orientation	How to read
2	Australian Beginnings (1)	Terra Australis
3	Australian Beginnings (2)	Settlement
4	Australian Beginnings (3)	Industry
5	Australian Beginnings (4)	Downunder Lifestyle
6	Natural Surroundings (1)	Ayers Rock
7	Natural Surroundings (2)	The Great Barrier Reef
8	Natural Surroundings (3)	Homestead
9	Natural Surroundings (4)	Downunder Nature
10	Today's Developments (1)	Sydney
11	Today's Developments (2)	Melbourne
12	Today's Developments (3)	Brisbane
13	Today's Developments (4)	Cairns
14	Today's Developments (5)	Multiculturalism
15	The Final Test(60 minutes). Review (30 minutes).	Checking Grammar

(学部科目 / Undergraduate Courses) 授業外学習の指示 / Recommendations for Private Study

(大学院科目 / Graduate Courses) 授業の方法 / Study Method

成績評価方法 / Grading Criteria and Method of Evaluation

種別 / Kind	割合 / Percentage	評価基準等 / Grading Criteria etc.
平常点評価	100 %	60% Paper Test in the 15th(last) lecture. 40% Attendance, Hard working, Contribution to class activities, Short Writing on the topic in class.

このクラスの成績評価はC・Fのみである。

受講および研究に関するアドバイス / Advice to Students on Study and Research Methods

Bring your English-English / English-Japanese dictionary with you to study hard every class.

教科書 / Textbooks

書名 / Title	出版社・ISBNコード・コメント / Author, Publisher, ISBN Code, Comment
Features and Aspects of Australia 21	松原健二、松原浩子、Oliver Carter / 南雲堂 / 978-4-523-17594-0 /

参考書 / Reference Books

Available good sites are shown in class.

参考になる WWW ページ / Web Pages Useful for Reference

その他 / Others

英語読解演習1(単位回復)(Z1)

11981

担当者名 / Instructor 五十川 敬子

単位数 / Credit 1

授業の概要 / Course Outline

実務レベルの基本的読解能力の養成

この講座では、本学で独自に開発した読解演習用ソフトウェアとウェブページで英語学習者向けに公開されている記事を読み進めることによって、情報ソースとしての英文を日本語を介すること直接読み進めていく能力の養成を図るものである。

到達目標 / Attainment Objectives

情報ソースとしての英文を、迅速にかつ正確に処理していくための基本的読解能力の確立。

履修しておくことが望まれる科目 / Required Preparatory Study

各学部で履修が指定されている英語の科目を出来るだけ多く単位取得しておくこと。

授業スケジュール / Course Schedule

授業日(第N回)	テーマ / Theme	キーワード / Key Word
1	ソフトによる学習+当日インターネット上で公開されている記事	英文読解
2	ソフトによる学習+当日インターネット上で公開されている記事	英文読解
3	ソフトによる学習+当日インターネット上で公開されている記事	英文読解
4	ソフトによる学習+当日インターネット上で公開されている記事	英文読解
5	ソフトによる学習+当日インターネット上で公開されている記事	英文読解
6	ソフトによる学習+当日インターネット上で公開されている記事	英文読解
7	前半総合演習+検証テスト1	英文読解
8	ソフトによる学習+当日インターネット上で公開されている記事	英文読解
9	ソフトによる学習+当日インターネット上で公開されている記事	英文読解
10	ソフトによる学習+当日インターネット上で公開されている記事	英文読解
11	ソフトによる学習+当日インターネット上で公開されている記事	英文読解
12	ソフトによる学習+当日インターネット上で公開されている記事	英文読解
13	ソフトによる学習+当日インターネット上で公開されている記事	英文読解
14	後半総合演習+検証テスト2	英文読解
15	総合演習	英文読解、ソフトを使用した読解の総合演習

(学部科目 / Undergraduate Courses) 授業外学習の指示 / Recommendations for Private Study

(大学院科目 / Graduate Courses) 授業の方法 / Study Methods

英語読解能力を高めるには、常日頃からインターネット等で公開されている英語のニュース等の記事を読むよう心がけていく必要があります。

成績評価方法 / Grading Criteria and Method of Evaluation

種別 / Kind	割合 / Percentage	評価基準等 / Grading Criteria etc.
平常点評価	100 %	クラス内での通常の学習態度に加え、小テスト、中間テスト、期末テスト、レポート、発表なども評価に加えられる。
このクラスの成績評価はC・Fのみである。		

受講および研究に関するアドバイス / Advice to Students on Study and Research Methods

教科書 / Textbooks

ソフトとウェブを利用した授業を行う。ソフト等の機材は大学側で用意する。

参考書 / Reference Books

授業中に指示する。

参考になる WWW ページ / Web Pages Useful for Reference

Japantimes <http://www.japantimes.co.jp/>
Asahi <http://www.asahi.com/>
Daily Yomiuri <http://www.yomiuri.co.jp/dy/>
Mainich Daily News <http://mdn.mainichi.jp/>
CNN <http://www.cnn.com/>
USA Today <http://www.usatoday.com/>
VOA <http://www.voanews.com/>

その他 / Others

ソフトウェアは大学の財産です。絶対に持ち帰らないようにしてください。

英語読解演習1(単位回復)(Z2)

13045

担当者名 / Instructor 徳本 恵

単位数 / Credit 1

授業の概要 / Course Outline

実務レベルの基本的読解能力の養成

この講座では、本学で独自に開発した読解演習用ソフトウェアとウェブページで英語学習者向けに公開されている記事を読み進めることによって、情報ソースとしての英文を日本語を介すること直接読み進めていく能力の養成を図るものである。

到達目標 / Attainment Objectives

情報ソースとしての英文を、迅速にかつ正確に処理していくための基本的読解能力の確立。

履修しておくことが望まれる科目 / Required Preparatory Study

各学部で履修が指定されている英語の科目を出来るだけ多く単位取得しておくこと。

授業スケジュール / Course Schedule

授業日(第N回)	テーマ / Theme	キーワード / Key Word
1	ソフトによる学習+当日インターネット上で公開されている記事	英文読解
2	ソフトによる学習+当日インターネット上で公開されている記事	英文読解
3	ソフトによる学習+当日インターネット上で公開されている記事	英文読解
4	ソフトによる学習+当日インターネット上で公開されている記事	英文読解
5	ソフトによる学習+当日インターネット上で公開されている記事	英文読解
6	ソフトによる学習+当日インターネット上で公開されている記事	英文読解
7	前半総合演習+検証テスト1	英文読解
8	ソフトによる学習+当日インターネット上で公開されている記事	英文読解
9	ソフトによる学習+当日インターネット上で公開されている記事	英文読解
10	ソフトによる学習+当日インターネット上で公開されている記事	英文読解
11	ソフトによる学習+当日インターネット上で公開されている記事	英文読解
12	ソフトによる学習+当日インターネット上で公開されている記事	英文読解
13	ソフトによる学習+当日インターネット上で公開されている記事	英文読解
14	後半総合演習+検証テスト2	英文読解
15	総合演習	英文読解、ソフトを使用した読解の総合演習

(学部科目 / Undergraduate Courses) 授業外学習の指示 / Recommendations for Private Study

(大学院科目 / Graduate Courses) 授業の方法 / Study Method

英語読解能力を高めるには、常日頃からインターネット等で公開されている英語のニュース等の記事を読むよう心がけていく必要があります。

成績評価方法 / Grading Criteria and Method of Evaluation

種別 / Kind	割合 / Percentage	評価基準等 / Grading Criteria etc.
平常点評価	100 %	クラス内での通常の学習態度に加え、小テスト、中間テスト、期末テスト、レポート、発表なども評価に加えられる。
このクラスの成績評価はC・Fのみである。		

受講および研究に関するアドバイス / Advice to Students on Study and Research Methods

教科書 / Textbooks

ソフトとウェブを利用した授業を行う。ソフト等の機材は大学側で用意する。

参考書 / Reference Books

授業中に指示する。

参考になる WWW ページ / Web Pages Useful for Reference

Japantimes <http://www.japantimes.co.jp/>
Asahi <http://www.asahi.com/>
Daily Yomiuri <http://www.yomiuri.co.jp/dy/>
Mainich Daily News <http://mdn.mainichi.jp/>
CNN <http://www.cnn.com/>
USA Today <http://www.usatoday.com/>
VOA <http://www.voanews.com/>

その他 / Others

ソフトウェアは大学の財産です。絶対に持ち帰らないようにしてください。

英語読解演習1(単位回復)(Z3)

13047

担当者名 / Instructor 佐藤 渉

単位数 / Credit 1

授業の概要 / Course Outline

実務レベルの基本的読解能力の養成

この講座では、本学で独自に開発した読解演習用ソフトウェアとウェブページで英語学習者向けに公開されている記事を読み進めることによって、情報ソースとしての英文を日本語を介すること直接読み進めていく能力の養成を図るものである。

到達目標 / Attainment Objectives

情報ソースとしての英文を、迅速にかつ正確に処理していくための基本的読解能力の確立。

履修しておくことが望まれる科目 / Required Preparatory Study

各学部で履修が指定されている英語の科目を出来るだけ多く単位取得しておくこと。

授業スケジュール / Course Schedule

授業日(第N回)	テーマ / Theme	キーワード / Key Word
1	ソフトによる学習+当日インターネット上で公開されている記事	英文読解
2	ソフトによる学習+当日インターネット上で公開されている記事	英文読解
3	ソフトによる学習+当日インターネット上で公開されている記事	英文読解
4	ソフトによる学習+当日インターネット上で公開されている記事	英文読解
5	ソフトによる学習+当日インターネット上で公開されている記事	英文読解
6	ソフトによる学習+当日インターネット上で公開されている記事	英文読解
7	前半総合演習+検証テスト1	英文読解
8	ソフトによる学習+当日インターネット上で公開されている記事	英文読解
9	ソフトによる学習+当日インターネット上で公開されている記事	英文読解
10	ソフトによる学習+当日インターネット上で公開されている記事	英文読解
11	ソフトによる学習+当日インターネット上で公開されている記事	英文読解
12	ソフトによる学習+当日インターネット上で公開されている記事	英文読解
13	ソフトによる学習+当日インターネット上で公開されている記事	英文読解
14	後半総合演習+検証テスト2	英文読解
15	総合演習	英文読解、ソフトを使用した読解の総合演習

(学部科目 / Undergraduate Courses) 授業外学習の指示 / Recommendations for Private Study

(大学院科目 / Graduate Courses) 授業の方法 / Study Methods

英語読解能力を高めるには、常日頃からインターネット等で公開されている英語のニュース等の記事を読むよう心がけていく必要があります。

成績評価方法 / Grading Criteria and Method of Evaluation

種別 / Kind	割合 / Percentage	評価基準等 / Grading Criteria etc.
平常点評価	100 %	クラス内での通常の学習態度に加え、小テスト、中間テスト、期末テスト、レポート、発表なども評価に加えられる。

このクラスの成績評価はC・Fのみである。

受講および研究に関するアドバイス / Advice to Students on Study and Research Methods

教科書 / Textbooks

ソフトとウェブを利用した授業を行う。ソフト等の機材は大学側で用意する。

参考書 / Reference Books

授業中に指示する。

参考になる WWW ページ / Web Pages Useful for Reference

Japantimes <http://www.japantimes.co.jp/>
Asahi <http://www.asahi.com/>
Daily Yomiuri <http://www.yomiuri.co.jp/dy/>
Mainich Daily News <http://mdn.mainichi.jp/>
CNN <http://www.cnn.com/>
USA Today <http://www.usatoday.com/>
VOA <http://www.voanews.com/>

その他 / Others

ソフトウェアは大学の財産です。絶対に持ち帰らないようにしてください。

英語読解演習2(単位回復) (Z1)

11989

担当者名 / Instructor 五十川 敬子

単位数 / Credit 1

授業の概要 / Course Outline

実務レベルの基本的読解能力の養成

この講座では、本学で独自に開発した読解演習用ソフトウェアとウェブページで英語学習者向けに公開されている記事を読み進めることによって、情報ソースとしての英文を日本語を介すること直接読み進めていく能力の養成を図るものである。

到達目標 / Attainment Objectives

情報ソースとしての英文を、迅速にかつ正確に処理していくための基本的読解能力の確立。

履修しておくことが望まれる科目 / Required Preparatory Study

各学部で履修が指定されている英語の科目を出来るだけ多く単位取得しておくこと。

授業スケジュール / Course Schedule

授業日(第N回)	テーマ / Theme	キーワード / Key Word
1	ソフトによる学習+当日インターネット上で公開されている記事	英文読解
2	ソフトによる学習+当日インターネット上で公開されている記事	英文読解
3	ソフトによる学習+当日インターネット上で公開されている記事	英文読解
4	ソフトによる学習+当日インターネット上で公開されている記事	英文読解
5	ソフトによる学習+当日インターネット上で公開されている記事	英文読解
6	ソフトによる学習+当日インターネット上で公開されている記事	英文読解
7	前半総合演習+検証テスト1	英文読解
8	ソフトによる学習+当日インターネット上で公開されている記事	英文読解
9	ソフトによる学習+当日インターネット上で公開されている記事	英文読解
10	ソフトによる学習+当日インターネット上で公開されている記事	英文読解
11	ソフトによる学習+当日インターネット上で公開されている記事	英文読解
12	ソフトによる学習+当日インターネット上で公開されている記事	英文読解
13	ソフトによる学習+当日インターネット上で公開されている記事	英文読解
14	後半総合演習+検証テスト2	英文読解
15	総合演習	英文読解、ソフトを使用した読解の総合演習

(学部科目 / Undergraduate Courses) 授業外学習の指示 / Recommendations for Private Study

(大学院科目 / Graduate Courses) 授業の方法 / Study Method

英語読解能力を高めるには、常日頃からインターネット等で公開されている英語のニュース等の記事を読むよう心がけていく必要があります。

成績評価方法 / Grading Criteria and Method of Evaluation

種別 / Kind	割合 / Percentage	評価基準等 / Grading Criteria etc.
平常点評価	100 %	クラス内での通常の学習態度に加え、小テスト、中間テスト、期末テスト、レポート、発表なども評価に加えられる。
このクラスの成績評価はC・Fのみである。		

受講および研究に関するアドバイス / Advice to Students on Study and Research Methods

教科書 / Textbooks

ソフトとウェブを利用した授業を行う。ソフト等の機材は大学側で用意する。

参考書 / Reference Books

授業中に指示する。

参考になる WWW ページ / Web Pages Useful for Reference

Japantimes <http://www.japantimes.co.jp/>
Asahi <http://www.asahi.com/>
Daily Yomiuri <http://www.yomiuri.co.jp/dy/>
Mainich Daily News <http://mdn.mainichi.jp/>
CNN <http://www.cnn.com/>
USA Today <http://www.usatoday.com/>
VOA <http://www.voanews.com/>

その他 / Others

ソフトウェアは大学の財産です。絶対に持ち帰らないようにしてください。

英語読解演習2(単位回復)(Z2)

13081

担当者名 / Instructor 徳本 恵

単位数 / Credit 1

授業の概要 / Course Outline

実務レベルの基本的読解能力の養成

この講座では、本学で独自に開発した読解演習用ソフトウェアとウェブページで英語学習者向けに公開されている記事を読み進めることによって、情報ソースとしての英文を日本語を介すること直接読み進めていく能力の養成を図るものである。

到達目標 / Attainment Objectives

情報ソースとしての英文を、迅速にかつ正確に処理していくための基本的読解能力の確立。

履修しておくことが望まれる科目 / Required Preparatory Study

各学部で履修が指定されている英語の科目を出来るだけ多く単位取得しておくこと。

授業スケジュール / Course Schedule

授業日(第N回)	テーマ / Theme	キーワード / Key Word
1	ソフトによる学習+当日インターネット上で公開されている記事	英文読解
2	ソフトによる学習+当日インターネット上で公開されている記事	英文読解
3	ソフトによる学習+当日インターネット上で公開されている記事	英文読解
4	ソフトによる学習+当日インターネット上で公開されている記事	英文読解
5	ソフトによる学習+当日インターネット上で公開されている記事	英文読解
6	ソフトによる学習+当日インターネット上で公開されている記事	英文読解
7	前半総合演習+検証テスト1	英文読解
8	ソフトによる学習+当日インターネット上で公開されている記事	英文読解
9	ソフトによる学習+当日インターネット上で公開されている記事	英文読解
10	ソフトによる学習+当日インターネット上で公開されている記事	英文読解
11	ソフトによる学習+当日インターネット上で公開されている記事	英文読解
12	ソフトによる学習+当日インターネット上で公開されている記事	英文読解
13	ソフトによる学習+当日インターネット上で公開されている記事	英文読解
14	後半総合演習+検証テスト2	英文読解
15	総合演習	英文読解、ソフトを使用した読解の総合演習

(学部科目 / Undergraduate Courses) 授業外学習の指示 / Recommendations for Private Study

(大学院科目 / Graduate Courses) 授業の方法 / Study Method

英語読解能力を高めるには、常日頃からインターネット等で公開されている英語のニュース等の記事を読むよう心がけていく必要があります。

成績評価方法 / Grading Criteria and Method of Evaluation

種別 / Kind	割合 / Percentage	評価基準等 / Grading Criteria etc.
平常点評価	100 %	クラス内での通常の学習態度に加え、小テスト、中間テスト、期末テスト、レポート、発表なども評価に加えられる。
このクラスの成績評価はC・Fのみである。		

受講および研究に関するアドバイス / Advice to Students on Study and Research Methods

教科書 / Textbooks

ソフトとウェブを利用した授業を行う。ソフト等の機材は大学側で用意する。

参考書 / Reference Books

授業中に指示する。

参考になる WWW ページ / Web Pages Useful for Reference

Japantimes <http://www.japantimes.co.jp/>
Asahi <http://www.asahi.com/>
Daily Yomiuri <http://www.yomiuri.co.jp/dy/>
Mainich Daily News <http://mdn.mainichi.jp/>
CNN <http://www.cnn.com/>
USA Today <http://www.usatoday.com/>
VOA <http://www.voanews.com/>

その他 / Others

ソフトウェアは大学の財産です。絶対に持ち帰らないようにしてください。

英語読解演習2(単位回復) (Z3)

10691

担当者名 / Instructor 西山 淳子

単位数 / Credit 1

授業の概要 / Course Outline

実務レベルの基本的読解能力の養成

この講座では、本学で独自に開発した読解演習用ソフトウェアとウェブページで英語学習者向けに公開されている記事を読み進めることによって、情報ソースとしての英文を日本語を介すること直接読み進めていく能力の養成を図るものである。

到達目標 / Attainment Objectives

情報ソースとしての英文を、迅速にかつ正確に処理していくための基本的読解能力の確立。

履修しておくことが望まれる科目 / Required Preparatory Study

各学部で履修が指定されている英語の科目を出来るだけ多く単位取得しておくこと。

授業スケジュール / Course Schedule

授業日(第N回)	テーマ / Theme	キーワード / Key Word
1	ソフトによる学習+当日インターネット上で公開されている記事	英文読解
2	ソフトによる学習+当日インターネット上で公開されている記事	英文読解
3	ソフトによる学習+当日インターネット上で公開されている記事	英文読解
4	ソフトによる学習+当日インターネット上で公開されている記事	英文読解
5	ソフトによる学習+当日インターネット上で公開されている記事	英文読解
6	ソフトによる学習+当日インターネット上で公開されている記事	英文読解
7	前半総合演習+検証テスト1	英文読解
8	ソフトによる学習+当日インターネット上で公開されている記事	英文読解
9	ソフトによる学習+当日インターネット上で公開されている記事	英文読解
10	ソフトによる学習+当日インターネット上で公開されている記事	英文読解
11	ソフトによる学習+当日インターネット上で公開されている記事	英文読解
12	ソフトによる学習+当日インターネット上で公開されている記事	英文読解
13	ソフトによる学習+当日インターネット上で公開されている記事	英文読解
14	後半総合演習+検証テスト2	英文読解
15	総合演習	英文読解、ソフトを使用した読解の総合演習

(学部科目 / Undergraduate Courses) 授業外学習の指示 / Recommendations for Private Study

(大学院科目 / Graduate Courses) 授業の方法 / Study Methods

英語読解能力を高めるには、常日頃からインターネット等で公開されている英語のニュース等の記事を読むよう心がけていく必要があります。

成績評価方法 / Grading Criteria and Method of Evaluation

種別 / Kind	割合 / Percentage	評価基準等 / Grading Criteria etc.
平常点評価	100 %	クラス内での通常の学習態度に加え、小テスト、中間テスト、期末テスト、レポート、発表なども評価に加えられる。

このクラスの成績評価はC・Fのみである。

受講および研究に関するアドバイス / Advice to Students on Study and Research Methods

教科書 / Textbooks

ソフトとウェブを利用した授業を行う。ソフト等の機材は大学側で用意する。

参考書 / Reference Books

授業中に指示する。

参考になる WWW ページ / Web Pages Useful for Reference

Japantimes <http://www.japantimes.co.jp/>
Asahi <http://www.asahi.com/>
Daily Yomiuri <http://www.yomiuri.co.jp/dy/>
Mainich Daily News <http://mdn.mainichi.jp/>
CNN <http://www.cnn.com/>
USA Today <http://www.usatoday.com/>
VOA <http://www.voanews.com/>

その他 / Others

ソフトウェアは大学の財産です。絶対に持ち帰らないようにしてください。

スペイン語・応用I (2A)

11427

担当者名 / Instructor VALLS LLUIS

単位数 / Credit 1

授業の概要 / Course Outline

Se integran y amplían los conocimientos adquiridos en los cursos anteriores, consolidando la competencia lingüística y comunicativa. Para ello, se crean situaciones de comunicación realistas para practicar las cuatro destrezas en español, y se estudia el vocabulario y la gramática necesarios en dichas situaciones.

到達目標 / Attainment Objectives

Ser capaz de describir y narrar hechos en diferentes momentos temporales, describir sentimientos y estados de ánimo, hablar de planes y deseos, expresar opiniones, y desenvolverse en situaciones cotidianas.

履修しておくことが望まれる科目 / Required Preparatory Study

授業スケジュール / Course Schedule

授業日(第N回)	テーマ / Theme	キーワード / Key Word
1	Introducción y presentaciones. (Unidad 1)	Saludos, presentaciones, vocabulario sobre actividades diarias, vocabulario sobre aficiones, gustar.
2	Explicar las vacaciones. (Unidad 1)	Vocabulario sobre las vacaciones, pretérito indefinido.
3	Conocer la vida de nuestros compañeros. (Unidad 2)	Vocabulario sobre acontecimientos vitales, querer, pretérito indefinido, pretérito imperfecto, interrogativos.
4	Hablar sobre momentos importantes de nuestra vida y de la historia. (Unidad 2) *	Fechas y números, vocabulario sobre acontecimientos históricos, pretérito indefinido, pretérito imperfecto.
5	Describir personas y experiencias. (Unidad 3)	Vocabulario sobre la personalidad, vocabulario sobre la familia, vocabulario para valorar hechos, ser/estar+adjetivo, pretérito perfecto.
6	Hablar de costumbres sociales y de obligaciones. (Unidad 3)	Vocabulario sobre costumbres y normas sociales, hay que, (no) se puede.
7	Hablar del futuro y realizar predicciones. (Unidad 4)	Vocabulario sobre la vivienda y la decoración, vocabulario sobre acontecimientos vitales e históricos, me gustaría+infinitivo, futuro imperfecto, condicionales.
8	Hablar sobre regalos. (Unidad 4)	Vocabulario sobre regalos, pronombres de objeto directo e indirecto.
9	Permisos y favores.*	Puedo+infinitivo, puedes+infinitivo, imperativo para dar permiso, lo siento, es que...(explicación del motivo para denegar permiso).
10	Hablar de hábitos y circunstancias en el pasado. (Unidad 5)	Pretérito imperfecto.
11	Comparar. (Unidad 5)	Comparativos y superlativos, instrucciones
12	Anunciarse, comprar y vender. (Unidad 6)	Vocabulario y expresiones para anuncios, diálogos por teléfono, algo/nada, alguien/nadie, algún/ningún
13	Dar instrucciones para cocinar. (Unidad 6)	Vocabulario de cocina, impersonales con se.
14	Repaso del curso 1.*	
15	Repaso del curso 2 y examen final.*	

(学部科目 / Undergraduate Courses) 授業外学習の指示 / Recommendations for Private Study

(大学院科目 / Graduate Courses) 授業の方法 / Study Method

成績評価方法 / Grading Criteria and Method of Evaluation

種別 / Kind	割合 / Percentage	評価基準等 / Grading Criteria etc.
平常点評価	100 %	
詳しくは担当者から説明する。		

受講および研究に関するアドバイス / Advice to Students on Study and Research Methods

教科書 / Textbooks

書名 / Title	出版社・ISBNコード・コメント / Author, Publisher, ISBN Code, Comment
Español en marcha 2. Libro del alumno	Francisca Castro Viúdez, Ignacio Roderio Díez, Carmen Sardinero Franco / SGEL / 84-9778-273-9 /

参考書 / Reference Books

参考になる WWW ページ / Web Pages Useful for Reference

その他 / Others

スペイン語・応用I (2B)

11233

担当者名 / Instructor ARRIETA DANIEL

単位数 / Credit 1

授業の概要 / Course Outline

Se integran y amplían los conocimientos adquiridos en los cursos anteriores, consolidando la competencia lingüística y comunicativa. Para ello, se crean situaciones de comunicación realistas para practicar las cuatro destrezas en español, y se estudia el vocabulario y la gramática necesarios en dichas situaciones.

到達目標 / Attainment Objectives

Ser capaz de describir y narrar hechos en diferentes momentos temporales, describir sentimientos y estados de ánimo, hablar de planes y deseos, expresar opiniones, y desenvolverse en situaciones cotidianas.

履修しておくことが望まれる科目 / Required Preparatory Study

授業スケジュール / Course Schedule

授業日(第N回)	テーマ / Theme	キーワード / Key Word
1	Introducción y presentaciones. (Unidad 1)	Saludos, presentaciones, vocabulario sobre actividades diarias, vocabulario sobre aficiones, gustar.
2	Explicar las vacaciones. (Unidad 1)	Vocabulario sobre las vacaciones, pretérito indefinido.
3	Conocer la vida de nuestros compañeros. (Unidad 2)	Vocabulario sobre acontecimientos vitales, querer, pretérito indefinido, pretérito imperfecto, interrogativos.
4	Hablar sobre momentos importantes de nuestra vida y de la historia. (Unidad 2) *	Fechas y números, vocabulario sobre acontecimientos históricos, pretérito indefinido, pretérito imperfecto.
5	Describir personas y experiencias. (Unidad 3)	Vocabulario sobre la personalidad, vocabulario sobre la familia, vocabulario para valorar hechos, ser/estar+adjetivo, pretérito perfecto.
6	Hablar de costumbres sociales y de obligaciones. (Unidad 3)	Vocabulario sobre costumbres y normas sociales, hay que, (no) se puede.
7	Hablar del futuro y realizar predicciones. (Unidad 4)	Vocabulario sobre la vivienda y la decoración, vocabulario sobre acontecimientos vitales e históricos, me gustaría+infinitivo, futuro imperfecto, condicionales.
8	Hablar sobre regalos. (Unidad 4)	Vocabulario sobre regalos, pronombres de objeto directo e indirecto.
9	Permisos y favores.*	Puedo+infinitivo, puedes+infinitivo, imperativo para dar permiso, lo siento, es que...(explicación del motivo para denegar permiso).
10	Hablar de hábitos y circunstancias en el pasado. (Unidad 5)	Pretérito imperfecto.
11	Comparar. (Unidad 5)	Comparativos y superlativos, instrucciones
12	Anunciarse, comprar y vender. (Unidad 6)	Vocabulario y expresiones para anuncios, diálogos por teléfono, algo/nada, alguien/nadie, algún/ningún
13	Dar instrucciones para cocinar. (Unidad 6)	Vocabulario de cocina, impersonales con se.
14	Repaso del curso 1.*	
15	Repaso del curso 2 y examen final.*	

(学部科目 / Undergraduate Courses) 授業外学習の指示 / Recommendations for Private Study

(大学院科目 / Graduate Courses) 授業の方法 / Study Methods

成績評価方法 / Grading Criteria and Method of Evaluation

種別 / Kind	割合 / Percentage	評価基準等 / Grading Criteria etc.
平常点評価	100 %	

受講および研究に関するアドバイス / Advice to Students on Study and Research Methods

教科書 / Textbooks

書名 / Title	出版社・ISBNコード・コメント / Author, Publisher, ISBN Code, Comment
Español en marcha 2. Libro del alumno	Francisca Castro Viúdez, Ignacio Roderio Díez, Carmen Sardinero Franco / SGEL / 84-9778-273-9 /

参考書 / Reference Books

参考になる WWW ページ / Web Pages Useful for Reference

その他 / Others

スペイン語・応用Ⅱ (2A)

11509

担当者名 / Instructor VALLS LLUIS

単位数 / Credit 1

授業の概要 / Course Outline

Se integran y amplían los conocimientos adquiridos en los cursos anteriores, consolidando la competencia lingüística y comunicativa. Para ello, se crean situaciones de comunicación realistas para practicar las cuatro destrezas en español, y se estudia el vocabulario y la gramática necesarios en dichas situaciones.

到達目標 / Attainment Objectives

Ser capaz de describir y narrar hechos en diferentes momentos temporales, describir sentimientos y estados de ánimo, hablar de planes y deseos, expresar opiniones, y desenvolverse en situaciones cotidianas.

履修しておくことが望まれる科目 / Required Preparatory Study

授業スケジュール / Course Schedule

授業日(第N回)	テーマ / Theme	キーワード / Key Word
1	Introducción y presentaciones.*	
2	Repaso del curso anterior.*	
3	Dar y pedir consejos. (Unidad 7)	Vocabulario sobre estados de ánimo y la salud, imperativo afirmativo y negativo, ser/estar.
4	Expresar deseos. (Unidad 7)	Expresiones para expresar deseos, presente de subjuntivo.
5	Hablar de las condiciones de trabajo y estudio. (Unidad 8)*	Vocabulario sobre actividades del trabajo y los estudios, vocabulario sobre profesiones y estudios, expresiones de frecuencia, adverbios de cantidad.
6	Explicar sucesos. (Unidad 8)	Pretérito imperfecto de estar + gerundio, pretérito pluscuamperfecto.
7	Excusas y mensajes. (Unidad 8)*	Estilo indirecto.
8	Hablar sobre el tiempo libre. (Unidad 9)	Vocabulario sobre actividades del tiempo libre, llevar+gerundio, pretérito indefinido/pretérito imperfecto.
9	Opinar. (Unidad 9)	A mí me parece, yo creo/pienso, (no) me interesa, a mí también/tampoco.
10	Describir lugares y el clima.*	Adjetivos para describir ciudades, regiones y países, expresiones para expresar la situación geográfica, vocabulario para describir el paisaje, vocabulario sobre el clima, hace+sustantivo, está+participio, llover, nevar, muy, mucho, bastante, poco, vocabulario para explicar los productos característicos de un lugar, es famoso(a) por...
11	Hablar sobre planes. (Unidad 10)	Voy a+infinitivo, pienso+infinitivo, cuando+indicativo o subjuntivo.
12	Describir objetos. (Unidad 10)	Oraciones de relativo.
13	Una entrevista de trabajo.*	Vocabulario sobre aptitudes, saber, poder, conocer, tener experiencia en..., escritura del currículum vitae
14	Repaso del curso 1.*	
15	Repaso del curso 2 y examen final.*	

(学部科目 / Undergraduate Courses) 授業外学習の指示 / Recommendations for Private Study
(大学院科目 / Graduate Courses) 授業の方法 / Study Method

成績評価方法 / Grading Criteria and Method of Evaluation

種別 / Kind	割合 / Percentage	評価基準等 / Grading Criteria etc.
平常点評価	100 %	
詳しくは担当者から説明する。		

受講および研究に関するアドバイス / Advice to Students on Study and Research Methods

教科書 / Textbooks

書名 / Title	出版社・ISBNコード・コメント / Author, Publisher, ISBN Code, Comment
------------	--

参考書 / Reference Books

参考になる WWW ページ / Web Pages Useful for Reference

その他 / Others

スペイン語・応用Ⅱ (2B)

11325

担当者名 / Instructor ARRIETA DANIEL

単位数 / Credit 1

授業の概要 / Course Outline

Se integran y amplían los conocimientos adquiridos en los cursos anteriores, consolidando la competencia lingüística y comunicativa. Para ello, se crean situaciones de comunicación realistas para practicar las cuatro destrezas en español, y se estudia el vocabulario y la gramática necesarios en dichas situaciones.

到達目標 / Attainment Objectives

Ser capaz de describir y narrar hechos en diferentes momentos temporales, describir sentimientos y estados de ánimo, hablar de planes y deseos, expresar opiniones, y desenvolverse en situaciones cotidianas.

履修しておくことが望まれる科目 / Required Preparatory Study

授業スケジュール / Course Schedule

授業日(第N回)	テーマ / Theme	キーワード / Key Word
1	Introducción y presentaciones.*	
2	Repaso del curso anterior.*	
3	Dar y pedir consejos. (Unidad 7)	Vocabulario sobre estados de ánimo y la salud, imperativo afirmativo y negativo, ser/estar.
4	Expresar deseos. (Unidad 7)	Expresiones para expresar deseos, presente de subjuntivo.
5	Hablar de las condiciones de trabajo y estudio. (Unidad 8)*	Vocabulario sobre actividades del trabajo y los estudios, vocabulario sobre profesiones y estudios, expresiones de frecuencia, adverbios de cantidad.
6	Explicar sucesos. (Unidad 8)	Pretérito imperfecto de estar + gerundio, pretérito pluscuamperfecto.
7	Excusas y mensajes. (Unidad 8)*	Estilo indirecto.
8	Hablar sobre el tiempo libre. (Unidad 9)	Vocabulario sobre actividades del tiempo libre, llevar+gerundio, pretérito indefinido/pretérito imperfecto.
9	Opinar. (Unidad 9)	A mí me parece, yo creo/pienso, (no) me interesa, a mí también/tampoco.
10	Describir lugares y el clima.*	Adjetivos para describir ciudades, regiones y países, expresiones para expresar la situación geográfica, vocabulario para describir el paisaje, vocabulario sobre el clima, hace+sustantivo, está+participio, llover, nevar, muy, mucho, bastante, poco, vocabulario para explicar los productos característicos de un lugar, es famoso(a) por...
11	Hablar sobre planes. (Unidad 10)	Voy a+infinitivo, pienso+infinitivo, cuando+indicativo o subjuntivo.
12	Describir objetos. (Unidad 10)	Oraciones de relativo.
13	Una entrevista de trabajo.*	Vocabulario sobre aptitudes, saber, poder, conocer, tener experiencia en..., escritura del currículum vitae
14	Repaso del curso 1.*	
15	Repaso del curso 2 y examen final.*	

(学部科目 / Undergraduate Courses) 授業外学習の指示 / Recommendations for Private Study
(大学院科目 / Graduate Courses) 授業の方法 / Study Method

成績評価方法 / Grading Criteria and Method of Evaluation

種別 / Kind	割合 / Percentage	評価基準等 / Grading Criteria etc.
平常点評価	100 %	
詳しくは担当者から説明する。		

受講および研究に関するアドバイス / Advice to Students on Study and Research Methods

教科書 / Textbooks

書名 / Title	出版社・ISBNコード・コメント / Author, Publisher, ISBN Code, Comment
------------	--

参考書 / Reference Books

参考になる WWW ページ / Web Pages Useful for Reference

その他 / Others

スペイン語・基礎 (2A)

10961

担当者名 / Instructor 仲井 邦佳

単位数 / Credit 2

授業の概要 / Course Outline

スペイン語の基本的な文法を習得することを目標とする。また、発音、アクセント、つづり、基本的な語彙と簡単な表現を覚える。

到達目標 / Attainment Objectives

スペイン語基礎文法(ほぼ現在形まで)の習得

履修しておくことが望まれる科目 / Required Preparatory Study

授業スケジュール / Course Schedule

授業日(第N回)	テーマ / Theme	キーワード / Key Word
	第1課 Hola, ¿que tal?	
	第2課 Un cafe, por favor.	
	第3課 Soy estudiante.	
	第4課 La Plaza Mayor esta en el centro.	
	第5課 Estudio espanol con una profesora muy simpatica.	
	第6課 ¿Que comemos?	
	第7課 Me gusta mucho la musica.	
	第8課 Quiero verte esta noche.	
	第9課 ¿Cuantos anos tienes?	
	第10課 Me levanto muy temprano.	
	注意: 上記のように教科書に沿って進める(授業は30回)。状況に応じて多少進度は調整する。	

(学部科目 / Undergraduate Courses) 授業外学習の指示 / Recommendations for Private Study

(大学院科目 / Graduate Courses) 授業の方法 / Study Method

予習、復習を確実にすること。

成績評価方法 / Grading Criteria and Method of Evaluation

種別 / Kind	割合 / Percentage	評価基準等 / Grading Criteria etc.
平常点評価	100 %	小テスト まとめのテスト 授業への積極的参加, 等

詳しくは担当者から説明する。

受講および研究に関するアドバイス / Advice to Students on Study and Research Methods

初めて習う外国語ですから、基本的な単語や表現、文法事項を確実に習得していく必要があります。できるだけ欠席しないこと。

教科書 / Textbooks

書名 / Title	出版社・ISBNコード・コメント / Author, Publisher, ISBN Code, Comment
プラサ・マヨール I — コミュニケーションスペ イン語 —	柳沼孝一郎, 他 / 朝日出版 / 4-255-55011-5 /
後期の「スペイン語展開」でもこの教科書を継続使用する。	

参考書 / Reference Books

書名 / Title	出版社・ISBNコード・コメント / Author, Publisher, ISBN Code, Comment
西和中辞典 第2版	高垣敏博, 他 / 小学館 / 4-09-515502-9 / 辞書(A) 備考欄を参照。
クラウン西和辞典	原誠, 他 / 三省堂 / 4-385-12201-6 / 辞書(B) 備考欄を参照。
改訂スペイン語の入門	瓜谷良平 / 白水社 / 4-560-00677-6 /
スペイン語技能検定4・5・6級対策問題集	立岩礼子, 他 / 南雲堂フェニックス / 4-88896-251-0 /
上記の辞書(A)か(B)のどちらかを購入するのが望ましい。授業においても補足説明をする。	

参考になる WWW ページ / Web Pages Useful for Reference

スペイン語検定: <http://www.casa-esp.com/link-examen.html>

その他 / Others

スペイン語・基礎 (2B)

10818

担当者名 / Instructor 安田 圭史

単位数 / Credit 2

授業の概要 / Course Outline

スペイン語の基本的な文法を習得することを目標とする。また、発音、アクセント、つづり、基本的な語彙と簡単な表現を覚える。

到達目標 / Attainment Objectives

スペイン語基礎文法(ほぼ現在形まで)の習得

履修しておくことが望まれる科目 / Required Preparatory Study

授業スケジュール / Course Schedule

授業日(第N回)	テーマ / Theme	キーワード / Key Word
	第1課 Hola, ¿que tal?	
	第2課 Un cafe, por favor.	
	第3課 Soy estudiante.	
	第4課 La Plaza Mayor esta en el centro.	
	第5課 Estudio espanol con una profesora muy simpatica.	
	第6課 ¿Que comemos?	
	第7課 Me gusta mucho la musica.	
	第8課 Quiero verte esta noche.	
	第9課 ¿Cuántos años tienes?	
	第10課 Me levanto muy temprano.	
	注意: 上記のように教科書に沿って進める(授業は30回)。状況に応じて多少進度は調整する。	

(学部科目 / Undergraduate Courses) 授業外学習の指示 / Recommendations for Private Study

(大学院科目 / Graduate Courses) 授業の方法 / Study Method

予習、復習を確実にすること。

成績評価方法 / Grading Criteria and Method of Evaluation

種別 / Kind	割合 / Percentage	評価基準等 / Grading Criteria etc.
平常点評価	100 %	小テスト まとめのテスト 授業への積極的参加, 等

詳しくは担当者から説明する。

受講および研究に関するアドバイス / Advice to Students on Study and Research Methods

初めて習う外国語ですから、基本的な単語や表現、文法事項を確実に習得していく必要があります。できるだけ欠席しないこと。

教科書 / Textbooks

書名 / Title	出版社・ISBNコード・コメント / Author, Publisher, ISBN Code, Comment
プラサ・マヨール I —コミュニケーションスペイン語—	柳沼孝一郎, 他 / 朝日出版 / 4-255-55011-5 /
後期の「スペイン語展開」でもこの教科書を継続使用する。	

参考書 / Reference Books

書名 / Title	出版社・ISBNコード・コメント / Author, Publisher, ISBN Code, Comment
西和中辞典 第2版	高垣敏博, 他 / 小学館 / 4-09-515502-9 / 辞書(A) 備考欄を参照。
クラウン西和辞典	原誠, 他 / 三省堂 / 4-385-12201-6 / 辞書(B) 備考欄を参照。
改訂スペイン語の入門	瓜谷良平 / 白水社 / 4-560-00677-6 /
スペイン語技能検定4・5・6級対策問題集	立岩礼子, 他 / 南雲堂フェニックス / 4-88896-251-0 /
上記の辞書(A)か(B)のどちらかを購入するのが望ましい。授業においても補足説明をする。	

参考になる WWW ページ / Web Pages Useful for Reference

スペイン語検定: <http://www.casa-esp.com/link-examen.html>

その他 / Others

スペイン語・総合I (3A)

10001

担当者名 / Instructor 安田 圭史

単位数 / Credit 1

授業の概要 / Course Outline

スペイン語の基本的な文法を習得することを目標とする。また、発音、アクセント、つづり、基本的な語彙と簡単な表現を覚える。

到達目標 / Attainment Objectives

スペイン語基礎文法(基本的な現在形まで)の習得

履修しておくことが望まれる科目 / Required Preparatory Study

授業スケジュール / Course Schedule

授業日(第N回)	テーマ / Theme	キーワード / Key Word
	第1課 文字(アルファベット)	
	発音: 母音, 子音	
	音節の分け方	
	読み方の指針	
	第2課 名詞の性	
	名詞の数	
	冠詞	
	形容詞	
	第3課 主格人称代名詞	
	serとestarの直説法現在	
	hayの用法	
	規則動詞の直説法現在	
	第4課 所有形容詞	
	所有代名詞	
	指示形容詞	
	指示代名詞	
	語根母音変化動詞	
	その他の規則動詞	
	注意: 上記のように教科書に沿って進める(授業は15回)。状況に応じて多少進度は調整する。	

(学部科目 / Undergraduate Courses) 授業外学習の指示 / Recommendations for Private Study

(大学院科目 / Graduate Courses) 授業の方法 / Study Method

予習、復習を確実にすること。

成績評価方法 / Grading Criteria and Method of Evaluation

種別 / Kind	割合 / Percentage	評価基準等 / Grading Criteria etc.
平常点評価	100 %	小テスト まとめのテスト 授業への積極的参加, 等

詳しくは担当者から説明する。

受講および研究に関するアドバイス / Advice to Students on Study and Research Methods

初めて習う外国語ですから、基本的な単語や表現、文法事項を確実に習得していく必要があります。できるだけ欠席しないこと。

教科書 / Textbooks

書名 / Title	出版社・ISBNコード・コメント / Author, Publisher, ISBN Code, Comment
スペイン語玉手箱	山崎信三／同学社／4-8102-0360-3／
後期の「スペイン語総合Ⅱ」でもこの教科書を継続使用する。	

参考書 / Reference Books

書名 / Title	出版社・ISBNコード・コメント / Author, Publisher, ISBN Code, Comment
西和中辞典 第2版	高垣敏博, 他／小学館／4-09-515502-9／辞書(A) 備考欄を参照。
クラウン西和辞典	原誠, 他／三省堂／4-385-12201-6／辞書(B) 備考欄を参照。

プログレッシブスペイン語辞典 鼓直、他／小学館／4-09-515522-1／辞書(C) 備考欄を参照。

改訂スペイン語の入門 瓜谷良平／白水社／4-560-00677-6／

スペイン語技能検定4・5・6級対策問題集 立岩礼子、他／南雲堂フェニックス／4-88896-251-0／

上記の辞書(A)か(B)のどちらかを購入するのが望ましい。(C)でも可。授業においても補足説明をする。

参考になる WWW ページ / Web Pages Useful for Reference

スペイン語検定:<http://www.casa-esp.com/link-examen.html>

その他 / Others

スペイン語・総合I (3B)

10011

担当者名 / Instructor 山崎 信三

単位数 / Credit 1

授業の概要 / Course Outline

スペイン語の基本的な文法を習得することを目標とする。また、発音、アクセント、つづり、基本的な語彙と簡単な表現を覚える。

到達目標 / Attainment Objectives

スペイン語基礎文法(基本的な現在形まで)の習得

履修しておくことが望まれる科目 / Required Preparatory Study

授業スケジュール / Course Schedule

授業日(第N回)	テーマ / Theme	キーワード / Key Word
	第1課 文字(アルファベット)	
	発音: 母音, 子音	
	音節の分け方	
	読み方の指針	
	第2課 名詞の性	
	名詞の数	
	冠詞	
	形容詞	
	第3課 主格人称代名詞	
	serとestarの直説法現在	
	hayの用法	
	規則動詞の直説法現在	
	第4課 所有形容詞	
	所有代名詞	
	指示形容詞	
	指示代名詞	
	語根母音変化動詞	
	その他の規則動詞	
	注意: 上記のように教科書に沿って進める(授業は15回)。状況に応じて多少進度は調整する。	

(学部科目 / Undergraduate Courses) 授業外学習の指示 / Recommendations for Private Study

(大学院科目 / Graduate Courses) 授業の方法 / Study Methods

予習、復習を確実にすること。

成績評価方法 / Grading Criteria and Method of Evaluation

種別 / Kind	割合 / Percentage	評価基準等 / Grading Criteria etc.
平常点評価	100 %	小テスト まとめのテスト 授業への積極的参加, 等

詳しくは担当者から説明する。

受講および研究に関するアドバイス / Advice to Students on Study and Research Methods

初めて習う外国語ですから、基本的な単語や表現、文法事項を確実に習得していく必要があります。できるだけ欠席しないこと。

教科書 / Textbooks

書名 / Title	出版社・ISBNコード・コメント / Author, Publisher, ISBN Code, Comment
スペイン語玉手箱	山崎信三／同学社／4-8102-0360-3／
後期の「スペイン語総合Ⅱ」でもこの教科書を継続使用する。	

参考書 / Reference Books

書名 / Title	出版社・ISBNコード・コメント / Author, Publisher, ISBN Code, Comment
西和中辞典 第2版	高垣敏博, 他／小学館／4-09-515502-9／辞書(A) 備考欄を参照。
クラウン西和辞典	原誠, 他／三省堂／4-385-12201-6／辞書(B) 備考欄を参照。

プログレッシブスペイン語辞典 鼓直、他／小学館／4-09-515522-1／辞書(C) 備考欄を参照。

改訂スペイン語の入門 瓜谷良平／白水社／4-560-00677-6／

スペイン語技能検定4・5・6級対策問題集 立岩礼子、他／南雲堂フェニックス／4-88896-251-0／

上記の辞書(A)か(B)のどちらかを購入するのが望ましい。(C)でも可。授業においても補足説明をする。

参考になる WWW ページ / Web Pages Useful for Reference

スペイン語検定: <http://www.casa-esp.com/link-examen.html>

その他 / Others

スペイン語・総合I (3C)

12171

担当者名 / Instructor 安田 圭史

単位数 / Credit 1

授業の概要 / Course Outline

スペイン語の基本的な文法を習得することを目標とする。また、発音、アクセント、つづり、基本的な語彙と簡単な表現を覚える。

到達目標 / Attainment Objectives

スペイン語基礎文法(基本的な現在形まで)の習得

履修しておくことが望まれる科目 / Required Preparatory Study

授業スケジュール / Course Schedule

授業日(第N回)	テーマ / Theme	キーワード / Key Word
	第1課 文字(アルファベット)	
	発音: 母音, 子音	
	音節の分け方	
	読み方の指針	
	第2課 名詞の性	
	名詞の数	
	冠詞	
	形容詞	
	第3課 主格人称代名詞	
	serとestarの直説法現在	
	hayの用法	
	規則動詞の直説法現在	
	第4課 所有形容詞	
	所有代名詞	
	指示形容詞	
	指示代名詞	
	語根母音変化動詞	
	その他の規則動詞	
	注意: 上記のように教科書に沿って進める(授業は15回)。状況に応じて多少進度は調整する。	

(学部科目 / Undergraduate Courses) 授業外学習の指示 / Recommendations for Private Study

(大学院科目 / Graduate Courses) 授業の方法 / Study Methods

予習、復習を確実にすること。

成績評価方法 / Grading Criteria and Method of Evaluation

種別 / Kind	割合 / Percentage	評価基準等 / Grading Criteria etc.
平常点評価	100 %	小テスト まとめのテスト 授業への積極的参加, 等

詳しくは担当者から説明する。

受講および研究に関するアドバイス / Advice to Students on Study and Research Methods

初めて習う外国語ですから、基本的な単語や表現、文法事項を確実に習得していく必要があります。できるだけ欠席しないこと。

教科書 / Textbooks

書名 / Title	出版社・ISBNコード・コメント / Author, Publisher, ISBN Code, Comment
スペイン語玉手箱	山崎信三／同学社／4-8102-0360-3／
後期の「スペイン語総合Ⅱ」でもこの教科書を継続使用する。	

参考書 / Reference Books

書名 / Title	出版社・ISBNコード・コメント / Author, Publisher, ISBN Code, Comment
西和中辞典 第2版	高垣敏博, 他／小学館／4-09-515502-9／辞書(A) 備考欄を参照。
クラウン西和辞典	原誠, 他／三省堂／4-385-12201-6／辞書(B) 備考欄を参照。

プログレッシブスペイン語辞典 鼓直、他／小学館／4-09-515522-1／辞書(C) 備考欄を参照。

改訂スペイン語の入門 瓜谷良平／白水社／4-560-00677-6／

スペイン語技能検定4・5・6級対策問題集 立岩礼子、他／南雲堂フェニックス／4-88896-251-0／

上記の辞書(A)か(B)のどちらかを購入するのが望ましい。(C)でも可。授業においても補足説明をする。

参考になる WWW ページ / Web Pages Useful for Reference

スペイン語検定: <http://www.casa-esp.com/link-examen.html>

その他 / Others

スペイン語・総合I (3D)

12055

担当者名 / Instructor 仲井 邦佳

単位数 / Credit 1

授業の概要 / Course Outline

スペイン語の基本的な文法を習得することを目標とする。また、発音、アクセント、つづり、基本的な語彙と簡単な表現を覚える。

到達目標 / Attainment Objectives

スペイン語基礎文法(基本的な現在形まで)の習得

履修しておくことが望まれる科目 / Required Preparatory Study

授業スケジュール / Course Schedule

授業日(第N回)	テーマ / Theme	キーワード / Key Word
	第1課 文字(アルファベット)	
	発音: 母音, 子音	
	音節の分け方	
	読み方の指針	
	第2課 名詞の性	
	名詞の数	
	冠詞	
	形容詞	
	第3課 主格人称代名詞	
	serとestarの直説法現在	
	hayの用法	
	規則動詞の直説法現在	
	第4課 所有形容詞	
	所有代名詞	
	指示形容詞	
	指示代名詞	
	語根母音変化動詞	
	その他の規則動詞	
	注意: 上記のように教科書に沿って進める(授業は15回)。状況に応じて多少進度は調整する。	

(学部科目 / Undergraduate Courses) 授業外学習の指示 / Recommendations for Private Study

(大学院科目 / Graduate Courses) 授業の方法 / Study Method

予習、復習を確実にすること。

成績評価方法 / Grading Criteria and Method of Evaluation

種別 / Kind	割合 / Percentage	評価基準等 / Grading Criteria etc.
平常点評価	100 %	小テスト まとめのテスト 授業への積極的参加, 等

詳しくは担当者から説明する。

受講および研究に関するアドバイス / Advice to Students on Study and Research Methods

初めて習う外国語ですから、基本的な単語や表現、文法事項を確実に習得していく必要があります。できるだけ欠席しないこと。

教科書 / Textbooks

書名 / Title	出版社・ISBNコード・コメント / Author, Publisher, ISBN Code, Comment
スペイン語玉手箱	山崎信三／同学社／4-8102-0360-3／
後期の「スペイン語総合Ⅱ」でもこの教科書を継続使用する。	

参考書 / Reference Books

書名 / Title	出版社・ISBNコード・コメント / Author, Publisher, ISBN Code, Comment
西和中辞典 第2版	高垣敏博, 他／小学館／4-09-515502-9／辞書(A) 備考欄を参照。
クラウン西和辞典	原誠, 他／三省堂／4-385-12201-6／辞書(B) 備考欄を参照。

プログレッシブスペイン語辞典 鼓直、他／小学館／4-09-515522-1／辞書(C) 備考欄を参照。

改訂スペイン語の入門 瓜谷良平／白水社／4-560-00677-6／

スペイン語技能検定4・5・6級対策問題集 立岩礼子、他／南雲堂フェニックス／4-88896-251-0／

上記の辞書(A)か(B)のどちらかを購入するのが望ましい。(C)でも可。授業においても補足説明をする。

参考になる WWW ページ / Web Pages Useful for Reference

スペイン語検定: <http://www.casa-esp.com/link-examen.html>

その他 / Others

スペイン語・総合I (3E)

10128

担当者名 / Instructor 山崎 信三

単位数 / Credit 1

授業の概要 / Course Outline

スペイン語の基本的な文法を習得することを目標とする。また、発音、アクセント、つづり、基本的な語彙と簡単な表現を覚える。

到達目標 / Attainment Objectives

スペイン語基礎文法(基本的な現在形まで)の習得

履修しておくことが望まれる科目 / Required Preparatory Study

授業スケジュール / Course Schedule

授業日(第N回)	テーマ / Theme	キーワード / Key Word
	第1課 文字(アルファベット)	
	発音: 母音, 子音	
	音節の分け方	
	読み方の指針	
	第2課 名詞の性	
	名詞の数	
	冠詞	
	形容詞	
	第3課 主格人称代名詞	
	serとestarの直説法現在	
	hayの用法	
	規則動詞の直説法現在	
	第4課 所有形容詞	
	所有代名詞	
	指示形容詞	
	指示代名詞	
	語根母音変化動詞	
	その他の規則動詞	
	注意: 上記のように教科書に沿って進める(授業は15回)。状況に応じて多少進度は調整する。	

(学部科目 / Undergraduate Courses) 授業外学習の指示 / Recommendations for Private Study

(大学院科目 / Graduate Courses) 授業の方法 / Study Method

予習、復習を確実にすること。

成績評価方法 / Grading Criteria and Method of Evaluation

種別 / Kind	割合 / Percentage	評価基準等 / Grading Criteria etc.
平常点評価	100 %	小テスト まとめのテスト 授業への積極的参加, 等

詳しくは担当者から説明する。

受講および研究に関するアドバイス / Advice to Students on Study and Research Methods

初めて習う外国語ですから、基本的な単語や表現、文法事項を確実に習得していく必要があります。できるだけ欠席しないこと。

教科書 / Textbooks

書名 / Title	出版社・ISBNコード・コメント / Author, Publisher, ISBN Code, Comment
スペイン語玉手箱	山崎信三／同学社／4-8102-0360-3／
後期の「スペイン語総合Ⅱ」でもこの教科書を継続使用する。	

参考書 / Reference Books

書名 / Title	出版社・ISBNコード・コメント / Author, Publisher, ISBN Code, Comment
西和中辞典 第2版	高垣敏博, 他／小学館／4-09-515502-9／辞書(A) 備考欄を参照。
クラウン西和辞典	原誠, 他／三省堂／4-385-12201-6／辞書(B) 備考欄を参照。

プログレッシブスペイン語辞典 鼓直、他／小学館／4-09-515522-1／辞書(C) 備考欄を参照。

改訂スペイン語の入門 瓜谷良平／白水社／4-560-00677-6／

スペイン語技能検定4・5・6級対策問題集 立岩礼子、他／南雲堂フェニックス／4-88896-251-0／

上記の辞書(A)か(B)のどちらかを購入するのが望ましい。(C)でも可。授業においても補足説明をする。

参考になる WWW ページ / Web Pages Useful for Reference

スペイン語検定: <http://www.casa-esp.com/link-examen.html>

その他 / Others

スペイン語・総合Ⅱ (3A)

10080

担当者名 / Instructor 安田 圭史

単位数 / Credit 1

授業の概要 / Course Outline

スペイン語の基本的な文法を習得することを目標とする。また、発音、アクセント、つづり、基本的な語彙と簡単な表現を覚える。

到達目標 / Attainment Objectives

スペイン語基礎文法(ほぼ現在形まで)の習得

履修しておくことが望まれる科目 / Required Preparatory Study

授業スケジュール / Course Schedule

授業日(第N回)	テーマ / Theme	キーワード / Key Word
	第5課 疑問文	
	不定語と否定語	
	主な前置詞の用法	
	第6課 目的格人称代名詞	
	前置詞格人称代名詞	
	時刻の表現	
	日付の表現	
	副詞	
	第7課 再帰動詞	
	現在分詞	
	感嘆文	
	注意: 上記のように教科書に沿って進める(授業は15回)。状況に応じて多少進度は調整する。	

(学部科目 / Undergraduate Courses) 授業外学習の指示 / Recommendations for Private Study
(大学院科目 / Graduate Courses) 授業の方法 / Study Method

予習、復習を確実にすること。

成績評価方法 / Grading Criteria and Method of Evaluation

種別 / Kind	割合 / Percentage	評価基準等 / Grading Criteria etc.
平常点評価	100 %	小テスト まとめのテスト 授業への積極的参加, 等

詳しくは担当者から説明する。

受講および研究に関するアドバイス / Advice to Students on Study and Research Methods

初めて習う外国語ですから、基本的な単語や表現、文法事項を確実に習得していく必要があります。できるだけ欠席しないこと。

教科書 / Textbooks

書名 / Title	出版社・ISBNコード・コメント / Author, Publisher, ISBN Code, Comment
スペイン語玉手箱	山崎信三 / 同学社 / 4-8102-0360-3 /
前期の「スペイン語総合Ⅰ」の教科書を継続使用する。	

参考書 / Reference Books

書名 / Title	出版社・ISBNコード・コメント / Author, Publisher, ISBN Code, Comment
西和中辞典 第2版	高垣敏博, 他 / 小学館 / 4-09-515502-9 / 辞書(A) 備考欄を参照。
クラウン西和辞典	原誠, 他 / 三省堂 / 4-385-12201-6 / 辞書(B) 備考欄を参照。
プログレッシブスペイン語辞典	鼓直, 他 / 小学館 / 4-09-515522-1 / 辞書(C) 備考欄を参照。
改訂スペイン語の入門	瓜谷良平 / 白水社 / 4-560-00677-6 /
スペイン語技能検定4・5・6級対策問題集	立岩礼子, 他 / 南雲堂フェニックス / 4-88896-251-0 /
上記の辞書(A)か(B)のどちらかを購入するのが望ましい。(C)でも可。授業においても補足説明をする。	

参考になる WWW ページ / Web Pages Useful for Reference

スペイン語検定: <http://www.casa-esp.com/link-examen.html>

その他 / Others

スペイン語・総合Ⅱ (3B)

10081

担当者名 / Instructor 山崎 信三

単位数 / Credit 1

授業の概要 / Course Outline

スペイン語の基本的な文法を習得することを目標とする。また、発音、アクセント、つづり、基本的な語彙と簡単な表現を覚える。

到達目標 / Attainment Objectives

スペイン語基礎文法(ほぼ現在形まで)の習得

履修しておくことが望まれる科目 / Required Preparatory Study

授業スケジュール / Course Schedule

授業日(第N回)	テーマ / Theme	キーワード / Key Word
	第5課 疑問文	
	不定語と否定語	
	主な前置詞の用法	
	第6課 目的格人称代名詞	
	前置詞格人称代名詞	
	時刻の表現	
	日付の表現	
	副詞	
	第7課 再帰動詞	
	現在分詞	
	感嘆文	
	注意: 上記のように教科書に沿って進める(授業は15回)。状況に応じて多少進度は調整する。	

(学部科目 / Undergraduate Courses) 授業外学習の指示 / Recommendations for Private Study
(大学院科目 / Graduate Courses) 授業の方法 / Study Method

予習、復習を確実にすること。

成績評価方法 / Grading Criteria and Method of Evaluation

種別 / Kind	割合 / Percentage	評価基準等 / Grading Criteria etc.
平常点評価	100 %	小テスト まとめのテスト 授業への積極的参加, 等

詳しくは担当者から説明する。

受講および研究に関するアドバイス / Advice to Students on Study and Research Methods

初めて習う外国語ですから、基本的な単語や表現、文法事項を確実に習得していく必要があります。できるだけ欠席しないこと。

教科書 / Textbooks

書名 / Title	出版社・ISBNコード・コメント / Author, Publisher, ISBN Code, Comment
スペイン語玉手箱	山崎信三 / 同学社 / 4-8102-0360-3 /
前期の「スペイン語総合Ⅰ」の教科書を継続使用する。	

参考書 / Reference Books

書名 / Title	出版社・ISBNコード・コメント / Author, Publisher, ISBN Code, Comment
西和中辞典 第2版	高垣敏博, 他 / 小学館 / 4-09-515502-9 / 辞書(A) 備考欄を参照。
クラウン西和辞典	原誠, 他 / 三省堂 / 4-385-12201-6 / 辞書(B) 備考欄を参照。
プログレッシブスペイン語辞典	鼓直, 他 / 小学館 / 4-09-515522-1 / 辞書(C) 備考欄を参照。
改訂スペイン語の入門	瓜谷良平 / 白水社 / 4-560-00677-6 /
スペイン語技能検定4・5・6級対策問題集	立岩礼子, 他 / 南雲堂フェニックス / 4-88896-251-0 /
上記の辞書(A)か(B)のどちらかを購入するのが望ましい。(C)でも可。授業においても補足説明をする。	

参考になる WWW ページ / Web Pages Useful for Reference

スペイン語検定: <http://www.casa-esp.com/link-examen.html>

その他 / Others

スペイン語・総合Ⅱ (3C)

12240

担当者名 / Instructor 安田 圭史

単位数 / Credit 1

授業の概要 / Course Outline

スペイン語の基本的な文法を習得することを目標とする。また、発音、アクセント、つづり、基本的な語彙と簡単な表現を覚える。

到達目標 / Attainment Objectives

スペイン語基礎文法(ほぼ現在形まで)の習得

履修しておくことが望まれる科目 / Required Preparatory Study

授業スケジュール / Course Schedule

授業日(第N回)	テーマ / Theme	キーワード / Key Word
	第5課 疑問文	
	不定語と否定語	
	主な前置詞の用法	
	第6課 目的格人称代名詞	
	前置詞格人称代名詞	
	時刻の表現	
	日付の表現	
	副詞	
	第7課 再帰動詞	
	現在分詞	
	感嘆文	
	注意: 上記のように教科書に沿って進める(授業は15回)。状況に応じて多少進度は調整する。	

(学部科目 / Undergraduate Courses) 授業外学習の指示 / Recommendations for Private Study
(大学院科目 / Graduate Courses) 授業の方法 / Study Method

予習、復習を確実にすること。

成績評価方法 / Grading Criteria and Method of Evaluation

種別 / Kind	割合 / Percentage	評価基準等 / Grading Criteria etc.
平常点評価	100 %	小テスト まとめのテスト 授業への積極的参加, 等

詳しくは担当者から説明する。

受講および研究に関するアドバイス / Advice to Students on Study and Research Methods

初めて習う外国語ですから、基本的な単語や表現、文法事項を確実に習得していく必要があります。できるだけ欠席しないこと。

教科書 / Textbooks

書名 / Title	出版社・ISBNコード・コメント / Author, Publisher, ISBN Code, Comment
スペイン語玉手箱	山崎信三 / 同学社 / 4-8102-0360-3 /
前期の「スペイン語総合Ⅰ」の教科書を継続使用する。	

参考書 / Reference Books

書名 / Title	出版社・ISBNコード・コメント / Author, Publisher, ISBN Code, Comment
西和中辞典 第2版	高垣敏博, 他 / 小学館 / 4-09-515502-9 / 辞書(A) 備考欄を参照。
クラウン西和辞典	原誠, 他 / 三省堂 / 4-385-12201-6 / 辞書(B) 備考欄を参照。
プログレッシブスペイン語辞典	鼓直, 他 / 小学館 / 4-09-515522-1 / 辞書(C) 備考欄を参照。
改訂スペイン語の入門	瓜谷良平 / 白水社 / 4-560-00677-6 /
スペイン語技能検定4・5・6級対策問題集	立岩礼子, 他 / 南雲堂フェニックス / 4-88896-251-0 /
上記の辞書(A)か(B)のどちらかを購入するのが望ましい。(C)でも可。授業においても補足説明をする。	

参考になる WWW ページ / Web Pages Useful for Reference

スペイン語検定: <http://www.casa-esp.com/link-examen.html>

その他 / Others

スペイン語・総合Ⅱ (3D)

12114

担当者名 / Instructor 仲井 邦佳

単位数 / Credit 1

授業の概要 / Course Outline

スペイン語の基本的な文法を習得することを目標とする。また、発音、アクセント、つづり、基本的な語彙と簡単な表現を覚える。

到達目標 / Attainment Objectives

スペイン語基礎文法(ほぼ現在形まで)の習得

履修しておくことが望まれる科目 / Required Preparatory Study

授業スケジュール / Course Schedule

授業日(第N回)	テーマ / Theme	キーワード / Key Word
	第5課 疑問文	
	不定語と否定語	
	主な前置詞の用法	
	第6課 目的格人称代名詞	
	前置詞格人称代名詞	
	時刻の表現	
	日付の表現	
	副詞	
	第7課 再帰動詞	
	現在分詞	
	感嘆文	
	注意: 上記のように教科書に沿って進める(授業は15回)。状況に応じて多少進度は調整する。	

(学部科目 / Undergraduate Courses) 授業外学習の指示 / Recommendations for Private Study
(大学院科目 / Graduate Courses) 授業の方法 / Study Method

予習、復習を確実にすること。

成績評価方法 / Grading Criteria and Method of Evaluation

種別 / Kind	割合 / Percentage	評価基準等 / Grading Criteria etc.
平常点評価	100 %	小テスト まとめのテスト 授業への積極的参加, 等

詳しくは担当者から説明する。

受講および研究に関するアドバイス / Advice to Students on Study and Research Methods

初めて習う外国語ですから、基本的な単語や表現、文法事項を確実に習得していく必要があります。できるだけ欠席しないこと。

教科書 / Textbooks

書名 / Title	出版社・ISBNコード・コメント / Author, Publisher, ISBN Code, Comment
スペイン語玉手箱	山崎信三 / 同学社 / 4-8102-0360-3 /
前期の「スペイン語総合Ⅰ」の教科書を継続使用する。	

参考書 / Reference Books

書名 / Title	出版社・ISBNコード・コメント / Author, Publisher, ISBN Code, Comment
西和中辞典 第2版	高垣敏博, 他 / 小学館 / 4-09-515502-9 / 辞書(A) 備考欄を参照。
クラウン西和辞典	原誠, 他 / 三省堂 / 4-385-12201-6 / 辞書(B) 備考欄を参照。
プログレッシブスペイン語辞典	鼓直, 他 / 小学館 / 4-09-515522-1 / 辞書(C) 備考欄を参照。
改訂スペイン語の入門	瓜谷良平 / 白水社 / 4-560-00677-6 /
スペイン語技能検定4・5・6級対策問題集	立岩礼子, 他 / 南雲堂フェニックス / 4-88896-251-0 /
上記の辞書(A)か(B)のどちらかを購入するのが望ましい。(C)でも可。授業においても補足説明をする。	

参考になる WWW ページ / Web Pages Useful for Reference

スペイン語検定: <http://www.casa-esp.com/link-examen.html>

その他 / Others

スペイン語・総合Ⅱ (3E)

10207

担当者名 / Instructor 山崎 信三

単位数 / Credit 1

授業の概要 / Course Outline

スペイン語の基本的な文法を習得することを目標とする。また、発音、アクセント、つづり、基本的な語彙と簡単な表現を覚える。

到達目標 / Attainment Objectives

スペイン語基礎文法(ほぼ現在形まで)の習得

履修しておくことが望まれる科目 / Required Preparatory Study

授業スケジュール / Course Schedule

授業日(第N回)	テーマ / Theme	キーワード / Key Word
	第5課 疑問文	
	不定語と否定語	
	主な前置詞の用法	
	第6課 目的格人称代名詞	
	前置詞格人称代名詞	
	時刻の表現	
	日付の表現	
	副詞	
	第7課 再帰動詞	
	現在分詞	
	感嘆文	
	注意: 上記のように教科書に沿って進める(授業は15回)。状況に応じて多少進度は調整する。	

(学部科目 / Undergraduate Courses) 授業外学習の指示 / Recommendations for Private Study
(大学院科目 / Graduate Courses) 授業の方法 / Study Method

予習、復習を確実にすること。

成績評価方法 / Grading Criteria and Method of Evaluation

種別 / Kind	割合 / Percentage	評価基準等 / Grading Criteria etc.
平常点評価	100 %	小テスト まとめのテスト 授業への積極的参加, 等

詳しくは担当者から説明する。

受講および研究に関するアドバイス / Advice to Students on Study and Research Methods

初めて習う外国語ですから、基本的な単語や表現、文法事項を確実に習得していく必要があります。できるだけ欠席しないこと。

教科書 / Textbooks

書名 / Title	出版社・ISBNコード・コメント / Author, Publisher, ISBN Code, Comment
スペイン語玉手箱	山崎信三 / 同学社 / 4-8102-0360-3 /
前期の「スペイン語総合Ⅰ」の教科書を継続使用する。	

参考書 / Reference Books

書名 / Title	出版社・ISBNコード・コメント / Author, Publisher, ISBN Code, Comment
西和中辞典 第2版	高垣敏博, 他 / 小学館 / 4-09-515502-9 / 辞書(A) 備考欄を参照。
クラウン西和辞典	原誠, 他 / 三省堂 / 4-385-12201-6 / 辞書(B) 備考欄を参照。
プログレッシブスペイン語辞典	鼓直, 他 / 小学館 / 4-09-515522-1 / 辞書(C) 備考欄を参照。
改訂スペイン語の入門	瓜谷良平 / 白水社 / 4-560-00677-6 /
スペイン語技能検定4・5・6級対策問題集	立岩礼子, 他 / 南雲堂フェニックス / 4-88896-251-0 /
上記の辞書(A)か(B)のどちらかを購入するのが望ましい。(C)でも可。授業においても補足説明をする。	

参考になる WWW ページ / Web Pages Useful for Reference

スペイン語検定: <http://www.casa-esp.com/link-examen.html>

その他 / Others

スペイン語・展開 (2A)

11042

担当者名 / Instructor 仲井 邦佳

単位数 / Credit 2

授業の概要 / Course Outline

スペイン語の基本的な文法を習得することを目標とする。また、発音、アクセント、つづり、基本的な語彙と簡単な表現を覚える。

到達目標 / Attainment Objectives

スペイン語基礎文法(ほぼ過去形から)の習得

履修しておくことが望まれる科目 / Required Preparatory Study

授業スケジュール / Course Schedule

授業日(第N回)	テーマ / Theme	キーワード / Key Word
	第11課 ?Has comido ya?	
	第12課 Ayer estude mucho.	
	第13課 Ayer fui al cine con mis amigos.	
	第14課 De niño yo vivía en el campo.	
	第15課 ?Estarás en casa mañana?	
	第16課 Portate bien.	
	第17課 文法補足(1)	
	第18課 文法補足(1)	
	第19課 文法補足(1)	
	注意: 上記のように教科書に沿って進める(授業は30回)。状況に応じて多少進捗は調整する。	

(学部科目 / Undergraduate Courses) 授業外学習の指示 / Recommendations for Private Study

(大学院科目 / Graduate Courses) 授業の方法 / Study Method

予習、復習を確実にすること。

成績評価方法 / Grading Criteria and Method of Evaluation

種別 / Kind	割合 / Percentage	評価基準等 / Grading Criteria etc.
平常点評価	100 %	小テスト まとめのテスト 授業への積極的参加、等 (まとめのテストは、都合によって「定期試験期間中」に行うこともある。)

詳しくは担当者から説明する。

受講および研究に関するアドバイス / Advice to Students on Study and Research Methods

初めて習う外国語ですから、基本的な単語や表現、文法事項を確実に習得していく必要があります。できるだけ欠席しないこと。

教科書 / Textbooks

書名 / Title	出版社・ISBNコード・コメント / Author, Publisher, ISBN Code, Comment
ブラサ・マヨール I — コミュニケーションスペイン語—	柳沼孝一郎, 他 / 朝日出版 / 4-255-55011-5 /
前期の「スペイン語基礎」の教科書を継続使用する。	

参考書 / Reference Books

書名 / Title	出版社・ISBNコード・コメント / Author, Publisher, ISBN Code, Comment
西和中辞典 第2版	高垣敏博, 他 / 小学館 / 4-09-515502-9 / 辞書(A) 備考欄を参照。
クラウン西和辞典	原誠, 他 / 三省堂 / 4-385-12201-6 / 辞書(B) 備考欄を参照。
改訂スペイン語の入門	瓜谷良平 / 白水社 / 4-560-00677-6 /
スペイン語技能検定4・5・6級対策問題集	立岩礼子, 他 / 南雲堂フェニックス / 4-88896-251-0 /
上記の辞書(A)か(B)のどちらかを購入するのが望ましい。授業においても補足説明をする。	

参考になる WWW ページ / Web Pages Useful for Reference

スペイン語検定: <http://www.casa-esp.com/link-examen.html>

その他 / Others

スペイン語・展開 (2B)

10244

担当者名 / Instructor 安田 圭史

単位数 / Credit 2

授業の概要 / Course Outline

スペイン語の基本的な文法を習得することを目標とする。また、発音、アクセント、つづり、基本的な語彙と簡単な表現を覚える。

到達目標 / Attainment Objectives

スペイン語基礎文法(ほぼ過去形から)の習得

履修しておくことが望まれる科目 / Required Preparatory Study

授業スケジュール / Course Schedule

授業日(第N回)	テーマ / Theme	キーワード / Key Word
	第11課 ?Has comido ya?	
	第12課 Ayer estude mucho.	
	第13課 Ayer fui al cine con mis amigos.	
	第14課 De niño yo vivía en el campo.	
	第15課 ?Estarás en casa mañana?	
	第16課 Portate bien.	
	第17課 文法補足(1)	
	第18課 文法補足(1)	
	第19課 文法補足(1)	
	注意: 上記のように教科書に沿って進める(授業は30回)。状況に応じて多少進度は調整する。	

(学部科目 / Undergraduate Courses) 授業外学習の指示 / Recommendations for Private Study
(大学院科目 / Graduate Courses) 授業の方法 / Study Method

予習、復習を確実にすること。

成績評価方法 / Grading Criteria and Method of Evaluation

種別 / Kind	割合 / Percentage	評価基準等 / Grading Criteria etc.
平常点評価	100 %	小テスト まとめのテスト 授業への積極的参加、等 (まとめのテストは、都合によって「定期試験期間中」に行うこともある。)

詳しくは担当者から説明する。

受講および研究に関するアドバイス / Advice to Students on Study and Research Methods

初めて習う外国語ですから、基本的な単語や表現、文法事項を確実に習得していく必要があります。できるだけ欠席しないこと。

教科書 / Textbooks

書名 / Title	出版社・ISBNコード・コメント / Author, Publisher, ISBN Code, Comment
ブラサ・マヨール I — コミュニケーションスペイン語—	柳沼孝一郎, 他 / 朝日出版 / 4-255-55011-5 /
前期の「スペイン語基礎」の教科書を継続使用する。	

参考書 / Reference Books

書名 / Title	出版社・ISBNコード・コメント / Author, Publisher, ISBN Code, Comment
西和中辞典 第2版	高垣敏博, 他 / 小学館 / 4-09-515502-9 / 辞書(A) 備考欄を参照。
クラウン西和辞典	原誠, 他 / 三省堂 / 4-385-12201-6 / 辞書(B) 備考欄を参照。
改訂スペイン語の入門	瓜谷良平 / 瓜谷良平 / 4-560-00677-6 /
スペイン語技能検定4・5・6級対策問題集	立岩礼子, 他 / 南雲堂フェニックス / 4-88896-251-0 /
上記の辞書(A)か(B)のどちらかを購入するのが望ましい。授業においても補足説明をする。	

参考になる WWW ページ / Web Pages Useful for Reference

スペイン語検定: <http://www.casa-esp.com/link-examen.html>

その他 / Others

スペイン語・表現I (2A)

10013

担当者名 / Instructor VALLS LLUIS

単位数 / Credit 1

授業の概要 / Course Outline

現実のコミュニケーションの場面で初歩的なスペイン語を使う能力を養うこと。

En este curso se ofrecen al estudiante las oportunidades para practicar español en situaciones de comunicación realistas.

到達目標 / Attainment Objectives

この講義が終了した時点で、受講生は自分自身について、周りの状況などについて(自己紹介、家族や出身地について説明するなど)スペイン語で表現することができる。

Se espera que, al terminar el curso, el estudiante sea capaz de realizar en español operaciones comunicativas básicas relacionadas con sí mismo y su entorno real, como presentarse o hablar de su familia, su ciudad...

履修しておくことが望まれる科目 / Required Preparatory Study

授業スケジュール / Course Schedule

授業日(第N回)	テーマ / Theme	キーワード / Key Word
第1回	1. 授業とスペイン語でのコミュニケーションについての導入 Introducción a la clase y a la comunicación en español.	
第2回	1. アルファベットと発音 El alfabeto.	
第3回	1. 自己紹介 Presentaciones.	
第4回	1. 職業について Ocupaciones.	
第5回	1. 家族について La familia.	
第6回	1. 自分自身について ¿Cómo eres?	
第7回	1. 調子は同ですか? ¿Cómo estás?	
第8回	1. レストランで En un restaurante.	
第9回	1. いろんな物とその所在 Las cosas y el espacio.	
第10回	1. 住居について La casa.	
第11回	1. 住所の説明 Dar direcciones.	
第12回	1. 時刻等の言い方 El tiempo cronológico	
第13回	1. まとめとその他のテーマ1 Repaso 1	
第14回	1. まとめとその他のテーマ2 Repaso 2	
第15回	1. まとめとその他のテーマ3と検証試験 Repaso 3 y examen	

(学部科目 / Undergraduate Courses) 授業外学習の指示 / Recommendations for Private Study

(大学院科目 / Graduate Courses) 授業の方法 / Study Method

S後で復習ができるよう授業中にしっかりとノートをとること。Se recomienda tomar notas en cada clase para poder repasarlas luego.

成績評価方法 / Grading Criteria and Method of Evaluation

種別 / Kind	割合 / Percentage	評価基準等 / Grading Criteria etc.
平常点評価	100 %	小テスト、まとめのテスト、授業への積極的参加、インタビュー、等(詳しくは担当者から直接説明する)

受講および研究に関するアドバイス / Advice to Students on Study and Research Methods

教科書 / Textbooks

書名 / Title	出版社・ISBNコード・コメント / Author, Publisher, ISBN Code, Comment
¡Ánimo!	Lluís Valls / Kogakusha / 4-902964-03-1 C1086 /

参考書 / Reference Books

参考になる WWW ページ / Web Pages Useful for Reference

その他 / Others

スペイン語・表現I (2B)

10129

担当者名 / Instructor GUERRERO RAUL

単位数 / Credit 1

授業の概要 / Course Outline

現実のコミュニケーションの場面で初歩的なスペイン語を使う能力を養うこと。

En este curso se ofrecen al estudiante las oportunidades para practicar español en situaciones de comunicación realistas.

到達目標 / Attainment Objectives

この講義が終了した時点で、受講生は自分自身について、周りの状況などについて(自己紹介、家族や出身地について説明するなど)スペイン語で表現することができる。

Se espera que, al terminar el curso, el estudiante sea capaz de realizar en español operaciones comunicativas básicas relacionadas con sí mismo y su entorno real, como presentarse o hablar de su familia, su ciudad...

履修しておくことが望まれる科目 / Required Preparatory Study

授業スケジュール / Course Schedule

授業日(第N回)	テーマ / Theme	キーワード / Key Word
第1回	1. 授業とスペイン語でのコミュニケーションについての導入 Introducción a la clase y a la comunicación en español.	
第2回	1. アルファベットと発音 El alfabeto.	
第3回	1. 自己紹介 Presentaciones.	
第4回	1. 職業について Ocupaciones.	
第5回	1. 家族について La familia.	
第6回	1. 自分自身について ¿Cómo eres?	
第7回	1. 調子は同ですか? ¿Cómo estás?	
第8回	1. レストランで En un restaurante.	
第9回	1. いろんな物とその所在 Las cosas y el espacio.	
第10回	1. 住居について La casa.	
第11回	1. 住所の説明 Dar direcciones.	
第12回	1. 時刻等の言い方 El tiempo cronológico	
第13回	1. まとめとその他のテーマ1 Repaso 1	
第14回	1. まとめとその他のテーマ2 Repaso 2	
第15回	1. まとめとその他のテーマ3と検証試験 Repaso 3 y examen	

(学部科目 / Undergraduate Courses) 授業外学習の指示 / Recommendations for Private Study

(大学院科目 / Graduate Courses) 授業の方法 / Study Method

S後で復習ができるよう授業中にしっかりとノートをとること。Se recomienda tomar notas en cada clase para poder repasarlas luego.

成績評価方法 / Grading Criteria and Method of Evaluation

種別 / Kind	割合 / Percentage	評価基準等 / Grading Criteria etc.
平常点評価	100 %	小テスト、まとめのテスト、授業への積極的参加、インタビュー、等(詳しくは担当者から直接説明する)

受講および研究に関するアドバイス / Advice to Students on Study and Research Methods

教科書 / Textbooks

書名 / Title	出版社・ISBNコード・コメント / Author, Publisher, ISBN Code, Comment
¡Ánimo!	Lluís Valls / Kogakusha / 4-902964-03-1 C1086 /

参考書 / Reference Books

参考になる WWW ページ / Web Pages Useful for Reference

その他 / Others

スペイン語・表現I (3A)

12173

担当者名 / Instructor GUERRERO RAUL

単位数 / Credit 1

授業の概要 / Course Outline

現実のコミュニケーションの場面で初歩的なスペイン語を使う能力を養うこと。

En este curso se ofrecen al estudiante las oportunidades para practicar español en situaciones de comunicación realistas.

到達目標 / Attainment Objectives

この講義が終了した時点で、受講生は自分自身について、周りの状況などについて(自己紹介、家族や出身地について説明するなど)スペイン語で表現することができる。

Se espera que, al terminar el curso, el estudiante sea capaz de realizar en español operaciones comunicativas básicas relacionadas con sí mismo y su entorno real, como presentarse o hablar de su familia, su ciudad...

履修しておくことが望まれる科目 / Required Preparatory Study

授業スケジュール / Course Schedule

授業日(第N回)	テーマ / Theme	キーワード / Key Word
第1回	1. 授業とスペイン語でのコミュニケーションについての導入 Introducción a la clase y a la comunicación en español.	
第2回	1. アルファベットと発音 El alfabeto.	
第3回	1. 自己紹介 Presentaciones.	
第4回	1. 職業について Ocupaciones.	
第5回	1. 家族について La familia.	
第6回	1. 自分自身について ¿Cómo eres?	
第7回	1. 調子は同ですか? ¿Cómo estás?	
第8回	1. レストランで En un restaurante.	
第9回	1. いろんな物とその所在 Las cosas y el espacio.	
第10回	1. 住居について La casa.	
第11回	1. 住所の説明 Dar direcciones.	
第12回	1. 時刻等の言い方 El tiempo cronológico	
第13回	1. まとめとその他のテーマ1 Repaso 1	
第14回	1. まとめとその他のテーマ2 Repaso 2	
第15回	1. まとめとその他のテーマ3と検証試験 Repaso 3 y examen	

(学部科目 / Undergraduate Courses) 授業外学習の指示 / Recommendations for Private Study

(大学院科目 / Graduate Courses) 授業の方法 / Study Methods

S後で復習ができるよう授業中にしっかりとノートをとること。Se recomienda tomar notas en cada clase para poder repasarlas luego.

成績評価方法 / Grading Criteria and Method of Evaluation

種別 / Kind	割合 / Percentage	評価基準等 / Grading Criteria etc.
平常点評価	100 %	小テスト、まとめのテスト、授業への積極的参加、インタビュー、等(詳しくは担当者から直接説明する)

受講および研究に関するアドバイス / Advice to Students on Study and Research Methods

教科書 / Textbooks

書名 / Title	出版社・ISBNコード・コメント / Author, Publisher, ISBN Code, Comment
¡Ánimo!	Lluís Valls / Kogakusha / 4-902964-03-1 C1086 /

参考書 / Reference Books

参考になる WWW ページ / Web Pages Useful for Reference

その他 / Others

スペイン語・表現I (3B)

12183

担当者名 / Instructor ARRIETA DANIEL

単位数 / Credit 1

授業の概要 / Course Outline

現実のコミュニケーションの場面で初歩的なスペイン語を使う能力を養うこと。

En este curso se ofrecen al estudiante las oportunidades para practicar español en situaciones de comunicación realistas.

到達目標 / Attainment Objectives

この講義が終了した時点で、受講生は自分自身について、周りの状況などについて(自己紹介、家族や出身地について説明するなど)スペイン語で表現することができる。

Se espera que, al terminar el curso, el estudiante sea capaz de realizar en español operaciones comunicativas básicas relacionadas con sí mismo y su entorno real, como presentarse o hablar de su familia, su ciudad...

履修しておくことが望まれる科目 / Required Preparatory Study

授業スケジュール / Course Schedule

授業日(第N回)	テーマ / Theme	キーワード / Key Word
第1回	1. 授業とスペイン語でのコミュニケーションについての導入 Introducción a la clase y a la comunicación en español.	
第2回	1. アルファベットと発音 El alfabeto.	
第3回	1. 自己紹介 Presentaciones.	
第4回	1. 職業について Ocupaciones.	
第5回	1. 家族について La familia.	
第6回	1. 自分自身について ¿Cómo eres?	
第7回	1. 調子は同ですか? ¿Cómo estás?	
第8回	1. レストランで En un restaurante.	
第9回	1. いろんな物とその所在 Las cosas y el espacio.	
第10回	1. 住居について La casa.	
第11回	1. 住所の説明 Dar direcciones.	
第12回	1. 時刻等の言い方 El tiempo cronológico	
第13回	1. まとめとその他のテーマ1 Repaso 1	
第14回	1. まとめとその他のテーマ2 Repaso 2	
第15回	1. まとめとその他のテーマ3と検証試験 Repaso 3 y examen	

(学部科目 / Undergraduate Courses) 授業外学習の指示 / Recommendations for Private Study

(大学院科目 / Graduate Courses) 授業の方法 / Study Method

S後で復習ができるよう授業中にしっかりとノートをとること。Se recomienda tomar notas en cada clase para poder repasarlas luego.

成績評価方法 / Grading Criteria and Method of Evaluation

種別 / Kind	割合 / Percentage	評価基準等 / Grading Criteria etc.
平常点評価	100 %	小テスト、まとめのテスト、授業への積極的参加、インタビュー、等(詳しくは担当者から直接説明する)

受講および研究に関するアドバイス / Advice to Students on Study and Research Methods

教科書 / Textbooks

書名 / Title	出版社・ISBNコード・コメント / Author, Publisher, ISBN Code, Comment
¡Ánimo!	Lluís Valls / Kogakusha / 4-902964-03-1 C1086 /

参考書 / Reference Books

参考になる WWW ページ / Web Pages Useful for Reference

その他 / Others

スペイン語・表現I (3C)

10133

担当者名 / Instructor VALLS LLUIS

単位数 / Credit 1

授業の概要 / Course Outline

現実のコミュニケーションの場面で初歩的なスペイン語を使う能力を養うこと。

En este curso se ofrecen al estudiante las oportunidades para practicar español en situaciones de comunicación realistas.

到達目標 / Attainment Objectives

この講義が終了した時点で、受講生は自分自身について、周りの状況などについて(自己紹介、家族や出身地について説明するなど)スペイン語で表現することができる。

Se espera que, al terminar el curso, el estudiante sea capaz de realizar en español operaciones comunicativas básicas relacionadas con sí mismo y su entorno real, como presentarse o hablar de su familia, su ciudad...

履修しておくことが望まれる科目 / Required Preparatory Study

授業スケジュール / Course Schedule

授業日(第N回)	テーマ / Theme	キーワード / Key Word
第1回	1. 授業とスペイン語でのコミュニケーションについての導入 Introducción a la clase y a la comunicación en español.	
第2回	1. アルファベットと発音 El alfabeto.	
第3回	1. 自己紹介 Presentaciones.	
第4回	1. 職業について Ocupaciones.	
第5回	1. 家族について La familia.	
第6回	1. 自分自身について ¿Cómo eres?	
第7回	1. 調子は同ですか? ¿Cómo estás?	
第8回	1. レストランで En un restaurante.	
第9回	1. いろんな物とその所在 Las cosas y el espacio.	
第10回	1. 住居について La casa.	
第11回	1. 住所の説明 Dar direcciones.	
第12回	1. 時刻等の言い方 El tiempo cronológico	
第13回	1. まとめとその他のテーマ1 Repaso 1	
第14回	1. まとめとその他のテーマ2 Repaso 2	
第15回	1. まとめとその他のテーマ3と検証試験 Repaso 3 y examen	

(学部科目 / Undergraduate Courses) 授業外学習の指示 / Recommendations for Private Study

(大学院科目 / Graduate Courses) 授業の方法 / Study Method

S後で復習ができるよう授業中にしっかりとノートをとること。Se recomienda tomar notas en cada clase para poder repasarlas luego.

成績評価方法 / Grading Criteria and Method of Evaluation

種別 / Kind	割合 / Percentage	評価基準等 / Grading Criteria etc.
平常点評価	100 %	小テスト、まとめのテスト、授業への積極的参加、インタビュー、等(詳しくは担当者から直接説明する)

受講および研究に関するアドバイス / Advice to Students on Study and Research Methods

教科書 / Textbooks

書名 / Title	出版社・ISBNコード・コメント / Author, Publisher, ISBN Code, Comment
¡Ánimo!	Lluís Valls / Kogakusha / 4-902964-03-1 C1086 /

参考書 / Reference Books

参考になる WWW ページ / Web Pages Useful for Reference

その他 / Others

スペイン語・表現I (3D)

10120

担当者名 / Instructor ARRIETA DANIEL

単位数 / Credit 1

授業の概要 / Course Outline

現実のコミュニケーションの場面で初歩的なスペイン語を使う能力を養うこと。

En este curso se ofrecen al estudiante las oportunidades para practicar español en situaciones de comunicación realistas.

到達目標 / Attainment Objectives

現実のコミュニケーションの場面で初歩的なスペイン語を使う能力を養うこと。

En este curso se ofrecen al estudiante las oportunidades para practicar español en situaciones de comunicación realistas.

履修しておくことが望まれる科目 / Required Preparatory Study

授業スケジュール / Course Schedule

授業日(第N回)	テーマ / Theme	キーワード / Key Word
第1回	1. 授業とスペイン語でのコミュニケーションについての導入 Introducción a la clase y a la comunicación en español.	
第2回	1. アルファベットと発音 El alfabeto.	
第3回	1. 自己紹介 Presentaciones.	
第4回	1. 職業について Ocupaciones.	
第5回	1. 家族について La familia.	
第6回	1. 自分自身について ¿Cómo eres?	
第7回	1. 調子は同ですか? ¿Cómo estás?	
第8回	1. レストランで En un restaurante.	
第9回	1. いろんな物とその所在 Las cosas y el espacio.	
第10回	1. 住居について La casa.	
第11回	1. 住所の説明 Dar direcciones.	
第12回	1. 時刻等の言い方 El tiempo cronológico	
第13回	1. まとめとその他のテーマ1 Repaso 1	
第14回	1. まとめとその他のテーマ2 Repaso 2	
第15回	1. まとめとその他のテーマ3と検証試験 Repaso 3 y examen	

(学部科目 / Undergraduate Courses) 授業外学習の指示 / Recommendations for Private Study

(大学院科目 / Graduate Courses) 授業の方法 / Study Method

1. まとめとその他のテーマ3と検証試験 Repaso 3 y examen

成績評価方法 / Grading Criteria and Method of Evaluation

種別 / Kind	割合 / Percentage	評価基準等 / Grading Criteria etc.
平常点評価	100 %	小テスト, まとめのテスト, 授業への積極的参加, インタビュー, 等(詳しくは担当者から直接説明する)

受講および研究に関するアドバイス / Advice to Students on Study and Research Methods

教科書 / Textbooks

書名 / Title	出版社・ISBNコード・コメント / Author, Publisher, ISBN Code, Comment
¡Ánimo!	Lluís Valls / Kogakusha / 4-902964-03-1 C1086 /

参考書 / Reference Books

参考になる WWW ページ / Web Pages Useful for Reference

その他 / Others

スペイン語・表現I (3E)

12054

担当者名 / Instructor ARRIETA DANIEL

単位数 / Credit 1

授業の概要 / Course Outline

現実のコミュニケーションの場面で初歩的なスペイン語を使う能力を養うこと。

En este curso se ofrecen al estudiante las oportunidades para practicar español en situaciones de comunicación realistas.

到達目標 / Attainment Objectives

現実のコミュニケーションの場面で初歩的なスペイン語を使う能力を養うこと。

En este curso se ofrecen al estudiante las oportunidades para practicar español en situaciones de comunicación realistas.

履修しておくことが望まれる科目 / Required Preparatory Study

授業スケジュール / Course Schedule

授業日(第N回)	テーマ / Theme	キーワード / Key Word
第1回	1. 授業とスペイン語でのコミュニケーションについての導入 Introducción a la clase y a la comunicación en español.	
第2回	1. アルファベットと発音 El alfabeto.	
第3回	1. 自己紹介 Presentaciones.	
第4回	1. 職業について Ocupaciones.	
第5回	1. 家族について La familia.	
第6回	1. 自分自身について ¿Cómo eres?	
第7回	1. 調子は同ですか? ¿Cómo estás?	
第8回	1. レストランで En un restaurante.	
第9回	1. いろんな物とその所在 Las cosas y el espacio.	
第10回	1. 住居について La casa.	
第11回	1. 住所の説明 Dar direcciones.	
第12回	1. 時刻等の言い方 El tiempo cronológico	
第13回	1. まとめとその他のテーマ1 Repaso 1	
第14回	1. まとめとその他のテーマ2 Repaso 2	
第15回	1. まとめとその他のテーマ3と検証試験 Repaso 3 y examen	

(学部科目 / Undergraduate Courses) 授業外学習の指示 / Recommendations for Private Study

(大学院科目 / Graduate Courses) 授業の方法 / Study Method

1. まとめとその他のテーマ3と検証試験 Repaso 3 y examen

成績評価方法 / Grading Criteria and Method of Evaluation

種別 / Kind	割合 / Percentage	評価基準等 / Grading Criteria etc.
平常点評価	100 %	小テスト, まとめのテスト, 授業への積極的参加, インタビュー, 等(詳しくは担当者から直接説明する)

受講および研究に関するアドバイス / Advice to Students on Study and Research Methods

教科書 / Textbooks

書名 / Title	出版社・ISBNコード・コメント / Author, Publisher, ISBN Code, Comment
¡Ánimo!	Lluís Valls / Kogakusha / 4-902964-03-1 C1086 /

参考書 / Reference Books

参考になる WWW ページ / Web Pages Useful for Reference

その他 / Others

スペイン語・表現Ⅱ(2A)

10075

担当者名 / Instructor VALLS LLUIS

単位数 / Credit 1

授業の概要 / Course Outline

前期の「スペイン語表現Ⅰ」で学習した内容を更に発展させ、受講生にコミュニケーションの現場で使えるスペイン語を習得させるようにする。En este curso se ofrecen al estudiante nuevas oportunidades para practicar español en situaciones de comunicación realistas y se repasan las situaciones presentadas en el curso anterior.

到達目標 / Attainment Objectives

この講座を終了して時点で、受講生は自分自身や身の回りのことについて必要はコミュニケーション能力を身につけ、買い物に行くとか道を尋ねるといった日常的なコミュニケーションができるようになる。Aprender el español necesario para operaciones comunicativas básicas relacionadas con sí mismo y su entorno real y pueda realizar acciones cotidianas como ir de compras o pedir direcciones en la calle.

履修しておくことが望まれる科目 / Required Preparatory Study

授業スケジュール / Course Schedule

授業日(第N回)	テーマ / Theme	キーワード / Key Word
第1回	1. 「スペイン語表現Ⅰ」で学んだ内容を復習1 Repaso del curso anterior 1.	
第2回	1. 「スペイン語表現Ⅰ」で学んだ内容を復習2 Repaso del curso anterior 2.	
第3回	1. 人の好みと趣味について Preferencias.	
第4回	1. スペイン語で買い物1 De compras en español 1.	
第5回	1. 最近の出来事について話す Hablar de acciones recientes.	2. 現在完了 Pretérito perfecto
第6回	1. 過去の出来事について話す Hablar de acciones pasadas.	2. 点過去 Pretérito indefinido
第7回	1. 提案を行う Proponer actividades comunes.	
第8回	1. 未来について話す Hablar del futuro.	
第9回	1. 過去について話す Hablar del pasado.	2. 線過去 Pretérito imperfecto
第10回	1. 進行中の行為について話す Acciones en curso.	2. 進行形 Gerundio
第11回	1. スペイン語で買い物 De compras en español 2	
第12回	1. まとめとその他のテーマ1 Repaso 1	
第13回	1. まとめとその他のテーマ2 Repaso 2	
第14回	1. まとめとその他のテーマ3 Preparación para el examen	
第15回	1. まとめとその他のテーマ4と検証試験 Repaso y examen	

(学部科目 / Undergraduate Courses) 授業外学習の指示 / Recommendations for Private Study

(大学院科目 / Graduate Courses) 授業の方法 / Study Method

後に復習できるよう授業中にしっかりノートをとること Se recomienda tomar notas en cada clase para poder repasarlas luego.

成績評価方法 / Grading Criteria and Method of Evaluation

種別 / Kind	割合 / Percentage	評価基準等 / Grading Criteria etc.
平常点評価	100 %	小テスト、まとめのテスト、授業への積極的参加、インタビュー、等(詳しくは担当者から直接説明する)

受講および研究に関するアドバイス / Advice to Students on Study and Research Methods

教科書 / Textbooks

書名 / Title	出版社・ISBNコード・コメント / Author, Publisher, ISBN Code, Comment
iÁnimo!	Lluís Valls / Kogakusha / 4-902964-03-1 C1086 /

参考書 / Reference Books

参考になる WWW ページ / Web Pages Useful for Reference

その他 / Others

スペイン語・表現Ⅱ (2B)

12116

担当者名 / Instructor GUERRERO RAUL

単位数 / Credit 1

授業の概要 / Course Outline

前期の「スペイン語表現Ⅰ」で学習した内容を更に発展させ、受講生にコミュニケーションの現場で使えるスペイン語を習得させるようにする。En este curso se ofrecen al estudiante nuevas oportunidades para practicar español en situaciones de comunicación realistas y se repasan las situaciones presentadas en el curso anterior.

到達目標 / Attainment Objectives

この講座を終了して時点で、受講生は自分自身や身の回りのことについて必要はコミュニケーション能力を身につけ、買い物に行くとか道を尋ねるといった日常的なコミュニケーションができるようになる。Aprender el español necesario para operaciones comunicativas básicas relacionadas con sí mismo y su entorno real y pueda realizar acciones cotidianas como ir de compras o pedir direcciones en la calle.

履修しておくことが望まれる科目 / Required Preparatory Study

授業スケジュール / Course Schedule

授業日(第N回)	テーマ / Theme	キーワード / Key Word
第1回	1. 「スペイン語表現Ⅰ」で学んだ内容を復習1 Repaso del curso anterior 1.	
第2回	1. 「スペイン語表現Ⅰ」で学んだ内容を復習2 Repaso del curso anterior 2.	
第3回	1. 人の好みと趣味について Preferencias.	
第4回	1. スペイン語で買い物1 De compras en español 1.	
第5回	1. 最近の出来事について話す Hablar de acciones recientes.	2. 現在完了 Pretérito perfecto
第6回	1. 過去の出来事について話す Hablar de acciones pasadas.	2. 点過去 Pretérito indefinido
第7回	1. 提案を行う Proponer actividades comunes.	
第8回	1. 未来について話す Hablar del futuro.	
第9回	1. 過去について話す Hablar del pasado.	2. 線過去 Pretérito imperfecto
第10回	1. 進行中の行為について話す Acciones en curso.	2. 進行形 Gerundio
第11回	1. スペイン語で買い物 De compras en español 2	
第12回	1. まとめとその他のテーマ1 Repaso 1	
第13回	1. まとめとその他のテーマ2 Repaso 2	
第14回	1. まとめとその他のテーマ3 Preparación para el examen	
第15回	1. まとめとその他のテーマ4と検証試験 Repaso y examen	

(学部科目 / Undergraduate Courses) 授業外学習の指示 / Recommendations for Private Study

(大学院科目 / Graduate Courses) 授業の方法 / Study Method

後に復習できるよう授業中にしっかりノートをとること Se recomienda tomar notas en cada clase para poder repasarlas luego.

成績評価方法 / Grading Criteria and Method of Evaluation

種別 / Kind	割合 / Percentage	評価基準等 / Grading Criteria etc.
平常点評価	100 %	小テスト、まとめのテスト、授業への積極的参加、インタビュー、等(詳しくは担当者から直接説明する)

受講および研究に関するアドバイス / Advice to Students on Study and Research Methods

教科書 / Textbooks

書名 / Title	出版社・ISBNコード・コメント / Author, Publisher, ISBN Code, Comment
¡Ánimo!	Lluís Valls/Kohgakusha/4-902964-03-1 C1086/

参考書 / Reference Books

参考になる WWW ページ / Web Pages Useful for Reference

その他 / Others

スペイン語・表現Ⅱ (3A)

12241

担当者名 / Instructor GUERRERO RAUL

単位数 / Credit 1

授業の概要 / Course Outline

前期の「スペイン語表現Ⅰ」で学習した内容を更に発展させ、受講生にコミュニケーションの現場で使えるスペイン語を習得させるようにする。En este curso se ofrecen al estudiante nuevas oportunidades para practicar español en situaciones de comunicación realistas y se repasan las situaciones presentadas en el curso anterior.

到達目標 / Attainment Objectives

この講座を終了して時点で、受講生は自分自身や身の回りのことについて必要はコミュニケーション能力を身につけ、買い物に行くとか道を尋ねるといった日常的なコミュニケーションができるようになる。Aprender el español necesario para operaciones comunicativas básicas relacionadas con sí mismo y su entorno real y pueda realizar acciones cotidianas como ir de compras o pedir direcciones en la calle.

履修しておくことが望まれる科目 / Required Preparatory Study

授業スケジュール / Course Schedule

授業日(第N回)	テーマ / Theme	キーワード / Key Word
第1回	1. 「スペイン語表現Ⅰ」で学んだ内容を復習1 Repaso del curso anterior 1.	
第2回	1. 「スペイン語表現Ⅰ」で学んだ内容を復習2 Repaso del curso anterior 2.	
第3回	1. 人の好みと趣味について Preferencias.	
第4回	1. スペイン語で買い物1 De compras en español 1.	
第5回	1. 最近の出来事について話す Hablar de acciones recientes.	2. 現在完了 Pretérito perfecto
第6回	1. 過去の出来事について話す Hablar de acciones pasadas.	2. 点過去 Pretérito indefinido
第7回	1. 提案を行う Proponer actividades comunes.	
第8回	1. 未来について話す Hablar del futuro.	
第9回	1. 過去について話す Hablar del pasado.	2. 線過去 Pretérito imperfecto
第10回	1. 進行中の行為について話す Acciones en curso.	2. 進行形 Gerundio
第11回	1. スペイン語で買い物 De compras en español 2	
第12回	1. まとめとその他のテーマ1 Repaso 1	
第13回	1. まとめとその他のテーマ2 Repaso 2	
第14回	1. まとめとその他のテーマ3 Preparación para el examen	
第15回	1. まとめとその他のテーマ4と検証試験 Repaso y examen	

(学部科目 / Undergraduate Courses) 授業外学習の指示 / Recommendations for Private Study

(大学院科目 / Graduate Courses) 授業の方法 / Study Method

後に復習できるよう授業中にしっかりノートをとること Se recomienda tomar notas en cada clase para poder repasarlas luego.

成績評価方法 / Grading Criteria and Method of Evaluation

種別 / Kind	割合 / Percentage	評価基準等 / Grading Criteria etc.
平常点評価	100 %	小テスト、まとめのテスト、授業への積極的参加、インタビュー、等(詳しくは担当者から直接説明する)

受講および研究に関するアドバイス / Advice to Students on Study and Research Methods

教科書 / Textbooks

書名 / Title	出版社・ISBNコード・コメント / Author, Publisher, ISBN Code, Comment
¡Ánimo!	Lluís Valls / Kogakusha / 4-902964-03-1 C1086 /

参考書 / Reference Books

参考になる WWW ページ / Web Pages Useful for Reference

その他 / Others

スペイン語・表現Ⅱ (3B)

12239

担当者名 / Instructor ARRIETA DANIEL

単位数 / Credit 1

授業の概要 / Course Outline

前期の「スペイン語表現Ⅰ」で学習した内容を更に発展させ、受講生にコミュニケーションの現場で使えるスペイン語を習得させるようにする。En este curso se ofrecen al estudiante nuevas oportunidades para practicar español en situaciones de comunicación realistas y se repasan las situaciones presentadas en el curso anterior.

到達目標 / Attainment Objectives

この講座を終了して時点で、受講生は自分自身や身の回りのことについて必要はコミュニケーション能力を身につけ、買い物に行くとか道を尋ねるといった日常的なコミュニケーションができるようになる。Aprender el español necesario para operaciones comunicativas básicas relacionadas con sí mismo y su entorno real y pueda realizar acciones cotidianas como ir de compras o pedir direcciones en la calle.

履修しておくことが望まれる科目 / Required Preparatory Study

授業スケジュール / Course Schedule

授業日(第N回)	テーマ / Theme	キーワード / Key Word
第1回	1. 「スペイン語表現Ⅰ」で学んだ内容を復習1 Repaso del curso anterior 1.	
第2回	1. 「スペイン語表現Ⅰ」で学んだ内容を復習2 Repaso del curso anterior 2.	
第3回	1. 人の好みと趣味について Preferencias.	
第4回	1. スペイン語で買い物1 De compras en español 1.	
第5回	1. 最近の出来事について話す Hablar de acciones recientes.	2. 現在完了 Pretérito perfecto
第6回	1. 過去の出来事について話す Hablar de acciones pasadas.	2. 点過去 Pretérito indefinido
第7回	1. 提案を行う Proponer actividades comunes.	
第8回	1. 未来について話す Hablar del futuro.	
第9回	1. 過去について話す Hablar del pasado.	2. 線過去 Pretérito imperfecto
第10回	1. 進行中の行為について話す Acciones en curso.	2. 進行形 Gerundio
第11回	1. スペイン語で買い物 De compras en español 2	
第12回	1. まとめとその他のテーマ1 Repaso 1	
第13回	1. まとめとその他のテーマ2 Repaso 2	
第14回	1. まとめとその他のテーマ3 Preparación para el examen	
第15回	1. まとめとその他のテーマ4と検証試験 Repaso y examen	

(学部科目 / Undergraduate Courses) 授業外学習の指示 / Recommendations for Private Study

(大学院科目 / Graduate Courses) 授業の方法 / Study Method

後に復習できるよう授業中にしっかりノートをとること Se recomienda tomar notas en cada clase para poder repasarlas luego.

成績評価方法 / Grading Criteria and Method of Evaluation

種別 / Kind	割合 / Percentage	評価基準等 / Grading Criteria etc.
平常点評価	100 %	小テスト、まとめのテスト、授業への積極的参加、インタビュー、等(詳しくは担当者から直接説明する)

受講および研究に関するアドバイス / Advice to Students on Study and Research Methods

教科書 / Textbooks

書名 / Title	出版社・ISBNコード・コメント / Author, Publisher, ISBN Code, Comment
iÁnimo!	Lluís Valls / Kogakusha / 4-902964-03-1 C1086 /

参考書 / Reference Books

参考になる WWW ページ / Web Pages Useful for Reference

その他 / Others

スペイン語・表現Ⅱ (3C)

10210

担当者名 / Instructor VALLS LLUIS

単位数 / Credit 1

授業の概要 / Course Outline

前期の「スペイン語表現Ⅰ」で学習した内容を更に発展させ、受講生にコミュニケーションの現場で使えるスペイン語を習得させるようにする。En este curso se ofrecen al estudiante nuevas oportunidades para practicar español en situaciones de comunicación realistas y se repasan las situaciones presentadas en el curso anterior.

到達目標 / Attainment Objectives

この講座を終了して時点で、受講生は自分自身や身の回りのことについて必要はコミュニケーション能力を身につけ、買い物に行くとか道を尋ねるといった日常的なコミュニケーションができるようになる。Aprender el español necesario para operaciones comunicativas básicas relacionadas con sí mismo y su entorno real y pueda realizar acciones cotidianas como ir de compras o pedir direcciones en la calle.

履修しておくことが望まれる科目 / Required Preparatory Study

授業スケジュール / Course Schedule

授業日(第N回)	テーマ / Theme	キーワード / Key Word
第1回	1. 「スペイン語表現Ⅰ」で学んだ内容を復習1 Repaso del curso anterior 1.	
第2回	1. 「スペイン語表現Ⅰ」で学んだ内容を復習2 Repaso del curso anterior 2.	
第3回	1. 人の好みと趣味について Preferencias.	
第4回	1. スペイン語で買い物1 De compras en español 1.	
第5回	1. 最近の出来事について話す Hablar de acciones recientes.	2. 現在完了 Pretérito perfecto
第6回	1. 過去の出来事について話す Hablar de acciones pasadas.	2. 点過去 Pretérito indefinido
第7回	1. 提案を行う Proponer actividades comunes.	
第8回	1. 未来について話す Hablar del futuro.	
第9回	1. 過去について話す Hablar del pasado.	2. 線過去 Pretérito imperfecto
第10回	1. 進行中の行為について話す Acciones en curso.	2. 進行形 Gerundio
第11回	1. スペイン語で買い物 De compras en español 2	
第12回	1. まとめとその他のテーマ1 Repaso 1	
第13回	1. まとめとその他のテーマ2 Repaso 2	
第14回	1. まとめとその他のテーマ3 Preparación para el examen	
第15回	1. まとめとその他のテーマ4と検証試験 Repaso y examen	

(学部科目 / Undergraduate Courses) 授業外学習の指示 / Recommendations for Private Study

(大学院科目 / Graduate Courses) 授業の方法 / Study Method

後に復習できるよう授業中にしっかりノートをとること Se recomienda tomar notas en cada clase para poder repasarlas luego.

成績評価方法 / Grading Criteria and Method of Evaluation

種別 / Kind	割合 / Percentage	評価基準等 / Grading Criteria etc.
平常点評価	100 %	小テスト、まとめのテスト、授業への積極的参加、インタビュー、等(詳しくは担当者から直接説明する)

受講および研究に関するアドバイス / Advice to Students on Study and Research Methods

教科書 / Textbooks

書名 / Title	出版社・ISBNコード・コメント / Author, Publisher, ISBN Code, Comment
¡Ánimo!	Lluís Valls / Kogakusha / 4-902964-03-1 C1086 /

参考書 / Reference Books

参考になる WWW ページ / Web Pages Useful for Reference

その他 / Others

スペイン語・表現II (3D)

10198

担当者名 / Instructor ARRIETA DANIEL

単位数 / Credit 1

授業の概要 / Course Outline

前期の「スペイン語表現I」で学習した内容を更に発展させ、受講生にコミュニケーションの現場で使えるスペイン語を習得させるようにする。En este curso se ofrecen al estudiante nuevas oportunidades para practicar español en situaciones de comunicación realistas y se repasan las situaciones presentadas en el curso anterior.

到達目標 / Attainment Objectives

この講座を終了して時点で、受講生は自分自身や身の回りのことについて必要はコミュニケーション能力を身につけ、買い物に行くとか道を尋ねるといった日常的なコミュニケーションができるようになる。Aprender el español necesario para operaciones comunicativas básicas relacionadas con sí mismo y su entorno real y pueda realizar acciones cotidianas como ir de compras o pedir direcciones en la calle.

履修しておくことが望まれる科目 / Required Preparatory Study

授業スケジュール / Course Schedule

授業日(第N回)	テーマ / Theme	キーワード / Key Word
第1回	1. 「スペイン語表現I」で学んだ内容を復習1 Repaso del curso anterior 1.	
第2回	1. 「スペイン語表現I」で学んだ内容を復習2 Repaso del curso anterior 2.	
第3回	1. 人の好みと趣味について Preferencias.	
第4回	1. スペイン語で買い物1 De compras en español 1.	
第5回	1. 最近の出来事について話す Hablar de acciones recientes.	2. 現在完了 Pretérito perfecto
第6回	1. 過去の出来事について話す Hablar de acciones pasadas.	2. 点過去 Pretérito indefinido
第7回	1. 提案を行う Proponer actividades comunes.	
第8回	1. 未来について話す Hablar del futuro.	
第9回	1. 過去について話す Hablar del pasado.	2. 線過去 Pretérito imperfecto
第10回	1. 進行中の行為について話す Acciones en curso.	2. 進行形 Gerundio
第11回	1. スペイン語で買い物 De compras en español 2	
第12回	1. まとめとその他のテーマ1 Repaso 1	
第13回	1. まとめとその他のテーマ2 Repaso 2	
第14回	1. まとめとその他のテーマ3 Preparación para el examen	
第15回	1. まとめとその他のテーマ4と検証試験 Repaso y examen	

(学部科目 / Undergraduate Courses) 授業外学習の指示 / Recommendations for Private Study

(大学院科目 / Graduate Courses) 授業の方法 / Study Method

後に復習できるよう授業中にしっかりノートをとること Se recomienda tomar notas en cada clase para poder repasarlas luego.

成績評価方法 / Grading Criteria and Method of Evaluation

種別 / Kind	割合 / Percentage	評価基準等 / Grading Criteria etc.
平常点評価	100 %	小テスト、まとめのテスト、授業への積極的参加、インタビュー、等(詳しくは担当者から直接説明する)

受講および研究に関するアドバイス / Advice to Students on Study and Research Methods

教科書 / Textbooks

書名 / Title	出版社・ISBNコード・コメント / Author, Publisher, ISBN Code, Comment
¡Ánimo!	Lluís Valls / Kogakusha / 4-902964-03-1 C1086 /

参考書 / Reference Books

参考になる WWW ページ / Web Pages Useful for Reference

その他 / Others

スペイン語・表現Ⅱ (3E)

12111

担当者名 / Instructor ARRIETA DANIEL

単位数 / Credit 1

授業の概要 / Course Outline

前期の「スペイン語表現Ⅰ」で学習した内容を更に発展させ、受講生にコミュニケーションの現場で使えるスペイン語を習得させるようにする。En este curso se ofrecen al estudiante nuevas oportunidades para practicar español en situaciones de comunicación realistas y se repasan las situaciones presentadas en el curso anterior.

到達目標 / Attainment Objectives

この講座を終了して時点で、受講生は自分自身や身の回りのことについて必要はコミュニケーション能力を身につけ、買い物に行くとか道を尋ねるといった日常的なコミュニケーションができるようになる。Aprender el español necesario para operaciones comunicativas básicas relacionadas con sí mismo y su entorno real y pueda realizar acciones cotidianas como ir de compras o pedir direcciones en la calle.

履修しておくことが望まれる科目 / Required Preparatory Study

授業スケジュール / Course Schedule

授業日(第N回)	テーマ / Theme	キーワード / Key Word
第1回	1. 「スペイン語表現Ⅰ」で学んだ内容を復習1 Repaso del curso anterior 1.	
第2回	1. 「スペイン語表現Ⅰ」で学んだ内容を復習2 Repaso del curso anterior 2.	
第3回	1. 人の好みと趣味について Preferencias.	
第4回	1. スペイン語で買い物1 De compras en español 1.	
第5回	1. 最近の出来事について話す Hablar de acciones recientes.	2. 現在完了 Pretérito perfecto
第6回	1. 過去の出来事について話す Hablar de acciones pasadas.	2. 点過去 Pretérito indefinido
第7回	1. 提案を行う Proponer actividades comunes.	
第8回	1. 未来について話す Hablar del futuro.	
第9回	1. 過去について話す Hablar del pasado.	2. 線過去 Pretérito imperfecto
第10回	1. 進行中の行為について話す Acciones en curso.	2. 進行形 Gerundio
第11回	1. スペイン語で買い物 De compras en español 2	
第12回	1. まとめとその他のテーマ1 Repaso 1	
第13回	1. まとめとその他のテーマ2 Repaso 2	
第14回	1. まとめとその他のテーマ3 Preparación para el examen	
第15回	1. まとめとその他のテーマ4と検証試験 Repaso y examen	

(学部科目 / Undergraduate Courses) 授業外学習の指示 / Recommendations for Private Study

(大学院科目 / Graduate Courses) 授業の方法 / Study Method

後に復習できるよう授業中にしっかりノートをとること Se recomienda tomar notas en cada clase para poder repasarlas luego.

成績評価方法 / Grading Criteria and Method of Evaluation

種別 / Kind	割合 / Percentage	評価基準等 / Grading Criteria etc.
平常点評価	100 %	小テスト、まとめのテスト、授業への積極的参加、インタビュー、等(詳しくは担当者から直接説明する)

受講および研究に関するアドバイス / Advice to Students on Study and Research Methods

教科書 / Textbooks

書名 / Title	出版社・ISBNコード・コメント / Author, Publisher, ISBN Code, Comment
iÁnimo!	Lluís Valls / Kogakusha / 4-902964-03-1 C1086 /

参考書 / Reference Books

参考になる WWW ページ / Web Pages Useful for Reference

その他 / Others

中国語・応用I (2A)

11230

担当者名 / Instructor 塚田 亮太

単位数 / Credit 1

授業の概要 / Course Outline

これまでの「基礎・展開・総合・表現」などで学んだ中国語の知識を生かしながら、中国語のコミュニケーション能力を育成していきます。「聴く」力、「話す力」、「読む」力、「書く」力を総合的に伸ばすことを目標とします。中国市民生活の様々な場面を紹介する読解文と、それに関連する実用の会話文を学習していきます。文法事項の補足説明を随時行いながら、読解、音声、視覚などの総合手段を運用して中国語の総合的レベルアップを図っていきます。

到達目標 / Attainment Objectives

- ◎中国の社会、文化、習慣などへの知識や興味を深め、視野を広げる。
- ◎中国語を聞く力、話す力をさらに向上させる。
- ◎中国語の文章を読む力をつける。

履修しておくことが望まれる科目 / Required Preparatory Study

授業スケジュール / Course Schedule

授業日(第N回)	テーマ / Theme	キーワード / Key Word
第1回	授業計画紹介及び復習。授業の内容や計画を紹介しながら、一回生時に学んだ知識を確認する。	
第2回	本文「北京の小学校」	
第3回	会話1 我是日本人	
第4回	本文「北京のアフターファイブ」	
第5回	会話2 北京有名な酒吧	
第6回	本文「中国流行歌謡界」	
第7回	会話3 王菲的歌	
第8回	中間復習と中間小テスト	
第9回	本文「新北京の足」	
第10回	会話4 我也想買車	
第11回	本文「中国メディア事情」	
第12回	会話5 北京的天気	
第13回	本文「港町天津」	
第14回	会話6 天津的食品街	
第15回	全体のまとめと確認テスト	

 (学部科目 / Undergraduate Courses) 授業外学習の指示 / Recommendations for Private Study
 (大学院科目 / Graduate Courses) 授業の方法 / Study Methods

成績評価方法 / Grading Criteria and Method of Evaluation

種別 / Kind	割合 / Percentage	評価基準等 / Grading Criteria etc.
平常点評価	100 %	出席、宿題などの日常的な取り組みは50%、小テスト、確認テストは50%。

受講および研究に関するアドバイス / Advice to Students on Study and Research Methods

教科書 / Textbooks

書名 / Title	出版社・ISBNコード・コメント / Author, Publisher, ISBN Code, Comment
《北京コレクション——初級～中級篇——》	相原茂・陳祖蓀／朝日出版社／／

参考書 / Reference Books

参考になる WWW ページ / Web Pages Useful for Reference

その他 / Others

中国語・応用I (2B)

11231

担当者名 / Instructor 岩崎 菜子

単位数 / Credit 1

授業の概要 / Course Outline

これまでの「基礎・展開・総合・表現」などで学んだ中国語の知識を生かしながら、中国語のコミュニケーション能力を育成していきます。「聴く」力、「話す力」、「読む」力、「書く」力を総合的に伸ばすことを目標とします。中国市民生活の様々な場面を紹介する読解文と、それに関連する実用の会話文を学習していきます。文法事項の補足説明を随時行いながら、読解、音声、視覚などの総合手段を運用して中国語の総合的レベルアップを図っていきます。

到達目標 / Attainment Objectives

- ◎中国の社会、文化、習慣などへの知識や興味を深め、視野を広げる。
- ◎中国語を聞く力、話す力をさらに向上させる。
- ◎中国語の文章を読む力をつける。

履修しておくことが望まれる科目 / Required Preparatory Study

授業スケジュール / Course Schedule

授業日(第N回)	テーマ / Theme	キーワード / Key Word
第1回	授業計画紹介及び復習。授業の内容や計画を紹介しながら、一回生時に学んだ知識を確認する。	
第2回	本文「北京の小学校」	
第3回	会話1 我是日本人	
第4回	本文「北京のアフターファイブ」	
第5回	会話2 北京有名な酒吧	
第6回	本文「中国流行歌謡界」	
第7回	会話3 王菲的歌	
第8回	中間復習と中間小テスト	
第9回	本文「新北京の足」	
第10回	会話4 我也想買車	
第11回	本文「中国メディア事情」	
第12回	会話5 北京的天気	
第13回	本文「港町天津」	
第14回	会話6 天津的食品街	
第15回	全体のまとめと確認テスト	

(学部科目 / Undergraduate Courses) 授業外学習の指示 / Recommendations for Private Study

(大学院科目 / Graduate Courses) 授業の方法 / Study Method

成績評価方法 / Grading Criteria and Method of Evaluation

種別 / Kind	割合 / Percentage	評価基準等 / Grading Criteria etc.
平常点評価	100 %	出席、宿題などの日常的な取り組みは50%、小テスト、確認テストは50%。

受講および研究に関するアドバイス / Advice to Students on Study and Research Methods

教科書 / Textbooks

書名 / Title	出版社・ISBNコード・コメント / Author, Publisher, ISBN Code, Comment
《北京コレクション——初級～中級篇——》	相原茂・陳祖蓀／朝日出版社／／

参考書 / Reference Books

参考になる WWW ページ / Web Pages Useful for Reference

その他 / Others

中国語・応用I (2C)

11410

担当者名 / Instructor 塚田 亮太

単位数 / Credit 1

授業の概要 / Course Outline

これまでの「基礎・展開・総合・表現」などで学んだ中国語の知識を生かしながら、中国語のコミュニケーション能力を育成していきます。「聴く」力、「話す力」、「読む」力、「書く」力を総合的に伸ばすことを目標とします。中国市民生活の様々な場面を紹介する読解文と、それに関連する実用の会話文を学習していきます。文法事項の補足説明を随時行いながら、読解、音声、視覚などの総合手段を運用して中国語の総合的レベルアップを図っていきます。

到達目標 / Attainment Objectives

- ◎中国の社会、文化、習慣などへの知識や興味を深め、視野を広げる。
- ◎中国語を聞く力、話す力をさらに向上させる。
- ◎中国語の文章を読む力をつける。

履修しておくことが望まれる科目 / Required Preparatory Study

授業スケジュール / Course Schedule

授業日(第N回)	テーマ / Theme	キーワード / Key Word
第1回	授業計画紹介及び復習。授業の内容や計画を紹介しながら、一回生時に学んだ知識を確認する。	
第2回	本文「北京の小学校」	
第3回	会話1 我是日本人	
第4回	本文「北京のアフターファイブ」	
第5回	会話2 北京有名な酒吧	
第6回	本文「中国流行歌謡界」	
第7回	会話3 王菲的歌	
第8回	中間復習と中間小テスト	
第9回	本文「新北京の足」	
第10回	会話4 我也想買車	
第11回	本文「中国メディア事情」	
第12回	会話5 北京的天気	
第13回	本文「港町天津」	
第14回	会話6 天津的食品街	
第15回	全体のまとめと確認テスト	

 (学部科目 / Undergraduate Courses) 授業外学習の指示 / Recommendations for Private Study
 (大学院科目 / Graduate Courses) 授業の方法 / Study Methods

成績評価方法 / Grading Criteria and Method of Evaluation

種別 / Kind	割合 / Percentage	評価基準等 / Grading Criteria etc.
平常点評価	100 %	出席、宿題などの日常的な取り組みは50%、小テスト、確認テストは50%。

受講および研究に関するアドバイス / Advice to Students on Study and Research Methods

教科書 / Textbooks

書名 / Title	出版社・ISBNコード・コメント / Author, Publisher, ISBN Code, Comment
《北京コレクション——初級～中級篇——》	相原茂・陳祖蓀／朝日出版社／／

参考書 / Reference Books

参考になる WWW ページ / Web Pages Useful for Reference

その他 / Others

中国語・応用Ⅱ (2A)

11321

担当者名 / Instructor 塚田 亮太

単位数 / Credit 1

授業の概要 / Course Outline

これまでの「基礎・展開・総合・表現」で学んだ中国語の知識を生かしながら、中国語のコミュニケーション能力を育成していきます。「聴く」力、「話す」力、「読む」力、「書く」力を総合的に伸ばすことを目標とします。中国市民生活の様々な場面を紹介する読解文と、それに関連する実用の会話文を学習していきます。文法事項の補足説明を随時行いながら、読解、音声、視覚などの総合手段を運用して中国語の総合的レベルアップを図っていきます。

到達目標 / Attainment Objectives

- ◎中国の社会、文化、習慣などへの知識や興味を深め、視野を広げる。
- ◎中国語を聞く力、話す力をさらに向上させる。
- ◎中国語の文章を読む力をつける。

履修しておくことが望まれる科目 / Required Preparatory Study

授業スケジュール / Course Schedule

授業日(第N回)	テーマ / Theme	キーワード / Key Word
第1回	授業計画紹介及び復習。授業の内容や計画を紹介しながら、前期に学んだ知識を確認する。	
第2回	本文「骨董ブーム」	
第3回	会話7 多少錢?	
第4回	本文「北京の職人」	
第5回	会話8 我想刻図章	
第6回	本文「北京郊外」	
第7回	会話9 比城里的空氣好	
第8回	中間復習と中間小テスト	
第9回	本文「中国飲食文化」	
第10回	会話10 今天我請客	
第11回	本文「未来の京劇スターの夢」	
第12回	会話11 好久不見了	
第13回	本文「オリンピックと胡同」	
第14回	会話12 北京奧運会	
第15回	全体のまとめと確認テスト	

 (学部科目 / Undergraduate Courses) 授業外学習の指示 / Recommendations for Private Study
 (大学院科目 / Graduate Courses) 授業の方法 / Study Method

成績評価方法 / Grading Criteria and Method of Evaluation

種別 / Kind	割合 / Percentage	評価基準等 / Grading Criteria etc.
平常点評価	100 %	出席、宿題などの日常的な取り組みは50%、小テスト、確認テストは50%。

受講および研究に関するアドバイス / Advice to Students on Study and Research Methods

教科書 / Textbooks

書名 / Title	出版社・ISBNコード・コメント / Author, Publisher, ISBN Code, Comment
《北京コレクション——初級～中級篇——》	相原茂・陳祖蓓／朝日出版社／／

参考書 / Reference Books

参考になる WWW ページ / Web Pages Useful for Reference

その他 / Others

中国語・応用Ⅱ (2B)

11322

担当者名 / Instructor 岩崎 菜子

単位数 / Credit 1

授業の概要 / Course Outline

これまでの「基礎・展開・総合・表現」で学んだ中国語の知識を生かしながら、中国語のコミュニケーション能力を育成していきます。「聴く」力、「話す」力、「読む」力、「書く」力を総合的に伸ばすことを目標とします。中国市民生活の様々な場面を紹介する読解文と、それに関連する実用の会話文を学習していきます。文法事項の補足説明を随時行いながら、読解、音声、視覚などの総合手段を運用して中国語の総合的レベルアップを図っていきます。

到達目標 / Attainment Objectives

- ◎中国の社会、文化、習慣などへの知識や興味を深め、視野を広げる。
- ◎中国語を聞く力、話す力をさらに向上させる。
- ◎中国語の文章を読む力をつける。

履修しておくことが望まれる科目 / Required Preparatory Study

授業スケジュール / Course Schedule

授業日(第N回)	テーマ / Theme	キーワード / Key Word
第1回	授業計画紹介及び復習。授業の内容や計画を紹介しながら、前期に学んだ知識を確認する。	
第2回	本文「骨董ブーム」	
第3回	会話7 多少錢？	
第4回	本文「北京の職人」	
第5回	会話8 我想刻図章	
第6回	本文「北京郊外」	
第7回	会話9 比城里的空氣好	
第8回	中間復習と中間小テスト	
第9回	本文「中国飲食文化」	
第10回	会話10 今天我請客	
第11回	本文「未来の京劇スターの夢」	
第12回	会話11 好久不見了	
第13回	本文「オリンピックと胡同」	
第14回	会話12 北京奧運会	
第15回	全体のまとめと確認テスト	

 (学部科目 / Undergraduate Courses) 授業外学習の指示 / Recommendations for Private Study
 (大学院科目 / Graduate Courses) 授業の方法 / Study Method

成績評価方法 / Grading Criteria and Method of Evaluation

種別 / Kind	割合 / Percentage	評価基準等 / Grading Criteria etc.
平常点評価	100 %	出席、宿題などの日常的な取り組みは50%、小テスト、確認テストは50%。

受講および研究に関するアドバイス / Advice to Students on Study and Research Methods

教科書 / Textbooks

書名 / Title	出版社・ISBNコード・コメント / Author, Publisher, ISBN Code, Comment
《北京コレクション——初級～中級篇——》	相原茂・陳祖蓓／朝日出版社／／

参考書 / Reference Books

参考になる WWW ページ / Web Pages Useful for Reference

その他 / Others

中国語・応用II (2C)

11510

担当者名 / Instructor 塚田 亮太

単位数 / Credit 1

授業の概要 / Course Outline

これまでの「基礎・展開・総合・表現」で学んだ中国語の知識を生かしながら、中国語のコミュニケーション能力を育成していきます。「聴く」力、「話す」力、「読む」力、「書く」力を総合的に伸ばすことを目標とします。中国市民生活の様々な場面を紹介する読解文と、それに関連する実用の会話文を学習していきます。文法事項の補足説明を随時行いながら、読解、音声、視覚などの総合手段を運用して中国語の総合的レベルアップを図っていきます。

到達目標 / Attainment Objectives

- ◎中国の社会、文化、習慣などへの知識や興味を深め、視野を広げる。
- ◎中国語を聞く力、話す力をさらに向上させる。
- ◎中国語の文章を読む力をつける。

履修しておくことが望まれる科目 / Required Preparatory Study

授業スケジュール / Course Schedule

授業日(第N回)	テーマ / Theme	キーワード / Key Word
第1回	授業計画紹介及び復習。授業の内容や計画を紹介しながら、前期に学んだ知識を確認する。	
第2回	本文「骨董ブーム」	
第3回	会話7 多少錢?	
第4回	本文「北京の職人」	
第5回	会話8 我想刻図章	
第6回	本文「北京郊外」	
第7回	会話9 比城里的空氣好	
第8回	中間復習と中間小テスト	
第9回	本文「中国飲食文化」	
第10回	会話10 今天我請客	
第11回	本文「未来の京劇スターの夢」	
第12回	会話11 好久不見了	
第13回	本文「オリンピックと胡同」	
第14回	会話12 北京奧運会	
第15回	全体のまとめと確認テスト	

 (学部科目 / Undergraduate Courses) 授業外学習の指示 / Recommendations for Private Study
 (大学院科目 / Graduate Courses) 授業の方法 / Study Method

成績評価方法 / Grading Criteria and Method of Evaluation

種別 / Kind	割合 / Percentage	評価基準等 / Grading Criteria etc.
平常点評価	100 %	出席、宿題などの日常的な取り組みは50%、小テスト、確認テストは50%。

受講および研究に関するアドバイス / Advice to Students on Study and Research Methods

教科書 / Textbooks

書名 / Title	出版社・ISBNコード・コメント / Author, Publisher, ISBN Code, Comment
《北京コレクション——初級～中級篇——》	相原茂・陳祖蓓／朝日出版社／／

参考書 / Reference Books

参考になる WWW ページ / Web Pages Useful for Reference

その他 / Others

中国語・基礎 (2A)

10816

担当者名 / Instructor 今場 正美

単位数 / Credit 2

授業の概要 / Course Outline

この授業は、1回生の初修重視コース(8単位コース)クラスの学生を対象とし、週2回行う。コミュニケーションの手段としての中国語の基礎を、発音、語彙、文法、表現の面から学習する。コミュニケーションにとって不可欠な中国語圏の生活や文化に関する知識も少しずつ身につけるようにしていく。基本的に日本人教員が担当する。

到達目標 / Attainment Objectives

中国語では日常的に使われている漢字はほぼ日本語の常用漢字と一致し、書き方もたいした違いがないことは学習者にとっては入門しやすい点と言える。しかし、発音や文法などは日本語と全く違う体系となっているので、漢字の落とし穴に落ちないように、最初から発音の記号ピンイン(中国式のローマ字)を丁寧に練習して身に付ける必要がある。
正しい中国語の発音(ピンイン)や声調を身に付ける。基本語彙、基本文型、基礎文法などを習得する。判断文、動詞文、形容詞文、存現文、助動詞文、補語文などを学習する。あいさつ、自己紹介、数字、曜日月日の表現などを学ぶ。

履修しておくことが望まれる科目 / Required Preparatory Study

授業スケジュール / Course Schedule

授業日(第N回)	テーマ / Theme	キーワード / Key Word
第1週～第3週	中国語の発音(ピンイン)や声調などを学習する。発音テスト。	
第4週	テキストの第1課を学習する。	
第5週	テキストの第2課を学習する。	
第6週	テキストの第3課を学習する。	
第7週	テキストの第4課を学習する。	
第8週	中間まとめ、中間小テスト。	
第9週	テキストの第5課を学習する。	
第10週	テキストの第6課を学習する。	
第11週	テキストの第7課を学習する。	
第12週	テキストの第8課を学習する。	
第13週	テキストの第9課を学習する。	
第14週	テキストの第10課を学習する。	
第15週	全体まとめ及び確認テスト	

(学部科目 / Undergraduate Courses) 授業外学習の指示 / Recommendations for Private Study

(大学院科目 / Graduate Courses) 授業の方法 / Study Method

成績評価方法 / Grading Criteria and Method of Evaluation

種別 / Kind	割合 / Percentage	評価基準等 / Grading Criteria etc.
平常点評価	100 %	出席、宿題などの日常的な取り組みは50%、小テスト、確認テストは50%。

受講および研究に関するアドバイス / Advice to Students on Study and Research Methods

副専攻中国語コミュニケーションコース、中国語検定試験・HSK検定試験など各種の中国語検定試験、海外スタディープログラム、長期・短期海外留学などを視野に入れて学習してほしい。

教科書 / Textbooks

書名 / Title	出版社・ISBNコード・コメント / Author, Publisher, ISBN Code, Comment
《コミュニケーション中国語 レベル I》	立命館大学中国語部会編／郁文堂出版社／／

参考書 / Reference Books

参考になる WWW ページ / Web Pages Useful for Reference

その他 / Others

中国語・基礎 (2B)	10962
-------------	-------

担当者名 / Instructor 鷲尾 祐子

単位数 / Credit 2

授業の概要 / Course Outline

この授業は、1回生の初修重視コース(8単位コース)クラスの学生を対象とし、週2回行う。コミュニケーションの手段としての中国語の基礎を、発音、語彙、文法、表現の面から学習する。コミュニケーションにとって不可欠な中国語圏の生活や文化に関する知識も少しずつ身につけるようにしていく。基本的に日本人教員が担当する。

到達目標 / Attainment Objectives

中国語では日常的に使われている漢字はほぼ日本語の常用漢字と一致し、書き方もたいした違いがないことは学習者にとっては入門しやすい点と言える。しかし、発音や文法などは日本語と全く違う体系となっているので、漢字の落とし穴に落ちないように、最初から発音の記号ピンイン(中国式のローマ字)を丁寧に練習して身に付ける必要がある。
正しい中国語の発音(ピンイン)や声調を身に付ける。基本語彙、基本文型、基礎文法などを習得する。判断文、動詞文、形容詞文、存現文、助動詞文、補語文などを学習する。あいさつ、自己紹介、数字、曜日月日の表現などを学ぶ。

履修しておくことが望まれる科目 / Required Preparatory Study授業スケジュール / Course Schedule

授業日(第N回)	テーマ / Theme	キーワード / Key Word
第1週～第3週	中国語の発音(ピンイン)や声調などを学習する。発音テスト。	
第4週	テキストの第1課を学習する。	
第5週	テキストの第2課を学習する。	
第6週	テキストの第3課を学習する。	
第7週	テキストの第4課を学習する。	
第8週	中間まとめ、中間小テスト。	
第9週	テキストの第5課を学習する。	
第10週	テキストの第6課を学習する。	
第11週	テキストの第7課を学習する。	
第12週	テキストの第8課を学習する。	
第13週	テキストの第9課を学習する。	
第14週	テキストの第10課を学習する。	
第15週	全体まとめ及び確認テスト	

(学部科目 / Undergraduate Courses) 授業外学習の指示 / Recommendations for Private Study(大学院科目 / Graduate Courses) 授業の方法 / Study Method成績評価方法 / Grading Criteria and Method of Evaluation

種別 / Kind	割合 / Percentage	評価基準等 / Grading Criteria etc.
平常点評価	100 %	出席、宿題などの日常的な取り組みは50%、小テスト、確認テストは50%。

受講および研究に関するアドバイス / Advice to Students on Study and Research Methods

副専攻中国語コミュニケーションコース、中国語検定試験・HSK検定試験など各種の中国語検定試験、海外スタディープログラム、長期・短期海外留学などを視野に入れて学習してほしい。

教科書 / Textbooks

書名 / Title	出版社・ISBNコード・コメント / Author, Publisher, ISBN Code, Comment
《コミュニケーション中国語 レベル I》	立命館大学中国語部会編／郁文堂出版社／／

参考書 / Reference Books参考になる WWW ページ / Web Pages Useful for Referenceその他 / Others

中国語・基礎 (2C)

10963

担当者名 / Instructor 今場 正美

単位数 / Credit 2

授業の概要 / Course Outline

この授業は、1回生の初修重視コース(8単位コース)クラスの学生を対象とし、週2回行う。コミュニケーションの手段としての中国語の基礎を、発音、語彙、文法、表現の面から学習する。コミュニケーションにとって不可欠な中国語圏の生活や文化に関する知識も少しずつ身につけるようにしていく。基本的に日本人教員が担当する。

到達目標 / Attainment Objectives

中国語では日常的に使われている漢字はほぼ日本語の常用漢字と一致し、書き方もたいした違いがないことは学習者にとっては入門しやすい点と言える。しかし、発音や文法などは日本語と全く違う体系となっているので、漢字の落とし穴に落ちないように、最初から発音の記号ピンイン(中国式のローマ字)を丁寧に練習して身に付ける必要がある。
正しい中国語の発音(ピンイン)や声調を身に付ける。基本語彙、基本文型、基礎文法などを習得する。判断文、動詞文、形容詞文、存現文、助動詞文、補語文などを学習する。あいさつ、自己紹介、数字、曜日月日の表現などを学ぶ。

履修しておくことが望まれる科目 / Required Preparatory Study

授業スケジュール / Course Schedule

授業日(第N回)	テーマ / Theme	キーワード / Key Word
第1週～第3週	中国語の発音(ピンイン)や声調などを学習する。発音テスト。	
第4週	テキストの第1課を学習する。	
第5週	テキストの第2を学習する。	
第6週	テキストの第3課を学習する。	
第7週	テキストの第4課を学習する。	
第8週	中間まとめ、中間小テスト。	
第9週	テキストの第5課を学習する。	
第10週	テキストの第6課を学習する。	
第11週	テキストの第7課を学習する。	
第12週	テキストの第8課を学習する。	
第13週	テキストの第9課を学習する。	
第14週	テキストの第10課を学習する。	
第15週	全体まとめ及び確認テスト	

(学部科目 / Undergraduate Courses) 授業外学習の指示 / Recommendations for Private Study

(大学院科目 / Graduate Courses) 授業の方法 / Study Method

成績評価方法 / Grading Criteria and Method of Evaluation

種別 / Kind	割合 / Percentage	評価基準等 / Grading Criteria etc.
平常点評価	100 %	出席、宿題などの日常的な取り組みは50%、小テスト、確認テストは50%。

受講および研究に関するアドバイス / Advice to Students on Study and Research Methods

副専攻中国語コミュニケーションコース、中国語検定試験・HSK検定試験など各種の中国語検定試験、海外スタディープログラム、長期・短期海外留学などを視野に入れて学習してほしい。

教科書 / Textbooks

書名 / Title	出版社・ISBNコード・コメント / Author, Publisher, ISBN Code, Comment
《コミュニケーション中国語 レベル I》	立命館大学中国語部会編／郁文堂出版社／／

参考書 / Reference Books

参考になる WWW ページ / Web Pages Useful for Reference

その他 / Others

中国語・総合I (3A)

10006

担当者名 / Instructor 石黒 やすえ

単位数 / Credit 1

授業の概要 / Course Outline

この授業は、1回生の英語重視コース(4単位コース)クラスの学生を対象とし、週1回行う。コミュニケーションの手段としての中国語の基礎を、発音、語彙、文法、表現の面から学習する。コミュニケーションにとって不可欠な中国語圏の生活や文化に関する知識も少しずつ身につけるようにしていく。基本的に日本人教員が担当する。

到達目標 / Attainment Objectives

中国語では日常的に使われている漢字はほぼ日本語の常用漢字と一致し、書き方もたいした違いがないことは学習者にとっては入門しやすい点と言える。しかし、発音や文法などは日本語と全く違う体系となっているので、漢字の落とし穴に落ちないように、最初から発音の記号ピンイン(中国式のローマ字)を丁寧に練習して身に付ける必要がある。
正しい中国語の発音(ピンイン)や声調を身に付ける。基本語彙、基本文型、基礎文法などを習得する。判断文、動詞文、形容詞文、存現文などを学習する。あいさつ、自己紹介、数字、曜日月日の表現などを学ぶ。

履修しておくことが望まれる科目 / Required Preparatory Study

授業スケジュール / Course Schedule

授業日(第N回)	テーマ / Theme	キーワード / Key Word
第1週～第3週	中国語の発音(ピンイン)や声調などを学習する。発音テスト。	
第4週	テキストの第1課の文法を学習する。	
第5週	テキストの第1課の本文を学習する。	
第6週	テキストの第2課の文法を学習する。	
第7週	テキストの第2課の本文を学習する。	
第8週	中間まとめ、中間小テスト。	
第9週	テキストの第3課の文法を学習する。	
第10週	テキストの第3課の本文を学習する。	
第11週	テキストの第4課の文法を学習する。	
第12週	テキストの第4課の本文を学習する。	
第13週	テキストの第5課の文法を学習する。	
第14週	テキストの第5課の本文を学習する。	
第15週	全体まとめ及び確認テスト	

(学部科目 / Undergraduate Courses) 授業外学習の指示 / Recommendations for Private Study
(大学院科目 / Graduate Courses) 授業の方法 / Study Method

成績評価方法 / Grading Criteria and Method of Evaluation

種別 / Kind	割合 / Percentage	評価基準等 / Grading Criteria etc.
平常点評価	100 %	出席、宿題などの日常的な取り組みは50%、小テスト、確認テストは50%。 出席、宿題などの日常的な取り組みは50%、小テスト、確認テストは50%。

受講および研究に関するアドバイス / Advice to Students on Study and Research Methods

副専攻中国語コミュニケーションコース、中国語検定試験・HSK検定試験など各種の中国語検定試験、海外スタディープログラム、長期・短期海外留学などを視野に入れて学習してほしい。

教科書 / Textbooks

書名 / Title	出版社・ISBNコード・コメント / Author, Publisher, ISBN Code, Comment
《コミュニケーション中国語 レベル I》	立命館大学中国語部会編／郁文堂出版社／／

参考書 / Reference Books

参考になる WWW ページ / Web Pages Useful for Reference

その他 / Others

中国語・総合I (3B)	10007
--------------	-------

担当者名 / Instructor 塚田 亮太

単位数 / Credit 1

授業の概要 / Course Outline

この授業は、1回生の英語重視コース(4単位コース)クラスの学生を対象とし、週1回行う。コミュニケーションの手段としての中国語の基礎を、発音、語彙、文法、表現の面から学習する。コミュニケーションにとって不可欠な中国語圏の生活や文化に関する知識も少しずつ身につけるようにしていく。基本的に日本人教員が担当する。

到達目標 / Attainment Objectives

中国語では日常的に使われている漢字はほぼ日本語の常用漢字と一致し、書き方もたいした違いがないことは学習者にとっては入門しやすい点と言える。しかし、発音や文法などは日本語と全く違う体系となっているので、漢字の落とし穴に落ちないように、最初から発音の記号ピンイン(中国式のローマ字)を丁寧に練習して身に付ける必要がある。
正しい中国語の発音(ピンイン)や声調を身に付ける。基本語彙、基本文型、基礎文法などを習得する。判断文、動詞文、形容詞文、存現文などを学習する。あいさつ、自己紹介、数字、曜日月日の表現などを学ぶ。

履修しておくことが望まれる科目 / Required Preparatory Study授業スケジュール / Course Schedule

授業日(第N回)	テーマ / Theme	キーワード / Key Word
第1週～第3週	中国語の発音(ピンイン)や声調などを学習する。発音テスト。	
第4週	テキストの第1課の文法を学習する。	
第5週	テキストの第1課の本文を学習する。	
第6週	テキストの第2課の文法を学習する。	
第7週	テキストの第2課の本文を学習する。	
第8週	中間まとめ、中間小テスト。	
第9週	テキストの第3課の文法を学習する。	
第10週	テキストの第3課の本文を学習する。	
第11週	テキストの第4課の文法を学習する。	
第12週	テキストの第4課の本文を学習する。	
第13週	テキストの第5課の文法を学習する。	
第14週	テキストの第5課の本文を学習する。	
第15週	全体まとめ及び確認テスト	

(学部科目 / Undergraduate Courses) 授業外学習の指示 / Recommendations for Private Study
 (大学院科目 / Graduate Courses) 授業の方法 / Study Method

成績評価方法 / Grading Criteria and Method of Evaluation

種別 / Kind	割合 / Percentage	評価基準等 / Grading Criteria etc.
平常点評価	100 %	出席、宿題などの日常的な取り組みは50%、小テスト、確認テストは50%。 出席、宿題などの日常的な取り組みは50%、小テスト、確認テストは50%。

受講および研究に関するアドバイス / Advice to Students on Study and Research Methods

副専攻中国語コミュニケーションコース、中国語検定試験・HSK検定試験など各種の中国語検定試験、海外スタディープログラム、長期・短期海外留学などを視野に入れて学習してほしい。

教科書 / Textbooks

書名 / Title	出版社・ISBNコード・コメント / Author, Publisher, ISBN Code, Comment
《コミュニケーション中国語 レベル I》	立命館大学中国語部会編／郁文堂出版社／／

参考書 / Reference Books参考になる WWW ページ / Web Pages Useful for Referenceその他 / Others

中国語・総合I (3C)

10008

担当者名 / Instructor 松尾 洋二

単位数 / Credit 1

授業の概要 / Course Outline

この授業は、1回生の英語重視コース(4単位コース)クラスの学生を対象とし、週1回行う。コミュニケーションの手段としての中国語の基礎を、発音、語彙、文法、表現の面から学習する。コミュニケーションにとって不可欠な中国語圏の生活や文化に関する知識も少しずつ身につけるようにしていく。基本的に日本人教員が担当する。

到達目標 / Attainment Objectives

中国語では日常的に使われている漢字はほぼ日本語の常用漢字と一致し、書き方もたいした違いがないことは学習者にとっては入門しやすい点と言える。しかし、発音や文法などは日本語と全く違う体系となっているので、漢字の落とし穴に落ちないように、最初から発音の記号ピンイン(中国式のローマ字)を丁寧に練習して身に付ける必要がある。
正しい中国語の発音(ピンイン)や声調を身に付ける。基本語彙、基本文型、基礎文法などを習得する。判断文、動詞文、形容詞文、存現文などを学習する。あいさつ、自己紹介、数字、曜日月日の表現などを学ぶ。

履修しておくことが望まれる科目 / Required Preparatory Study

授業スケジュール / Course Schedule

授業日(第N回)	テーマ / Theme	キーワード / Key Word
第1週～第3週	中国語の発音(ピンイン)や声調などを学習する。発音テスト。	
第4週	テキストの第1課の文法を学習する。	
第5週	テキストの第1課の本文を学習する。	
第6週	テキストの第2課の文法を学習する。	
第7週	テキストの第2課の本文を学習する。	
第8週	中間まとめ、中間小テスト。	
第9週	テキストの第3課の文法を学習する。	
第10週	テキストの第3課の本文を学習する。	
第11週	テキストの第4課の文法を学習する。	
第12週	テキストの第4課の本文を学習する。	
第13週	テキストの第5課の文法を学習する。	
第14週	テキストの第5課の本文を学習する。	
第15週	全体まとめ及び確認テスト	

(学部科目 / Undergraduate Courses) 授業外学習の指示 / Recommendations for Private Study

(大学院科目 / Graduate Courses) 授業の方法 / Study Method

成績評価方法 / Grading Criteria and Method of Evaluation

種別 / Kind	割合 / Percentage	評価基準等 / Grading Criteria etc.
平常点評価	100 %	出席、宿題などの日常的な取り組みは50%、小テスト、確認テストは50%。 出席、宿題などの日常的な取り組みは50%、小テスト、確認テストは50%。

受講および研究に関するアドバイス / Advice to Students on Study and Research Methods

副専攻中国語コミュニケーションコース、中国語検定試験・HSK検定試験など各種の中国語検定試験、海外スタディープログラム、長期・短期海外留学などを視野に入れて学習してほしい。

教科書 / Textbooks

書名 / Title	出版社・ISBNコード・コメント / Author, Publisher, ISBN Code, Comment
《コミュニケーション中国語 レベル I》	立命館大学中国語部会編／郁文堂出版社／

参考書 / Reference Books

参考になる WWW ページ / Web Pages Useful for Reference

その他 / Others

中国語・総合I (3D)

10125

担当者名 / Instructor 石黒 やすえ

単位数 / Credit 1

授業の概要 / Course Outline

この授業は、1回生の英語重視コース(4単位コース)クラスの学生を対象とし、週1回行う。コミュニケーションの手段としての中国語の基礎を、発音、語彙、文法、表現の面から学習する。コミュニケーションにとって不可欠な中国語圏の生活や文化に関する知識も少しずつ身につけるようにしていく。基本的に日本人教員が担当する。

到達目標 / Attainment Objectives

中国語では日常的に使われている漢字はほぼ日本語の常用漢字と一致し、書き方もたいした違いがないことは学習者にとっては入門しやすい点と言える。しかし、発音や文法などは日本語と全く違う体系となっているので、漢字の落とし穴に落ちないように、最初から発音の記号ピンイン(中国式のローマ字)を丁寧に練習して身に付ける必要がある。
正しい中国語の発音(ピンイン)や声調を身に付ける。基本語彙、基本文型、基礎文法などを習得する。判断文、動詞文、形容詞文、存現文などを学習する。あいさつ、自己紹介、数字、曜日月日の表現などを学ぶ。

履修しておくことが望まれる科目 / Required Preparatory Study

授業スケジュール / Course Schedule

授業日(第N回)	テーマ / Theme	キーワード / Key Word
第1週～第3週	中国語の発音(ピンイン)や声調などを学習する。発音テスト。	
第4週	テキストの第1課の文法を学習する。	
第5週	テキストの第1課の本文を学習する。	
第6週	テキストの第2課の文法を学習する。	
第7週	テキストの第2課の本文を学習する。	
第8週	中間まとめ、中間小テスト。	
第9週	テキストの第3課の文法を学習する。	
第10週	テキストの第3課の本文を学習する。	
第11週	テキストの第4課の文法を学習する。	
第12週	テキストの第4課の本文を学習する。	
第13週	テキストの第5課の文法を学習する。	
第14週	テキストの第5課の本文を学習する。	
第15週	全体まとめ及び確認テスト	

(学部科目 / Undergraduate Courses) 授業外学習の指示 / Recommendations for Private Study
(大学院科目 / Graduate Courses) 授業の方法 / Study Method

成績評価方法 / Grading Criteria and Method of Evaluation

種別 / Kind	割合 / Percentage	評価基準等 / Grading Criteria etc.
平常点評価	100 %	出席、宿題などの日常的な取り組みは50%、小テスト、確認テストは50%。 出席、宿題などの日常的な取り組みは50%、小テスト、確認テストは50%。

受講および研究に関するアドバイス / Advice to Students on Study and Research Methods

副専攻中国語コミュニケーションコース、中国語検定試験・HSK検定試験など各種の中国語検定試験、海外スタディープログラム、長期・短期海外留学などを視野に入れて学習してほしい。

教科書 / Textbooks

書名 / Title	出版社・ISBNコード・コメント / Author, Publisher, ISBN Code, Comment
《コミュニケーション中国語 レベル I》	立命館大学中国語部会編／郁文堂出版社／

参考書 / Reference Books

参考になる WWW ページ / Web Pages Useful for Reference

その他 / Others

中国語・総合I (3E)

10123

担当者名 / Instructor 塚田 亮太

単位数 / Credit 1

授業の概要 / Course Outline

この授業は、1回生の英語重視コース(4単位コース)クラスの学生を対象とし、週1回行う。コミュニケーションの手段としての中国語の基礎を、発音、語彙、文法、表現の面から学習する。コミュニケーションにとって不可欠な中国語圏の生活や文化に関する知識も少しずつ身につけるようにしていく。基本的に日本人教員が担当する。

到達目標 / Attainment Objectives

中国語では日常的に使われている漢字はほぼ日本語の常用漢字と一致し、書き方もたいした違いがないことは学習者にとっては入門しやすい点と言える。しかし、発音や文法などは日本語と全く違う体系となっているので、漢字の落とし穴に落ちないように、最初から発音の記号ピンイン(中国式のローマ字)を丁寧に練習して身に付ける必要がある。
正しい中国語の発音(ピンイン)や声調を身に付ける。基本語彙、基本文型、基礎文法などを習得する。判断文、動詞文、形容詞文、存現文などを学習する。あいさつ、自己紹介、数字、曜日月日の表現などを学ぶ。

履修しておくことが望まれる科目 / Required Preparatory Study

授業スケジュール / Course Schedule

授業日(第N回)	テーマ / Theme	キーワード / Key Word
第1週～第3週	中国語の発音(ピンイン)や声調などを学習する。発音テスト。	
第4週	テキストの第1課の文法を学習する。	
第5週	テキストの第1課の本文を学習する。	
第6週	テキストの第2課の文法を学習する。	
第7週	テキストの第2課の本文を学習する。	
第8週	中間まとめ、中間小テスト。	
第9週	テキストの第3課の文法を学習する。	
第10週	テキストの第3課の本文を学習する。	
第11週	テキストの第4課の文法を学習する。	
第12週	テキストの第4課の本文を学習する。	
第13週	テキストの第5課の文法を学習する。	
第14週	テキストの第5課の本文を学習する。	
第15週	全体まとめ及び確認テスト	

(学部科目 / Undergraduate Courses) 授業外学習の指示 / Recommendations for Private Study

(大学院科目 / Graduate Courses) 授業の方法 / Study Method

成績評価方法 / Grading Criteria and Method of Evaluation

種別 / Kind	割合 / Percentage	評価基準等 / Grading Criteria etc.
平常点評価	100 %	出席、宿題などの日常的な取り組みは50%、小テスト、確認テストは50%。 出席、宿題などの日常的な取り組みは50%、小テスト、確認テストは50%。

受講および研究に関するアドバイス / Advice to Students on Study and Research Methods

副専攻中国語コミュニケーションコース、中国語検定試験・HSK検定試験など各種の中国語検定試験、海外スタディープログラム、長期・短期海外留学などを視野に入れて学習してほしい。

教科書 / Textbooks

書名 / Title	出版社・ISBNコード・コメント / Author, Publisher, ISBN Code, Comment
《コミュニケーション中国語 レベル I》	立命館大学中国語部会編／郁文堂出版社／

参考書 / Reference Books

参考になる WWW ページ / Web Pages Useful for Reference

その他 / Others

中国語・総合I (3F)

10126

担当者名 / Instructor 松尾 洋二

単位数 / Credit 1

授業の概要 / Course Outline

この授業は、1回生の英語重視コース(4単位コース)クラスの学生を対象とし、週1回行う。コミュニケーションの手段としての中国語の基礎を、発音、語彙、文法、表現の面から学習する。コミュニケーションにとって不可欠な中国語圏の生活や文化に関する知識も少しずつ身につけるようにしていく。基本的に日本人教員が担当する。

到達目標 / Attainment Objectives

中国語では日常的に使われている漢字はほぼ日本語の常用漢字と一致し、書き方もたいした違いがないことは学習者にとっては入門しやすい点と言える。しかし、発音や文法などは日本語と全く違う体系となっているので、漢字の落とし穴に落ちないように、最初から発音の記号ピンイン(中国式のローマ字)を丁寧に練習して身に付ける必要がある。
正しい中国語の発音(ピンイン)や声調を身に付ける。基本語彙、基本文型、基礎文法などを習得する。判断文、動詞文、形容詞文、存現文などを学習する。あいさつ、自己紹介、数字、曜日月日の表現などを学ぶ。

履修しておくことが望まれる科目 / Required Preparatory Study

授業スケジュール / Course Schedule

授業日(第N回)	テーマ / Theme	キーワード / Key Word
第1週～第3週	中国語の発音(ピンイン)や声調などを学習する。発音テスト。	
第4週	テキストの第1課の文法を学習する。	
第5週	テキストの第1課の本文を学習する。	
第6週	テキストの第2課の文法を学習する。	
第7週	テキストの第2課の本文を学習する。	
第8週	中間まとめ、中間小テスト。	
第9週	テキストの第3課の文法を学習する。	
第10週	テキストの第3課の本文を学習する。	
第11週	テキストの第4課の文法を学習する。	
第12週	テキストの第4課の本文を学習する。	
第13週	テキストの第5課の文法を学習する。	
第14週	テキストの第5課の本文を学習する。	
第15週	全体まとめ及び確認テスト	

(学部科目 / Undergraduate Courses) 授業外学習の指示 / Recommendations for Private Study
(大学院科目 / Graduate Courses) 授業の方法 / Study Method

成績評価方法 / Grading Criteria and Method of Evaluation

種別 / Kind	割合 / Percentage	評価基準等 / Grading Criteria etc.
平常点評価	100 %	出席、宿題などの日常的な取り組みは50%、小テスト、確認テストは50%。 出席、宿題などの日常的な取り組みは50%、小テスト、確認テストは50%。

受講および研究に関するアドバイス / Advice to Students on Study and Research Methods

副専攻中国語コミュニケーションコース、中国語検定試験・HSK検定試験など各種の中国語検定試験、海外スタディープログラム、長期・短期海外留学などを視野に入れて学習してほしい。

教科書 / Textbooks

書名 / Title	出版社・ISBNコード・コメント / Author, Publisher, ISBN Code, Comment
《コミュニケーション中国語 レベル I》	立命館大学中国語部会編／郁文堂出版社／

参考書 / Reference Books

参考になる WWW ページ / Web Pages Useful for Reference

その他 / Others

中国語・総合I (3G)

10127

担当者名 / Instructor 山崎 俊鋭

単位数 / Credit 1

授業の概要 / Course Outline

この授業は、1回生の英語重視コース(4単位コース)クラスの学生を対象とし、週1回行う。コミュニケーションの手段としての中国語の基礎を、発音、語彙、文法、表現の面から学習する。コミュニケーションにとって不可欠な中国語圏の生活や文化に関する知識も少しずつ身につけるようにしていく。基本的に日本人教員が担当する。

到達目標 / Attainment Objectives

中国語では日常的に使われている漢字はほぼ日本語の常用漢字と一致し、書き方もたいした違いがないことは学習者にとっては入門しやすい点と言える。しかし、発音や文法などは日本語と全く違う体系となっているので、漢字の落とし穴に落ちないように、最初から発音の記号ピンイン(中国式のローマ字)を丁寧に練習して身に付ける必要がある。
正しい中国語の発音(ピンイン)や声調を身に付ける。基本語彙、基本文型、基礎文法などを習得する。判断文、動詞文、形容詞文、存現文などを学習する。あいさつ、自己紹介、数字、曜日月日の表現などを学ぶ。

履修しておくことが望まれる科目 / Required Preparatory Study

授業スケジュール / Course Schedule

授業日(第N回)	テーマ / Theme	キーワード / Key Word
第1週～第3週	中国語の発音(ピンイン)や声調などを学習する。発音テスト。	
第4週	テキストの第1課の文法を学習する。	
第5週	テキストの第1課の本文を学習する。	
第6週	テキストの第2課の文法を学習する。	
第7週	テキストの第2課の本文を学習する。	
第8週	中間まとめ、中間小テスト。	
第9週	テキストの第3課の文法を学習する。	
第10週	テキストの第3課の本文を学習する。	
第11週	テキストの第4課の文法を学習する。	
第12週	テキストの第4課の本文を学習する。	
第13週	テキストの第5課の文法を学習する。	
第14週	テキストの第5課の本文を学習する。	
第15週	全体まとめ及び確認テスト	

(学部科目 / Undergraduate Courses) 授業外学習の指示 / Recommendations for Private Study
(大学院科目 / Graduate Courses) 授業の方法 / Study Method

成績評価方法 / Grading Criteria and Method of Evaluation

種別 / Kind	割合 / Percentage	評価基準等 / Grading Criteria etc.
平常点評価	100 %	出席、宿題などの日常的な取り組みは50%、小テスト、確認テストは50%。 出席、宿題などの日常的な取り組みは50%、小テスト、確認テストは50%。

受講および研究に関するアドバイス / Advice to Students on Study and Research Methods

副専攻中国語コミュニケーションコース、中国語検定試験・HSK検定試験など各種の中国語検定試験、海外スタディープログラム、長期・短期海外留学などを視野に入れて学習してほしい。

教科書 / Textbooks

書名 / Title	出版社・ISBNコード・コメント / Author, Publisher, ISBN Code, Comment
《コミュニケーション中国語 レベル I》	立命館大学中国語部会編／郁文堂出版社／

参考書 / Reference Books

参考になる WWW ページ / Web Pages Useful for Reference

その他 / Others

中国語・総合Ⅱ (3A)

10071

担当者名 / Instructor 石黒 やすえ

単位数 / Credit 1

授業の概要 / Course Outline

この授業は、1回生の英語重視コース(4単位コース)クラスの学生を対象とし、週1回行う。「中国語・総合Ⅰ」の授業で習得した知識を生かしながら、発音や声調を更に上達させ、語彙、文法事項、文型などを増やしていく。コミュニケーションにとって不可欠な中国語圏の生活や文化に関する知識も少しずつ身につけるようにしていく。基本的に日本人教員が担当する。

到達目標 / Attainment Objectives

日常会話やコミュニケーションに必要な基本的な語彙や文型を習得し、基本的な文法体系をひとつと習得する。あいさつや簡単な自己紹介が口頭で表現でき、辞書を使いながら簡単な文章が読め、簡単な作文が書けるようになる。

履修しておくことが望まれる科目 / Required Preparatory Study

授業スケジュール / Course Schedule

授業日(第N回)	テーマ / Theme	キーワード / Key Word
第1週	前期の「中国語・総合・表現」などで習った内容を復習する。	
第2週	テキストの第6課の文法を学習する。	
第3週	テキストの第6課の本文を学習する。	
第4週	テキストの第7課の文法を学習する。	
第5週	テキストの第7課の本文を学習する。	
第6週	テキストの第8課の文法を学習する	
第7週	テキストの第8課の本文を学習する。	
第8週	中間まとめ、中間小テスト。	
第9週	テキストの第9課の文法を学習する。	
第10週	テキストの第9課の本文を学習する。	
第11週	テキストの第10課の文法を学習する。	
第12週	テキストの第10課の本文を学習する。	
第13週	受身文の文法や本文を学習する。	
第14週	使役文の文法や本文を学習する。	
第15週	全体まとめ及び基本リスニング力・基本表現力の確認テスト	

(学部科目 / Undergraduate Courses) 授業外学習の指示 / Recommendations for Private Study

(大学院科目 / Graduate Courses) 授業の方法 / Study Method

成績評価方法 / Grading Criteria and Method of Evaluation

種別 / Kind	割合 / Percentage	評価基準等 / Grading Criteria etc.
平常点評価	100 %	出席、宿題などの日常的な取り組みは50%、小テスト、確認テストは50%。

受講および研究に関するアドバイス / Advice to Students on Study and Research Methods

副専攻中国語コミュニケーションコース、中国語検定試験・HSK検定試験など各種の中国語検定試験、海外スタディープログラム、長期・短期海外留学などを視野に入れて学習してほしい。

教科書 / Textbooks

書名 / Title	出版社・ISBNコード・コメント / Author, Publisher, ISBN Code, Comment
《コミュニケーション中国語 レベルⅠ》	立命館大学中国語部会編／郁文堂出版社／／

参考書 / Reference Books

参考になる WWW ページ / Web Pages Useful for Reference

その他 / Others

中国語・総合Ⅱ (3B)

10072

担当者名 / Instructor 塚田 亮太

単位数 / Credit 1

授業の概要 / Course Outline

この授業は、1回生の英語重視コース(4単位コース)クラスの学生を対象とし、週1回行う。「中国語・総合Ⅰ」の授業で習得した知識を生かしながら、発音や声調を更に上達させ、語彙、文法事項、文型などを増やしていく。コミュニケーションにとって不可欠な中国語圏の生活や文化に関する知識も少しずつ身につけるようにしていく。基本的に日本人教員が担当する。

到達目標 / Attainment Objectives

日常会話やコミュニケーションに必要な基本的な語彙や文型を習得し、基本的な文法体系をひとつと習得する。あいさつや簡単な自己紹介が口頭で表現でき、辞書を使いながら簡単な文章が読め、簡単な作文が書けるようになる。

履修しておくことが望まれる科目 / Required Preparatory Study

授業スケジュール / Course Schedule

授業日(第N回)	テーマ / Theme	キーワード / Key Word
第1週	前期の「中国語・総合・表現」などで習った内容を復習する。	
第2週	テキストの第6課の文法を学習する。	
第3週	テキストの第6課の本文を学習する。	
第4週	テキストの第7課の文法を学習する。	
第5週	テキストの第7課の本文を学習する。	
第6週	テキストの第8課の文法を学習する	
第7週	テキストの第8課の本文を学習する。	
第8週	中間まとめ、中間小テスト。	
第9週	テキストの第9課の文法を学習する。	
第10週	テキストの第9課の本文を学習する。	
第11週	テキストの第10課の文法を学習する。	
第12週	テキストの第10課の本文を学習する。	
第13週	受身文の文法や本文を学習する。	
第14週	使役文の文法や本文を学習する。	
第15週	全体まとめ及び基本リスニング力・基本表現力の確認テスト	

(学部科目 / Undergraduate Courses) 授業外学習の指示 / Recommendations for Private Study

(大学院科目 / Graduate Courses) 授業の方法 / Study Method

成績評価方法 / Grading Criteria and Method of Evaluation

種別 / Kind	割合 / Percentage	評価基準等 / Grading Criteria etc.
平常点評価	100 %	出席、宿題などの日常的な取り組みは50%、小テスト、確認テストは50%。

受講および研究に関するアドバイス / Advice to Students on Study and Research Methods

副専攻中国語コミュニケーションコース、中国語検定試験・HSK検定試験など各種の中国語検定試験、海外スタディープログラム、長期・短期海外留学などを視野に入れて学習してほしい。

教科書 / Textbooks

書名 / Title	出版社・ISBNコード・コメント / Author, Publisher, ISBN Code, Comment
《コミュニケーション中国語 レベルⅠ》	立命館大学中国語部会編／郁文堂出版社／／

参考書 / Reference Books

参考になる WWW ページ / Web Pages Useful for Reference

その他 / Others

中国語・総合Ⅱ (3C)

10073

担当者名 / Instructor 松尾 洋二

単位数 / Credit 1

授業の概要 / Course Outline

この授業は、1回生の英語重視コース(4単位コース)クラスの学生を対象とし、週1回行う。「中国語・総合Ⅰ」の授業で習得した知識を生かしながら、発音や声調を更に上達させ、語彙、文法事項、文型などを増やしていく。コミュニケーションにとって不可欠な中国語圏の生活や文化に関する知識も少しずつ身につけるようにしていく。基本的に日本人教員が担当する。

到達目標 / Attainment Objectives

日常会話やコミュニケーションに必要な基本的な語彙や文型を習得し、基本的な文法体系をひとつと習得する。あいさつや簡単な自己紹介が口頭で表現でき、辞書を使いながら簡単な文章が読め、簡単な作文が書けるようになる。

履修しておくことが望まれる科目 / Required Preparatory Study

授業スケジュール / Course Schedule

授業日(第N回)	テーマ / Theme	キーワード / Key Word
第1週	前期の「中国語・総合・表現」などで習った内容を復習する。	
第2週	テキストの第6課の文法を学習する。	
第3週	テキストの第6課の本文を学習する。	
第4週	テキストの第7課の文法を学習する。	
第5週	テキストの第7課の本文を学習する。	
第6週	テキストの第8課の文法を学習する	
第7週	テキストの第8課の本文を学習する。	
第8週	中間まとめ、中間小テスト。	
第9週	テキストの第9課の文法を学習する。	
第10週	テキストの第9課の本文を学習する。	
第11週	テキストの第10課の文法を学習する。	
第12週	テキストの第10課の本文を学習する。	
第13週	受身文の文法や本文を学習する。	
第14週	使役文の文法や本文を学習する。	
第15週	全体まとめ及び基本リスニング力・基本表現力の確認テスト	

(学部科目 / Undergraduate Courses) 授業外学習の指示 / Recommendations for Private Study

(大学院科目 / Graduate Courses) 授業の方法 / Study Method

成績評価方法 / Grading Criteria and Method of Evaluation

種別 / Kind	割合 / Percentage	評価基準等 / Grading Criteria etc.
平常点評価	100 %	出席、宿題などの日常的な取り組みは50%、小テスト、確認テストは50%。

受講および研究に関するアドバイス / Advice to Students on Study and Research Methods

副専攻中国語コミュニケーションコース、中国語検定試験・HSK検定試験など各種の中国語検定試験、海外スタディープログラム、長期・短期海外留学などを視野に入れて学習してほしい。

教科書 / Textbooks

書名 / Title	出版社・ISBNコード・コメント / Author, Publisher, ISBN Code, Comment
《コミュニケーション中国語 レベルⅠ》	立命館大学中国語部会編／郁文堂出版社／／

参考書 / Reference Books

参考になる WWW ページ / Web Pages Useful for Reference

その他 / Others

中国語・総合Ⅱ (3D)

10203

担当者名 / Instructor 石黒 やすえ

単位数 / Credit 1

授業の概要 / Course Outline

この授業は、1回生の英語重視コース(4単位コース)クラスの学生を対象とし、週1回行う。「中国語・総合Ⅰ」の授業で習得した知識を生かしながら、発音や声調を更に上達させ、語彙、文法事項、文型などを増やしていく。コミュニケーションにとって不可欠な中国語圏の生活や文化に関する知識も少しずつ身につけるようにしていく。基本的に日本人教員が担当する。

到達目標 / Attainment Objectives

日常会話やコミュニケーションに必要な基本的な語彙や文型を習得し、基本的な文法体系をひとつと習得する。あいさつや簡単な自己紹介が口頭で表現でき、辞書を使いながら簡単な文章が読め、簡単な作文が書けるようになる。

履修しておくことが望まれる科目 / Required Preparatory Study

授業スケジュール / Course Schedule

授業日(第N回)	テーマ / Theme	キーワード / Key Word
第1週	前期の「中国語・総合・表現」などで習った内容を復習する。	
第2週	テキストの第6課の文法を学習する。	
第3週	テキストの第6課の本文を学習する。	
第4週	テキストの第7課の文法を学習する。	
第5週	テキストの第7課の本文を学習する。	
第6週	テキストの第8課の文法を学習する	
第7週	テキストの第8課の本文を学習する。	
第8週	中間まとめ、中間小テスト。	
第9週	テキストの第9課の文法を学習する。	
第10週	テキストの第9課の本文を学習する。	
第11週	テキストの第10課の文法を学習する。	
第12週	テキストの第10課の本文を学習する。	
第13週	受身文の文法や本文を学習する。	
第14週	使役文の文法や本文を学習する。	
第15週	全体まとめ及び基本リスニング力・基本表現力の確認テスト	

(学部科目 / Undergraduate Courses) 授業外学習の指示 / Recommendations for Private Study

(大学院科目 / Graduate Courses) 授業の方法 / Study Method

成績評価方法 / Grading Criteria and Method of Evaluation

種別 / Kind	割合 / Percentage	評価基準等 / Grading Criteria etc.
平常点評価	100 %	出席、宿題などの日常的な取り組みは50%、小テスト、確認テストは50%。

受講および研究に関するアドバイス / Advice to Students on Study and Research Methods

副専攻中国語コミュニケーションコース、中国語検定試験・HSK検定試験など各種の中国語検定試験、海外スタディープログラム、長期・短期海外留学などを視野に入れて学習してほしい。

教科書 / Textbooks

書名 / Title	出版社・ISBNコード・コメント / Author, Publisher, ISBN Code, Comment
《コミュニケーション中国語 レベルⅠ》	立命館大学中国語部会編／郁文堂出版社／／

参考書 / Reference Books

参考になる WWW ページ / Web Pages Useful for Reference

その他 / Others

中国語・総合II (3E)

10204

担当者名 / Instructor 塚田 亮太

単位数 / Credit 1

授業の概要 / Course Outline

この授業は、1回生の英語重視コース(4単位コース)クラスの学生を対象とし、週1回行う。「中国語・総合 I」の授業で習得した知識を生かしながら、発音や声調を更に上達させ、語彙、文法事項、文型などを増やしていく。コミュニケーションにとって不可欠な中国語圏の生活や文化に関する知識も少しずつ身につけるようにしていく。基本的に日本人教員が担当する。

到達目標 / Attainment Objectives

日常会話やコミュニケーションに必要な基本的な語彙や文型を習得し、基本的な文法体系をひとつと習得する。あいさつや簡単な自己紹介が口頭で表現でき、辞書を使いながら簡単な文章が読め、簡単な作文が書けるようになる。

履修しておくことが望まれる科目 / Required Preparatory Study

授業スケジュール / Course Schedule

授業日(第N回)	テーマ / Theme	キーワード / Key Word
第1週	前期の「中国語・総合・表現」などで習った内容を復習する。	
第2週	テキストの第6課の文法を学習する。	
第3週	テキストの第6課の本文を学習する。	
第4週	テキストの第7課の文法を学習する。	
第5週	テキストの第7課の本文を学習する。	
第6週	テキストの第8課の文法を学習する	
第7週	テキストの第8課の本文を学習する。	
第8週	中間まとめ、中間小テスト。	
第9週	テキストの第9課の文法を学習する。	
第10週	テキストの第9課の本文を学習する。	
第11週	テキストの第10課の文法を学習する。	
第12週	テキストの第10課の本文を学習する。	
第13週	受身文の文法や本文を学習する。	
第14週	使役文の文法や本文を学習する。	
第15週	全体まとめ及び基本リスニング力・基本表現力の確認テスト	

(学部科目 / Undergraduate Courses) 授業外学習の指示 / Recommendations for Private Study

(大学院科目 / Graduate Courses) 授業の方法 / Study Method

成績評価方法 / Grading Criteria and Method of Evaluation

種別 / Kind	割合 / Percentage	評価基準等 / Grading Criteria etc.
平常点評価	100 %	出席、宿題などの日常的な取り組みは50%、小テスト、確認テストは50%。

受講および研究に関するアドバイス / Advice to Students on Study and Research Methods

副専攻中国語コミュニケーションコース、中国語検定試験・HSK検定試験など各種の中国語検定試験、海外スタディープログラム、長期・短期海外留学などを視野に入れて学習してほしい。

教科書 / Textbooks

書名 / Title	出版社・ISBNコード・コメント / Author, Publisher, ISBN Code, Comment
《コミュニケーション中国語 レベル I》	立命館大学中国語部会編／郁文堂出版社／／

参考書 / Reference Books

参考になる WWW ページ / Web Pages Useful for Reference

その他 / Others

中国語・総合Ⅱ (3F)

10205

担当者名 / Instructor 松尾 洋二

単位数 / Credit 1

授業の概要 / Course Outline

この授業は、1回生の英語重視コース(4単位コース)クラスの学生を対象とし、週1回行う。「中国語・総合Ⅰ」の授業で習得した知識を生かしながら、発音や声調を更に上達させ、語彙、文法事項、文型などを増やしていく。コミュニケーションにとって不可欠な中国語圏の生活や文化に関する知識も少しずつ身につけるようにしていく。基本的に日本人教員が担当する。

到達目標 / Attainment Objectives

日常会話やコミュニケーションに必要な基本的な語彙や文型を習得し、基本的な文法体系をひとつと習得する。あいさつや簡単な自己紹介が口頭で表現でき、辞書を使いながら簡単な文章が読め、簡単な作文が書けるようになる。

履修しておくことが望まれる科目 / Required Preparatory Study

授業スケジュール / Course Schedule

授業日(第N回)	テーマ / Theme	キーワード / Key Word
第1週	前期の「中国語・総合・表現」などで習った内容を復習する。	
第2週	テキストの第6課の文法を学習する。	
第3週	テキストの第6課の本文を学習する。	
第4週	テキストの第7課の文法を学習する。	
第5週	テキストの第7課の本文を学習する。	
第6週	テキストの第8課の文法を学習する	
第7週	テキストの第8課の本文を学習する。	
第8週	中間まとめ、中間小テスト。	
第9週	テキストの第9課の文法を学習する。	
第10週	テキストの第9課の本文を学習する。	
第11週	テキストの第10課の文法を学習する。	
第12週	テキストの第10課の本文を学習する。	
第13週	受身文の文法や本文を学習する。	
第14週	使役文の文法や本文を学習する。	
第15週	全体まとめ及び基本リスニング力・基本表現力の確認テスト	

(学部科目 / Undergraduate Courses) 授業外学習の指示 / Recommendations for Private Study

(大学院科目 / Graduate Courses) 授業の方法 / Study Method

成績評価方法 / Grading Criteria and Method of Evaluation

種別 / Kind	割合 / Percentage	評価基準等 / Grading Criteria etc.
平常点評価	100 %	出席、宿題などの日常的な取り組みは50%、小テスト、確認テストは50%。

受講および研究に関するアドバイス / Advice to Students on Study and Research Methods

副専攻中国語コミュニケーションコース、中国語検定試験・HSK検定試験など各種の中国語検定試験、海外スタディープログラム、長期・短期海外留学などを視野に入れて学習してほしい。

教科書 / Textbooks

書名 / Title	出版社・ISBNコード・コメント / Author, Publisher, ISBN Code, Comment
《コミュニケーション中国語 レベルⅠ》	立命館大学中国語部会編／郁文堂出版社／／

参考書 / Reference Books

参考になる WWW ページ / Web Pages Useful for Reference

その他 / Others

中国語・総合II (3G)

10206

担当者名 / Instructor 山崎 俊鋭

単位数 / Credit 1

授業の概要 / Course Outline

この授業は、1回生の英語重視コース(4単位コース)クラスの学生を対象とし、週1回行う。「中国語・総合 I」の授業で習得した知識を生かしながら、発音や声調を更に上達させ、語彙、文法事項、文型などを増やしていく。コミュニケーションにとって不可欠な中国語圏の生活や文化に関する知識も少しずつ身につけるようにしていく。基本的に日本人教員が担当する。

到達目標 / Attainment Objectives

日常会話やコミュニケーションに必要な基本的な語彙や文型を習得し、基本的な文法体系をひとつと習得する。あいさつや簡単な自己紹介が口頭で表現でき、辞書を使いながら簡単な文章が読め、簡単な作文が書けるようになる。

履修しておくことが望まれる科目 / Required Preparatory Study

授業スケジュール / Course Schedule

授業日(第N回)	テーマ / Theme	キーワード / Key Word
第1週	前期の「中国語・総合・表現」などで習った内容を復習する。	
第2週	テキストの第6課の文法を学習する。	
第3週	テキストの第6課の本文を学習する。	
第4週	テキストの第7課の文法を学習する。	
第5週	テキストの第7課の本文を学習する。	
第6週	テキストの第8課の文法を学習する	
第7週	テキストの第8課の本文を学習する。	
第8週	中間まとめ、中間小テスト。	
第9週	テキストの第9課の文法を学習する。	
第10週	テキストの第9課の本文を学習する。	
第11週	テキストの第10課の文法を学習する。	
第12週	テキストの第10課の本文を学習する。	
第13週	受身文の文法や本文を学習する。	
第14週	使役文の文法や本文を学習する。	
第15週	全体まとめ及び基本リスニング力・基本表現力の確認テスト	

(学部科目 / Undergraduate Courses) 授業外学習の指示 / Recommendations for Private Study

(大学院科目 / Graduate Courses) 授業の方法 / Study Method

成績評価方法 / Grading Criteria and Method of Evaluation

種別 / Kind	割合 / Percentage	評価基準等 / Grading Criteria etc.
平常点評価	100 %	出席、宿題などの日常的な取り組みは50%、小テスト、確認テストは50%。

受講および研究に関するアドバイス / Advice to Students on Study and Research Methods

副専攻中国語コミュニケーションコース、中国語検定試験・HSK検定試験など各種の中国語検定試験、海外スタディープログラム、長期・短期海外留学などを視野に入れて学習してほしい。

教科書 / Textbooks

書名 / Title	出版社・ISBNコード・コメント / Author, Publisher, ISBN Code, Comment
《コミュニケーション中国語 レベル I》	立命館大学中国語部会編／郁文堂出版社／／

参考書 / Reference Books

参考になる WWW ページ / Web Pages Useful for Reference

その他 / Others

中国語・展開 (2A)

10883

担当者名 / Instructor 今場 正美

単位数 / Credit 2

授業の概要 / Course Outline

この授業は、初修重視コースの「中国語・基礎」を終了した学生を対象とし、週2回行う。「中国語・基礎」などの授業で習得した知識を生かしながら、発音や声調を更に上達させ、語彙を増やし、文法事項や文型などの学習を深めていく。コミュニケーションにとって不可欠な中国語圏の生活や文化に関する知識も少しずつ身につけるようにしていく。基本的に日本人教員が担当する。

到達目標 / Attainment Objectives

日常会話やコミュニケーションに必要な語彙や文型を増やし、基本文法体系をひとつとおり学習し、中国語検定試験で言えば、4級程度のレベルを目指すことを目標とする。辞書を使いながら簡単な文章が読めるようになる。辞書を使って簡単な作文が書けるようになる。

履修しておくことが望まれる科目 / Required Preparatory Study

授業スケジュール / Course Schedule

授業日(第N回)	テーマ / Theme	キーワード / Key Word
第1週	前期の「中国語・基礎」などで習った内容を復習する。	
第2週	テキストの第1課を学習する。	
第3週	テキストの第2を学習する。	
第4週	テキストの第3課を学習する。	
第5週	テキストの第4課を学習する。	
第6週	テキストの第5課を学習する	
第7週	テキストの第6課を学習する。	
第8週	中間まとめ、中間小テスト。	
第9週	テキストの第7課を学習する。	
第10週	テキストの第8課を学習する。	
第11週	テキストの第9課を学習する。	
第12週	テキストの第10課を学習する。	
第13週	テキストの第11課を学習する。	
第14週	テキストの第12課を学習する。	
第15週	全体まとめ及び確認テスト	

(学部科目 / Undergraduate Courses) 授業外学習の指示 / Recommendations for Private Study

(大学院科目 / Graduate Courses) 授業の方法 / Study Method

成績評価方法 / Grading Criteria and Method of Evaluation

種別 / Kind	割合 / Percentage	評価基準等 / Grading Criteria etc.
平常点評価	100 %	出席、宿題などの日常的な取り組みは50%、小テスト、確認テストは50%。

受講および研究に関するアドバイス / Advice to Students on Study and Research Methods

副専攻中国語コミュニケーションコース、中国語検定試験・HSK検定試験など各種の中国語検定試験、海外スタディープログラム、長期・短期海外留学などを視野に入れて学習してほしい。

教科書 / Textbooks

書名 / Title	出版社・ISBNコード・コメント / Author, Publisher, ISBN Code, Comment
《コミュニケーション中国語 レベルⅡ》	立命館大学中国語部会編／郁文堂出版社／／

参考書 / Reference Books

参考になる WWW ページ / Web Pages Useful for Reference

その他 / Others

中国語・展開 (2B)

11041

担当者名 / Instructor 鷺尾 祐子

単位数 / Credit 2

授業の概要 / Course Outline

この授業は、初修重視コースの「中国語・基礎」を終了した学生を対象とし、週2回行う。「中国語・基礎」などの授業で習得した知識を生かしながら、発音や声調を更に上達させ、語彙を増やし、文法事項や文型などの学習を深めていく。コミュニケーションにとって不可欠な中国語圏の生活や文化に関する知識も少しずつ身につけるようにしていく。基本的に日本人教員が担当する。

到達目標 / Attainment Objectives

日常会話やコミュニケーションに必要な語彙や文型を増やし、基本文法体系をひとつとおり学習し、中国語検定試験で言えば、4級程度のレベルを目指すことを目標とする。辞書を使いながら簡単な文章が読めるようになる。辞書を使って簡単な作文が書けるようになる。

履修しておくことが望まれる科目 / Required Preparatory Study

授業スケジュール / Course Schedule

授業日(第N回)	テーマ / Theme	キーワード / Key Word
第1週	前期の「中国語・基礎」などで習った内容を復習する。	
第2週	テキストの第1課を学習する。	
第3週	テキストの第2を学習する。	
第4週	テキストの第3課を学習する。	
第5週	テキストの第4課を学習する。	
第6週	テキストの第5課を学習する	
第7週	テキストの第6課を学習する。	
第8週	中間まとめ、中間小テスト。	
第9週	テキストの第7課を学習する。	
第10週	テキストの第8課を学習する。	
第11週	テキストの第9課を学習する。	
第12週	テキストの第10課を学習する。	
第13週	テキストの第11課を学習する。	
第14週	テキストの第12課を学習する。	
第15週	全体まとめ及び確認テスト	

(学部科目 / Undergraduate Courses) 授業外学習の指示 / Recommendations for Private Study

(大学院科目 / Graduate Courses) 授業の方法 / Study Method

成績評価方法 / Grading Criteria and Method of Evaluation

種別 / Kind	割合 / Percentage	評価基準等 / Grading Criteria etc.
平常点評価	100 %	出席、宿題などの日常的な取り組みは50%、小テスト、確認テストは50%。

受講および研究に関するアドバイス / Advice to Students on Study and Research Methods

副専攻中国語コミュニケーションコース、中国語検定試験・HSK検定試験など各種の中国語検定試験、海外スタディープログラム、長期・短期海外留学などを視野に入れて学習してほしい。

教科書 / Textbooks

書名 / Title	出版社・ISBNコード・コメント / Author, Publisher, ISBN Code, Comment
《コミュニケーション中国語 レベルⅡ》	立命館大学中国語部会編／郁文堂出版社／／

参考書 / Reference Books

参考になる WWW ページ / Web Pages Useful for Reference

その他 / Others

中国語・展開 (2C)

11043

担当者名 / Instructor 今場 正美

単位数 / Credit 2

授業の概要 / Course Outline

この授業は、初修重視コースの「中国語・基礎」を終了した学生を対象とし、週2回行う。「中国語・基礎」などの授業で習得した知識を生かしながら、発音や声調を更に上達させ、語彙を増やし、文法事項や文型などの学習を深めていく。コミュニケーションにとって不可欠な中国語圏の生活や文化に関する知識も少しずつ身につけるようにしていく。基本的に日本人教員が担当する。

到達目標 / Attainment Objectives

日常会話やコミュニケーションに必要な語彙や文型を増やし、基本文法体系をひととおり学習し、中国語検定試験で言えば、4級程度のレベルを目指すことを目標とする。辞書を使いながら簡単な文章が読めるようになる。辞書を使って簡単な作文が書けるようになる。

履修しておくことが望まれる科目 / Required Preparatory Study

授業スケジュール / Course Schedule

授業日(第N回)	テーマ / Theme	キーワード / Key Word
第1週	前期の「中国語・基礎」などで習った内容を復習する。	
第2週	テキストの第1課を学習する。	
第3週	テキストの第2課を学習する。	
第4週	テキストの第3課を学習する。	
第5週	テキストの第4課を学習する。	
第6週	テキストの第5課を学習する。	
第7週	テキストの第6課を学習する。	
第8週	中間まとめ、中間小テスト。	
第9週	テキストの第7課を学習する。	
第10週	テキストの第8課を学習する。	
第11週	テキストの第9課を学習する。	
第12週	テキストの第10課を学習する。	
第13週	テキストの第11課を学習する。	
第14週	テキストの第12課を学習する。	
第15週	全体まとめ及び確認テスト	

(学部科目 / Undergraduate Courses) 授業外学習の指示 / Recommendations for Private Study

(大学院科目 / Graduate Courses) 授業の方法 / Study Method

成績評価方法 / Grading Criteria and Method of Evaluation

種別 / Kind	割合 / Percentage	評価基準等 / Grading Criteria etc.
平常点評価	100 %	出席、宿題などの日常的な取り組みは50%、小テスト、確認テストは50%。

受講および研究に関するアドバイス / Advice to Students on Study and Research Methods

副専攻中国語コミュニケーションコース、中国語検定試験・HSK検定試験など各種の中国語検定試験、海外スタディープログラム、長期・短期海外留学などを視野に入れて学習してほしい。

教科書 / Textbooks

書名 / Title	出版社・ISBNコード・コメント / Author, Publisher, ISBN Code, Comment
《コミュニケーション中国語 レベルⅡ》	立命館大学中国語部会編／郁文堂出版社／／

参考書 / Reference Books

参考になる WWW ページ / Web Pages Useful for Reference

その他 / Others

中国語・表現I (2A)

10004

担当者名 / Instructor 文 楚雄

単位数 / Credit 1

授業の概要 / Course Outline

この授業は、1回生の初修重視コース(8単位コース)クラスの連携授業で、正確な発音、基礎会話力・基礎リスニング力を養成することを目標とする。週1回行う。「中国語・基礎」の授業で学習した語彙・文型・文法などの知識を生かして、正確な発音を身に付けながら、日常生活やコミュニケーションに必要な基礎会話を学習していく。中国語を母語とする教員が担当する。

到達目標 / Attainment Objectives

正確な中国語の発音を身につける。簡単な挨拶や簡単な自己紹介ができるようになる。日常生活や海外旅行での簡単な会話ができるようになる。

履修しておくことが望まれる科目 / Required Preparatory Study

授業スケジュール / Course Schedule

授業日(第N回)	テーマ / Theme	キーワード / Key Word
第1週～第3週	中国語の発音(ピンイン)や声調などを学習する。発音テスト。	
第4週	テキストの第1課を学習する。	
第5週	テキストの第2課を学習する。	
第6週	テキストの第3課を学習する。	
第7週	テキストの第4課を学習する。	
第8週	中間まとめ、中間小テスト。	
第9週	テキストの第5課を学習する。	
第10週	テキストの第6課を学習する。	
第11週	テキストの第7課を学習する。	
第12週	テキストの第8課を学習する。	
第13週	テキストの第9課を学習する。	
第14週	テキストの第10課を学習する。	
第15週	全体まとめ及び基礎リスニング力・基礎表現力の確認テスト	

(学部科目 / Undergraduate Courses) 授業外学習の指示 / Recommendations for Private Study

(大学院科目 / Graduate Courses) 授業の方法 / Study Method

成績評価方法 / Grading Criteria and Method of Evaluation

種別 / Kind	割合 / Percentage	評価基準等 / Grading Criteria etc.
平常点評価	100 %	出席、宿題などの日常的な取り組みは50%、小テスト、確認テストは50%。

受講および研究に関するアドバイス / Advice to Students on Study and Research Methods

副専攻中国語コミュニケーションコース、中国語検定試験・HSK検定試験など各種の中国語検定試験、海外スタディープログラム、長期・短期海外留学などを視野に入れて学習してほしい。

教科書 / Textbooks

書名 / Title	出版社・ISBNコード・コメント / Author, Publisher, ISBN Code, Comment
《コミュニケーション中国語 レベル I》	立命館大学中国語部会編／郁文堂出版社／／

参考書 / Reference Books

参考になる WWW ページ / Web Pages Useful for Reference

その他 / Others

中国語・表現I (2B)

10119

担当者名 / Instructor 文 楚雄

単位数 / Credit 1

授業の概要 / Course Outline

この授業は、1回生の初修重視コース(8単位コース)クラスの連携授業で、正確な発音、基礎会話力・基礎リスニング力を養成することを目標とする。週1回行う。「中国語・基礎」の授業で学習した語彙・文型・文法などの知識を生かして、正確な発音を身に付けながら、日常生活やコミュニケーションに必要な基礎会話を学習していく。中国語を母語とする教員が担当する。

到達目標 / Attainment Objectives

正確な中国語の発音を身につける。簡単な挨拶や簡単な自己紹介ができるようになる。日常生活や海外旅行での簡単な会話ができるようになる。

履修しておくことが望まれる科目 / Required Preparatory Study

授業スケジュール / Course Schedule

授業日(第N回)	テーマ / Theme	キーワード / Key Word
第1週～第3週	中国語の発音(ピンイン)や声調などを学習する。発音テスト。	
第4週	テキストの第1課を学習する。	
第5週	テキストの第2課を学習する。	
第6週	テキストの第3課を学習する。	
第7週	テキストの第4課を学習する。	
第8週	中間まとめ、中間小テスト。	
第9週	テキストの第5課を学習する。	
第10週	テキストの第6課を学習する。	
第11週	テキストの第7課を学習する。	
第12週	テキストの第8課を学習する。	
第13週	テキストの第9課を学習する。	
第14週	テキストの第10課を学習する。	
第15週	全体まとめ及び基礎リスニング力・基礎表現力の確認テスト	

(学部科目 / Undergraduate Courses) 授業外学習の指示 / Recommendations for Private Study

(大学院科目 / Graduate Courses) 授業の方法 / Study Method

成績評価方法 / Grading Criteria and Method of Evaluation

種別 / Kind	割合 / Percentage	評価基準等 / Grading Criteria etc.
平常点評価	100 %	出席、宿題などの日常的な取り組みは50%、小テスト、確認テストは50%。

受講および研究に関するアドバイス / Advice to Students on Study and Research Methods

副専攻中国語コミュニケーションコース、中国語検定試験・HSK検定試験など各種の中国語検定試験、海外スタディープログラム、長期・短期海外留学などを視野に入れて学習してほしい。

教科書 / Textbooks

書名 / Title	出版社・ISBNコード・コメント / Author, Publisher, ISBN Code, Comment
《コミュニケーション中国語 レベル I》	立命館大学中国語部会編／郁文堂出版社／／

参考書 / Reference Books

参考になる WWW ページ / Web Pages Useful for Reference

その他 / Others

中国語・表現I (2C)

10121

担当者名 / Instructor 菅谷 音

単位数 / Credit 1

授業の概要 / Course Outline

この授業は、1回生の初修重視コース(8単位コース)クラスの連携授業で、正確な発音、基礎会話力・基礎リスニング力を養成することを目標とする。週1回行う。「中国語・基礎」の授業で学習した語彙・文型・文法などの知識を生かして、正確な発音を身に付けながら、日常生活やコミュニケーションに必要な基礎会話を学習していく。中国語を母語とする教員が担当する。

到達目標 / Attainment Objectives

正確な中国語の発音を身につける。簡単な挨拶や簡単な自己紹介ができるようになる。日常生活や海外旅行での簡単な会話ができるようになる。

履修しておくことが望まれる科目 / Required Preparatory Study

授業スケジュール / Course Schedule

授業日(第N回)	テーマ / Theme	キーワード / Key Word
第1週～第3週	中国語の発音(ピンイン)や声調などを学習する。発音テスト。	
第4週	テキストの第1課を学習する。	
第5週	テキストの第2課を学習する。	
第6週	テキストの第3課を学習する。	
第7週	テキストの第4課を学習する。	
第8週	中間まとめ、中間小テスト。	
第9週	テキストの第5課を学習する。	
第10週	テキストの第6課を学習する。	
第11週	テキストの第7課を学習する。	
第12週	テキストの第8課を学習する。	
第13週	テキストの第9課を学習する。	
第14週	テキストの第10課を学習する。	
第15週	全体まとめ及び基礎リスニング力・基礎表現力の確認テスト	

(学部科目 / Undergraduate Courses) 授業外学習の指示 / Recommendations for Private Study

(大学院科目 / Graduate Courses) 授業の方法 / Study Method

成績評価方法 / Grading Criteria and Method of Evaluation

種別 / Kind	割合 / Percentage	評価基準等 / Grading Criteria etc.
平常点評価	100 %	出席、宿題などの日常的な取り組みは50%、小テスト、確認テストは50%。

受講および研究に関するアドバイス / Advice to Students on Study and Research Methods

副専攻中国語コミュニケーションコース、中国語検定試験・HSK検定試験など各種の中国語検定試験、海外スタディープログラム、長期・短期海外留学などを視野に入れて学習してほしい。

教科書 / Textbooks

書名 / Title	出版社・ISBNコード・コメント / Author, Publisher, ISBN Code, Comment
《コミュニケーション中国語 レベル I》	立命館大学中国語部会編／郁文堂出版社／／

参考書 / Reference Books

参考になる WWW ページ / Web Pages Useful for Reference

その他 / Others

中国語・表現I (3A)

12046

担当者名 / Instructor 文 楚雄

単位数 / Credit 1

授業の概要 / Course Outline

この授業は、1回生の英語重視コース(4単位コース)クラスの連携授業で、正確な発音、基礎会話力・基礎リスニング力を養成することを目標とする。週1回行う。「中国語・総合」の授業で学習した語彙・文型・文法などの知識を生かして、正確な発音を身に付けながら、日常生活やコミュニケーションにもっとも基礎的な会話を学習していく。中国語を母語とする教員が担当する。

到達目標 / Attainment Objectives

正確な中国語の発音を身につける。簡単な挨拶や簡単な自己紹介ができるようになる。簡単な質問や最も基礎的な会話ができるようになる。

履修しておくことが望まれる科目 / Required Preparatory Study

授業スケジュール / Course Schedule

授業日(第N回)	テーマ / Theme	キーワード / Key Word
第1週～第3週	中国語の発音(ピンイン)や声調などを学習する。発音テスト。	
第4週	テキストの第1課を学習する。	
第5週	テキストの第1課を学習する。	
第6週	テキストの第2課を学習する。	
第7週	テキストの第2課を学習する。	
第8週	中間まとめ、中間小テスト。	
第9週	テキストの第3課を学習する。	
第10週	テキストの第3課を学習する。	
第11週	テキストの第4課を学習する。	
第12週	テキストの第4課を学習する。	
第13週	テキストの第5課を学習する。	
第14週	テキストの第5課を学習する。	
第15週	全体まとめ及び基礎リスニング力・基礎表現力の確認テスト	

(学部科目 / Undergraduate Courses) 授業外学習の指示 / Recommendations for Private Study

(大学院科目 / Graduate Courses) 授業の方法 / Study Method

成績評価方法 / Grading Criteria and Method of Evaluation

種別 / Kind	割合 / Percentage	評価基準等 / Grading Criteria etc.
平常点評価	100 %	出席、宿題などの日常的な取り組みは50%、小テスト、確認テストは50%。

受講および研究に関するアドバイス / Advice to Students on Study and Research Methods

副専攻中国語コミュニケーションコース、中国語検定試験・HSK検定試験など各種の中国語検定試験、海外スタディープログラム、長期・短期海外留学などを視野に入れて学習してほしい。

教科書 / Textbooks

書名 / Title	出版社・ISBNコード・コメント / Author, Publisher, ISBN Code, Comment
《コミュニケーション中国語 レベル I》	立命館大学中国語部会編／郁文堂出版社／

参考書 / Reference Books

参考になる WWW ページ / Web Pages Useful for Reference

その他 / Others

中国語・表現I (3B)

12047

担当者名 / Instructor 甘 琳樺

単位数 / Credit 1

授業の概要 / Course Outline

この授業は、1回生の英語重視コース(4単位コース)クラスの連携授業で、正確な発音、基礎会話力・基礎リスニング力を養成することを目標とする。週1回行う。「中国語・総合」の授業で学習した語彙・文型・文法などの知識を生かして、正確な発音を身に付けながら、日常生活やコミュニケーションにもっとも基礎的な会話を学習していく。中国語を母語とする教員が担当する。

到達目標 / Attainment Objectives

正確な中国語の発音を身につける。簡単な挨拶や簡単な自己紹介ができるようになる。簡単な質問や最も基礎的な会話ができるようになる。

履修しておくことが望まれる科目 / Required Preparatory Study

授業スケジュール / Course Schedule

授業日(第N回)	テーマ / Theme	キーワード / Key Word
第1週～第3週	中国語の発音(ピンイン)や声調などを学習する。発音テスト。	
第4週	テキストの第1課を学習する。	
第5週	テキストの第1課を学習する。	
第6週	テキストの第2課を学習する。	
第7週	テキストの第2課を学習する。	
第8週	中間まとめ、中間小テスト。	
第9週	テキストの第3課を学習する。	
第10週	テキストの第3課を学習する。	
第11週	テキストの第4課を学習する。	
第12週	テキストの第4課を学習する。	
第13週	テキストの第5課を学習する。	
第14週	テキストの第5課を学習する。	
第15週	全体まとめ及び基礎リスニング力・基礎表現力の確認テスト	

(学部科目 / Undergraduate Courses) 授業外学習の指示 / Recommendations for Private Study

(大学院科目 / Graduate Courses) 授業の方法 / Study Method

成績評価方法 / Grading Criteria and Method of Evaluation

種別 / Kind	割合 / Percentage	評価基準等 / Grading Criteria etc.
平常点評価	100 %	出席、宿題などの日常的な取り組みは50%、小テスト、確認テストは50%。

受講および研究に関するアドバイス / Advice to Students on Study and Research Methods

副専攻中国語コミュニケーションコース、中国語検定試験・HSK検定試験など各種の中国語検定試験、海外スタディープログラム、長期・短期海外留学などを視野に入れて学習してほしい。

教科書 / Textbooks

書名 / Title	出版社・ISBNコード・コメント / Author, Publisher, ISBN Code, Comment
《コミュニケーション中国語 レベル I》	立命館大学中国語部会編／郁文堂出版社／

参考書 / Reference Books

参考になる WWW ページ / Web Pages Useful for Reference

その他 / Others

中国語・表現I (3C)

12048

担当者名 / Instructor ZHAO NI NA

単位数 / Credit 1

授業の概要 / Course Outline

この授業は、1回生の英語重視コース(4単位コース)クラスの連携授業で、正確な発音、基礎会話力・基礎リスニング力を養成することを目標とする。週1回行う。「中国語・総合」の授業で学習した語彙・文型・文法などの知識を生かして、正確な発音を身に付けながら、日常生活やコミュニケーションにもっとも基礎的な会話を学習していく。中国語を母語とする教員が担当する。

到達目標 / Attainment Objectives

正確な中国語の発音を身につける。簡単な挨拶や簡単な自己紹介ができるようになる。簡単な質問や最も基礎的な会話ができるようになる。

履修しておくことが望まれる科目 / Required Preparatory Study

授業スケジュール / Course Schedule

授業日(第N回)	テーマ / Theme	キーワード / Key Word
第1週～第3週	中国語の発音(ピンイン)や声調などを学習する。発音テスト。	
第4週	テキストの第1課を学習する。	
第5週	テキストの第1課を学習する。	
第6週	テキストの第2課を学習する。	
第7週	テキストの第2課を学習する。	
第8週	中間まとめ、中間小テスト。	
第9週	テキストの第3課を学習する。	
第10週	テキストの第3課を学習する。	
第11週	テキストの第4課を学習する。	
第12週	テキストの第4課を学習する。	
第13週	テキストの第5課を学習する。	
第14週	テキストの第5課を学習する。	
第15週	全体まとめ及び基礎リスニング力・基礎表現力の確認テスト	

(学部科目 / Undergraduate Courses) 授業外学習の指示 / Recommendations for Private Study

(大学院科目 / Graduate Courses) 授業の方法 / Study Method

成績評価方法 / Grading Criteria and Method of Evaluation

種別 / Kind	割合 / Percentage	評価基準等 / Grading Criteria etc.
平常点評価	100 %	出席、宿題などの日常的な取り組みは50%、小テスト、確認テストは50%。

受講および研究に関するアドバイス / Advice to Students on Study and Research Methods

副専攻中国語コミュニケーションコース、中国語検定試験・HSK検定試験など各種の中国語検定試験、海外スタディープログラム、長期・短期海外留学などを視野に入れて学習してほしい。

教科書 / Textbooks

書名 / Title	出版社・ISBNコード・コメント / Author, Publisher, ISBN Code, Comment
《コミュニケーション中国語 レベル I》	立命館大学中国語部会編／郁文堂出版社／

参考書 / Reference Books

参考になる WWW ページ / Web Pages Useful for Reference

その他 / Others

中国語・表現I (3D)

12049

担当者名 / Instructor 張 黎

単位数 / Credit 1

授業の概要 / Course Outline

この授業は、1回生の英語重視コース(4単位コース)クラスの連携授業で、正確な発音、基礎会話力・基礎リスニング力を養成することを目標とする。週1回行う。「中国語・総合」の授業で学習した語彙・文型・文法などの知識を生かして、正確な発音を身に付けながら、日常生活やコミュニケーションにもっとも基礎的な会話を学習していく。中国語を母語とする教員が担当する。

到達目標 / Attainment Objectives

正確な中国語の発音を身につける。簡単な挨拶や簡単な自己紹介ができるようになる。簡単な質問や最も基礎的な会話ができるようになる。

履修しておくことが望まれる科目 / Required Preparatory Study

授業スケジュール / Course Schedule

授業日(第N回)	テーマ / Theme	キーワード / Key Word
第1週～第3週	中国語の発音(ピンイン)や声調などを学習する。発音テスト。	
第4週	テキストの第1課を学習する。	
第5週	テキストの第1課を学習する。	
第6週	テキストの第2課を学習する。	
第7週	テキストの第2課を学習する。	
第8週	中間まとめ、中間小テスト。	
第9週	テキストの第3課を学習する。	
第10週	テキストの第3課を学習する。	
第11週	テキストの第4課を学習する。	
第12週	テキストの第4課を学習する。	
第13週	テキストの第5課を学習する。	
第14週	テキストの第5課を学習する。	
第15週	全体まとめ及び基礎リスニング力・基礎表現力の確認テスト	

(学部科目 / Undergraduate Courses) 授業外学習の指示 / Recommendations for Private Study

(大学院科目 / Graduate Courses) 授業の方法 / Study Method

成績評価方法 / Grading Criteria and Method of Evaluation

種別 / Kind	割合 / Percentage	評価基準等 / Grading Criteria etc.
平常点評価	100 %	出席、宿題などの日常的な取り組みは50%、小テスト、確認テストは50%。

受講および研究に関するアドバイス / Advice to Students on Study and Research Methods

副専攻中国語コミュニケーションコース、中国語検定試験・HSK検定試験など各種の中国語検定試験、海外スタディープログラム、長期・短期海外留学などを視野に入れて学習してほしい。

教科書 / Textbooks

書名 / Title	出版社・ISBNコード・コメント / Author, Publisher, ISBN Code, Comment
《コミュニケーション中国語 レベル I》	立命館大学中国語部会編／郁文堂出版社／

参考書 / Reference Books

参考になる WWW ページ / Web Pages Useful for Reference

その他 / Others

中国語・表現I (3E)

12184

担当者名 / Instructor 文 楚雄

単位数 / Credit 1

授業の概要 / Course Outline

この授業は、1回生の英語重視コース(4単位コース)クラスの連携授業で、正確な発音、基礎会話力・基礎リスニング力を養成することを目標とする。週1回行う。「中国語・総合」の授業で学習した語彙・文型・文法などの知識を生かして、正確な発音を身に付けながら、日常生活やコミュニケーションにもっとも基礎的な会話を学習していく。中国語を母語とする教員が担当する。

到達目標 / Attainment Objectives

正確な中国語の発音を身につける。簡単な挨拶や簡単な自己紹介ができるようになる。簡単な質問や最も基礎的な会話ができるようになる。

履修しておくことが望まれる科目 / Required Preparatory Study

授業スケジュール / Course Schedule

授業日(第N回)	テーマ / Theme	キーワード / Key Word
第1週～第3週	中国語の発音(ピンイン)や声調などを学習する。発音テスト。	
第4週	テキストの第1課を学習する。	
第5週	テキストの第1課を学習する。	
第6週	テキストの第2課を学習する。	
第7週	テキストの第2課を学習する。	
第8週	中間まとめ、中間小テスト。	
第9週	テキストの第3課を学習する。	
第10週	テキストの第3課を学習する。	
第11週	テキストの第4課を学習する。	
第12週	テキストの第4課を学習する。	
第13週	テキストの第5課を学習する。	
第14週	テキストの第5課を学習する。	
第15週	全体まとめ及び基礎リスニング力・基礎表現力の確認テスト	

(学部科目 / Undergraduate Courses) 授業外学習の指示 / Recommendations for Private Study

(大学院科目 / Graduate Courses) 授業の方法 / Study Method

成績評価方法 / Grading Criteria and Method of Evaluation

種別 / Kind	割合 / Percentage	評価基準等 / Grading Criteria etc.
平常点評価	100 %	出席、宿題などの日常的な取り組みは50%、小テスト、確認テストは50%。

受講および研究に関するアドバイス / Advice to Students on Study and Research Methods

副専攻中国語コミュニケーションコース、中国語検定試験・HSK検定試験など各種の中国語検定試験、海外スタディープログラム、長期・短期海外留学などを視野に入れて学習してほしい。

教科書 / Textbooks

書名 / Title	出版社・ISBNコード・コメント / Author, Publisher, ISBN Code, Comment
《コミュニケーション中国語 レベル I》	立命館大学中国語部会編／郁文堂出版社／

参考書 / Reference Books

参考になる WWW ページ / Web Pages Useful for Reference

その他 / Others

中国語・表現I (3F)

12185

担当者名 / Instructor 甘 琳樺

単位数 / Credit 1

授業の概要 / Course Outline

この授業は、1回生の英語重視コース(4単位コース)クラスの連携授業で、正確な発音、基礎会話力・基礎リスニング力を養成することを目標とする。週1回行う。「中国語・総合」の授業で学習した語彙・文型・文法などの知識を生かして、正確な発音を身に付けながら、日常生活やコミュニケーションにもっとも基礎的な会話を学習していく。中国語を母語とする教員が担当する。

到達目標 / Attainment Objectives

正確な中国語の発音を身につける。簡単な挨拶や簡単な自己紹介ができるようになる。簡単な質問や最も基礎的な会話ができるようになる。

履修しておくことが望まれる科目 / Required Preparatory Study

授業スケジュール / Course Schedule

授業日(第N回)	テーマ / Theme	キーワード / Key Word
第1週～第3週	中国語の発音(ピンイン)や声調などを学習する。発音テスト。	
第4週	テキストの第1課を学習する。	
第5週	テキストの第1課を学習する。	
第6週	テキストの第2課を学習する。	
第7週	テキストの第2課を学習する。	
第8週	中間まとめ、中間小テスト。	
第9週	テキストの第3課を学習する。	
第10週	テキストの第3課を学習する。	
第11週	テキストの第4課を学習する。	
第12週	テキストの第4課を学習する。	
第13週	テキストの第5課を学習する。	
第14週	テキストの第5課を学習する。	
第15週	全体まとめ及び基礎リスニング力・基礎表現力の確認テスト	

(学部科目 / Undergraduate Courses) 授業外学習の指示 / Recommendations for Private Study

(大学院科目 / Graduate Courses) 授業の方法 / Study Method

成績評価方法 / Grading Criteria and Method of Evaluation

種別 / Kind	割合 / Percentage	評価基準等 / Grading Criteria etc.
平常点評価	100 %	出席、宿題などの日常的な取り組みは50%、小テスト、確認テストは50%。

受講および研究に関するアドバイス / Advice to Students on Study and Research Methods

副専攻中国語コミュニケーションコース、中国語検定試験・HSK検定試験など各種の中国語検定試験、海外スタディープログラム、長期・短期海外留学などを視野に入れて学習してほしい。

教科書 / Textbooks

書名 / Title	出版社・ISBNコード・コメント / Author, Publisher, ISBN Code, Comment
《コミュニケーション中国語 レベル I》	立命館大学中国語部会編／郁文堂出版社／

参考書 / Reference Books

参考になる WWW ページ / Web Pages Useful for Reference

その他 / Others

中国語・表現I (3G)

12177

担当者名 / Instructor ZHAO NI NA

単位数 / Credit 1

授業の概要 / Course Outline

この授業は、1回生の英語重視コース(4単位コース)クラスの連携授業で、正確な発音、基礎会話力・基礎リスニング力を養成することを目標とする。週1回行う。「中国語・総合」の授業で学習した語彙・文型・文法などの知識を生かして、正確な発音を身に付けながら、日常生活やコミュニケーションにもっとも基礎的な会話を学習していく。中国語を母語とする教員が担当する。

到達目標 / Attainment Objectives

正確な中国語の発音を身につける。簡単な挨拶や簡単な自己紹介ができるようになる。簡単な質問や最も基礎的な会話ができるようになる。

履修しておくことが望まれる科目 / Required Preparatory Study

授業スケジュール / Course Schedule

授業日(第N回)	テーマ / Theme	キーワード / Key Word
第1週～第3週	中国語の発音(ピンイン)や声調などを学習する。発音テスト。	
第4週	テキストの第1課を学習する。	
第5週	テキストの第1課を学習する。	
第6週	テキストの第2課を学習する。	
第7週	テキストの第2課を学習する。	
第8週	中間まとめ、中間小テスト。	
第9週	テキストの第3課を学習する。	
第10週	テキストの第3課を学習する。	
第11週	テキストの第4課を学習する。	
第12週	テキストの第4課を学習する。	
第13週	テキストの第5課を学習する。	
第14週	テキストの第5課を学習する。	
第15週	全体まとめ及び基礎リスニング力・基礎表現力の確認テスト	

(学部科目 / Undergraduate Courses) 授業外学習の指示 / Recommendations for Private Study

(大学院科目 / Graduate Courses) 授業の方法 / Study Method

成績評価方法 / Grading Criteria and Method of Evaluation

種別 / Kind	割合 / Percentage	評価基準等 / Grading Criteria etc.
平常点評価	100 %	出席、宿題などの日常的な取り組みは50%、小テスト、確認テストは50%。

受講および研究に関するアドバイス / Advice to Students on Study and Research Methods

副専攻中国語コミュニケーションコース、中国語検定試験・HSK検定試験など各種の中国語検定試験、海外スタディープログラム、長期・短期海外留学などを視野に入れて学習してほしい。

教科書 / Textbooks

書名 / Title	出版社・ISBNコード・コメント / Author, Publisher, ISBN Code, Comment
《コミュニケーション中国語 レベル I》	立命館大学中国語部会編／郁文堂出版社／

参考書 / Reference Books

参考になる WWW ページ / Web Pages Useful for Reference

その他 / Others

中国語・表現Ⅱ (2A)

10070

担当者名 / Instructor 張 黎

単位数 / Credit 1

授業の概要 / Course Outline

この授業は、1回生の初修重視コース(8単位コース)クラスの連携授業で、「中国語・表現1」を履修した学生を対象とし、週1回行う。「中国語・基礎」及び「中国語・表現1」の授業で学習した語彙・文型・文法などの知識を生かし、発音をさらに上達させながら、日常生活やコミュニケーションに必要な基本会話を学習していく。中国語を母語とする教員が担当する。

到達目標 / Attainment Objectives

正確な中国語の発音を身につける。基本的な語彙・言い回しは文字に頼らず音声だけで理解できるようにする。日常生活や海外旅行での基本的な会話ができるようになる。

履修しておくことが望まれる科目 / Required Preparatory Study

授業スケジュール / Course Schedule

授業日(第N回)	テーマ / Theme	キーワード / Key Word
第1週	前期の「中国語・基礎・表現」などで習った内容を復習する。	
第2週	テキストの第1課を学習する。	
第3週	テキストの第2課を学習する。	
第4週	テキストの第3課を学習する。	
第5週	テキストの第4課を学習する。	
第6週	テキストの第5課を学習する。	
第7週	テキストの第6課を学習する。	
第8週	中間まとめ、中間小テスト。	
第9週	テキストの第7課を学習する。	
第10週	テキストの第8課を学習する。	
第11週	テキストの第9課を学習する。	
第12週	テキストの第10課を学習する。	
第13週	テキストの第11課を学習する。	
第14週	テキストの第12課を学習する。	
第15週	全体まとめ及び基本リスニング力・基本表現力の確認テスト	

 (学部科目 / Undergraduate Courses) 授業外学習の指示 / Recommendations for Private Study
 (大学院科目 / Graduate Courses) 授業の方法 / Study Method

成績評価方法 / Grading Criteria and Method of Evaluation

種別 / Kind	割合 / Percentage	評価基準等 / Grading Criteria etc.
平常点評価	100 %	出席、宿題などの日常的な取り組みは50%、小テスト、確認テストは50%。

受講および研究に関するアドバイス / Advice to Students on Study and Research Methods

副専攻中国語コミュニケーションコース、中国語検定試験・HSK検定試験など各種の中国語検定試験、海外スタディープログラム、長期・短期海外留学などを視野に入れて学習してほしい。

教科書 / Textbooks

書名 / Title	出版社・ISBNコード・コメント / Author, Publisher, ISBN Code, Comment
《コミュニケーション中国語 レベルⅡ》	立命館大学中国語部会編／郁文堂出版社／／

参考書 / Reference Books

参考になる WWW ページ / Web Pages Useful for Reference

その他 / Others

中国語・表現Ⅱ (2B)

10197

担当者名 / Instructor 張 黎

単位数 / Credit 1

授業の概要 / Course Outline

この授業は、1回生の初修重視コース(8単位コース)クラスの連携授業で、「中国語・表現1」を履修した学生を対象とし、週1回行う。「中国語・基礎」及び「中国語・表現1」の授業で学習した語彙・文型・文法などの知識を生かし、発音をさらに上達させながら、日常生活やコミュニケーションに必要な基本会話を学習していく。中国語を母語とする教員が担当する。

到達目標 / Attainment Objectives

正確な中国語の発音を身につける。基本的な語彙・言い回しは文字に頼らず音声だけで理解できるようにする。日常生活や海外旅行での基本的な会話ができるようになる。

履修しておくことが望まれる科目 / Required Preparatory Study

授業スケジュール / Course Schedule

授業日(第N回)	テーマ / Theme	キーワード / Key Word
第1週	前期の「中国語・基礎・表現」などで習った内容を復習する。	
第2週	テキストの第1課を学習する。	
第3週	テキストの第2課を学習する。	
第4週	テキストの第3課を学習する。	
第5週	テキストの第4課を学習する。	
第6週	テキストの第5課を学習する。	
第7週	テキストの第6課を学習する。	
第8週	中間まとめ、中間小テスト。	
第9週	テキストの第7課を学習する。	
第10週	テキストの第8課を学習する。	
第11週	テキストの第9課を学習する。	
第12週	テキストの第10課を学習する。	
第13週	テキストの第11課を学習する。	
第14週	テキストの第12課を学習する。	
第15週	全体まとめ及び基本リスニング力・基本表現力の確認テスト	

 (学部科目 / Undergraduate Courses) 授業外学習の指示 / Recommendations for Private Study
 (大学院科目 / Graduate Courses) 授業の方法 / Study Method

成績評価方法 / Grading Criteria and Method of Evaluation

種別 / Kind	割合 / Percentage	評価基準等 / Grading Criteria etc.
平常点評価	100 %	出席、宿題などの日常的な取り組みは50%、小テスト、確認テストは50%。

受講および研究に関するアドバイス / Advice to Students on Study and Research Methods

副専攻中国語コミュニケーションコース、中国語検定試験・HSK検定試験など各種の中国語検定試験、海外スタディープログラム、長期・短期海外留学などを視野に入れて学習してほしい。

教科書 / Textbooks

書名 / Title	出版社・ISBNコード・コメント / Author, Publisher, ISBN Code, Comment
《コミュニケーション中国語 レベルⅡ》	立命館大学中国語部会編／郁文堂出版社／／

参考書 / Reference Books

参考になる WWW ページ / Web Pages Useful for Reference

その他 / Others

中国語・表現Ⅱ (2C)

10202

担当者名 / Instructor 菅谷 音

単位数 / Credit 1

授業の概要 / Course Outline

この授業は、1回生の初修重視コース(8単位コース)クラスの連携授業で、「中国語・表現1」を履修した学生を対象とし、週1回行う。「中国語・基礎」及び「中国語・表現1」の授業で学習した語彙・文型・文法などの知識を生かし、発音をさらに上達させながら、日常生活やコミュニケーションに必要な基本会話を学習していく。中国語を母語とする教員が担当する。

到達目標 / Attainment Objectives

正確な中国語の発音を身につける。基本的な語彙・言い回しは文字に頼らず音声だけで理解できるようにする。日常生活や海外旅行での基本的な会話ができるようになる。

履修しておくことが望まれる科目 / Required Preparatory Study

授業スケジュール / Course Schedule

授業日(第N回)	テーマ / Theme	キーワード / Key Word
第1週	前期の「中国語・基礎・表現」などで習った内容を復習する。	
第2週	テキストの第1課を学習する。	
第3週	テキストの第2課を学習する。	
第4週	テキストの第3課を学習する。	
第5週	テキストの第4課を学習する。	
第6週	テキストの第5課を学習する。	
第7週	テキストの第6課を学習する。	
第8週	中間まとめ、中間小テスト。	
第9週	テキストの第7課を学習する。	
第10週	テキストの第8課を学習する。	
第11週	テキストの第9課を学習する。	
第12週	テキストの第10課を学習する。	
第13週	テキストの第11課を学習する。	
第14週	テキストの第12課を学習する。	
第15週	全体まとめ及び基本リスニング力・基本表現力の確認テスト	

(学部科目 / Undergraduate Courses) 授業外学習の指示 / Recommendations for Private Study

(大学院科目 / Graduate Courses) 授業の方法 / Study Method

成績評価方法 / Grading Criteria and Method of Evaluation

種別 / Kind	割合 / Percentage	評価基準等 / Grading Criteria etc.
平常点評価	100 %	出席、宿題などの日常的な取り組みは50%、小テスト、確認テストは50%。

受講および研究に関するアドバイス / Advice to Students on Study and Research Methods

副専攻中国語コミュニケーションコース、中国語検定試験・HSK検定試験など各種の中国語検定試験、海外スタディープログラム、長期・短期海外留学などを視野に入れて学習してほしい。

教科書 / Textbooks

書名 / Title	出版社・ISBNコード・コメント / Author, Publisher, ISBN Code, Comment
《コミュニケーション中国語 レベルⅡ》	立命館大学中国語部会編／郁文堂出版社／／

参考書 / Reference Books

参考になる WWW ページ / Web Pages Useful for Reference

その他 / Others

中国語・表現Ⅱ (3A)

12107

担当者名 / Instructor 田 星

単位数 / Credit 1

授業の概要 / Course Outline

この授業は、1回生の英語重視コース(4単位コース)クラスの連携授業で、「中国語・表現Ⅰ」を履修した学生を対象とし、週1回行う。「中国語・総合・表現」の授業で学習した語彙・文型・文法などの知識を生かし、発音をさらに上達させながら、日常生活やコミュニケーションに最も必要な基本会話を学習していく。中国語を母語とする教員が担当する。

到達目標 / Attainment Objectives

正確な中国語の発音を身につける。基本的な語彙・言い回しは文字に頼らず音声だけで理解できるようにする。日常生活や海外旅行での最も基本的な会話ができるようになる。

履修しておくことが望まれる科目 / Required Preparatory Study

授業スケジュール / Course Schedule

授業日(第N回)	テーマ / Theme	キーワード / Key Word
第1週	前期の「中国語・総合・表現」などで習った内容を復習する。	
第2週	テキストの第6課を学習する。	
第3週	テキストの第6課を学習する。	
第4週	テキストの第7課を学習する。	
第5週	テキストの第7課を学習する。	
第6週	テキストの第8課を学習する	
第7週	テキストの第8課を学習する。	
第8週	中間まとめ、中間小テスト。	
第9週	テキストの第9課を学習する。	
第10週	テキストの第9課を学習する。	
第11週	テキストの第10課を学習する。	
第12週	テキストの第10課を学習する。	
第13週	受身文の会話を学習する。	
第14週	使役文の会話を学習する。	
第15週	全体まとめ及び基本リスニング力・基本表現力の確認テスト	

(学部科目 / Undergraduate Courses) 授業外学習の指示 / Recommendations for Private Study

(大学院科目 / Graduate Courses) 授業の方法 / Study Method

成績評価方法 / Grading Criteria and Method of Evaluation

種別 / Kind	割合 / Percentage	評価基準等 / Grading Criteria etc.
平常点評価	100 %	出席、宿題などの日常的な取り組みは50%、小テスト、確認テストは50%。

受講および研究に関するアドバイス / Advice to Students on Study and Research Methods

副専攻中国語コミュニケーションコース、中国語検定試験・HSK検定試験など各種の中国語検定試験、海外スタディープログラム、長期・短期海外留学などを視野に入れて学習してほしい。

教科書 / Textbooks

書名 / Title	出版社・ISBNコード・コメント / Author, Publisher, ISBN Code, Comment
《コミュニケーション中国語 レベルⅠ》	立命館大学中国語部会編／郁文堂出版社／／

参考書 / Reference Books

参考になる WWW ページ / Web Pages Useful for Reference

その他 / Others

中国語・表現Ⅱ (3B)

12108

担当者名 / Instructor 甘 琳樺

単位数 / Credit 1

授業の概要 / Course Outline

この授業は、1回生の英語重視コース(4単位コース)クラスの連携授業で、「中国語・表現1」を履修した学生を対象とし、週1回行う。「中国語・総合・表現」の授業で学習した語彙・文型・文法などの知識を生かし、発音をさらに上達させながら、日常生活やコミュニケーションに最も必要な基本会話を学習していく。中国語を母語とする教員が担当する。

到達目標 / Attainment Objectives

正確な中国語の発音を身につける。基本的な語彙・言い回しは文字に頼らず音声だけで理解できるようにする。日常生活や海外旅行での最も基本的な会話ができるようになる。

履修しておくことが望まれる科目 / Required Preparatory Study

授業スケジュール / Course Schedule

授業日(第N回)	テーマ / Theme	キーワード / Key Word
第1週	前期の「中国語・総合・表現」などで習った内容を復習する。	
第2週	テキストの第6課を学習する。	
第3週	テキストの第6課を学習する。	
第4週	テキストの第7課を学習する。	
第5週	テキストの第7課を学習する。	
第6週	テキストの第8課を学習する	
第7週	テキストの第8課を学習する。	
第8週	中間まとめ、中間小テスト。	
第9週	テキストの第9課を学習する。	
第10週	テキストの第9課を学習する。	
第11週	テキストの第10課を学習する。	
第12週	テキストの第10課を学習する。	
第13週	受身文の会話を学習する。	
第14週	使役文の会話を学習する。	
第15週	全体まとめ及び基本リスニング力・基本表現力の確認テスト	

(学部科目 / Undergraduate Courses) 授業外学習の指示 / Recommendations for Private Study

(大学院科目 / Graduate Courses) 授業の方法 / Study Method

成績評価方法 / Grading Criteria and Method of Evaluation

種別 / Kind	割合 / Percentage	評価基準等 / Grading Criteria etc.
平常点評価	100 %	出席、宿題などの日常的な取り組みは50%、小テスト、確認テストは50%。

受講および研究に関するアドバイス / Advice to Students on Study and Research Methods

副専攻中国語コミュニケーションコース、中国語検定試験・HSK検定試験など各種の中国語検定試験、海外スタディープログラム、長期・短期海外留学などを視野に入れて学習してほしい。

教科書 / Textbooks

書名 / Title	出版社・ISBNコード・コメント / Author, Publisher, ISBN Code, Comment
《コミュニケーション中国語 レベルⅠ》	立命館大学中国語部会編／郁文堂出版社／／

参考書 / Reference Books

参考になる WWW ページ / Web Pages Useful for Reference

その他 / Others

中国語・表現II (3C)

12109

担当者名 / Instructor ZHAO NI NA

単位数 / Credit 1

授業の概要 / Course Outline

この授業は、1回生の英語重視コース(4単位コース)クラスの連携授業で、「中国語・表現1」を履修した学生を対象とし、週1回行う。「中国語・総合・表現」の授業で学習した語彙・文型・文法などの知識を生かし、発音をさらに上達させながら、日常生活やコミュニケーションに最も必要な基本会話を学習していく。中国語を母語とする教員が担当する。

到達目標 / Attainment Objectives

正確な中国語の発音を身につける。基本的な語彙・言い回しは文字に頼らず音声だけで理解できるようにする。日常生活や海外旅行での最も基本的な会話ができるようになる。

履修しておくことが望まれる科目 / Required Preparatory Study

授業スケジュール / Course Schedule

授業日(第N回)	テーマ / Theme	キーワード / Key Word
第1週	前期の「中国語・総合・表現」などで習った内容を復習する。	
第2週	テキストの第6課を学習する。	
第3週	テキストの第6課を学習する。	
第4週	テキストの第7課を学習する。	
第5週	テキストの第7課を学習する。	
第6週	テキストの第8課を学習する	
第7週	テキストの第8課を学習する。	
第8週	中間まとめ、中間小テスト。	
第9週	テキストの第9課を学習する。	
第10週	テキストの第9課を学習する。	
第11週	テキストの第10課を学習する。	
第12週	テキストの第10課を学習する。	
第13週	受身文の会話を学習する。	
第14週	使役文の会話を学習する。	
第15週	全体まとめ及び基本リスニング力・基本表現力の確認テスト	

(学部科目 / Undergraduate Courses) 授業外学習の指示 / Recommendations for Private Study

(大学院科目 / Graduate Courses) 授業の方法 / Study Method

成績評価方法 / Grading Criteria and Method of Evaluation

種別 / Kind	割合 / Percentage	評価基準等 / Grading Criteria etc.
平常点評価	100 %	出席、宿題などの日常的な取り組みは50%、小テスト、確認テストは50%。

受講および研究に関するアドバイス / Advice to Students on Study and Research Methods

副専攻中国語コミュニケーションコース、中国語検定試験・HSK検定試験など各種の中国語検定試験、海外スタディープログラム、長期・短期海外留学などを視野に入れて学習してほしい。

教科書 / Textbooks

書名 / Title	出版社・ISBNコード・コメント / Author, Publisher, ISBN Code, Comment
《コミュニケーション中国語 レベル I》	立命館大学中国語部会編／郁文堂出版社／／

参考書 / Reference Books

参考になる WWW ページ / Web Pages Useful for Reference

その他 / Others

中国語・表現II (3D)

12110

担当者名 / Instructor 張 黎

単位数 / Credit 1

授業の概要 / Course Outline

この授業は、1回生の英語重視コース(4単位コース)クラスの連携授業で、「中国語・表現1」を履修した学生を対象とし、週1回行う。「中国語・総合・表現」の授業で学習した語彙・文型・文法などの知識を生かし、発音をさらに上達させながら、日常生活やコミュニケーションに最も必要な基本会話を学習していく。中国語を母語とする教員が担当する。

到達目標 / Attainment Objectives

正確な中国語の発音を身につける。基本的な語彙・言い回しは文字に頼らず音声だけで理解できるようにする。日常生活や海外旅行での最も基本的な会話ができるようになる。

履修しておくことが望まれる科目 / Required Preparatory Study

授業スケジュール / Course Schedule

授業日(第N回)	テーマ / Theme	キーワード / Key Word
第1週	前期の「中国語・総合・表現」などで習った内容を復習する。	
第2週	テキストの第6課を学習する。	
第3週	テキストの第6課を学習する。	
第4週	テキストの第7課を学習する。	
第5週	テキストの第7課を学習する。	
第6週	テキストの第8課を学習する	
第7週	テキストの第8課を学習する。	
第8週	中間まとめ、中間小テスト。	
第9週	テキストの第9課を学習する。	
第10週	テキストの第9課を学習する。	
第11週	テキストの第10課を学習する。	
第12週	テキストの第10課を学習する。	
第13週	受身文の会話を学習する。	
第14週	使役文の会話を学習する。	
第15週	全体まとめ及び基本リスニング力・基本表現力の確認テスト	

(学部科目 / Undergraduate Courses) 授業外学習の指示 / Recommendations for Private Study
 (大学院科目 / Graduate Courses) 授業の方法 / Study Method

成績評価方法 / Grading Criteria and Method of Evaluation

種別 / Kind	割合 / Percentage	評価基準等 / Grading Criteria etc.
平常点評価	100 %	出席、宿題などの日常的な取り組みは50%、小テスト、確認テストは50%。

受講および研究に関するアドバイス / Advice to Students on Study and Research Methods

副専攻中国語コミュニケーションコース、中国語検定試験・HSK検定試験など各種の中国語検定試験、海外スタディープログラム、長期・短期海外留学などを視野に入れて学習してほしい。

教科書 / Textbooks

書名 / Title	出版社・ISBNコード・コメント / Author, Publisher, ISBN Code, Comment
《コミュニケーション中国語 レベル I》	立命館大学中国語部会編／郁文堂出版社／／

参考書 / Reference Books

参考になる WWW ページ / Web Pages Useful for Reference

その他 / Others

中国語・表現II (3E)

12254

担当者名 / Instructor 田 星

単位数 / Credit 1

授業の概要 / Course Outline

この授業は、1回生の英語重視コース(4単位コース)クラスの連携授業で、「中国語・表現1」を履修した学生を対象とし、週1回行う。「中国語・総合・表現」の授業で学習した語彙・文型・文法などの知識を生かし、発音をさらに上達させながら、日常生活やコミュニケーションに最も必要な基本会話を学習していく。中国語を母語とする教員が担当する。

到達目標 / Attainment Objectives

正確な中国語の発音を身につける。基本的な語彙・言い回しは文字に頼らず音声だけで理解できるようにする。日常生活や海外旅行での最も基本的な会話ができるようになる。

履修しておくことが望まれる科目 / Required Preparatory Study

授業スケジュール / Course Schedule

授業日(第N回)	テーマ / Theme	キーワード / Key Word
第1週	前期の「中国語・総合・表現」などで習った内容を復習する。	
第2週	テキストの第6課を学習する。	
第3週	テキストの第6課を学習する。	
第4週	テキストの第7課を学習する。	
第5週	テキストの第7課を学習する。	
第6週	テキストの第8課を学習する	
第7週	テキストの第8課を学習する。	
第8週	中間まとめ、中間小テスト。	
第9週	テキストの第9課を学習する。	
第10週	テキストの第9課を学習する。	
第11週	テキストの第10課を学習する。	
第12週	テキストの第10課を学習する。	
第13週	受身文の会話を学習する。	
第14週	使役文の会話を学習する。	
第15週	全体まとめ及び基本リスニング力・基本表現力の確認テスト	

(学部科目 / Undergraduate Courses) 授業外学習の指示 / Recommendations for Private Study

(大学院科目 / Graduate Courses) 授業の方法 / Study Method

成績評価方法 / Grading Criteria and Method of Evaluation

種別 / Kind	割合 / Percentage	評価基準等 / Grading Criteria etc.
平常点評価	100 %	出席、宿題などの日常的な取り組みは50%、小テスト、確認テストは50%。

受講および研究に関するアドバイス / Advice to Students on Study and Research Methods

副専攻中国語コミュニケーションコース、中国語検定試験・HSK検定試験など各種の中国語検定試験、海外スタディープログラム、長期・短期海外留学などを視野に入れて学習してほしい。

教科書 / Textbooks

書名 / Title	出版社・ISBNコード・コメント / Author, Publisher, ISBN Code, Comment
《コミュニケーション中国語 レベル I》	立命館大学中国語部会編／郁文堂出版社／／

参考書 / Reference Books

参考になる WWW ページ / Web Pages Useful for Reference

その他 / Others

中国語・表現II (3F)

12255

担当者名 / Instructor 甘 琳樺

単位数 / Credit 1

授業の概要 / Course Outline

この授業は、1回生の英語重視コース(4単位コース)クラスの連携授業で、「中国語・表現1」を履修した学生を対象とし、週1回行う。「中国語・総合・表現」の授業で学習した語彙・文型・文法などの知識を生かし、発音をさらに上達させながら、日常生活やコミュニケーションに最も必要な基本会話を学習していく。中国語を母語とする教員が担当する。

到達目標 / Attainment Objectives

正確な中国語の発音を身につける。基本的な語彙・言い回しは文字に頼らず音声だけで理解できるようにする。日常生活や海外旅行での最も基本的な会話ができるようになる。

履修しておくことが望まれる科目 / Required Preparatory Study

授業スケジュール / Course Schedule

授業日(第N回)	テーマ / Theme	キーワード / Key Word
第1週	前期の「中国語・総合・表現」などで習った内容を復習する。	
第2週	テキストの第6課を学習する。	
第3週	テキストの第6課を学習する。	
第4週	テキストの第7課を学習する。	
第5週	テキストの第7課を学習する。	
第6週	テキストの第8課を学習する	
第7週	テキストの第8課を学習する。	
第8週	中間まとめ、中間小テスト。	
第9週	テキストの第9課を学習する。	
第10週	テキストの第9課を学習する。	
第11週	テキストの第10課を学習する。	
第12週	テキストの第10課を学習する。	
第13週	受身文の会話を学習する。	
第14週	使役文の会話を学習する。	
第15週	全体まとめ及び基本リスニング力・基本表現力の確認テスト	

(学部科目 / Undergraduate Courses) 授業外学習の指示 / Recommendations for Private Study

(大学院科目 / Graduate Courses) 授業の方法 / Study Method

成績評価方法 / Grading Criteria and Method of Evaluation

種別 / Kind	割合 / Percentage	評価基準等 / Grading Criteria etc.
平常点評価	100 %	出席、宿題などの日常的な取り組みは50%、小テスト、確認テストは50%。

受講および研究に関するアドバイス / Advice to Students on Study and Research Methods

副専攻中国語コミュニケーションコース、中国語検定試験・HSK検定試験など各種の中国語検定試験、海外スタディープログラム、長期・短期海外留学などを視野に入れて学習してほしい。

教科書 / Textbooks

書名 / Title	出版社・ISBNコード・コメント / Author, Publisher, ISBN Code, Comment
《コミュニケーション中国語 レベル I》	立命館大学中国語部会編／郁文堂出版社／／

参考書 / Reference Books

参考になる WWW ページ / Web Pages Useful for Reference

その他 / Others

中国語・表現II (3G)

12256

担当者名 / Instructor ZHAO NI NA

単位数 / Credit 1

授業の概要 / Course Outline

この授業は、1回生の英語重視コース(4単位コース)クラスの連携授業で、「中国語・表現1」を履修した学生を対象とし、週1回行う。「中国語・総合・表現」の授業で学習した語彙・文型・文法などの知識を生かし、発音をさらに上達させながら、日常生活やコミュニケーションに最も必要な基本会話を学習していく。中国語を母語とする教員が担当する。

到達目標 / Attainment Objectives

正確な中国語の発音を身につける。基本的な語彙・言い回しは文字に頼らず音声だけで理解できるようにする。日常生活や海外旅行での最も基本的な会話ができるようになる。

履修しておくことが望まれる科目 / Required Preparatory Study

授業スケジュール / Course Schedule

授業日(第N回)	テーマ / Theme	キーワード / Key Word
第1週	前期の「中国語・総合・表現」などで習った内容を復習する。	
第2週	テキストの第6課を学習する。	
第3週	テキストの第6課を学習する。	
第4週	テキストの第7課を学習する。	
第5週	テキストの第7課を学習する。	
第6週	テキストの第8課を学習する	
第7週	テキストの第8課を学習する。	
第8週	中間まとめ、中間小テスト。	
第9週	テキストの第9課を学習する。	
第10週	テキストの第9課を学習する。	
第11週	テキストの第10課を学習する。	
第12週	テキストの第10課を学習する。	
第13週	受身文の会話を学習する。	
第14週	使役文の会話を学習する。	
第15週	全体まとめ及び基本リスニング力・基本表現力の確認テスト	

(学部科目 / Undergraduate Courses) 授業外学習の指示 / Recommendations for Private Study

(大学院科目 / Graduate Courses) 授業の方法 / Study Method

成績評価方法 / Grading Criteria and Method of Evaluation

種別 / Kind	割合 / Percentage	評価基準等 / Grading Criteria etc.
平常点評価	100 %	出席、宿題などの日常的な取り組みは50%、小テスト、確認テストは50%。

受講および研究に関するアドバイス / Advice to Students on Study and Research Methods

副専攻中国語コミュニケーションコース、中国語検定試験・HSK検定試験など各種の中国語検定試験、海外スタディープログラム、長期・短期海外留学などを視野に入れて学習してほしい。

教科書 / Textbooks

書名 / Title	出版社・ISBNコード・コメント / Author, Publisher, ISBN Code, Comment
《コミュニケーション中国語 レベル I》	立命館大学中国語部会編／郁文堂出版社／／

参考書 / Reference Books

参考になる WWW ページ / Web Pages Useful for Reference

その他 / Others

朝鮮語・応用I (2A)

11232

担当者名 / Instructor 南 裕恵

単位数 / Credit 1

授業の概要 / Course Outline

この授業では、朝鮮語の文字と発音から学びます。文字と発音が終わるまで、二人の担当者が連携して授業を行います。文字と発音が終わったら、文法パート(総合)と会話パート(応用)に分かれます。応用Iでは、学んだ文法知識を基に、日常の身近なテーマを取り上げて、すぐに使える表現を学び、実際の会話ができるように対話の練習を行います。

到達目標 / Attainment Objectives

簡単な挨拶と自己紹介ができるようになることを目標とします。

履修しておくことが望まれる科目 / Required Preparatory Study

授業スケジュール / Course Schedule

授業日(第N回)	テーマ / Theme	キーワード / Key Word
第1回	文字と発音 I	
第2回	文字と発音 II	
第3回	文字と発音 III	
第4回	発音の変化	
第5回	小テスト、文字と発音のおさらい	
第6回	指定詞、指示詞	
第7回	丁寧形(ハムニダ体)、疑問詞、存在詞	
第8回	総合復習	
第9回	丁寧形(ヘヨ体)	
第10回	丁寧形(ヘヨ体)	
第11回	小テスト、ヘヨ体のおさらい	
第12回	用言の変則活用(1)	
第13回	用言の変則活用(1)	
第14回	小テスト、ヘヨ体のおさらい	
第15回	総合復習	

(学部科目 / Undergraduate Courses) 授業外学習の指示 / Recommendations for Private Study

(大学院科目 / Graduate Courses) 授業の方法 / Study Method

成績評価方法 / Grading Criteria and Method of Evaluation

種別 / Kind	割合 / Percentage	評価基準等 / Grading Criteria etc.
平常点評価	100 %	到達度検証試験 出席、小テスト、授業態度などで総合的に判断する。

受講および研究に関するアドバイス / Advice to Students on Study and Research Methods

教科書 / Textbooks

書名 / Title	出版社・ISBNコード・コメント / Author, Publisher, ISBN Code, Comment
『初級ハングル ―コミュニケーションのために―』	梁貞模・盧載玉／新幹社／／

参考書 / Reference Books

参考になる WWW ページ / Web Pages Useful for Reference

その他 / Others

朝鮮語・応用Ⅱ (2A)

11323

担当者名 / Instructor 嚴 敬俊

単位数 / Credit 1

授業の概要 / Course Outline

応用Ⅱでは、学んだ文法知識を基に日常の身近なテーマを取り上げて、すぐに使える表現を学びます。実際の会話ができるように繰り返し対話の練習を行います。ハングル能力検定試験の5級に対応できる語学力が身につくはずです。

到達目標 / Attainment Objectives

朝鮮語で書かれた短い文章が読める、簡単な日記が書けるようになることを目標とします。

履修しておくことが望まれる科目 / Required Preparatory Study

授業スケジュール / Course Schedule

授業日(第N回)	テーマ / Theme	キーワード / Key Word
第1回	基礎の復習	
第2回	基礎の復習	
第3回	過去形	
第4回	過去形	
第5回	接続語尾<1>	
第6回	接続語尾<1>、疑問詞	
第7回	漢数詞	
第8回	漢数詞を使った表現	
第9回	固有数詞	
第10回	固有数詞を使った表現	
第11回	否定形	
第12回	不可能の表現	
第13回	好みの表現	
第14回	願望の表現	
第15回	総合復習	

(学部科目 / Undergraduate Courses) 授業外学習の指示 / Recommendations for Private Study

(大学院科目 / Graduate Courses) 授業の方法 / Study Method

成績評価方法 / Grading Criteria and Method of Evaluation

種別 / Kind	割合 / Percentage	評価基準等 / Grading Criteria etc.
平常点評価	100 %	到達度検証試験 出席、小テスト、授業態度などで総合的に判断する。

受講および研究に関するアドバイス / Advice to Students on Study and Research Methods

教科書 / Textbooks

書名 / Title	出版社・ISBNコード・コメント / Author, Publisher, ISBN Code, Comment
『初級ハングル ―コミュニケーションのために―』	梁貞模・盧載玉／新幹社／／

参考書 / Reference Books

参考になる WWW ページ / Web Pages Useful for Reference

その他 / Others

朝鮮語・基礎 (2A)

10817

担当者名 / Instructor 金 仁姫

単位数 / Credit 2

授業の概要 / Course Outline

この授業では、朝鮮語の文字と発音から始め、朝鮮語を理解するために必要な基礎的な文法事項を、教科書に沿って体系的に学びます。ハングル能力検定試験の5級に対応できる語学力が身につくはずです。

到達目標 / Attainment Objectives

朝鮮語で書かれた短い文章が読める、簡単な日記が書けるようになることを目標とします。

履修しておくことが望まれる科目 / Required Preparatory Study

授業スケジュール / Course Schedule

授業日(第N回)	テーマ / Theme	キーワード / Key Word
第1回	文字と発音 I	
第2回	文字と発音 II	
第3回	文字と発音 III	
第4回	発音の変化	
第5回	指定詞、指示詞	
第6回	丁寧形(ハムニダ体)、疑問詞、存在詞	
第7回	丁寧形(ヘヨ体)	
第8回	丁寧形(ヘヨ体)、用言の変則活用<1>	
第9回	過去形	
第10回	接続語尾<1>、疑問詞	
第11回	漢数詞、漢数詞を使った表現	
第12回	固有数詞、時刻の表現	
第13回	否定形、不可能の表現	
第14回	好みの表現、願望の表現	
第15回	総合復習	

(学部科目 / Undergraduate Courses) 授業外学習の指示 / Recommendations for Private Study

(大学院科目 / Graduate Courses) 授業の方法 / Study Method

成績評価方法 / Grading Criteria and Method of Evaluation

種別 / Kind	割合 / Percentage	評価基準等 / Grading Criteria etc.
平常点評価	100 %	到達度検証試験 出席、小テスト、授業態度などで総合的に判断する。

受講および研究に関するアドバイス / Advice to Students on Study and Research Methods

教科書 / Textbooks

書名 / Title	出版社・ISBNコード・コメント / Author, Publisher, ISBN Code, Comment
『初級ハングル ―コミュニケーションのために―』	梁貞模・盧載玉／新幹社／／

参考書 / Reference Books

参考になる WWW ページ / Web Pages Useful for Reference

その他 / Others

朝鮮語・総合I (3A)

10005

担当者名 / Instructor 南 裕恵

単位数 / Credit 1

授業の概要 / Course Outline

この授業では、朝鮮語の文字と発音から学びます。文字と発音が終わるまで、二人の担当者が連携して授業を行います。文字と発音が終わったら、文法パート(総合)と会話パート(表現)に分かれます。総合では、基礎的な文法事項を教科書に沿って体系的に学びます。

到達目標 / Attainment Objectives

簡単な挨拶と自己紹介ができるようになることを目標とします。

履修しておくことが望まれる科目 / Required Preparatory Study

授業スケジュール / Course Schedule

授業日(第N回)	テーマ / Theme	キーワード / Key Word
第1回	文字と発音	
第2回	文字と発音Ⅱ	
第3回	文字と発音Ⅲ	
第4回	発音の変化	
第5回	小テスト、文字と発音のおさらい	
第6回	指定詞、指示詞	
第7回	丁寧形(ハムニダ体)、疑問詞、存在詞	
第8回	総合復習	
第9回	丁寧形(ヘヨ体)	
第10回	丁寧形(ヘヨ体)	
第11回	小テスト、ヘヨ体のおさらい	
第12回	用言の変則活用(1)	
第13回	用言の変則活用(1)	
第14回	小テスト、ヘヨ体のおさらい	
第15回	総合復習	

(学部科目 / Undergraduate Courses) 授業外学習の指示 / Recommendations for Private Study

(大学院科目 / Graduate Courses) 授業の方法 / Study Method

成績評価方法 / Grading Criteria and Method of Evaluation

種別 / Kind	割合 / Percentage	評価基準等 / Grading Criteria etc.
平常点評価	100 %	到達度検証試験 出席、小テスト、授業態度などで総合的に判断する。

受講および研究に関するアドバイス / Advice to Students on Study and Research Methods

教科書 / Textbooks

書名 / Title	出版社・ISBNコード・コメント / Author, Publisher, ISBN Code, Comment
『初級ハングル ―コミュニケーションのために―』	梁貞模・盧載玉／新幹社／／

参考書 / Reference Books

参考になる WWW ページ / Web Pages Useful for Reference

その他 / Others

朝鮮語・総合I (3B)

10134

担当者名 / Instructor 南 裕恵

単位数 / Credit 1

授業の概要 / Course Outline

この授業では、朝鮮語の文字と発音から学びます。文字と発音が終わるまで、二人の担当者が連携して授業を行います。文字と発音が終わったら、文法パート(総合)と会話パート(表現)に分かれます。総合では、基礎的な文法事項を教科書に沿って体系的に学びます。

到達目標 / Attainment Objectives

簡単な挨拶と自己紹介ができるようになることを目標とします。

履修しておくことが望まれる科目 / Required Preparatory Study

授業スケジュール / Course Schedule

授業日(第N回)	テーマ / Theme	キーワード / Key Word
第1回	文字と発音	
第2回	文字と発音Ⅱ	
第3回	文字と発音Ⅲ	
第4回	発音の変化	
第5回	小テスト、文字と発音のおさらい	
第6回	指定詞、指示詞	
第7回	丁寧形(ハムニダ体)、疑問詞、存在詞	
第8回	総合復習	
第9回	丁寧形(ヘヨ体)	
第10回	丁寧形(ヘヨ体)	
第11回	小テスト、ヘヨ体のおさらい	
第12回	用言の変則活用(1)	
第13回	用言の変則活用(1)	
第14回	小テスト、ヘヨ体のおさらい	
第15回	総合復習	

(学部科目 / Undergraduate Courses) 授業外学習の指示 / Recommendations for Private Study

(大学院科目 / Graduate Courses) 授業の方法 / Study Method

成績評価方法 / Grading Criteria and Method of Evaluation

種別 / Kind	割合 / Percentage	評価基準等 / Grading Criteria etc.
平常点評価	100 %	到達度検証試験 出席、小テスト、授業態度などで総合的に判断する。

受講および研究に関するアドバイス / Advice to Students on Study and Research Methods

教科書 / Textbooks

書名 / Title	出版社・ISBNコード・コメント / Author, Publisher, ISBN Code, Comment
『初級ハングル ―コミュニケーションのために―』	梁貞模・盧載玉／新幹社／／

参考書 / Reference Books

参考になる WWW ページ / Web Pages Useful for Reference

その他 / Others

朝鮮語・総合Ⅱ (3A)

10074

担当者名 / Instructor 南 裕恵

単位数 / Credit 1

授業の概要 / Course Outline

総合Ⅰに引き続き、朝鮮語を理解するために必要な基礎的な文法事項を、教科書に沿って体系的に学びます。ハングル能力検定試験の5級に対応できる語学力が身につくはずです。

到達目標 / Attainment Objectives

朝鮮語で書かれた短い文章が読める、簡単な日記が書けるようになることを目標とします。

履修しておくことが望まれる科目 / Required Preparatory Study

授業スケジュール / Course Schedule

授業日(第N回)	テーマ / Theme	キーワード / Key Word
第1回	総合Ⅰ文法事項の復習	
第2回	総合Ⅰの文法事項の復習	
第3回	過去形	
第4回	過去形	
第5回	接続語尾〈1〉	
第6回	接続語尾〈1〉、疑問詞	
第7回	漢数詞	
第8回	漢数詞を使った表現	
第9回	固有数詞	
第10回	固有数詞を使った表現	
第11回	否定形	
第12回	不可能の表現	
第13回	好みの表現	
第14回	願望の表現	
第15回	総合復習	

(学部科目 / Undergraduate Courses) 授業外学習の指示 / Recommendations for Private Study

(大学院科目 / Graduate Courses) 授業の方法 / Study Method

成績評価方法 / Grading Criteria and Method of Evaluation

種別 / Kind	割合 / Percentage	評価基準等 / Grading Criteria etc.
平常点評価	100 %	到達度検証試験 出席、小テスト、授業態度などで総合的に判断する。

受講および研究に関するアドバイス / Advice to Students on Study and Research Methods

教科書 / Textbooks

書名 / Title	出版社・ISBNコード・コメント / Author, Publisher, ISBN Code, Comment
『初級ハングル ―コミュニケーションのために―』	梁貞模・盧載玉／新幹社／／

参考書 / Reference Books

参考になる WWW ページ / Web Pages Useful for Reference

その他 / Others

朝鮮語・総合Ⅱ (3B)

10199

担当者名 / Instructor 南 裕恵

単位数 / Credit 1

授業の概要 / Course Outline

総合Ⅰに引き続き、朝鮮語を理解するために必要な基礎的な文法事項を、教科書に沿って体系的に学びます。ハングル能力検定試験の5級に対応できる語学力が身につくはずです。

到達目標 / Attainment Objectives

朝鮮語で書かれた短い文章が読める、簡単な日記が書けるようになることを目標とします。

履修しておくことが望まれる科目 / Required Preparatory Study

授業スケジュール / Course Schedule

授業日(第N回)	テーマ / Theme	キーワード / Key Word
第1回	総合Ⅰ文法事項の復習	
第2回	総合Ⅰの文法事項の復習	
第3回	過去形	
第4回	過去形	
第5回	接続語尾〈1〉	
第6回	接続語尾〈1〉、疑問詞	
第7回	漢数詞	
第8回	漢数詞を使った表現	
第9回	固有数詞	
第10回	固有数詞を使った表現	
第11回	否定形	
第12回	不可能の表現	
第13回	好みの表現	
第14回	願望の表現	
第15回	総合復習	

(学部科目 / Undergraduate Courses) 授業外学習の指示 / Recommendations for Private Study

(大学院科目 / Graduate Courses) 授業の方法 / Study Method

成績評価方法 / Grading Criteria and Method of Evaluation

種別 / Kind	割合 / Percentage	評価基準等 / Grading Criteria etc.
平常点評価	100 %	到達度検証試験 出席、小テスト、授業態度などで総合的に判断する。

受講および研究に関するアドバイス / Advice to Students on Study and Research Methods

教科書 / Textbooks

書名 / Title	出版社・ISBNコード・コメント / Author, Publisher, ISBN Code, Comment
『初級ハングル ―コミュニケーションのために―』	梁貞模・盧載玉／新幹社／／

参考書 / Reference Books

参考になる WWW ページ / Web Pages Useful for Reference

その他 / Others

朝鮮語・展開 (2A)

10882

担当者名 / Instructor 金 仁姫

単位数 / Credit 2

授業の概要 / Course Outline

基礎で学んだ文法知識をよりいっそう確実なものにするとともに、朝鮮語の会話の基本として重要な尊敬形や連体形など、新しい文法事項を教科書に沿って体系的に学びます。ハングル能力検定試験の4級に対応できる語学力が身につくはずです。

到達目標 / Attainment Objectives

学習した文法知識を用いてある程度まとまった文章を書き、朝鮮語で書かれた簡単な文章が読めるようになることを目標とします。

履修しておくことが望まれる科目 / Required Preparatory Study

授業スケジュール / Course Schedule

授業日(第N回)	テーマ / Theme	キーワード / Key Word
第1回	基礎の復習	
第2回	基礎の復習	
第3回	尊敬形	
第4回	尊敬の否定形	
第5回	現在連体形	
第6回	未来連体形	
第7回	未来連体形	
第8回	過去連体形	
第9回	連体形のおさらい	
第10回	意志・未来時制	
第11回	下称体	
第12回	引用文	
第13回	パンマル	
第14回	状態変化と受身の表現	
第15回	総合復習	

(学部科目 / Undergraduate Courses) 授業外学習の指示 / Recommendations for Private Study

(大学院科目 / Graduate Courses) 授業の方法 / Study Method

成績評価方法 / Grading Criteria and Method of Evaluation

種別 / Kind	割合 / Percentage	評価基準等 / Grading Criteria etc.
平常点評価	100 %	到達度検証試験 出席、小テスト、授業態度などで総合的に判断する。

受講および研究に関するアドバイス / Advice to Students on Study and Research Methods

教科書 / Textbooks

書名 / Title	出版社・ISBNコード・コメント / Author, Publisher, ISBN Code, Comment
『中級ハングル ―コミュニケーションのために―』	梁貞模・盧載玉／新幹社／／

参考書 / Reference Books

参考になる WWW ページ / Web Pages Useful for Reference

その他 / Others

朝鮮語・表現I (2A)

10003

担当者名 / Instructor 嚴 敬俊

単位数 / Credit 1

授業の概要 / Course Outline

この授業では、前半は「基礎」の授業と連携して文字と発音から学びます。後半は「基礎」で学んだ文法知識を基に、日常の身近なテーマを取り上げて、すぐに使える表現を学び、実際の会話ができるように、対話の練習や聞き取りの練習を行います。基本的には基礎と同様、教科書に沿って進めます。ハングル能力検定試験の5級に対応できる語学力が身につくはずです。

到達目標 / Attainment Objectives

慣用的な言い回しを用いた挨拶や簡単な自己紹介、状況や場面に応じて適切な表現が駆使できるようになることを目標とします。

履修しておくことが望まれる科目 / Required Preparatory Study

授業スケジュール / Course Schedule

授業日(第N回)	テーマ / Theme	キーワード / Key Word
第1回	文字と発音 I	
第2回	文字と発音 II	
第3回	文字と発音 III	
第4回	発音の変化	
第5回	指定詞、指示詞	
第6回	丁寧形(ハムニダ体)、疑問詞、存在詞	
第7回	丁寧形(ヘヨ体)	
第8回	丁寧形(ヘヨ体)、用言の変則活用<1>	
第9回	過去形	
第10回	接続語尾<1>、疑問詞	
第11回	漢数詞、漢数詞を使った表現	
第12回	固有数詞、時刻の表現	
第13回	否定形、不可能の表現	
第14回	好みの表現、願望の表現	
第15回	総合復習	

 (学部科目 / Undergraduate Courses) 授業外学習の指示 / Recommendations for Private Study
 (大学院科目 / Graduate Courses) 授業の方法 / Study Method

成績評価方法 / Grading Criteria and Method of Evaluation

種別 / Kind	割合 / Percentage	評価基準等 / Grading Criteria etc.
平常点評価	100 %	到達度検証試験 出席、小テスト、授業態度などで総合的に判断する。

受講および研究に関するアドバイス / Advice to Students on Study and Research Methods

教科書 / Textbooks

書名 / Title	出版社・ISBNコード・コメント / Author, Publisher, ISBN Code, Comment
『初級ハングル ―コミュニケーションのために―』	梁貞模・盧載玉／新幹社／／

参考書 / Reference Books

参考になる WWW ページ / Web Pages Useful for Reference

その他 / Others

朝鮮語・表現I (3A)

12056

担当者名 / Instructor 宋 基燦

単位数 / Credit 1

授業の概要 / Course Outline

この授業では、前半は「基礎」の授業と連携して文字と発音から学びます。後半は「基礎」で学んだ文法知識を基に、日常の身近なテーマを取り上げて、すぐに使える表現を学び、実際の会話ができるように、対話の練習や聞き取りの練習を行います。基本的には基礎と同様、教科書に沿って進めます。ハングル能力検定試験の5級に対応できる語学力が身につくはずです。

到達目標 / Attainment Objectives

慣用的な言い回しを用いた挨拶や簡単な自己紹介、状況や場面に応じて適切な表現が駆使できるようになることを目標とします。

履修しておくことが望まれる科目 / Required Preparatory Study

授業スケジュール / Course Schedule

授業日(第N回)	テーマ / Theme	キーワード / Key Word
第1回	文字と発音 I	
第2回	文字と発音 II	
第3回	文字と発音 III	
第4回	発音の変化	
第5回	指定詞、指示詞	
第6回	丁寧形(ハムニダ体)、疑問詞、存在詞	
第7回	丁寧形(ヘヨ体)	
第8回	丁寧形(ヘヨ体)、用言の変則活用<1>	
第9回	過去形	
第10回	接続語尾<1>、疑問詞	
第11回	漢数詞、漢数詞を使った表現	
第12回	固有数詞、時刻の表現	
第13回	否定形、不可能の表現	
第14回	好みの表現、願望の表現	
第15回	総合復習	

(学部科目 / Undergraduate Courses) 授業外学習の指示 / Recommendations for Private Study

(大学院科目 / Graduate Courses) 授業の方法 / Study Method

成績評価方法 / Grading Criteria and Method of Evaluation

種別 / Kind	割合 / Percentage	評価基準等 / Grading Criteria etc.
平常点評価	100 %	到達度検証試験 出席、小テスト、授業態度などで総合的に判断する。

受講および研究に関するアドバイス / Advice to Students on Study and Research Methods

教科書 / Textbooks

書名 / Title	出版社・ISBNコード・コメント / Author, Publisher, ISBN Code, Comment
『初級ハングル ―コミュニケーションのために―』	梁貞模・盧載玉／新幹社／／

参考書 / Reference Books

参考になる WWW ページ / Web Pages Useful for Reference

その他 / Others

朝鮮語・表現I (3B)

12170

担当者名 / Instructor 金 仁姫

単位数 / Credit 1

授業の概要 / Course Outline

この授業では、前半は「基礎」の授業と連携して文字と発音から学びます。後半は「基礎」で学んだ文法知識を基に、日常の身近なテーマを取り上げて、すぐに使える表現を学び、実際の会話ができるように、対話の練習や聞き取りの練習を行います。基本的には基礎と同様、教科書に沿って進めます。ハングル能力検定試験の5級に対応できる語学力が身につくはずです。

到達目標 / Attainment Objectives

慣用的な言い回しを用いた挨拶や簡単な自己紹介、状況や場面に応じて適切な表現が駆使できるようになることを目標とします。

履修しておくことが望まれる科目 / Required Preparatory Study

授業スケジュール / Course Schedule

授業日(第N回)	テーマ / Theme	キーワード / Key Word
第1回	文字と発音 I	
第2回	文字と発音 II	
第3回	文字と発音 III	
第4回	発音の変化	
第5回	指定詞、指示詞	
第6回	丁寧形(ハムニダ体)、疑問詞、存在詞	
第7回	丁寧形(ヘヨ体)	
第8回	丁寧形(ヘヨ体)、用言の変則活用<1>	
第9回	過去形	
第10回	接続語尾<1>、疑問詞	
第11回	漢数詞、漢数詞を使った表現	
第12回	固有数詞、時刻の表現	
第13回	否定形、不可能の表現	
第14回	好みの表現、願望の表現	
第15回	総合復習	

 (学部科目 / Undergraduate Courses) 授業外学習の指示 / Recommendations for Private Study
 (大学院科目 / Graduate Courses) 授業の方法 / Study Method

成績評価方法 / Grading Criteria and Method of Evaluation

種別 / Kind	割合 / Percentage	評価基準等 / Grading Criteria etc.
平常点評価	100 %	到達度検証試験 出席、小テスト、授業態度などで総合的に判断する。

受講および研究に関するアドバイス / Advice to Students on Study and Research Methods

教科書 / Textbooks

書名 / Title	出版社・ISBNコード・コメント / Author, Publisher, ISBN Code, Comment
『初級ハングル ―コミュニケーションのために―』	梁貞模・盧載玉／新幹社／／

参考書 / Reference Books

参考になる WWW ページ / Web Pages Useful for Reference

その他 / Others

朝鮮語・表現Ⅱ (2A)

10076

担当者名 / Instructor 嚴 敬俊

単位数 / Credit 1

授業の概要 / Course Outline

この授業では、展開で学んだ文法知識を基に、日常の身近なテーマを取り上げて、すぐに使える表現を学び、実際の会話ができるように、対話の練習や聞き取りの練習を行います。基本的には、展開と同様、教科書に沿って進めます。ハングル能力検定試験の4級に対応できる語学力が身につくはずで。

到達目標 / Attainment Objectives

様々な状況や場面に応じて適切な表現が駆使できる、簡単な自己表現・主張ができるようになることを目標とします。

履修しておくことが望まれる科目 / Required Preparatory Study

授業スケジュール / Course Schedule

授業日(第N回)	テーマ / Theme	キーワード / Key Word
第1回	基礎の復習	
第2回	基礎の復習	
第3回	尊敬形	
第4回	尊敬の否定形	
第5回	現在連体形	
第6回	未来連体形	
第7回	未来連体形	
第8回	過去連体形	
第9回	連体形のおさらい	
第10回	意志・未来時制	
第11回	下称体	
第12回	引用文	
第13回	パンマル	
第14回	状態変化と受身の表現	
第15回	総合復習	

(学部科目 / Undergraduate Courses) 授業外学習の指示 / Recommendations for Private Study

(大学院科目 / Graduate Courses) 授業の方法 / Study Method

成績評価方法 / Grading Criteria and Method of Evaluation

種別 / Kind	割合 / Percentage	評価基準等 / Grading Criteria etc.
平常点評価	100 %	到達度検証試験 出席、小テスト、授業態度などで総合的に判断する。

受講および研究に関するアドバイス / Advice to Students on Study and Research Methods

教科書 / Textbooks

書名 / Title	出版社・ISBNコード・コメント / Author, Publisher, ISBN Code, Comment
『中級ハングル ―コミュニケーションのために―』	梁貞模・盧載玉／新幹社／／

参考書 / Reference Books

参考になる WWW ページ / Web Pages Useful for Reference

その他 / Others

朝鮮語・表現II (3A)

12115

担当者名 / Instructor 宋 基燦

単位数 / Credit 1

授業の概要 / Course Outline

この授業では、展開で学んだ文法知識を基に、日常の身近なテーマを取り上げて、すぐに使える表現を学び、実際の会話ができるように、対話の練習や聞き取りの練習を行います。基本的には、展開と同様、教科書に沿って進めます。ハングル能力検定試験の4級に対応できる語学力が身につくはずで。

到達目標 / Attainment Objectives

様々な状況や場面に応じて適切な表現が駆使できる、簡単な自己表現・主張ができるようになることを目標とします。

履修しておくことが望まれる科目 / Required Preparatory Study

授業スケジュール / Course Schedule

授業日(第N回)	テーマ / Theme	キーワード / Key Word
第1回	基礎の復習	
第2回	基礎の復習	
第3回	尊敬形	
第4回	尊敬の否定形	
第5回	現在連体形	
第6回	未来連体形	
第7回	未来連体形	
第8回	過去連体形	
第9回	連体形のおさらい	
第10回	意志・未来時制	
第11回	下称体	
第12回	引用文	
第13回	パンマル	
第14回	状態変化と受身の表現	
第15回	総合復習	

(学部科目 / Undergraduate Courses) 授業外学習の指示 / Recommendations for Private Study

(大学院科目 / Graduate Courses) 授業の方法 / Study Method

成績評価方法 / Grading Criteria and Method of Evaluation

種別 / Kind	割合 / Percentage	評価基準等 / Grading Criteria etc.
平常点評価	100 %	到達度検証試験 出席、小テスト、授業態度などで総合的に判断する。

受講および研究に関するアドバイス / Advice to Students on Study and Research Methods

教科書 / Textbooks

書名 / Title	出版社・ISBNコード・コメント / Author, Publisher, ISBN Code, Comment
『中級ハングル ―コミュニケーションのために―』	梁貞模・盧載玉／新幹社／／

参考書 / Reference Books

参考になる WWW ページ / Web Pages Useful for Reference

その他 / Others

朝鮮語・表現Ⅱ (3B)

12244

担当者名 / Instructor 金 仁姫

単位数 / Credit 1

授業の概要 / Course Outline

この授業では、展開で学んだ文法知識を基に、日常の身近なテーマを取り上げて、すぐに使える表現を学び、実際の会話ができるように、対話の練習や聞き取りの練習を行います。基本的には、展開と同様、教科書に沿って進めます。ハングル能力検定試験の4級に対応できる語学力が身につくはずで。

到達目標 / Attainment Objectives

様々な状況や場面に応じて適切な表現が駆使できる、簡単な自己表現・主張ができるようになることを目標とします。

履修しておくことが望まれる科目 / Required Preparatory Study

授業スケジュール / Course Schedule

授業日(第N回)	テーマ / Theme	キーワード / Key Word
第1回	基礎の復習	
第2回	基礎の復習	
第3回	尊敬形	
第4回	尊敬の否定形	
第5回	現在連体形	
第6回	未来連体形	
第7回	未来連体形	
第8回	過去連体形	
第9回	連体形のおさらい	
第10回	意志・未来時制	
第11回	下称体	
第12回	引用文	
第13回	パンマル	
第14回	状態変化と受身の表現	
第15回	総合復習	

(学部科目 / Undergraduate Courses) 授業外学習の指示 / Recommendations for Private Study

(大学院科目 / Graduate Courses) 授業の方法 / Study Method

成績評価方法 / Grading Criteria and Method of Evaluation

種別 / Kind	割合 / Percentage	評価基準等 / Grading Criteria etc.
平常点評価	100 %	到達度検証試験 出席、小テスト、授業態度などで総合的に判断する。

受講および研究に関するアドバイス / Advice to Students on Study and Research Methods

教科書 / Textbooks

書名 / Title	出版社・ISBNコード・コメント / Author, Publisher, ISBN Code, Comment
『中級ハングル ―コミュニケーションのために―』	梁貞模・盧載玉／新幹社／／

参考書 / Reference Books

参考になる WWW ページ / Web Pages Useful for Reference

その他 / Others

ドイツ語・応用I (2A)

11248

担当者名 / Instructor 玉木 佳代子

単位数 / Credit 1

授業の概要 / Course Outline

1 回生の「基礎」「展開」で学習したドイツ語の基本知識とスキルを確実なものにするとともに、さらに発展させることを目標とした授業です。簡単なテキストを文字と音声の両面から理解しつつ多様な練習問題を解くことによって、文法理解を深め、語彙を豊富にし、読解力と表現力の向上をめざします。なお、下記の授業ごとに示した文法のキーワードは新たな学習事項ではなく既習事項ばかりです。確認と練習のポイントとして各授業で取り上げるものです。

到達目標 / Attainment Objectives

- ・簡単なテキストを読んで理解し、聞いて分かるようになる
- ・辞書の取り扱いに習熟し、すこし長い文章でも辞書を引ながら理解できるようになる
- ・挨拶などの基本的な会話ができ、自己紹介などの簡単な文章が書けるようになる

履修しておくことが望まれる科目 / Required Preparatory Study

授業スケジュール / Course Schedule

授業日(第N回)	テーマ / Theme	キーワード / Key Word
1-2	Lek.1 Deutschsprachiger Raum.	動詞の現在人称変化、名詞の複数形、動詞の命令形
3-4	Lek.2 Spaeter	名詞と冠詞の格変化、前置詞の格支配
5-6	Lek.3 Charlie Chaplin	動詞の3基本形、過去人称変化、副文
7	学習事項のチェックと中間テスト1	
8-9	Lek.4 Scheinpraeparat	現在完了、geの付かない過去分詞
10-11	Lek.5 Der schlaue Verkaeufer	分離動詞、未来形
12	学習事項のチェックと中間テスト2	話法の助動詞、形容詞の比較変化
13	Lek.6 Der Schirm	話法の助動詞①
14	Lek.7 Wie viel kostet eine Nacht?	話法の助動詞②、形容詞の比較変化
15	学習事項のチェックとまとめ、到達度検証テスト	

(学部科目 / Undergraduate Courses) 授業外学習の指示 / Recommendations for Private Study

(大学院科目 / Graduate Courses) 授業の方法 / Study Method

NHKテレビ、ラジオのドイツ語講座は教室での学習を補強するには最適です。たとえ定期的にはなくとも視聴することを薦めます。

成績評価方法 / Grading Criteria and Method of Evaluation

種別 / Kind	割合 / Percentage	評価基準等 / Grading Criteria etc.
平常点評価	100 %	出席、授業参加、中間テストなどによる

受講および研究に関するアドバイス / Advice to Students on Study and Research Methods

教科書 / Textbooks

書名 / Title	出版社・ISBNコード・コメント / Author, Publisher, ISBN Code, Comment
改訂版・ドイツ語ユーモア小品集	菊池悦朗／第三書房／978-4-8086-1117／

参考書 / Reference Books

参考になる WWW ページ / Web Pages Useful for Reference

ドイツ語を学ぶ、ドイツを知る →ドイツ文化センター(Goethe-Institut)
 ドイツ留学、奨学金 →ドイツ学術交流会(DAAD)
 文字・音声・映像によるドイツの最新ニュースや各種情報 →Deutsche Welle

その他 / Others

ドイツ語・応用Ⅱ(2A)

11324

担当者名 / Instructor 玉木 佳代子

単位数 / Credit 1

授業の概要 / Course Outline

前期の「応用Ⅰ」に引き続き、1回生の「基礎」「展開」で学習したドイツ語の基本知識とスキルを確実なものにするとともに、さらに発展させることを目標とした授業です。簡単なテキストを文字と音声の両面から理解しつつ多様な練習問題を解くことによって、文法理解を深め、語彙を豊富にし、読解力と表現力の向上をめざします。なお、下記の授業ごとに示した文法のキーワードは新たな学習事項ではなく既習事項ばかりです。確認と練習のポイントとして各授業で取り上げるものです。

到達目標 / Attainment Objectives

- ・簡単なテキストを読んで理解し、聞いて分かるようになる
- ・辞書の取り扱いに習熟し、すこし長い文章でも辞書を引ながら理解できるようになる
- ・挨拶などの基本的な会話ができ、自己紹介などの簡単な文章が書けるようになる

履修しておくことが望まれる科目 / Required Preparatory Study

授業スケジュール / Course Schedule

授業日(第N回)	テーマ / Theme	キーワード / Key Word
1-2	Lek.8 Wessen Wahl?	再帰代名詞、再帰動詞
3-4	Lek.9 Ideal und Wirklichkeit	接続法第Ⅱ式
5	Lek.10 Eine seltsame Begegnung	関係代名詞
6	学習事項のチェックと中間テスト1	
7	Lek.11 Das Boot hat ein Loch	受動態
8	Lek.12 Traeume sind Schaeume	接続法第Ⅰ式
9	Lek.13 Wer hat Abraham Lincoln erschossen?	接続詞と副文
10	Lek.14 Gestörter Schlaf	
11	Lek.15 Eine Belohnung von einer stoerischen Kuh	
12	学習事項のチェックと中間テスト2	
13-14	ドイツ語をとおして得る世界の最新情報	
15	学習事項のチェックとまとめ、到達度検証テスト	

(学部科目 / Undergraduate Courses) 授業外学習の指示 / Recommendations for Private Study

(大学院科目 / Graduate Courses) 授業の方法 / Study Method

NHKテレビ、ラジオのドイツ語講座は教室での学習を補強するには最適です。たとえ定期的にはなくとも視聴することを薦めます。

成績評価方法 / Grading Criteria and Method of Evaluation

種別 / Kind	割合 / Percentage	評価基準等 / Grading Criteria etc.
平常点評価	100 %	出席、授業参加、中間テストなどによる

受講および研究に関するアドバイス / Advice to Students on Study and Research Methods

教科書 / Textbooks

書名 / Title	出版社・ISBNコード・コメント / Author, Publisher, ISBN Code, Comment
改訂版・ドイツ語ユーモア小品集	菊池悦朗／第三書房／978-4-8086-1117／

参考書 / Reference Books

参考になる WWW ページ / Web Pages Useful for Reference

ドイツ語を学ぶ、ドイツを知る →ドイツ文化センター(Goethe-Institut)
 ドイツ留学、奨学金 →ドイツ学術交流会(DAAD)
 文字・音声・映像によるドイツの最新ニュースや各種情報 →Deutsche Welle

その他 / Others

ドイツ語・基礎 (2A)

10173

担当者名 / Instructor 玉木 佳代子

単位数 / Credit 2

授業の概要 / Course Outline

コミュニケーションの手段としてのドイツ語の基礎を、発音、文法、語彙・表現の面から学習します。コミュニケーションにとって不可欠なドイツ語圏の生活や文化に関する知識も少しずつ身につけるようにします。週2回の授業を同一の教員が担当します。

到達目標 / Attainment Objectives

ドイツ語は英語などに比べると、基礎段階においては発音が簡単で文法が複雑という特徴をもっています。しかし簡単とはいえドイツ語独自の音であることに違いはないので、まずドイツ語の音声を身につける必要があります。文法では、動詞の現在人称変化、名詞・冠詞の格変化、人称代名詞、疑問詞、前置詞、助動詞、分離動詞を、語彙・表現では、あいさつ・自己紹介、数詞(時刻、値段など)、家族名称、曜日・月・季節などを学びます。

履修しておくことが望まれる科目 / Required Preparatory Study

授業スケジュール / Course Schedule

授業日(第N回)	テーマ / Theme	キーワード / Key Word
1	ドイツ語とはどんな言語か	ドイツ語の使われている地域、ドイツ語の音声とアルファベット、簡単な挨拶
2-3	Lek.1A Wie heisst du?	平叙文と疑問文、人称代名詞、規則変化動詞、数詞(1~19)
4-7	Lek.1B Hast du morgen Abend Zeit?	sein・haben、定動詞の位置、挨拶と自己紹介、専攻の名称
8-10	Lek.2A Dann nehme ich den Kaesekuchen.	名詞と冠詞の格と性(1格と4格)、数詞(~100)、値段の表現
11-14	Lek.2B Das ist meine Familie. 中間テスト1	名詞の複数、所有冠詞・否定冠詞、家族の紹介、職業と趣味の語彙
15-16	Lek.3A Midori faehrt nach Kassel.	不規則動詞の現在人称変化、命令と依頼の表現、時刻の表現
17-19	Lek.3B "Rotkaepchen" gefaellt mir besonders gut.	疑問詞、3格・2格、定冠詞類、人称代名詞
20-24	Lek.4A Dresden liegt an der Elbe. 中間テスト2	前置詞の格支配、曜日・月・季節の名称
25-28	Lek.4B Ich rufe dich an.	話法の助動詞、分離動詞
29-30	前期の学習事項のチェックと弱点の補強、到達度検証テスト	

(学部科目 / Undergraduate Courses) 授業外学習の指示 / Recommendations for Private Study

(大学院科目 / Graduate Courses) 授業の方法 / Study Method

NHKテレビ、ラジオのドイツ語講座は教室での学習を補強するには最適です。たとえ定期的にはなくとも視聴することを薦めます。

成績評価方法 / Grading Criteria and Method of Evaluation

種別 / Kind	割合 / Percentage	評価基準等 / Grading Criteria etc.
平常点評価	100 %	出席、授業参加、中間テストなどによる

受講および研究に関するアドバイス / Advice to Students on Study and Research Methods

教科書 / Textbooks

書名 / Title	出版社・ISBNコード・コメント / Author, Publisher, ISBN Code, Comment
シュトラッセ・ノイ	立教大学ドイツ語教室／朝日出版社／ISBN978-4-255-25297-1 C1084／

参考書 / Reference Books

参考になる WWW ページ / Web Pages Useful for Reference

ドイツ語を学ぶ、ドイツを知る →ドイツ文化センター(Goethe-Institut)
 ドイツ留学、奨学金 →ドイツ学術交流会(DAAD)
 文字・音声・映像によるドイツの最新ニュースや各種情報 →Deutsche Welle

その他 / Others

ドイツ語・総合I (3A)

12174

担当者名 / Instructor 大西 光弘

単位数 / Credit 1

授業の概要 / Course Outline

コミュニケーションの手段としてのドイツ語の基礎を、発音、文法、語彙・表現の面から学習します。コミュニケーションにとって不可欠なドイツ語圏の生活や文化に関する知識も少しずつ身につけるようにします。

到達目標 / Attainment Objectives

ドイツ語は英語などに比べると、基礎段階においては発音が簡単で文法が複雑という特徴をもっています。しかし簡単とはいえドイツ語独自の音であることに違いはないので、まずドイツ語の音声を身につける必要があります。文法では、動詞の現在人称変化、名詞・冠詞の格変化を確実に身につけ、加えて人称代名詞、疑問詞、前置詞、再帰代名詞・再帰動詞を理解します。語彙・表現では、あいさつ・自己紹介、数詞(時刻、値段)などを学びます。

履修しておくことが望まれる科目 / Required Preparatory Study

授業スケジュール / Course Schedule

授業日(第N回)	テーマ / Theme	キーワード / Key Word
1	ドイツ語とはどんな言語か	ドイツ語の使われている地域、ドイツ語の音声とつづり、アルファベット、簡単な挨拶
2-3	Lek.1 動詞の現在人称変化と語順	定動詞の位置、挨拶と自己紹介、趣味の表現
4-6	Lek.2 名詞の性と格変化、重要な動詞	冠詞の使い方、sein・haben・werden
7-8	Lek.3 不規則動詞の現在人称変化、名詞の複数形と3格	買い物の表現
9	学習事項の確認とチェック、中間テスト	
10-12	Lek.4 前置詞、副文	予定を告げる表現、曜日
13-14	Lek.5 人称代名詞の3・4格と再帰代名詞、再帰動詞、名詞の2格	時間の表現
15	これまでの学習事項のチェック、到達度検証テスト	

(学部科目 / Undergraduate Courses) 授業外学習の指示 / Recommendations for Private Study

(大学院科目 / Graduate Courses) 授業の方法 / Study Method

NHKテレビ、ラジオのドイツ語講座は教室での学習を補強するには最適です。たとえ定期的にはなくとも視聴することを薦めます。

成績評価方法 / Grading Criteria and Method of Evaluation

種別 / Kind	割合 / Percentage	評価基準等 / Grading Criteria etc.
平常点評価	100 %	出席、授業参加、小テストなどによる

受講および研究に関するアドバイス / Advice to Students on Study and Research Methods

教科書 / Textbooks

書名 / Title	出版社・ISBNコード・コメント / Author, Publisher, ISBN Code, Comment
ドイツ語の時間〈話すための文法〉改訂版	清野智昭／朝日出版社／ISBN978-4-255-25319-0 C1084／

参考書 / Reference Books

参考になる WWW ページ / Web Pages Useful for Reference

ドイツ語を学ぶ、ドイツを知る →ドイツ文化センター(Goethe-Institut)
 ドイツ留学、奨学金 →ドイツ学術交流会(DAAD)
 文字・音声・映像によるドイツの最新ニュースや各種情報 →Deutsche Welle

その他 / Others

ドイツ語・総合I (3B)

10010

担当者名 / Instructor 竹治 進

単位数 / Credit 1

授業の概要 / Course Outline

コミュニケーションの手段としてのドイツ語の基礎を、発音、文法、語彙・表現の面から学習します。コミュニケーションにとって不可欠なドイツ語圏の生活や文化に関する知識も少しずつ身につけるようにします。

到達目標 / Attainment Objectives

ドイツ語は英語などに比べると、基礎段階においては発音が簡単で文法が複雑という特徴をもっています。しかし簡単とはいえドイツ語独自の音であることに違いはないので、まずドイツ語の音声を身につける必要があります。文法では、動詞の現在人称変化、名詞・冠詞の格変化を確実に身につけ、加えて人称代名詞、疑問詞、前置詞、再帰代名詞・再帰動詞を理解します。語彙・表現では、あいさつ・自己紹介、数詞(時刻、値段)などを学びます。

履修しておくことが望まれる科目 / Required Preparatory Study

授業スケジュール / Course Schedule

授業日(第N回)	テーマ / Theme	キーワード / Key Word
1	ドイツ語とはどんな言語か	ドイツ語の使われている地域、ドイツ語の音声とつづり、アルファベット、簡単な挨拶
2-3	Lek.1 動詞の現在人称変化と語順	定動詞の位置、挨拶と自己紹介、趣味の表現
4-6	Lek.2 名詞の性と格変化、重要な動詞	冠詞の使い方、sein・haben・werden
7-8	Lek.3 不規則動詞の現在人称変化、名詞の複数形と3格	買い物の表現
9	学習事項の確認とチェック、中間テスト	
10-12	Lek.4 前置詞、副文	予定を告げる表現、曜日
13-14	Lek.5 人称代名詞の3・4格と再帰代名詞、再帰動詞、名詞の2格	時間の表現
15	これまでの学習事項のチェック、到達度検証テスト	

(学部科目 / Undergraduate Courses) 授業外学習の指示 / Recommendations for Private Study

(大学院科目 / Graduate Courses) 授業の方法 / Study Method

NHKテレビ、ラジオのドイツ語講座は教室での学習を補強するには最適です。たとえ定期的にはなくとも視聴することを薦めます。

成績評価方法 / Grading Criteria and Method of Evaluation

種別 / Kind	割合 / Percentage	評価基準等 / Grading Criteria etc.
平常点評価	100 %	出席、授業参加、小テストなどによる

受講および研究に関するアドバイス / Advice to Students on Study and Research Methods

教科書 / Textbooks

書名 / Title	出版社・ISBNコード・コメント / Author, Publisher, ISBN Code, Comment
ドイツ語の時間〈話すための文法〉改訂版	清野智昭／朝日出版社／ISBN978-4-255-25319-0 C1084／

参考書 / Reference Books

参考になる WWW ページ / Web Pages Useful for Reference

ドイツ語を学ぶ、ドイツを知る →ドイツ文化センター(Goethe-Institut)
 ドイツ留学、奨学金 →ドイツ学術交流会(DAAD)
 文字・音声・映像によるドイツの最新ニュースや各種情報 →Deutsche Welle

その他 / Others

ドイツ語・総合I (3C)

12050

担当者名 / Instructor 大西 光弘

単位数 / Credit 1

授業の概要 / Course Outline

コミュニケーションの手段としてのドイツ語の基礎を、発音、文法、語彙・表現の面から学習します。コミュニケーションにとって不可欠なドイツ語圏の生活や文化に関する知識も少しずつ身につけるようにします。

到達目標 / Attainment Objectives

ドイツ語は英語などに比べると、基礎段階においては発音が簡単で文法が複雑という特徴をもっています。しかし簡単とはいえドイツ語独自の音であることに違いはないので、まずドイツ語の音声を身につける必要があります。文法では、動詞の現在人称変化、名詞・冠詞の格変化を確実に身につけ、加えて人称代名詞、疑問詞、前置詞、再帰代名詞・再帰動詞を理解します。語彙・表現では、あいさつ・自己紹介、数詞(時刻、値段)などを学びます。

履修しておくことが望まれる科目 / Required Preparatory Study

授業スケジュール / Course Schedule

授業日(第N回)	テーマ / Theme	キーワード / Key Word
1	ドイツ語とはどんな言語か	ドイツ語の使われている地域、ドイツ語の音声とつづり、アルファベット、簡単な挨拶
2-3	Lek.1 動詞の現在人称変化と語順	定動詞の位置、挨拶と自己紹介、趣味の表現
4-6	Lek.2 名詞の性と格変化、重要な動詞	冠詞の使い方、sein・haben・werden
7-8	Lek.3 不規則動詞の現在人称変化、名詞の複数形と3格	買い物の表現
9	学習事項の確認とチェック、中間テスト	
10-12	Lek.4 前置詞、副文	予定を告げる表現、曜日
13-14	Lek.5 人称代名詞の3・4格と再帰代名詞、再帰動詞、名詞の2格	時間の表現
15	これまでの学習事項のチェック、到達度検証テスト	

(学部科目 / Undergraduate Courses) 授業外学習の指示 / Recommendations for Private Study

(大学院科目 / Graduate Courses) 授業の方法 / Study Method

NHKテレビ、ラジオのドイツ語講座は教室での学習を補強するには最適です。たとえ定期的にはなくとも視聴することを薦めます。

成績評価方法 / Grading Criteria and Method of Evaluation

種別 / Kind	割合 / Percentage	評価基準等 / Grading Criteria etc.
平常点評価	100 %	出席、授業参加、小テストなどによる

受講および研究に関するアドバイス / Advice to Students on Study and Research Methods

教科書 / Textbooks

書名 / Title	出版社・ISBNコード・コメント / Author, Publisher, ISBN Code, Comment
ドイツ語の時間〈話すための文法〉改訂版	清野智昭／朝日出版社／ISBN978-4-255-25319-0 C1084／

参考書 / Reference Books

参考になる WWW ページ / Web Pages Useful for Reference

ドイツ語を学ぶ、ドイツを知る →ドイツ文化センター(Goethe-Institut)
 ドイツ留学、奨学金 →ドイツ学術交流会(DAAD)
 文字・音声・映像によるドイツの最新ニュースや各種情報 →Deutsche Welle

その他 / Others

ドイツ語・総合I (3D)

10137

担当者名 / Instructor 竹治 進

単位数 / Credit 1

授業の概要 / Course Outline

コミュニケーションの手段としてのドイツ語の基礎を、発音、文法、語彙・表現の面から学習します。コミュニケーションにとって不可欠なドイツ語圏の生活や文化に関する知識も少しずつ身につけるようにします。

到達目標 / Attainment Objectives

ドイツ語は英語などに比べると、基礎段階においては発音が簡単で文法が複雑という特徴をもっています。しかし簡単とはいえドイツ語独自の音であることに違いはないので、まずドイツ語の音声を身につける必要があります。文法では、動詞の現在人称変化、名詞・冠詞の格変化を確実に身につけ、加えて人称代名詞、疑問詞、前置詞、再帰代名詞・再帰動詞を理解します。語彙・表現では、あいさつ・自己紹介、数詞(時刻、値段)などを学びます。

履修しておくことが望まれる科目 / Required Preparatory Study

授業スケジュール / Course Schedule

授業日(第N回)	テーマ / Theme	キーワード / Key Word
1	ドイツ語とはどんな言語か	ドイツ語の使われている地域、ドイツ語の音声とつづり、アルファベット、簡単な挨拶
2-3	Lek.1 動詞の現在人称変化と語順	定動詞の位置、挨拶と自己紹介、趣味の表現
4-6	Lek.2 名詞の性と格変化、重要な動詞	冠詞の使い方、sein・haben・werden
7-8	Lek.3 不規則動詞の現在人称変化、名詞の複数形と3格	買い物の表現
9	学習事項の確認とチェック、中間テスト	
10-12	Lek.4 前置詞、副文	予定を告げる表現、曜日
13-14	Lek.5 人称代名詞の3・4格と再帰代名詞、再帰動詞、名詞の2格	時間の表現
15	これまでの学習事項のチェック、到達度検証テスト	

(学部科目 / Undergraduate Courses) 授業外学習の指示 / Recommendations for Private Study

(大学院科目 / Graduate Courses) 授業の方法 / Study Method

NHKテレビ、ラジオのドイツ語講座は教室での学習を補強するには最適です。たとえ定期的にはなくとも視聴することを薦めます。

成績評価方法 / Grading Criteria and Method of Evaluation

種別 / Kind	割合 / Percentage	評価基準等 / Grading Criteria etc.
平常点評価	100 %	出席、授業参加、小テストなどによる

受講および研究に関するアドバイス / Advice to Students on Study and Research Methods

教科書 / Textbooks

書名 / Title	出版社・ISBNコード・コメント / Author, Publisher, ISBN Code, Comment
ドイツ語の時間〈話すための文法〉改訂版	清野智昭／朝日出版社／ISBN978-4-255-25319-0 C1084／

参考書 / Reference Books

参考になる WWW ページ / Web Pages Useful for Reference

ドイツ語を学ぶ、ドイツを知る →ドイツ文化センター(Goethe-Institut)
 ドイツ留学、奨学金 →ドイツ学術交流会(DAAD)
 文字・音声・映像によるドイツの最新ニュースや各種情報 →Deutsche Welle

その他 / Others

ドイツ語・総合Ⅱ (3A)

12251

担当者名 / Instructor 大西 光弘

単位数 / Credit 1

授業の概要 / Course Outline

「総合Ⅰ」に引き続き、コミュニケーションの手段としてのドイツ語を、発音、文法、語彙・表現の面から学習します。コミュニケーションにとって不可欠なドイツ語圏の生活や文化に関する知識も少しずつ身につけるようにします。

到達目標 / Attainment Objectives

基本的な語彙を習得し、あいさつや自己紹介が口頭ででき、簡単な文章が読んで理解できるようになることを目指します。また、基礎的な文法事項(冠詞類、動詞の3基本形、過去の表現、形容詞の格変化と比較表現、関係代名詞など)をひとつひとつ学習することによって今後の関心に応じたドイツ語学習に対応できる素地を養います。

履修しておくことが望まれる科目 / Required Preparatory Study

授業スケジュール / Course Schedule

授業日(第N回)	テーマ / Theme	キーワード / Key Word
1	前期「総合Ⅰ」で学習した事項の確認	
2-3	Lek.6 冠詞類	年齢、家族の紹介
4-5	Lek.7 zu不定詞、分離動詞、話法の助動詞	用事や希望の表現
6-7	Lek.8 過去形・現在完了形、受動態	過去の事柄の表現
8	ここまで学習した事項の復習と確認、中間テスト	
9-10	Lek.9 形容詞の格変化、比較級と最上級	好みの表現
11-12	Lek.10 関係代名詞、命令形	身近にある品物の名前、手紙
13-14	Lek.11 接続法	仮定表現
15	これまでの学習事項のチェック、到達度検証テスト	

 (学部科目 / Undergraduate Courses) 授業外学習の指示 / Recommendations for Private Study
 (大学院科目 / Graduate Courses) 授業の方法 / Study Method

NHKテレビ、ラジオのドイツ語講座は教室での学習を補強するには最適です。たとえ定期的にはなくとも視聴することを薦めます。

成績評価方法 / Grading Criteria and Method of Evaluation

種別 / Kind	割合 / Percentage	評価基準等 / Grading Criteria etc.
平常点評価	100 %	出席、授業参加、中間テストなどによる

受講および研究に関するアドバイス / Advice to Students on Study and Research Methods

教科書 / Textbooks

書名 / Title	出版社・ISBNコード・コメント / Author, Publisher, ISBN Code, Comment
ドイツ語の時間〈話すための文法〉改訂版	清野智昭／朝日出版社／ISBN978-4-255-25319-0 C1084／

参考書 / Reference Books

参考になる WWW ページ / Web Pages Useful for Reference

ドイツ語を学ぶ、ドイツを知る →ドイツ文化センター(Goethe-Institut)
 ドイツ留学、奨学金 →ドイツ学術交流会(DAAD)
 文字・音声・映像によるドイツの最新ニュースや各種情報 →Deutsche Welle

その他 / Others

ドイツ語・総合II (3B)

10067

担当者名 / Instructor 浅井 麻帆

単位数 / Credit 1

授業の概要 / Course Outline

「総合 I」に引き続き、コミュニケーションの手段としてのドイツ語を、発音、文法、語彙・表現の面から学習します。コミュニケーションにとって不可欠なドイツ語圏の生活や文化に関する知識も少しずつ身につけるようにします。

到達目標 / Attainment Objectives

基本的な語彙を習得し、あいさつや自己紹介が口頭ででき、簡単な文章が読んで理解できるようになることを目指します。また、基礎的な文法事項(冠詞類、動詞の3基本形、過去の表現、形容詞の格変化と比較表現、関係代名詞など)をひとつと学習することによって今後の関心に応じたドイツ語学習に対応できる素地を養います。

履修しておくことが望まれる科目 / Required Preparatory Study

授業スケジュール / Course Schedule

授業日(第N回)	テーマ / Theme	キーワード / Key Word
1	前期「総合 I」で学習した事項の確認	
2-3	Lek.6 冠詞類	年齢、家族の紹介
4-5	Lek.7 zu不定詞、分離動詞、話法の助動詞	用事や希望の表現
6-7	Lek.8 過去形・現在完了形、受動態	過去の事柄の表現
8	ここまで学習した事項の復習と確認、中間テスト	
9-10	Lek.9 形容詞の格変化、比較級と最上級	好みの表現
11-12	Lek.10 関係代名詞、命令形	身近にある品物の名前、手紙
13-14	Lek.11 接続法	仮定表現
15	これまでの学習事項のチェック、到達度検証テスト	

 (学部科目 / Undergraduate Courses) 授業外学習の指示 / Recommendations for Private Study
 (大学院科目 / Graduate Courses) 授業の方法 / Study Method

NHKテレビ、ラジオのドイツ語講座は教室での学習を補強するには最適です。たとえ定期的にはなくとも視聴することを薦めます。

成績評価方法 / Grading Criteria and Method of Evaluation

種別 / Kind	割合 / Percentage	評価基準等 / Grading Criteria etc.
平常点評価	100 %	出席、授業参加、中間テストなどによる

受講および研究に関するアドバイス / Advice to Students on Study and Research Methods

教科書 / Textbooks

書名 / Title	出版社・ISBNコード・コメント / Author, Publisher, ISBN Code, Comment
ドイツ語の時間〈話すための文法〉改訂版	清野智昭／朝日出版社／ISBN978-4-255-25319-0 C1084／

参考書 / Reference Books

参考になる WWW ページ / Web Pages Useful for Reference

ドイツ語を学ぶ、ドイツを知る →ドイツ文化センター(Goethe-Institut)
 ドイツ留学、奨学金 →ドイツ学術交流会(DAAD)
 文字・音声・映像によるドイツの最新ニュースや各種情報 →Deutsche Welle

その他 / Others

ドイツ語・総合II (3C)

12105

担当者名 / Instructor 大西 光弘

単位数 / Credit 1

授業の概要 / Course Outline

「総合 I」に引き続き、コミュニケーションの手段としてのドイツ語を、発音、文法、語彙・表現の面から学習します。コミュニケーションにとって不可欠なドイツ語圏の生活や文化に関する知識も少しずつ身につけるようにします。

到達目標 / Attainment Objectives

基本的な語彙を習得し、あいさつや自己紹介が口頭ででき、簡単な文章が読んで理解できるようになることを目指します。また、基礎的な文法事項(冠詞類、動詞の3基本形、過去の表現、形容詞の格変化と比較表現、関係代名詞など)をひとつと学習することによって今後の関心に応じたドイツ語学習に対応できる素地を養います。

履修しておくことが望まれる科目 / Required Preparatory Study

授業スケジュール / Course Schedule

授業日(第N回)	テーマ / Theme	キーワード / Key Word
1	前期「総合 I」で学習した事項の確認	
2-3	Lek.6 冠詞類	年齢、家族の紹介
4-5	Lek.7 zu不定詞、分離動詞、話法の助動詞	用事や希望の表現
6-7	Lek.8 過去形・現在完了形、受動態	過去の事柄の表現
8	ここまで学習した事項の復習と確認、中間テスト	
9-10	Lek.9 形容詞の格変化、比較級と最上級	好みの表現
11-12	Lek.10 関係代名詞、命令形	身近にある品物の名前、手紙
13-14	Lek.11 接続法	仮定表現
15	これまでの学習事項のチェック、到達度検証テスト	

(学部科目 / Undergraduate Courses) 授業外学習の指示 / Recommendations for Private Study

(大学院科目 / Graduate Courses) 授業の方法 / Study Method

NHKテレビ、ラジオのドイツ語講座は教室での学習を補強するには最適です。たとえ定期的にはなくとも視聴することを薦めます。

成績評価方法 / Grading Criteria and Method of Evaluation

種別 / Kind	割合 / Percentage	評価基準等 / Grading Criteria etc.
平常点評価	100 %	出席、授業参加、中間テストなどによる

受講および研究に関するアドバイス / Advice to Students on Study and Research Methods

教科書 / Textbooks

書名 / Title	出版社・ISBNコード・コメント / Author, Publisher, ISBN Code, Comment
ドイツ語の時間〈話すための文法〉改訂版	清野智昭／朝日出版社／ISBN978-4-255-25319-0 C1084／

参考書 / Reference Books

参考になる WWW ページ / Web Pages Useful for Reference

ドイツ語を学ぶ、ドイツを知る →ドイツ文化センター(Goethe-Institut)
 ドイツ留学、奨学金 →ドイツ学術交流会(DAAD)
 文字・音声・映像によるドイツの最新ニュースや各種情報 →Deutsche Welle

その他 / Others

ドイツ語・総合Ⅱ (3D)

10212

担当者名 / Instructor 浅井 麻帆

単位数 / Credit 1

授業の概要 / Course Outline

「総合Ⅰ」に引き続き、コミュニケーションの手段としてのドイツ語を、発音、文法、語彙・表現の面から学習します。コミュニケーションにとって不可欠なドイツ語圏の生活や文化に関する知識も少しずつ身につけるようにします。

到達目標 / Attainment Objectives

基本的な語彙を習得し、あいさつや自己紹介が口頭ででき、簡単な文章が読んで理解できるようになることを目指します。また、基礎的な文法事項(冠詞類、動詞の3基本形、過去の表現、形容詞の格変化と比較表現、関係代名詞など)をひとつと学習することによって今後の関心に応じたドイツ語学習に対応できる素地を養います。

履修しておくことが望まれる科目 / Required Preparatory Study

授業スケジュール / Course Schedule

授業日(第N回)	テーマ / Theme	キーワード / Key Word
1	前期「総合Ⅰ」で学習した事項の確認	
2-3	Lek.6 冠詞類	年齢、家族の紹介
4-5	Lek.7 zu不定詞、分離動詞、話法の助動詞	用事や希望の表現
6-7	Lek.8 過去形・現在完了形、受動態	過去の事柄の表現
8	ここまで学習した事項の復習と確認、中間テスト	
9-10	Lek.9 形容詞の格変化、比較級と最上級	好みの表現
11-12	Lek.10 関係代名詞、命令形	身近にある品物の名前、手紙
13-14	Lek.11 接続法	仮定表現
15	これまでの学習事項のチェック、到達度検証テスト	

 (学部科目 / Undergraduate Courses) 授業外学習の指示 / Recommendations for Private Study
 (大学院科目 / Graduate Courses) 授業の方法 / Study Method

NHKテレビ、ラジオのドイツ語講座は教室での学習を補強するには最適です。たとえ定期的にはなくとも視聴することを薦めます。

成績評価方法 / Grading Criteria and Method of Evaluation

種別 / Kind	割合 / Percentage	評価基準等 / Grading Criteria etc.
平常点評価	100 %	出席、授業参加、中間テストなどによる

受講および研究に関するアドバイス / Advice to Students on Study and Research Methods

教科書 / Textbooks

書名 / Title	出版社・ISBNコード・コメント / Author, Publisher, ISBN Code, Comment
ドイツ語の時間〈話すための文法〉改訂版	清野智昭／朝日出版社／ISBN978-4-255-25319-0 C1084／

参考書 / Reference Books

参考になる WWW ページ / Web Pages Useful for Reference

ドイツ語を学ぶ、ドイツを知る →ドイツ文化センター(Goethe-Institut)
 ドイツ留学、奨学金 →ドイツ学術交流会(DAAD)
 文字・音声・映像によるドイツの最新ニュースや各種情報 →Deutsche Welle

その他 / Others

ドイツ語・展開 (2A)

10245

担当者名 / Instructor 玉木 佳代子

単位数 / Credit 2

授業の概要 / Course Outline

「基礎」に引き続き、コミュニケーションの手段としてのドイツ語を、発音、文法、語彙・表現の面から学習します。コミュニケーションにとって不可欠なドイツ語圏の生活や文化に関する知識も少しずつ身につけるようにします。週2回の授業を同一の教員が担当します。

到達目標 / Attainment Objectives

基礎的な文法事項をひとつおひとりと学習し、独和辞典を引きながら関係代名詞や接続詞を含む少し長い文章を読めるレベルに到達することを目標とします。また、基本的な語彙を使った短い文章を発話でき、書けるようになることを目指します。

履修しておくことが望まれる科目 / Required Preparatory Study

授業スケジュール / Course Schedule

授業日(第N回)	テーマ / Theme	キーワード / Key Word
1	前期「基礎」で学習した事項の確認	
2-4	Lek.5A Was hast du in den Sommerferien gemacht?	動詞の3基本形、現在完了
5-7	Lek.5B Wann warst du in Koeln?	過去人称変化、接続詞と副文、副詞句
8-11	Lek.6A Am 23. Oktober wird die Hochzeit gefeiert. 中間テスト1	受動文、序数・日付
12-14	Lek.6B Bei uns ist es kalt.	非人称表現、zu不定詞
15-17	Lek.7A Der blaue Rock hier ist ganz toll.	形容詞の格変化、形容詞の比較級・最上級
18-20	Lek.7B Ich habe mich erkältet.	再帰代名詞・再帰動詞、
21-24	Lek.8A Advent, Advent. 中間テスト2	関係代名詞・関係副詞
25-28	Lek.8B Auf dem Weihnachtsmarkt.	非現実話法
29-30	学習した事項のチェックと弱点の補強、到達度検証テスト	

(学部科目 / Undergraduate Courses) 授業外学習の指示 / Recommendations for Private Study

(大学院科目 / Graduate Courses) 授業の方法 / Study Method

NHKテレビ、ラジオのドイツ語講座は教室での学習を補強するには最適です。たとえ定期的にはなくとも視聴することを薦めます。

成績評価方法 / Grading Criteria and Method of Evaluation

種別 / Kind	割合 / Percentage	評価基準等 / Grading Criteria etc.
定期試験(筆記)	0 %	1年間のドイツ語学習の熟達度検証としてドイツ語検定試験4級相当レベルの試験を実施します。
平常点評価	100 %	出席、授業参加、中間テストなどによる

受講および研究に関するアドバイス / Advice to Students on Study and Research Methods

教科書 / Textbooks

書名 / Title	出版社・ISBNコード・コメント / Author, Publisher, ISBN Code, Comment
シュトラッセ・ノイ	立教大学ドイツ語教室／朝日出版社／ISBN978-4-255-25297-1 C1084／

参考書 / Reference Books

参考になる WWW ページ / Web Pages Useful for Reference

ドイツ語を学ぶ、ドイツを知る →ドイツ文化センター(Goethe-Institut)
 ドイツ留学、奨学金 →ドイツ学術交流会(DAAD)
 文字・音声・映像によるドイツの最新ニュースや各種情報 →Deutsche Welle

その他 / Others

ドイツ語・表現I (2A)

12051

担当者名 / Instructor KOPP STEPHANIE ANNA

単位数 / Credit 1

授業の概要 / Course Outline

ドイツ語による基本的なコミュニケーションの力を養成することを目標とします。そのために必要な語彙・言い回しを、主として耳で聴き、口に出してみるといった練習を通じて獲得します。ドイツ語を母語とする教員が担当します。

到達目標 / Attainment Objectives

- ・挨拶と自己紹介ができるようになる
- ・身近な物の名前、国名と言語名を覚える
- ・数字に習熟する
- ・質問と答え方のパターンを理解し、簡単なやり取りができるようになる

履修しておくことが望まれる科目 / Required Preparatory Study

授業スケジュール / Course Schedule

授業日(第N回)	テーマ / Theme	キーワード / Key Word
1－4	Guten Tag. Mein Name ist ...	名前、出身地、言語、挨拶、一人称と二人称、アルファベット、疑問詞
5－7	Familie und Freunde	家族と友人、住所、三人称、20までの数、所有冠詞
8－10	Essen und Trinken	果物、飲み物、その他の食品、買い物、好み、ユーロとセント、不定冠詞と否定冠詞、決定疑問文、100までの数
11－13	Meine Wohnung	住まい、家具、色彩名、新聞広告、定冠詞、述語形容詞、
14－15	復習、到達度検証テスト	

(学部科目 / Undergraduate Courses) 授業外学習の指示 / Recommendations for Private Study

(大学院科目 / Graduate Courses) 授業の方法 / Study Method

NHKテレビ、ラジオのドイツ語講座は教室での学習を補強するには最適です。たとえ定期的にはなくとも視聴することを薦めます。

成績評価方法 / Grading Criteria and Method of Evaluation

種別 / Kind	割合 / Percentage	評価基準等 / Grading Criteria etc.
平常点評価	100 %	出席、授業参加、小テストなどによる

受講および研究に関するアドバイス / Advice to Students on Study and Research Methods

教科書 / Textbooks

書名 / Title	出版社・ISBNコード・コメント / Author, Publisher, ISBN Code, Comment
Schritte international 1	Kursbuch+Arbeitsbuch D.Niebisch他 / Max Hueber Verlag / ISBN 3-19-001851-0 /

参考書 / Reference Books

参考になる WWW ページ / Web Pages Useful for Reference

ドイツ語を学ぶ、ドイツを知る →ドイツ文化センター(Goethe-Institut)
 ドイツ留学、奨学金 →ドイツ学術交流会(DAAD)
 文字・音声・映像によるドイツの最新ニュースや各種情報 →Deutsche Welle

その他 / Others

ドイツ語・表現I (3A)

10002

担当者名 / Instructor KOEHN DETLEF

単位数 / Credit 1

授業の概要 / Course Outline

ドイツ語による基本的なコミュニケーションの力を養成することを目標とします。そのために必要な語彙・言い回しを、主として耳で聴き、口に出してみるといった練習を通じて獲得します。ドイツ語を母語とする教員が担当します。

到達目標 / Attainment Objectives

- ・挨拶と自己紹介ができるようになる
- ・身近な物の名前、国名と言語名を覚える
- ・数字に習熟する
- ・質問と答え方のパターンを理解し、簡単なやり取りができるようになる

履修しておくことが望まれる科目 / Required Preparatory Study

授業スケジュール / Course Schedule

授業日(第N回)	テーマ / Theme	キーワード / Key Word
1－4	Guten Tag. Mein Name ist ...	名前、出身地、言語、挨拶、一人称と二人称、アルファベット、疑問詞
5－7	Familie und Freunde	家族と友人、住所、三人称、20までの数、所有冠詞
8－10	Essen und Trinken	果物、飲み物、その他の食品、買い物、好み、ユーロとセント、不定冠詞と否定冠詞、決定疑問文、100までの数
11－13	Meine Wohnung	住まい、家具、色彩名、新聞広告、定冠詞、述語形容詞、
14－15	復習、到達度検証テスト	

(学部科目 / Undergraduate Courses) 授業外学習の指示 / Recommendations for Private Study

(大学院科目 / Graduate Courses) 授業の方法 / Study Method

NHKテレビ、ラジオのドイツ語講座は教室での学習を補強するには最適です。たとえ定期的にはなくとも視聴することを薦めます。

成績評価方法 / Grading Criteria and Method of Evaluation

種別 / Kind	割合 / Percentage	評価基準等 / Grading Criteria etc.
平常点評価	100 %	出席、授業参加、小テストなどによる

受講および研究に関するアドバイス / Advice to Students on Study and Research Methods

教科書 / Textbooks

書名 / Title	出版社・ISBNコード・コメント / Author, Publisher, ISBN Code, Comment
Schritte international 1	Kursbuch+Arbeitsbuch D.Niebsch他 / Max Hueber Verlag / ISBN 3-19-001851-0 /

参考書 / Reference Books

参考になる WWW ページ / Web Pages Useful for Reference

ドイツ語を学ぶ、ドイツを知る →ドイツ文化センター(Goethe-Institut)
 ドイツ留学、奨学金 →ドイツ学術交流会(DAAD)
 文字・音声・映像によるドイツの最新ニュースや各種情報 →Deutsche Welle

その他 / Others

ドイツ語・表現I (3B)

12186

担当者名 / Instructor WAYCHERT CARSTEN S.

単位数 / Credit 1

授業の概要 / Course Outline

ドイツ語による基本的なコミュニケーションの力を養成することを目標とします。そのために必要な語彙・言い回しを、主として耳で聴き、口に出してみようという練習を通じて獲得します。ドイツ語を母語とする教員が担当します。

到達目標 / Attainment Objectives

- ・挨拶と自己紹介ができるようになる
- ・身近な物の名前、国名と言語名を覚える
- ・数字に習熟する
- ・質問と答え方のパターンを理解し、簡単なやり取りができるようになる

履修しておくことが望まれる科目 / Required Preparatory Study

授業スケジュール / Course Schedule

授業日(第N回)	テーマ / Theme	キーワード / Key Word
1－4	Guten Tag. Mein Name ist ...	名前、出身地、言語、挨拶、一人称と二人称、アルファベット、疑問詞
5－7	Familie und Freunde	家族と友人、住所、三人称、20までの数、所有冠詞
8－10	Essen und Trinken	果物、飲み物、その他の食品、買い物、好み、ユーロとセント、不定冠詞と否定冠詞、決定疑問文、100までの数
11－13	Meine Wohnung	住まい、家具、色彩名、新聞広告、定冠詞、述語形容詞、
14－15	復習、到達度検証テスト	

(学部科目 / Undergraduate Courses) 授業外学習の指示 / Recommendations for Private Study

(大学院科目 / Graduate Courses) 授業の方法 / Study Method

NHKテレビ、ラジオのドイツ語講座は教室での学習を補強するには最適です。たとえ定期的にはなくとも視聴することを薦めます。

成績評価方法 / Grading Criteria and Method of Evaluation

種別 / Kind	割合 / Percentage	評価基準等 / Grading Criteria etc.
平常点評価	100 %	出席、授業参加、小テストなどによる

受講および研究に関するアドバイス / Advice to Students on Study and Research Methods

教科書 / Textbooks

書名 / Title	出版社・ISBNコード・コメント / Author, Publisher, ISBN Code, Comment
Schritte international 1	Kursbuch+Arbeitsbuch D.Niebisch他 / Max Hueber Verlag / ISBN 3-19-001851-0 /

参考書 / Reference Books

参考になる WWW ページ / Web Pages Useful for Reference

ドイツ語を学ぶ、ドイツを知る →ドイツ文化センター (Goethe-Institut)
 ドイツ留学、奨学金 →ドイツ学術交流会 (DAAD)
 文字・音声・映像によるドイツの最新ニュースや各種情報 →Deutsche Welle

その他 / Others

ドイツ語・表現I (3C)

10122

担当者名 / Instructor KOEHN DETLEF

単位数 / Credit 1

授業の概要 / Course Outline

ドイツ語による基本的なコミュニケーションの力を養成することを目標とします。そのために必要な語彙・言い回しを、主として耳で聴き、口に出してみるという練習を通じて獲得します。ドイツ語を母語とする教員が担当します。

到達目標 / Attainment Objectives

- ・挨拶と自己紹介ができるようになる
- ・身近な物の名前、国名と言語名を覚える
- ・数字に習熟する
- ・質問と答え方のパターンを理解し、簡単なやり取りができるようになる

履修しておくことが望まれる科目 / Required Preparatory Study

授業スケジュール / Course Schedule

授業日(第N回)	テーマ / Theme	キーワード / Key Word
1－4	Guten Tag. Mein Name ist ...	名前、出身地、言語、挨拶、一人称と二人称、アルファベット、疑問詞
5－7	Familie und Freunde	家族と友人、住所、三人称、20までの数、所有冠詞
8－10	Essen und Trinken	果物、飲み物、その他の食品、買い物、好み、ユーロとセント、不定冠詞と否定冠詞、決定疑問文、100までの数
11－13	Meine Wohnung	住まい、家具、色彩名、新聞広告、定冠詞、述語形容詞、
14－15	復習、到達度検証テスト	

(学部科目 / Undergraduate Courses) 授業外学習の指示 / Recommendations for Private Study

(大学院科目 / Graduate Courses) 授業の方法 / Study Method

NHKテレビ、ラジオのドイツ語講座は教室での学習を補強するには最適です。たとえ定期的にはなくとも視聴することを薦めます。

成績評価方法 / Grading Criteria and Method of Evaluation

種別 / Kind	割合 / Percentage	評価基準等 / Grading Criteria etc.
平常点評価	100 %	出席、授業参加、小テストなどによる

受講および研究に関するアドバイス / Advice to Students on Study and Research Methods

教科書 / Textbooks

書名 / Title	出版社・ISBNコード・コメント / Author, Publisher, ISBN Code, Comment
Schritte international 1	Kursbuch+Arbeitsbuch D.Nieisch他 / Max Hueber Verlag / ISBN 3-19-001851-0 /

参考書 / Reference Books

参考になる WWW ページ / Web Pages Useful for Reference

ドイツ語を学ぶ、ドイツを知る →ドイツ文化センター (Goethe-Institut)
 ドイツ留学、奨学金 →ドイツ学術交流会 (DAAD)
 文字・音声・映像によるドイツの最新ニュースや各種情報 →Deutsche Welle

その他 / Others

ドイツ語・表現I (3D)

10138

担当者名 / Instructor WAYCHERT CARSTEN S.

単位数 / Credit 1

授業の概要 / Course Outline

ドイツ語による基本的なコミュニケーションの力を養成することを目標とします。そのために必要な語彙・言い回しを、主として耳で聴き、口に出してみようという練習を通じて獲得します。ドイツ語を母語とする教員が担当します。

到達目標 / Attainment Objectives

- ・挨拶と自己紹介ができるようになる
- ・身近な物の名前、国名と言語名を覚える
- ・数字に習熟する
- ・質問と答え方のパターンを理解し、簡単なやり取りができるようになる

履修しておくことが望まれる科目 / Required Preparatory Study

授業スケジュール / Course Schedule

授業日(第N回)	テーマ / Theme	キーワード / Key Word
1－4	Guten Tag. Mein Name ist ...	名前、出身地、言語、挨拶、一人称と二人称、アルファベット、疑問詞
5－7	Familie und Freunde	家族と友人、住所、三人称、20までの数、所有冠詞
8－10	Essen und Trinken	果物、飲み物、その他の食品、買い物、好み、ユーロとセント、不定冠詞と否定冠詞、決定疑問文、100までの数
11－13	Meine Wohnung	住まい、家具、色彩名、新聞広告、定冠詞、述語形容詞、
14－15	復習、到達度検証テスト	

(学部科目 / Undergraduate Courses) 授業外学習の指示 / Recommendations for Private Study

(大学院科目 / Graduate Courses) 授業の方法 / Study Method

NHKテレビ、ラジオのドイツ語講座は教室での学習を補強するには最適です。たとえ定期的にはなくとも視聴することを薦めます。

成績評価方法 / Grading Criteria and Method of Evaluation

種別 / Kind	割合 / Percentage	評価基準等 / Grading Criteria etc.
平常点評価	100 %	出席、授業参加、小テストなどによる

受講および研究に関するアドバイス / Advice to Students on Study and Research Methods

教科書 / Textbooks

書名 / Title	出版社・ISBNコード・コメント / Author, Publisher, ISBN Code, Comment
Schritte international 1	Kursbuch+Arbeitsbuch D.Niebisch他 / Max Hueber Verlag / ISBN 3-19-001851-0 /

参考書 / Reference Books

参考になる WWW ページ / Web Pages Useful for Reference

ドイツ語を学ぶ、ドイツを知る →ドイツ文化センター(Goethe-Institut)
 ドイツ留学、奨学金 →ドイツ学術交流会(DAAD)
 文字・音声・映像によるドイツの最新ニュースや各種情報 →Deutsche Welle

その他 / Others

ドイツ語・表現II (2A)

12106

担当者名 / Instructor KOEHN DETLEF

単位数 / Credit 1

授業の概要 / Course Outline

ドイツ語による基本的なコミュニケーションの力を養成することを目標とします。そのために必要な語彙・言い回しを、主として耳で聴き、口に出してみようという練習を通じて獲得します。ドイツ語を母語とする教員が担当します。

到達目標 / Attainment Objectives

- ・日常生活でよく使う言い回しに習熟する
- ・基本的な語彙・言い回しは文字に頼らず音声だけで理解できるようにする
- ・意図や能力、過去の出来事・経験を述べる言い方を理解する

履修しておくことが望まれる科目 / Required Preparatory Study

授業スケジュール / Course Schedule

授業日(第N回)	テーマ / Theme	キーワード / Key Word
1	「表現1」の復習	
2-5	Mein Tag	一日の行動、趣味、時刻、曜日、分離動詞
6-9	Freizeit	天候、季節、方位、買い物とレストランでの食事、余暇と趣味、冠詞の4格
10-13	Lernen	能力と意図、過去の出来事・行動の記述と報告、助言、話法の助動詞、現在完了
14-15	復習、到達度検証テスト	

(学部科目 / Undergraduate Courses) 授業外学習の指示 / Recommendations for Private Study

(大学院科目 / Graduate Courses) 授業の方法 / Study Method

NHKテレビ、ラジオのドイツ語講座は教室での学習を補強するには最適です。たとえ定期的にではなくとも視聴することを薦めます。

成績評価方法 / Grading Criteria and Method of Evaluation

種別 / Kind	割合 / Percentage	評価基準等 / Grading Criteria etc.
平常点評価	100 %	出席、授業参加、小テストによる

受講および研究に関するアドバイス / Advice to Students on Study and Research Methods

教科書 / Textbooks

書名 / Title	出版社・ISBNコード・コメント / Author, Publisher, ISBN Code, Comment
Schritte international 1	Kursbuch+Arbeitsbuch D.Niebisch他 / Max Hueber Verlag / ISBN 3-19-001851-0 /

参考書 / Reference Books

参考になる WWW ページ / Web Pages Useful for Reference

ドイツ語を学ぶ、ドイツを知る →ドイツ文化センター (Goethe-Institut)
 ドイツ留学、奨学金 →ドイツ学術交流会 (DAAD)
 文字・音声・映像によるドイツの最新ニュースや各種情報 →Deutsche Welle

その他 / Others

ドイツ語・表現II (3A)

10068

担当者名 / Instructor KOEHN DETLEF

単位数 / Credit 1

授業の概要 / Course Outline

ドイツ語による基本的なコミュニケーションの力を養成することを目標とします。そのために必要な語彙・言い回しを、主として耳で聴き、口に出してみるといった練習を通じて獲得します。ドイツ語を母語とする教員が担当します。

到達目標 / Attainment Objectives

- ・日常生活でよく使う言い回しに習熟する
- ・基本的な語彙・言い回しは文字に頼らず音声だけで理解できるようにする
- ・意図や能力、過去の出来事・経験を述べる言い方を理解する

履修しておくことが望まれる科目 / Required Preparatory Study

授業スケジュール / Course Schedule

授業日(第N回)	テーマ / Theme	キーワード / Key Word
1	「表現1」の復習	
2-5	Mein Tag	一日の行動、趣味、時刻、曜日、分離動詞
6-9	Freizeit	天候、季節、方位、買い物とレストランでの食事、余暇と趣味、冠詞の4格
10-13	Lernen	能力と意図、過去の出来事・行動の記述と報告、助言、話法の助動詞、現在完了
14-15	復習、到達度検証テスト	

(学部科目 / Undergraduate Courses) 授業外学習の指示 / Recommendations for Private Study

(大学院科目 / Graduate Courses) 授業の方法 / Study Method

NHKテレビ、ラジオのドイツ語講座は教室での学習を補強するには最適です。たとえ定期的にではなくとも視聴することを薦めます。

成績評価方法 / Grading Criteria and Method of Evaluation

種別 / Kind	割合 / Percentage	評価基準等 / Grading Criteria etc.
平常点評価	100 %	出席、授業参加、小テストによる

受講および研究に関するアドバイス / Advice to Students on Study and Research Methods

教科書 / Textbooks

書名 / Title	出版社・ISBNコード・コメント / Author, Publisher, ISBN Code, Comment
Schritte international 1	Kursbuch+Arbeitsbuch D.Niebisch他 / Max Hueber Verlag / ISBN 3-19-001851-0 /

参考書 / Reference Books

参考になる WWW ページ / Web Pages Useful for Reference

ドイツ語を学ぶ、ドイツを知る →ドイツ文化センター (Goethe-Institut)
 ドイツ留学、奨学金 →ドイツ学術交流会 (DAAD)
 文字・音声・映像によるドイツの最新ニュースや各種情報 →Deutsche Welle

その他 / Others

ドイツ語・表現II (3B)

12252

担当者名 / Instructor KOEHN DETLEF

単位数 / Credit 1

授業の概要 / Course Outline

ドイツ語による基本的なコミュニケーションの力を養成することを目標とします。そのために必要な語彙・言い回しを、主として耳で聴き、口に出してみようという練習を通じて獲得します。ドイツ語を母語とする教員が担当します。

到達目標 / Attainment Objectives

- ・日常生活でよく使う言い回しに習熟する
- ・基本的な語彙・言い回しは文字に頼らず音声だけで理解できるようにする
- ・意図や能力、過去の出来事・経験を述べる言い方を理解する

履修しておくことが望まれる科目 / Required Preparatory Study

授業スケジュール / Course Schedule

授業日(第N回)	テーマ / Theme	キーワード / Key Word
1	「表現1」の復習	
2-5	Mein Tag	一日の行動、趣味、時刻、曜日、分離動詞
6-9	Freizeit	天候、季節、方位、買い物とレストランでの食事、余暇と趣味、冠詞の4格
10-13	Lernen	能力と意図、過去の出来事・行動の記述と報告、助言、話法の助動詞、現在完了
14-15	復習、到達度検証テスト	

(学部科目 / Undergraduate Courses) 授業外学習の指示 / Recommendations for Private Study

(大学院科目 / Graduate Courses) 授業の方法 / Study Method

NHKテレビ、ラジオのドイツ語講座は教室での学習を補強するには最適です。たとえ定期的にではなくとも視聴することを薦めます。

成績評価方法 / Grading Criteria and Method of Evaluation

種別 / Kind	割合 / Percentage	評価基準等 / Grading Criteria etc.
平常点評価	100 %	出席、授業参加、小テストによる

受講および研究に関するアドバイス / Advice to Students on Study and Research Methods

教科書 / Textbooks

書名 / Title	出版社・ISBNコード・コメント / Author, Publisher, ISBN Code, Comment
Schritte international 1	Kursbuch+Arbeitsbuch D.Niebisch他 / Max Hueber Verlag / ISBN 3-19-001851-0 /

参考書 / Reference Books

参考になる WWW ページ / Web Pages Useful for Reference

ドイツ語を学ぶ、ドイツを知る →ドイツ文化センター (Goethe-Institut)
 ドイツ留学、奨学金 →ドイツ学術交流会 (DAAD)
 文字・音声・映像によるドイツの最新ニュースや各種情報 →Deutsche Welle

その他 / Others

ドイツ語・表現II (3C)

10200

担当者名 / Instructor KOEHN DETLEF

単位数 / Credit 1

授業の概要 / Course Outline

ドイツ語による基本的なコミュニケーションの力を養成することを目標とします。そのために必要な語彙・言い回しを、主として耳で聴き、口に出してみようという練習を通じて獲得します。ドイツ語を母語とする教員が担当します。

到達目標 / Attainment Objectives

- ・日常生活でよく使う言い回しに習熟する
- ・基本的な語彙・言い回しは文字に頼らず音声だけで理解できるようにする
- ・意図や能力、過去の出来事・経験を述べる言い方を理解する

履修しておくことが望まれる科目 / Required Preparatory Study

授業スケジュール / Course Schedule

授業日(第N回)	テーマ / Theme	キーワード / Key Word
1	「表現1」の復習	
2-5	Mein Tag	一日の行動、趣味、時刻、曜日、分離動詞
6-9	Freizeit	天候、季節、方位、買い物とレストランでの食事、余暇と趣味、冠詞の4格
10-13	Lernen	能力と意図、過去の出来事・行動の記述と報告、助言、話法の助動詞、現在完了
14-15	復習、到達度検証テスト	

(学部科目 / Undergraduate Courses) 授業外学習の指示 / Recommendations for Private Study

(大学院科目 / Graduate Courses) 授業の方法 / Study Method

NHKテレビ、ラジオのドイツ語講座は教室での学習を補強するには最適です。たとえ定期的にではなくとも視聴することを薦めます。

成績評価方法 / Grading Criteria and Method of Evaluation

種別 / Kind	割合 / Percentage	評価基準等 / Grading Criteria etc.
平常点評価	100 %	出席、授業参加、小テストによる

受講および研究に関するアドバイス / Advice to Students on Study and Research Methods

教科書 / Textbooks

書名 / Title	出版社・ISBNコード・コメント / Author, Publisher, ISBN Code, Comment
Schritte international 1	Kursbuch+Arbeitsbuch D.Niebisch他 / Max Hueber Verlag / ISBN 3-19-001851-0 /

参考書 / Reference Books

参考になる WWW ページ / Web Pages Useful for Reference

ドイツ語を学ぶ、ドイツを知る →ドイツ文化センター (Goethe-Institut)
 ドイツ留学、奨学金 →ドイツ学術交流会 (DAAD)
 文字・音声・映像によるドイツの最新ニュースや各種情報 →Deutsche Welle

その他 / Others

ドイツ語・表現II (3D)

10213

担当者名 / Instructor WAYCHERT CARSTEN S.

単位数 / Credit 1

授業の概要 / Course Outline

ドイツ語による基本的なコミュニケーションの力を養成することを目標とします。そのために必要な語彙・言い回しを、主として耳で聴き、口に出してみようという練習を通じて獲得します。ドイツ語を母語とする教員が担当します。

到達目標 / Attainment Objectives

- ・日常生活でよく使う言い回しに習熟する
- ・基本的な語彙・言い回しは文字に頼らず音声だけで理解できるようにする
- ・意図や能力、過去の出来事・経験を述べる言い方を理解する

履修しておくことが望まれる科目 / Required Preparatory Study

授業スケジュール / Course Schedule

授業日(第N回)	テーマ / Theme	キーワード / Key Word
1	「表現1」の復習	
2-5	Mein Tag	一日の行動、趣味、時刻、曜日、分離動詞
6-9	Freizeit	天候、季節、方位、買い物とレストランでの食事、余暇と趣味、冠詞の4格
10-13	Lernen	能力と意図、過去の出来事・行動の記述と報告、助言、話法の助動詞、現在完了
14-15	復習、到達度検証テスト	

(学部科目 / Undergraduate Courses) 授業外学習の指示 / Recommendations for Private Study

(大学院科目 / Graduate Courses) 授業の方法 / Study Method

NHKテレビ、ラジオのドイツ語講座は教室での学習を補強するには最適です。たとえ定期的にではなくとも視聴することを薦めます。

成績評価方法 / Grading Criteria and Method of Evaluation

種別 / Kind	割合 / Percentage	評価基準等 / Grading Criteria etc.
平常点評価	100 %	出席、授業参加、小テストによる

受講および研究に関するアドバイス / Advice to Students on Study and Research Methods

教科書 / Textbooks

書名 / Title	出版社・ISBNコード・コメント / Author, Publisher, ISBN Code, Comment
Schritte international 1	Kursbuch+Arbeitsbuch D.Niebisch他 / Max Hueber Verlag / ISBN 3-19-001851-0 /

参考書 / Reference Books

参考になる WWW ページ / Web Pages Useful for Reference

ドイツ語を学ぶ、ドイツを知る →ドイツ文化センター (Goethe-Institut)
 ドイツ留学、奨学金 →ドイツ学術交流会 (DAAD)
 文字・音声・映像によるドイツの最新ニュースや各種情報 →Deutsche Welle

その他 / Others

フランス語・応用I (2A)

11409

担当者名 / Instructor 橋本 知子

単位数 / Credit 1

授業の概要 / Course Outline

フランス語の会話練習、および、やさしい文章を書く練習を繰り返します。
フランス語の音に慣れるため、ヒアリング教材を使用します。
初級から中級レベルの知識を確かなものにするため、絶えず文法確認を行います。

到達目標 / Attainment Objectives

フランス語で大まかなコミュニケーションがとれるようになる
フランス語の言語感覚をやしなう
フランス語で読む、書く、聞く、話すことの喜びを知る
初級～中級レベルの理解力をやしなう

履修しておくことが望まれる科目 / Required Preparatory Study

フランス語初級文法

授業スケジュール / Course Schedule

授業日(第N回)	テーマ / Theme	キーワード / Key Word
第1回	発音	挨拶する。自己紹介する。
第2回	動詞ETRE, ALLER,	ある人について尋ねる。つづりを言う。
第3回	動詞ETRE, FAIRE	人と知り合いになる。名前、職業、住んでいる場所について尋ねる。
第4回	所有形容詞、動詞VOULOIR	国籍を尋ねる。自分の希望を言う。
第5回	テスト、動詞CONNAITRE, 形容詞の性数一致	ある人について尋ねる。何かを示しながら話す。
第6回	動詞AIMER, 定冠詞	自分の好きなものについて話す。好き嫌いの度合いについて話す。
第7回	ER動詞、動詞の原形	自分は何をするのが好きか言ってみる。自分のやりたいことについて話す。
第8回	形容詞の男性形と女性形	好みを説明する。人について描写してみる。
第9回	動詞AVOIR, 疑問形容詞	自分について話す。時間の使い方について話す。
第10回	テスト、定冠詞の単数形と複数形、否定形	持っているものについて話す。物を借りる。
第11回	動詞SAVOIR, 命令形	ある場所について説明する。その場所を位置づける。
第12回	C'EST, CE SONT, IL Y Aを使った表現	観光地について話す。
第13回	動詞の活用、指示代名詞	何をするか尋ねる。詳しく尋ねる。
第14回	不規則動詞、否定形	特徴を言う。正確に伝える。
第15回	まとめ	テスト

 (学部科目 / Undergraduate Courses) 授業外学習の指示 / Recommendations for Private Study
 (大学院科目 / Graduate Courses) 授業の方法 / Study Method

成績評価方法 / Grading Criteria and Method of Evaluation

種別 / Kind	割合 / Percentage	評価基準等 / Grading Criteria etc.
平常点評価	100 %	小テスト、出席、授業参加

受講および研究に関するアドバイス / Advice to Students on Study and Research Methods

教科書 / Textbooks

書名 / Title	出版社・ISBNコード・コメント / Author, Publisher, ISBN Code, Comment
Spirale	Gael Crepieux, Philippe Callens et al / Hachette社 / 978-4-89471-994-1 /

参考書 / Reference Books

参考になる WWW ページ / Web Pages Useful for Reference

その他 / Others

辞書を持参してください。

フランス語・応用Ⅱ (2A)

11508

担当者名 / Instructor 橋本 知子

単位数 / Credit 1

授業の概要 / Course Outline

綴り方(スペリング)の練習を行ない、簡潔かつ正しい文章が書けるようになる練習をします。
 自然なフランス語(つまりは早口でまくしたてるフランス語)に慣れるため、ヒアリング教材を多用します。
 文法知識の確認、および、語彙をふやす練習をします。

到達目標 / Attainment Objectives

フランス語の言語感覚を更にやしなう
 フランス語で読む、書く、聞く、話すことを徹底させる
 初級～中級レベルの理解力をさらにやしなう

履修しておくことが望まれる科目 / Required Preparatory Study

フランス語初級文法

授業スケジュール / Course Schedule

授業日(第N回)	テーマ / Theme	キーワード / Key Word
1	形容詞AUTRE, 代名詞EN	余暇の過ごし方について話す。習慣について話す。
2	複合過去、時間の示す表現	家族について話す。過去について話す。
3	前置詞A, CHEZ, EN, 中性代名詞Y	場所、時刻の表示。公共機関の営業時間について尋ねる。
4	動詞VENIR, POUVOIR, DEVOIR	できないこと、すべきでないことについて話す。電話での対応の仕方。
5	テスト、動詞ALLER、時を示す表現	日付の表現。休暇の過ごし方について話す。
6	代名動詞、動詞PRENDRE	毎日の行為について話す。順番を表す表現。
7	動詞PARTIR, ARRIVER, 直接目的補語人称代名詞	交通手段について話す。数字の表現。
8	動詞DESCENDRE, PAYER	移動するときの表現。列車の旅について話す。
9	近接未来形、動詞の名詞化	天候、気温について話す。観光について話す。
10	テスト、動詞VOULOIR, 仮定法	パリの観光について話す。仮定について話す。
11	動詞BOIRE, MANGER, 間接目的補語人称代名詞	食べること、飲むことについて話す。
12	部分冠詞	レストランでの表現
13	色を示す形容詞、複合過去	落し物について説明する。
14	半過去、代名動詞の複合過去形	方向について話す。
15	テスト	まとめ

(学部科目 / Undergraduate Courses) 授業外学習の指示 / Recommendations for Private Study

(大学院科目 / Graduate Courses) 授業の方法 / Study Method

成績評価方法 / Grading Criteria and Method of Evaluation

種別 / Kind	割合 / Percentage	評価基準等 / Grading Criteria etc.
平常点評価	100 %	小テスト、出席、授業参加

フランス語を母語とする外国人の担当する「コミュニケーション」の授業では、フランス語によるコミュニケーション能力の向上に必要な発音・語彙・基本表現を習得するために、とりわけ口頭による練習を行います。平常点を重視するので、授業への積極的な参加を求めます。

受講および研究に関するアドバイス / Advice to Students on Study and Research Methods

教科書 / Textbooks

書名 / Title	出版社・ISBNコード・コメント / Author, Publisher, ISBN Code, Comment
SSpirale Gael Crepieux	Gael Crepieux, Philippe Callens et al / Hachette社 / 978-4-89471-994-1 /
(前期と同じテキストです)	

参考書 / Reference Books

参考になる WWW ページ / Web Pages Useful for Reference

その他 / Others

辞書を持参してください。

フランス語・基礎 (2A)

10045

担当者名 / Instructor 永都 軍三

単位数 / Credit 2

授業の概要 / Course Outline

週2回の授業(同一教員が担当)で、フランス語の基礎的な文法事項を学習します。

今日では敬遠されがちな文法学習ですが、基礎的な文法を学ぶことが、異言語習得の最短距離であることは、今も昔も変わりません。この「基礎」クラスでは文法事項をしっかりと学ぶことで、フランス語運用の基礎を固めます。週2回の授業で、じっくり、ゆっくり学びますので、確実な学習効果があります。

また、教科書付属のCDを用いてヒアリングの訓練も行います。

なお、実践的なフランス語会話については「表現」クラス(週1回)で学習しますので、心配は無用です。

到達目標 / Attainment Objectives

- 1) フランス語を正確に発音できる。
- 2) フランス語文法の基礎が理解できる。
- 3) フランス語の基礎的な語彙を理解できる。
- 4) 簡単なフランス語を聞いて理解できる。

履修しておくことが望まれる科目 / Required Preparatory Study

特にありません。

授業スケジュール / Course Schedule

授業日(第N回)	テーマ / Theme	キーワード / Key Word
1	フランス語を発音しよう	綴りの特徴、リエゾン、アンシェヌマン
2	国籍や職業を表現しよう	主語人称代名詞
3	フランス語の名詞には、男と女がいる?	男性名詞・女性名詞
4	彼女は優しい? それとも意地悪?	形容詞
5	フランス語で否定文を作ってみよう	否定文
6	小休止: フランス語の数字	数詞(1-100)
7	英語の This is a pen を、フランス語で言う?	指示代名詞
8	フランス語で質問しよう	疑問文
9	これは私の本ですか? それとも君の本?	所有形容詞
10	フランス語の形容詞は、名詞の後にある	形容詞の位置と変化
11	これは何ですか? あれは誰ですか?	疑問代名詞、疑問副詞
12	フランス語で未来を語ろう	近接未来
13	フランス語で過去を語ろう	近接過去
14	国名をフランス語で発音しよう	冠詞の縮約
15	フランス語特有の語順(その1)	中性代名詞 y
16	たくさんの水と、ほんの少しのパン	フランス語の数量表現
17	フランス語特有の語順(その2)	中性代名詞 en
18	天候をフランス語で語ろう	非人称構文(その1)、動詞 faire
19	時間をフランス語で表現しよう	非人称表現(その2)、時刻
20	あなたはどんな車が好きですか?	疑問形容詞とその変化
21	人にものを頼むときは	さまざまな命令文
22	ふたつのものを比較しよう	比較級
23	このクラスで一番背が高いのは誰?	最上級
24	「この本」と「あの本」は、どうやって区別するの?	指示代名詞
25	フランス語で過去の経験を語ろう	複合過去(その1)
26	続・フランス語で過去の経験を語ろう	複合過去(その2)
27	誕生日をフランス語で言ってみて!	暦にかんする語彙、1000以上の数
28	簡単なフランス語を読んでみよう!	Documents authentiques、リーディング、
29	前期のまとめ(その1)	日常の語彙、動詞の活用
30	前期のまとめ(その2)	基本構文の把握、時制

宿題を課すことがありますので、必ずやってきて下さい。当面の授業外学習としては、それで充分です。
それではもの足りないという人には、「フランス語講座」(NHKテレビ)の視聴をお薦めします。

成績評価方法 / Grading Criteria and Method of Evaluation

種別 / Kind	割合 / Percentage	評価基準等 / Grading Criteria etc.
定期試験(筆記)	80 %	学期末に統一試験を実施します。初歩的な文法事項の修得状況や、初歩的な文章の理解度を評価します。
平常点評価	20 %	出席状況、小テスト、受講態度を総合して評価します。授業回数の1/3以上を、正当な理由なく欠席した場合には、単位を認定しません。

受講および研究に関するアドバイス / Advice to Students on Study and Research Methods

毎回出席して、授業をよく聞いて、復習として宿題をやってください。まずはそれが大切です。

教科書 / Textbooks

書名 / Title	出版社・ISBNコード・コメント / Author, Publisher, ISBN Code, Comment
新・彼女は食いしん坊！1	藤田裕二／朝日出版社／978-4-255-35181-0／

教科書の練習問題を解きながら、授業を進めていくので、授業にはかならず携行してください。

参考書 / Reference Books

書名 / Title	出版社・ISBNコード・コメント / Author, Publisher, ISBN Code, Comment
ル・ディコ	／白水社／／仏和辞典
クラウン仏和辞典	／三省堂／／仏和辞典
プチ・ロワイヤル	／旺文社／／仏和辞典
新スタンダード	／大修館／／仏和辞典

仏和辞典を購入してください。参考までに、代表的なものを上げておきます。実際に手に取ってみて、気に入ったものを購入してください。なお初学者にとっては、電子辞書よりも書籍タイプの辞書の方が適しているようです。参考書は必要ありません。

参考になる WWW ページ / Web Pages Useful for Reference

エデュ・フランス (<http://www.edufrance-japan.com>)

フランスへの留学情報を提供するフランス政府の公式機関。フランスが留学生の受入に積極的な国であることがよくわかります。留学を考えている人におすすめです。

エデュ・フランス (<http://www.diplo.jp>)

フランスの誇る月刊誌「ル・モンド・ディプロマティーク」が、日本語で読めます。国際情勢をめぐる目から鱗の記事も多く掲載されています。国際問題に興味のある人にお勧めです。

その他 / Others

フランス語・基礎 (2B)

10174

担当者名 / Instructor 久津内 一雄

単位数 / Credit 2

授業の概要 / Course Outline

週2回の授業(同一教員が担当)で、フランス語の基礎的な文法事項を学習します。

今日では敬遠されがちな文法学習ですが、基礎的な文法を学ぶことが、異言語習得の最短距離であることは、今も昔も変わりません。この「基礎」クラスでは文法事項をしっかりと学ぶことで、フランス語運用の基礎を固めます。週2回の授業で、じっくり、ゆっくり学びますので、確実な学習効果があります。

また、教科書付属のCDを用いてヒアリングの訓練も行います。

なお、実践的なフランス語会話については「表現」クラス(週1回)で学習しますので、心配は無用です。

到達目標 / Attainment Objectives

- 1) フランス語を正確に発音できる。
- 2) フランス語文法の基礎が理解できる。
- 3) フランス語の基礎的な語彙を理解できる。
- 4) 簡単なフランス語を聞いて理解できる。

履修しておくことが望まれる科目 / Required Preparatory Study

特にありません。

授業スケジュール / Course Schedule

授業日(第N回)	テーマ / Theme	キーワード / Key Word
1	フランス語を発音しよう	綴りの特徴、リエゾン、アンシェヌマン
2	国籍や職業を表現しよう	主語人称代名詞
3	フランス語の名詞には、男と女がいる？	男性名詞・女性名詞
4	彼女は優しい？それとも意地悪？	形容詞
5	フランス語で否定文を作ってみよう	否定文
6	小休止: フランス語の数字	数詞(1-100)
7	英語の This is a pen を、フランス語で言う？	指示代名詞
8	フランス語で質問しよう	疑問文
9	これは私の本ですか？それとも君の本？	所有形容詞
10	フランス語の形容詞は、名詞の後にある	形容詞の位置と変化
11	これは何ですか？あれは誰ですか？	疑問代名詞、疑問副詞
12	フランス語で未来を語ろう	近接未来
13	フランス語で過去を語ろう	近接過去
14	国名をフランス語で発音しよう	冠詞の縮約
15	フランス語特有の語順(その1)	中性代名詞 y
16	たくさんの水と、ほんの少しのパン	フランス語の数量表現
17	フランス語特有の語順(その2)	中性代名詞 en
18	天候をフランス語で語ろう	非人称構文(その1)、動詞 faire
19	時間をフランス語で表現しよう	非人称表現(その2)、時刻
20	あなたはどんな車が好きですか？	疑問形容詞とその変化
21	人にものを頼むときは	さまざまな命令文
22	ふたつのものを比較しよう	比較級
23	このクラスで一番背が高いのは誰？	最上級
24	「この本」と「あの本」は、どうやって区別するの？	指示代名詞
25	フランス語で過去の経験を語ろう	複合過去(その1)
26	続・フランス語で過去の経験を語ろう	複合過去(その2)
27	誕生日をフランス語で言ってみて！	暦にかんする語彙、1000以上の数
28	簡単なフランス語を読んでみよう！	Documents authentiques、リーディング、
29	前期のまとめ(その1)	日常の語彙、動詞の活用
30	前期のまとめ(その2)	基本構文の把握、時制

宿題を課すことがありますので、必ずやってきて下さい。当面の授業外学習としては、それで充分です。それではもの足りないという人には、「フランス語講座」(NHKテレビ)の視聴をお薦めします。

成績評価方法 / Grading Criteria and Method of Evaluation

種別 / Kind	割合 / Percentage	評価基準等 / Grading Criteria etc.
定期試験(筆記)	80 %	学期末に統一試験を実施します。初歩的な文法事項の修得状況や、初歩的な文章の理解度を評価します。
平常点評価	20 %	出席状況、小テスト、受講態度を総合して評価します。授業回数の1/3以上を、正当な理由なく欠席した場合には、単位を認定しません。

受講および研究に関するアドバイス / Advice to Students on Study and Research Methods

毎回出席して、授業をよく聞いて、復習として宿題をやってください。まずはそれが大切です。

教科書 / Textbooks

書名 / Title	出版社・ISBNコード・コメント / Author, Publisher, ISBN Code, Comment
新・彼女はいしん坊！1	藤田裕二／朝日出版社／978-4-255-35181-0／

教科書の練習問題を解きながら、授業を進めていくので、授業にはかならず携行してください。

参考書 / Reference Books

書名 / Title	出版社・ISBNコード・コメント / Author, Publisher, ISBN Code, Comment
ル・ディコ	／白水社／／仏和辞典
クラウン仏和辞典	／三省堂／／仏和辞典
プチ・ロワイヤル	／旺文社／／仏和辞典
新スタンダード	／大修館／／仏和辞典

仏和辞典を購入してください。参考までに、代表的なものを上げておきます。実際に手に取ってみて、気に入ったものを購入してください。なお初学者にとっては、電子辞書よりも書籍タイプの辞書の方が適しているようです。参考書は必要ありません。

参考になる WWW ページ / Web Pages Useful for Reference

エデュ・フランス (<http://www.edufrance-japan.com>)

フランスへの留学情報を提供するフランス政府の公式機関。フランスが留学生の受入に積極的な国であることがよくわかります。留学を考えている人におすすめです。

エデュ・フランス (<http://www.diplo.jp>)

フランスの誇る月刊誌「ル・モンド・ディプロマティーク」が、日本語で読めます。国際情勢をめぐる目から鱗の記事も多く掲載されています。国際問題に興味のある人にお勧めです。

その他 / Others

フランス語・総合I (3A)

10009

担当者名 / Instructor 宇野木 めぐみ

単位数 / Credit 1

授業の概要 / Course Outline

この授業(週1回)では、フランス語文法の習熟を目指します。

今日では敬遠されがちな文法学習ですが、基礎的な文法を学ぶことが、異言語を習得するための最短距離であることは、今も昔も変わりません。この「総合」クラスでは文法事項をしっかりと学ぶことで、フランス語運用の基礎を固めます。

なお、実践的なフランス語会話については「表現」クラス(週1回)で学習しますので、心配は無用です。

到達目標 / Attainment Objectives

- 1) フランス語の初歩的な文章が理解できる。
- 2) 初歩的なフランス語の文法事項を説明できる。

履修しておくことが望まれる科目 / Required Preparatory Study

授業スケジュール / Course Schedule

授業日(第N回)	テーマ / Theme	キーワード / Key Word
1	フランス語を発音しよう	綴りの特徴
2	フランス語の名詞には、男性や女性がいる？	男性名詞・女性名詞
3	フランス語のtheとは？	定冠詞
4	自己紹介をやってみよう！	主語人称代名詞・etre動詞
5	フランス語で否定文を作ってみよう	否定文
6	この車は私のもの？彼のもの？	所有形容詞
7	フランス語で質問しよう！	疑問文
8	机の上に一冊の本があります	avoir動詞
9	フランス語動詞の基本はここにある！	er動詞
10	フランス語の形容詞は、名詞の後にある	形容詞の位置
11	フランス語で未来を語ろう	aller動詞と近接未来
12	フランス語でI love youはI you love？	補語人称代名詞
13	フランス語は音にこだわる！	冠詞の縮約
14	人にものを頼むときは優しく	命令法
15	前期のまとめ	文法・語彙の復習

(学部科目 / Undergraduate Courses) 授業外学習の指示 / Recommendations for Private Study

(大学院科目 / Graduate Courses) 授業の方法 / Study Method

宿題を課すことがありますので、必ずやってきて下さい。当面の授業外学習としては、それで充分です。

それではもの足りないという人には、「フランス語講座」(NHKテレビ)の視聴をお薦めします。

成績評価方法 / Grading Criteria and Method of Evaluation

種別 / Kind	割合 / Percentage	評価基準等 / Grading Criteria etc.
定期試験(筆記)	80 %	学期末に統一試験を実施します。初歩的な文法事項の修得状況や、初歩的な文章の理解度を評価します。
平常点評価	20 %	出席状況、小テスト、受講態度を総合して評価します。授業回数の1/3以上を、正当な理由なく欠席した場合には、単位を認定しません。

受講および研究に関するアドバイス / Advice to Students on Study and Research Methods

毎回出席して、授業をよく聞いて、復習として宿題をやってください。まずはそれが大切です。

教科書 / Textbooks

書名 / Title	出版社・ISBNコード・コメント / Author, Publisher, ISBN Code, Comment
L' Arc-en-ciel	／第三書房／／

教科書の練習問題を解きながら、授業を進めていくので、授業にはかならず携行してください。

参考書 / Reference Books

書名 / Title	出版社・ISBNコード・コメント / Author, Publisher, ISBN Code, Comment
ル・デコ	／白水社／／仏和辞典
プチ・ロワイヤル	／旺文社／／仏和辞典
新スタンダード	／大修館／／仏和辞典

仏和辞典を購入してください。参考までに、代表的なものを上げておきます。実際に手に取ってみて、気に入ったものを購入してください。なお初学者にとっては、電子辞書よりも書籍タイプの辞書の方が適しているようです。参考書は必要ありません。

参考になる WWW ページ / Web Pages Useful for Reference

エデュ・フランス (<http://www.edufrance-japan.com>)

フランスへの留学情報を提供するフランス政府の公式機関。フランスが留学生の受入に積極的な国であることがよくわかります。留学を考えている人におすすめです。

ル・モンド・ディプロマティーク (<http://www.diplo.jp>)

フランスの誇る月刊誌「ル・モンド・ディプロマティーク」が、日本語で読めます。国際情勢をめぐる目から鱗の記事も多く掲載されています。国際問題に興味のある人にお勧めです。

その他 / Others

フランス語・総合I (3B)

12036

担当者名 / Instructor 川本 真也

単位数 / Credit 1

授業の概要 / Course Outline

この授業(週1回)では、フランス語文法の習熟を目指します。

今日では敬遠されがちな文法学習ですが、基礎的な文法を学ぶことが、異言語を習得するための最短距離であることは、今も昔も変わりません。この「総合」クラスでは文法事項をしっかりと学ぶことで、フランス語運用の基礎を固めます。

なお、実践的なフランス語会話については「表現」クラス(週1回)で学習しますので、心配は無用です。

到達目標 / Attainment Objectives

- 1) フランス語の初歩的な文章が理解できる。
- 2) 初歩的なフランス語の文法事項を説明できる。

履修しておくことが望まれる科目 / Required Preparatory Study

授業スケジュール / Course Schedule

授業日(第N回)	テーマ / Theme	キーワード / Key Word
1	フランス語を発音しよう	綴りの特徴
2	フランス語の名詞には、男性や女性がいる？	男性名詞・女性名詞
3	フランス語のtheとは？	定冠詞
4	自己紹介をやってみよう！	主語人称代名詞・etre動詞
5	フランス語で否定文を作ってみよう	否定文
6	この車は私のもの？彼のもの？	所有形容詞
7	フランス語で質問しよう！	疑問文
8	机の上に一冊の本があります	avoir動詞
9	フランス語動詞の基本はここにある！	er動詞
10	フランス語の形容詞は、名詞の後にある	形容詞の位置
11	フランス語で未来を語ろう	aller動詞と近接未来
12	フランス語でI love youはI you love？	補語人称代名詞
13	フランス語は音にこだわる！	冠詞の縮約
14	人にものを頼むときは優しく	命令法
15	前期のまとめ	文法・語彙の復習

(学部科目 / Undergraduate Courses) 授業外学習の指示 / Recommendations for Private Study

(大学院科目 / Graduate Courses) 授業の方法 / Study Method

宿題を課すことがありますので、必ずやってきて下さい。当面の授業外学習としては、それで充分です。

それではもの足りないという人には、「フランス語講座」(NHKテレビ)の視聴をお薦めします。

成績評価方法 / Grading Criteria and Method of Evaluation

種別 / Kind	割合 / Percentage	評価基準等 / Grading Criteria etc.
定期試験(筆記)	80 %	学期末に統一試験を実施します。初歩的な文法事項の修得状況や、初歩的な文章の理解度を評価します。
平常点評価	20 %	出席状況、小テスト、受講態度を総合して評価します。授業回数の1/3以上を、正当な理由なく欠席した場合には、単位を認定しません。

受講および研究に関するアドバイス / Advice to Students on Study and Research Methods

毎回出席して、授業をよく聞いて、復習として宿題をやってください。まずはそれが大切です。

教科書 / Textbooks

書名 / Title	出版社・ISBNコード・コメント / Author, Publisher, ISBN Code, Comment
L'Arc-en-ciel	／第三書房／／

教科書の練習問題を解きながら、授業を進めていくので、授業にはかならず携行してください。

参考書 / Reference Books

書名 / Title	出版社・ISBNコード・コメント / Author, Publisher, ISBN Code, Comment
ル・デコ	／白水社／／仏和辞典
プチ・ロワイヤル	／旺文社／／仏和辞典
新スタンダード	／大修館／／仏和辞典

仏和辞典を購入してください。参考までに、代表的なものを上げておきます。実際に手に取ってみて、気に入ったものを購入してください。なお初学者にとっては、電子辞書よりも書籍タイプの辞書の方が適しているようです。参考書は必要ありません。

参考になる WWW ページ / Web Pages Useful for Reference

エデュ・フランス (<http://www.edufrance-japan.com>)

フランスへの留学情報を提供するフランス政府の公式機関。フランスが留学生の受入に積極的な国であることがよくわかります。留学を考えている人におすすめです。

ル・モンド・ディプロマティーク (<http://www.diplo.jp>)

フランスの誇る月刊誌「ル・モンド・ディプロマティーク」が、日本語で読めます。国際情勢をめぐる目から鱗の記事も多く掲載されています。国際問題に興味のある人にお勧めです。

その他 / Others

フランス語・総合I (3C)

10124

担当者名 / Instructor 永都 軍三

単位数 / Credit 1

授業の概要 / Course Outline

この授業(週1回)では、フランス語文法の習熟を目指します。

今日では敬遠されがちな文法学習ですが、基礎的な文法を学ぶことが、異言語を習得するための最短距離であることは、今も昔も変わりません。この「総合」クラスでは文法事項をしっかりと学ぶことで、フランス語運用の基礎を固めます。

なお、実践的なフランス語会話については「表現」クラス(週1回)で学習しますので、心配は無用です。

到達目標 / Attainment Objectives

- 1) フランス語の初歩的な文章が理解できる。
- 2) 初歩的なフランス語の文法事項を説明できる。

履修しておくことが望まれる科目 / Required Preparatory Study

授業スケジュール / Course Schedule

授業日(第N回)	テーマ / Theme	キーワード / Key Word
1	フランス語を発音しよう	綴りの特徴
2	フランス語の名詞には、男性や女性がいる？	男性名詞・女性名詞
3	フランス語のtheとは？	定冠詞
4	自己紹介をやってみよう！	主語人称代名詞・etre動詞
5	フランス語で否定文を作ってみよう	否定文
6	この車は私のもの？彼のもの？	所有形容詞
7	フランス語で質問しよう！	疑問文
8	机の上に一冊の本があります	avoir動詞
9	フランス語動詞の基本はここにある！	er動詞
10	フランス語の形容詞は、名詞の後にある	形容詞の位置
11	フランス語で未来を語ろう	aller動詞と近接未来
12	フランス語でI love youはI you love？	補語人称代名詞
13	フランス語は音にこだわる！	冠詞の縮約
14	人にものを頼むときは優しく	命令法
15	前期のまとめ	文法・語彙の復習

(学部科目 / Undergraduate Courses) 授業外学習の指示 / Recommendations for Private Study

(大学院科目 / Graduate Courses) 授業の方法 / Study Method

宿題を課すことがありますので、必ずやってきて下さい。当面の授業外学習としては、それで充分です。

それではもの足りないという人には、「フランス語講座」(NHKテレビ)の視聴をお勧めします。

成績評価方法 / Grading Criteria and Method of Evaluation

種別 / Kind	割合 / Percentage	評価基準等 / Grading Criteria etc.
定期試験(筆記)	80 %	学期末に統一試験を実施します。初歩的な文法事項の修得状況や、初歩的な文章の理解度を評価します。
平常点評価	20 %	出席状況、小テスト、受講態度を総合して評価します。授業回数の1/3以上を、正当な理由なく欠席した場合には、単位を認定しません。

受講および研究に関するアドバイス / Advice to Students on Study and Research Methods

毎回出席して、授業をよく聞いて、復習として宿題をやってください。まずはそれが大切です。

教科書 / Textbooks

書名 / Title	出版社・ISBNコード・コメント / Author, Publisher, ISBN Code, Comment
L'Arc-en-ciel	／第三書房／／

教科書の練習問題を解きながら、授業を進めていくので、授業にはかならず携行してください。

参考書 / Reference Books

書名 / Title	出版社・ISBNコード・コメント / Author, Publisher, ISBN Code, Comment
ル・デコ	／白水社／／仏和辞典
プチ・ロワイヤル	／旺文社／／仏和辞典
新スタンダード	／大修館／／仏和辞典

仏和辞典を購入してください。参考までに、代表的なものを上げておきます。実際に手に取ってみて、気に入ったものを購入してください。なお初学者にとっては、電子辞書よりも書籍タイプの辞書の方が適しているようです。参考書は必要ありません。

参考になる WWW ページ / Web Pages Useful for Reference

エデュ・フランス (<http://www.edufrance-japan.com>)

フランスへの留学情報を提供するフランス政府の公式機関。フランスが留学生の受入に積極的な国であることがよくわかります。留学を考えている人におすすめです。

ル・モンド・ディプロマティーク (<http://www.diplo.jp>)

フランスの誇る月刊誌「ル・モンド・ディプロマティーク」が、日本語で読めます。国際情勢をめぐる目から鱗の記事も多く掲載されています。国際問題に興味のある人にお勧めです。

その他 / Others

フランス語・総合I (3D)

10132

担当者名 / Instructor 永都 軍三

単位数 / Credit 1

授業の概要 / Course Outline

この授業(週1回)では、フランス語文法の習熟を目指します。

今日では敬遠されがちな文法学習ですが、基礎的な文法を学ぶことが、異言語を習得するための最短距離であることは、今も昔も変わりません。この「総合」クラスでは文法事項をしっかりと学ぶことで、フランス語運用の基礎を固めます。

なお、実践的なフランス語会話については「表現」クラス(週1回)で学習しますので、心配は無用です。

到達目標 / Attainment Objectives

- 1) フランス語の初歩的な文章が理解できる。
- 2) 初歩的なフランス語の文法事項を説明できる。

履修しておくことが望まれる科目 / Required Preparatory Study

授業スケジュール / Course Schedule

授業日(第N回)	テーマ / Theme	キーワード / Key Word
1	フランス語を発音しよう	綴りの特徴
2	フランス語の名詞には、男性や女性がいる？	男性名詞・女性名詞
3	フランス語のtheとは？	定冠詞
4	自己紹介をやってみよう！	主語人称代名詞・etre動詞
5	フランス語で否定文を作ってみよう	否定文
6	この車は私のもの？彼のもの？	所有形容詞
7	フランス語で質問しよう！	疑問文
8	机の上に一冊の本があります	avoir動詞
9	フランス語動詞の基本はここにある！	er動詞
10	フランス語の形容詞は、名詞の後にある	形容詞の位置
11	フランス語で未来を語ろう	aller動詞と近接未来
12	フランス語でI love youはI you love？	補語人称代名詞
13	フランス語は音にこだわる！	冠詞の縮約
14	人にものを頼むときは優しく	命令法
15	前期のまとめ	文法・語彙の復習

(学部科目 / Undergraduate Courses) 授業外学習の指示 / Recommendations for Private Study

(大学院科目 / Graduate Courses) 授業の方法 / Study Method

宿題を課すことがありますので、必ずやってきて下さい。当面の授業外学習としては、それで充分です。

それではもの足りないという人には、「フランス語講座」(NHKテレビ)の視聴をお勧めします。

成績評価方法 / Grading Criteria and Method of Evaluation

種別 / Kind	割合 / Percentage	評価基準等 / Grading Criteria etc.
定期試験(筆記)	80 %	学期末に統一試験を実施します。初歩的な文法事項の修得状況や、初歩的な文章の理解度を評価します。
平常点評価	20 %	出席状況、小テスト、受講態度を総合して評価します。授業回数の1/3以上を、正当な理由なく欠席した場合には、単位を認定しません。

受講および研究に関するアドバイス / Advice to Students on Study and Research Methods

毎回出席して、授業をよく聞いて、復習として宿題をやってください。まずはそれが大切です。

教科書 / Textbooks

書名 / Title	出版社・ISBNコード・コメント / Author, Publisher, ISBN Code, Comment
L' Arc-en-ciel	／第三書房／／

教科書の練習問題を解きながら、授業を進めていくので、授業にはかならず携行してください。

参考書 / Reference Books

書名 / Title	出版社・ISBNコード・コメント / Author, Publisher, ISBN Code, Comment
ル・デコ	／白水社／／仏和辞典
プチ・ロワイヤル	／旺文社／／仏和辞典
新スタンダード	／大修館／／仏和辞典

仏和辞典を購入してください。参考までに、代表的なものを上げておきます。実際に手に取ってみて、気に入ったものを購入してください。なお初学者にとっては、電子辞書よりも書籍タイプの辞書の方が適しているようです。参考書は必要ありません。

参考になる WWW ページ / Web Pages Useful for Reference

エデュ・フランス (<http://www.edufrance-japan.com>)

フランスへの留学情報を提供するフランス政府の公式機関。フランスが留学生の受入に積極的な国であることがよくわかります。留学を考えている人におすすめです。

ル・モンド・ディプロマティーク (<http://www.diplo.jp>)

フランスの誇る月刊誌「ル・モンド・ディプロマティーク」が、日本語で読めます。国際情勢をめぐる目から鱗の記事も多く掲載されています。国際問題に興味のある人にお勧めです。

その他 / Others

フランス語・総合Ⅱ (3A)

10069

担当者名 / Instructor 宇野木 めぐみ

単位数 / Credit 1

授業の概要 / Course Outline

この授業では、1 回生前期にひきつづいて「アトリエ・フランス」を教科書として用いながら、フランス語に関する基礎的な文法事項の習熟を目指します。また教科書に付属しているCDを用いることで、ヒアリング力の向上を目指します。

なお実践的な運用能力については、前期に引き続いて「表現」クラスで学習しますので、心配は無用です。

到達目標 / Attainment Objectives

- 1) 基本的なフランス語の文章が理解できる。
- 2) 基本的な文法事項を説明できる。
- 3) 簡単なフランス語を聞き取ることができる。

履修しておくことが望まれる科目 / Required Preparatory Study

特にありません。

授業スケジュール / Course Schedule

授業日(第N回)	テーマ / Theme	キーワード / Key Word
1	フランス語を思い出す	「総合1」の復習
2	フランス語のI talk to you/I you talk?	補語人称代名詞(その2)
3	フランス語で過去の経験を語る	複合過去
4	数えられるモノと数えられないモノの区別	部分冠詞
5	「私が私を座らせる」って、どういう意味?	代名動詞
6	「私が私を座らせた」って、どういう意味?	代名動詞の過去形
7	主語を強調したいとき	人称代名詞の強勢形
8	「私は彼に叱られる」	受動態
9	「私は彼に叱られた」	受動態の過去形
10	フランス語で未来を語ろう(その2)	単純未来
11	文と文をつなぐために	関係代名詞
12	二つのものを比較してみよう	比較級
13	いちばん真面目な生徒は誰?	最上級
14	たった今おわたったことを語るには?	近接過去
15	後期のまとめ	文法・語彙の復習

(学部科目 / Undergraduate Courses) 授業外学習の指示 / Recommendations for Private Study

(大学院科目 / Graduate Courses) 授業の方法 / Study Method

宿題を課すことがありますので、必ずやってきて下さい。当面の授業外学習としては、それで充分です。

それではもの足りないという人には、「フランス語講座」(NHKテレビ)の視聴をお薦めします。

成績評価方法 / Grading Criteria and Method of Evaluation

種別 / Kind	割合 / Percentage	評価基準等 / Grading Criteria etc.
定期試験(筆記)	80 %	学期末に統一試験を実施します。基本的な文法事項の修得状況や、基本的な文章の理解度を評価します。
平常点評価	20 %	出席状況、小テスト、受講態度を総合して評価します。授業回数の1/3以上を、正当な理由なく欠席した場合には、単位を認定しません。

受講および研究に関するアドバイス / Advice to Students on Study and Research Methods

毎回出席して、授業をよく聞いて、復習として宿題をやってください。まずはそれが大切です。

教科書 / Textbooks

書名 / Title	出版社・ISBNコード・コメント / Author, Publisher, ISBN Code, Comment
L' Arc-en-ciel	／第三書房／／前期の教科書を、継続して使用します。
教科書の練習問題を解きながら、授業を進めていくので、授業にはかならず携行してください。	

参考書 / Reference Books

書名 / Title	出版社・ISBNコード・コメント / Author, Publisher, ISBN Code, Comment
ル・デコ	／白水社／／仏和辞典
プチ・ロワイヤル	／旺文社／／仏和辞典

新スタンダード

クラウン

仏和辞典をご購入下さい。参考までに、代表的なものを上げておきます。実際に手に取って見て、気に入ったものを購入してください。なお初学者にとっては、電子辞書よりも書籍タイプの辞書の方が適しているように思われます。参考書は必要ありません。

参考になる WWW ページ / Web Pages Useful for Reference

エデュ・フランス (<http://www.edufrance-japan.com>)

フランスへの留学情報を提供するフランス政府の公式機関。フランスが留学生の受入に積極的な国であることがよくわかります。留学を考えている人におすすめです。

ル・モンド・ディプロマティーク (<http://www.diplo.jp>)

フランスの誇る月刊誌「ル・モンド・ディプロマティーク」が、日本語で読めます。国際情勢をめぐる目から鱗の記事も多く掲載されています。国際問題に興味のある人にお勧めです。

その他 / Others

フランス語・総合II (3B)

12095

担当者名 / Instructor 川本 真也

単位数 / Credit 1

授業の概要 / Course Outline

この授業では、1回生前期にひきつづいて「アトリエ・フランス」を教科書として用いながら、フランス語に関する基礎的な文法事項の習熟を目指します。また教科書に付属しているCDを用いることで、ヒアリング力の向上を目指します。

なお実践的な運用能力については、前期に引き続いて「表現」クラスで学習しますので、心配は無用です。

到達目標 / Attainment Objectives

- 1) 基本的なフランス語の文章が理解できる。
- 2) 基本的な文法事項を説明できる。
- 3) 簡単なフランス語を聞き取ることができる。

履修しておくことが望まれる科目 / Required Preparatory Study

特にありません。

授業スケジュール / Course Schedule

授業日(第N回)	テーマ / Theme	キーワード / Key Word
1	フランス語を思い出す	「総合1」の復習
2	フランス語のI talk to youはI you talk?	補語人称代名詞(その2)
3	フランス語で過去の経験を語る	複合過去
4	数えられるモノと数えられないモノの区別	部分冠詞
5	「私が私を座らせる」って、どういう意味?	代名動詞
6	「私が私を座らせた」って、どういう意味?	代名動詞の過去形
7	主語を強調したいとき	人称代名詞の強勢形
8	「私は彼に叱られる」	受動態
9	「私は彼に叱られた」	受動態の過去形
10	フランス語で未来を語ろう(その2)	単純未来
11	文と文をつなぐために	関係代名詞
12	二つのものを比較してみよう	比較級
13	いちばん真面目な生徒は誰?	最上級
14	たった今おわたことを語るには?	近接過去
15	後期のまとめ	文法・語彙の復習

(学部科目 / Undergraduate Courses) 授業外学習の指示 / Recommendations for Private Study

(大学院科目 / Graduate Courses) 授業の方法 / Study Method

宿題を課すことがありますので、必ずやってきて下さい。当面の授業外学習としては、それで充分です。

それではもの足りないという人には、「フランス語講座」(NHKテレビ)の視聴をお勧めします。

成績評価方法 / Grading Criteria and Method of Evaluation

種別 / Kind	割合 / Percentage	評価基準等 / Grading Criteria etc.
定期試験(筆記)	80 %	学期末に統一試験を実施します。基本的な文法事項の修得状況や、基本的な文章の理解度を評価します。
平常点評価	20 %	出席状況、小テスト、受講態度を総合して評価します。授業回数の1/3以上を、正当な理由なく欠席した場合には、単位を認定しません。

受講および研究に関するアドバイス / Advice to Students on Study and Research Methods

毎回出席して、授業をよく聞いて、復習として宿題をやってください。まずはそれが大切です。

教科書 / Textbooks

書名 / Title	出版社・ISBNコード・コメント / Author, Publisher, ISBN Code, Comment
L' Arc-en-ciel	／第三書房／／前期の教科書を、継続して使用します。
教科書の練習問題を解きながら、授業を進めていくので、授業にはかならず携行してください。	

参考書 / Reference Books

書名 / Title	出版社・ISBNコード・コメント / Author, Publisher, ISBN Code, Comment
ル・デコ	／白水社／／仏和辞典
プチ・ロワイヤル	／旺文社／／仏和辞典

新スタンダード

クラウン

仏和辞典をご購入下さい。参考までに、代表的なものを上げておきます。実際に手に取って見て、気に入ったものを購入してください。なお初学者にとっては、電子辞書よりも書籍タイプの辞書の方が適しているように思われます。参考書は必要ありません。

参考になる WWW ページ / Web Pages Useful for Reference

エデュ・フランス (<http://www.edufrance-japan.com>)

フランスへの留学情報を提供するフランス政府の公式機関。フランスが留学生の受入に積極的な国であることがよくわかります。留学を考えている人におすすめです。

ル・モンド・ディプロマティーク (<http://www.diplo.jp>)

フランスの誇る月刊誌「ル・モンド・ディプロマティーク」が、日本語で読めます。国際情勢をめぐる目から鱗の記事も多く掲載されています。国際問題に興味のある人にお勧めです。

その他 / Others

フランス語・総合II (3C)

10201

担当者名 / Instructor 永都 軍三

単位数 / Credit 1

授業の概要 / Course Outline

この授業では、1回生前期にひきつづいて「アトリエ・フランス」を教科書として用いながら、フランス語に関する基礎的な文法事項の習熟を目指します。また教科書に付属しているCDを用いることで、ヒアリング力の向上を目指します。

なお実践的な運用能力については、前期に引き続いて「表現」クラスで学習しますので、心配は無用です。

到達目標 / Attainment Objectives

- 1) 基本的なフランス語の文章が理解できる。
- 2) 基本的な文法事項を説明できる。
- 3) 簡単なフランス語を聞き取ることができる。

履修しておくことが望まれる科目 / Required Preparatory Study

特にありません。

授業スケジュール / Course Schedule

授業日(第N回)	テーマ / Theme	キーワード / Key Word
1	フランス語を思い出す	「総合1」の復習
2	フランス語のI talk to you/I you talk?	補語人称代名詞(その2)
3	フランス語で過去の経験を語る	複合過去
4	数えられるモノと数えられないモノの区別	部分冠詞
5	「私が私を座らせる」って、どういう意味?	代名動詞
6	「私が私を座らせた」って、どういう意味?	代名動詞の過去形
7	主語を強調したいとき	人称代名詞の強勢形
8	「私は彼に叱られる」	受動態
9	「私は彼に叱られた」	受動態の過去形
10	フランス語で未来を語ろう(その2)	単純未来
11	文と文をつなぐために	関係代名詞
12	二つのものを比較してみよう	比較級
13	いちばん真面目な生徒は誰?	最上級
14	たった今おわたことを語るには?	近接過去
15	後期のまとめ	文法・語彙の復習

(学部科目 / Undergraduate Courses) 授業外学習の指示 / Recommendations for Private Study

(大学院科目 / Graduate Courses) 授業の方法 / Study Method

宿題を課すことがありますので、必ずやってきて下さい。当面の授業外学習としては、それで充分です。

それではもの足りないという人には、「フランス語講座」(NHKテレビ)の視聴をお薦めします。

成績評価方法 / Grading Criteria and Method of Evaluation

種別 / Kind	割合 / Percentage	評価基準等 / Grading Criteria etc.
定期試験(筆記)	80 %	学期末に統一試験を実施します。基本的な文法事項の修得状況や、基本的な文章の理解度を評価します。
平常点評価	20 %	出席状況、小テスト、受講態度を総合して評価します。授業回数の1/3以上を、正当な理由なく欠席した場合には、単位を認定しません。

受講および研究に関するアドバイス / Advice to Students on Study and Research Methods

毎回出席して、授業をよく聞いて、復習として宿題をやってください。まずはそれが大切です。

教科書 / Textbooks

書名 / Title	出版社・ISBNコード・コメント / Author, Publisher, ISBN Code, Comment
L' Arc-en-ciel	／第三書房／／前期の教科書を、継続して使用します。
教科書の練習問題を解きながら、授業を進めていくので、授業にはかならず携行してください。	

参考書 / Reference Books

書名 / Title	出版社・ISBNコード・コメント / Author, Publisher, ISBN Code, Comment
ル・デコ	／白水社／／仏和辞典
プチ・ロワイヤル	／旺文社／／仏和辞典

新スタンダード

クラウン

仏和辞典をご購入下さい。参考までに、代表的なものを上げておきます。実際に手に取って見て、気に入ったものを購入してください。なお初学者にとっては、電子辞書よりも書籍タイプの辞書の方が適しているように思われます。参考書は必要ありません。

参考になる WWW ページ / Web Pages Useful for Reference

エデュ・フランス (<http://www.edufrance-japan.com>)

フランスへの留学情報を提供するフランス政府の公式機関。フランスが留学生の受入に積極的な国であることがよくわかります。留学を考えている人におすすめです。

ル・モンド・ディプロマティーク (<http://www.diplo.jp>)

フランスの誇る月刊誌「ル・モンド・ディプロマティーク」が、日本語で読めます。国際情勢をめぐる目から鱗の記事も多く掲載されています。国際問題に興味のある人にお勧めです。

その他 / Others

フランス語・総合II (3D)

12242

担当者名 / Instructor 永都 軍三

単位数 / Credit 1

授業の概要 / Course Outline

この授業では、1回生前期にひきつづいて「アトリエ・フランス」を教科書として用いながら、フランス語に関する基礎的な文法事項の習熟を目指します。また教科書に付属しているCDを用いることで、ヒアリング力の向上を目指します。

なお実践的な運用能力については、前期に引き続いて「表現」クラスで学習しますので、心配は無用です。

到達目標 / Attainment Objectives

- 1) 基本的なフランス語の文章が理解できる。
- 2) 基本的な文法事項を説明できる。
- 3) 簡単なフランス語を聞き取ることができる。

履修しておくことが望まれる科目 / Required Preparatory Study

特にありません。

授業スケジュール / Course Schedule

授業日(第N回)	テーマ / Theme	キーワード / Key Word
1	フランス語を思い出す	「総合1」の復習
2	フランス語のI talk to youはI you talk?	補語人称代名詞(その2)
3	フランス語で過去の経験を語る	複合過去
4	数えられるモノと数えられないモノの区別	部分冠詞
5	「私が私を座らせる」って、どういう意味?	代名動詞
6	「私が私を座らせた」って、どういう意味?	代名動詞の過去形
7	主語を強調したいとき	人称代名詞の強勢形
8	「私は彼に叱られる」	受動態
9	「私は彼に叱られた」	受動態の過去形
10	フランス語で未来を語ろう(その2)	単純未来
11	文と文をつなぐために	関係代名詞
12	二つのものを比較してみよう	比較級
13	いちばん真面目な生徒は誰?	最上級
14	たった今おわたことを語るには?	近接過去
15	後期のまとめ	文法・語彙の復習

(学部科目 / Undergraduate Courses) 授業外学習の指示 / Recommendations for Private Study

(大学院科目 / Graduate Courses) 授業の方法 / Study Method

宿題を課すことがありますので、必ずやってきて下さい。当面の授業外学習としては、それで充分です。

それではもの足りないという人には、「フランス語講座」(NHKテレビ)の視聴をお薦めします。

成績評価方法 / Grading Criteria and Method of Evaluation

種別 / Kind	割合 / Percentage	評価基準等 / Grading Criteria etc.
定期試験(筆記)	80 %	学期末に統一試験を実施します。基本的な文法事項の修得状況や、基本的な文章の理解度を評価します。
平常点評価	20 %	出席状況、小テスト、受講態度を総合して評価します。授業回数の1/3以上を、正当な理由なく欠席した場合には、単位を認定しません。

受講および研究に関するアドバイス / Advice to Students on Study and Research Methods

毎回出席して、授業をよく聞いて、復習として宿題をやってください。まずはそれが大切です。

教科書 / Textbooks

書名 / Title	出版社・ISBNコード・コメント / Author, Publisher, ISBN Code, Comment
L' Arc-en-ciel	／第三書房／／前期の教科書を、継続して使用します。
教科書の練習問題を解きながら、授業を進めていくので、授業にはかならず携行してください。	

参考書 / Reference Books

書名 / Title	出版社・ISBNコード・コメント / Author, Publisher, ISBN Code, Comment
ル・デコ	／白水社／／仏和辞典
プチ・ロワイヤル	／旺文社／／仏和辞典

新スタンダード /大修館/ /仏和辞典

クラウン /三省堂/ /仏和辞典

仏和辞典をご購入下さい。参考までに、代表的なものを上げておきます。実際に手に取ってみて、気に入ったものを購入してください。なお初学者にとっては、電子辞書よりも書籍タイプの辞書の方が適しているように思われます。参考書は必要ありません。

参考になる WWW ページ / Web Pages Useful for Reference

エデュ・フランス (<http://www.edufrance-japan.com>)

フランスへの留学情報を提供するフランス政府の公式機関。フランスが留学生の受入に積極的な国であることがよくわかります。留学を考えている人におすすめです。

ル・モンド・ディプロマティーク (<http://www.diplo.jp>)

フランスの誇る月刊誌「ル・モンド・ディプロマティーク」が、日本語で読めます。国際情勢をめぐる目から鱗の記事も多く掲載されています。国際問題に興味のある人にお勧めです。

その他 / Others

フランス語・展開 (2A)

10112

担当者名 / Instructor 永都 軍三

単位数 / Credit 2

授業の概要 / Course Outline

1 回生前期に「フランス語・基礎」を履修した皆さんは、後期は「彼女は食いしん坊！2」を教科書として使用しながら、より発展的な文法事項を学んでいきます。前期同様、週2回の授業を同一教員が担当して進めていきます。具体的には、フランス語で過去を話す様々な方法や、フランス語独特の表現などを学んでいきます。

また、フランス人のインタビューが収録されたビデオを用いて、ヒアリング能力の向上を図ります。

フランス語の学習は、ここからが本番です。とは言っても、担当教員が受講生の理解度を見ながら授業を進めていくので心配は無用です。しっかり最後まで頑張ってください。

到達目標 / Attainment Objectives

- 1) 日常的なフランス語の語彙を理解できる。
- 2) 発展的なフランス語の文法事項を理解できる。
- 3) 基本的なフランス語の文章を理解できる。
- 4) 日常的なフランス語を聞いて理解することができる。

履修しておくことが望まれる科目 / Required Preparatory Study

特にありません。

授業スケジュール / Course Schedule

授業日(第N回)	テーマ / Theme	キーワード / Key Word
1	「基礎」クラスの復習	
2	フランス語で過去の経験を語る	複合過去の復習
3	過去分詞の変化で、目的語を探る	過去分詞の一致
4	I love you はフランス語で Je t'aime	目的語人称代名詞
5	「私が私を座らせる」って、どういう意味？	代名動詞
6	「私が私を座らせた」？	代名動詞の複合過去
7	謝るときのフランス語	pardonner, excuser
8	フランス語で未来を語ろう	単純未来
9	ふたつの文を、ひとつにする	関係代名詞 (qui/que/dont/ou)
10	フランス語らしい文章表現	現在分詞、ジェロンディフ
11	丁寧なフランス語を使う	pouvoir (〜出来る) を用いた依頼表現
12	フランス語らしい過去の表現	半過去
13	過去の過去を語るには・・・	大過去
14	「私は彼に叱られる」	受動態
15	「私は彼に叱られた」	受動態の複合過去
16	もう一度、中性代名詞	中性代名詞 en/y
17	もしもの話をするためのフランス語	条件法現在
18	ありえない事態を語るためのフランス語	条件法過去
19	フランス語はラテン語の子孫だ！	接続法
20	ちょっとだけ難しい文章を読もう	直接話法、間接話法
21	強調したいことがあれば・・・	強調構文
22	フランス語の副詞は、簡単に作れる！	副詞
23	フランス語は論理的な言語？	接続詞
24	ふたつの文をひとつにする(2)	関係代名詞 (lequel)
25	歴史的な出来事を理解する	単純過去
26	フランス語と時間の表現	時制の一致
27	フランス語の会話を聞き取ろう！	ヒアリング
28	簡単なフランス語を読んでみよう！	リーディング
29	ちょっと本格的なフランス語を読みませんか？	documents authentiques、児童文学、童話、昔話
30	文法事項の総復習	時制体系の理解、複文構造の把握

宿題を課すことがありますので、必ずやってきて下さい。当面の授業外学習としては、それで充分です。それではもの足りないという人には、「フランス語講座」(NHKテレビ)の視聴をお薦めします。

成績評価方法 / Grading Criteria and Method of Evaluation

種別 / Kind	割合 / Percentage	評価基準等 / Grading Criteria etc.
定期試験(筆記)	80 %	学期末に統一試験を実施します。基本的な文法事項の修得状況や、基本的な文章の理解度を評価します。
平常点評価	20 %	出席状況、小テスト、受講態度を総合して評価します。授業回数の1/3以上を、正当な理由なく欠席した場合には、単位を認定しません。

受講および研究に関するアドバイス / Advice to Students on Study and Research Methods

毎回出席して、授業をよく聞いて、復習として宿題をやってください。まずはそれが大切です。

教科書 / Textbooks

書名 / Title	出版社・ISBNコード・コメント / Author, Publisher, ISBN Code, Comment
彼女は食いしん坊！2	藤田裕二／朝日出版社／978-4-255-35166-7／

教科書の練習問題を解きながら、授業を進めていくので、授業にはかならず携行してください。

参考書 / Reference Books

書名 / Title	出版社・ISBNコード・コメント / Author, Publisher, ISBN Code, Comment
ル・ディコ	／白水社／／仏和辞典
クラウン仏和辞典	／三省堂／／仏和辞典
プチ・ロワイヤル	／旺文社／／仏和辞典
新スタンダード	／大修館／／仏和辞典

仏和辞典を購入してください。参考までに、代表的なものを上げておきます。実際に手に取ってみて、気に入ったものを購入してください。なお初学者にとっては、電子辞書よりも書籍タイプの辞書の方が適しているようです。参考書は必要ありません。

参考になる WWW ページ / Web Pages Useful for Reference

エデュ・フランス (<http://www.edufrance-japan.com>)

フランスへの留学情報を提供するフランス政府の公式機関。フランスが留学生の受入に積極的な国であることがよくわかります。留学を考えている人におすすめです。

ル・モンド・ディプロマティーク (<http://www.diplo.jp>)

フランスの誇る月刊誌「ル・モンド・ディプロマティーク」が、日本語で読めます。国際情勢をめぐる目から鱗の記事も多く掲載されています。国際問題に興味のある人にお勧めです。

その他 / Others

フランス語・展開 (2B)

10246

担当者名 / Instructor 久津内 一雄

単位数 / Credit 2

授業の概要 / Course Outline

1 回生前期に「フランス語・基礎」を履修した皆さんは、後期は「彼女は食いしん坊！2」を教科書として使用しながら、より発展的な文法事項を学んでいきます。前期同様、週2回の授業を同一教員が担当して進めていきます。具体的には、フランス語で過去を話す様々な方法や、フランス語独特の表現などを学んでいきます。

また、フランス人のインタビューが収録されたビデオを用いて、ヒアリング能力の向上を図ります。

フランス語の学習は、ここからが本番です。とは言っても、担当教員が受講生の理解度を見ながら授業を進めていくので心配は無用です。しっかり最後まで頑張ってください。

到達目標 / Attainment Objectives

- 1) 日常的なフランス語の語彙を理解できる。
- 2) 発展的なフランス語の文法事項を理解できる。
- 3) 基本的なフランス語の文章を理解できる。
- 4) 日常的なフランス語を聞いて理解することができる。

履修しておくことが望まれる科目 / Required Preparatory Study

特にありません。

授業スケジュール / Course Schedule

授業日(第N回)	テーマ / Theme	キーワード / Key Word
1	「基礎」クラスの復習	
2	フランス語で過去の経験を語る	複合過去の復習
3	過去分詞の変化で、目的語を探る	過去分詞の一致
4	I love you はフランス語で Je t'aime	目的語人称代名詞
5	「私が私を座らせる」って、どういう意味？	代名動詞
6	「私が私を座らせた」？	代名動詞の複合過去
7	謝るときのフランス語	pardonner, excuser
8	フランス語で未来を語ろう	単純未来
9	ふたつの文を、ひとつにする	関係代名詞 (qui/que/dont/ou)
10	フランス語らしい文章表現	現在分詞、ジェロンディフ
11	丁寧なフランス語を使う	pouvoir (〜出来る) を用いた依頼表現
12	フランス語らしい過去の表現	半過去
13	過去の過去を語るには・・・	大過去
14	「私は彼に叱られる」	受動態
15	「私は彼に叱られた」	受動態の複合過去
16	もう一度、中性代名詞	中性代名詞 en/y
17	もしもの話をするためのフランス語	条件法現在
18	ありえない事態を語るためのフランス語	条件法過去
19	フランス語はラテン語の子孫だ！	接続法
20	ちょっとだけ難しい文章を読もう	直接話法、間接話法
21	強調したいことがあれば・・・	強調構文
22	フランス語の副詞は、簡単に作れる！	副詞
23	フランス語は論理的な言語？	接続詞
24	ふたつの文をひとつにする(2)	関係代名詞 (lequel)
25	歴史的な出来事を理解する	単純過去
26	フランス語と時間の表現	時制の一致
27	フランス語の会話を聞き取ろう！	ヒアリング
28	簡単なフランス語を読んでみよう！	リーディング
29	ちょっと本格的なフランス語を読みませんか？	documents authentiques、児童文学、童話、昔話
30	文法事項の総復習	時制体系の理解、複文構造の把握

宿題を課すことがありますので、必ずやってきて下さい。当面の授業外学習としては、それで充分です。それではもの足りないという人には、「フランス語講座」(NHKテレビ)の視聴をお薦めします。

成績評価方法 / Grading Criteria and Method of Evaluation

種別 / Kind	割合 / Percentage	評価基準等 / Grading Criteria etc.
定期試験(筆記)	80 %	学期末に統一試験を実施します。基本的な文法事項の修得状況や、基本的な文章の理解度を評価します。
平常点評価	20 %	出席状況、小テスト、受講態度を総合して評価します。授業回数の1/3以上を、正当な理由なく欠席した場合には、単位を認定しません。

受講および研究に関するアドバイス / Advice to Students on Study and Research Methods

毎回出席して、授業をよく聞いて、復習として宿題をやってください。まずはそれが大切です。

教科書 / Textbooks

書名 / Title	出版社・ISBNコード・コメント / Author, Publisher, ISBN Code, Comment
彼女は食いしん坊！2	藤田裕二／朝日出版社／978-4-255-35166-7／

教科書の練習問題を解きながら、授業を進めていくので、授業にはかならず携行してください。

参考書 / Reference Books

書名 / Title	出版社・ISBNコード・コメント / Author, Publisher, ISBN Code, Comment
ル・ディコ	／白水社／／仏和辞典
クラウン仏和辞典	／三省堂／／仏和辞典
プチ・ロワイヤル	／旺文社／／仏和辞典
新スタンダード	／大修館／／仏和辞典

仏和辞典を購入してください。参考までに、代表的なものを上げておきます。実際に手に取ってみて、気に入ったものを購入してください。なお初学者にとっては、電子辞書よりも書籍タイプの辞書の方が適しているようです。参考書は必要ありません。

参考になる WWW ページ / Web Pages Useful for Reference

エデュ・フランス(<http://www.edufrance-japan.com>)

フランスへの留学情報を提供するフランス政府の公式機関。フランスが留学生の受入に積極的な国であることがよくわかります。留学を考えている人におすすめです。

ル・モンド・ディプロマティーク(<http://www.diplo.jp>)

フランスの誇る月刊誌「ル・モンド・ディプロマティーク」が、日本語で読めます。国際情勢をめぐる目から鱗の記事も多く掲載されています。国際問題に興味のある人にお勧めです。

その他 / Others

フランス語・表現I (2A)

10766

担当者名 / Instructor FARON ANTOINE

単位数 / Credit 1

授業の概要 / Course Outline

この授業(週1回)を担当するのは、フランス語を母語とする教員です。受講生には、担当教員との会話を通じて、フランス語での表現力を身に付けていただきます。

まずは挨拶や自己紹介等からはじめ、相手の質問に的確に答える訓練を経た後、最終的には自分の考えや状況を、フランス語で相手に伝えることができるようになることを目指します。

高等な表現を駆使することを目指すわけではありません。むしろ、簡単な日常のフランス語をもちいてコミュニケーションする能力を、獲得していただきたいと思います。

到達目標 / Attainment Objectives

挨拶や自己紹介、簡単な質疑応答ができるレベルの会話力を目指します。

履修しておくことが望まれる科目 / Required Preparatory Study

特にありません。

授業スケジュール / Course Schedule

授業日(第N回)	テーマ / Theme	キーワード / Key Word
	基本的には教科書に沿って15回の授業を進めていきますが、「表現」クラスは、受講生と教員との対話の上に成立する授業ですので、あらかじめ定められたスケジュールに基づくのではなく、受講生の理解度や満足度を見ながら、担当教員が柔軟に対応していきます。	

(学部科目 / Undergraduate Courses) 授業外学習の指示 / Recommendations for Private Study

(大学院科目 / Graduate Courses) 授業の方法 / Study Method

宿題を課すことがありますので、必ずやってきて下さい。当面の授業外学習としては、まずそれが大事です。それではもの足りない、という方には、「フランス語講座」(NHK)の視聴をお薦めします(内容的にも十分に楽しめますよ)。

成績評価方法 / Grading Criteria and Method of Evaluation

種別 / Kind	割合 / Percentage	評価基準等 / Grading Criteria etc.
平常点評価	100 %	

受講および研究に関するアドバイス / Advice to Students on Study and Research Methods

会話能力の修得を目指す授業である以上、授業への積極的な参加を重視します。会話上達の秘訣は、間違いを恐れないことです。フランス語会話上達のために、恥ずかしがることなく、積極的に発言しましょう。なお、受講生の達成度を図るため、担当教員によっては、小テストや試験などを行うこともあります。

語学の修得に王道はありません。毎回出席して、授業をよく聞いて、積極的に担当の先生とコミュニケーションをはかってください。

教科書 / Textbooks

参考書 / Reference Books

参考になる WWW ページ / Web Pages Useful for Reference

その他 / Others

フランス語・表現I (2B)

10907

担当者名 / Instructor FARON ANTOINE

単位数 / Credit 1

授業の概要 / Course Outline

この授業(週1回)を担当するのは、フランス語を母語とする教員です。受講生には、担当教員との会話を通じて、フランス語での表現力を身に付けていただきます。

まずは挨拶や自己紹介等からはじめ、相手の質問に的確に答える訓練を経た後、最終的には自分の考えや状況を、フランス語で相手に伝えることができるようになることを目指します。

高等な表現を駆使することを目指すわけではありません。むしろ、簡単な日常のフランス語をもちいてコミュニケーションする能力を、獲得していただきたいと思います。

到達目標 / Attainment Objectives

挨拶や自己紹介、簡単な質疑応答ができるレベルの会話力を目指します。

履修しておくことが望まれる科目 / Required Preparatory Study

特にありません。

授業スケジュール / Course Schedule

授業日(第N回)	テーマ / Theme	キーワード / Key Word
	基本的には教科書に沿って15回の授業を進めていきますが、「表現」クラスは、受講生と教員との対話の上に成立する授業ですので、あらかじめ定められたスケジュールに基づくのではなく、受講生の理解度や満足度を見ながら、担当教員が柔軟に対応していきます。	

(学部科目 / Undergraduate Courses) 授業外学習の指示 / Recommendations for Private Study

(大学院科目 / Graduate Courses) 授業の方法 / Study Method

宿題を課すことがありますので、必ずやってきて下さい。当面の授業外学習としては、まずそれが大事です。それではもの足りない、という方には、「フランス語講座」(NHK)の視聴をお薦めします(内容的にも十分に楽しめますよ)。

成績評価方法 / Grading Criteria and Method of Evaluation

種別 / Kind	割合 / Percentage	評価基準等 / Grading Criteria etc.
平常点評価	100 %	

受講および研究に関するアドバイス / Advice to Students on Study and Research Methods

会話能力の修得を目指す授業である以上、授業への積極的な参加を重視します。会話上達の秘訣は、間違いを恐れないことです。フランス語会話上達のために、恥ずかしがることなく、積極的に発言しましょう。なお、受講生の達成度を図るため、担当教員によっては、小テストや試験などを行うこともあります。

語学の修得に王道はありません。毎回出席して、授業をよく聞いて、積極的に担当の先生とコミュニケーションをはかってください。

教科書 / Textbooks

参考書 / Reference Books

参考になる WWW ページ / Web Pages Useful for Reference

その他 / Others

フランス語・表現I (3A)

12045

担当者名 / Instructor BOUVARD JULIEN

単位数 / Credit 1

授業の概要 / Course Outline

この授業(週1回)を担当するのは、フランス語を母語とする教員です。受講生には、担当教員との会話を通じて、フランス語での表現力を身に付けていただきます。

まずは挨拶や自己紹介等からはじめ、相手の質問に的確に答える訓練を経た後、最終的には自分の考えや状況を、フランス語で相手に伝えることができるようになることを目指します。

高等な表現を駆使することを目指すわけではありません。むしろ、簡単な日常のフランス語をもちいてコミュニケーションする能力を、獲得していただきたいと思います。

到達目標 / Attainment Objectives

挨拶や自己紹介、簡単な質疑応答ができるレベルの会話力を目指します。

履修しておくことが望まれる科目 / Required Preparatory Study

特にありません。

授業スケジュール / Course Schedule

授業日(第N回)	テーマ / Theme	キーワード / Key Word
	基本的には教科書に沿って15回の授業を進めていきますが、「表現」クラスは、受講生と教員との対話の上に成立する授業ですので、あらかじめ定められたスケジュールに基づくのではなく、受講生の理解度や満足度を見ながら、担当教員が柔軟に対応していきます。	

(学部科目 / Undergraduate Courses) 授業外学習の指示 / Recommendations for Private Study

(大学院科目 / Graduate Courses) 授業の方法 / Study Method

宿題を課すことがありますので、必ずやってきて下さい。当面の授業外学習としては、まずそれが大事です。それではもの足りない、という方には、「フランス語講座」(NHK)の視聴をお薦めします(内容的にも十分に楽しめますよ)。

成績評価方法 / Grading Criteria and Method of Evaluation

種別 / Kind	割合 / Percentage	評価基準等 / Grading Criteria etc.
平常点評価	100 %	

受講および研究に関するアドバイス / Advice to Students on Study and Research Methods

会話能力の修得を目指す授業である以上、授業への積極的な参加を重視します。会話上達の秘訣は、間違いを恐れないことです。フランス語会話上達のために、恥ずかしがることなく、積極的に発言しましょう。なお、受講生の達成度を図るため、担当教員によっては、小テストや試験などを行うこともあります。

語学の修得に王道はありません。毎回出席して、授業をよく聞いて、積極的に担当の先生とコミュニケーションをはかってください。

教科書 / Textbooks

参考書 / Reference Books

参考になる WWW ページ / Web Pages Useful for Reference

その他 / Others

フランス語・表現I (3B)

10012

担当者名 / Instructor FARON ANTOINE

単位数 / Credit 1

授業の概要 / Course Outline

この授業(週1回)を担当するのは、フランス語を母語とする教員です。受講生には、担当教員との会話を通じて、フランス語での表現力を身に付けていただきます。

まずは挨拶や自己紹介等からはじめ、相手の質問に的確に答える訓練を経た後、最終的には自分の考えや状況を、フランス語で相手に伝えることができるようになることを目指します。

高等な表現を駆使することを目指すわけではありません。むしろ、簡単な日常のフランス語をもちいてコミュニケーションする能力を、獲得していただきたいと思います。

到達目標 / Attainment Objectives

挨拶や自己紹介、簡単な質疑応答ができるレベルの会話力を目指します。

履修しておくことが望まれる科目 / Required Preparatory Study

特にありません。

授業スケジュール / Course Schedule

授業日(第N回)	テーマ / Theme	キーワード / Key Word
	基本的には教科書に沿って15回の授業を進めていきますが、「表現」クラスは、受講生と教員との対話の上に成立する授業ですので、あらかじめ定められたスケジュールに基づくのではなく、受講生の理解度や満足度を見ながら、担当教員が柔軟に対応していきます。	

(学部科目 / Undergraduate Courses) 授業外学習の指示 / Recommendations for Private Study

(大学院科目 / Graduate Courses) 授業の方法 / Study Method

宿題を課すことがありますので、必ずやってきて下さい。当面の授業外学習としては、まずそれが大事です。それではもの足りない、という方には、「フランス語講座」(NHK)の視聴をお薦めします(内容的にも十分に楽しめますよ)。

成績評価方法 / Grading Criteria and Method of Evaluation

種別 / Kind	割合 / Percentage	評価基準等 / Grading Criteria etc.
平常点評価	100 %	

受講および研究に関するアドバイス / Advice to Students on Study and Research Methods

会話能力の修得を目指す授業である以上、授業への積極的な参加を重視します。会話上達の秘訣は、間違いを恐れないことです。フランス語会話上達のために、恥ずかしがることなく、積極的に発言しましょう。なお、受講生の達成度を図るため、担当教員によっては、小テストや試験などを行うこともあります。

語学の修得に王道はありません。毎回出席して、授業をよく聞いて、積極的に担当の先生とコミュニケーションをはかってください。

教科書 / Textbooks

参考書 / Reference Books

参考になる WWW ページ / Web Pages Useful for Reference

その他 / Others

フランス語・表現I (3C)

12176

担当者名 / Instructor BOUVARD JULIEN

単位数 / Credit 1

授業の概要 / Course Outline

この授業(週1回)を担当するのは、フランス語を母語とする教員です。受講生には、担当教員との会話を通じて、フランス語での表現力を身に付けていただきます。

まずは挨拶や自己紹介等からはじめ、相手の質問に的確に答える訓練を経た後、最終的には自分の考えや状況を、フランス語で相手に伝えることができるようになることを目指します。

高等な表現を駆使することを目指すわけではありません。むしろ、簡単な日常のフランス語をもちいてコミュニケーションする能力を、獲得していただきたいと思います。

到達目標 / Attainment Objectives

挨拶や自己紹介、簡単な質疑応答ができるレベルの会話力を目指します。

履修しておくことが望まれる科目 / Required Preparatory Study

特にありません。

授業スケジュール / Course Schedule

授業日(第N回)	テーマ / Theme	キーワード / Key Word
	基本的には教科書に沿って15回の授業を進めていきますが、「表現」クラスは、受講生と教員との対話の上に成立する授業ですので、あらかじめ定められたスケジュールに基づくのではなく、受講生の理解度や満足度を見ながら、担当教員が柔軟に対応していきます。	

(学部科目 / Undergraduate Courses) 授業外学習の指示 / Recommendations for Private Study

(大学院科目 / Graduate Courses) 授業の方法 / Study Method

宿題を課すことがありますので、必ずやってきて下さい。当面の授業外学習としては、まずそれが大事です。それではもの足りない、という方には、「フランス語講座」(NHK)の視聴をお薦めします(内容的にも十分に楽しめますよ)。

成績評価方法 / Grading Criteria and Method of Evaluation

種別 / Kind	割合 / Percentage	評価基準等 / Grading Criteria etc.
平常点評価	100 %	

受講および研究に関するアドバイス / Advice to Students on Study and Research Methods

会話能力の修得を目指す授業である以上、授業への積極的な参加を重視します。会話上達の秘訣は、間違いを恐れないことです。フランス語会話上達のために、恥ずかしがることなく、積極的に発言しましょう。なお、受講生の達成度を図るため、担当教員によっては、小テストや試験などを行うこともあります。

語学の修得に王道はありません。毎回出席して、授業をよく聞いて、積極的に担当の先生とコミュニケーションをはかってください。

教科書 / Textbooks

参考書 / Reference Books

参考になる WWW ページ / Web Pages Useful for Reference

その他 / Others

フランス語・表現I (3D)

10135

担当者名 / Instructor FARON ANTOINE

単位数 / Credit 1

授業の概要 / Course Outline

この授業(週1回)を担当するのは、フランス語を母語とする教員です。受講生には、担当教員との会話を通じて、フランス語での表現力を身に付けていただきます。

まずは挨拶や自己紹介等からはじめ、相手の質問に的確に答える訓練を経た後、最終的には自分の考えや状況を、フランス語で相手に伝えることができるようになることを目指します。

高等な表現を駆使することを目指すわけではありません。むしろ、簡単な日常のフランス語をもちいてコミュニケーションする能力を、獲得していただきたいと思います。

到達目標 / Attainment Objectives

挨拶や自己紹介、簡単な質疑応答ができるレベルの会話力を目指します。

履修しておくことが望まれる科目 / Required Preparatory Study

特にありません。

授業スケジュール / Course Schedule

授業日(第N回)	テーマ / Theme	キーワード / Key Word
	基本的には教科書に沿って15回の授業を進めていきますが、「表現」クラスは、受講生と教員との対話の上に成立する授業ですので、あらかじめ定められたスケジュールに基づくのではなく、受講生の理解度や満足度を見ながら、担当教員が柔軟に対応していきます。	

(学部科目 / Undergraduate Courses) 授業外学習の指示 / Recommendations for Private Study

(大学院科目 / Graduate Courses) 授業の方法 / Study Method

宿題を課すことがありますので、必ずやってきて下さい。当面の授業外学習としては、まずそれが大事です。それではもの足りない、という方には、「フランス語講座」(NHK)の視聴をお薦めします(内容的にも十分に楽しめますよ)。

成績評価方法 / Grading Criteria and Method of Evaluation

種別 / Kind	割合 / Percentage	評価基準等 / Grading Criteria etc.
平常点評価	100 %	

受講および研究に関するアドバイス / Advice to Students on Study and Research Methods

会話能力の修得を目指す授業である以上、授業への積極的な参加を重視します。会話上達の秘訣は、間違いを恐れないことです。フランス語会話上達のために、恥ずかしがることなく、積極的に発言しましょう。なお、受講生の達成度を図るため、担当教員によっては、小テストや試験などを行うこともあります。

語学の修得に王道はありません。毎回出席して、授業をよく聞いて、積極的に担当の先生とコミュニケーションをはかってください。

教科書 / Textbooks

参考書 / Reference Books

参考になる WWW ページ / Web Pages Useful for Reference

その他 / Others

フランス語・表現Ⅱ (2A)

10847

担当者名 / Instructor FARON ANTOINE

単位数 / Credit 1

授業の概要 / Course Outline

1 回生前期に引き続いて、週 1 回の授業を、フランス語を母語とする教員が担当します。これまで同様、受講生には、担当教員との会話を通じて、フランス語での表現力を身に付けていただきます。今まで以上に、多くの会話パターンを修得して下さい。高等な表現を駆使する必要はありません。むしろ、簡単な日常のフランス語をもちいてコミュニケーションする能力を、獲得していただきたいと思います。

到達目標 / Attainment Objectives

簡単なフランス語を用いて、明確な意思表示が出来るレベルの会話力を目指します。

履修しておくことが望まれる科目 / Required Preparatory Study

特にありません。

授業スケジュール / Course Schedule

授業日 (第N回)	テーマ / Theme	キーワード / Key Word
	教科書を用いて、15 回の授業を進めていきますが、「表現」クラスは受講生と教員の対話の上に成立する授業ですので、あらかじめ定められたスケジュールに基づくのではなく、皆さんの理解度や関心の対象を見ながら、担当教員が柔軟に対応していきます。	

(学部科目 / Undergraduate Courses) 授業外学習の指示 / Recommendations for Private Study

(大学院科目 / Graduate Courses) 授業の方法 / Study Method

宿題を課すことがありますので、必ずやってきて下さい。当面の授業外学習としては、まずそれが大事です。それではもの足りない、という方には、「フランス語講座」(NHK)の視聴をお薦めします(内容的にも十分に楽しめますよ)。

成績評価方法 / Grading Criteria and Method of Evaluation

種別 / Kind	割合 / Percentage	評価基準等 / Grading Criteria etc.
平常点評価	100 %	

受講および研究に関するアドバイス / Advice to Students on Study and Research Methods

会話能力の修得を目指す授業である以上、授業への積極的な参加を重視します。会話上達の秘訣は、間違いを恐れないことです。フランス語会話上達のために、恥ずかしがることなく、積極的に発言しましょう。なお、受講生の達成度を図るため、担当教員によっては、小テストや試験などを行うこともあります。

語学の修得に王道はありません。毎回出席して、授業をよく聞いて、積極的に担当の先生とコミュニケーションをはかってください。

教科書 / Textbooks

参考書 / Reference Books

参考になる WWW ページ / Web Pages Useful for Reference

その他 / Others

フランス語・表現II (2B)

10995

担当者名 / Instructor FARON ANTOINE

単位数 / Credit 1

授業の概要 / Course Outline

1 回生前期に引き続いて、週 1 回の授業を、フランス語を母語とする教員が担当します。これまで同様、受講生には、担当教員との会話を通じて、フランス語での表現力を身に付けていただきます。今まで以上に、多くの会話パターンを修得して下さい。高等な表現を駆使する必要はありません。むしろ、簡単な日常のフランス語をもちいてコミュニケーションする能力を、獲得していただきたいと思います。

到達目標 / Attainment Objectives

簡単なフランス語を用いて、明確な意思表示が出来るレベルの会話力を目指します。

履修しておくことが望まれる科目 / Required Preparatory Study

特にありません。

授業スケジュール / Course Schedule

授業日 (第N回)	テーマ / Theme	キーワード / Key Word
	教科書を用いて、15 回の授業を進めていきますが、「表現」クラスは受講生と教員の対話の上に成立する授業ですので、あらかじめ定められたスケジュールに基づくのではなく、皆さんの理解度や関心の対象を見ながら、担当教員が柔軟に対応していきます。	

(学部科目 / Undergraduate Courses) 授業外学習の指示 / Recommendations for Private Study

(大学院科目 / Graduate Courses) 授業の方法 / Study Method

宿題を課すことがありますので、必ずやってきて下さい。当面の授業外学習としては、まずそれが大事です。それではもの足りない、という方には、「フランス語講座」(NHK)の視聴をお薦めします(内容的にも十分に楽しめますよ)。

成績評価方法 / Grading Criteria and Method of Evaluation

種別 / Kind	割合 / Percentage	評価基準等 / Grading Criteria etc.
平常点評価	100 %	

受講および研究に関するアドバイス / Advice to Students on Study and Research Methods

会話能力の修得を目指す授業である以上、授業への積極的な参加を重視します。会話上達の秘訣は、間違いを恐れないことです。フランス語会話上達のために、恥ずかしがることなく、積極的に発言しましょう。なお、受講生の達成度を図るため、担当教員によっては、小テストや試験などを行うこともあります。

語学の修得に王道はありません。毎回出席して、授業をよく聞いて、積極的に担当の先生とコミュニケーションをはかってください。

教科書 / Textbooks

参考書 / Reference Books

参考になる WWW ページ / Web Pages Useful for Reference

その他 / Others

フランス語・表現Ⅱ (3A)

12096

担当者名 / Instructor BOUVARD JULIEN

単位数 / Credit 1

授業の概要 / Course Outline

1 回生前期に引き続いて、週 1 回の授業を、フランス語を母語とする教員が担当します。これまで同様、受講生には、担当教員との会話を通じて、フランス語での表現力を身に付けていただきます。今まで以上に、多くの会話パターンを修得して下さい。高等な表現を駆使する必要はありません。むしろ、簡単な日常のフランス語をもちいてコミュニケーションする能力を、獲得していただきたいと思います。

到達目標 / Attainment Objectives

簡単なフランス語を用いて、明確な意思表示が出来るレベルの会話力を目指します。

履修しておくことが望まれる科目 / Required Preparatory Study

特にありません。

授業スケジュール / Course Schedule

授業日 (第N回)	テーマ / Theme	キーワード / Key Word
	教科書を用いて、15 回の授業を進めていきますが、「表現」クラスは受講生と教員の対話の上に成立する授業ですので、あらかじめ定められたスケジュールに基づくのではなく、皆さんの理解度や関心の対象を見ながら、担当教員が柔軟に対応していきます。	

(学部科目 / Undergraduate Courses) 授業外学習の指示 / Recommendations for Private Study

(大学院科目 / Graduate Courses) 授業の方法 / Study Method

宿題を課すことがありますので、必ずやってきて下さい。当面の授業外学習としては、まずそれが大事です。それではもの足りない、という方には、「フランス語講座」(NHK)の視聴をお薦めします(内容的にも十分に楽しめますよ)。

成績評価方法 / Grading Criteria and Method of Evaluation

種別 / Kind	割合 / Percentage	評価基準等 / Grading Criteria etc.
平常点評価	100 %	

受講および研究に関するアドバイス / Advice to Students on Study and Research Methods

会話能力の修得を目指す授業である以上、授業への積極的な参加を重視します。会話上達の秘訣は、間違いを恐れないことです。フランス語会話上達のために、恥ずかしがることなく、積極的に発言しましょう。なお、受講生の達成度を図るため、担当教員によっては、小テストや試験などを行うこともあります。

語学の修得に王道はありません。毎回出席して、授業をよく聞いて、積極的に担当の先生とコミュニケーションをはかってください。

教科書 / Textbooks

参考書 / Reference Books

参考になる WWW ページ / Web Pages Useful for Reference

その他 / Others

フランス語・表現II (3B)

10079

担当者名 / Instructor FARON ANTOINE

単位数 / Credit 1

授業の概要 / Course Outline

1 回生前期に引き続いて、週 1 回の授業を、フランス語を母語とする教員が担当します。これまで同様、受講生には、担当教員との会話を通じて、フランス語での表現力を身に付けていただきます。今まで以上に、多くの会話パターンを修得して下さい。高等な表現を駆使する必要はありません。むしろ、簡単な日常のフランス語をもちいてコミュニケーションする能力を、獲得していただきたいと思います。

到達目標 / Attainment Objectives

簡単なフランス語を用いて、明確な意思表示が出来るレベルの会話力を目指します。

履修しておくことが望まれる科目 / Required Preparatory Study

特にありません。

授業スケジュール / Course Schedule

授業日 (第N回)	テーマ / Theme	キーワード / Key Word
	教科書を用いて、15 回の授業を進めていきますが、「表現」クラスは受講生と教員の対話の上に成立する授業ですので、あらかじめ定められたスケジュールに基づくのではなく、皆さんの理解度や関心の対象を見ながら、担当教員が柔軟に対応していきます。	

(学部科目 / Undergraduate Courses) 授業外学習の指示 / Recommendations for Private Study

(大学院科目 / Graduate Courses) 授業の方法 / Study Method

宿題を課すことがありますので、必ずやってきて下さい。当面の授業外学習としては、まずそれが大事です。それではもの足りない、という方には、「フランス語講座」(NHK)の視聴をお薦めします(内容的にも十分に楽しめますよ)。

成績評価方法 / Grading Criteria and Method of Evaluation

種別 / Kind	割合 / Percentage	評価基準等 / Grading Criteria etc.
平常点評価	100 %	

受講および研究に関するアドバイス / Advice to Students on Study and Research Methods

会話能力の修得を目指す授業である以上、授業への積極的な参加を重視します。会話上達の秘訣は、間違いを恐れないことです。フランス語会話上達のために、恥ずかしがることなく、積極的に発言しましょう。なお、受講生の達成度を図るため、担当教員によっては、小テストや試験などを行うこともあります。

語学の修得に王道はありません。毎回出席して、授業をよく聞いて、積極的に担当の先生とコミュニケーションをはかってください。

教科書 / Textbooks

参考書 / Reference Books

参考になる WWW ページ / Web Pages Useful for Reference

その他 / Others

フランス語・表現II (3C)

12253

担当者名 / Instructor BOUVARD JULIEN

単位数 / Credit 1

授業の概要 / Course Outline

1 回生前期に引き続いて、週 1 回の授業を、フランス語を母語とする教員が担当します。これまで同様、受講生には、担当教員との会話を通じて、フランス語での表現力を身に付けていただきます。今まで以上に、多くの会話パターンを修得して下さい。高等な表現を駆使する必要はありません。むしろ、簡単な日常のフランス語をもちいてコミュニケーションする能力を、獲得していただきたいと思います。

到達目標 / Attainment Objectives

簡単なフランス語を用いて、明確な意思表示が出来るレベルの会話力を目指します。

履修しておくことが望まれる科目 / Required Preparatory Study

特にありません。

授業スケジュール / Course Schedule

授業日 (第N回)	テーマ / Theme	キーワード / Key Word
	教科書を用いて、15 回の授業を進めていきますが、「表現」クラスは受講生と教員の対話の上に成立する授業ですので、あらかじめ定められたスケジュールに基づくのではなく、皆さんの理解度や関心の対象を見ながら、担当教員が柔軟に対応していきます。	

(学部科目 / Undergraduate Courses) 授業外学習の指示 / Recommendations for Private Study

(大学院科目 / Graduate Courses) 授業の方法 / Study Method

宿題を課すことがありますので、必ずやってきて下さい。当面の授業外学習としては、まずそれが大事です。それではもの足りない、という方には、「フランス語講座」(NHK)の視聴をお薦めします(内容的にも十分に楽しめますよ)。

成績評価方法 / Grading Criteria and Method of Evaluation

種別 / Kind	割合 / Percentage	評価基準等 / Grading Criteria etc.
平常点評価	100 %	

受講および研究に関するアドバイス / Advice to Students on Study and Research Methods

会話能力の修得を目指す授業である以上、授業への積極的な参加を重視します。会話上達の秘訣は、間違いを恐れないことです。フランス語会話上達のために、恥ずかしがることなく、積極的に発言しましょう。なお、受講生の達成度を図るため、担当教員によっては、小テストや試験などを行うこともあります。

語学の修得に王道はありません。毎回出席して、授業をよく聞いて、積極的に担当の先生とコミュニケーションをはかってください。

教科書 / Textbooks

参考書 / Reference Books

参考になる WWW ページ / Web Pages Useful for Reference

その他 / Others

フランス語・表現II (3D)

10211

担当者名 / Instructor FARON ANTOINE

単位数 / Credit 1

授業の概要 / Course Outline

1 回生前期に引き続いて、週 1 回の授業を、フランス語を母語とする教員が担当します。これまで同様、受講生には、担当教員との会話を通じて、フランス語での表現力を身に付けていただきます。今まで以上に、多くの会話パターンを修得して下さい。高等な表現を駆使する必要はありません。むしろ、簡単な日常のフランス語をもちいてコミュニケーションする能力を、獲得していただきたいと思います。

到達目標 / Attainment Objectives

簡単なフランス語を用いて、明確な意思表示が出来るレベルの会話力を目指します。

履修しておくことが望まれる科目 / Required Preparatory Study

特にありません。

授業スケジュール / Course Schedule

授業日 (第N回)	テーマ / Theme	キーワード / Key Word
	教科書を用いて、15 回の授業を進めていきますが、「表現」クラスは受講生と教員の対話の上に成立する授業ですので、あらかじめ定められたスケジュールに基づくのではなく、皆さんの理解度や関心の対象を見ながら、担当教員が柔軟に対応していきます。	

(学部科目 / Undergraduate Courses) 授業外学習の指示 / Recommendations for Private Study

(大学院科目 / Graduate Courses) 授業の方法 / Study Method

宿題を課すことがありますので、必ずやってきて下さい。当面の授業外学習としては、まずそれが大事です。それではもの足りない、という方には、「フランス語講座」(NHK)の視聴をお薦めします(内容的にも十分に楽しめますよ)。

成績評価方法 / Grading Criteria and Method of Evaluation

種別 / Kind	割合 / Percentage	評価基準等 / Grading Criteria etc.
平常点評価	100 %	

受講および研究に関するアドバイス / Advice to Students on Study and Research Methods

会話能力の修得を目指す授業である以上、授業への積極的な参加を重視します。会話上達の秘訣は、間違いを恐れないことです。フランス語会話上達のために、恥ずかしがることなく、積極的に発言しましょう。なお、受講生の達成度を図るため、担当教員によっては、小テストや試験などを行うこともあります。

語学の修得に王道はありません。毎回出席して、授業をよく聞いて、積極的に担当の先生とコミュニケーションをはかってください。

教科書 / Textbooks

参考書 / Reference Books

参考になる WWW ページ / Web Pages Useful for Reference

その他 / Others

中国語上級コミュニケーションI (K)

11070

担当者名 / Instructor 菅谷 音

単位数 / Credit 1

授業の概要 / Course Outline

この授業は「リスニング力」、「読解力」の向上を図ることを目標とします。中級レベルの受講生が如何にしてより高度の語学力を身につけられたら良いかを学生の皆さんと共に考え、週一回の授業のなかで展開していく。中国語検定試験の「3級」から「2級」程度の授業です。また、就職活動に役立つ「実務型」中国語のいろは…に繋いでいけるような授業にしていけたらと考える、そういう授業です。

到達目標 / Attainment Objectives

- ◎ 「リスニング」力の上達が図られる。
- ◎ 既習した「文法事項」や「重要語彙」を強固なものに出来る。

履修しておくことが望まれる科目 / Required Preparatory Study

授業スケジュール / Course Schedule

授業日(第N回)	テーマ / Theme	キーワード / Key Word
第1回	レベルチェック(口頭試験＋筆記試験) 授業説明、学習要領、注意事項など	第1課の紹介、翌週の授業までの「(予習)課題」
第2回	第1課	
第3回	第1課	第1課のまとめ、翌週の「テスト課題」
第4回	第1課関連「テスト」 第2課	
第5回	第2課	
第6回	第2課	第2課のまとめ、翌週の「テスト課題」
第7回	第2課関連「テスト」 第3課	
第8回	第3課	第3課のまとめ、翌週の「テスト課題」
第9回	第3課関連「テスト」 第4課	
第10回	第4課	
第11回	第4課	第4課のまとめ、翌週の「テスト課題」
第12回	第4課関連「テスト」 プリント教材①	中国語「パソコン入力」講座①
第13回	プリント教材②	中国語「パソコン入力」講座② PC課題配布
第14回	前期学習の総まとめ、テスト範囲； 「語彙」、「文法」などの再確認；	「PC課題」関連質問受付、その指導
第15回	レベルチェック(口頭試験＋筆記試験)(60分) 試験解説 単位評価の諸説明(30分)	「PC課題」提出締め切り日

(学部科目 / Undergraduate Courses) 授業外学習の指示 / Recommendations for Private Study

(大学院科目 / Graduate Courses) 授業の方法 / Study Method

単語の暗記に努めること
ピンインや声調の「正確さ」に心がけること

成績評価方法 / Grading Criteria and Method of Evaluation

種別 / Kind	割合 / Percentage	評価基準等 / Grading Criteria etc.
平常点評価	100 %	出席、宿題などの日常的な取り組みは50%、小テスト、確認テストは50%
語学学習は地道な努力が必要です。例文や単語の暗記が不可欠ですので、そのつもりで取り込んで欲しい。		

受講および研究に関するアドバイス / Advice to Students on Study and Research Methods

非常に中身の濃い授業です。「単位取り」が目的の学生などはよく考えてから受講してもらいたい。また、宿題が多いことは言うまでもありません。きちんと勉学の姿勢が必要です。しかしながら、授業中はあくまでも和気藹々のつもりですので、積極参加をお願いしたい。

教科書 / Textbooks

書名 / Title	出版社・ISBNコード・コメント / Author, Publisher, ISBN Code, Comment
青島の朝	佐藤富士雄ほか、／白帝社、／／

参考書 / Reference Books

参考になる WWW ページ / Web Pages Useful for Reference

人民日報ネット <http://www.people.com.cn/>
ヤフー中国 <http://cn.news.yahoo.com/>
新浪 <http://www.sina.com.cn/>

その他 / Others

中国語上級表現読解I (K)

11578

担当者名 / Instructor 中川 正之

単位数 / Credit 1

授業の概要 / Course Outline

すでに習得した文法事項を踏まえ、さらに文脈から「生の中国語」を読解する訓練をする。テキストは『山の郵便配達』というタイトルで話題になった『那山・那人・那狗』を8課に分けて注釈、あらすじをほどこしたものの(白定社刊)を使用するが、事前に十分予習していることが前提になる。

到達目標 / Attainment Objectives

正確な発音、一字一句をおろそかにしない中国語理解、辞書に記載されていない表現を文脈や既習の文法で解説すること。

履修しておくことが望まれる科目 / Required Preparatory Study

中国語中級

授業スケジュール / Course Schedule

授業日(第N回)	テーマ / Theme	キーワード / Key Word
1	テキスト第一課。	アスペクト標識の「了」と文末助詞の「了」
2	テキスト第二課	数量表現
3	テキスト第三課(上)	方向補語
4	テキスト第三課(下)	書き言葉、話し言葉
5	テキスト第四課(上)	結果補語
6	テキスト第四課(下)	可能補語
7	テキスト第五課(上)	前置詞句
8	テキスト第五課(下)	分離動詞
9	テキスト第六課(上)	並列語
10	テキスト第六課(下)	比較表現
11	テキスト第七課(上)	補語
12	テキスト第七課(下)	文脈
13	テキスト第八課	呼応表現
14	検証テスト(60分) 総復習(30分)	発音、語彙、文法、談話
15	期末試験の講評	弱点克服

(学部科目 / Undergraduate Courses) 授業外学習の指示 / Recommendations for Private Study

(大学院科目 / Graduate Courses) 授業の方法 / Study Method

事前に十分予習すること、逐語訳に終わるのではなく、プロット展開を十分把握した上で内容を理解するよう努めること。

成績評価方法 / Grading Criteria and Method of Evaluation

種別 / Kind	割合 / Percentage	評価基準等 / Grading Criteria etc.
平常点評価	100 %	予習を十分しているか、正確な発音を習得しているか否かで判定する。

受講および研究に関するアドバイス / Advice to Students on Study and Research Methods

音声教材や映画化されたもののDVDを参照しながら短編を最後まで読み通すという強い意志を持つこと

教科書 / Textbooks

書名 / Title	出版社・ISBNコード・コメント / Author, Publisher, ISBN Code, Comment
那山・那人・那狗	中川正之・木村英樹他／白定社／4-89174-189-9／

参考書 / Reference Books

参考になる WWW ページ / Web Pages Useful for Reference

その他 / Others

中国語上級表現読解Ⅱ (K)

12829

担当者名 / Instructor 文 楚雄

単位数 / Credit 1

授業の概要 / Course Outline

この授業は、一回生時に身に付けた中国語能力の実情を踏まえながら、読解力、表現力、聴力など、いわば総合的な中国語運用能力を養成することを目標とします。ピンインなしのやさしい中国語の文を朗読したり、ピンインだけの文を音で理解したり、リスニングの練習をしたり、実用会話をしたりしていきます。また、中国語の映画やビデオも見ていきます。

到達目標 / Attainment Objectives

- ◎ 中上級程度の読解力を身に付ける。
- ◎ 中級程度の表現力、聴力を身に付ける。

履修しておくことが望まれる科目 / Required Preparatory Study

授業スケジュール / Course Schedule

授業日(第N回)	テーマ / Theme	キーワード / Key Word
第1回	第1課、表現読解のタイトル「春休みについて」。リスニング、会話の練習(1)	
第2回	第2課、表現読解のタイトル「自分の専攻について」。リスニング、会話の練習(2)	
第3回	第3課、表現読解のタイトル「中国のバス事情」。リスニング、会話の練習(3)、小テスト	
第4回	第4課、表現読解のタイトル「北京」。リスニング、会話の練習(4)	
第5回	第5課、表現読解のタイトル「中国のホテル」。リスニング、会話の練習(5)	
第6回	第6課、表現読解のタイトル「中国のお金」。リスニング、会話の練習(6)、小テスト	
第7回	第7課、表現読解のタイトル「家庭訪問」。リスニング、会話の練習(7)	
第8回	第8課、表現読解のタイトル「北京の繁華街」。リスニング、会話の練習(8)	
第9回	第9課、表現読解のタイトル「天安門」。リスニング、会話の練習(9)、小テスト	
第10回	第10課、表現読解のタイトル「中国の留学先から帰国」。リスニング、会話の練習(10)	
第11回	第11課、表現読解のタイトル「誕生日の話」。リスニング、会話の練習(11)	
第12回	第12課、表現読解のタイトル「漢字の話」。リスニング、会話の練習(12)、小テスト	
第13回	第13課、表現読解のタイトル「外国語の学習について」。リスニング、会話の練習(13)	
第14回	第14課、表現読解のタイトル「電話の掛け方」。リスニング、会話の練習(14)	
第15回	確認テスト(50分)、解説、前期のまとめ(40分)。	

 (学部科目 / Undergraduate Courses) 授業外学習の指示 / Recommendations for Private Study
 (大学院科目 / Graduate Courses) 授業の方法 / Study Methods

成績評価方法 / Grading Criteria and Method of Evaluation

種別 / Kind	割合 / Percentage	評価基準等 / Grading Criteria etc.
平常点評価	100 %	出席、宿題などの日常的な取り組みは50%、小テスト、確認テストは50%

受講および研究に関するアドバイス / Advice to Students on Study and Research Methods

出席や日常的な取り組みは重視します。辞書も持参していただきたいです。

教科書 / Textbooks

プリント教材使用

参考書 / Reference Books

参考になる WWW ページ / Web Pages Useful for Reference

人民日報ネット <http://www.people.com.cn/>
ヤフー中国 <http://cn.news.yahoo.com/>
新浪 <http://www.sina.com.cn/>

その他 / Others

中国語中級コミュニケーションI (K)

11121

担当者名 / Instructor 吉田 慶子

単位数 / Credit 1

授業の概要 / Course Outline

会話力の向上を目標とする。

初級で学習してきた知識を土台に、コミュニケーション能力の向上を目指すと同時に、毎回10分程度、リスニングの時間も形で授業を展開していく。

到達目標 / Attainment Objectives

留学など現地生活で遭遇する場面に対応できる会話力を身につけてほしい。

履修しておくことが望まれる科目 / Required Preparatory Study

授業スケジュール / Course Schedule

授業日(第N回)	テーマ / Theme	キーワード / Key Word
1	レベルチェックテスト(50分) 講義・解説・講評(40分)	
2	自己紹介	会話練習と発表
3	北京の方が寒い	会話練習と発表
4	今何してる。	会話練習と発表
5	郵便局へ小包を取りに行った。	会話練習と発表
6	色の薄い方が好き	会話練習と発表
7	明日は私の友達の誕生日	会話練習と発表
8	週末何しているの	会話練習と発表
9	友人宅への訪問①	会話練習と発表
10	友人宅への訪問②	会話練習と発表
11	もう慣れた。	会話練習と発表
12	お見舞い	会話練習と発表
13	彼は風邪を引いている	会話練習と発表
14	白酒をたくさん飲んでしまった。	会話練習と発表
15	テスト(60分) 解説・講評(30分)	

(学部科目 / Undergraduate Courses) 授業外学習の指示 / Recommendations for Private Study

(大学院科目 / Graduate Courses) 授業の方法 / Study Method

検定試験などの資格習得を視野に入れてほしい。

成績評価方法 / Grading Criteria and Method of Evaluation

種別 / Kind	割合 / Percentage	評価基準等 / Grading Criteria etc.
平常点評価	100 %	

受講および研究に関するアドバイス / Advice to Students on Study and Research Methods

各課ごとに書き取りテストがあるため、予習、復習が必要。

教科書 / Textbooks

既習者を対象しているため、初回レベルチェックを行う予定。

学習者のレベルに合わせて、毎回資料を配布する。

(既習者中心のクラスのため、全体のレベルによって内容若干変更することがある。)

参考書 / Reference Books

実際のコミュニケーション力と各回のリスニングテストの成績を重視。

三分の二以上のテスト参加は単位認定の必須条件である。

参考になる WWW ページ / Web Pages Useful for Reference

その他 / Others

中国語中級コミュニケーションII (K)

11146

担当者名 / Instructor 吉田 慶子

単位数 / Credit 1

授業の概要 / Course Outline

会話力の向上を目標とする。

初級で学習してきた知識を土台に、コミュニケーション能力の向上を目指すと同時に、毎回10～15分程度、リスニングの時間も設ける形で授業を展開していく。

到達目標 / Attainment Objectives

留学など現地生活で遭遇する場面に対応できる会話力を身につけてほしい。

履修しておくことが望まれる科目 / Required Preparatory Study

授業スケジュール / Course Schedule

授業日(第N回)	テーマ / Theme	キーワード / Key Word
1	どれぐらい中国語勉強したの？	会話練習と発表
2	朝御飯たべたら、探しにきて。	会話練習と発表
3	体を鍛えないと。。。。	会話練習と発表
4	もうすぐ試験だ	会話練習と発表
5	家族が帰ってくるようにと。。。。	会話練習と発表
6	試験結果はどう？	会話練習と発表
7	もうチケット購入した。	会話練習と発表
8	中国人学生パーティーへの参加	会話練習と発表
9	飛行機が延着した。	会話練習と発表
10	アパートを借りたい。	会話練習と発表
11	彼女は黄色のシャツを着ている。	会話練習と発表
12	アメリカならこんなに多くないー自転車を話題にー	会話練習と発表
13	このレストランの料理はなかなかいい	会話練習と発表
14	広告の下にお知らせが張ってある！	会話練習と発表
15	テスト(60分) 解説・講評(30分)	

(学部科目 / Undergraduate Courses) 授業外学習の指示 / Recommendations for Private Study

(大学院科目 / Graduate Courses) 授業の方法 / Study Method

検定試験などの資格習得を視野に入れてほしい。

成績評価方法 / Grading Criteria and Method of Evaluation

種別 / Kind	割合 / Percentage	評価基準等 / Grading Criteria etc.
平常点評価	100 %	
各課ごとに書き取りテストがあるため、予習、復習が必要。		

受講および研究に関するアドバイス / Advice to Students on Study and Research Methods

実際のコミュニケーション力と各回のリスニングテストの成績を重視。

三分の二以上のテスト参加は単位認定の必須条件である。

教科書 / Textbooks

資料配布

参考書 / Reference Books

参考になる WWW ページ / Web Pages Useful for Reference

その他 / Others

中国語中級表現読解I (K)

12952

担当者名 / Instructor 嶋田 恭子

単位数 / Credit 1

授業の概要 / Course Outline

プリント教材による講読を中心に授業を進める。ビデオも用い、ヒアリング力を育てる。講読の際、文法の復習、基礎固めをめざし、ていねいに読み進める。授業中、各学生の発音をチェックする。自宅学習用として文法書をサブテキストとし、何度か小テストを実施し確認する。中国語学習を通して、中国事情の理解を深めるとともに豊かな創造力と想像力を身につけて欲しい。

到達目標 / Attainment Objectives

発音をマスターし、辞書さえあれば文章が読める力をつけることを到達目標とする。

履修しておくことが望まれる科目 / Required Preparatory Study

授業スケジュール / Course Schedule

授業日(第N回)	テーマ / Theme	キーワード / Key Word
第1回	授業の概要と導入(授業プリント配布・授業内容説明等)	
第2回～4回	ビデオ鑑賞とシナリオ講読	
第5回～8回	最新の新聞を読む	
第9回～13回	ビデオ鑑賞とシナリオ講読	
第14回	漢詩または歌の暗誦テスト	
第15回	確認テスト(60分) まとめ(30分)	

(学部科目 / Undergraduate Courses) 授業外学習の指示 / Recommendations for Private Study
 (大学院科目 / Graduate Courses) 授業の方法 / Study Method

サブテキストは授業では使用しない。各自、自宅で学習すること。

成績評価方法 / Grading Criteria and Method of Evaluation

種別 / Kind	割合 / Percentage	評価基準等 / Grading Criteria etc.
平常点評価	100 %	60% 確認テスト 40% 小テストの平均(20点)・漢詩または歌の暗誦(20点)

検定試験を受けたい学生は、練習問題等を提出すれば個人的に添削に応じるので、各学生は主体的に学習に取り組んで欲しい。

受講および研究に関するアドバイス / Advice to Students on Study and Research Methods

教科書 / Textbooks

書名 / Title	出版社・ISBNコード・コメント / Author, Publisher, ISBN Code, Comment
Why?に答える初めての中国語文法書	相原茂等／同学社／／サブ・テキスト(自宅学習用)

参考書 / Reference Books

書名 / Title	出版社・ISBNコード・コメント / Author, Publisher, ISBN Code, Comment
中国語ははじめの一歩	木村英樹／ちくま書房／／

参考になる WWW ページ / Web Pages Useful for Reference

その他 / Others

中国語中級表現読解II (K)

11897

担当者名 / Instructor 嶋田 恭子

単位数 / Credit 1

授業の概要 / Course Outline

プリント教材による講読を中心に授業を進める。ビデオも使用しヒアリング力を育てる。講読の際、文法の復習、基礎固めをめざし、ていねいに読み進める。授業中、各学生の発音をチェックする。サブテキストの文法書は自宅学習用として、その確認のため何度か小テストを実施する。中国語学習を通して、中国事情の理解を深めるとともに豊かな創造力と想像力を身につけて欲しい。

到達目標 / Attainment Objectives

発音をマスターし、辞書さえあれば文章が読める力をつけることを到達目標とする。

履修しておくことが望まれる科目 / Required Preparatory Study

授業スケジュール / Course Schedule

授業日(第N回)	テーマ / Theme	キーワード / Key Word
第1回	授業の概要と導入(授業プリント配布・授業内容説明等)	
第2回～5回	ビデオ鑑賞とシナリオ講読	
第6回～9回	最新の新聞を読む	
第10回～13回	ビデオ鑑賞とシナリオ講読	
第14回	漢詩または歌の暗誦テスト	
第15回	確認テスト(60分) まとめ(30分)	

(学部科目 / Undergraduate Courses) 授業外学習の指示 / Recommendations for Private Study
(大学院科目 / Graduate Courses) 授業の方法 / Study Method

文法書をサブ・テキストとし、自宅学習用とする。

成績評価方法 / Grading Criteria and Method of Evaluation

種別 / Kind	割合 / Percentage	評価基準等 / Grading Criteria etc.
平常点評価	100 %	60% 確認テスト 40% 小テストの平均(20点)・漢詩または歌の暗誦(20点)

受講および研究に関するアドバイス / Advice to Students on Study and Research Methods

検定試験を受験する学生は、練習問題を提出すれば添削に応じる。各自、積極的に勉強に取り組んで欲しい。

教科書 / Textbooks

書名 / Title	出版社・ISBNコード・コメント / Author, Publisher, ISBN Code, Comment
Why?に答える初めての中国語文法書	相原茂等／同学社／／サブ・テキスト(自宅学習用)

参考書 / Reference Books

書名 / Title	出版社・ISBNコード・コメント / Author, Publisher, ISBN Code, Comment
中国語ははじめの一歩	木村英樹／ちくま書房／／

参考になる WWW ページ / Web Pages Useful for Reference

その他 / Others

中国語中級表現読解Ⅲ (K)

13017

担当者名 / Instructor 中川 正之

単位数 / Credit 1

授業の概要 / Course Outline

全11課からなる著者書き下ろしのテキストを用い、中国語の発音・語彙・文法の基礎項目を整理する。

到達目標 / Attainment Objectives

「生の中国語」を読解する前段階として必要な発音の正確さ、語彙、文法項目を習得する。

履修しておくことが望まれる科目 / Required Preparatory Study

中国語初級

授業スケジュール / Course Schedule

授業日(第N回)	テーマ / Theme	キーワード / Key Word
1	テキスト第一課(詩の部分は割愛)	方向補語、結果補語、可能補語、「把」字句
2	テキスト第二課(前半)	呼応表現
3	テキスト第二課(後半)	名詞の副詞的用法
4	テキスト第三課	状態補語、受身、使役
5	テキスト第四課(前半)	重ね型
6	テキスト第四課(後半)	連動文
7	テキスト第五課(前半)	連体修飾語、連用修飾語
8	テキスト第五課(後半)	古典中国語
9	テキスト第六課 この課の本文は中国人作家の手になるものである。	方言
10	テキスト第七課	古典詩、二つの「了」
11	テキスト第八課(前半)	反語、感嘆文
12	テキスト第八課(後半)	否定
13	テキスト第十一課 (第九課、第十課は省略)	前置詞
14	検証テスト(60分)と総復習(30分)	語彙、文法
15	検証テストの後評	中国語文法

(学部科目 / Undergraduate Courses) 授業外学習の指示 / Recommendations for Private Study
(大学院科目 / Graduate Courses) 授業の方法 / Study Method

新鮮さが失われ、ともすれば中だるみになりがちな段階であるが、丹念に辞書を引き、すでに習得した文法項目を再整理しておくこと。

成績評価方法 / Grading Criteria and Method of Evaluation

種別 / Kind	割合 / Percentage	評価基準等 / Grading Criteria etc.
平常点評価	100 %	予習をしているか、正確な発音ができるかを判定する。

受講および研究に関するアドバイス / Advice to Students on Study and Research Methods

とにかく可能な限り中国語に触れる機会をつくること。

教科書 / Textbooks

書名 / Title	出版社・ISBNコード・コメント / Author, Publisher, ISBN Code, Comment
中国語中級読本一読物・文法編	中川正之・沈国威／白定社／978-4-89174-188-4／
同著者・出版社の「中国語中級教科書-応用編-」と混同しないこと。	

参考書 / Reference Books

参考になる WWW ページ / Web Pages Useful for Reference

その他 / Others

中国語中級表現読解Ⅳ (K)

10572

担当者名 / Instructor 緒方 賢一

単位数 / Credit 1

授業の概要 / Course Outline

既習の中国語を基礎に、さらなるレベルアップを目指すために、聞く・話す・書くなどの各方面からアプローチする。中国語を本当に学習したい方の受講を期待します。

到達目標 / Attainment Objectives

- ・正確に発音できるようになる。
- ・簡単な会話ができる。
- ・基礎的な語彙・文法を着実に身につける。

履修しておくことが望まれる科目 / Required Preparatory Study

授業スケジュール / Course Schedule

授業日(第N回)	テーマ / Theme	キーワード / Key Word
第1回	ガイダンスと実力診断	1年間の授業の進め方、評価方法の説明、実力の再確認
第2回	第1課 在飛機上(1)	機内での会話・機内放送の読解と聞き取り・現代三字経“主語＋是＋目的語”と存在の“有”・“在”
第3回	第1課 在飛機上(2)	語法／練習／現代三字経11～20／“主語＋是＋目的語”と事物・様子を形容する文
第4回	第2課 機場迎接(1)	空港での会話／空港での会話／リニアモーターカー関連の読解／現代三字経21～30／可能を表す助動詞
第5回	第2課 機場迎接(2)	語法／練習／現代三字経31～40／願望・必要・当然を表す助動詞を使った文
第6回	第3課 去銀行(1)	両替に関する会話／銀行に関する読解／現代三字経41～50／副詞の使い方
第7回	第3課 去銀行(2)	語法／練習／現代三字経51～60／経験を表す文と動作の回数を表す語
第8回	中国語情報処理	中国語の入力方法／中国語サイトの閲覧方法
第9回	第4課 住宿(1)	ホテルのフロントでの会話／ホテルに関する読解／現代三字経61～70／動詞直後の“了”
第10回	第4課 住宿(2)	語法／練習／現代三字経71～80／文末の“了”
第11回	第5課 在教室(1)	教室での会話／学習に関する読解／現代三字経81～90／介詞構造の使い方
第12回	第5課 在教室(2)	語法／練習／情景会話／現代三字経91～100／二重目的語をとる動詞
第13回	第6課 吃飯(1)	レストランでの会話／食生活に関する読解／現代三字経101～110／進行形の表し方
第14回	第6課 吃飯(2)	語法／練習／情景会話／現代三字経111～120／近い未来の表し方
第15回	検証テスト(60分) まとめ(30分)	第1回～第14回の内容に関する期末テスト

(学部科目 / Undergraduate Courses) 授業外学習の指示 / Recommendations for Private Study
(大学院科目 / Graduate Courses) 授業の方法 / Study Method

成績評価方法 / Grading Criteria and Method of Evaluation

種別 / Kind	割合 / Percentage	評価基準等 / Grading Criteria etc.
平常点評価	100 %	テスト(60点)＋平常点(40点)の合計。 平常点は、出席はもちろんのこと、受講の態度等も評価の対象となります。

受講および研究に関するアドバイス / Advice to Students on Study and Research Methods

授業への積極的な参加を期待します。

教科書 / Textbooks

書名 / Title	出版社・ISBNコード・コメント / Author, Publisher, ISBN Code, Comment
上海びより	石慧敏／金子真也／好文出版／ISBN4872200918／

参考書 / Reference Books

書名 / Title

白水社中国語辞典

東方中国語辞典

出版社・ISBNコード・コメント / Author, Publisher, ISBN Code, Comment

伊地智善継／白水社／ISBN978456000823／説明が詳しく、単語の具体的な使い方を説明している。

相原茂／荒川清秀／大川完三郎／東方書店／ISBN4497203123／コラムが豊富で、同義語の説明や小日中辞典も便利

辞書(電子辞書可)は必ず授業に持参すること。

参考になる WWW ページ / Web Pages Useful for Reference

その他 / Others

中国語中級表現読解V (K)

10688

担当者名 / Instructor 緒方 賢一

単位数 / Credit 1

授業の概要 / Course Outline

中国語中級表現読解IV(K)と同じ。

到達目標 / Attainment Objectives

中国語中級表現読解IV(K)と同じ。

履修しておくことが望まれる科目 / Required Preparatory Study

授業スケジュール / Course Schedule

授業日(第N回)	テーマ / Theme	キーワード / Key Word
第1回	第7課 上街問路(1)	道を尋ねる会話／バスの車内放送の読解と聞き取り／現代三字経121～130／状態の持続の表し方
第2回	第7課 上街問路(2)	語法／練習／情景会話／現代三字経131～140／過去の時間・場所・方法などを強調する文
第3回	第8課 買東西(1)	お店での会話／上海の商店についての読解／現代三字経141～150／動作などの程度や評価の表し方
第4回	第8課 買東西(2)	語法／練習／情景会話／現代三字経151～160／比較や差の表し方
第5回	第9課 去豫園(1)	観光地へ行く会話／豫園についての読解／現代三字経161～170／動作の結果の表し方
第6回	第9課 去豫園(2)	語法／練習／現代三字経171～180／動作の方向の表し方
第7回	第10課 愛好(1)	趣味に関する会話／趣味に関する読解／現代三字経181～190／助動詞以外の可能の表し方
第8回	第11課 愛好(2)	語法／練習／情景会話／現代三字経191～200／動作や処置の表し方
第9回	第11課 游周荘(1)	観光地での会話／周荘に関する読解／現代三字経201～210／存在や出現・消失の表し方
第10回	第12課 游周荘(2)	語法／練習／情景会話／現代三字経211～220／使役の表し方
第11回	第12課 打的(1)	タクシーでの会話／タクシーに関する読解／現代三字経221～230／受け身の表し方
第12回	第12課 打的(2)	語法／練習／情景会話／現代三字経231～240／因果関係・逆接関係を表す構文
第13回	第13課 看医生(1)	病院での会話／病気に関する読解／現代三字経241～250／条件関係・仮定関係を表す
第14回	第13課 看医生(2)	語法／練習／情景会話／現代三字経251～260／譲歩関係・取捨関係を表す構文
第15回	検証テスト(60分) まとめ(30分)	第1回～第14回の内容に関する期末テスト

(学部科目 / Undergraduate Courses) 授業外学習の指示 / Recommendations for Private Study

(大学院科目 / Graduate Courses) 授業の方法 / Study Method

成績評価方法 / Grading Criteria and Method of Evaluation

種別 / Kind	割合 / Percentage	評価基準等 / Grading Criteria etc.
平常点評価	100 %	平常点(40点)とテスト(60点)の合計。 平常点は、出席は当然ですが受講態度も評価します。

受講および研究に関するアドバイス / Advice to Students on Study and Research Methods

教科書 / Textbooks

書名 / Title	出版社・ISBNコード・コメント / Author, Publisher, ISBN Code, Comment
上海びより	石慧敏／金子真也／好文出版／ISBN4872200918／

参考書 / Reference Books

書名 / Title	出版社・ISBNコード・コメント / Author, Publisher, ISBN Code, Comment
白水社中国語辞典	伊地智善継／白水社／ISBN9784560000823／説明が詳しく、単語の具体的な使い方

を説明している。

東方中国語辞典

相原茂／荒川清秀／大川完三郎／東方書店／ISBN4497203123／コラムが豊富で、
同義語の説明や小日中辞典も便利。

辞書(電子辞書可)は必ず授業に持参すること。

参考になる WWW ページ / Web Pages Useful for Reference

その他 / Others

ドイツ語上級コミュニケーションI (K)

11069

担当者名 / Instructor 梅村 マルティナ

単位数 / Credit 1

授業の概要 / Course Outline

Anhand einer Filmserie werden Studenten mit dem alltäglichen Leben in Deutschland vertraut gemacht. Die vorgeführten Dialoge werden geübt, abgeändert und frei wiedergegeben.

到達目標 / Attainment Objectives

Die Studenten sollen viel sprechen. Das Lehrmaterial gibt Anleitung fuer Dialoge in Alltagssituationen, die die Studenten ueben und vortragen.
Grundkenntnisse der Grammatik werden vorausgesetzt, aber bei Bedarf wiederholt und vertieft.

履修しておくことが望まれる科目 / Required Preparatory Study

Studenten werden gebeten den Stoff des vorherigen Unterrichts eigenverantwortlich zu wiederholen und aufgegebenen Hausaufgaben zu machen.

授業スケジュール / Course Schedule

授業日(第N回)	テーマ / Theme	キーワード / Key Word
1	Kennenlernen	Begrüßung Ermittlung des Wissensstandes
2	Lehrbuch	Erklärungen zum Lehrbuch
3	Abschnitt 1	Einführung der Personen des Films
4	Abschnitt 2	deutsche Handys
5	Abschnitt 3	Hobbies von deutschen Jugendlichen
6	Abschnitt 4	aktuelle Probleme von dt. Jugendlichen
7	Abschnitt 5	Kleidung
8	Abschnitt 6	Essen
9	Abschnitt 7	Einkaufen
10	Abschnitt 8	Geburtstag
11	Abschnitt 9	Arbeit
12	Abschnitt 10	Reisen
13	Abschnitt 11	Berlin
14	Abschnitt 12	Sport
15	Wiederholung	Rückblick mit Beurteilung

 (学部科目 / Undergraduate Courses) 授業外学習の指示 / Recommendations for Private Study
 (大学院科目 / Graduate Courses) 授業の方法 / Study Method

成績評価方法 / Grading Criteria and Method of Evaluation

種別 / Kind	割合 / Percentage	評価基準等 / Grading Criteria etc.
平常点評価	100 %	- regelmässige Anwesenheit - aktive Mitarbeit - Hausaufgaben - kleine Tests

受講および研究に関するアドバイス / Advice to Students on Study and Research Methods

教科書 / Textbooks

書名 / Title	出版社・ISBNコード・コメント / Author, Publisher, ISBN Code, Comment
Treffpunkt Berlin 1 Deutsch Aktuell	H. Sturmhoefel/Shinkotsusho/0-8219-2553-9/

参考書 / Reference Books

参考になる WWW ページ / Web Pages Useful for Reference

その他 / Others

ドイツ語上級表現読解I (K)

11577

担当者名 / Instructor 竹治 進

単位数 / Credit 1

授業の概要 / Course Outline

既習者対応の2年次コースです。既習者コース1年次で培ったドイツ語の力をさらに発展させ、総合的なドイツ語運用能力を獲得するための授業です。読むことに力点をおいた教材を使いますが、それはたんに読解力の養成のみを目標としたものではありません。読むことによって文法知識を確実なものにし、語彙を豊富にし、構文を正しく理解することができますし、それは、書く・聞く・話すという総合的なドイツ語運用能力の向上にも資するものです。環境問題を扱ったテキストを使用することによって、ドイツにおける環境問題意識や取り組みに対する理解も深めることができるはずです。

到達目標 / Attainment Objectives

- ・読む、書く、聞く、話すに活用できるまでドイツ語文法を確実にする
- ・ドイツ語の論理展開に慣れ、よく使われる言い回しを理解し、使えるようにする
- ・環境問題を中心としてドイツ語の語彙を豊かにする

履修しておくことが望まれる科目 / Required Preparatory Study

授業スケジュール / Course Schedule

授業日(第N回)	テーマ / Theme	キーワード / Key Word
1	地球、環境、人間(1)	
2	地球、環境、人間(2)	
3	水資源(1)	
4	水資源(2)	
5	森と耕地(1)	
6	森と耕地(2)	
7	ここまでの復習と問題整理。中間小テスト	
8	都市と交通(1)	
9	都市と交通(2)	
10	ゴミとリサイクル(1)	
11	ゴミとリサイクル(2)	
12	大気汚染	
13	健康被害	
14	温暖化	
15	まとめ(20分) 到達度検証テスト(70分)	

(学部科目 / Undergraduate Courses) 授業外学習の指示 / Recommendations for Private Study

(大学院科目 / Graduate Courses) 授業の方法 / Study Method

成績評価方法 / Grading Criteria and Method of Evaluation

種別 / Kind	割合 / Percentage	評価基準等 / Grading Criteria etc.
平常点評価	100 %	出席状況、授業への積極的参加、中間小テスト、最終講義での到達度検証テストにより評価

受講および研究に関するアドバイス / Advice to Students on Study and Research Methods

教科書 / Textbooks

プリントを使用します。

参考書 / Reference Books

書名 / Title	出版社・ISBNコード・コメント / Author, Publisher, ISBN Code, Comment
必携 ドイツ文法総まとめ	中島・平尾・朝倉／白水社／／文法のレファレンスとして最適

参考になる WWW ページ / Web Pages Useful for Reference

ドイツ語を学ぶ、ドイツを知る →ドイツ文化センター(Goethe-Institut)
 ドイツ留学、奨学金 →ドイツ学術交流会(DAAD)
 文字・音声・映像によるドイツの最新ニュースや各種情報 →Deutsche Welle

その他 / Others

ドイツ語上級表現読解II (K)

12828

担当者名 / Instructor 村本 容子

単位数 / Credit 1

授業の概要 / Course Outline

視聴覚教材を用いながら、「読む・書く・聞く・話す」というドイツ語の4つの力の習得を目指す。構文把握力および語彙力を養うだけでなく、ドイツ語を聞く力、ドイツ語で表現する力をも養成する。独検で過去に出題された問題も授業内で取り上げる。

到達目標 / Attainment Objectives

独検2級合格程度。さらに準1級合格を目指すための基礎学力を身につける。

履修しておくことが望まれる科目 / Required Preparatory Study

既習者(付属校以外の者で受講希望者は申し出ること)

授業スケジュール / Course Schedule

授業日(第N回)	テーマ / Theme	キーワード / Key Word
1	授業スケジュールの説明、プリントの配布、アンケートなど	
2	読解①、文法の復習①、リスニング①、熟語テスト①	
3	読解②、文法の復習②、リスニング②、熟語テスト②	
4	読解③、文法の復習③、リスニング③、熟語テスト③	
5	読解④、文法の復習④、リスニング④、熟語テスト④	
6	読解⑤、文法①、リスニング⑤、熟語テスト⑤	
7	読解⑥、文法②、リスニング⑥、熟語テスト⑥	
8	読解⑦、文法③、リスニング⑦、熟語テスト⑦	
9	読解⑧、文法④、リスニング⑧、熟語テスト⑧	
10	読解⑨、文法⑤、リスニング⑨、熟語テスト⑨	
11	読解⑩、文法実践問題①、リスニング⑩、熟語テスト⑩	
12	読解⑪、文法実践問題②、リスニング⑪、熟語テスト⑪	
13	読解⑫、文法実践問題③、リスニング⑫、熟語テスト⑫	
14	読解⑬、文法実践問題④、リスニング⑬、熟語テスト⑬	
15	検証テスト(60分)、統括講義(30分)	

(学部科目 / Undergraduate Courses) 授業外学習の指示 / Recommendations for Private Study

(大学院科目 / Graduate Courses) 授業の方法 / Study Method

成績評価方法 / Grading Criteria and Method of Evaluation

種別 / Kind	割合 / Percentage	評価基準等 / Grading Criteria etc.
平常点評価	100 %	検証テスト(筆記試験) 50% 出席、発表、小テストなど 50%

受講および研究に関するアドバイス / Advice to Students on Study and Research Methods

教科書 / Textbooks

テキストはプリントを使用

参考書 / Reference Books

書名 / Title	出版社・ISBNコード・コメント / Author, Publisher, ISBN Code, Comment
ドイツ文法大百科	／三修社／／自習用。希望者のみ購入。

参考になる WWW ページ / Web Pages Useful for Reference

その他 / Others

ドイツ語中級コミュニケーションI (K)

11120

担当者名 / Instructor 梅村 マルティナ

単位数 / Credit 1

授業の概要 / Course Outline

Anhand einer Filmserie werden Studenten mit dem alltaeglichen Leben in Deutschland vertraut gemacht. Die vorgefuehrten Dialoge werden geuebt, abgeaendert und frei wiedergegeben.

到達目標 / Attainment Objectives

Die Studenten sollen viel sprechen. Das Lehrmaterial gibt Anleitung fuer Dialoge in Alltagssituationen, die die Studenten ueben und vortragen.
Grundkenntnisse der Grammatik werden vorausgesetzt, aber bei Bedarf wiederholt und vertieft

履修しておくことが望まれる科目 / Required Preparatory Study

授業スケジュール / Course Schedule

授業日(第N回)	テーマ / Theme	キーワード / Key Word
1	Kennenlernen	Begrueßung und Ermittlung des Wissensstandes
2	Lehrbuch	Erklaerungen zum Lehrbuch
3	Abschnitt 1	Einfuehrung der Personen
4	Abschnitt 2	Telekommunikation – Handies
5	Abschnitt 3	Hobbies deutscher Jugendlicher
6	Abschnitt 4	Probleme deutscher Jugendlicher
7	Abschnitt 5	Kleidung
8	Abschnitt 6	Essen
9	Abschnitt 7	Einkaufen
10	Abschnitt 8	Geburtstag
11	Abschnitt 9	Arbeit
12	Abschnitt 10	Reisen
13	Abschnitt 11	Berlin
14	Abschnitt 12	Sport
15	Wiederholung	Rueckblick mit Beurteilung

(学部科目 / Undergraduate Courses) 授業外学習の指示 / Recommendations for Private Study
(大学院科目 / Graduate Courses) 授業の方法 / Study Metho

成績評価方法 / Grading Criteria and Method of Evaluation

種別 / Kind	割合 / Percentage	評価基準等 / Grading Criteria etc.
平常点評価	100 %	- regelmaessige Anwesenheit - aktive Mitarbeit - Hausaufgaben - kleine Tests

受講および研究に関するアドバイス / Advice to Students on Study and Research Methods

教科書 / Textbooks

書名 / Title	出版社・ISBNコード・コメント / Author, Publisher, ISBN Code, Comment
Treffpunkt Berlin 1 Deutsch Aktuell	H. Sturmhoefel/Shinkotsusho/0-8219-2553-9/

参考書 / Reference Books

参考になる WWW ページ / Web Pages Useful for Reference

その他 / Others

ドイツ語中級コミュニケーションII (K)

11145

担当者名 / Instructor 梅村 マルティナ

単位数 / Credit 1

授業の概要 / Course Outline

Anhand einer Filmserie werden Studenten mit dem alltaeglichen Leben in Deutschland vertraut gemacht. Die vorgefuehrten Dialoge werden geuebt, abgeaendert und frei wiedergegeben

到達目標 / Attainment Objectives

Die Studenten sollen viel sprechen. Das Lehrmaterial gibt Anleitung fuer Dialoge in Alltagssituationen, die die Studenten ueben und vortragen.
Grundkenntnisse der Grammatik werden vorausgesetzt, aber bei Bedarf wiederholt unRd vertieft.

履修しておくことが望まれる科目 / Required Preparatory Study

授業スケジュール / Course Schedule

授業日(第N回)	テーマ / Theme	キーワード / Key Word
1	Kennenlernen	Begrueßung und Ermittlung des Wissenstandes
2	Lehrbuch	Erklaerungen zum Lehrbuch
3	Abschnitt 1	Vorstellung der Protagonisten
4	Abschnitt 2	Kontaktaufnahme
5	Abschnitt 3	Freizeit deutscher Jugendlicher
6	Abschnitt 4	Lernprobleme, Geldprobleme...
7	Abschnitt 5	Kleider machen Leute?
8	Abschnitt 6	Essen und Trinken
9	Abschnitt 7	Einkaufen in Kaufhaus
10	Abschnitt 8	Geburtstag und andere Feste
11	Abschnitt 9	Arbeitsmarkt in Deutschland
12	Abschnitt 10	deutsche Staedte
13	Abschnitt 11	deutsche Staedte
14	Abschnitt 12	Fussball
15	Wiederholung	Rueckblick mit Beurteilung

(学部科目 / Undergraduate Courses) 授業外学習の指示 / Recommendations for Private Study
(大学院科目 / Graduate Courses) 授業の方法 / Study Metho

成績評価方法 / Grading Criteria and Method of Evaluation

種別 / Kind	割合 / Percentage	評価基準等 / Grading Criteria etc.
平常点評価	100 %	- regelmaessige Anwesenheit - aktive Mitarbeit - Hausaufgaben - kleine Tests

受講および研究に関するアドバイス / Advice to Students on Study and Research Methods

教科書 / Textbooks

書名 / Title	出版社・ISBNコード・コメント / Author, Publisher, ISBN Code, Comment
Treffpunkt Berlin 1 Deutsch Aktuell	H. Sturmhoefel/Shinkotsusho/0-8219-2553-9/

参考書 / Reference Books

参考になる WWW ページ / Web Pages Useful for Reference

その他 / Others

ドイツ語中級表現読解I (K)

12951

担当者名 / Instructor 村本 容子

単位数 / Credit 1

授業の概要 / Course Outline

視聴覚教材を用いながら、「読む・書く・聞く・話す」というドイツ語の4つの力の習得を目指す。構文把握力および語彙力を養うだけでなく、ドイツ語を聞く力、ドイツ語で表現する力をも養成する。

到達目標 / Attainment Objectives

独検3級合格程度。さらに2級合格を目指すための基礎学力を身につける。

履修しておくことが望まれる科目 / Required Preparatory Study

既習者(付属校以外の者で受講希望者は申し出ること)

授業スケジュール / Course Schedule

授業日(第N回)	テーマ / Theme	キーワード / Key Word
1	授業スケジュールの説明、プリントの配布、アンケートなど	
2	リスニング①、表現①、単語テスト①、読解①、クイズ①	
3	リスニング②、表現②、単語テスト②、読解②、クイズ②	
4	リスニング③、表現③、単語テスト③、読解③、クイズ③	
5	リスニング④、表現④、単語テスト④、読解④、クイズ④	
6	リスニング⑤、表現⑤、単語テスト⑤、読解⑤、クイズ⑤	
7	リスニング⑥、表現⑥、単語テスト⑥、読解⑥、クイズ⑥	
8	リスニング⑦、表現⑦、単語テスト⑦、読解⑦、クイズ⑦	
9	リスニング⑧、表現⑧、単語テスト⑧、読解⑧、クイズ⑧	
10	リスニング⑨、表現⑨、単語テスト⑨、読解⑨、クイズ⑨	
11	リスニング⑩、表現⑩、単語テスト⑩、読解⑩、クイズ⑩	
12	リスニング⑪、表現⑪、単語テスト⑪、読解⑪、クイズ⑪	
13	リスニング⑫、表現⑫、単語テスト⑫、読解⑫、クイズ⑫	
14	リスニング⑬、表現⑬、単語テスト⑬、読解⑬、クイズ⑬	
15	総括講義(30分)、検証テスト(60分)	

(学部科目 / Undergraduate Courses) 授業外学習の指示 / Recommendations for Private Study

(大学院科目 / Graduate Courses) 授業の方法 / Study Method

成績評価方法 / Grading Criteria and Method of Evaluation

種別 / Kind	割合 / Percentage	評価基準等 / Grading Criteria etc.
平常点評価	100 %	検証テスト(筆記試験)30% 出席、発表、小テストなど 70%

検証テスト(筆記試験)の成績および平常点(出席状況、発表、小テストの成績等)から総合的に評価する(検証テスト30%、平常点70%)。授業における練習によってドイツ語を修得することが望ましいので、授業には積極的に参加すること。

受講および研究に関するアドバイス / Advice to Students on Study and Research Methods

「ドイツ語中級表現読解Ⅲ」(後期、金曜4限)と継続して受講することが望ましい。

また、月曜5限にも「ドイツ語中級表現読解Ⅳ」(前期)「ドイツ語中級表現読解Ⅴ」(後期)のクラスを設けています(担当者も同じ)が、月曜のクラスでは、高校で学んだ文法の復習と独検3級合格に必要とされるレベルの文法の習得を目指しますので、合わせて受講するのがよいでしょう。月曜と金曜のどちらか一方のみの受講の場合は、できるだけ月曜5限の「ドイツ語中級表現読解Ⅳ」(前期)、「ドイツ語中級表現読解Ⅴ」(後期)を履修してください。

第1回の授業は必ず出席してください。その際、辞書および高校の授業で使用していたテキスト等を持参のこと。

ドイツの映画やドイツの文化を紹介するビデオなども見ながら、楽しく学習しましょう。

教科書 / Textbooks

テキストはプリントを使用。

参考書 / Reference Books

書名 / Title	出版社・ISBNコード・コメント / Author, Publisher, ISBN Code, Comment
ドイツ文法大百科	／三修社／／自習用。希望者のみ購入。

参考になる WWW ページ / Web Pages Useful for Reference

ドイツ語中級表現読解II (K)

11896

担当者名 / Instructor 江城 忠雄

単位数 / Credit 1

授業の概要 / Course Outline

この講義では、これまで学んできたドイツ語の知識をより確実なものとしながら、基礎的な段階から更なる段階へと展開させ、修得することを目指します。

到達目標 / Attainment Objectives

1. ドイツ語の文章が音読でき、辞書を使って読解できるようになること。
2. あいさつや自己紹介、簡単な文章などをドイツ語で表現できるようになること。

履修しておくことが望まれる科目 / Required Preparatory Study

授業スケジュール / Course Schedule

授業日(第N回)	テーマ / Theme	キーワード / Key Word
1-2	発音(アルファベート、単語、あいさつなど)	
3-4	Lek.1 Deutschsprachiger Raum(発音と読解)	名詞の複数形、命令形
5-6	Lek.2 Spaeter(発音と読解)	前置詞の格支配
7	小テスト1(30分)、まとめ1(60分)	
8-9	Lek.3 Charlie Chaplin(発音と読解)	動詞の3基本形、過去人称変化、副文
10-11	Lek.4 Scheinpraeparat(発音と読解)	
12	小テスト2(30分)、まとめ2(60分)	
13-14	Lek.5 Der schlaue Verkäufer(発音と読解)	
15	小テスト3(30分)、まとめ3(60分)	

(学部科目 / Undergraduate Courses) 授業外学習の指示 / Recommendations for Private Study

(大学院科目 / Graduate Courses) 授業の方法 / Study Method

成績評価方法 / Grading Criteria and Method of Evaluation

種別 / Kind	割合 / Percentage	評価基準等 / Grading Criteria etc.
平常点評価	100 %	出席、授業参加、小テスト、宿題など

受講および研究に関するアドバイス / Advice to Students on Study and Research Methods

教科書 / Textbooks

書名 / Title	出版社・ISBNコード・コメント / Author, Publisher, ISBN Code, Comment
改訂版・ドイツ語ユーモア小品集	菊池悦朗／第三書房／978-4-8086-1117-

参考書 / Reference Books

参考になる WWW ページ / Web Pages Useful for Reference

ドイツ語を学ぶ、ドイツを知る・・・ドイツ文化センター(Goethe-Institut)
 ドイツ留学、奨学金・・・ドイツ学術交流会(DAAD)
 文字・音声・映像によるドイツの最新ニュースや各種情報・・・Deutsche Welle

その他 / Others

ドイツ語中級表現読解Ⅲ (K)

13016

担当者名 / Instructor 村本 容子

単位数 / Credit 1

授業の概要 / Course Outline

視聴覚教材を用いながら、「読む・書く・聞く・話す」というドイツ語の4つの力の習得を目指す。構文把握力および語彙力を養うだけでなく、ドイツ語を聞く力、ドイツ語で表現する力をも養成する。

到達目標 / Attainment Objectives

独検3級合格程度。さらに2級合格を目指すための基礎学力を身につける。

履修しておくことが望まれる科目 / Required Preparatory Study

既習者(付属校以外の者で受講希望者は申し出ること)

授業スケジュール / Course Schedule

授業日(第N回)	テーマ / Theme	キーワード / Key Word
1	リスニング①、表現①、単語テスト①、読解①	
2	リスニング②、表現②、単語テスト②、読解②	
3	リスニング③、表現③、単語テスト③、読解③	
4	リスニング④、表現④、単語テスト④、読解④	
5	リスニング⑤、表現⑤、単語テスト⑤、読解⑤	
6	リスニング⑥、表現⑥、単語テスト⑥、読解⑥	
7	リスニング⑦、表現⑦、単語テスト⑦、読解⑦	
8	リスニング⑧、表現⑧、単語テスト⑧、読解⑧	
9	リスニング⑨、表現⑨、単語テスト⑨、読解⑨	
10	リスニング⑩、表現⑩、単語テスト⑩、読解⑩	
11	リスニング⑪、表現⑪、単語テスト⑪、読解⑪	
12	リスニング⑫、表現⑫、単語テスト⑫、読解⑫	
13	リスニング⑬、表現⑬、単語テスト⑬、読解⑬	
14	リスニング⑭、表現⑭、単語テスト⑭、読解⑭	
15	総括講義(30分)、検証テスト(60分)	

(学部科目 / Undergraduate Courses) 授業外学習の指示 / Recommendations for Private Study

(大学院科目 / Graduate Courses) 授業の方法 / Study Method

成績評価方法 / Grading Criteria and Method of Evaluation

種別 / Kind	割合 / Percentage	評価基準等 / Grading Criteria etc.
平常点評価	100 %	検証テスト 30% 出席、発表、小テスト 70%

検証テスト(筆記試験)の成績および平常点(出席状況、発表、小テストの成績等)から総合的に評価する(検証テスト30%、平常点70%)。授業における練習によってドイツ語を修得することが望ましいので、授業には積極的に参加すること。

受講および研究に関するアドバイス / Advice to Students on Study and Research Methods

「ドイツ語中級表現読解Ⅰ」(前期、金曜4限)と継続して受講することが望ましい。

また、月曜5限にも「ドイツ語中級表現読解Ⅳ」(前期)「ドイツ語中級表現読解Ⅴ」(後期)のクラスを設けています(担当者も同じ)が、月曜のクラスでは、高校で学んだ文法の復習と独検3級合格に必要とされるレベルの文法の習得を目指しますので、合わせて受講するとよいでしょう。月曜と金曜のどちらか一方のみの受講の場合は、できるだけ月曜5限の「ドイツ語中級表現読解Ⅳ」(前期)、「ドイツ語中級表現読解Ⅴ」(後期)を履修してください。

第1回の授業は必ず出席してください。その際、辞書および高校の授業で使用していたテキスト等を持参のこと。

ドイツの映画やドイツの文化を紹介するビデオなども見ながら、楽しく学習しましょう。

教科書 / Textbooks

テキストはプリントを使用

参考書 / Reference Books

書名 / Title	出版社・ISBNコード・コメント / Author, Publisher, ISBN Code, Comment
ドイツ文法大百科	／三修社／／自習用。希望者のみ購入。

参考になる WWW ページ / Web Pages Useful for Reference

その他 / Others

ドイツ語中級表現読解Ⅳ (K)

10571

担当者名 / Instructor 村本 容子

単位数 / Credit 1

授業の概要 / Course Outline

視聴覚教材を用いながら、「読む・書く・聞く・話す」というドイツ語の4つの力の習得を目指す。構文把握力および語彙力を養うだけでなく、ドイツ語を聞く力、ドイツ語で表現する力をも養成する。

リスニング練習、語彙力の強化の他、高校で学んだ文法の復習と独検3級合格に必要とされるレベルの文法の習得を目指します。

到達目標 / Attainment Objectives

独検3級合格程度。さらに2級合格を目指すための基礎学力を身につける。

履修しておくことが望まれる科目 / Required Preparatory Study

既習者(付属校以外の者で受講希望者は申し出ること)

授業スケジュール / Course Schedule

授業日(第N回)	テーマ / Theme	キーワード / Key Word
1	授業スケジュールの説明、プリントの配布、アンケートなど	
2	文法の復習(動詞の現在人称変化)、リスニング①	
3	文法の復習(名詞と冠詞)、リスニング②	
4	文法の復習(不規則変化動詞)、リスニング③	
5	文法の復習(命令形)、リスニング④	
6	文法の復習(冠詞類)、リスニング⑤	
7	文法の復習(人称代名詞)、リスニング⑥	
8	文法の復習(前置詞)、リスニング⑦	
9	文法の復習(接続詞)、リスニング⑧	
10	文法の復習(話法の助動詞)、リスニング⑨	
11	文法の復習(分離動詞)、リスニング⑩	
12	文法の復習(再帰代名詞)、リスニング⑪	
13	文法の復習(形容詞)、リスニング⑫	
14	文法の復習(動詞の3基本形と過去)、リスニング⑬	
15	総括講義(30分)、検証テスト(60分)	

(学部科目 / Undergraduate Courses) 授業外学習の指示 / Recommendations for Private Study

(大学院科目 / Graduate Courses) 授業の方法 / Study Method

成績評価方法 / Grading Criteria and Method of Evaluation

種別 / Kind	割合 / Percentage	評価基準等 / Grading Criteria etc.
平常点評価	100 %	検証テスト(筆記試験)60点 出席、発表など 40点

検証テスト(筆記試験)の成績および平常点(出席状況、発表、小テストの成績等)から総合的に評価する(検証テスト60%、平常点40%)。授業における練習によってドイツ語を修得することが望ましいので、授業には積極的に参加すること。

受講および研究に関するアドバイス / Advice to Students on Study and Research Methods

「ドイツ語中級表現読解Ⅴ」(後期、月曜5限)と継続して受講することが望ましい。

また、金曜4限にも「ドイツ語中級表現読解Ⅰ」(前期)「ドイツ語中級表現読解Ⅲ」(後期)のクラスを設けています(担当者も同じ)が、金曜のクラスでは、リスニングの練習、読解、語彙力の強化、簡単な作文など独検3級合格に必要とされる総合力の養成を目指して授業を行いますので、合わせて受講するのがよいでしょう。

月曜と金曜のどちらか一方のみの受講の場合は、できるだけ月曜5限の「ドイツ語中級表現読解Ⅳ」(前期)、「ドイツ語中級表現読解Ⅴ」(後期)を履修してください。

第1回の授業は必ず出席してください。その際、辞書および高校の授業で使用していたテキスト等を持参のこと。

ドイツの映画やドイツの文化を紹介するビデオなども見ながら、楽しく学習しましょう。

教科書 / Textbooks

テキストはプリントを使用

参考書 / Reference Books

書名 / Title	出版社・ISBNコード・コメント / Author, Publisher, ISBN Code, Comment
ドイツ文法大百科	／三修社／／自習用。希望者のみ購入。

参考になる WWW ページ / Web Pages Useful for Reference

その他 / Others

ドイツ語中級表現読解Ⅴ(K)

10687

担当者名 / Instructor 村本 容子

単位数 / Credit 1

授業の概要 / Course Outline

視聴覚教材を用いながら、「読む・書く・聞く・話す」というドイツ語の4つの力の習得を目指す。構文把握力および語彙力を養うだけでなく、ドイツ語を聞く力、ドイツ語で表現する力をも養成する。

リスニング練習の他、高校で学んだ文法の復習と独検3級合格に必要なとされるレベルの文法の習得を目指します。

到達目標 / Attainment Objectives

独検3級合格程度。さらに2級合格を目指して基礎学力を身につける。

履修しておくことが望まれる科目 / Required Preparatory Study

既習者(付属校以外の者で受講希望者は申し出ること)

授業スケジュール / Course Schedule

授業日(第N回)	テーマ / Theme	キーワード / Key Word
1	文法(未来形)、リスニング①	
2	文法(完了形)、リスニング②	
3	文法(関係代名詞①)、リスニング③	
4	文法(関係代名詞②)、リスニング④	
5	文法(受動)、リスニング⑤	
6	文法(zu不定詞)、リスニング⑥	
7	文法(分詞)、リスニング⑦	
8	文法(接続法①)、リスニング⑧	
9	文法(接続法②)、リスニング⑨	
10	文法(指示代名詞など)、リスニング⑩	
11	文法(総合問題①)、リスニング⑪	
12	文法(総合問題②)、リスニング⑫	
13	文法(総合問題③)、リスニング⑬	
14	文法(総合問題④)、リスニング⑭	
15	総括講義(30分)、検証テスト(60分)	

(学部科目 / Undergraduate Courses) 授業外学習の指示 / Recommendations for Private Study

(大学院科目 / Graduate Courses) 授業の方法 / Study Method

成績評価方法 / Grading Criteria and Method of Evaluation

種別 / Kind	割合 / Percentage	評価基準等 / Grading Criteria etc.
平常点評価	100 %	検証テスト(筆記試験)60% 出席、発表 40%

検証テスト(筆記試験)の成績および平常点(出席状況、発表、小テストの成績等)から総合的に評価する(検証テスト60%、平常点40%)。授業における練習によってドイツ語を修得することが望ましいので、授業には積極的に参加すること。

受講および研究に関するアドバイス / Advice to Students on Study and Research Methods

「ドイツ語中級表現読解Ⅳ」(前期、月曜5限)と継続して受講することが望ましい。

また、金曜4限にも「ドイツ語中級表現読解Ⅰ」(前期)「ドイツ語中級表現読解Ⅲ」(後期)のクラスを設けています(担当者も同じ)が、金曜のクラスでは、リスニングの練習、読解、語彙力の強化、簡単な作文など独検3級合格に必要なとされる総合力の養成を目指して授業を行いますので、合わせて受講するのがよいでしょう。

月曜と金曜のどちらか一方のみの受講の場合は、できるだけ月曜5限の「ドイツ語中級表現読解Ⅳ」(前期)、「ドイツ語中級表現読解Ⅴ」(後期)を履修してください。

第1回の授業は必ず出席してください。その際、辞書および高校の授業で使用していたテキスト等を持参のこと。

ドイツの映画やドイツの文化を紹介するビデオなども見ながら、楽しく学習しましょう。

教科書 / Textbooks

テキストはプリントを使用

参考書 / Reference Books

書名 / Title	出版社・ISBNコード・コメント / Author, Publisher, ISBN Code, Comment
ドイツ文法大百科	／三修社／／自習用。希望者のみ購入。

参考になる WWW ページ / Web Pages Useful for Reference

フランス語上級コミュニケーションI (K)

11078

担当者名 / Instructor DEZ BRIGITTE

単位数 / Credit 1

授業の概要 / Course Outline

これまでに学習したことからさらに視野を広げるために、フランスの社会、文化等について学びます。

到達目標 / Attainment Objectives

コミュニケーション力を高める(フランス語を読む、聞く、話す、書く)。

履修しておくことが望まれる科目 / Required Preparatory Study

仏検3級の取得、あるいは同等の学力を有する学生を対象とする。

授業スケジュール / Course Schedule

授業日(第N回)	テーマ / Theme	キーワード / Key Word
1回目	フランスの地方	各地の特色
2回目	フランスの地方	各地の特色
3回目	季節の暮らし、気候	日常の暮らし方
4回目	日本との比較	にほんの暮らしについて、フランス語で発表します(テストになります)
5回目	フランスの食事	食生活、ガストロノミー(美食)
6回目	社会における女性と男性	日本とフランスの社会における男女の役割の相違点
7回目	現代フランス社会の家族のイメージ	かぞく、カップル、そして子供
8回目	フランス人の礼儀と会話のマナー	フランス人のマナー
9回目	日本の食生活、家族のイメージ、マナー	日本の食生活、家族のイメージ、マナーについて、フランス語で発表します(テストになります)
10回目	フランスの教育制度	リセとバカロレア
11回目	フランスの高等教育	大学、グランゼコール、専門職教育
12回目	フランス人と仕事	雇用と失業
13回目	フランス人と仕事	職場の人間関係
14回目	フランス人とバカンス	バカンスの季節
15回目	まとめのテスト	リスニング、書き取りのテスト(60分) テスト後の説明・解説(30分)

(学部科目 / Undergraduate Courses) 授業外学習の指示 / Recommendations for Private Study

(大学院科目 / Graduate Courses) 授業の方法 / Study Method

成績評価方法 / Grading Criteria and Method of Evaluation

種別 / Kind	割合 / Percentage	評価基準等 / Grading Criteria etc.
平常点評価	100 %	授業期間中に学習到達度をテスト(3回)で評価する。出席点も考慮する。

受講および研究に関するアドバイス / Advice to Students on Study and Research Methods

仏和辞典が必要。

教科書 / Textbooks

書名 / Title	出版社・ISBNコード・コメント / Author, Publisher, ISBN Code, Comment
La Societe francaise	J-L Azra, O Lorillard, B Vannieuwenhuysse, 三木賀雄, 池澤明子, 市川まり子 / alma / 978-4-904147-00-9 /

参考書 / Reference Books

参考になる WWW ページ / Web Pages Useful for Reference

その他 / Others

フランス語上級表現読解I (K)

11642

担当者名 / Instructor 橋本 知子

単位数 / Credit 1

授業の概要 / Course Outline

フランス語力を高める一話しながら、書きながら

平易な文章をくりかえし綴ります。それを発音してみます。会話として自らのことばの中で使ってみます。フランス語の音の感覚について考えます。綴り方を覚えます。文章構築のされ方に注目します。語彙をふやす練習をします。文法知識の確認も行います。

到達目標 / Attainment Objectives

フランス語の言語感覚を養う

フランス語の会話力を高める

短い文章を綴ることで、フランス語の書きことばに親しむ

履修しておくことが望まれる科目 / Required Preparatory Study

フランス語初級文法

授業スケジュール / Course Schedule

授業日(第N回)	テーマ / Theme	キーワード / Key Word
第一回	言葉と綴り	フランス語の綴りに親しむことで、語彙力を高める。
第二回	仏仏辞典	仏仏辞典の使い方に慣れる。
第三回	接頭語、接尾語	代表的な接頭語、接尾語を覚えることで、語彙力を高める。それをもとに会話練習をする。
第四回	フランス語で説明する	ある事例について、シンプルかつ具体的に説明する練習をする。それをもとに会話練習をする。
第五回	テスト、文のしくみ	まとめのテストを行なう(約30分)。フランス語特有の文章のしくみを覚える。自分で単文を綴ってみる。それをもとに会話練習をする。
第六回	短文	フランス語の言語感覚をつちかうために、詩など短文を書いてみる。
第七回	メールを書く	教科書に挙っている例文を参考にして、フランス語でメールを書いてみる。それをもとに会話練習をする。
第八回	手紙の書き方	教科書に挙っている例文を参考にして、フランス語で短い手紙を書いてみる。それをもとに会話練習をする。
第九回	文と文をつなぐ	教科書に挙っている例文を参考にして、接続詞に注意しつつ、短いテキストを書く練習をする。それをもとに会話練習をする。
第十回	テスト、繰り返しを避けて書く	まとめのテストを行なう(約30分)。教科書に挙っている例文を参考にして、類語を多用した文章を書いてみる。それをもとに会話練習をする。
第十一回	絵葉書を書いてみる	教科書に挙っている例文を参考にして、親しい人に絵葉書を書いてみる。そこでの話題をもとに、会話練習をする。
第十二回	日本文化を紹介する	教科書に挙っている例文を参考にして、日本文化を紹介する短い文章を綴ってみる。それをもとに会話練習をする。
第十三回	有名な人物の生涯を語る	教科書に挙っている例文を参考にしながら、周知の人物についてフランス語で説明してみる。それをもとに会話練習してみる。
第十四回	出身地を紹介する。	教科書に挙っている例文を参考にして、自分の出身地について説明してみる。それをもとに会話練習してみる。
第十五回	テスト、映画、短文	まとめのテスト(約30分)。短編映画をみて、それについてフランス語で感想を述べる。短い文章で自らの思考を表現してみる。

成績評価方法 / Grading Criteria and Method of Evaluation

<u>種別 / Kind</u>	<u>割合 / Percentage</u>	<u>評価基準等 / Grading Criteria etc.</u>
平常点評価	100 %	出席点。 小テスト。 授業参加(会話練習における)

受講および研究に関するアドバイス / Advice to Students on Study and Research Methods

辞書を持参して下さい。

教科書 / Textbooks

<u>書名 / Title</u>	<u>出版社・ISBNコード・コメント / Author, Publisher, ISBN Code, Comment</u>
A la ligne	Mayumi Shiotani, Louise Gonthier-Hosoi / 駿河台出版社 / 4-411-01166-2 C1085 /

参考書 / Reference Books参考になる WWW ページ / Web Pages Useful for Referenceその他 / Others

フランス語上級表現読解Ⅱ (K)

12847

担当者名 / Instructor 入江 宏和

単位数 / Credit 1

授業の概要 / Course Outline

フランスに関する正確な知識を得るために、フランスの歴史をテーマとした文章を取り上げ、授業を進めていきます。

取り上げられる文章の難度は、決して高くありません。やさしいフランス語の文章を多読することで、読解力を養うとともにフランスの歴史の概観を把握することが狙いです。

到達目標 / Attainment Objectives

- 1) 辞書を引きながら、フランス語の文章を読みこなすことができる。
- 2) フランスの歴史に関する知識を得ている。

履修しておくことが望まれる科目 / Required Preparatory Study

中級表現読解Ⅰ～Ⅴ

授業スケジュール / Course Schedule

授業日(第N回)	テーマ / Theme	キーワード / Key Word
1	ヴェルサンジェトリクス	フランスの歴史概観
2	クロヴィス	ガリアの支配と当時のバリ
3	シャルルマーニュ	学校教育と武勲詩
4	フィリップ・オーギュスト	カペー王朝
5	ジャンヌ・ダルク	イギリス勢力とブルゴーニュ派
6	フランソワ1世	ロワール川の城、ルネサンス
7	アンリIV世	聖バルテルミーの虐殺
8	ルイXIII世	フォンテヌブロー、学士院
9	ルイXV世と啓蒙時代	旧制度、特権階級、第三身分
10	ルイXVI世	マリー・アントワネット、ギヨタン
11	フランス革命	三部会、球戯場の誓い
12	フランス革命	恐怖政治、総裁政府
13	第一帝政	ナポレオン、ナポレオン法典
14	王政復古	憲章、栄光の三日間
15	産業革命	炭坑、鉄道、労働

(学部科目 / Undergraduate Courses) 授業外学習の指示 / Recommendations for Private Study

(大学院科目 / Graduate Courses) 授業の方法 / Study Method

自宅での予習復習、与えられた宿題の提出は必須です

成績評価方法 / Grading Criteria and Method of Evaluation

種別 / Kind	割合 / Percentage	評価基準等 / Grading Criteria etc.
平常点評価	100 %	定刻出席、毎回の課題、小テストの成績を評価します

受講および研究に関するアドバイス / Advice to Students on Study and Research Methods

辞書の他に、文法書が必要ですが、いままでに学習した教科書を最大限に活用してください、それが最良の参考書になるでしょう。

教科書 / Textbooks

書名 / Title	出版社・ISBNコード・コメント / Author, Publisher, ISBN Code, Comment
フランスの歴史	Didier ROBERT、大島優／早美出版社／978-4-86042-056-7／

参考書 / Reference Books

書名 / Title	出版社・ISBNコード・コメント / Author, Publisher, ISBN Code, Comment
ケータイ＜万能＞フランス語文法	久松健一／駿河台出版社／

参考になる WWW ページ / Web Pages Useful for Reference

「KSMホームページ」(<http://www.ksm.fr/>)フランス・ニュースが、日本語で読むことができます。とくに「今日のフランス」コーナーは、現在のフランスをリアルタイムに知ることが出来て、大変面白いものになっています。

その他 / Others

フランス語中級コミュニケーションI (K)

11126

担当者名 / Instructor DEZ BRIGITTE

単位数 / Credit 1

授業の概要 / Course Outline

基礎的な知識をさらに広げることを目指す。

到達目標 / Attainment Objectives

フランス語のリスニングと会話ができるようになる。

履修しておくことが望まれる科目 / Required Preparatory Study

フランスの文法基礎の復習をしておく。

授業スケジュール / Course Schedule

授業日(第N回)	テーマ / Theme	キーワード / Key Word
1回目	1a - 3bまで 挨拶、自己紹介	発音の基礎、etreの活用
2回目	4a - 7a 家族、住まい	家族について、avoir, habiterの活用
3回目	7b - 10a 好きな物、すること	faire, 動詞の現在形
4回目	テスト	リスニングと会話のテスト(60分) テスト後の説明・解説(30分)
5回目	10b - 11a 暮らし、習慣について	代名動詞、現在形
6回目	11b - 12a 予定について	場所を表す前置詞、複合過去
7回目	12b どうでしたか？	半過去
8回目	13a, b 外国へ行ったことがありますか？いつ？	代名詞、y, en
9回目	テスト	リスニングと会話のテスト(60分) テスト後の説明・解説(30分)
10回目	15a, b 食事について	部分冠詞、関係代名詞
11回目	16a, b (12bの復習) 最近どんな映画をみましたか？	形容詞
12回目	17a 映画によく行きますか？	頻度と期間の表現
13回目	17b 両親によく手紙を書きますか？	間接目的語の代名詞
14回目	18a (11aの復習) 今週、予定がありますか？	単純未来形
15回目	テスト	リスニングと会話のテスト(60分) テスト後の説明・解説(30分)

(学部科目 / Undergraduate Courses) 授業外学習の指示 / Recommendations for Private Study
(大学院科目 / Graduate Courses) 授業の方法 / Study Methods

成績評価方法 / Grading Criteria and Method of Evaluation

種別 / Kind	割合 / Percentage	評価基準等 / Grading Criteria etc.
平常点評価	100 %	授業中に実施するテスト(3回)で評価する。出席、宿題も考慮する。

受講および研究に関するアドバイス / Advice to Students on Study and Research Methods

仏和辞書が必要である。

教科書 / Textbooks

書名 / Title	出版社・ISBNコード・コメント / Author, Publisher, ISBN Code, Comment
Conversation et Grammaire	M Ohki, J-L Azra, B Vannieuwenhuysse / ALMA / 4-9901072-9-2 /

参考書 / Reference Books

参考になる WWW ページ / Web Pages Useful for Reference

その他 / Others

フランス語中級コミュニケーションII (K)

11149

担当者名 / Instructor DEZ BRIGITTE

単位数 / Credit 1

授業の概要 / Course Outline

前期からの続きで、基礎的な知識をさらに広げることを目指す。

到達目標 / Attainment Objectives

フランス語のリスニングと会話ができるようになる。

履修しておくことが望まれる科目 / Required Preparatory Study

前期の授業の復讐をしておく。

授業スケジュール / Course Schedule

授業日(第N回)	テーマ / Theme	キーワード / Key Word
1回目	夏休みの間、何をしましたか？どこかへ誰かと行きましたか？	12a,b, 13a,bの復習になります。
2回目	これまで学習したことテスト	リスニング、会話のテスト(60分) テスト後の説明・解説(30分)
3回目	18b 外国に住んでみたいですか？	前未来形
4回目	19a パリは東京よりも大きいですか？	比較級
5回目	19b どこにいくのがおすすですか？	スベルの読み方
6回目	20a 一か月のいくら使いますか？	70以上の数字
7回目	20b お金持ちだったら何をしますか？	条件法
8回目	21a(14bの復習) 日本でいちばん住みやすい都市はどこですか？	最上級
9回目	21b パリの人口はどれくらいですか？	大きな数字
10回目	22a あなたにとって理想の仕事は何ですか？	接続法
11回目	22b どんな友達が「ほしいですか？	関係代名詞
12回目	テスト	リスニング、会話のテスト(60分) テスト後の説明・解説(30分)
13回目	フランスのアニメ映画(キリクと魔女)のシナリオを読み、理解する。 1/3の映画をみる。	映画の内容を理解する。
14回目	フランスのアニメ映画(キリクと魔女)のシナリオを読み、理解する。 2/3の映画をみる。	映画の内容を理解する。
15回目	フランスのアニメ映画(キリクと魔女)のシナリオを読み、理解する。 3/3の映画をみる。 映画についてのコメント、討論をする。	映画の内容を理解する。

(学部科目 / Undergraduate Courses) 授業外学習の指示 / Recommendations for Private Study
(大学院科目 / Graduate Courses) 授業の方法 / Study Methods

成績評価方法 / Grading Criteria and Method of Evaluation

種別 / Kind	割合 / Percentage	評価基準等 / Grading Criteria etc.
平常点評価	100 %	授業中に実施するテストで評価する。出席、宿題も考慮する。

受講および研究に関するアドバイス / Advice to Students on Study and Research Methods

仏和辞書が必要。

教科書 / Textbooks

書名 / Title	出版社・ISBNコード・コメント / Author, Publisher, ISBN Code, Comment
------------	--

参考書 / Reference Books

参考になる WWW ページ / Web Pages Useful for Reference

その他 / Others

フランス語中級表現読解I (K)

12978

担当者名 / Instructor 久津内 一雄

単位数 / Credit 1

授業の概要 / Course Outline

大学に入学以前に一通りフランス語を学んできた学生のための科目という性格から、初級文法の総復習を行い、中級フランス語レベルに移行できるようにします。

到達目標 / Attainment Objectives

大学以前に仏検4級に合格している学生も何人かいますので、仏検3級を目指します。

履修しておくことが望まれる科目 / Required Preparatory Study

特にありません。

授業スケジュール / Course Schedule

授業日(第N回)	テーマ / Theme	キーワード / Key Word
1	名詞の分類・登録の仕方、冠詞	
2	フランス語の基本文型	
3	疑問代名詞、関係代名詞	
4	人称代名詞、補語人称代名詞	
5	中性代名詞	
6	複合過去形 I	
7	複合過去形 II	
8	半過去形	
9	複合過去形と半過去形	
10	大過去形	
11	複合過去と半過去と大過去	
12	単純未来形	
13	前未来形	
14	練習問題	
15	総括講義(30分)・試験(60分)	

(学部科目 / Undergraduate Courses) 授業外学習の指示 / Recommendations for Private Study
(大学院科目 / Graduate Courses) 授業の方法 / Study Method

成績評価方法 / Grading Criteria and Method of Evaluation

種別 / Kind	割合 / Percentage	評価基準等 / Grading Criteria etc.
平常点評価	100 %	
三分の二以上の出席が不可欠です。		

受講および研究に関するアドバイス / Advice to Students on Study and Research Methods

教科書 / Textbooks

プリントを配布します。

参考書 / Reference Books

参考になる WWW ページ / Web Pages Useful for Reference

その他 / Others

フランス語中級表現読解Ⅱ (K)

11966

担当者名 / Instructor 川本 真也

単位数 / Credit 1

授業の概要 / Course Outline

一年生のフランス語既習者を対象に、初級・中級文法を解説しつつ、基本的な読解および作文の問題練習を行なう。セメスター終盤の数回は、新聞記事やエッセーなどの読解にも取り組んでみる予定である。

到達目標 / Attainment Objectives

- ・初級文法の復習と中級文法の習得。
- ・基本的な読解力、作文力の養成。
- ・発音規則に基づいた正確な音読。

履修しておくことが望まれる科目 / Required Preparatory Study

前期において、フランス語中級表現読解Ⅰを履修しておくことが望ましい。

授業スケジュール / Course Schedule

授業日(第N回)	テーマ / Theme	キーワード / Key Word
第1回	・授業説明 ・文法解説 ・文法、読解、作文の問題練習	初級文法総復習(その1)
第2回	・文法解説 ・文法、読解、作文の問題練習	初級文法総復習(その2)
第3回	・文法解説 ・文法、読解、作文の問題練習	初級文法総復習(その3)
第4回	・文法解説 ・文法、読解、作文の問題練習	複合過去、受動態、関係代名詞ほか
第5回	・文法解説 ・文法、読解、作文の問題練習	命令法、人称代名詞
第6回	・文法解説 ・文法、読解、作文の問題練習	代名動詞、指示代名詞、所有代名詞
第7回	・文法解説 ・文法、読解、作文の問題練習	半過去、大過去
第8回	・文法解説 ・文法、読解、作文の問題練習	中性代名詞
第9回	・文法解説 ・文法、読解、作文の問題練習	単純未来、前未来、非人称動詞、使役・知覚動詞
第10回	・文法解説 ・文法、読解、作文の問題練習	疑問代名詞、直接・間接疑問、関係代名詞(その2)
第11回	・文法解説 ・文法、読解、作文の問題練習	単純過去、前過去、現在分詞、ジェロンディフ
第12回	・文法解説 ・文法、読解、作文の問題練習	条件法
第13回	・文法解説 ・文法、読解、作文の問題練習	接続法(その1)
第14回	・文法解説 ・文法、読解、作文の問題練習	接続法(その2)
第15回	・復習(30分) ・検証テスト(60分)	授業の総括

(学部科目 / Undergraduate Courses) 授業外学習の指示 / Recommendations for Private Study

(大学院科目 / Graduate Courses) 授業の方法 / Study Method

授業に先立ち、受講者は各自丹念に辞書を引き、十分な予習をしておくこと。

成績評価方法 / Grading Criteria and Method of Evaluation

種別 / Kind	割合 / Percentage	評価基準等 / Grading Criteria etc.
平常点評価	100 %	普段の発表の内容、小テストの成績、宿題提出、出席状況を30%、最終日の検証テストの結果を70%として、最終的な評価を行なう。

受講および研究に関するアドバイス / Advice to Students on Study and Research Methods

中級フランス語をより完成された形で習得するために、じっくり課題に取り組んでほしい。そのために、辞書や文法書をひもとく労を厭わないでいただきたい。また日常生活の中で、フランス文化にいつそう親しんでいていただきたい。

教科書 / Textbooks

書名 / Title

出版社・ISBNコード・コメント / Author, Publisher, ISBN Code, Comment

『新初等フランス語教本～文法編』

京都大学フランス語教室／白水社／ISBN978－4－560－06091－9／

参考書 / Reference Books

仏和・和仏辞典や文法書については、授業で紹介する。

参考になる WWW ページ / Web Pages Useful for Reference

その他 / Others

フランス語中級表現読解Ⅲ (K)

13034

担当者名 / Instructor 久津内 一雄

単位数 / Credit 1

授業の概要 / Course Outline

フランス語中級表現読解Ⅰを受講していることを前提にして、初級文法後半の総復習を行い、中級フランス語レベルに移行できるようにします。

到達目標 / Attainment Objectives

仏検3級を完全射程に入れます。

履修しておくことが望まれる科目 / Required Preparatory Study

フランス語中級表現読解Ⅰ

授業スケジュール / Course Schedule

授業日(第N回)	テーマ / Theme	キーワード / Key Word
1	総復習Ⅰ	
2	総復習Ⅱ	
3	複合時制における人称代名詞直接目的語と間接目的語	
4	過去分詞の性・数一致	
5	代名動詞の複合時制	
6	関係節における複合時制	
7	フランス語の受動表現	
8	補語人称代名詞	
9	中性代名詞	
10	条件法現在形	
11	条件法過去形	
12	現在分詞とジェルマンディフ	
13	接続法現在形	
14	接続法過去形	
15	総括講義(30分)・試験(60分)	

(学部科目 / Undergraduate Courses) 授業外学習の指示 / Recommendations for Private Study

(大学院科目 / Graduate Courses) 授業の方法 / Study Method

成績評価方法 / Grading Criteria and Method of Evaluation

種別 / Kind	割合 / Percentage	評価基準等 / Grading Criteria etc.
平常点評価	100 %	
三分の二以上の出席が不可欠です。		

受講および研究に関するアドバイス / Advice to Students on Study and Research Methods

教科書 / Textbooks

プリントを配布します。

参考書 / Reference Books

参考になる WWW ページ / Web Pages Useful for Reference

その他 / Others

フランス語中級表現読解IV (K)

10626

担当者名 / Instructor 入江 宏和

単位数 / Credit 1

授業の概要 / Course Outline

* 既習者対象: この授業はフランス語学習経験者を対象としています。すでに得られた語学力をより確実なものとする中で、総合的なフランス語力の向上を目指します。具体的には、文法事項の基礎を再確認しつつ、語彙力とリスニング力の向上を目指します。

到達目標 / Attainment Objectives

初歩的な日常フランス語力をほぼ完全に読み、書き、理解することを目標とします。語彙力としては約500～800語の習得と運用を目指し、仏検の4～3級レベルが目安になります。

履修しておくことが望まれる科目 / Required Preparatory Study

授業スケジュール / Course Schedule

授業日(第N回)	テーマ / Theme	キーワード / Key Word
1.	アルファベ、発音の基礎	名詞の性数
2	冠詞	定冠詞、不定冠詞
3	第1群規則動詞	疑問文、否定文、部分冠詞
4	数字	年齢、時間、日付、序数
5	形容詞	様々な否定の表現、動詞faire
6	形容詞	指示形容詞、所有形容詞
7	非人称構文	疑問代名詞、命令法
8	疑問詞のまとめ	疑問副詞、疑問代名詞
9	人称代名詞のまとめ	代名動詞、人称代名詞の位置
10	未来と比較	単純未来、前未来
11	複合過去、関係代名詞	助動詞との複合
12	仏検4級レベルの基本会話	中性代名詞が使えるか
13	過去の使い分けとニュアンス	複合過去、大過去、半過去
14	条件法、現在分詞	事実に対する仮定、婉曲な表現
15	接続法	観念、感情、疑いの表現

(学部科目 / Undergraduate Courses) 授業外学習の指示 / Recommendations for Private Study

(大学院科目 / Graduate Courses) 授業の方法 / Study Method

授業の予習復習、課題の提出は必須です。

成績評価方法 / Grading Criteria and Method of Evaluation

種別 / Kind	割合 / Percentage	評価基準等 / Grading Criteria etc.
平常点評価	100 %	定刻出席、練習問題、小テスト、など平常の授業への参加を評価します。

受講および研究に関するアドバイス / Advice to Students on Study and Research Methods

教科書 / Textbooks

書名 / Title	出版社・ISBNコード・コメント / Author, Publisher, ISBN Code, Comment
フェリシタシオンー仏検 シャ・シャ・シャー	久松健一／駿河台出版／／

参考書 / Reference Books

書名 / Title	出版社・ISBNコード・コメント / Author, Publisher, ISBN Code, Comment
ケータイ＜万能＞フランス語文法	久松健一／駿河台出版社／／

参考になる WWW ページ / Web Pages Useful for Reference

インターネット上のフランス語学習サイト; 多数あるので自分にあったものを探してみましょう

その他 / Others

フランス語中級表現読解V (K)

10749

担当者名 / Instructor 入江 宏和

単位数 / Credit 1

授業の概要 / Course Outline

* フランス語既習者対象: この授業はすでにある程度のフランス語力を身につけ、語学力のさらなる向上を目指す方のための授業です。初学者が躓きがちな文法事項を再確認すると共に、さらに高度な文法事項を学習し、語彙、作文力とリスニング力の向上を目指します。

到達目標 / Attainment Objectives

基本的な日常フランス語をほぼ完全に読み、書き、理解することを目指します。語彙力の目安としては、約800～1000語の習得を目指します。仏検の3～2級レベルを到達の目安とします。

履修しておくことが望まれる科目 / Required Preparatory Study

フランス語中級表現読解IV

授業スケジュール / Course Schedule

授業日(第N回)	テーマ / Theme	キーワード / Key Word
1	基礎力チェック	文型の種類
2	文型パターン	主語＋動詞＋目的語
3	時制の展開	直説法現在
4	時制の展開	直説法複合過去
5	時制の展開	複合過去、大過去、半過去
6	時制の展開	直説法単純未来・前未来
7	法の展開	条件法
8	法の展開	接続法、命令法
9	句と節の展開	形容詞と副詞
10	句と節の展開	動詞句、名詞句
11	句と節の展開	形容詞節、副詞節
12	文の変形と転換	否定と態
13	文の変形と転換	比較、中性代名詞、分詞
14	文の変形と転換	話法の転換
15	聴力の展開	ディクテと作文

(学部科目 / Undergraduate Courses) 授業外学習の指示 / Recommendations for Private Study

(大学院科目 / Graduate Courses) 授業の方法 / Study Method

授業の予習復習、課題の提出は必須です。

成績評価方法 / Grading Criteria and Method of Evaluation

種別 / Kind	割合 / Percentage	評価基準等 / Grading Criteria etc.
平常点評価	100 %	定刻出席、練習問題と課題、小テストなど日常の学習への取り組みを評価します。

受講および研究に関するアドバイス / Advice to Students on Study and Research Methods

教科書 / Textbooks

書名 / Title	出版社・ISBNコード・コメント / Author, Publisher, ISBN Code, Comment
アトゥ(Atout)ー＜仏検3級・2級レベル＞中級文法の決め手	久松健一／駿河台出版社／4-411-01189-1／

参考書 / Reference Books

書名 / Title	出版社・ISBNコード・コメント / Author, Publisher, ISBN Code, Comment
ケータイ＜万能＞フランス語文法	久松健一／駿河台出版社／

参考になる WWW ページ / Web Pages Useful for Reference

インターネット上にはフランス語学習サイトが沢山あります。自分にあってものを探してみましょう。

その他 / Others

基本スペイン語(単位回復)(A)

11191

担当者名 / Instructor 寺本 あけみ

単位数 / Credit 1

授業の概要 / Course Outline

基本的な文法事項の講義・演習をベースに、スペイン・スペイン語圏の国々の文化(生活習慣・文化遺産・世界遺産など)を紹介しながら進めていく。

到達目標 / Attainment Objectives

基本文法の習得とスペイン・スペイン語圏の国々に関する文化的基礎知識を身につけることを目標とする。

履修しておくことが望まれる科目 / Required Preparatory Study

授業スケジュール / Course Schedule

授業日(第N回)	テーマ / Theme	キーワード / Key Word
1	はじめに 発音・アクセント	
2	名詞・形容詞 生活習慣(1)	
3	動詞(1) 文化遺産(1)	
4	第1回小テストと解説	
5	動詞(2) 生活習慣(2)	
6	動詞(3) 文化遺産(2)	
7	動詞(4) 生活習慣(3)	
8	第2回小テストと解説	
9	動詞(5) 文化遺産(3)	
10	動詞(6) 生活習慣(4)	
11	動詞(7) 文化遺産(4)	
12	第3回小テストと解説	
13	動詞(8) 生活習慣(5)	
14	動詞(9) 文化遺産(5)	
15	第4回小テストと解説	

(学部科目 / Undergraduate Courses) 授業外学習の指示 / Recommendations for Private Study

(大学院科目 / Graduate Courses) 授業の方法 / Study Methods

復習を行うこと。
授業時には西和辞書を必携のこと。

成績評価方法 / Grading Criteria and Method of Evaluation

種別 / Kind	割合 / Percentage	評価基準等 / Grading Criteria etc.
平常点評価	100 %	
このクラスの成績評価はC・Fのみである。		

受講および研究に関するアドバイス / Advice to Students on Study and Research Methods

教科書 / Textbooks

プリントを配付する。

参考書 / Reference Books

参考になる WWW ページ / Web Pages Useful for Reference

スペイン語検定: <http://www.casa-esp.com/link-examen.html>
DELE: <http://www2.gol.com/users/esptokio/jap/dele.htm>

スペイン基本情報(外務省): <http://www.mofa.go.jp/mofaj/area/spain/>

その他 / Others

基本スペイン語(単位回復)(B)

11203

担当者名 / Instructor 寺本 あけみ

単位数 / Credit 1

授業の概要 / Course Outline

基本的な文法事項の講義・演習をベースに、スペイン・スペイン語圏の国々の文化(生活習慣・文化遺産・世界遺産など)を紹介しながら進めていく。

到達目標 / Attainment Objectives

基本文法の習得とスペイン・スペイン語圏の国々に関する文化的知識を身につけることを目標とする。

履修しておくことが望まれる科目 / Required Preparatory Study

授業スケジュール / Course Schedule

授業日(第N回)	テーマ / Theme	キーワード / Key Word
1	はじめに 発音・アクセント	
2	名詞・形容詞 生活習慣(1)	
3	動詞(1) 世界遺産(1)	
4	第1回小テストと解説	
5	動詞(2) 文化遺産(1)	
6	動詞(3) 生活習慣(2)	
7	動詞(4) 世界遺産(2)	
8	第2回小テストと解説	
9	動詞(5) 文化遺産(2)	
10	動詞(6) 生活習慣(3)	
11	動詞(7) 世界遺産(3)	
12	第3回小テストと解説	
13	動詞(8) 文化遺産(3)	
14	動詞(9) 生活習慣(4)	
15	第4回小テストと解説	

(学部科目 / Undergraduate Courses) 授業外学習の指示 / Recommendations for Private Study

(大学院科目 / Graduate Courses) 授業の方法 / Study Methods

復習を行うこと。
授業時は西和辞書を必携のこと。

成績評価方法 / Grading Criteria and Method of Evaluation

種別 / Kind	割合 / Percentage	評価基準等 / Grading Criteria etc.
平常点評価	100 %	
このクラスの成績評価はC・Fのみである。		

受講および研究に関するアドバイス / Advice to Students on Study and Research Methods

教科書 / Textbooks

プリントを配付する。

参考書 / Reference Books

参考になる WWW ページ / Web Pages Useful for Reference

スペイン語検定: <http://www.casa-esp.com/link-examen.html>
DELE: <http://www2.gol.com/users/esptokio/jap/dele.htm>

スペイン基本情報(外務省): <http://www.mofa.go.jp/mofaj/area/spain/>

その他 / Others

基本中国語(単位回復) (A)

11983

担当者名 / Instructor 宮城 美雪

単位数 / Credit 1

授業の概要 / Course Outline

中国語初級テキストを用いて、中国語の基礎を学ぶ。

到達目標 / Attainment Objectives

初級中国語文法理解し、必要単語を覚え、テキストの本文・例文を正しく読めるようになる。

履修しておくことが望まれる科目 / Required Preparatory Study

授業スケジュール / Course Schedule

授業日(第N回)	テーマ / Theme	キーワード / Key Word
1～2	発音編	小テストを実施する。
3～4	第一課: 初対面の挨拶と自己紹介	単語小テスト、朗読テストを実施する。
5～6	第二課: 出身地・家族構成・職業を語る	単語小テスト、朗読テストを実施する。
7～8	第三課: 大学生活を語る	単語小テスト、朗読テストを実施する。
9～10	第四課: 道順を聞く	単語小テスト、朗読テストを実施する。
11～12	第五課: 買い物	単語小テスト、朗読テストを実施する。
13～14	第六課: 料理を注文する	単語小テスト、朗読テストを実施する。
15	まとめ(30分)。試験(60分)。	

(学部科目 / Undergraduate Courses) 授業外学習の指示 / Recommendations for Private Study

(大学院科目 / Graduate Courses) 授業の方法 / Study Method

成績評価方法 / Grading Criteria and Method of Evaluation

種別 / Kind	割合 / Percentage	評価基準等 / Grading Criteria etc.
平常点評価	100 %	出席、点数。

このクラスの成績評価はC・Fのみである。

受講および研究に関するアドバイス / Advice to Students on Study and Research Methods

教科書 / Textbooks

書名 / Title	出版社・ISBNコード・コメント / Author, Publisher, ISBN Code, Comment
コミュニケーション中国語Level1	岡田英樹ほか／郁文堂／978-4-261-01837-0／

参考書 / Reference Books

参考になる WWW ページ / Web Pages Useful for Reference

その他 / Others

基本中国語(単位回復) (B)

11991

担当者名 / Instructor 宮城 美雪

単位数 / Credit 1

授業の概要 / Course Outline

中国語初級テキストを用いて、中国語の基礎を学ぶ。

到達目標 / Attainment Objectives

初級中国語文法理解し、必要単語を覚え、テキストの本文・例文を正しく読めるようになる。

履修しておくことが望まれる科目 / Required Preparatory Study

授業スケジュール / Course Schedule

授業日(第N回)	テーマ / Theme	キーワード / Key Word
1～2	発音編	小テストを実施する。
3～4	第一課: 初対面の挨拶と自己紹介。補充プリント。	単語小テスト、朗読テストを実施する。
5～6	第二課: 出身地・家族構成・職業を語る。補充プリント。	単語小テスト、朗読テストを実施する。
7～8	第三課: 大学生活を語る。補充プリント。	単語小テスト、朗読テストを実施する。
9～10	第四課: 道順を聞く。補充プリント。	単語小テスト、朗読テストを実施する。
11～12	第五課: 買い物。補充プリント。	単語小テスト、朗読テストを実施する。
13～14	第六課: 料理を注文する。補充プリント。	単語小テスト、朗読テストを実施する。
15	まとめ(30分)。試験(60分)。	

(学部科目 / Undergraduate Courses) 授業外学習の指示 / Recommendations for Private Study

(大学院科目 / Graduate Courses) 授業の方法 / Study Methods

成績評価方法 / Grading Criteria and Method of Evaluation

種別 / Kind	割合 / Percentage	評価基準等 / Grading Criteria etc.
平常点評価	100 %	出席、点数。

このクラスの成績評価はC・Fのみである。

受講および研究に関するアドバイス / Advice to Students on Study and Research Methods

教科書 / Textbooks

書名 / Title	出版社・ISBNコード・コメント / Author, Publisher, ISBN Code, Comment
コミュニケーション中国語Level1	岡田英樹ほか／郁文堂／978-4-261-01837-0／

参考書 / Reference Books

参考になる WWW ページ / Web Pages Useful for Reference

その他 / Others

基本朝鮮語(単位回復)(A)

11984

担当者名 / Instructor 庵澄 由香

単位数 / Credit 1

授業の概要 / Course Outline

ハングル検定4級レベルの基礎的な朝鮮語運用能力を習得することを目指します。
 ハングルおよび朝鮮語基礎文法の復習練習や、ハングル検定4級問題を実際に解いてみたり、会話練習などを行います。
 具体的な練習方法や進度は、受講者の朝鮮語能力に合わせて決めます。

到達目標 / Attainment Objectives

基礎的な朝鮮語を読み、書き、聞き取ることができるようになる。
 初歩的な語句で簡単な挨拶や紹介ができ、ある程度辞書を使うことができるようになる。
 基礎的な単語で短い文章を書くことができるようになる。

履修しておくことが望まれる科目 / Required Preparatory Study

授業スケジュール / Course Schedule

授業日(第N回)	テーマ / Theme	キーワード / Key Word
1	授業ガイダンス、実力テスト	
2	ハングルの文字と発音1(復習)	
3	ハングルの文字と発音2(復習)	
4	文法復習(指定詞、指示詞、助詞)	
5	復習、小テスト、テスト解説	
6	文法復習(丁寧形、疑問詞)	
7	文法復習(用言、連用形、過去形)	
8	復習、小テスト、テスト解説	
9	ハングル検定4級問題と解説(1)	
10	ハングル検定4級問題と解説(2)	
11	ハングル検定4級問題と解説(3)	
12	復習、小テスト、テスト解説	
13	ハングル検定4級問題と解説(4)	
14	ハングル検定4級問題と解説(5)	
15	検証テスト(30分)、解説(60分)	

 (学部科目 / Undergraduate Courses) 授業外学習の指示 / Recommendations for Private Study
 (大学院科目 / Graduate Courses) 授業の方法 / Study Method

成績評価方法 / Grading Criteria and Method of Evaluation

種別 / Kind	割合 / Percentage	評価基準等 / Grading Criteria etc.
平常点評価	100 %	出席・授業態度(40%)、小テスト(30%)、検証テスト(30%)
このクラスの成績評価はC・Fのみである。		

受講および研究に関するアドバイス / Advice to Students on Study and Research Methods

教科書 / Textbooks

書名 / Title	出版社・ISBNコード・コメント / Author, Publisher, ISBN Code, Comment
初級ハングルーコミュニケーションのためにー	梁貞模・盧載玉／新幹社／／

参考書 / Reference Books

参考になる WWW ページ / Web Pages Useful for Reference

その他 / Others

基本朝鮮語(単位回復)(B)

11992

担当者名 / Instructor 庵澄 由香

単位数 / Credit 1

授業の概要 / Course Outline

ハングル検定4級レベルの基礎的な朝鮮語運用能力を習得することを目指します。
ハングルおよび朝鮮語基礎文法の復習、会話練習、簡単な作文などを繰り返し行うことで、朝鮮語の基本的な文法・会話を練習します。
具体的な練習方法や進度は、受講者の朝鮮語能力に合わせて決めます。

到達目標 / Attainment Objectives

基礎的な朝鮮語を読み、書き、聞き取ることができるようになる。
初歩的な語句で簡単な挨拶や紹介ができ、ある程度辞書を使うことができるようになる。
基礎的な単語で短い文章を書くことができるようになる。

履修しておくことが望まれる科目 / Required Preparatory Study

授業スケジュール / Course Schedule

授業日(第N回)	テーマ / Theme	キーワード / Key Word
1	授業ガイダンス、実力テスト	
2	ハングルのしくみと書き方、発音	
3	発音練習(1):母音、子音、パッチム	
4	発音練習(2):母音、子音、パッチム	
5	復習、小テスト、テスト解説	
6	文法(1): 助詞のしくみ	書く、読む練習
7	文法(2): 丁寧形のしくみ	書く、読む練習
8	復習、小テスト、テスト解説	
9	文法(3)過去形のしくみ	書く、読む練習
10	文法(4)否定形のしくみ	書く、読む練習
11	文法(5)尊敬形のしくみ	書く、読む練習
12	復習、小テスト、テスト解説	
13	実際に使ってみよう:会話練習と書き取り(1)	
14	実際に使ってみよう:会話練習と書き取り(2)	
15	検証テスト(30分)、解説(60分)	

(学部科目 / Undergraduate Courses) 授業外学習の指示 / Recommendations for Private Study

(大学院科目 / Graduate Courses) 授業の方法 / Study Method

成績評価方法 / Grading Criteria and Method of Evaluation

種別 / Kind	割合 / Percentage	評価基準等 / Grading Criteria etc.
平常点評価	100 %	出席・授業態度(40%)、小テスト(30%)、検証テスト(30%)
このクラスの成績評価はC・Fのみである。		

受講および研究に関するアドバイス / Advice to Students on Study and Research Methods

教科書 / Textbooks

書名 / Title	出版社・ISBNコード・コメント / Author, Publisher, ISBN Code, Comment
初級ハングルーコミュニケーションのためにー	梁貞模・盧載玉／新幹社／／

参考書 / Reference Books

参考になる WWW ページ / Web Pages Useful for Reference

その他 / Others

基本ドイツ語(単位回復)(A)

11166

担当者名 / Instructor 林 晶

単位数 / Credit 1

授業の概要 / Course Outline

基本ドイツ語1の単位を回復するためのクラスです。ドイツ語の発音、動詞の現在形、名詞に関する文法事項を中心に授業を進めていきます。クラスではまず文法事項の説明をやり、その後、毎回プリントを使用して数多くの練習問題をこなしていきます。

到達目標 / Attainment Objectives

ドイツ語検定4級程度の内容で、基礎的なドイツ語運用能力の習得を目指す。

履修しておくことが望まれる科目 / Required Preparatory Study

授業スケジュール / Course Schedule

授業日(第N回)	テーマ / Theme	キーワード / Key Word
第1回目	授業の概要と導入	授業の進め方、到達目標、成績評価方法等の説明。プリントの配布。
第2回目	ドイツ語の発音(1)	アルファベートとウムラウトの発音練習。単母音と二重母音の発音練習。
第3回目	ドイツ語の発音(2)、人称代名詞	注意すべき子音の発音練習。人称代名詞の説明。
第4回目	動詞の現在人称変化(1)	規則動詞の変化の説明と練習(プリント1・3)
第5回目	文章構造	定動詞の位置、決定疑問文と補足疑問文の説明と練習(プリント2)
第6回目	動詞の現在人称変化(2)	不規則動詞の変化の説明と練習(プリント4・5)
第7回目	確認テストと解説	第2回目から第6回目までの確認テスト(60分)と解説(30分)
第8回目	名詞の性、数、格変化	名詞に関する文法事項の説明(プリント6)
第9回目	名詞(1格)	定冠詞と不定冠詞(1格)の練習(プリント7)
第10回目	名詞(4格)	名詞と人称代名詞の4格の説明と練習(プリント8)
第11回目	名詞(3格)	名詞と人称代名詞の3格の説明と練習(プリント9)
第12回目	確認テストと解説	第8回目から第11回目までの確認テスト(60分)と解説(30分)
第13回目	前置詞	前置詞の格支配の説明と練習(プリント10)
第14回目	話法の助動詞	話法の助動詞の説明と練習(プリント11)
第15回目	最終検証テストと解説	第2回目から第14回目までの検証テスト(60分)と解説(30分)

(学部科目 / Undergraduate Courses) 授業外学習の指示 / Recommendations for Private Study

(大学院科目 / Graduate Courses) 授業の方法 / Study Method

毎回、練習問題用のプリントを配布する。必ず受け取るように。欠席等で受け取れなかった時は、次回の授業日に受け取る。

成績評価方法 / Grading Criteria and Method of Evaluation

種別 / Kind	割合 / Percentage	評価基準等 / Grading Criteria etc.
平常点評価	100 %	第7回頃と第12回頃の授業で、それまでの授業内容に対する習得度確かめる確認テスト(40%)を行う。さらに第15回目の授業で最終検証テスト(60%)を行い、その総合で評価する。「C」または「F」評価。

このクラスの成績評価はC・Fのみである。

受講および研究に関するアドバイス / Advice to Students on Study and Research Methods

教科書 / Textbooks

参考書 / Reference Books

参考になる WWW ページ / Web Pages Useful for Reference

その他 / Others

基本ドイツ語(単位回復)(B)

11178

担当者名 / Instructor 林 晶

単位数 / Credit 1

授業の概要 / Course Outline

基本ドイツ語1の単位を回復するためのクラスです。ドイツ語の発音、動詞の現在形、名詞に関する文法事項を中心に授業を進めていきます。クラスではまず文法事項の説明をやり、その後、毎回プリントを使用して数多くの練習問題をこなしていきます。

到達目標 / Attainment Objectives

ドイツ語検定4級程度の内容で、基礎的なドイツ語運用能力の習得を目指す。

履修しておくことが望まれる科目 / Required Preparatory Study

授業スケジュール / Course Schedule

授業日(第N回)	テーマ / Theme	キーワード / Key Word
第1回目	授業の概要と導入	授業の進め方、到達目標、成績評価方法等の説明。プリントの配布。
第2回目	ドイツ語の発音(1)	アルファベートとウムラウトの発音練習。単母音と二重母音の発音練習。
第3回目	ドイツ語の発音(2)、人称代名詞	注意すべき子音の発音練習。人称代名詞の説明。
第4回目	動詞の現在人称変化(1)	規則動詞の変化の説明と練習(プリント1・3)
第5回目	文章構造	定動詞の位置、決定疑問文と補足疑問文の説明と練習(プリント2)
第6回目	動詞の現在人称変化(2)	不規則動詞の変化の説明と練習(プリント4・5)
第7回目	確認テストと解説	第2回目から第6回目までの確認テスト(60分)と解説(30分)
第8回目	名詞の性、数、格変化	名詞に関する文法事項の説明(プリント6)
第9回目	名詞(1格)	定冠詞と不定冠詞(1格)の練習(プリント7)
第10回目	名詞(4格)	名詞と人称代名詞の4格の説明と練習(プリント8)
第11回目	名詞(3格)	名詞と人称代名詞の3格の説明と練習(プリント9)
第12回目	確認テストと解説	第8回目から第11回目までの確認テスト(60分)と解説(30分)
第13回目	前置詞	前置詞の格支配の説明と練習(プリント10)
第14回目	話法の助動詞	話法の助動詞の説明と練習(プリント11)
第15回目	最終検証テストと解説	第2回目から第14回目までの検証テスト(60分)と解説(30分)

(学部科目 / Undergraduate Courses) 授業外学習の指示 / Recommendations for Private Study

(大学院科目 / Graduate Courses) 授業の方法 / Study Method

毎回、練習問題用のプリントを配布する。必ず受け取るように。欠席等で受け取れなかった時は、次回の授業日に受け取る。

成績評価方法 / Grading Criteria and Method of Evaluation

種別 / Kind	割合 / Percentage	評価基準等 / Grading Criteria etc.
平常点評価	100 %	第7回頃と第12回頃の授業で、それまでの授業内容に対する習得度確かめる確認テスト(40%)を行う。さらに第15回目の授業で最終検証テスト(60%)を行い、その総合で評価する。「C」または「F」評価。

このクラスの成績評価はC・Fのみである。

受講および研究に関するアドバイス / Advice to Students on Study and Research Methods

教科書 / Textbooks

参考書 / Reference Books

参考になる WWW ページ / Web Pages Useful for Reference

その他 / Others

基本フランス語(単位回復)(A)

11167

担当者名 / Instructor 内藤 義博

単位数 / Credit 1

授業の概要 / Course Outline

毎回、予定の学習項目にそって文法の説明と練習を行ない(1時間程度)、その後それを復習し、授業の最後に小テストを実施する。

到達目標 / Attainment Objectives

フランス語基礎(仏検4級～5級レベル)の習得を目標とする。

履修しておくことが望まれる科目 / Required Preparatory Study

授業スケジュール / Course Schedule

授業日(第N回)	テーマ / Theme	キーワード / Key Word
1. 4月7日	主語人称代名詞、形容詞、不定冠詞、定冠詞、avoir、etre	
2. 4月14日	否定文、所有形容詞、指示形容詞、数詞(1～30)er動詞	
3. 4月21日	疑問文、疑問代名詞、前置詞と冠詞の縮約、aller、venir	
4. 4月28日	疑問文の作り方(疑問代名詞&疑問副詞)finir、faire	
5. 5月12日	朝食に食べるものを言う	部分冠詞、数量の表現、指示代名詞、prendre、manger、boire
6. 5月19日	人やものの特徴を言う	比較級、最上級
7. 5月26日	彼、彼女、それについて言う	補語人称代名詞、connaître、savoir
8. 6月2日	前半講義の総括および小テスト(講義30分、小テスト60分)	
9. 6月9日	私は～という名前です	代名動詞、強勢形人称代名詞
10. 6月16日	過去のことを言う(1)	複合過去形
11. 6月23日	過去のことを言う(2)	半過去形
12. 6月30日	未来のことを言う	単純未来形
13. 7月7日		中性代名詞
14. 7月14日	文で追加説明する	関係代名詞、受動態
15. 7月21日	後半講義の総括および小テスト(講義30分、小テスト60分)	

(学部科目 / Undergraduate Courses) 授業外学習の指示 / Recommendations for Private Study

(大学院科目 / Graduate Courses) 授業の方法 / Study Method

成績評価方法 / Grading Criteria and Method of Evaluation

種別 / Kind	割合 / Percentage	評価基準等 / Grading Criteria etc.
平常点評価	100 %	毎回授業の最後に実施する小テストの合計で判定する。260点満点のうち6割の156点以上とること。

毎回プリントを配布する。下記のサイトにプリントをアップしているので、欠席した回の内容はこれを使って各自学習しておくこと。
立命館大学ホームページ→在学生の皆さまへ→コースツール→基本フランス語(単位回復)(A)→講義レジュメ
このクラスの成績評価はC・Fのみである。

受講および研究に関するアドバイス / Advice to Students on Study and Research Methods

教科書 / Textbooks

参考書 / Reference Books

参考になる WWW ページ / Web Pages Useful for Reference

その他 / Others

基本フランス語(単位回復) (B)

11179

担当者名 / Instructor 内藤 義博

単位数 / Credit 1

授業の概要 / Course Outline

毎回、予定の学習項目によって文法の説明と練習を行ない(1時間程度)、その後それを復習し、授業の最後に小テストを実施する。

到達目標 / Attainment Objectives

フランス語基礎(仏検4級～5級レベル)の習得を目標とする。

履修しておくことが望まれる科目 / Required Preparatory Study

授業スケジュール / Course Schedule

授業日(第N回)	テーマ / Theme	キーワード / Key Word
1. 9月29日	あいさつ、名前、職業を言う	主語人称代名詞、etre、faire、s'appeler
2. 10月6日	年齢を言う、兄弟のことを話す	不定冠詞、数字(1～30) avoir
3. 10月13日	住んでいるところ、好きなものを言う	定冠詞、er動詞(1)
4. 10月20日	～語を話す、～を着ている、食事する、スポーツする	冠詞の使い分け、er動詞(2)
5. 10月27日	人やものの特徴を言う	品質形容詞、疑問文の作り方(基本形)、否定文
6. 11月3日	誰のものを言う	所有形容詞、指示形容詞、強勢形人称代名詞
7. 11月10日	これからすること、したばかりのことを話す	近接未来・近接過去、前置詞と冠詞の縮約、aller、venir
8. 11月17日	前半講義の総括および小テスト(講義30分、小テスト60分)	
9. 11月24日	家かマンションかワンルームか、家の間取りを言う	位置関係の表現、序数詞
10. 12月1日	道順の言い方	命令形
11. 12月8日	時刻を言う、天候を言う	疑問形容詞、非人称動詞、数字(30～69)
12. 12月15日	一週間・一日の生活を話す	さまざまな動詞
13. 12月22日	いつ、だれ、どこ、なに、どうやって?	疑問文の作り方(疑問代名詞 & 疑問副詞)
14. 1月12日	つづり字と発音	
15. 1月19日	後半講義の総括および小テスト(講義30分、小テスト60分)	

(学部科目 / Undergraduate Courses) 授業外学習の指示 / Recommendations for Private Study

(大学院科目 / Graduate Courses) 授業の方法 / Study Method

成績評価方法 / Grading Criteria and Method of Evaluation

種別 / Kind	割合 / Percentage	評価基準等 / Grading Criteria etc.
平常点評価	100 %	毎回授業の最後に実施する小テストの合計で判定する。260点満点のうち6割の156点以上とること。

毎回プリントを配布する。下記のサイトにプリントをアップしているので、欠席した回の内容はこれを使って各自学習しておくこと。

<http://www.osk.3web.ne.jp/~nityshr/ritsume/index.htm>

このクラスの成績評価はC・Fのみである。

受講および研究に関するアドバイス / Advice to Students on Study and Research Methods

教科書 / Textbooks

参考書 / Reference Books

参考になる WWW ページ / Web Pages Useful for Reference

その他 / Others

スペイン語と社会I(単位回復) (Z1)

12616

担当者名 / Instructor 安田 圭史

単位数 / Credit 2

授業の概要 / Course Outline

スペイン語圏(スペイン、ラテンアメリカ)諸国の社会を、項目別に学び、それらの国々についての基礎的知識を身につけることを目標とする。そのためにビデオ、DVDなども活用する。また、基本的なスペイン語表現も併せて学習する。その際、学期を通して計3回(5回の授業に1回)程度、スペイン語の小テストを行う。

到達目標 / Attainment Objectives

スペイン語圏に関する基礎的知識、スペイン語の基本的表現の習得

履修しておくことが望まれる科目 / Required Preparatory Study

授業スケジュール / Course Schedule

授業日(第N回)	テーマ / Theme	キーワード / Key Word
1	ガイダンス(スペイン語と社会)	
2	スペインとは —そのイメージ—	
3	ラテンアメリカのスペイン語圏	
4	スペインの歴史(1)	
5	スペインの歴史(2)、小テスト①	
6	ラテンアメリカの歴史(1)、小テスト①の解答・解説	
7	ラテンアメリカの歴史(2)	
8	スペインの政治	
9	ラテンアメリカの政治	
10	スペインの食文化、小テスト②	
11	ラテンアメリカの食文化、小テスト②の解答・解説	
12	スペインの音楽	
13	ラテンアメリカの音楽	
14	スペインのスポーツ —サッカーなど—、小テスト③	
15	ラテンアメリカのスポーツ —サッカーなど—、小テスト③の解答・解説	

(学部科目 / Undergraduate Courses) 授業外学習の指示 / Recommendations for Private Study

(大学院科目 / Graduate Courses) 授業の方法 / Study Method

成績評価方法 / Grading Criteria and Method of Evaluation

種別 / Kind	割合 / Percentage	評価基準等 / Grading Criteria etc.
平常点評価	100 %	1)小テスト 2)レポート 3)授業への積極的な参加

小テストに加えて、スペイン語圏の社会や文化に関するレポートを作成する。レポートは最終授業日までの提出を厳守すること。以後の提出は、いかなる理由があっても認めない。

このクラスの成績評価はC・Fのみである。

受講および研究に関するアドバイス / Advice to Students on Study and Research Methods

教科書 / Textbooks

プリントを配布する。

参考書 / Reference Books

書名 / Title	出版社・ISBNコード・コメント / Author, Publisher, ISBN Code, Comment
『スペイン・ポルトガルを知る事典』	池上岑夫、他監修／平凡社／4582126324／
『概説ラテンアメリカ史』	国本伊代／新評論／479480511X／

参考になる WWW ページ / Web Pages Useful for Reference

その他 / Others

スペイン語と社会Ⅱ(単位回復) (Z1)

12633

担当者名 / Instructor 安田 圭史

単位数 / Credit 2

授業の概要 / Course Outline

スペイン語圏(スペイン、ラテンアメリカ)諸国の社会を、項目別に学び、それらの国々についての基礎的知識を身につけることを目標とする。そのためにビデオ、DVDなども活用する。また、基本的なスペイン語表現も併せて学習する。その際、学期を通して計3回(5回の授業に1回)程度、スペイン語の小テストを行う。

到達目標 / Attainment Objectives

スペイン語圏に関する基礎的知識、スペイン語の基本的表現の習得

履修しておくことが望まれる科目 / Required Preparatory Study

授業スケジュール / Course Schedule

授業日(第N回)	テーマ / Theme	キーワード / Key Word
1	ガイダンス(スペイン語と社会)	
2	スペインの世界遺産(1)	
3	スペインの世界遺産(2)	
4	ラテンアメリカの世界遺産(1)	
5	ラテンアメリカの世界遺産(2)、小テスト①	
6	スペインの民俗 —祭りなど—、小テスト①の解答・解説	
7	ラテンアメリカの民俗、—祭りなど—	
8	スペインの映画	
9	ラテンアメリカの映画	
10	スペインのマスメディア —テレビ・新聞など—、小テスト②	
11	ラテンアメリカのマスメディア —テレビ・新聞など—、小テスト②の解答・解説	
12	スペインの芸術 —文学・美術など—	
13	ラテンアメリカの芸術 —文学・美術など—	
14	スペインの現代事情 —経済など—、小テスト③	
15	ラテンアメリカの現代事情 —経済など—、小テスト③の解答・解説	

(学部科目 / Undergraduate Courses) 授業外学習の指示 / Recommendations for Private Study
(大学院科目 / Graduate Courses) 授業の方法 / Study Method

成績評価方法 / Grading Criteria and Method of Evaluation

種別 / Kind 割合 / Percentage 評価基準等 / Grading Criteria etc.

平常点評価 100 % 1)小テスト 2)レポート 3)授業への積極的な参加

小テストに加えて、スペイン語圏の社会や文化に関するレポートを作成する。レポートは最終授業日までの提出を厳守すること。以後の提出は、いかなる理由があっても認めない。
このクラスの成績評価はC・Fのみである。

受講および研究に関するアドバイス / Advice to Students on Study and Research Methods

教科書 / Textbooks

プリントを配布する。

参考書 / Reference Books

書名 / Title	出版社・ISBNコード・コメント / Author, Publisher, ISBN Code, Comment
『スペイン・ポルトガルを知る事典』	池上岑夫、他監修／平凡社／4582126324／
『概説ラテンアメリカ史』	国本伊代／新評論／479480511X／

参考になる WWW ページ / Web Pages Useful for Reference

その他 / Others

スペイン語と文化I(単位回復) (Z1)

11170

担当者名 / Instructor 寺本 あけみ

単位数 / Credit 2

授業の概要 / Course Outline

ビデオ、DVDの鑑賞を通じて、多様なスペイン文化を紹介する。また、スペイン語の基礎文法を習得することを目標とする。

到達目標 / Attainment Objectives

易しいスペイン語の読み書きができるようになること。
スペイン文化についての理解を深めること。

履修しておくことが望まれる科目 / Required Preparatory Study

授業スケジュール / Course Schedule

授業日(第N回)	テーマ / Theme	キーワード / Key Word
1	はじめに スペイン語の発音・アクセント	
2	挨拶 生活習慣(1)	
3	スペイン語の名詞 生活習慣(2)	
4	第1回小テストと解説	
5	スペイン語の形容詞 生活習慣(3)	
6	スペイン語の動詞(1) 世界遺産(1)	
7	スペイン語の動詞(2) 文化遺産(1)	
8	第2回小テストと解説	
9	スペイン語の動詞(3) 世界遺産(2)	
10	スペイン語の動詞(4) 文化遺産(2)	
11	スペイン語の動詞(5) 世界遺産(3)	
12	第3回小テストと解説	
13	スペイン語の動詞(6) 文化遺産(3)	
14	文化遺産を訪ねるスペインの旅	
15	第4回小テストと解説	

(学部科目 / Undergraduate Courses) 授業外学習の指示 / Recommendations for Private Study

(大学院科目 / Graduate Courses) 授業の方法 / Study Method

復習を確実にすること。

初回にガイダンスを行うが、初回からテーマの講義に入り、全15回の授業回数を予定している。

テーマによっては授業が複数回になることがある。

成績評価方法 / Grading Criteria and Method of Evaluation

種別 / Kind	割合 / Percentage	評価基準等 / Grading Criteria etc.
平常点評価	100 %	
このクラスの成績評価はC・Fのみである。		

受講および研究に関するアドバイス / Advice to Students on Study and Research Methods

教科書 / Textbooks

プリントを配付する。

参考書 / Reference Books

参考になる WWW ページ / Web Pages Useful for Reference

スペイン語検定: <http://www.casa-esp.com/link-examen.html>

DELE: <http://www2.gol.com/users/esptokio/jap/dele.htm>

スペイン基本情報(外務省): <http://www.mofa.go.jp/mofaj/area/spain/>

その他 / Others

スペイン語と文化Ⅱ(単位回復) (Z1)

11183

担当者名 / Instructor 寺本 あけみ

単位数 / Credit 2

授業の概要 / Course Outline

ビデオ、DVDの鑑賞を通じて、多様なスペイン文化を紹介する。また、スペイン語の基礎文法を習得することを目標とする。

到達目標 / Attainment Objectives

易しいスペイン語の読み書きができるようになること。
スペイン文化についての理解を深めること。

履修しておくことが望まれる科目 / Required Preparatory Study

授業スケジュール / Course Schedule

授業日(第N回)	テーマ / Theme	キーワード / Key Word
1	はじめに スペイン語の発音・アクセント	
2	挨拶 生活習慣(1)	
3	日常表現文(1) 生活習慣(2)	
4	第1回小テストと解説	
5	日常表現文(2) 生活習慣(3)	
6	日常表現文(3) 世界遺産(1)	
7	スペイン語の動詞(1) 文化遺産(1)	
8	第2回小テストと解説	
9	スペイン語の動詞(2) 世界遺産(2)	
10	スペイン語の動詞(3) 文化遺産(2)	
11	スペイン語の動詞(4) 世界遺産(3)	
12	第3回小テストと解説	
13	スペイン語の動詞(5) 文化遺産(3)	
14	世界遺産を訪ねるスペインの旅	
15	第4回小テストと解説	

(学部科目 / Undergraduate Courses) 授業外学習の指示 / Recommendations for Private Study

(大学院科目 / Graduate Courses) 授業の方法 / Study Method

復習を確実にすること。

初回にガイダンスを行うが、初回からテーマの講義に入り、全15回の授業回数を予定している。

テーマによっては授業が複数回になることがある。

成績評価方法 / Grading Criteria and Method of Evaluation

種別 / Kind	割合 / Percentage	評価基準等 / Grading Criteria etc.
平常点評価	100 %	
このクラスの成績評価はC・Fのみである。		

受講および研究に関するアドバイス / Advice to Students on Study and Research Methods

教科書 / Textbooks

プリントを配布する。

参考書 / Reference Books

参考になる WWW ページ / Web Pages Useful for Reference

スペイン語検定: <http://www.casa-esp.com/link-examen.html>

DELE: <http://www2.gol.com/users/esptokio/jap/dele.htm>

スペイン基本情報(外務省): <http://www.mofa.go.jp/mofaj/area/spain/>

その他 / Others

中国語と社会I(単位回復) (Z1)

11168

担当者名 / Instructor 鷲尾 祐子

単位数 / Credit 2

授業の概要 / Course Outline

発音や基本的な文法、使える文型など、中国語の基礎的な技術を習得しながら、現在の社会の成り立ちとかかわる根本的な要素について考える。

一衣帯水の隣国である中国が、日本の過去・現在と深い関係を有することは言うまでもないが、誠に残念なことに双方の民意はそれほど互いに好意的ではないようである。一方現在全世界を覆う市場経済の影響を直接的に被る点で、双方は共通の課題を抱えつつある。中国の社会と文化について知ることは、日本について考察することでもある。またいかにしてともに共通の課題に立ち向かうのか、考える端緒となることを希望する。

到達目標 / Attainment Objectives

まず、中国語の発音を習得し、ピンインを見れば発音ができるようになること。

次に、簡単な文型と文法の基礎を学びつつ、学んだ単語を用いて自在に表現ができるようになるまで慣れる。

かつ、文化と社会の基本的な知見を得る。

履修しておくことが望まれる科目 / Required Preparatory Study

授業スケジュール / Course Schedule

授業日(第N回)	テーマ / Theme	キーワード / Key Word
1,2	発音の基礎を学び、あいさつや数字など、基本的な単語を学ぶ。中国語について。	
3	教科書2課、文法の基礎、文型基礎を学ぶ。現代中国の地理的条件や政体、中華人民共和國成立の歴史について解説する。	
4	3課、現代中国の地理的条件や政体、中華人民共和國成立の歴史について解説する。また日本文化との関係について。	
5	4課、教育と受験。	
6	5課 現代中国の貨幣・紙幣・経済状況。	
7	6課、信仰と祭祀。	
8	7課、中国の地域的特色と、地域間格差。	
9	8課 中国のドラマ・映画。	
10	9課 交通事情。	
11	10課 家族・親族関係の今と昔。	
12	11課 戸籍と中国社会。	
13	12課 年中行事と正月。	
14	文法・文型まとめ。	
15	よく用いる表現のまとめ(30分)。実際に聴き、話すことができるかを問う検証テスト(60分)。	

(学部科目 / Undergraduate Courses) 授業外学習の指示 / Recommendations for Private Study
(大学院科目 / Graduate Courses) 授業の方法 / Study Method

成績評価方法 / Grading Criteria and Method of Evaluation

種別 / Kind	割合 / Percentage	評価基準等 / Grading Criteria etc.
平常点評価	100 %	1. 授業中、講義内容に関して考察したことを記述、提出する(計八回程度 50%)。出席点はとくに考慮しないが、上記の提出回数が総提出回数の半数以下の者は単位認定の対象外とする。
		1検証テスト 中国語の文を聴いて理解し、正確に返答できるかを問う(50%)。

このクラスの成績評価はC・Fのみである。

受講および研究に関するアドバイス / Advice to Students on Study and Research Methods

教科書 / Textbooks

書名 / Title	出版社・ISBNコード・コメント / Author, Publisher, ISBN Code, Comment
楽楽中国語	児野道子・鄭高詠／郁文堂／／
必携。必ず入手し、授業に持参することが、及第の条件です。	

参考書 / Reference Books

書名 / Title

中国語はじめの一步

中国語入門Q & A101

随時紹介します。

出版社・ISBNコード・コメント / Author, Publisher, ISBN Code, Comment

木村英樹／筑摩書房／4480056661／

相原茂ほか／大修館書店／4-469-23225-4／

参考になる WWW ページ / Web Pages Useful for Reference

その他 / Others

中国語と社会Ⅱ(単位回復) (Z1)

11180

担当者名 / Instructor 鷲尾 祐子

単位数 / Credit 2

授業の概要 / Course Outline

中国語の基礎を学び、はなすこと、聞くことに慣れる。さらに、現在の中国に関する基本的な認識を得る。

到達目標 / Attainment Objectives

発音を復習し、相手に通じる発音ができるようになる。
文型と文法の基礎を習得し、それを用いて聞く・はなすことに慣れる。
中国の文化と社会の基本的な成り立ちについて認識する。

履修しておくことが望まれる科目 / Required Preparatory Study

授業スケジュール / Course Schedule

授業日(第N回)	テーマ / Theme	キーワード / Key Word
1	授業方法に関する相談、発音練習。中国基本情報。	
2	発音練習 ピンイン・鼻音。あいさつの基本。	
3	テキスト第1課 文法と文型を学び、会話練習をする。中国と観光。	
4	テキスト第1課 文法と文型を学び、会話練習。日本人の中国観。	
5	テキスト第2課 文法と文型を学び、会話練習。現代中国成立過程の紹介。	
6	テキスト第2課 文法と文型を学び、会話練習。現代中国の偉人。	
7	テキスト第3課 文法と文型を学び、会話練習。中国の対外認識。	
8	テキスト第3課 文法と文型を学び、会話練習。日本観。	
9	テキスト第4課 文法と文型を学び、会話練習。家属について。	
10	テキスト第4課 文法と文型を学び、会話練習。地震・オリンピック・万博。	
11	テキスト第5課 文法と文型を学び、会話練習。中国の選挙。	
12	テキスト第5課 文法と文型を学び、会話練習。中国のお化け。	
13	テキスト第6課 文法と文型を学び、会話練習。中国の教育と試験。	
14	文法・文型のまとめ。	
15	主要な表現のまとめ(30分)。検証テスト(60分)、発問を聴き正確に答えられるかを問う。	

(学部科目 / Undergraduate Courses) 授業外学習の指示 / Recommendations for Private Study

(大学院科目 / Graduate Courses) 授業の方法 / Study Method

成績評価方法 / Grading Criteria and Method of Evaluation

種別 / Kind	割合 / Percentage	評価基準等 / Grading Criteria etc.
平常点評価	100 %	1. 授業中、講義内容に関して考察したことを記述、提出する(計八回程度 50%)。出席点はとくに考慮しないが、上記の提出回数が総提出回数の半数以下の者は単位認定の対象外とする。 1検証テスト 中国語の文を聴いて理解し、正確に返答できるかを問う(50%)。

このクラスの成績評価はC・Fのみである。

受講および研究に関するアドバイス / Advice to Students on Study and Research Methods

教科書 / Textbooks

書名 / Title	出版社・ISBNコード・コメント / Author, Publisher, ISBN Code, Comment
北京上海リスニングツアー	相原茂／朝日出版社／4-255-45030-7／

必携。必ず入手し、授業に持参してください。

参考書 / Reference Books

授業中に紹介します。

参考になる WWW ページ / Web Pages Useful for Reference

その他 / Others

中国語と文化I(単位回復) (Z1)

12624

担当者名 / Instructor 杉本 史子

単位数 / Credit 2

授業の概要 / Course Outline

この授業では、ジェンダーの視点から、中国近現代史を振り返ってみる。ジェンダーや女性学と聞くと、違和感を感じる人もいるかも知れないが、異なる視点から中国の文化や社会を見直す機会だと思ってほしい。まず教育、婚姻・家庭など、項目ごとに女性に焦点を当てて、歴史やその問題点について考えていく。折に触れ、中国語で書かれた資料を紹介し、日本でもよく使われる文化や社会の用語を、中国語でどのように表現するかを、学んでいく。視聴覚資料も用いながら、中国の文化・社会について、幅広く論じていくつもりである。

到達目標 / Attainment Objectives

異なる視点から中国の文化や社会について考える。日本との共通点、相違点を明らかにする。

履修しておくことが望まれる科目 / Required Preparatory Study

授業スケジュール / Course Schedule

授業日(第N回)	テーマ / Theme	キーワード / Key Word
1	授業の概要と導入	ジェンダーの視点から見た中国史
2	纏足	纏足、反纏足運動
3	教育(1)	近代以前の教育、女訓書、近代教育の始まりと女性
4	教育(2)	近代の女子教育、良妻賢母思想、男女共学
5	教育(3)	人民共和国の男女平等教育、女子校の撤廃と復活
6	教育(4)	識字問題、女児失学、都市と農村の格差
7	教育(5)	ジェンダーから見た教育の課題、女子学生の苦悩
8	婚姻・家庭(1)	近代以前の婚姻、家父長制、妻妾制、請け負い婚、寡婦の存在
9	婚姻・家庭(2)	映画「シャオシャオ」に見える童養媳
10	婚姻・家庭(3)	民国期の婚姻、自由恋愛、伝統と近代の葛藤
11	婚姻・家庭(4)	「祝福」「傷逝」など魯迅作品に見える近代の婚姻問題
12	婚姻・家庭(5)	一人っ子政策の経緯と課題
13	婚姻・家庭(6)	現代の婚姻、離婚問題
14	婚姻・家庭(7)	乳母、「保姆」「阿姨」と呼ばれる現代の家政婦
15	検証テストとその解説	検証テスト(60分) 解説 半年間のまとめ(30分)

(学部科目 / Undergraduate Courses) 授業外学習の指示 / Recommendations for Private Study

(大学院科目 / Graduate Courses) 授業の方法 / Study Method

成績評価方法 / Grading Criteria and Method of Evaluation

種別 / Kind	割合 / Percentage	評価基準等 / Grading Criteria etc.
平常点評価	100 %	出席およびコミュニケーションペーパーの提出で判断する。50% 最終授業日に、検証テストを行ない、授業内容が理解できているかどうかを問う。50%
出席を重視します。 このクラスの成績評価はC・Fのみである。		

受講および研究に関するアドバイス / Advice to Students on Study and Research Methods

教科書 / Textbooks

書名 / Title	出版社・ISBNコード・コメント / Author, Publisher, ISBN Code, Comment
中国女性史入門—女たちの今と昔—	関西中国女性史研究会 / 人文書院 / ISBN4-409-51054-1 /
テキストはほぼ毎回使用するので、授業に持参することが望ましい。テキストのコピーは配布しません。	

参考書 / Reference Books

書名 / Title	出版社・ISBNコード・コメント / Author, Publisher, ISBN Code, Comment
中国女性の一〇〇年—史料にみる歩み—	中国女性史研究会 / 青木書店 / ISBN4-250-20404-9 /
その他、授業中に適宜紹介していきます。	

参考になる WWW ページ / Web Pages Useful for Reference

その他 / Others

受講生の理解度を見ながら、進度予定を変更することもあります。

中国語と文化Ⅱ(単位回復) (Z1)

12637

担当者名 / Instructor 杉本 史子

単位数 / Credit 2

授業の概要 / Course Outline

この授業では、前期に引き続き、ジェンダーの視点から、中国近現代史を振り返る。ジェンダーや女性学というと違和感を感じる人もいるかも知れないが、異なる視点から中国を学ぶ一つの方法だと考えてもらいたい。まず清朝末期から現代までの女性解放運動の流れを追いながら、中国独自の女性解放運動の歴史的背景を考察する。その後、政治、文学などの方面で活躍した女性の生涯を具体的に見ていく。さらに、労働、文芸、ファッションといった項目を立てて、さまざまな角度から中国の文化、社会を論じていく。折に触れ、中国語で書かれた資料や、視聴覚資料なども紹介していくつもりである。

到達目標 / Attainment Objectives

異なる視点から中国の文化や社会について考える。日本との共通点、相違点を明らかにする。

履修しておくことが望まれる科目 / Required Preparatory Study

授業スケジュール / Course Schedule

授業日(第N回)	テーマ / Theme	キーワード / Key Word
1	辛亥革命前後	清末、民国初期の女性解放運動、秋瑾
2	五四新文化運動	五四新文化運動期の女性解放運動
3	戦争と女性	抗日戦と女性、「従軍慰安婦」問題
4	中国共産党と女性	女性兵士、社会主義革命と女性の「解放」
5	現代の女性学	婦連、李小江
6	政治(1)	政治家の妻、宋慶齡、何香凝、鄧穎超
7	政治(2)	「宋家の三姉妹」に見える政治家の妻の形
8	政治(3)	江青、現在活躍中の女性政治家
9	文学(1)	女性作家という生き方、丁玲、謝冰心
10	文学(2)	都市化と女性作家、張愛玲、蘇青
11	労働(1)	民国期の働く女性
12	労働(2)	鉄姑娘、現代の労働問題
13	ファッション	チャイナドレスの由来、人民服、髪型あれこれ
14	演劇	女優の地位の変遷、越劇
15	検証テストと解説	検証テスト(60分) 解説、半年間のまとめ(30分)

(学部科目 / Undergraduate Courses) 授業外学習の指示 / Recommendations for Private Study

(大学院科目 / Graduate Courses) 授業の方法 / Study Method

成績評価方法 / Grading Criteria and Method of Evaluation

種別 / Kind	割合 / Percentage	評価基準等 / Grading Criteria etc.
平常点評価	100 %	出席およびコミュニケーションペーパーの提出で判断する。50% 最終授業日に、検証テストを行ない、授業内容が理解できているかどうかを問う。50%
出席を重視します。 このクラスの成績評価はC・Fのみである。		

受講および研究に関するアドバイス / Advice to Students on Study and Research Methods

教科書 / Textbooks

書名 / Title	出版社・ISBNコード・コメント / Author, Publisher, ISBN Code, Comment
中国女性史入門—女たちの今と昔—	関西中国女性史研究会 / 人文書院 / ISBN4-409-51054-1 /
テキストはほぼ毎回使用するので、授業に持参することが望ましい。テキストのコピーは配布しません。	

参考書 / Reference Books

書名 / Title	出版社・ISBNコード・コメント / Author, Publisher, ISBN Code, Comment
中国女性の一〇〇年—史料にみる歩み—	中国女性史研究会 / 青木書店 / ISBN4-250-20404-9 /
その他、授業中に適宜紹介していきます。	

参考になる WWW ページ / Web Pages Useful for Reference

その他 / Others

受講生の理解度を見ながら、進捗予定を変更することもあります。

朝鮮語と社会I(単位回復) (Z1)

12617

担当者名 / Instructor 林 茂澤

単位数 / Credit 2

授業の概要 / Course Outline

朝鮮語の基礎的な習得と、朝鮮の歴史と社会・文化の学習を通して異文化理解を深める。

到達目標 / Attainment Objectives

基礎的な朝鮮語運用能力の習得と異文化理解に関する基礎的な知識の習得を目指す。

履修しておくことが望まれる科目 / Required Preparatory Study

授業スケジュール / Course Schedule

授業日(第N回)	テーマ / Theme	キーワード / Key Word
第1回目	授業の概要、授業の到達目標、進め方、成績評価方法	簡単な挨拶 I
第2回目	春の礼節食、端午の風俗	簡単な挨拶 II
第3回目	夏・三伏の風俗と節食	日常会話 I
第4回目	秋・秋夕の風俗と節食	日常会話 II
第5回目	冬・旧正月、冬至の節食	日常会話 III
第6回目	韓国の飲食文化	日常会話 IV
第7回目	小テスト(簡単な挨拶及び日常会話) 60分	これまでのまとめ 30分
第8回目	朝鮮の歴史・文化 I	朝鮮民謡
第9回目	朝鮮の歴史・文化 II	丁寧形(ハムニダ体)現在、助詞
第10回目	朝鮮の歴史・文化 III	丁寧形(ヘヨ体)現在、変則用言
第11回目	朝鮮の歴史・文化 IV	過去形、語尾<1>
第12回目	韓国の現代社会 I	漢数詞、固有数詞
第13回目	韓国の現代社会 II	不可能、語尾<2>
第14回目	韓国の現代社会 III	疑問詞、助詞
第15回目	前期末テスト 60分	簡単な日本語の翻訳、聞き取り、まとめ 30分

(学部科目 / Undergraduate Courses) 授業外学習の指示 / Recommendations for Private Study

(大学院科目 / Graduate Courses) 授業の方法 / Study Methods

成績評価方法 / Grading Criteria and Method of Evaluation

種別 / Kind	割合 / Percentage	評価基準等 / Grading Criteria etc.
平常点評価	100 %	最終講義日試験(授業での積極的な取り組み・小テストなどを含む)
このクラスの成績評価はC・Fのみである。		

受講および研究に関するアドバイス / Advice to Students on Study and Research Methods

教科書 / Textbooks

参考書 / Reference Books

書名 / Title	出版社・ISBNコード・コメント / Author, Publisher, ISBN Code, Comment
ハングル教本—基礎から読解	文京洙 / 新幹社 /
はじめての韓国語	松井聖一郎 / 三修社 / 978-4-384-05461-3 /
『初級ハングル』	梁貞模・盧載玉 / 新幹社 / 4-88400-055-2 /

参考になる WWW ページ / Web Pages Useful for Reference

その他 / Others

朝鮮語と社会Ⅱ(単位回復) (Z1)

12634

担当者名 / Instructor 林 茂澤

単位数 / Credit 2

授業の概要 / Course Outline

朝鮮語の基礎的な習得と、朝鮮の歴史と社会・文化の学習を通して異文化理解を深める。

到達目標 / Attainment Objectives

基礎的な朝鮮語運用能力の習得と異文化理解に関する基礎的な知識の習得を目指す。

履修しておくことが望まれる科目 / Required Preparatory Study

授業スケジュール / Course Schedule

授業日(第N回)	テーマ / Theme	キーワード / Key Word
第1回目	授業の概要、授業の到達目標、進め方、成績評価方法	簡単な挨拶 I
第2回目	春の礼飾、端午の風俗	簡単な挨拶 II
第3回目	夏・三伏の風俗と節食	日常会話 I
第4回目	秋・秋夕の風俗と節食	日常会話 II
第5回目	冬・旧正月、冬至の節食	日常会話Ⅲ
第6回目	朝鮮の民族及び祝祭	日常会話Ⅳ
第7回目	小テスト(簡単な挨拶及び日常会話) 60分	これまでのまとめ 30分
第8回目	朝鮮の歴史・文化 I 朝鮮民謡	朝鮮民謡
第9回目	朝鮮の歴史・文化 II	新聞記事に見る現代韓国(1)
第10回目	朝鮮の歴史・文化Ⅲ	新聞記事に見る新現代韓国(2)
第11回目	朝鮮の歴史・文化Ⅳ	ドラマに見る現代韓国(1)
第12回目	韓国の現代社会 I	ドラマに見る現代韓国(2)
第13回目	韓国の現代社会 II	食文化に見る現代韓国(1)
第14回目	韓国の現代社会Ⅲ	食文化に見る現代韓国(2)
第15回目	後期末テスト 60分	簡単な日本文の翻訳、聞き取り、まとめ 30分

(学部科目 / Undergraduate Courses) 授業外学習の指示 / Recommendations for Private Study

(大学院科目 / Graduate Courses) 授業の方法 / Study Method

成績評価方法 / Grading Criteria and Method of Evaluation

種別 / Kind	割合 / Percentage	評価基準等 / Grading Criteria etc.
平常点評価	100 %	最終講義日試験(授業での積極的な取り組み・小テストなどを含む)
このクラスの成績評価はC・Fのみである。		

受講および研究に関するアドバイス / Advice to Students on Study and Research Methods

教科書 / Textbooks

参考書 / Reference Books

書名 / Title	出版社・ISBNコード・コメント / Author, Publisher, ISBN Code, Comment
ハングル教本—基礎から読解	文京洙 / 新幹社 /
はじめての韓国語	松井聖一郎 / 三修社 / 978-4-384-05461-3 /
『初級ハングル』	梁貞模・盧載玉 / 新幹社 / 4-88400-055-2 /

参考になる WWW ページ / Web Pages Useful for Reference

朝鮮語と文化I(単位回復) (Z1)

11195

担当者名 / Instructor 宋 基燦

単位数 / Credit 2

授業の概要 / Course Outline

文法事項の確認を交えながら、各言語と文化あるいは社会について講義する。

当講義は語学単位回復科目として設定されており、朝鮮語、朝鮮文化の理解を目指す。朝鮮語の基礎的知識を身につけ朝鮮語に対する理解を求める。また視聴覚教材を活用しながらの朝鮮の文化との接触を通して、受講生の朝鮮文化への理解を深めるものとする
毎回、授業の前半は韓国語を学習し、授業の後半は韓国の文化について学ぶ。

到達目標 / Attainment Objectives

1. 朝鮮語と朝鮮の文化について基礎的知識を身に付けること。
2. 基礎的な外国語運用能力の習得と異文化理解に関する基礎的な知識の習得を目指す。

履修しておくことが望まれる科目 / Required Preparatory Study

授業スケジュール / Course Schedule

授業日(第N回)	テーマ / Theme	キーワード / Key Word
1	・ガイダンス(授業の説明、評価方法など) ・朝鮮語に関する一般知識	
2	朝鮮語の文字、ハングルの理解1(母音の製作原理と正確な発音)	
3	朝鮮語の文字、ハングルの理解2(子音の製作原理と正確な発音)	
4	朝鮮語の文字、ハングルの理解3(子音と母音の組み合わせと複合母音)	
5	ハングル文字のまとめと復習	
6	基本文法1(文章の終結語尾)	
7	基本文法2(基本文型の理解)	
8	基本文法3(尊敬語と朝鮮の敬老思想)	
9	基本文法4(朝鮮語の数詞)	
10	基本文法5(時制と連体形)	
11	決まり文句1(挨拶言葉、友達間の表現)	
12	決まり文句2(買い物に使われる)	
13	決まり文句3(ビジネスに使われる表現)	
14	朝鮮語の慣用的表現からみる朝鮮人の考え方	
15	到達度確認テスト(60分) 解説(30分)	

(学部科目 / Undergraduate Courses) 授業外学習の指示 / Recommendations for Private Study

(大学院科目 / Graduate Courses) 授業の方法 / Study Method

成績評価方法 / Grading Criteria and Method of Evaluation

種別 / Kind	割合 / Percentage	評価基準等 / Grading Criteria etc.
平常点評価	100 %	出席40% 確認テスト・小テスト(複数回)60%

このクラスの成績評価はC・Fのみである

受講および研究に関するアドバイス / Advice to Students on Study and Research Methods

教科書 / Textbooks

授業内容に沿ってプリントを配布することもある。

参考書 / Reference Books

書名 / Title	出版社・ISBNコード・コメント / Author, Publisher, ISBN Code, Comment
『初級ハングル』	梁貞模・盧載玉 / 新幹社 / 4-88400-055-2 /

参考になる WWW ページ / Web Pages Useful for Reference

その他 / Others

朝鮮語と文化Ⅱ(単位回復) (Z1)

11209

担当者名 / Instructor 宋 基燦

単位数 / Credit 2

授業の概要 / Course Outline

文法事項の確認を交えながら、各言語と文化あるいは社会について講義する。

当講義は語学単位回復科目として設定されており、朝鮮語、朝鮮文化の理解を目指す。朝鮮語の基礎的知識を身につけ朝鮮語に対する理解を求める。また視聴覚教材を活用しながらの朝鮮の文化との接触を通して、受講生の朝鮮文化への理解を深めるものとする
毎回、授業の前半は韓国語を学習し、授業の後半は韓国の文化について学ぶ。

到達目標 / Attainment Objectives

1. 朝鮮語と朝鮮の文化について基礎的知識を身に付けること。
2. 基礎的な外国語運用能力の習得と異文化理解に関する基礎的な知識の習得を目指す。

履修しておくことが望まれる科目 / Required Preparatory Study

授業スケジュール / Course Schedule

授業日(第N回)	テーマ / Theme	キーワード / Key Word
1	・ガイダンス(授業の説明、評価方法など) ・朝鮮語に関する一般知識	
2	朝鮮語の文字、ハングルの理解1(母音の製作原理と正確な発音)	
3	朝鮮語の文字、ハングルの理解2(子音の製作原理と正確な発音)	
4	朝鮮語の文字、ハングルの理解3(子音と母音の組み合わせと複合母音)	
5	ハングル文字のまとめと復習	
6	基本文法1(文章の終結語尾)	
7	基本文法2(基本文型の理解)	
8	基本文法3(尊敬語と朝鮮の敬老思想)	
9	基本文法4(朝鮮語の数詞)	
10	基本文法5(時制と連体形)	
11	決まり文句1(挨拶言葉、友達間の表現)	
12	決まり文句2(買い物に使われる)	
13	決まり文句3(ビジネスに使われる表現)	
14	朝鮮語の慣用的表現からみる朝鮮人の考え方	
15	到達度確認テスト(60分) 解説(30分)	

(学部科目 / Undergraduate Courses) 授業外学習の指示 / Recommendations for Private Study
(大学院科目 / Graduate Courses) 授業の方法 / Study Method

成績評価方法 / Grading Criteria and Method of Evaluation

種別 / Kind	割合 / Percentage	評価基準等 / Grading Criteria etc.
平常点評価	100 %	出席40% 確認テスト・小テスト(複数回)60%

このクラスの成績評価はC・Fのみである

受講および研究に関するアドバイス / Advice to Students on Study and Research Methods

教科書 / Textbooks

参考書 / Reference Books

書名 / Title	出版社・ISBNコード・コメント / Author, Publisher, ISBN Code, Comment
『初級ハングル』	梁貞模・盧載玉 / 新幹社 / 4-88400-055-2 /

参考になる WWW ページ / Web Pages Useful for Reference

その他 / Others

ドイツ語と社会I(単位回復) (Z1)

12615

担当者名 / Instructor 大西 光弘

単位数 / Credit 2

授業の概要 / Course Outline

習得できなかったドイツ語の基礎を習得し直し、
ドイツの社会や文化を紹介する授業です。
授業時間の内訳は、
授業の前半――教科書を使つての授業時間その1。
社会の時間――ドイツZDFのニュースを見てもらいます。
授業の後半――教科書を使つての授業時間その2。
文化の時間――オペラ(たぶんワグナー)を見てもらいます。
という感じです。

到達目標 / Attainment Objectives

- 1、テキストを一冊、とにかく読み終える。
そのために、テキストは自習のできる参考書にしています。
- 2、ドイツの歌を聞いて、覚える。
小テストの一つは、歌を暗誦するという内容です。

履修しておくことが望まれる科目 / Required Preparatory Study

授業スケジュール / Course Schedule

授業日(第N回)	テーマ / Theme	キーワード / Key Word
	テキストは全部で22章です。初めの頃は1回の授業で2章進み、後半になって難しくなるに従って1回に1章進む、というペースになると思います。	
1	1章、動詞の人称変化 2章、名詞の性	
2	3章、名詞と冠詞の格変化 4章、不規則な人称変化	
3	5章、前置詞の格支配 6章、語順	
4	7章、並列接続詞と従属接続詞 8章、名詞の複数形	
5	9章、冠詞類の格変化 10章、形容詞の格変化	
6	11章、分離動詞 12章、話法の助動詞	
7	13章、人称代名詞と再帰代名詞 14章、命令形	
8	15章、過去形 16章、過去分詞の作り方	
9	17章、完了時制	
10	18章、受動文	
11	19章、zu不定詞	
12	20章、比較表現	
13	21章、関係文	
14	22章、接続法	
15	検証テスト(60分)およびまとめ(30分)	

 (学部科目 / Undergraduate Courses) 授業外学習の指示 / Recommendations for Private Study
 (大学院科目 / Graduate Courses) 授業の方法 / Study Method

成績評価方法 / Grading Criteria and Method of Evaluation

種別 / Kind	割合 / Percentage	評価基準等 / Grading Criteria etc.
平常点評価	100 %	①最終講義で、締めくくりの検証テストを行います。評価の40%を占めます。 ②覚えておかねばならない部分について、10点満点の小試験を合計6回行います。10×6＝60点です。平常点も加味します。評価の60%を占めます。

このクラスの成績評価はC・Fのみです。

受講および研究に関するアドバイス / Advice to Students on Study and Research Methods

教科書 / Textbooks

書名 / Title

出版社・ISBNコード・コメント / Author, Publisher, ISBN Code, Comment

ゼロから始めるドイツ語

在間進／三修社／ドイツ語が自分で学べる本です

参考書 / Reference Books

参考になる WWW ページ / Web Pages Useful for Reference

その他 / Others

ドイツのニュースなどは授業中に見てもらいますが、
図書館の視聴覚ルームにもたくさんドイツのビデオがありますから、
ぜひ見てみて下さい。

ドイツ語と社会Ⅱ(単位回復) (Z1)

12632

担当者名 / Instructor 大西 光弘

単位数 / Credit 2

授業の概要 / Course Outline

習得できなかったドイツ語の基礎を習得し直し、
ドイツの社会や文化を紹介する授業です。
授業時間の内訳は、
授業の前半――教科書を使つての授業時間その1。
社会の時間――ドイツZDFのニュースを見てもらいます。
授業の後半――教科書を使つての授業時間その2。
文化の時間――オペラ(たぶんワグナー)を見てもらいます。
という感じです。

到達目標 / Attainment Objectives

- 1、テキストを一冊、とにかく読み終える。
そのために、テキストは自習のできる参考書にしています。
- 2、ドイツの歌を聞いて、覚える。
小テストの一つは、歌を暗誦するという内容です。

履修しておくことが望まれる科目 / Required Preparatory Study

授業スケジュール / Course Schedule

授業日(第N回)	テーマ / Theme	キーワード / Key Word
	テキストは全部で20章です。初めの頃は1回の授業で2章進み、後半になって難しくなるに従って1回に1章進む、というペースになると思います。	
1	1章、こんにちは(あいさつ) 2章、あれは何ですか(Was ist das?)	
2	3章、ケルン大聖堂(名詞の性) 4章、どこにお住まいですか(動詞の人称変化)	
3	5章、失礼ですが(疑問文と命令文) 6章、どこにいるの(du)	
4	7章、私の名はアンネッテ(格) 8章、日曜日に、(名詞の複数形)	
5	9章、兄弟姉妹(不定冠詞) 10章、バスで(ちょっと変わった動詞)	
6	11章、郵便局で(話法の助動詞) 12章、よろしいでしょうか(再帰動詞)	
7	13章、バスの中で(分離動詞)	
8	14章、運転免許証(動詞の過去、過去分詞)	
9	15章、赤いネクタイ(どの)	
10	16章、何かニュースある?(形容詞の名詞化)	
11	17章、ランイ河畔のケルン(形容詞の比較)	
12	18章、ライン河は悠々と流れる(完了形)	
13	19章、アウトバーン(関係代名詞)	
14	20章、素晴らしいだろうに(接続法)	
15	検証テスト(60分)およびまとめ(30分)	

 (学部科目 / Undergraduate Courses) 授業外学習の指示 / Recommendations for Private Study
 (大学院科目 / Graduate Courses) 授業の方法 / Study Method

成績評価方法 / Grading Criteria and Method of Evaluation

種別 / Kind	割合 / Percentage	評価基準等 / Grading Criteria etc.
平常点評価	100 %	①最終講義で、締めくくりの検証テストを行います。評価の40%を占めます。 ②覚えておかねばならない部分について、10点満点の小試験を合計6回行います。10×6＝60点です。平常点も加味します。評価の60%を占めます。

このクラスの成績評価はC・Fのみです。

受講および研究に関するアドバイス / Advice to Students on Study and Research Methods

教科書 / Textbooks

書名 / Title

CDエクスプレス ドイツ語

出版社・ISBNコード・コメント / Author, Publisher, ISBN Code, Comment

小塩節／白水社／／分かりやすいテキストです。

参考書 / Reference Books

参考になる WWW ページ / Web Pages Useful for Reference

その他 / Others

ドイツのニュースなどは授業中に見てもらいますが、
図書館の視聴覚ルームにもたくさんドイツのビデオがありますから、
ぜひ見てみて下さい。

ドイツ語と文化I(単位回復) (Z1)

11198

担当者名 / Instructor 林 晶

単位数 / Credit 2

授業の概要 / Course Outline

基礎ドイツ語の習得とドイツ文化事情の幅広い理解を目指す。授業では基礎ドイツ語の習得を中心に据え、毎回、プリントを使用して数多くの練習問題をこなしていく。さらに適時、ドイツ文化事情を歴史、教育、環境問題等の各分野に分けて紹介する。

到達目標 / Attainment Objectives

基礎的なドイツ語運用能力の習得と異文化理解に関する基礎的な知識の習得を目指す。

履修しておくことが望まれる科目 / Required Preparatory Study

授業スケジュール / Course Schedule

授業日(第N回)	テーマ / Theme	キーワード / Key Word
第1回目	授業の概要と導入	授業の進め方、到達目標、成績評価方法等の説明。プリント配布。
第2回目	人称代名詞、動詞の現在形(1)	規則動詞の現在人称変化の説明と練習。親称duと敬称Sieの違いについて。ウムラウトについて。
第3回目	動詞の現在形(2)、ドイツ文の構造(1)	定動詞の位置、決定疑問文と補足疑問文の説明と練習。
第4回目	動詞の現在形(3)	不規則動詞の現在人称変化の説明と練習。ドイツ語圏の国々。
第5回目	確認テストと解説	第2回目から第4回目までの確認テスト(60分)と解説(30分)。
第6回目	名詞に関する文法事項(1)	名詞の性、数、格変化の説明。定冠詞と不定冠詞の1格の練習。
第7回目	名詞(2)	名詞と人称代名詞の4格の練習。ドイツ国内の地誌。
第8回目	名詞(3)	名詞と人称代名詞の3格の練習。名詞の2格の練習。
第9回目	名詞(4)	否定冠詞、所有冠詞の説明と練習。ドイツの大まかな歴史。
第10回目	確認テストと解説	第6回目から第9回目までの確認テスト(60分)と解説(30分)。
第11回目	前置詞	前置詞の格支配の説明と練習。ドイツの教育制度。
第12回目	話法の助動詞、未来の助動詞	話法の助動詞の説明と練習。未来形の説明と練習。
第13回目	複合動詞	分離動詞と非分離動詞の説明と練習。
第14回目	接続詞とドイツ文の構造(2)	副文の説明と練習。ドイツの環境問題。
第15回目	最終検証テストと解説	第2回目から第14回目までの検証テスト(60分)と解説(30分)。

(学部科目 / Undergraduate Courses) 授業外学習の指示 / Recommendations for Private Study
(大学院科目 / Graduate Courses) 授業の方法 / Study Methods

成績評価方法 / Grading Criteria and Method of Evaluation

種別 / Kind	割合 / Percentage	評価基準等 / Grading Criteria etc.
平常点評価	100 %	第5回頃と第10回頃の授業で、それまでの授業内容に対する習得度を確かめる確認テスト(40%)を行う。さらに第15回目の授業で最終検証テスト(60%)を行い、その総合で評価する。「C」または「F」評価。

このクラスの成績評価はC・Fのみである。

受講および研究に関するアドバイス / Advice to Students on Study and Research Methods

教科書 / Textbooks

参考書 / Reference Books

参考になる WWW ページ / Web Pages Useful for Reference

その他 / Others

ドイツ語と文化II(単位回復) (Z1)

11210

担当者名 / Instructor 林 晶

単位数 / Credit 2

授業の概要 / Course Outline

基礎ドイツ語の習得とドイツ文化事情の幅広い理解を目指す。授業では基礎ドイツ語の習得を中心に据え、毎回、プリントを用いて数多くの練習問題をこなしていく。さらに適時、ドイツ文化事情を文学、映画、絵画等の各分野に分けて紹介する。

到達目標 / Attainment Objectives

基礎的なドイツ語運用能力の習得と異文化理解に関する基礎的な知識の習得を目指す。

履修しておくことが望まれる科目 / Required Preparatory Study

授業スケジュール / Course Schedule

授業日(第N回)	テーマ / Theme	キーワード / Key Word
第1回目	授業の概要と導入	授業の進め方、到達目標、成績評価方法等の説明。プリント配布。
第2回目	複合動詞	分離動詞と非分離動詞の復習確認。多民族国家としての世紀末ウィーン。
第3回目	形容詞と副詞(1)	形容詞と副詞の用法、形容詞の格変化の説明と練習。
第4回目	形容詞と副詞(2)	形容詞と副詞の比較表現の説明と練習。世紀末ウィーンの文学・絵画。
第5回目	確認テストと解説	第2回目から第4回目までの確認テスト(60分)と解説(30分)。
第6回目	動詞の三基本形(1)	規則動詞・不規則動詞の三基本形の説明と練習。
第7回目	動詞の三基本形(2)と過去人称変化	複合動詞の三基本形の練習。過去人称変化の説明と練習。
第8回目	完了表現(1)	現在完了形の用法と作り方。
第9回目	完了表現(2)	過去・現在完了形の練習。多民族国家になりつつあるドイツ。
第10回目	確認テストと解説	第6回目から第9回目までの確認テスト(60分)と解説(30分)。
第11回目	再帰代名詞と再帰動詞、非人称動詞	再帰的表現の説明と練習。
第12回目	受動態	動作受動の説明と練習。状態受動の説明と練習。
第13回目	定関係代名詞と不定関係代名詞	関係文の作り方と練習。ドイツ文化の多様性(あるトルコ人映画監督の問題意識)。
第14回目	総復習	第2回目から第13回目までの総復習
第15回目	最終検証テストと解説	第2回目から第13回目までの最終検証テスト(60分)と解説(30分)

(学部科目 / Undergraduate Courses) 授業外学習の指示 / Recommendations for Private Study

(大学院科目 / Graduate Courses) 授業の方法 / Study Method

成績評価方法 / Grading Criteria and Method of Evaluation

種別 / Kind	割合 / Percentage	評価基準等 / Grading Criteria etc.
平常点評価	100 %	第5回頃と第10回頃の授業で、それまでの授業内容に対する習得度を確かめる確認テスト(40%)を行う。さらに第15回目の授業で最終検証テスト(60%)を行い、その総合で評価する。「C」または「F」評価。

このクラスの成績評価はC・Fのみである。

受講および研究に関するアドバイス / Advice to Students on Study and Research Methods

教科書 / Textbooks

参考書 / Reference Books

参考になる WWW ページ / Web Pages Useful for Reference

その他 / Others

フランス語と社会I(単位回復) (Z1)

11982

担当者名 / Instructor 内藤 義博

単位数 / Credit 2

授業の概要 / Course Outline

毎回、フランスの社会についてテーマを決めて紹介したあと、予定の学習項目にそって文法の説明と練習を行ない、その後それを各自復習し、授業の最後に小テストを実施する。

到達目標 / Attainment Objectives

フランスの社会について関心をもつとともに、フランス語基礎の習得を目標とする。

履修しておくことが望まれる科目 / Required Preparatory Study

授業スケジュール / Course Schedule

授業日(第N回)	テーマ / Theme	キーワード / Key Word
1. 4月8日	世界のフランス語圏	主語人称代名詞、不定冠詞、定冠詞、avoir、etre
2. 4月15日	フランスの地理	否定文、品質形容詞、er動詞、数字(1~30)
3. 4月22日	パリの歴史	疑問文の作り方(基本形・疑問詞) faire、finir
4. 4月29日	アメリカ嫌い?	部分冠詞、数量の表現、prendre、manger、boire
5. 5月13日	結婚と家族	疑問形容詞、非人称動詞、数字(30~69) vouloir、pouvoir
6. 5月20日	フランスの経済	補語人称代名詞、connaitre、savoir
7. 5月27日	フランス人の労働	代名動詞、ジェロンディフ
8. 6月3日	前半講義の総括と小テスト(講義30分、小テスト60分)	
9. 6月10日	フランスの政治	複合過去形
10. 6月17日	フランスの農業	半過去形
11. 6月24日	フランスの移民問題	複合過去形と半過去形の使い分け
12. 7月1日	フランスの歴史	中性代名詞
13. 7月8日	日仏関係	単純未来形
14. 7月15日	フランスとEU	関係代名詞、受動態
15. 7月22日	後半講義の総括と小テスト(講義30分、小テスト60分)	

(学部科目 / Undergraduate Courses) 授業外学習の指示 / Recommendations for Private Study

(大学院科目 / Graduate Courses) 授業の方法 / Study Method

成績評価方法 / Grading Criteria and Method of Evaluation

種別 / Kind	割合 / Percentage	評価基準等 / Grading Criteria etc.
平常点評価	100 %	毎回授業の最後に実施する小テストの合計で判定する。260点満点のうち6割の156点以上とること。

毎回プリントを配布する。下記のサイトにプリントをアップしているので、欠席した回の内容はこれを使って各自学習しておくこと。

立命館大学ホームページ→在学生の皆さまへ→コースツール→フランス語と社会I(単位回復)(Z1)→講義レジュメ

このクラスの成績評価はC・Fのみである。

受講および研究に関するアドバイス / Advice to Students on Study and Research Methods

教科書 / Textbooks

参考書 / Reference Books

参考になる WWW ページ / Web Pages Useful for Reference

その他 / Others

フランス語と社会Ⅱ(単位回復) (Z1)

11990

担当者名 / Instructor 内藤 義博

単位数 / Credit 2

授業の概要 / Course Outline

毎回、フランスの社会についてテーマを決めて紹介したあと、予定の学習項目にそって文法の説明と練習を行ない、その後それを各自復習し、授業の最後に小テストを実施する。

到達目標 / Attainment Objectives

フランスの社会について関心をもつとともに、フランス語基礎の習得を目標とする。

履修しておくことが望まれる科目 / Required Preparatory Study

授業スケジュール / Course Schedule

授業日(第N回)	テーマ / Theme	キーワード / Key Word
1. 9月30日	パリという街	挨拶、名前、職業、主語人称代名詞、不定冠詞、定冠詞、etre
2. 10月7日	フランス国内旅行	年齢、家族のこと、否定文、品質形容詞、数字(1~30)、avoir
3. 10月14日	フランスの歴史	er動詞を使った表現、疑問文の作り方(基本形)
4. 10月21日	世界の中のフランス語	所有形容詞、指示形容詞、強勢形人称代名詞
5. 10月28日	フランス人とスポーツ	疑問文の作り方(疑問代名詞&疑問副詞)、faire、finir
6. 11月4日	フランス人とヴァカンス	近接未来・近接過去、前置詞と冠詞の縮約、aller、venir
7. 11月11日	フランスの学校	疑問形容詞、非人称動詞、数字(31~69)
8. 11月18日	前半講義の総括と小テスト(講義30分、小テスト60分)	
9. 11月25日	フランスの料理	部分冠詞、数量の表現、prendre、manger、boire
10. 12月2日	フランスの経済	比較級、最上級、connaître、savoir、pouvoir
11. 12月9日	フランスの移民問題	複合過去形
12. 12月16日	フランスの政治	単純未来形
13. 12月23日	女性の社会進出	関係代名詞
14. 1月6日	つづり字と発音	
15. 1月13日	後半講義の総括と小テスト(講義30分、小テスト60分)	

(学部科目 / Undergraduate Courses) 授業外学習の指示 / Recommendations for Private Study

(大学院科目 / Graduate Courses) 授業の方法 / Study Method

成績評価方法 / Grading Criteria and Method of Evaluation

種別 / Kind	割合 / Percentage	評価基準等 / Grading Criteria etc.
平常点評価	100 %	毎回授業の最後に実施する小テストの合計で判定する。260点満点のうち6割の156点以上とること。

毎回プリントを配布する。下記のサイトにプリントをアップしているので、欠席した回の内容はこれを使って各自学習しておくこと。

<http://www.osk.3web.ne.jp/~nityshr/ritsume/index.htm>

このクラスの成績評価はC・Fのみである。

受講および研究に関するアドバイス / Advice to Students on Study and Research Methods

教科書 / Textbooks

参考書 / Reference Books

参考になる WWW ページ / Web Pages Useful for Reference

その他 / Others

フランス語と文化I(単位回復) (Z1)

11199

担当者名 / Instructor 永都 軍三

単位数 / Credit 2

授業の概要 / Course Outline

フランス語の文法を学びながら、フランスの言語や文化の特質を理解すること。

到達目標 / Attainment Objectives

フランス語の基礎的な運用能力の習得と異文化理解に関する基礎的な知識の習得をめざします。

履修しておくことが望まれる科目 / Required Preparatory Study

授業スケジュール / Course Schedule

授業日(第N回)	テーマ / Theme	キーワード / Key Word
1	フランス語の発音(1)	言語
2	フランス語の発音(2)	言語
3	主語人称代名詞、動詞etre、名詞の性と数、品質形容詞	言語
4	規則動詞、冠詞、直接目的人称代名詞	歴史
5	動詞avoir、不規則動詞faire、部分冠詞、中性代名詞en	歴史
6	不規則動詞aller、前置詞と定冠詞の縮約	歴史
7	命令法、指示形容詞、所有形容詞	文学
8	名詞・形容詞の性と数	文学
9	疑問文、否定文、強勢形人称代名詞	思想
10	疑問代名詞	思想
11	疑問代名詞、疑問形容詞、疑問副詞	思想
12	複合過去	社会
13	複合過去	社会
14	間接目的人称代名詞	映画
15	代名動詞	音楽

(学部科目 / Undergraduate Courses) 授業外学習の指示 / Recommendations for Private Study
 (大学院科目 / Graduate Courses) 授業の方法 / Study Method

成績評価方法 / Grading Criteria and Method of Evaluation

種別 / Kind 割合 / Percentage 評価基準等 / Grading Criteria etc.

平常点評価 100 % 複数回の小テスト

このクラスの成績評価はC・Fのみである。

受講および研究に関するアドバイス / Advice to Students on Study and Research Methods

教科書 / Textbooks

書名 / Title 出版社・ISBNコード・コメント / Author, Publisher, ISBN Code, Comment

ヴァン・ルソン 石野好一／朝日出版社／978-4-560-06095-7／

言語・文化に関しては、プリントを用意します。

参考書 / Reference Books

随時紹介していきます。

参考になる WWW ページ / Web Pages Useful for Reference

その他 / Others

フランス語と文化Ⅱ(単位回復) (Z1)

11211

担当者名 / Instructor 永都 軍三

単位数 / Credit 2

授業の概要 / Course Outline

フランス語文法を学びながら、フランスの言語や文化の特質を理解すること。スケジュールのキーワード欄には、言語と文化で取り上げようと思っているテーマを記してあります。

到達目標 / Attainment Objectives

フランス語の基礎的な運用能力の習得と異文化理解に関する基礎的な知識の習得を目指します。

履修しておくことが望まれる科目 / Required Preparatory Study

授業スケジュール / Course Schedule

授業日(第N回)	テーマ / Theme	キーワード / Key Word
1	発音(1)	時事
2	発音(2)	時事
3	名詞の性と数、冠詞、規則動詞の活用、否定文、疑問文	社会問題
4	不規則動詞etre、形容詞の変化と位置、指示形容詞	社会問題
5	所有形容詞、不規則動詞avoir、部分冠詞	社会問題
6	前置詞と定冠詞の縮約、不規則動詞aller,venir等、命令法	教育制度
7	疑問形容詞、疑問副詞、比較級	教育制度
8	最上級、複合過去	歴史
9	複合過去、非人称構文	歴史
10	強調構文、関係代名詞(1)	言語史
11	目的格代名詞	言語史
12	強勢形人称代名詞の用法、指示代名詞	思想
13	関係代名詞(2)	思想
14	代名動詞の現在と複合過去	音楽
15	受動態	音楽

(学部科目 / Undergraduate Courses) 授業外学習の指示 / Recommendations for Private Study

(大学院科目 / Graduate Courses) 授業の方法 / Study Method

成績評価方法 / Grading Criteria and Method of Evaluation

種別 / Kind	割合 / Percentage	評価基準等 / Grading Criteria etc.
平常点評価	100 %	複数回の小テスト

このクラスの成績評価はC・Fのみである。

受講および研究に関するアドバイス / Advice to Students on Study and Research Methods

教科書 / Textbooks

書名 / Title	出版社・ISBNコード・コメント / Author, Publisher, ISBN Code, Comment
新・ジュタンプラス	山村嘉己ほか／朝日出版社／／
文化に関しては、プリントを用意します。	

参考書 / Reference Books

随時紹介していきます。

参考になる WWW ページ / Web Pages Useful for Reference

その他 / Others